

一般国道9号（鳥取西道路）の改築に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 XXXVII

鳥取県鳥取市鹿野町

OTSU GA SE YA SHIKI MAWARI
乙亥正屋敷廻遺跡
第1分冊（1区）

2019

鳥取県埋蔵文化財センター

一般国道9号（鳥取西道路）の改築に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 XXXVIII

鳥取県鳥取市鹿野町

OTSU GA SE YA SHIKI MAWARI
乙亥正屋敷廻遺跡

第1分冊（1区）

2019

鳥取県埋蔵文化財センター

序

山陰自動車道は、一般国道9号の交通渋滞の緩和、災害時や緊急時における緊急輸送路の確保を目的として、国土交通省により整備が進められている自動車専用道路です。この道路は山陰地方を東西に結ぶ大動脈として、地方都市間の連携を強化し、環日本海交流の一翼を担うことも期待されています。

鳥取県埋蔵文化財センターでは、鳥取市本高から同市青谷町を結ぶ事業区間である「鳥取西道路」の改築に伴う発掘調査を、平成20年度から実施し、平成28年度に全ての現地調査を終了しています。

本書に掲載した、鳥取市鹿野町に位置する乙亥正屋敷廻遺跡は、平成26年度から平成28年度にかけて発掘調査を行い、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての、非常に多くの土器や木器を伴う集落跡を確認したことは、当時の集落の在り方を考えるだけでなく、この地域の歴史を解明する上で欠くことのできない調査成果といえます。

さらに、発掘調査により明らかとなった遺跡や出土品を活用し、その普及啓発に努めることも当センターの重要な業務であり、こうした調査成果が郷土の歴史を解き明かしていく一助となることを期待しています。

本書は、その調査結果を報告書としてまとめたものです。本書をまとめるにあたり、国土交通省中国整備局鳥取河川国道事務所並びに、地元関係者の方々には、一方ならぬ御指導、御協力をいただきました。心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

平成31年3月

鳥取県埋蔵文化財センター
所長 北村 順一

例 言

- 1 本報告書は、国土交通省鳥取河川国道事務所の委託により、鳥取原埋蔵文化財センターが、一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査事業として、平成26年度から平成30年度にかけて行った乙亥正屋敷廻道跡の発掘調査報告書である。
- 2 本報告書は5分冊から構成され、内容は下記のとおりである。
 - 第1分冊 第1章 調査の経緯と経過、第2章 遺跡の位置と環境、第3章 1区の調査
 - 第2分冊 第4章 2・3区の調査(第1面～第6面)
 - 第3分冊 第4章 2・3区の調査(第7面～第11面、遺構外出土遺物)
 - 第4分冊 第V章 自然科学分析、VI章 データ一覧(出土遺物観察表等)、第VII章 総括
 - 第5分冊 写真図版
- 3 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査のうち、鳥取県が受託したものは、埋蔵文化財センターと県教育委員会(公益財団法人鳥取県教育文化財団へ再委託)が分担して実施した。このため、両者が刊行する発掘調査報告書を一連のものとするため、巻次を下記のとおり振り分けている。
 - 巻次 1、2、32～：発行者 鳥取埋蔵文化財センター
 - 巻次 3～31：発行者 鳥取県教育委員会なお、このほかに一部の発掘調査については公益財団法人鳥取市文化財団が受託し実施したものがあ
- 4 本報告書に記載した遺跡の所在地及び調査面積は以下のとおりである。
 - 鳥取市鹿野町乙亥正250外 調査面積：6,080㎡
- 5 本報告書の本文、図、表は原田雅弘、岡野雅則、馬路晃祥(以下、「調査担当職員」)が調査担当場所以に基づいて分担して行った。文責は、第1分冊のみ目次に、第2・3分冊は目次と文末に記した。なお、第V章は各委託業者が執筆した成果品を原田が取りまとめて編集した。
- 6 発掘調査は、平成26年度は乙亥正屋敷廻道跡発掘調査支援業務委託共同企業体(アート・大地企画)、平成27年度はアコード・アイテック埋蔵文化財発掘調査支援業務委託共同企業体、平成28年度は株式会社ノガミ・株式会社広洋コンサルタント共同企業体の支援を受け実施した。掘削作業や記録作業、測量作業は埋蔵文化財センターの指示のもと、同企業体が行った。
- 7 本報告書に掲載した遺物の実測・浄書は埋蔵文化財センターで行うとともに、下記の業者(五十音順)に委託して行った。
 - 土器実測・浄書：株式会社アルカ 株式会社島田組
 - 木器実測・浄書：株式会社アーキジオ 安西工業株式会社 株式会社イビソク
 - 石器実測・浄書：株式会社ラング
 - 遺物実測図浄書：株式会社エイ・テック
- 8 本報告書で使用した遺物写真は調査担当職員が撮影した。
- 9 発掘調査によって作成された図面・写真などの記録類、出土遺物は鳥取埋蔵文化財センターで保管している。
- 10 本報告書で示す標高は、東京湾平均海面(T.P.)を基準としている。本文中ではT.P.は省略している。方位は公共座標北を示し、磁北は、座標北に対し、7°30'西偏する。なお、X、Yの数値は世界測地系に準拠した公共座標第V系の座標値である。
- 11 本報告書に掲載した地形図には、下記の地図を使用した。
 - 「鳥取市都市計画図」鳥取市作成、「1/25,000地形図『鹿野』」『浜村』国土地理院発行
- 12 本報告にあたり、自然科学分析をバリノ・サーヴェイ株式会社、株式会社イビソクに委託した。なお、土器内の付着物に関しては、一部の分析を地方独立行政法人鳥取県産業技術センター協力の下で実施した。
- 13 石器の石材は、金山恭子氏(鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館)に鑑定していただいた。
- 14 現地調査及び報告書作成にあたっては、下記の方々に御助言・御支援・御協力をいただいた。記して深謝いたします(五十音順)。
 - 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所、高田健一氏(鳥取大学地域学部)、鳥取県土整備局鳥取県土整備事務所、鳥取県教育委員会

凡 例

- 1 遺物の注記における遺跡名には「乙ヤシキ」の略語を用い、併せて「遺構名、取上番号、日付」を記入した。
 - 2 遺構番号は、発掘調査時のものを使用することを基本としたが、調査の進捗やその後の解釈の変化に即して変更したものもある。変更したものは、1区は第1分冊巻末、2・3区は本文又は第4分冊アター一覧に記載している。
 - 3 本書における実測図の縮尺については、特殊なものを除き基本的に以下の縮尺としている。
遺構配置図 1/100、1/400
遺構図 1/20、1/40、1/60 等
遺物実測図 土器：1/4、石器：1/2・2/3・1/3・1/4、木器：1/4～1/16、土製品・金属器：1/2、ガラス玉・古銭：1/1
 - 4 本書における土層名称は、基本的には「新版 標準土色帖」による。
 - 5 本書における挿図番号表記は、章番号-節番号-図面番号である。
 - 6 本書における遺物番号は下記のとおりである。
土 器：遺構面ごとに掲載順に掲載番号を付与。表記は、遺構面-掲載番号(例：2-1)とした。
土 製 品：1区は土器と同様の掲載番号、2・3区は現場での取上番号をつけて記載
石 器：調査現場での取上番号の冒頭にSをつけて記載
金 属 器：調査現場での取上番号の冒頭に鉄器はF、青銅器はBrをつけて記載
木 器：調査現場での取上番号で記載
ガラス玉：調査現場での取上番号にBをつけて記載
古 銭：調査現場での取上番号にCをつけて記載
なお、土器については報告書掲載番号とは別に、整理段階で調査区ごとに整理番号を付与し遺物取納袋に貼付している。(1区：1-○、2区：2-○、3区：3-○)
 - 7 遺構図、遺物実測図のトーン表現等は基本的に各図の凡例に示す。各図に示さない事項は下記のとおりである。
土器実測図：断面は須恵器を黒塗り、それ以外のものは白抜き表現とする。
ケズリ方向(砂流の動き)：
 - 石器実測図：石器の使用痕範囲：
 - 木器実測図：断面の年輪表記は、実測によるものをK100%、実測後トレース時に間引いたものはK70%、模式的な表現としたものはK40%で表現した。断面横又は右下の数字は断面での年輪数を表す。断面図に年輪を表現していない場合は、同心円を用いた模式図で木取りを表現したものがある。
- 8 遺物観察表の法量記載における※は推定復元値、△は残存値を示す。
 - 9 本報告書における土器の時期比定については第I章第3節「乙亥正屋敷遺跡出土土器の時期区分について」を参照されたい。

目次(1区・第1分冊)

第1章 調査の経緯と経過

第1節 調査に至る経緯	(原田) 1
第2節 発掘調査の方法と経過	(原田) 2
1 調査区の名称と調査方法	2
2 発掘調査の経過	4
第3節 乙支正屋敷廻遺跡出土土器の時期区分について	(馬路) 6
第4節 調査体制	(原田) 17

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境	(原田) 19
第2節 歴史的環境	(原田) 20

第3章 1区の調査

第1節 調査区の地形と層序	(岡野) 24
第2節 調査方法と遺構の概要	(岡野) 24
第3節 本章の記載方法	(岡野) 24
第4節 古墳時代後期以降の遺構	(岡野) 30
1 遺構の概要	30
2 S-464・475・727・766・798段状遺構周辺の遺構	42
3 S-25・27・28・34・36・42溝、及びS-974・974段状遺構周辺の遺構	55
4 その他、散在的に存在する遺構	63
第5節 弥生時代後期から古墳時代中期の遺構	(岡野) 68
1 遺構の概要	68
2 S-276・982～992段状遺構	68
3 S-292・281～284・286段状遺構、S-364・285・375溝	82
4 S-293・287・297・280段状遺構周辺の遺構	94
5 S-1・450・448段状遺構周辺の遺構	112
6 S-799・835・852・858段状遺構周辺の遺構	139
7 S-942段状遺構周辺の遺構	174
8 S-2・7・8段状遺構周辺の遺構	185
9 S-606竪穴住居、S-608・635段状遺構周辺の遺構	207
10 S-711・725・726段状遺構周辺の遺構	235
11 S-36～274周辺の竪穴住居、溝、土坑	240
12 遺構外出土遺物	255
第6節 遺構一覧表、出土遺物観察表	(岡野) 258

写真図版

挿図目次(1区・第1分冊)

第I章

第I-1-1図	鳥取西道路の路線図と調査地	1
第I-1-2図	調査地の位置	2
第I-2-1図	調査区名称とグリッド配置及び調査前地形測量図	3
第I-2-2図	年度別調査範囲	5
第I-3-1図	I～VI期の壺	11
第I-3-2図	I～VI期の甕	12
第I-3-3図	I～VI期の高坏、器台など	13
第I-3-4図	VII～X期の壺	14
第I-3-5図	VII～X期の甕	15
第I-3-6図	VII～X期の高坏、低脚坏、器台など	16

第II章

第II-1-1図	遺跡の位置と周辺地形	19
第II-2-1図	周辺遺跡分布図	21

第III章

第III-2-1図	遺構配置図	25・26
第III-2-2図	調査区土層断面図(A-A'断面)	27・28
第III-2-2図	調査区土層断面図(A-A'断面)註記	29
第III-2-3図	調査前地形測量図	30
第III-2-4図	調査区土層断面図(B-B'断面)	31・32
第III-2-5図	調査区土層断面図(C-C'、D-D'断面)	33・34
第III-2-6図	遺構配置図(拡大図1)	35
第III-2-7図	遺構配置図(拡大図2)	36
第III-2-8図	遺構配置図(拡大図3)	37
第III-2-9図	遺構配置図(拡大図4)	38
第III-2-10図	遺構配置図(拡大図5)	39
第III-2-11図	遺構配置図(拡大図6)	40
第III-2-12図	遺構配置図(拡大図7)	41
第III-4-1図	古墳時代後期以降の遺構配置図	42
第III-4-2図	S-464・475・512・727・789・787・797・798 周辺遺構概念図	43
第III-4-3図	S-475段状遺構 平面図	44
第III-4-4図	S-464・512・513段状遺構、S-465土坑 平・断面図及び出土遺物	45
第III-4-5図	S-464・475・512・727・789・787・797・798段状遺構ほか平面図	47・48
第III-4-6図	S-727・789・787ほか段状遺構等断面図1	49
第III-4-7図	S-727・789・787ほか段状遺構等断面図2	50
第III-4-8図	S-457・456・667出土遺物	51
第III-4-9図	S-727・789・787ほか段状遺構等断面図3	52
第III-4-10図	S-798段状遺構、S-339土坑 平・断面図	53
第III-4-11図	S-766地下式土坑 平・立・断面図	54
第III-4-12図	S-766地下式土坑 遺物出土状況図	55
第III-4-13図	S-766地下式土坑 土層断面図	55
第III-4-14図	S-766地下式土坑 出土遺物	56
第III-4-15図	S-25・27・28・30・34・36・42溝周辺遺構平面図	57
第III-4-16図	S-25・26・27・30・34・36・41・173溝、S-29・33土坑土層断面図	58
第III-4-17図	S-41・42溝、S-28・31・171・189・190・192・193・202・222・275土坑土層断面図	59

插图目次

第Ⅲ-4-18图	S-25・30・36溝、S-29・31・33・222土坑 出土遺物	60
第Ⅲ-4-19图	S-976段状遺構 平・断面図	61
第Ⅲ-4-20图	S-977地下式土坑 平・立面図	63
第Ⅲ-4-21图	S-977地下式土坑塹坑部詰石出土状況、地下室内10~13層上面 遺物出土状況図	64
第Ⅲ-4-22图	S-977地下式土坑 土層断面図	64
第Ⅲ-4-23图	S-5・67・319・643土坑 平・断面図	65
第Ⅲ-4-24图	S-5・67・319・643土坑 出土遺物	65
第Ⅲ-4-25图	S-951土坑 平・断面図、遺物出土状況図	66
第Ⅲ-4-26图	S-951土坑 出土遺物	67
第Ⅲ-5-1图	各項目で記載する遺構の位置	68
第Ⅲ-5-2图	S-276・982・992段状遺構概念図	69
第Ⅲ-5-3图	S-276段状遺構、S-311・322・344・351・855・944土坑 平・断面図	70
第Ⅲ-5-4图	S-311・322・351・992・993・944土坑 断面図	71
第Ⅲ-5-5图	S-276段状遺構 床面直上遺物出土状況図	71
第Ⅲ-5-6图	S-276段状遺構、S-855土坑 出土遺物	72
第Ⅲ-5-7图	S-982段状遺構 S-310・328・329・357土坑 平・断面図及びS-310出土遺物	73
第Ⅲ-5-8图	S-982段状遺構 床面直上遺物出土状況図	74
第Ⅲ-5-9图	S-982段状遺構 出土遺物	75
第Ⅲ-5-10图	S-983段状遺構 S-993~996土坑 平・断面図	76
第Ⅲ-5-11图	S-983段状遺構 S-993~996土坑 断面図	77
第Ⅲ-5-12图	S-983段状遺構 出土遺物	77
第Ⅲ-5-13图	S-984段状遺構 平・断面図	77
第Ⅲ-5-14图	S-985段状遺構、S-862・863土坑 平・断面図	78
第Ⅲ-5-15图	S-985段状遺構 出土遺物	79
第Ⅲ-5-16图	S-986段状遺構 平・断面図	79
第Ⅲ-5-17图	S-987・988溝 平・断面図	80
第Ⅲ-5-18图	S-988溝 出土遺物	80
第Ⅲ-5-19图	S-989・990・991溝、S-320・321土坑 平・断面図及びS-320出土遺物	81
第Ⅲ-5-20图	S-992段状遺構 平・断面図	82
第Ⅲ-5-21图	S-292・281~284・286段状遺構、S-364・285・375溝等概念図	83
第Ⅲ-5-22图	S-284・285・375段状遺構 平・断面図	84
第Ⅲ-5-23图	S-286段状遺構、S-318・361土坑 平・断面図	85
第Ⅲ-5-24图	S-283段状遺構、S-312・313・314土坑 平・断面図	85
第Ⅲ-5-25图	S-364溝、S-315・342土坑 平・断面図	86
第Ⅲ-5-26图	S-281段状遺構 平・断面図	86
第Ⅲ-5-27图	S-282・292段状遺構 S-999~1001・309土坑 平・断面図	87
第Ⅲ-5-28图	S-294・295・299・300段状遺構 平・断面図	88
第Ⅲ-5-29图	S-301・302・303・305・308土坑 平・断面図	89
第Ⅲ-5-30图	S-317・332・333・349土坑 平・断面図	90
第Ⅲ-5-31图	S-304・306・307・316・341・350・376土坑 平・断面図	91
第Ⅲ-5-32图	S-343・346・347・348・371・372土坑 平・断面図	92
第Ⅲ-5-33图	S-283段状遺構、S-301・305・332土坑 出土遺物	93
第Ⅲ-5-34图	S-287竪穴住居、S-293・297・280段状遺構周辺概念図	94
第Ⅲ-5-35图	S-287竪穴住居 平・断面図	95
第Ⅲ-5-36图	S-287竪穴住居 出土遺物	96
第Ⅲ-5-37图	S-377段状遺構 平・断面図及び出土遺物	96

挿図目次

第Ⅲ-5-38図	S-293段状遺構、S-355・412土坑 平・断面図及び出土遺物	97
第Ⅲ-5-39図	S-277段状遺構 平・断面図	98
第Ⅲ-5-40図	S-278段状遺構 平・断面図	98
第Ⅲ-5-41図	S-280段状遺構、S-362・367・368溝、S-323・324・345土坑 平・断面図	99
第Ⅲ-5-42図	S-280段状遺構、S-345土坑 断面図	100
第Ⅲ-5-43図	S-297段状遺構、S-325・326・340・366・373土坑 平・断面図	100
第Ⅲ-5-44図	S-280段状遺構 出土遺物	101
第Ⅲ-5-45図	S-326土坑 出土遺物	101
第Ⅲ-5-46図	S-289段状遺構、S-327・373・384・392土坑 平・断面図及びS-289出土遺物	102
第Ⅲ-5-47図	S-369段状遺構、S-327・384・392土坑 平・断面図	103
第Ⅲ-5-48図	S-381段状遺構、S-337・380・393・403土坑 平・断面図	103
第Ⅲ-5-49図	S-290段状遺構、S-383・391土坑 平・断面図及びS-290出土遺物	104
第Ⅲ-5-50図	S-382段状遺構 平・断面図	104
第Ⅲ-5-51図	S-427段状遺構 S-387・423・437土坑 平・断面図及びS-387出土遺物	105
第Ⅲ-5-52図	S-425段状遺構、S-424・426・440土坑 平・断面図	105
第Ⅲ-5-53図	S-405・406段状遺構 平・断面図	106
第Ⅲ-5-54図	S-280・290・297・289・382段状遺構周辺の土坑	106
第Ⅲ-5-55図	S-6・298・388・413土坑 平・断面図	107
第Ⅲ-5-56図	S-353・352・370・356・404・296・398・399土坑 平・断面図	108
第Ⅲ-5-57図	S-335・336・338・354・385・400~402・431・437土坑 平・断面図	109
第Ⅲ-5-58図	S-331・394・395・397・442・443・487土坑 平・断面図	110
第Ⅲ-5-59図	S-6・395・398土坑 出土遺物	110
第Ⅲ-5-60図	S-1・450・448周辺段状遺構概念図	111
第Ⅲ-5-61図	S-421段状遺構、S-525土坑 平・断面図及び出土遺物	112
第Ⅲ-5-62図	S-378段状遺構、S-1002土坑 平・断面図	113
第Ⅲ-5-63図	S-418段状遺構 平・断面図	113
第Ⅲ-5-64図	S-1段状遺構、S-16土坑 平面図、S-17土坑 平・断面図	114
第Ⅲ-5-65図	S-1段状遺構、S-16土坑 断面図	115
第Ⅲ-5-66図	S-1段状遺構 出土遺物	115
第Ⅲ-5-67図	S-396段状遺構、S-409・410・411・432・460土坑、S-407・408溝 平・断面図及びS-396出土遺物	116
第Ⅲ-5-68図	S-448段状遺構、S-454・461・485・486・490・511・518・520・523・526・531土坑 平・断面図	117
第Ⅲ-5-69図	S-448段状遺構、S-454・461・485・490・509・511・518・520・523・526・531土坑 断面図	118
第Ⅲ-5-70図	S-448段状遺構、S-454・518土坑 出土遺物	118
第Ⅲ-5-71図	S-436段状遺構、S-559・576土坑 平・断面図及び出土遺物	119
第Ⅲ-5-72図	S-450段状遺構、S-556・906土坑 平・断面図及び出土遺物	120
第Ⅲ-5-73図	S-913段状遺構、S-931土坑 平・断面図及び出土遺物	121
第Ⅲ-5-74図	S-452段状遺構 平・断面図、床面遺物出土状況図	122
第Ⅲ-5-75図	S-452段状遺構、S-510土坑 出土遺物	123
第Ⅲ-5-76図	S-453段状遺構、S-580・585・586・587土坑 平・断面図	124
第Ⅲ-5-77図	S-453段状遺構 床面遺物出土状況 平・断面図及び出土遺物	125
第Ⅲ-5-78図	S-629段状遺構 平・断面図	125
第Ⅲ-5-79図	S-1・450・448段状遺構周辺 溝、土坑配置図	126
第Ⅲ-5-80図	S-11土坑 平・断面・遺物出土状況図及び出土遺物	126
第Ⅲ-5-81図	S-358溝、S-9土坑 平・断面図	127
第Ⅲ-5-82図	S-9土坑 出土遺物	127
第Ⅲ-5-83図	S-415・420・422・914土坑 平・断面図	128

插图目次

第Ⅲ-5-84图	S-3·12·17·18·19·20土坑 平·断面图	129
第Ⅲ-5-85图	S-21·22·414·419·428·429·435·441土坑 平·断面图	130
第Ⅲ-5-86图	S-438·444·447·466·478·479·480·500·501·521·530·539土坑 平·断面图	131
第Ⅲ-5-87图	S-540·541·563·584土坑 平·断面图	132
第Ⅲ-5-88图	S-415·419·420·422·444·500·563·914土坑 出土遗物	132
第Ⅲ-5-89图	S-835竖穴住居、S-799·852·858 段状遗構周辺概念図	133
第Ⅲ-5-90图	S-835竖穴住居上層檢出遺構 平面图	134
第Ⅲ-5-91图	S-835竖穴住居上層檢出遺構 平·断面图1	135
第Ⅲ-5-92图	S-835竖穴住居上層檢出遺構 平·断面图2	136
第Ⅲ-5-93图	S-835竖穴住居上層檢出遺構 平·断面图3	137
第Ⅲ-5-94图	S-835竖穴住居上層檢出遺構 平·断面图4	138
第Ⅲ-5-95图	S-835竖穴住居上層檢出遺構 出土遺物	139
第Ⅲ-5-96图	S-799·858段状遺構西側 礫層 出土遺物	139
第Ⅲ-5-97图	S-835竖穴住居 平·断面图、S-846土坑 平面图	140
第Ⅲ-5-98图	S-835竖穴住居土層断面注記及びS-846土坑遺物出土狀況图	141
第Ⅲ-5-99图	S-835竖穴住居 断面图	142·143
第Ⅲ-5-100图	S-835竖穴住居 出土遺物	144
第Ⅲ-5-101图	S-846土坑 出土遺物	145
第Ⅲ-5-102图	S-835竖穴住居 貼床除去後 掘方平面图、S-849·850土坑 平·断面图	146
第Ⅲ-5-103图	S-852段状遺構、S-831·833·853·854·867·869·872·877·900·925·933土坑等平面图	147
第Ⅲ-5-104图	S-852段状遺構 断面图、S-867·831土坑 平·断面图	148
第Ⅲ-5-105图	S-833·853·854·869·872·877·900土坑 平·断面图及びS-853出土遺物	149
第Ⅲ-5-106图	S-833土坑 遺物出土狀況图及び出土遺物	150
第Ⅲ-5-107图	S-925·933土坑 平·断面图及び出土遺物	151
第Ⅲ-5-108图	S-852段状遺構貼床除去後(地山直上)檢出遺構 平面图	152
第Ⅲ-5-109图	S-830溝、S-870·908·909·910土坑 平·断面图	153
第Ⅲ-5-110图	S-882段状遺構、S-885·893·896土坑 平·断面图	154
第Ⅲ-5-111图	S-882段状遺構掘方、S-902~905土坑 平·断面图	155
第Ⅲ-5-112图	S-938段状遺構 平·断面图	156
第Ⅲ-5-113图	S-826·859·864土坑 平·断面图	157
第Ⅲ-5-114图	S-865·875土坑 平·断面图及び出土遺物	158
第Ⅲ-5-115图	S-866·883土坑 平·断面图	159
第Ⅲ-5-116图	S-866·883土坑 出土遺物	160
第Ⅲ-5-117图	S-860·861·924土坑 平·断面图	160
第Ⅲ-5-118图	S-874·886·897·917土坑 平·断面图及びS-874土坑出土遺物	161
第Ⅲ-5-119图	S-897·917土坑 出土遺物	162
第Ⅲ-5-120图	S-898土坑 平·断面图及び出土遺物	162
第Ⅲ-5-121图	S-873·876·878·884·911·912·915·926·927土坑 平·断面图	163
第Ⅲ-5-122图	S-799段状遺構 平·断面·遺物出土狀況图	164
第Ⅲ-5-123图	S-799段状遺構 出土遺物	165
第Ⅲ-5-124图	S-858段状遺構、S-880溝、S-890·928土坑 平·断面图	166
第Ⅲ-5-125图	S-858段状遺構 出土遺物	167
第Ⅲ-5-126图	S-880溝、S-890土坑 出土遺物	167
第Ⅲ-5-127图	S-868段状遺構、S-889·891·892土坑 平·断面图及びS-868段状遺構 出土遺物	168
第Ⅲ-5-128图	S-887段状遺構、S-907土坑 平·断面图	168
第Ⅲ-5-129图	S-916·918段状遺構、S-920·929土坑 平·断面图	169
第Ⅲ-5-130图	S-921·930段状遺構 平·断面图	170

挿図目次

第Ⅲ-5-131図	S-857土坑 平・断面図	170
第Ⅲ-5-132図	S-942周辺段状遺構等概念図	171
第Ⅲ-5-133図	S-942段状遺構 平面図	172
第Ⅲ-5-134図	S-942段状遺構 断面図	173
第Ⅲ-5-135図	S-950・972土坑 平・断面図	174
第Ⅲ-5-136図	S-942段状遺構、S-950土坑 出土遺物	174
第Ⅲ-5-137図	S-952・958・960・965柱穴 平・断面図	175
第Ⅲ-5-138図	S-946・947・955・956・961・964土坑 平・断面図	176
第Ⅲ-5-139図	S-948・949・954・962・963・967・968・970土坑 平・断面図	177
第Ⅲ-5-140図	S-959・966・973土坑 平・断面図	178
第Ⅲ-5-141図	S-939段状遺構、S-940・941土坑 平・断面図	178
第Ⅲ-5-142図	S-935・936土坑 平・断面図	179
第Ⅲ-5-143図	S-935・936土坑 出土遺物	179
第Ⅲ-5-144図	S-974段状遺構 平・断面図	180
第Ⅲ-5-145図	S-975土坑 平・断面図	180
第Ⅲ-5-146図	S-2・7・8段状遺構周辺遺構概念図(段状遺構・竪穴住居・掘立柱建物一部土坑のみ)	181
第Ⅲ-5-147図	S-24段状遺構 平・断面図及び出土遺物	182
第Ⅲ-5-148図	S-544段状遺構、S-560・572・609土坑 平・断面図及び出土遺物	183
第Ⅲ-5-149図	S-582段状遺構、S-598・599・621・622・626土坑 平・断面図	184
第Ⅲ-5-150図	S-582段状遺構、S-598土坑 出土遺物	185
第Ⅲ-5-151図	S-2段状遺構、S-13・14土坑 平・断面図	186
第Ⅲ-5-152図	S-2段状遺構 断面図及び出土遺物	187
第Ⅲ-5-153図	S-8段状遺構 平・断面図及び出土遺物	188
第Ⅲ-5-154図	S-7段状遺構、S-481・482・495・538・543・591・592・649土坑 平・断面図	189
第Ⅲ-5-155図	S-7段状遺構 出土遺物	190
第Ⅲ-5-156図	S-519段状遺構、S-488・497・499・506・514土坑等 平・断面図	191
第Ⅲ-5-157図	S-519段状遺構 土坑平・断面図1	192
第Ⅲ-5-158図	S-519段状遺構 土坑平・断面図2	193
第Ⅲ-5-159図	S-488・492・561土坑 出土遺物	193
第Ⅲ-5-160図	S-516段状遺構、S-671・672・628土坑 平・断面図	194
第Ⅲ-5-161図	S-516段状遺構 出土遺物	195
第Ⅲ-5-162図	S-583段状遺構 出土遺物	195
第Ⅲ-5-163図	S-583段状遺構 平・断面図	196
第Ⅲ-5-164図	S-627段状遺構 平・断面図	197
第Ⅲ-5-165図	S-627段状遺構 出土遺物	197
第Ⅲ-5-166図	S-654段状遺構 平・断面図及び出土遺物	198
第Ⅲ-5-167図	S-662段状遺構 平・断面図及び出土遺物	199
第Ⅲ-5-168図	S-673段状遺構 平・断面図	200
第Ⅲ-5-169図	S-678段状遺構、S-667・679土坑 平・断面図	200
第Ⅲ-5-170図	S-647段状遺構、S-653・685土坑 平・断面図	201
第Ⅲ-5-171図	S-715段状遺構、S-641・716土坑 平・断面図	201
第Ⅲ-5-172図	S-547・581段状遺構、S-548溝、S-549・579土坑 平・断面図及びS-547・581出土遺物	202
第Ⅲ-5-173図	S-606竪穴住居、S-558段状遺構周辺遺構概念図(竪穴住居・段状遺構、一部土坑のみ)	203
第Ⅲ-5-174図	S-607段状遺構、S-655・574土坑 平・断面図	204
第Ⅲ-5-175図	S-635・636段状遺構、S-596溝、S-597・610・618等土坑 平・断面図及び出土遺物	205
第Ⅲ-5-176図	S-635・636段状遺構 土坑断面図1	206
第Ⅲ-5-177図	S-635・636段状遺構 土坑断面図2	207

挿図目次

第Ⅲ-5-178図	S-564土坑 平・断面図及び出土遺物	207
第Ⅲ-5-179図	S-558・619段状遺構、S-624・631・632・638土坑 平・断面図	208
第Ⅲ-5-180図	S-558段状遺構 出土遺物	209
第Ⅲ-5-181図	S-603土坑 平・断面図	209
第Ⅲ-5-182図	S-608段状遺構、S-660・661・663・664・656・657・738土坑 平・断面図	210
第Ⅲ-5-183図	S-608段状遺構 土坑断面図、床面遺物出土状況 平・断面図	211
第Ⅲ-5-184図	S-608段状遺構 出土遺物	211
第Ⅲ-5-185図	S-600段状遺構 平・断面図及び出土遺物	212
第Ⅲ-5-186図	S-602土坑 平・断面図	213
第Ⅲ-5-187図	S-606竪穴住居 平面図	214
第Ⅲ-5-188図	S-606竪穴住居 断面図	215
第Ⅲ-5-189図	S-606竪穴住居 出土遺物	216
第Ⅲ-5-190図	S-651段状遺構、S-503・684・717・776・796土坑 平・断面図	216
第Ⅲ-5-191図	S-706段状遺構、S-657・713土坑 平・断面図及び出土遺物	217
第Ⅲ-5-192図	S-751段状遺構 平・断面図	217
第Ⅲ-5-193図	S-558・606周辺遺構配置図(竪穴住居・段状遺構との関係が不明な土坑等)	218
第Ⅲ-5-194図	S-648掘立柱建物 平・断面図	219
第Ⅲ-5-195図	S-648掘立柱建物 柱穴平・断面図及び出土遺物	220
第Ⅲ-5-196図	S-23・469・515土坑 平・断面図	221
第Ⅲ-5-197図	S-546・650土坑 平・断面図	222
第Ⅲ-5-198図	S-515・469・546・650土坑 出土遺物	222
第Ⅲ-5-199図	S-496・504・528・551～554土坑 平・断面図	223
第Ⅲ-5-200図	S-555・570・571・573・575・623・625・640土坑 平・断面図及び出土遺物	224
第Ⅲ-5-201図	S-714・747・769土坑 平・断面図	225
第Ⅲ-5-202図	S-714・747・769土坑 平・断面図	225
第Ⅲ-5-203図	谷(S-445) 平面図	226
第Ⅲ-5-204図	谷(S-445) 断面図	227
第Ⅲ-5-205図	谷(S-445) 包含層 出土遺物	228
第Ⅲ-5-206図	S-711・725・726段状遺構周辺遺構概念図1(段状遺構のみ)	229
第Ⅲ-5-207図	S-711・725・726段状遺構周辺遺構概念図2	230
第Ⅲ-5-208図	S-527・675段状遺構 平・断面図	230
第Ⅲ-5-209図	S-527・675段状遺構 出土遺物	230
第Ⅲ-5-210図	S-674段状遺構 平・断面図及び出土遺物	231
第Ⅲ-5-211図	S-711段状遺構、S-778土坑 平・断面図	232
第Ⅲ-5-212図	黒色・暗褐色包含層 出土遺物	232
第Ⅲ-5-213図	S-725段状遺構、S-782・783土坑 平・断面図	233
第Ⅲ-5-214図	S-726段状遺構 平・断面図	234
第Ⅲ-5-215図	S-725・726段状遺構 出土遺物	234
第Ⅲ-5-216図	S-733段状遺構 平・断面図	235
第Ⅲ-5-217図	S-36～274周辺の竪穴住居、溝、土坑 平面図	236
第Ⅲ-5-218図	S-220竪穴住居 平・断面図	237
第Ⅲ-5-219図	S-220竪穴住居 出土遺物	238
第Ⅲ-5-220図	S-53・208・209・210溝 平・断面図	238
第Ⅲ-5-221図	S-40・43・262土坑 平・断面図	239
第Ⅲ-5-222図	S-40・43・262土坑 出土遺物	240
第Ⅲ-5-223図	S-45・50・51・52・54・55・57～59土坑 平・断面図	242

插图目次

第Ⅲ-5-224图	S-62·63·71·73~76·79·175土坑 平·断面图	243
第Ⅲ-5-225图	S-80·82~85·90·91·94土坑 平·断面图	244
第Ⅲ-5-226图	S-97·99·100·101·103·107~109·113·114·211土坑 平·断面图	245
第Ⅲ-5-227图	S-120·121·124·126~128·131土坑 平·断面图	246
第Ⅲ-5-228图	S-133·135·136·138~141土坑 平·断面图	247
第Ⅲ-5-229图	S-144~149·155·157·176·205土坑 平·断面图	248
第Ⅲ-5-230图	S-158·159·162~164·166·169·170土坑 平·断面图	249
第Ⅲ-5-231图	S-177·180·184·185·187·190·195·207土坑 平·断面图	250
第Ⅲ-5-232图	S-198~201·212·215·219·221土坑 平·断面图	251
第Ⅲ-5-233图	S-86·223·236·227·229·230·231·232·235·240·244土坑 平·断面图	252
第Ⅲ-5-234图	S-237·241·250·254·256·273·274·272土坑 平·断面图	253
第Ⅲ-5-235图	S-32段状遺構 平·断面图及び出土遺物	254
第Ⅲ-5-236图	S-44·99·141·147·157·159·170·180·181·199·240土坑 出土遺物	255
第Ⅲ-5-237图	遺構外出土遺物 1	256
第Ⅲ-5-238图	遺構外出土遺物 2	257

插表目次(1区·第1分冊)

第Ⅲ-6-1表	竪穴住居、掘立柱建物、段状遺構、溝、地下式土坑一覽表	258
第Ⅲ-6-2表	土坑一覽表	261
第Ⅲ-6-3表	土器、土製品觀察表	271
第Ⅲ-6-4表	石器觀察表	291
第Ⅲ-6-5表	金屬器觀察表	292
第Ⅲ-6-6表	木器觀察表	292
第Ⅲ-6-7表	出土種子一覽表	292

写真図版目次(1区・第1分冊)

- PL.1 遺跡全景(調査開始前)
- PL.2 遺跡全景、平成27年度調査区全景
- PL.3 平成28年度調査区全景、S-475段状遺構
- PL.4 S-512・464・513段状遺構、S-667・708・709・710土坑
- PL.5 S-727・780段状遺構、S-667・670・708・709・710・720土坑
- PL.6 S-772・785～790・791段状遺構、S-704・755・756・757土坑
- PL.7 S-507・730溝、S-339・456・698・721・723・773土坑
- PL.8 S-766地下式土坑
- PL.9 S-766地下式土坑、S-25・27・41・42溝
- PL.10 S-25～27・30・34・36・173・191溝、S-28土坑
- PL.11 S-976段状遺構、S-29・33・275土坑
- PL.12 S-977地下式土坑
- PL.13 S-977地下式土坑、S-5・67・319・951土坑
- PL.14 S-276段状遺構、S-855土坑
- PL.15 S-982段状遺構
- PL.16 S-983・984段状遺構
- PL.17 S-985・986段状遺構、S-987溝
- PL.18 S-987・988溝
- PL.19 S-285段状遺構、S-989溝
- PL.20 S-283・285・286段状遺構
- PL.21 S-282・292段状遺構、S-294・295土坑
- PL.22 S-299・300・301・305土坑
- PL.23 S-317・333土坑、S-294・295・299・300～303・308・319・332・333土坑周辺完掘
- PL.24 S-287竪穴住居、S-332土坑
- PL.25 S-293・377段状遺構
- PL.26 S-277・278段状遺構、S-362・367・368溝
- PL.27 S-280段状遺構、S-323・345土坑
- PL.28 S-297・369・381段状遺構
- PL.29 S-290・382・427段状遺構
- PL.30 S-425段状遺構、S-405・406溝、S-280・289・290・297段状遺構周辺完掘
- PL.31 S-6・296・298・400・413土坑
- PL.32 S-378・421・450・453・629・913段状遺構
- PL.33 S-1・378・418段状遺構
- PL.34 S-396・448段状遺構、S-410・411土坑
- PL.35 S-436・448段状遺構
- PL.36 S-436・450段状遺構
- PL.37 S-452段状遺構
- PL.38 S-453段状遺構
- PL.39 S-629段状遺構、S-358溝
- PL.40 S-9・11・415・422土坑
- PL.41 S-19・22・415・420・539・540・541・914土坑
- PL.42 S-1・448・450・436・297・280段状遺構周辺完掘
- PL.43 S-835竪穴住居、S-852・799周辺完掘、S-835竪穴住居上層遺構
- PL.44 S-835竪穴住居
- PL.45 S-835竪穴住居
- PL.46 S-835竪穴住居

- PL47 S-846土坑
PL48 S-852·882段状遺構、S-830溝
PL49 S-831·853·833土坑
PL50 S-830溝、S-870·925·933土坑
PL51 S-882·938段状遺構、S-893·897·904土坑
PL52 S-826·859·864·865·875土坑
PL53 S-866·883·860·861土坑
PL54 S-456·874·886·897·917·924土坑
PL55 S-507·730溝、S-339·456·698·721·723·773土坑
PL56 S-799段状遺構
PL57 S-858段状遺構、S-880溝
PL58 S-868·887段状遺構
PL59 S-916段状遺構、S-889·890·892·929·932土坑
PL60 S-916·918·930段状遺構
PL61 S-921·942段状遺構、S-857·950土坑
PL62 S-942段状遺構、S-946·947·958·960·965土坑
PL63 S-942段状遺構、S-935·936土坑
PL64 S-939·974段状遺構、S-940·941土坑
PL65 S-974·976段状遺構
PL66 S-942、S-2·7·519·582段状遺構周辺完掘
PL67 S-7·627段状遺構、S-469土坑
PL68 S-24·544·583段状遺構
PL69 S-582段状遺構、S-572·598·609·621土坑
PL70 S-2·544·582段状遺構
PL71 S-8段状遺構
PL72 S-7段状遺構、S-481·482·495·543·592土坑
PL73 S-519段状遺構、S-492·493·499·569·589·588·590土坑
PL74 S-516段状遺構、S-568·671·672·779土坑
PL75 S-583·627·654段状遺構
PL76 S-662·673·678段状遺構
PL77 S-549·578·579·634·641·645·653·685·716土坑
PL78 S-647·715段状遺構
PL79 S-606竪穴住居、S-519段状遺構周辺完掘、S-547·548·581段状遺構
PL80 S-606竪穴住居、S-558·600·608段状遺構、S-602·603土坑
PL81 S-607段状遺構、S-564土坑
PL82 S-635·636段状遺構、S-574·618·652·668土坑
PL83 S-558·619段状遺構、S-564·624·631·632·638土坑
PL84 S-608段状遺構、S-603土坑
PL85 S-600·608段状遺構
PL86 S-606竪穴住居
PL87 S-606竪穴住居、S-651段状遺構、S-602土坑
PL88 S-706·751段状遺構、S-362·367·368溝
PL89 S-648掘立柱建物
PL90 S-648掘立柱建物、S-515土坑
PL91 S-23·469·546·650土坑、S-445谷
PL92 S-674·675段状遺構、S-445谷
PL93 S-527·674·675段状遺構
PL94 S-725·726段状遺構
PL95 S-725·726·733段状遺構
PL96 S-36~274周辺完掘、S-220竪穴住居

- PL.97 S-220 堅穴住居
- PL.98 S-53 · 208 · 209 · 210 溝、S-53 · 208 · 209 · 210 溝周辺完掘
- PL.99 S-43 · 262 土坑、S-53 · 208 · 209 · 210 溝
- PL.100 S-32 溝、S-40 · 54 · 55 · 126 · 170 土坑
- PL.101 S-5 · 25 · 29 · 30 · 33 · 36 · 67 · 222 · 319 · 456 · 457 · 464 · 643 · 667 · 766 出土遺物
- PL.102 S-276 · 855 · 985 出土遺物
- PL.103 S-310 · 982 · 985 出土遺物
- PL.104 S-276 · 855 · 982 · 983 出土遺物
- PL.105 S-982 · 377 · 421 出土遺物
- PL.106 S-280 · 283 · 287 · 293 · 301 · 305 · 320 · 332 · 982 · 983 · 985 · 988 出土遺物
- PL.107 S-1 · 6 · 289 · 290 · 387 · 398 · 395 · 421、遺構外出土遺物
- PL.108 S-1 · 9 遺構外出土遺物
- PL.109 S-396 · 436 · 448 · 452 · 454 · 518 出土遺物
- PL.110 S-9 · 450 · 452 · 453 · 510 出土遺物
- PL.111 S-9 · 11 · 914 · 415 · 422 出土遺物
- PL.112 S-422 · 444 · 450 · 453 · 500 · 563 · 587 · 804 · 822 · 838 · 913 出土遺物
- PL.113 S-835 出土遺物
- PL.114 S-799 · 858 西側磔層、S-835 出土遺物
- PL.115 S-833 · 846 出土遺物
- PL.116 S-846 出土遺物
- PL.117 S-833 · 853 出土遺物
- PL.118 S-865 · 866 · 897 · 898 · 917 · 925 · 933 出土遺物
- PL.119 S-799 · 865 · 875 出土遺物
- PL.120 S-799 · 858 · 866 · 874 · 883 · 897 · 935 · 936 出土遺物
- PL.121 S-858 · 880 出土遺物
- PL.122 S-2 · 582 · 868 · 890 · 935 · 936 出土遺物
- PL.123 S-24 · 544 · 560 · 609 · 942 · 950 出土遺物
- PL.124 S-2 · 13 · 572 · 582 · 598 出土遺物
- PL.125 S-7 · 8 出土遺物
- PL.126 S-488 · 492 · 516 · 561 · 583 · 627 出土遺物
- PL.127 S-547 · 558 · 564 · 581 · 608 · 662 · 654 · 682 · 695 出土遺物
- PL.128 S-7 · 156 · 515 · 516 · 600 · 606 · 608 · 648 · 706 出土遺物
- PL.129 S-445 · 469 · 546 · 571 · 600 · 608 · 623 · 650 出土遺物
- PL.130 S-445 出土遺物
- PL.131 S-445 出土遺物
- PL.132 S-527 · 674 · 675、黑色·暗褐色包含層、遺構外出土遺物
- PL.133 S-40 · 725 · 726 出土遺物
- PL.134 S-40 · 43 · 220 · 262 出土遺物
- PL.135 S-32 · 44 · 98 · 99 · 141 · 147 · 157 · 159 · 170 · 180 · 181 · 240 · 674、遺構外出土遺物
- PL.136 S-326 · 835 · 420、遺構外出土遺物
- PL.137 S-141 · 275 · 725 · 766、遺構外出土遺物
- PL.138 S-8 · 220 · 445 · 860 · 951 出土遺物

第1章 調査の経緯と経過

第1節 調査に至る経緯

山陰自動車道は、鳥取県鳥取市を起点とし、山口県美祢市を終点とする、延長約380キロメートルの自動車専用道路である。この道路は、鳥取・鳥根・山口3県の主要都市を東西に結び、山陰地方の産業経済の発展や観光振興、交通渋滞の解消と緩和、災害時の緊急輸送路の確保を目的として、国土交通省により整備が進められている。鳥取西道路は、山陰自動車道のうち鳥取市本高と鳥取市青谷町青谷を結ぶ全長19.3kmの区間で、鳥取インターチェンジで鳥取自動車道(中国横断自動車道姫路鳥取線)に、青谷インターチェンジで国道9号「青谷・羽合道路」に接続し、高速道路ネットワークの一翼を担う。

鳥取西道路の計画地内には周知の埋蔵文化財包蔵地が数多く認められていたため、道路建設工事に先立って国土交通省、鳥取県、鳥取市で協議し、計画地内に存在する埋蔵文化財の状況を把握する必要性が確認された。そこで、平成17年度からは計画地内の路査(分布調査)や鳥取市教育委員会による試掘調査及び確認調査が進められ、調査結果に基づき道路事業と埋蔵文化財保護との調整が図られている。

乙亥正屋敷廻遺跡は、浜村川中流域西岸の沖積平野に面した丘陵斜面部とその丘陵に囲まれた谷部に位置する(第I-1-1-2図)。平成24・25年度に鳥取市教育委員会が文化庁の国庫補助と県費補助を受けて試掘調査及び確認調査を行った。その結果、弥生時代から中近世にかけての遺構、遺物が確認されたため、遺跡に影響を及ぼす市道重山線以西の道路工事施工範囲3,900mを対象として記録保存のための発掘調査が行われることになり、文化財保護法第94条による手続きを経た後、平成26年度から鳥取県埋蔵文化財センターが国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所の委託を受けて発



第I-1-1-1図 鳥取西道路の路線図と調査地

第1章 調査の経緯と経過

掘調査を実施することとなった。なお、調査実施に伴い、当初調査範囲よりも遺跡が広がっていることが確認されたこと、また工事計画内容の変更があったことから、平成26年度に鳥取市教育委員会が実施した試掘・確認調査結果を踏まえ、市道重山線以東の1,000㎡と丘陵斜面部1,180㎡が調査範囲に追加され、最終的な調査面積は6,080㎡となった。なお、同じく鳥取市道路の計画地内に位置し、乙亥正屋敷廻遺跡と近接する重山墳墓群と乙亥正城跡・乙亥正小川谷遺跡の調査は、平成26年と平成28年に公益財団法人鳥取市文化財団により実施されている。

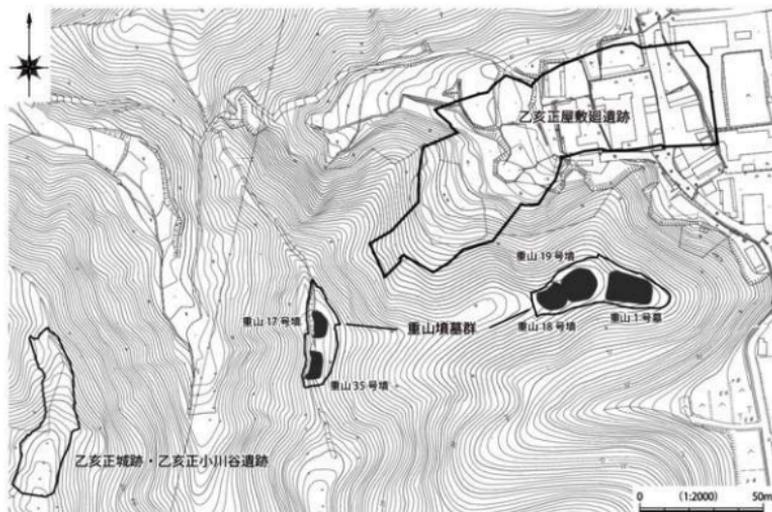
発掘調査に当たっては、発掘作業、調査記録作業等について、平成26年度は乙亥正屋敷廻遺跡発掘調査支援業務委託共同企業体（アート・大地企画）、平成27年度はアコード・アイテック埋蔵文化財発掘調査支援業務委託共同企業体、平成28年度は株式会社ノガミ・株式会社広洋コンサルタント共同企業体の支援をそれぞれ受けた。

第2節 発掘調査の方法と経過

1 調査区の名称と調査方法(第I-2-1図)

乙亥正屋敷廻遺跡の調査前の状況は宅地・山林である。調査は丘陵斜面部となる山林部分を追加調査範囲も含めて1区、丘陵に囲まれた谷部を階段状に造成した宅地部分を2区、追加調査範囲となった市道重山線以東の宅地部分を3区とした。なお、2区については調査工程上、2区北と2区南に便宜的に分けることとした。

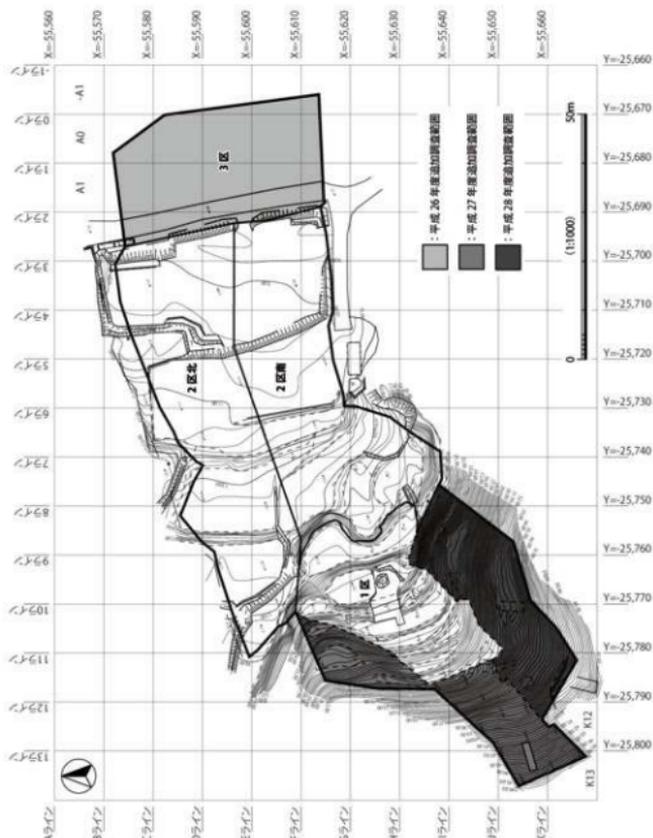
当初調査範囲に係る調査前地形測量及び調査前空撮は、平成25年度末に業者委託により実施した。その後追加となった範囲の調査前地形測量は、該当調査年度に支援業者により実施した。なお、3区については、平坦な宅地であり大きな比高差が認められないことから、地形測量は行っていない。



第I-1-2図 調査地の位置

平成26年度表土剥ぎ終了後、世界測地系国土地標第V系に載るように調査区内に10m方眼の基準杭を設定しグリッドを設けている。この時点において、3区の調査は予定されていなかったため、 $X = -55,560\text{m}$ ・ $Y = -25,680\text{m}$ の交点を基点とし、南北方向にアルファベット、東西方向に算用数字(3区についてはマイナスを付加)を用い、各交点の北東杭名を採った。座標は、1区はほぼ中央H10杭 $X = -55,630\text{m}$ ・ $Y = -25,770\text{m}$ 、2区はほぼ中央E6杭 $X = -55,600\text{m}$ ・ $Y = -25,730\text{m}$ 、3区はほぼ中央D1杭 $X = -55,590\text{m}$ ・ $Y = -25,680\text{m}$ などである。

検出した遺構・遺物の記録には、トータルステーションによる電子測量を現地で行い、CADを使用し図面作成を行った。また、必要に応じて写真測量も併用している。現地での写真撮影及び遺物写真撮影は、35mm判、ブローニー(6×7)判カメラを用い、白黒ネガフィルム並びにカラーポジフィルムを使用し、現地においてはデジタル一眼レフカメラも使用した。航空写真撮影については、ブローニー(6×6)判カメラを用い、白黒ネガフィルム並びにカラーポジフィルムを使用するとともに、併



第I-2-1図 調査区名称とグリッド配置及び調査前地形測量図

せてデジタル一眼レフカメラも使用した。

2 発掘調査の経過(第I-2-2図)

乙亥正屋敷廻遺跡の発掘調査は、当初計画では平成26年度で全ての調査を終える予定であった。しかし、調査面数の増加と調査範囲の追加等により、平成28年度9月まで調査期間が延長されることとなった。この調査期間延長に伴い、鳥取西道路関連工事との調整を図った結果、平成26年度は1区及び2区北側の一部、3区全域の調査、平成27年度は追加範囲も含めた1区全域と2区南側の一部の調査、平成28年度は新たに追加された1区と2区全域の調査を行うこととなった。なお、平成28年度2区の調査に関しては、鳥取西道路工事工程により6月末までの調査期間となったため、調査範囲全面を面的に掘り下げることはできず、部分的に最終面まで掘り下げるといった内容確認調査に留めざるを得なかった。以下に各年度における発掘調査経過の概要を述べる。

【平成26年度】

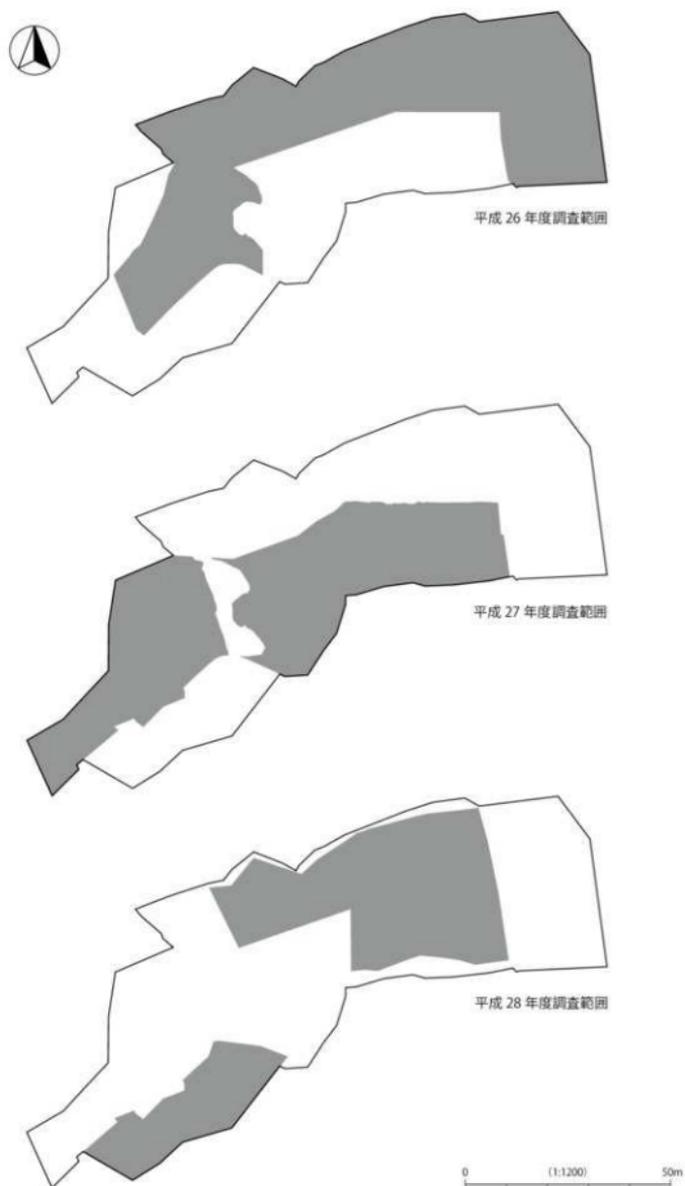
平成26年度は当初調査範囲全域の表土掘削を4月8日に1区側から開始し、発掘作業員による人力掘削は、表土掘削と並行する形で4月17日から着手した。人力掘削は1区の平面精査に併せ、基本層序を把握するためのトレンチ掘削を先行する形で行っている。その後、5月9日に表土掘削は終了し、5月13日には調査区内排水溝も兼ねた2区のトレンチ掘削に着手した。調査を進める中で、8月5日には2区近現代の攪乱溝(流路)内で八禽鏡の破鏡が出土している。なお、2区の遺構面数が増加し、遺跡が調査範囲外に広がることも明らかとなったことから、26年度の調査は、1区の一部と2区北側、3区について実施する計画に変更され、8月26日に3区の表土掘削に着手した。この後、9月9日に1区の26年度調査を終え、翌9月10日から3区の排水溝掘削に着手した。その後、11月22日に2区北側調査途中段階の空撮、11月30日に地元住民の方を対象とした出土遺物の公開を行い、3区は12月25日まで、2区北側については平成27年2月6日まで調査を継続し26年度の現地調査を終えた。

【平成27年度】

平成27年度は4月9日に2区南側現地調査に着手し、追加となった1区について、調査前地形測量を行った後、4月27日から5月13日まで表土掘削を行った。この間、5月7日に2区南側で巴形銅器が出土し、6月1日に記者公開を開催した。8月8日には、鳥取西道路の建設や開発に伴い実施している埋蔵文化財発掘調査について、その実際を伝え、内容を知っていただくことで、鳥取西道路事業への理解を深めてもらうことを目的とした発掘体験を、国土交通省鳥取河川国道事務所及び鳥取県県土整備部と共催で、親子20名参加のもと開催した。調査期間等との関係で、部分的な掘り下げに留めざるを得ない範囲も生じたが、11月21日に空撮を実施し、1区は12月14日、2区南側は12月24日まで調査を継続して27年度の現地調査を終えた。

【平成28年度】

平成28年度は4月8日に2区の現地調査に着手し、新たに追加となった1区について、調査前地形測量を行った後、4月26日から5月23日まで表土掘削を行った。1区と2区の調査は併行したが、2区の調査期間が限られているため、調査の重点を2区に置いた上で、調査期限である6月末までの間に、できるだけ多くの情報を引き出すことを目的とし、範囲を限定して面的な掘り下げを進める形を取った。その後、7月1日に2区調査終了時での空撮を実施し、補足調査を7月8日まで行い2区の現地調査を終えた。1区については、その後も調査を継続し、9月16日に調査後空撮を実施した後、9月27日で全ての現地調査を終了した。



第I-2-2図 年度別調査範囲

第3節 乙亥正屋敷廻遺跡出土土器の時期区分について

鳥取県東部では、湖山池東岸の地域を中心に出土した土器で編年(谷口1991・2000、松井1997)が提示されてきた。一方、湖山池西岸では本遺跡よりも西にある青谷上寺地遺跡で、甕の口縁部形態の変遷が提示されている(河合2009)。

今回の調査では、弥生時代中期から古墳時代後期にかけての土器が出土し、特に弥生時代後期後葉から古墳時代前期中葉にかけて完形に近い土器が多数出土した。それらの中でも特に遺構の集中する時期とそれらと前後する時期を含めて、ある程度の連続性がある弥生時代中期中葉から古墳時代前期中葉の土器についてⅠ～Ⅹ期に区分し、本報告における時期区分とする。

なお、今回編年に用いた資料の内、Ⅰ～Ⅴ期については、最終面まで調査した範囲が狭いため、資料数が少なく特定の遺構からまとまった資料が得られたわけではないので、従来の編年観(清水1992)に照らし合わせて遺跡内から出土した土器を当てはめたものである。Ⅵ期以降については、落ち込みや包含層からまとまって出土したものを中心に用いた。厳密には一括資料とは言えないが、特定の範囲内から非常に密集してほぼ完形の状態で出土したものである。

【Ⅰ期】

甕(11-114)が1点出土したのみである。くの字に外方に伸びる口縁端部を若干肥厚させる。口縁内面はナデ、胴部はタテハケにより調整する。最終面まで調査を行った谷(2S-840)の下層から出土したものである。

【Ⅱ期】

甕の口縁部は内傾して上下に拡張し、2～3条程度の凹線文を施す。凹線文の上から浮文を張り付けるものもある(中-2)。内面調整は肩部付近までケズリが行われているが、頸部と肩部の間はハケによる調整である。細分は可能だが、資料数も少なく、当該期の遺構面がないので、細分せずに一時期にまとめた。

【Ⅲ期】

Ⅱ期と比べて甕の口縁部が内傾からやや直立気味になり、内面のケズリ調整が頸部まで上がる。甕は、3区の包含層から出土したもので、内径する口縁部に3条の凹線文を施す。頸部内面は、ケズリの後でミガキを施す。

【Ⅳ期】

甕、甕ともに口縁部は直立し、上方に伸びる。口縁部の平行沈線文は、貝殻腹線などが用いられるようになり、多条化がはじまる。

【Ⅴ期】

甕の口縁部は外傾して上方に拡張され、平行沈線文の多条化が著しい。平行沈線文の施文後にナデ、ミガキが施される。施文によるバリの除去などが行われていると考えられる。口縁部下端は下方に短く突出する。肩部には上から順に平行沈線文、波状文、平行沈線文が施文される。ほかには、貝

殻腹縁文やハケ状工具、棒状工具による刺突文を施すものもある。胴部外面はハケで調整後ミガキが施されるものもある。口縁部内面は、ナデで仕上げられるもののほかに、ミガキ調整が行われるものがある。

壺の口縁部も甕と同様に、上外方に伸ばして、多条平行沈線文を施す。台付裝飾壺(11-110)は外面に赤彩を施す。外面のスタンプ文には、銅鐸の耳状文が施される。

器台の受け部、脚裾部は外湾気味に拡張され、多条平行沈線文を施す。

この時期の資料数は豊富にあり、型式学的に細分できるが、一括資料ないしそれに準じる程度の出土状況を示す資料がこの遺跡では確認できなかった。今後、周辺地域での調査が進むことで細分できると考えられる。

【VI期】

壺は口縁部の多条平行沈線文がナデにより消えて、下端の突出が顕著でなくなる。

甕も壺と同様に口縁部の下端の突出は顕著でなくなる。口縁部外面の多条平行沈線文は、施文後のナデ調整により消えるようになり、痕跡として浅い沈線が残存することもある。胴部外面の波状文は、V期に比べて粗雑になり、波の下端から左上の上端への施文が潰れて斜め左下がりの沈線状に見える個体が多く見られる。

器台は脚柱部が短くなり、受け部と脚裾部が大きく拡張され、平行沈線文がなくなる。

これらの資料は、1区の段状遺構(S-276、982)などから出土したものと、2区E4グリッドのX層と2S-840中層などから出土したものである。

【VII期】

この時期以降、資料が豊富になることから甕には、大、中、小の3つの大きさが認められるようになる。大型のものは口径20cm前後、中型は口径15cm前後、小型のものはこの時期の良好な資料は無いが次時期のものを参考にする口径10cm前後と推測できる。大型と小型のものは少なく、中型のものが最も多く出土する。全体的なプロポーションは肩の張った倒卵形で、底部と胴部の境は丸みを帯びる。底部の幅は狭く、丸みを帯びた平底である。VI期よりも口縁部は薄くなり、端部は丸く仕上げられる。前時期に口縁部外面に認められた平行沈線文のナデ消しはなくなり、無文になる。一次口縁と二次口縁の接続部分は、下方に突出することなく、水平ないし若干斜めに先端を尖らせてつまみ出される程度である。外面はタテハケ調整の後、頸部からやや下がった位置に十数条の平行沈線文を施文し、その下に波状文を施す。波状文は前時期よりも山と山の間隔が広がり、上端と下端の差が緩やかになる。口縁部内面はナデ調整、胴部はケズリ調整である。頸部の削りのラインは若干下がり、ケズリの方向は右方向のものが目立つようになる。なお、5-343は近畿北部系の可能性がある¹¹⁾。

壺は、良好な資料が無くV-4層から出土したものを参考資料として提示している。口縁部は前時期よりも上方に外湾気味に拡張する。口縁部下端はわずかに下方に突出する程度で、突出させない個体もある。

高坏の坏部は、底部から内湾気味に立ち上がり、中ほどに形成される稜を境に外湾気味に外方に開いて立ち上がる。内外面ともにミガキ調整である。脚部の良好な資料は無いが、脚柱部から裾部へ緩

第1章 調査の経緯と経過

やかに広がる。外面はハケ、脚柱部内面はケズリ、裾部内面はハケ調整である。

低脚環は、深めの皿形の坏部に短い脚部が付く。

器台は、脚柱部がさらに短くなり、全体の器高が低くなる。

これらの資料は、第5面で調査した3S-39(流路)の下層の泥炭質シルト層からまとまって出土したものである。3S-39の一部として調査したが、本来はより下位の遺構面に帰属するものが、流路により浸食されて露出したものと考えられる。

【Ⅶ期】

この時期の資料は、全体的に灰白色を呈し、甕はかなり薄く作られている。

壺は、複合口縁壺(6-031、033)、直口壺(6-037、038)、台付装飾壺(6-065)の3種類がある。複合口縁のもの、外傾する口縁端部を細く丸く仕上げるものと、やや内傾する弱い端面を形成するものがある。頸部直下には、平行沈線文、波状文、平行沈線文の順に施文されるものがある。他の個体では、平行沈線文が省略される個体も目立つ。平行沈線文と波状文は一筆書きの要領で施文される。

直口壺は外方に直立する頸部からそのまま端部を丸く収めるものと、口縁部を外湾させて開くものがある。

台付装飾壺は赤彩されたもので、口縁部には2孔1対の蓋受けの穴がある。外面は丁寧にミガキ調整され、平行沈線文の間に羽状文などが施文される²⁾。

甕は、肩部の張りがやや弱くなり、胴部最大径の位置が若干下がる。底部と胴部の境はほとんど認識できないようになるものが多くなる。ただし、特に大型のもの(6-043)は、丸みを帯びた平底が残り、前時期の特徴を引きずる。口縁端部は壺と同様に丸く収めるものと面を成すものが認められる。一次口縁と二次口縁の接合部は水平方向に先鋭につまみだされ、一次口縁と二次口縁の境に稜を成す。外面の施文は、波状文を省略するものや、平行沈線文を省略した個体が多い。平行沈線文と波状文は一筆書きの要領で施文される。内面は底部から胴部下半には指押さえの痕跡が認められる。

小型の甕は、胴部最大径が器高の半程か若干上にあり、張りがある。

高坏は、坏部の形態が3種類ある。坏部が皿状のもの(6-069)は、底部から口縁部にかけて緩やかに立ち上がる。もう一方の坏部(6-070)は、底部と口縁部の境に、水平に突出部があり、甕の口縁部形態に類似する。いずれもミガキ調整で仕上げる。脚柱部と脚裾部は緩やかに屈曲し脚端部は面を成す。脚柱部外面は幅5mm前後の工具でナデ整形された稜が残る。内面は削り、裾部はハケ調整である。塊形(6-067、068)の坏部のもは、やや短めのハの字の高台が付く。

低脚環は、皿形(6-072、075)の坏部のもがある。皿形のもは、前時期から引き続き認められるもので、大小2種類認められる。また、深さがより浅くなる。皿形のものには、ほかに底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がるものも認められる。

器台は、前時期よりも受け部、裾部共に外側に開き器高を減じる。

これらの資料は、F6グリッドのV-3層及び南側溝掘削時に出土したもので、遺構内から出土したものではないが、径2~3mの範囲に密集してその場で潰れたような状態でまとまって出土したものである。明らかにⅦ期の大型の甕が1点含まれていたが、そのほかはそれ程明瞭な時期差はないと考えられる資料である。

【Ⅸ期】

複合口縁壺は、胴部最大径の位置が下がり、底部はほぼ丸底のもの(5-179)と、胴部との境に弱い稜が残る丸みを帯びた平底のもの(5-180)がある。口縁端部は面を成し、外側ないし内側に肥厚させる。また、前時期よりも外傾して外側に開く。他には頸部に突帯を巡らせるものがある(5-182)。前時期には認められた波状文はこの時期には認められず、平行沈線文と刺突文が認められるのみである。なお、5-182の形態的特徴は在地のものではない可能性が高い。

甕は、前時期と同様に3つの大きさのものがある。大型のものは胴部最大径が下がるとはいえ、長胴の倒卵形で底部は丸みを帯びた平底である。中型のものは、胴部最大径が器高の中ほどまで下がり、底部も丸底になる。口縁部は前時期よりも短くなり、端部は面を成す。一次口縁部はやや丸みを帯びた直線ないし内湾気味になる。壺と同様にこの時期以降、波状文はほとんど認められない。施文は、平行沈線文のみか、刺突文を伴う場合がある。また、肩部から胴部中程にかけて、横ハケで仕上げるものが多くなり、平行沈線文と同様に肩部に横ハケを1周巡らせるものが認められるようになる。

小型の甕も胴部最大径の位置が器高の中程かそれより若干下がり、前時期よりも胴部の張りが弱く、全体的にやや丸みを帯びる。

高坏は、坏部が皿形のものがある。底部と体部との境は前時期よりもより屈曲が強くなり、脚柱部と裾部も同様に屈曲が強くなる。坏部は碗形で、端部は外傾する面を成す。内外面ともにミガキで仕上げる。ほかには、脚裾部が低く大きく外側に広がる高坏がある。布留系高坏の脚部と考えられる。

低脚坏は、碗形の坏部のものがある。

器台は、前時期よりも脚柱部が若干短くなり、受け部と裾部が一層外側に開いて器高を減じる。また、この時期以降、小型器台(5-215)が組成に加わるようになる。

これらの資料は、第5面(V-2層下面)で検出した2S-730という、流路際にできた落ち込み内の資料である。出土状況などは第4章に記載したが、湿地状態の落ち込み内にはほぼ完形の土器がまともに廃棄されたものである。

【Ⅹ期】

壺には、複合口縁壺(4-147、148)と直口壺(4-145、146)がある。複合口縁壺の形態的特徴は、前時期と同様の特徴を示すが、口縁部がやや短くなり、外傾が強くなる。

甕は、胴部がより一層丸みを帯び、口縁部は短く厚くなり、端部は面をなし肥厚する。一次口縁と二次口縁の接合部には沈線文状の凹みが認められる。器壁は厚くなる。外面の平行沈線文は施文しないものが多く、肩部から胴部中ほどは横ハケが顕著になり、平行沈線文状に一周するものがある。刺突文が認められるものもあるが、全周しないものや、間隔、高さや傾きが一定しない粗雑なものが多い。内面調整は、底部から胴部中程までに指押さえが顕著に認められるものがある。

高坏は、前時期より一層底部から体部への立ち上がりの屈曲が強くなる。脚柱部と裾部との境もより強く屈曲するようになる。

低脚坏は坏部が皿形のものがある。前時期と同様に小型器台も認められる。

器台は、受け部、脚裾部の外傾が強くなり、器高を減じるものもあるが、外見上の前時期との差は

顕著ではない。

これらの資料は、第4面(V層下面)で検出した2S-637出土資料である。本遺構は、Ⅸ期の2S-730との間に土壌層(V-2層)を介在させてほぼその直上で検出した湿地状の落ち込みである。ほぼ完成の土器がまとまって出土した。

以上が、弥生時代中期中葉から古墳時代前期中葉の乙亥正屋敷廻遺跡出土土器による時期区分である。ここで提示した時期区分がこれまで各研究者により提示されてきた時期分とどのように対比できるか、あるいは弥生時代と古墳時代の境をどこにおくかといったことは、調査担当者により見解の相違があるので、詳細はここでは記載しないが、共通理解としてⅠ期は清水編年のⅢ様式、Ⅴ期はⅤ-3様式、Ⅹ期は古墳時代前期中葉に概ね相当すると考えている。(馬路)

註

- 1) 松井潔氏のご教示による。
- 2) Ⅶ期に属する可能性もあるが、出土状況を重視してこの時期に帰属させた。今後、他遺跡も含めて良好な一括資料を検討する機会があれば改めて検討したい。

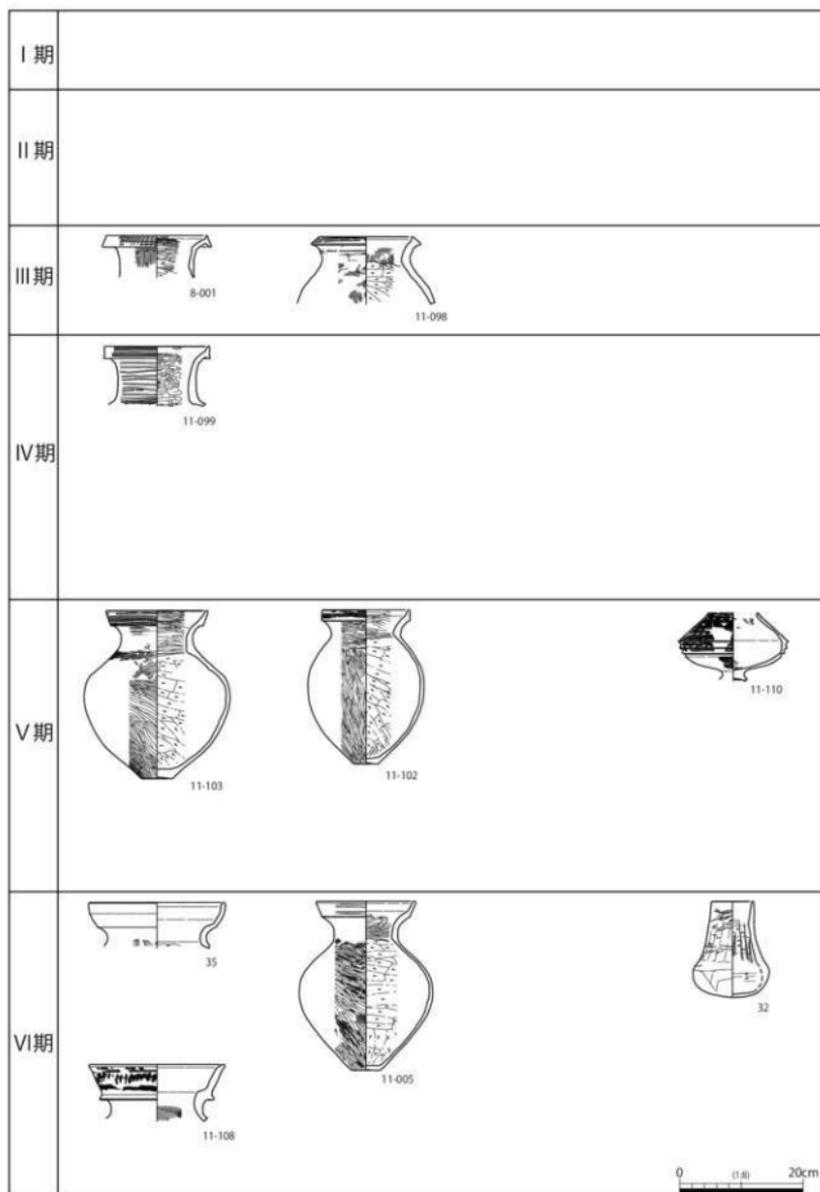
河合章行2009「第5章第1節 弥生時代後期から古墳時代前期初頭の甕について」鳥取県埋蔵文化財センター編『青谷上寺地遺跡10』175-180頁

清水真一1992「因幡・伯耆地域」正岡睦夫・松本岩雄編『弥生土器の様式と編年』木耳社355-412頁

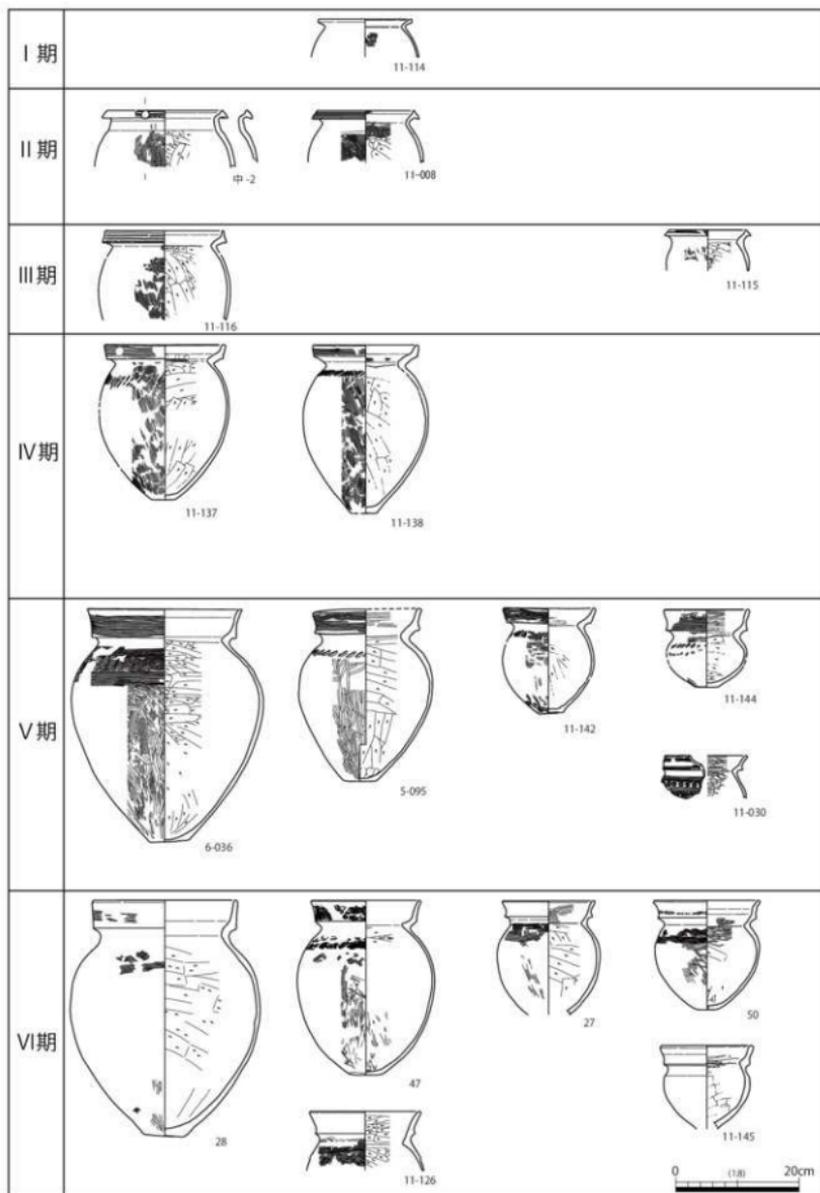
谷口恭子1991「土器」鳥取市教育委員会他編『鳥取市文化財報告書30 岩吉遺跡Ⅲ』285-308頁

谷口恭子2000「因幡における弥生時代後期から庄内式並行期の土器について」庄内式土器研究会編『庄内式土器研究ⅩⅩⅢ-庄内式併行期の土器生産とその動き-』89-104頁

松井潔1997「東の土器 南の土器」『古代吉備』第19集 古代吉備研究会40-67頁



第I-3-1図 I~VI期の壺

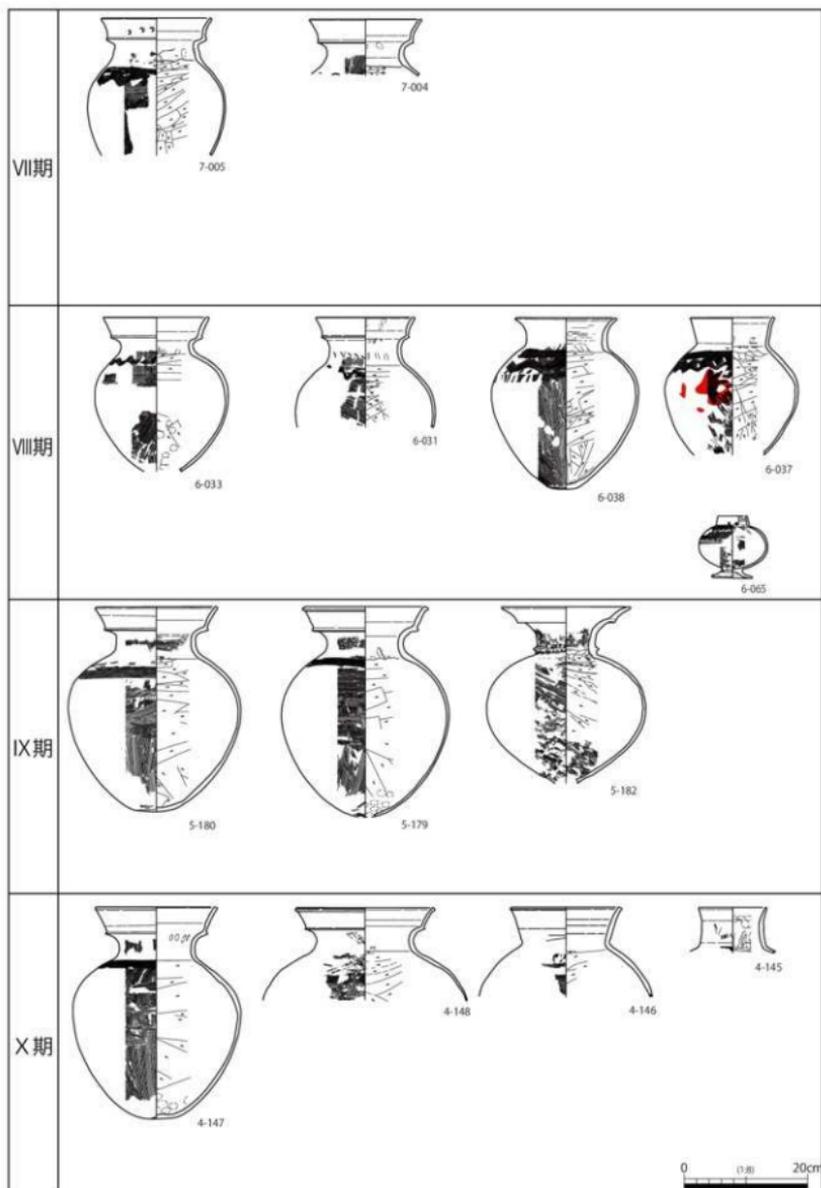


第I-3-2図 I~VI期の甕

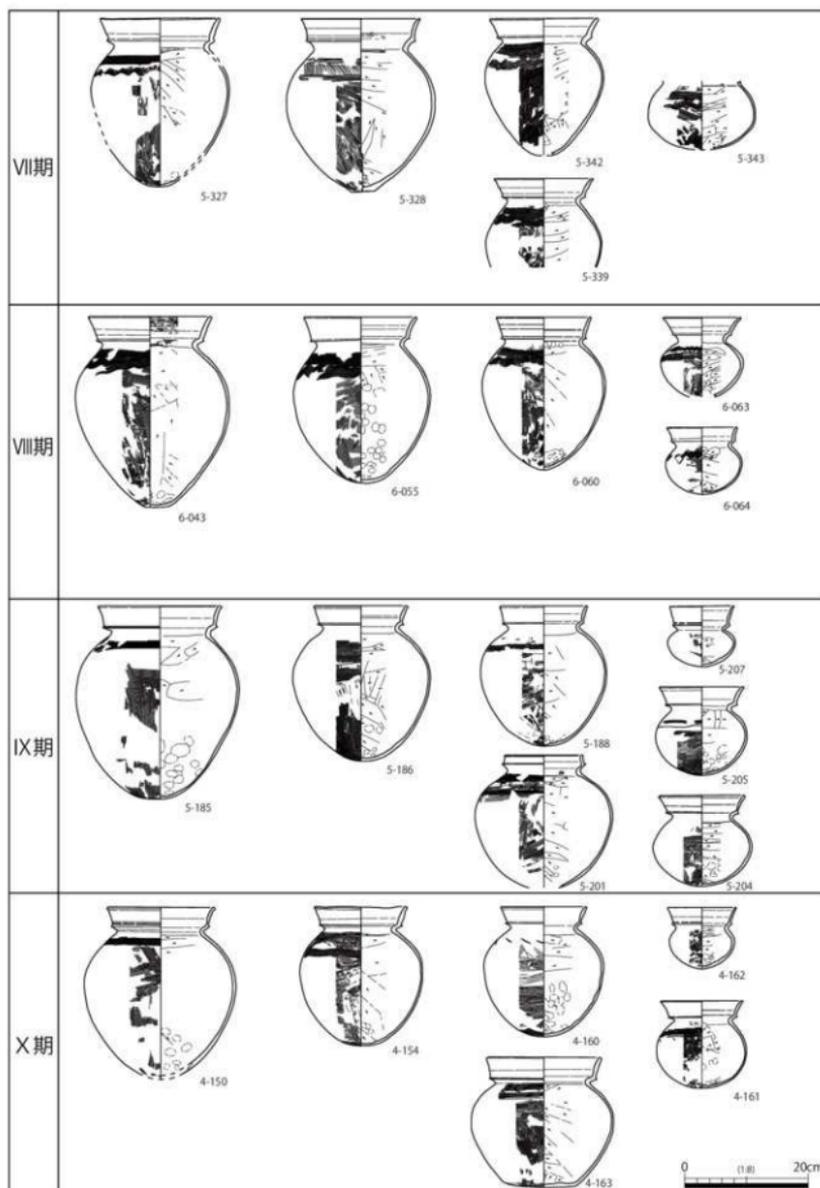
I期	
II期	
III期	
IV期	
V期	
VI期	



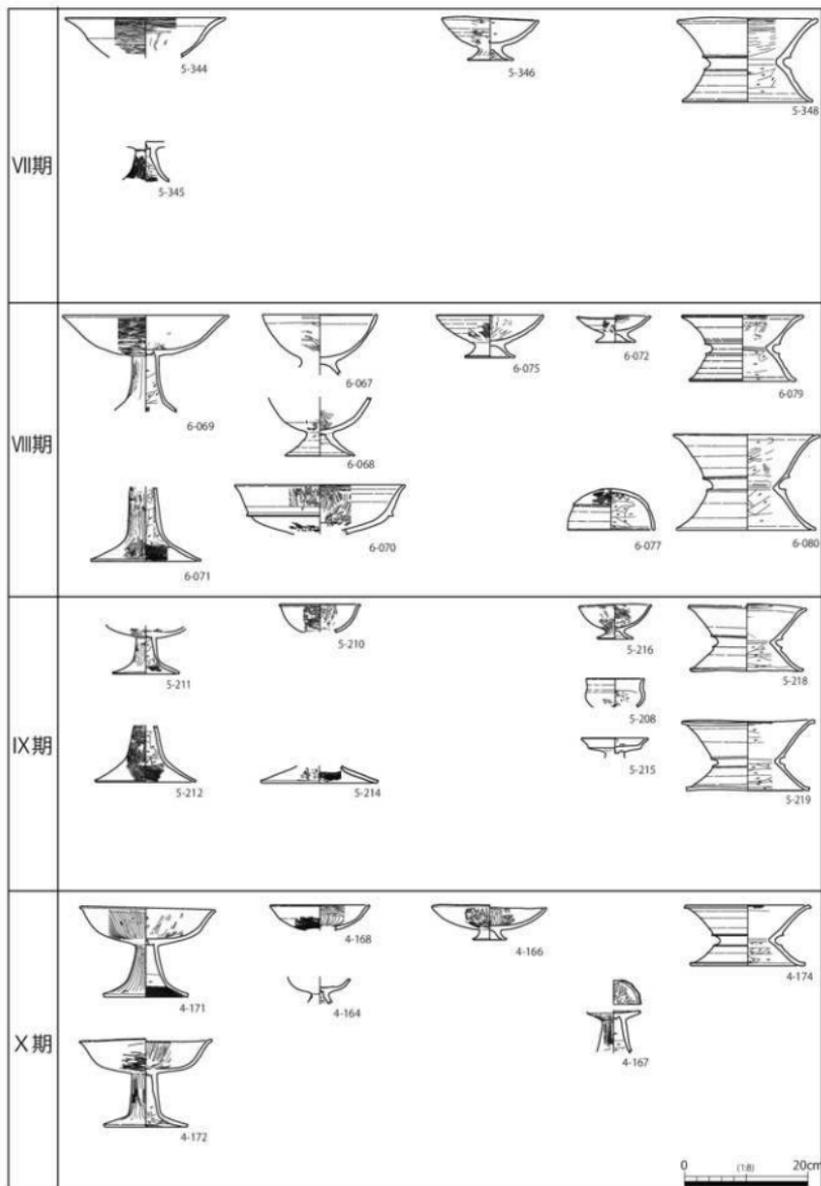
第I-3-3図 I～VI期の高坏、器台など



第I-3-4図 VII~X期の壺



第I-3-5図 VII~X期の壺



0 (1/8) 20cm

第I-3-6図 VII~X期の高坏、低脚坏、器台など

第4節 調査体制

以下の体制で調査及び報告書作成を行った。

平成26年度

鳥取県埋蔵文化財センター			
所長	中原	齊	
次長	中村	靖浩	
(兼総務係長)			
総務係			
係長	白岩	準市	
主事	松浦	広美	
事務職員	坂本真奈美、	高橋 優	
事務補助	市村	篤則	
発掘事業室			
室長	山栴	雅美	
(兼調整係長)			
調整担当			
発掘調査員	長谷	琢也	
事務補助	中村	ゆかり	
調査担当(気高調査事務所)			
係長	原田	雅弘	
(主任発掘調査監理者)			
文化財主事	馬路	晃祥、岩垣 命	
(発掘調査監理者)			

平成28年度

鳥取県埋蔵文化財センター			
所長	中原	齊	
次長	近藤	健	
(兼総務係長)			
総務係			
係長	港	浩二	
主事	水本	優子	
事務職員	坂本真奈美、	中森 貴子	
事務補助	西澤	直子 (10月まで)	
発掘事業室			
室長	松井	潔	
(兼調整係長)			
調整担当			
文化財主事	岩垣	命	
発掘調査員	平井	克知	
調査担当(気高調査事務所)			
係長	原田	雅弘	
(主任発掘調査監理者)			
文化財主事	荒川	和哉、岡野 雅則	
(発掘調査監理者)	馬路	晃祥	

平成27年度

鳥取県埋蔵文化財センター			
所長	中原	齊	
次長	近藤	健	
(兼総務係長)			
総務係			
係長	白岩	準市	
主事	岡	梓	
事務職員	坂本真奈美、	高橋 優	
事務補助	植木	朋子	
発掘事業室			
室長	山栴	雅美	
(兼調整係長)			
調整担当			
文化財主事	岩垣	命	
発掘調査員	平井	克知	
調査担当(気高調査事務所)			
係長	原田	雅弘	
(主任発掘調査監理者)			
文化財主事	岡野	雅則、馬路 晃祥	
(発掘調査監理者)			

平成29年度

鳥取県埋蔵文化財センター			
所長	中原	齊	
次長	近藤	健	
(兼総務係長)			
総務係			
係長	港	浩二	
主事	水本	優子	
事務職員	坂本真奈美、	中森 貴子	
発掘事業室			
室長	松井	潔	
文化財主事兼係長	小山	浩和	
発掘調査員	平井	克知	
積善分館			
係長	原田	雅弘	
文化財主事	岡野	雅則、馬路 晃祥	

第1章 調査の経緯と経過

平成30年度

鳥取県埋蔵文化財センター

所長	北村 順一
次長	高田 章弘
(兼総務係長)	
総務係	
係長	港 浩二
主事	林 裕美子
事務職員	濱田 泉、原田 康孝
発掘事業室	
室長	松井 潔
係長	原田 雅弘
文化財主事兼係長	小山 浩和
文化財主事	岡野 雅則、馬路 晃祥
発掘調査員	平井 克知

発掘調査支援調査業者

平成26年度

乙亥正屋敷廻遺跡発掘調査支援業務委託共同企業体(アート・大地企画)

現場代理人: 浅野光生

現場副代理人: 井本修一

支援調査員: 小泉信吾(5月まで)・西森忠幸(6月から)・濱田教晴(7月まで)・佐々木正治(8月から)・大谷祐司(9月から10月まで)・市田英介(11月から)

調査補助員: 豊島威信・藤原涉・友綱あんり(7・8月)・金子誠(9月から1月)・辻弘和(11月から)・中野裕太(11月から)・山中吾朗(1月から)

平成27年度

Aコード・アイテック埋蔵文化財発掘調査支援業務委託共同企業体

現場代理人: 原田幹夫

現場副代理人: 戸田志功

支援調査員: 鳥貫満・高居芳美・西村匡広

調査補助員: 今村悟(11月まで)・田村和久・林貴光・原進・稲垣耕作(10月から)・田邊好(10月から)・福井露子(10月から)

平成28年度

株式会社ノガミ・株式会社広洋コンサルタント共同企業体

現場代理人: 丸山宏則

現場副代理人: 山根明

支援調査員: 秋山真好・小村正之・藤本隆之・田之上裕子(10月まで)・林邦雄(9月から11月まで)

調査補助員: 上田優喜(9月まで)・斉藤泰洋(10月まで)・高尾将矢(10月まで)・高野恒一(10月まで)・山中吾朗・山辺和則・山下瑛梨香(9月から11月まで)

調査協力

国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所

鳥取県県土整備部 鳥取県土整備事務所

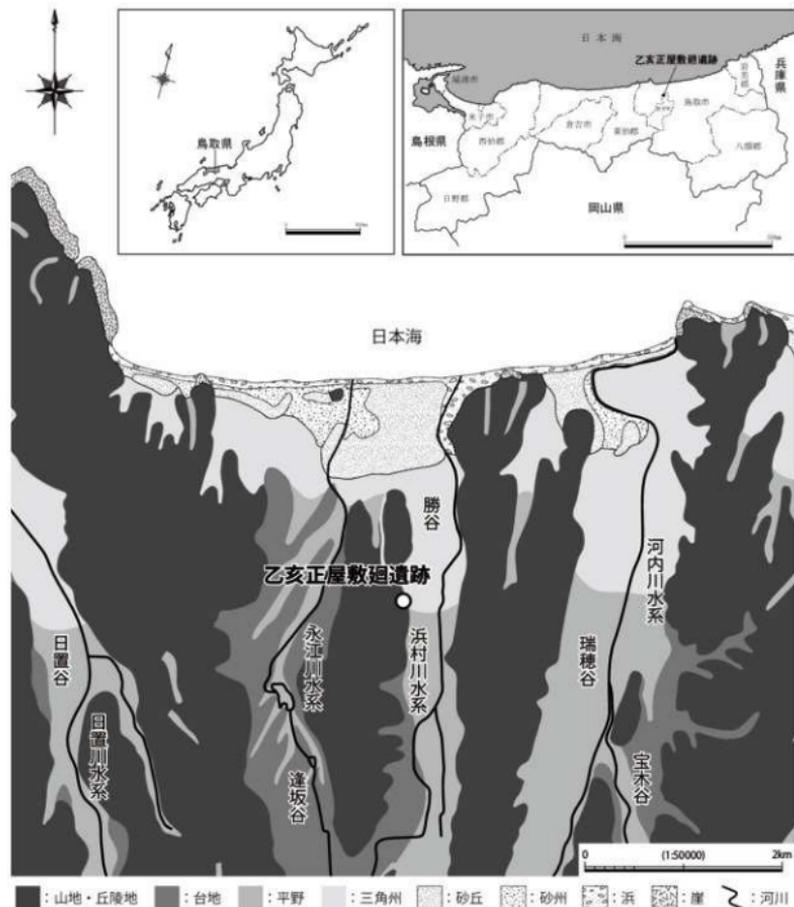
鳥取市教育委員会

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

乙亥正屋敷遺跡が所在する鹿野町は、鳥取県東部、県庁所在地である鳥取市の西部に位置する。平成16年の鳥取市との合併以前は隣接する青谷町、気高町とともに気高郡に属し、鹿野町はその南部域にあたる。町域は東西9.1km、南北14kmで、総面積は52.83miである。

鹿野町の地勢は中国山地から派生した独立峰である鷲峰山(920.6m)に代表される山地と河川の浸食によって形成された谷底平野からなるが、山地が大部分を占めている。河川は鷲峰山を水源とする



第Ⅱ-1-1図 遺跡の位置と周辺地形

河内川が本流をなし、永江川や浜村川、末用川の支流が北へ派生し、逢坂谷、勝谷、宝木谷、瑞穂谷の河谷平野を開析している。河内川は第四紀沖積世中葉まで流下していた逢坂谷から勝谷へと流れを変えたとみられ、現在では宝木・瑞穂谷を通水し、日本海へと注いでいる。沿岸部の河口付近には砂丘が発達し、日光池や水尻池などの潟湖が数多く形成されたとみられるが、その多くは干拓により現在は水田となっている。

乙亥正屋敷廻遺跡は勝谷に位置し、海岸線から2kmほど内陸にある標高約7～46mの丘陵と丘陵に囲まれた谷部に立地する。平野を挟んだ東側の丘陵裾部には集落跡である乙亥正大角遺跡が営まれている。

第2節 歴史的環境

旧石器・縄文時代

当該地域では旧石器時代の遺構や遺物は今のところ見つからない。

縄文時代は草創期では八東水の砂丘地で黒曜石製の有茎尖頭器が、閉野では局部磨製石斧が採集されている。早・前期では遺構は確認されていないが、僅かに柄杓目遺跡(76)で早期の押型土器を確認することができる。中期では土井11号墳の調査で土坑が検出され、浜村砂丘の短尾遺跡(21)では当該期の土器が出土している。後期は山宮茶山畑遺跡(27)で土器が出土しているにすぎないが、晩期に入ると、集落や狩猟場的一端を窺うことができるようになる。山宮笹尾遺跡(26)では落し穴や炉跡などの遺構が検出された他、黒曜石やサヌカイト製石鏃、蛇紋岩製首飾りなどが出土している。常松管田遺跡(4)では焚火跡と考えられる土坑や土器溜が確認されている。

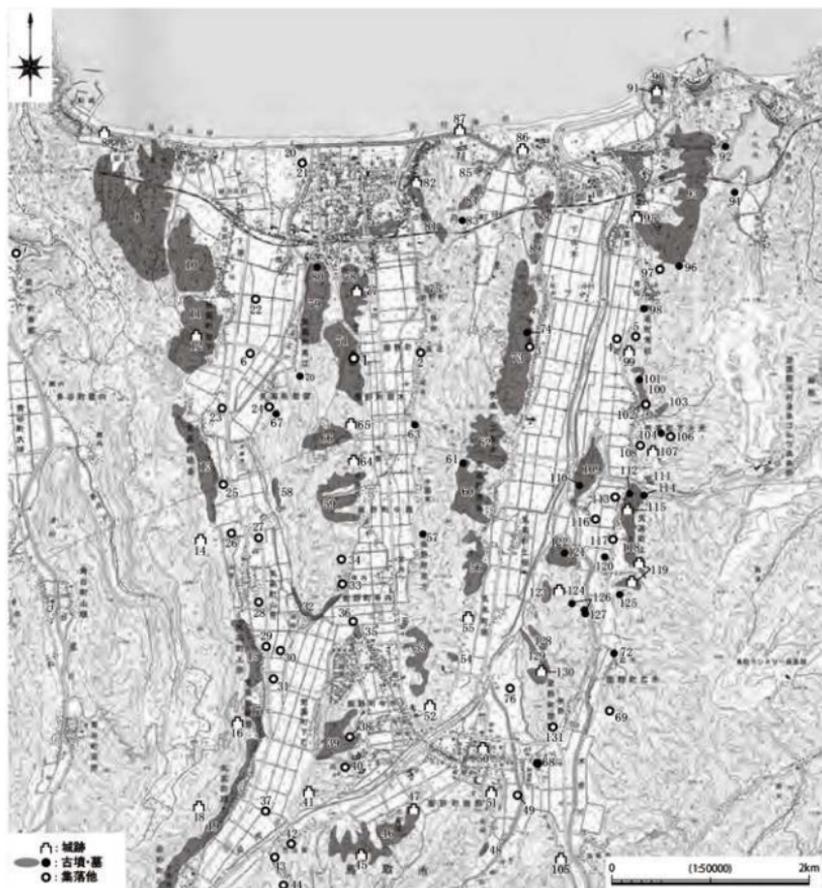
弥生時代

遺跡周辺では弥生時代前期の遺跡はみられないが、中期から後期にかけて遺跡を多く確認することができる。常松管田遺跡では中期中葉の玉作工房跡が検出されている。玉作工房跡では北陸産の碧玉を使用した管玉製作が行われたことが判明しており、安山岩製の石針等が出土している点も注目される。会下・郡家遺跡(6)では県内でも最大規模を持つ、独立棟持柱建物が発見されている。木植墓群や貯蔵穴とみられる袋状土坑も数多くみられ、拠点集落と考えられている。木植墓は陸遺跡(23)や上原遺跡(30)でも確認され、上原南遺跡(31)では堅穴住居跡や貯蔵穴、土坑墓が確認されている。その他では常松大谷遺跡(5)では後期の水田跡が発見されている。

古墳時代

前期では前方後円墳は今のところ確認されていない。二本木7号墳(62)では長方形を呈する方墳が築かれ、方形周溝墓の可能性も指摘されている。中期になると古墳の数は増加し、大小の古墳が築造される。大型の古墳では全長47mの前方後方墳西山1号墳(89)が知られ、当該地域では最大規模を誇っている。また、八東水7号墳(9)、重高4・5号墳(60)、宝木1・16号墳(93)、上光10号墳(118)等の前方後円墳が築かれている。中小の古墳では勝見15号墳(78)で県中部に特徴的なV字状石枕を伴う箱式石棺が見つまっている。

後期から終末期では各河谷平野に面した丘陵上に群集墳が数多く築かれようになる。旧気高郡では東部と西部で墓制に違いが認められ、西部では板状に割れる安山岩を玄室奥壁に1枚、側壁に2枚、



1 乙亥正原遺跡群跡 2 乙亥正大内遺跡 3 下坂本洞合遺跡 4 栗松宮田遺跡 5 栗松大谷遺跡 6 会下郡家遺跡 7 丹谷橋本遺跡 8 影島城跡 9 入束木古墳群 10 下原古墳群 11 会下古墳群 12 会下城跡 13 越後古墳群 14 越後陣跡 15 上原古墳群 16 新山遺跡 17 新山古墳群 18 新山遺跡 19 新山古墳群 20 北畑古墳群 21 新山遺跡 22 会下の土壇 23 新山遺跡 24 郡家遺跡 25 山平原遺跡 26 山平原遺跡 27 山宮茶畑山遺跡 28 山宮阿弥陀寺遺跡 29 上原古墳群 30 上原遺跡 31 上原古墳群 32 三神古墳群・寺内古墳群 33 寺内原寺 34 宮内宮谷遺跡 35 会下古墳群 36 寺内南遺跡 37 新山遺跡 38 今市馬の地所在遺物出土地 1 39 馬の地古墳群 40 新山寺遺跡 41 下石城跡(鎌山寺山城) 42 古志谷遺跡 43 会下谷遺跡 44 会下谷遺跡 45 出石野古墳群 46 出石野古墳群 47 出石野東遺跡 48 口木谷古墳群 49 新山寺跡 50 新山寺跡 51 新山寺跡 52 新山寺跡 53 新山寺跡 54 新山寺跡 55 新山寺跡 56 土上谷古墳群 57 新山寺跡 58 新山寺跡 59 新山寺跡 60 新山寺跡 61 新山寺跡 62 新山寺跡 63 新山寺跡 64 新山寺跡 65 新山寺跡 66 新山寺跡 67 新山寺跡 68 新山寺跡 69 新山寺跡 70 新山寺跡 71 新山寺跡 72 新山寺跡 73 新山寺跡 74 新山寺跡 75 新山寺跡 76 新山寺跡 77 新山寺跡 78 新山寺跡 79 新山寺跡 80 新山寺跡 81 新山寺跡 82 新山寺跡 83 新山寺跡 84 新山寺跡 85 新山寺跡 86 新山寺跡 87 新山寺跡 88 新山寺跡 89 新山寺跡 90 新山寺跡 91 新山寺跡 92 新山寺跡 93 新山寺跡 94 新山寺跡 95 新山寺跡 96 新山寺跡 97 新山寺跡 98 新山寺跡 99 新山寺跡 100 新山寺跡 101 新山寺跡 102 新山寺跡 103 新山寺跡 104 新山寺跡 105 新山寺跡 106 新山寺跡 107 新山寺跡 108 新山寺跡 109 新山寺跡 110 新山寺跡 111 新山寺跡 112 新山寺跡 113 新山寺跡 114 新山寺跡 115 新山寺跡 116 新山寺跡 117 新山寺跡 118 新山寺跡 119 新山寺跡 120 新山寺跡 121 新山寺跡 122 新山寺跡 123 新山寺跡 124 新山寺跡 125 新山寺跡 126 新山寺跡 127 新山寺跡 128 新山寺跡 129 新山寺跡 130 新山寺跡 131 新山寺跡 132 新山寺跡

第Ⅱ-2-1 図 周辺遺跡分布図

天井石に2枚使用する「逢坂型石室」と呼ばれる横穴式石室が、東部では横穴墓が主体的に築かれる。前者では谷奥1号墳(80)が傑出した副葬品を有しており、銅鏡、金環、直刀の装具に加え、馬鐙や銅腕が出土している。線刻壁画をもつ古墳が多いこともこの地域の特徴で、山宮14号墳、陸逢11号墳(13)、殿15・25号墳(19)等が挙げられ、漆棺横穴墓では(61)では綾杉文の線刻が確認されている。

古墳時代の集落については不明な点が多いが、会下郡家遺跡では前期から中期の堅穴住居跡や掘立柱建物跡が検出されている。また、常松菅田遺跡や常松大谷遺跡では後期から終末期にかけて、礎盤や根石等をもつ掘立柱建物群が営まれており、平野の低地部にも集落が形成されたことが窺える。

古 代

律令制下では因幡国気多郡に属する。『和名類從抄』によると、気多郡は大原、坂本、口沼、勝見、大坂、日置、勝部の7郷で構成される。気多郡衙は発掘調査により上原遺跡群に置かれたことが確実とみられる。上原遺跡群では長大な掘立柱建物群や廂付建物が整然と並び、郡庁、正倉、曹司などの各諸施設が南北500m、東西300mに及ぶ範囲に分散して営まれたと考えられている。山宮阿弥陀森遺跡(28)では「郡家一」と記された墨書土器なども出土している。上原遺跡群から北東約800mの位置には寺内廃寺(33)が造営され、郡衙周辺寺院として「郡寺」の性格も有していた可能性が高い。ただし、塔心礎が確認されたのみで、伽藍配置等は明らかではない。

気多郡では郡衙より下位とみられる官衙関連遺跡が複数確認されている。まず、戸島・馬場遺跡は郡東部に置かれた郡衙の出先機関と考えられている。馬場遺跡(117)では8～10世紀の長大な掘立柱建物や倉庫群が検出され、隣接する戸島遺跡(116)では7世紀末頃の布堀掘立柱建物がコの字状に整然と配置されている。一方で、郡西部では近年調査された青谷横木遺跡周辺に日置・勝部郷を統括するような末端官衙が置かれた可能性が高まってきている。青谷横木遺跡(7)では青谷上寺地遺跡と同様に古代山陰道とみられる道路遺構と糸里遺構が一体で確認され、税や出挙に関する木簡や墨書土器、人形や馬形など膨大な量の木製祭祀具が出土している。

その他では、陸逢遺跡では倉庫群を含む掘立柱建物群が検出されており、豪族居宅としての性格が考えられている。また、会下郡家遺跡では10～11世紀の大型建物群が検出され、緑釉・灰陶軸陶器などが出土するなど、上原遺跡群の気多郡衙廃絶後における官衙関連施設としての性格や機能が注目されている。

平安末頃には末法思想により各地に経塚が造られるようになり、当地域では勝見経塚(勝見15号墳)が知られる。経塚内に経筒は残っていなかったが、陶製(土師質)の外容器が出土し、「藤井□□ 惣井造候也」という墨書銘が記されている。

中・近世

中世では会下郡家遺跡で掘立柱建物跡や地下式横穴が数多く確認され、中国や朝鮮半島産の陶磁器等の出土から屋敷地が存在したとみられる。また、室町時代中期とみられる銅製の仏具(香炉、華瓶、燭台等)が一式出土している。中世墓では寺内廃寺跡で備前焼の蔵骨器を含む土塚墓群が検出され、周辺からは宝篋印塔や五輪塔が多数出土している。

戦国時代には尼子氏と毛利氏の勢力争いや羽柴秀吉の因幡進出などを背景に、勝山城(77)や観音山城(64)、富吉城(95)などの山城が数多く築かれている。鳥取城の落城後は、亀井茲矩が気多郡13,800

石を与えられ、鹿野城(51)に入城した。亀井氏は新田開発のための日光池の干拓や青谷町平野における亀井暲の敷設など大規模な土木事業を積極的に行うとともに、東南アジアとの朱印船貿易にも力を注いだ。元和3年(1617年)、亀井氏が石見津和野藩に移封された後は池田光政領となり、寛永9年(1632年)の光仲の国替えを経て、以後幕末まで鳥取藩領となった。

【参考文献】

気高町教育委員会編1977『気高町誌』

鹿野町教育委員会編1995『鹿野町誌』上巻

※発掘調査報告書類については紙面の都合上割愛させていただいた。

第三章 1区の調査

第1節 調査区の地形と層序

調査区は、南北方向に伸びる標高50m～75m程度の主稜線から東、及び北東方向へ派生する2つの尾根に囲まれた浅い谷地形の斜面地にあたる。標高は16m～41m前後、斜面の本来的な傾斜角度は、調査区中央付近の浅い谷部で22度から25度程度、その他の斜面部では30度から40度前後に達する急峻な地形である。

調査前は、杉の植林や竹林を含む雑木林であった。数か所の緩斜面地や平坦地が認められたが、これらは結果的に調査で検出された弥生時代から古墳時代、一部近世以降を含む段状遺構の集中域とはば一致することから、埋没過程にある遺構の痕跡と考えられる。

地質は、風化した花崗岩を基盤とする。尾根に近い調査区内北東側や南西側では、表土直下に薄いローム質の堆積土を介して軟質な風化岩盤が検出され、北東方向へ下る谷の周辺部は、周囲からの流入土が厚く堆積している。

第2節 調査方法と遺構の概要

堆積が最も厚い調査区中央付近の谷部、及び平成27年度調査区の南東側境界沿いに調査区を縦断するトレンチを設定(第Ⅲ-2-1図 A-A'、B-B'ライン)し、斜面全体の土層状況の確認を行うと共に、平坦面、緩斜面部など遺構の集中が想定される箇所では、等高線に直交する方向をメインとした複数のトレンチにより遺構の重複状況の確認を行った。厚さ数十センチの堆積の中に10基程度の段状遺構が重複している箇所もあり、適切に掘り分けることができなかった部分もある。

主な遺構は、段状遺構106基、堅穴住居4基、土坑などで、その多くが弥生時代後期後葉頃から古墳時代前期(乙亥正IV期～乙亥正IX期)の居住域の構成要素である。数か所に遺構が集中的に検出されている状況から、急峻な地形の僅かな緩斜面部に繰り返し集落遺構を形成した状況が窺える。

また、古墳時代前期に集落が一旦途絶えた後も古墳時代中・後期、中世、近世、近代と断続的に土坑や段状遺構、地下式土坑などが形成されている。

第3節 本章の記載方法

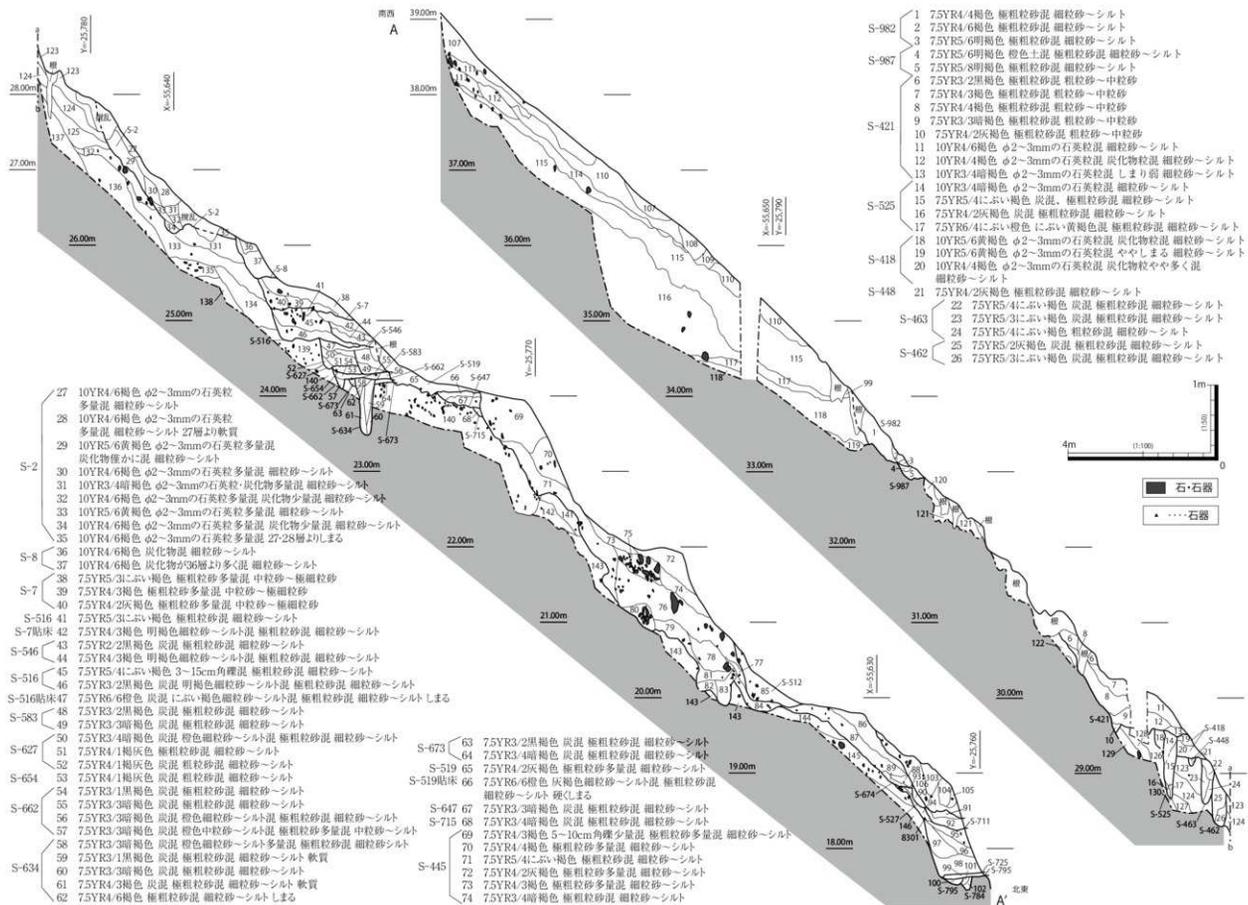
本節後、第4節「2 古墳時代後期以降の遺構」、第5節「3 弥生時代後期から古墳時代中期の遺構」の順に記載する。

遺構の名称は、斜面をカットし平坦面を造成した遺構を広く「段状遺構」とした。柱や壁溝を伴うものと伴わないものがある。斜面下側が流失した堅穴住居も段状遺構に含むが、少なくとも三方を囲む周壁、壁溝、主柱の配置が明瞭であるなど典型的な堅穴住居の場合は、「堅穴住居」と記載した。また、柱穴状の小穴、貯蔵穴状の土坑など、小規模な穴は全て「土坑」として一括し、掘立柱建物や堅穴住居など柱配置を含めて主柱としての機能が明白な場合、及び柱材が残存するもののみ「柱穴」と表現した。

遺構番号は、調査時の番号を使用することを基本としたが、調査の進捗やその後の解釈に則して変更したものについては、第Ⅲ-6-1・2表にまとめている。集合遺構(堅穴住居・段状遺構など)と



第Ⅲ-2-1図 遺構配置図

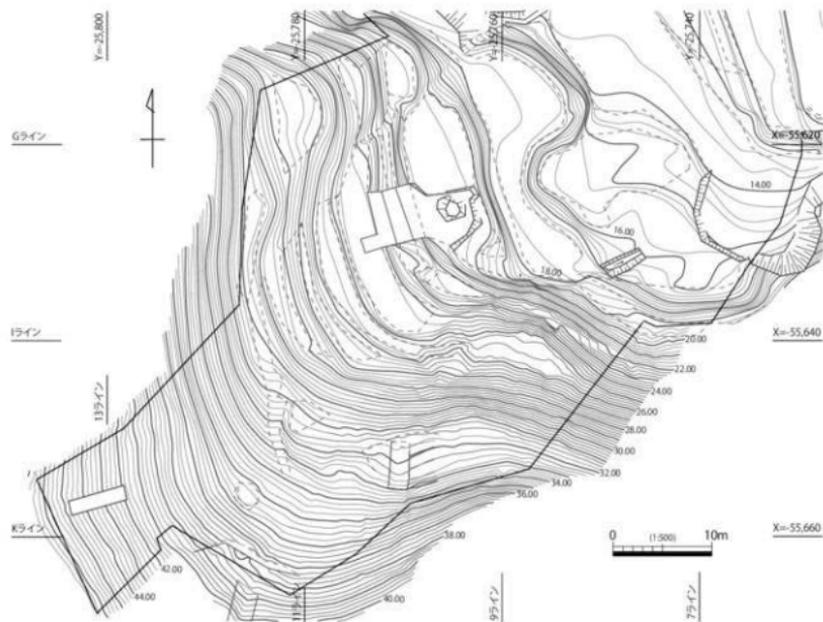


第3-2-2図 調査区土層断面図(A-A'断面)

	75	75YR4/3褐色	3~15cm角礫密に混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	76	75YR4/3褐色	3~30cm角礫混	極粗粒砂多量混	中粒砂~極細粒砂	
	77	75YR4/2灰褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	78	75YR4/4褐色	3~15cm角礫混	極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	79	75YR4/3褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
S-445	80	75YR4/4褐色	3~10cm角礫密に混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	81	75YR4/3褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	82	75YR4/3褐色		極粗粒砂多量に混	中粒砂~細粒砂	
	83	75YR4/2灰褐色	1~3cm角礫混	極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
S-512	84	75YR5/3にぶい褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	85	75YR3/3暗褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
包含層	86	75YR3/3暗褐色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	87	75YR3/2黒褐色		極粗粒砂多量混	細粒砂~シルト	
S-674	88	75YR3/2黒褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	89	75YR4/3褐色	明褐色細粒砂~シルト混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
S-527	90	75YR3/2黒褐色	炭混	明褐色細粒砂~シルト多量混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト
	91	75YR3/3暗褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
S-711	92	75YR3/3暗褐色	炭混	明褐色細粒砂~シルト混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト
	93	75YR5/4にぶい褐色	明褐色細粒砂~シルト混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	94	75YR4/2灰褐色	炭混	明褐色細粒砂~シルト少量混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト
	95	75YR4/2灰褐色	炭混	明褐色細粒砂~シルト混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト
S-725	96	75YR3/3暗褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	97	75YR3/4暗褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	98	75YR3/4暗褐色		極粗粒砂少量混	細粒砂~シルト	
S-725貼床	99	75YR4/2灰褐色	橙色細粒砂~シルト混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
S-795	100	75YR4/1褐灰色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
S-784	101	75YR4/3褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	102	75YR4/1褐灰色	炭混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	103	75YR3/3暗褐色	明褐色細粒砂~シルト少量混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	104	75YR3/4暗褐色	明褐色細粒砂~シルト少量混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	105	75YR5/6明褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	106	75YR4/3褐色	炭混	明褐色細粒砂~シルト混	極粗粒砂多量混	細粒砂~シルト
	107	75YR4/3褐色	15cm角以下礫多量混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	108	75YR4/6褐色	5cm角以下礫多量混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	109	75YR4/2灰褐色	3cm角以下礫混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	110	75YR5/6明褐色	2cm角以下礫混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	111	75YR5/2灰褐色	10cm角以下礫多量混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	112	75YR5/4にぶい褐色	5cm角以下礫混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	113	75YR6/4にぶい橙色	10cm角以下礫多量混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	114	75YR3/3暗褐色	10cm角以下礫混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	115	75YR5/4にぶい褐色	5cm角以下礫少量混	にぶい橙色粗粒砂~細粒砂多量混	極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂
	116	75YR6/3にぶい褐色	褐色土	5cm前後の角礫少量混	極粗粒砂多量混	粗粒砂~細粒砂
	117	75YR5/1褐灰色	部分的に3mm以下の黒色鉱物を密に混	黒褐色の極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	しまる
	118	75YR5/2灰褐色	3mm以下の黒色鉱物を含む	極粗粒砂多量に混	粗粒砂~細粒砂	しまる
	119	75YR5/6明褐色		極粗粒砂混	粗粒砂~細粒砂	
	120	75YR5/6明褐色		極粗粒砂混	粗粒砂~中粒砂	
	121	75YR5/8明褐色		極粗粒砂混	粗粒砂~中粒砂	
	122	75YR4/4褐色		極粗粒砂混	粗粒砂~中粒砂	
	123	75YR6/6橙色		極粗粒砂多量混	細粒砂~シルト	
	124	75YR6/4にぶい橙色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	125	75YR6/2灰褐色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
基礎層	126	75YR6/6橙色	1cm角程度の角礫混	極粗粒砂多量混	細粒砂~極細粒砂	
	127	75YR6/4にぶい橙色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	128	75YR6/6橙色	10cm角程度の角礫多量混	極粗粒砂多量混	細粒砂~極細粒砂	
	129	75YR5/6明褐色	5cm角以下礫多量混	細粒砂~極細粒砂		
	130	75YR6/4にぶい橙色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	131	75YR4/4褐色	1~2cm角礫混	極粗粒砂多量混	細粒砂~極細粒砂	
	132	75YR5/4にぶい褐色	5~15cm角礫多量混	極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	133	75YR4/6褐色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	134	75YR4/3褐色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	135	75YR4/3褐色	5~10cm角礫多量混	極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	136	75YR4/4褐色	1~3cm角礫混	極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	137	75YR4/2灰褐色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	
	138	75YR4/3褐色		極粗粒砂多量に混	粗粒砂~中粒砂	
	139	75YR6/6橙色	2~10cm角礫混	極粗粒砂多量混	粗粒砂~中粒砂	
	140	75YR5/6明褐色	2~5cm角礫多量混	極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	141	75YR5/4にぶい褐色		極粗粒砂混	細粒砂~シルト	
	142	75YR6/6橙色		極粗粒砂少量混	細粒砂~シルト	
	143	75YR6/8橙色		極粗粒砂多量混	粗粒砂~細粒砂	
	144	75YR4/6褐色		極粗粒砂多量混	細粒砂~シルト	
	145	75YR4/4褐色	3~10cm角礫多量混	極粗粒砂多量混	細粒砂~シルト	
	146	75YR5/6明褐色		極粗粒砂多量混	中粒砂~細粒砂	

第Ⅲ-2-2図 調査区土層断面図(A-A'断面)註記

第三章 1区の調査



第三-2-3図 調査前地形測量図

内部の個別遺構(土坑、柱、周壁溝など)とのセット関係が明らかなもの、あるいは調査時の所見や位置関係からセットとなる蓋然性が高いもののみ、集合遺構名に枝番号を付して個別遺構を表現した。

なお、記載中に示す遺構の規模は、特に記載しない限り、長軸、短軸等の平面規模は当該遺構の検出面、深さ、高さは検出面から底面までの最大深度を示す。

第4節 古墳時代後期以降の遺構

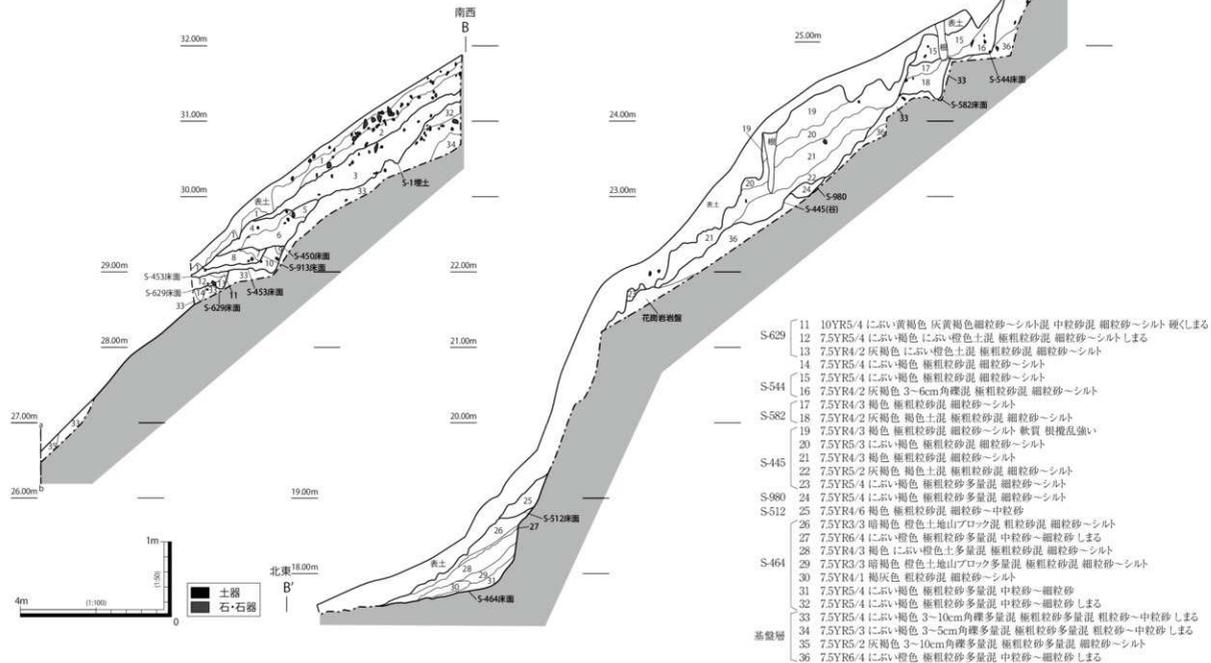
1 遺構の概要

段状遺構18基、地下式土坑2基のほか、溝、土坑を検出した。古墳時代後期頃とみられる遺構は須恵器の甍片が出土したS-319のみであるが、S-319近くの遺物包含層、谷部の遺物包含層、2区からも須恵器、土師器が出土しており、いずれも6世紀後半～7世紀前半の特徴を示す。本遺跡の西から南側にかけての尾根上にはほぼ同時期とみられる重山古墳群(重山18・19号墳)が存在することから、これらの遺物には同古墳群からの流出遺物も含まれると推定される。土坑S-319周辺の時期不明の遺構は、第3節でまとめて記載した。

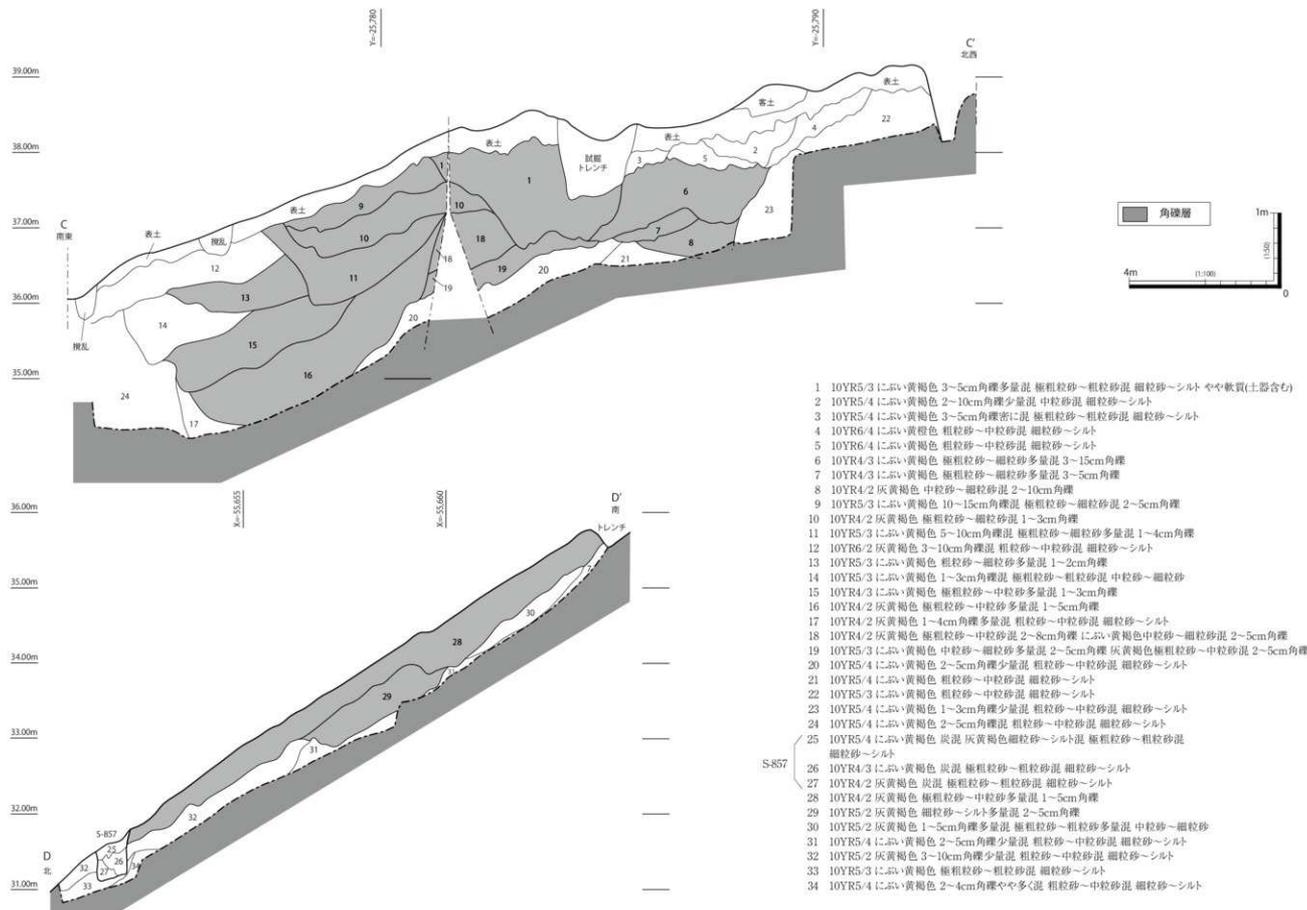
古代(8世紀頃)の遺構とみられるのはS-5のみである。2区南西部の包含層からも遺物が少量出土していることから、1区南東側の未調査範囲にも当該期の遺構が存在する可能性がある。

中世の遺構・遺物は斜面下方で見ついている。13世紀頃とみられる羽釜は表土はぎ中の出土である。S-29土坑は15世紀前後、ほぼ完形の白磁皿が出土したS-67土坑は、16世紀頃と考えられる。ま

- | | | | |
|-----|-----|----|--|
| 包含層 | S-1 | 1 | 7.5YR5/3 にふい褐色 灰褐色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 2 | 7.5YR4/2 灰褐色 炭混 黒褐色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 3 | 7.5YR5/2 灰褐色 炭混 灰褐色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 4 | 7.5YR4/2 灰褐色 灰褐色土多量混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 5 | 7.5YR4/3 褐色 灰褐色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 6 | 7.5YR4/1 褐灰色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 7 | 7.5YR6/4 にふい橙色 褐灰色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト 硬くしまる |
| | | 8 | 7.5YR5/4 にふい褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト 硬くしまる |
| | | 9 | 7.5YR4/1 褐色 灰褐色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |
| | | 10 | 7.5YR4/2 灰褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト |

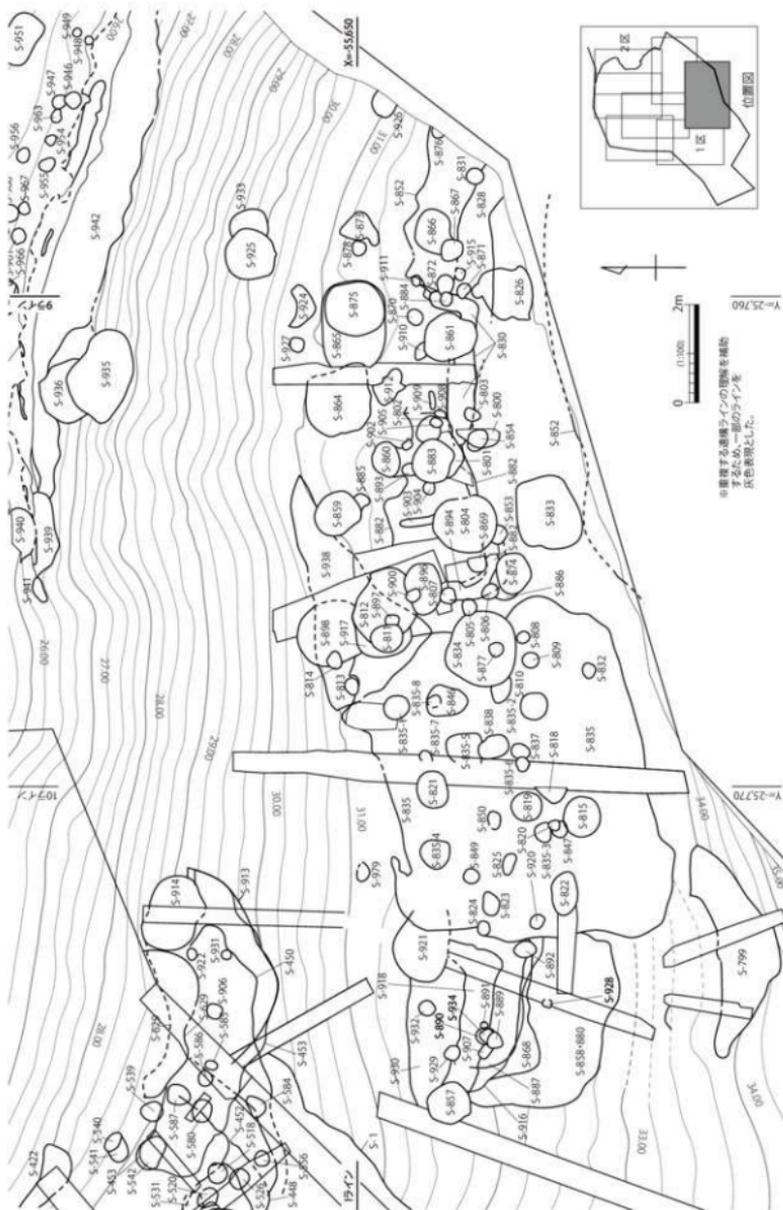


第Ⅲ-2-4図 調査区土層断面図(B-B'断面)



第Ⅲ-2-5図 調査区土層断面図(C-C'、D-D'断面)

- 1 10YR5/3 に近い黄褐色 3~5cm角礫多量混 極粗粒砂~粗粒砂混 細粒砂~シルト やや軟質(土器含む)
- 2 10YR5/4 に近い黄褐色 2~10cm角礫少量混 中粒砂混 細粒砂~シルト
- 3 10YR5/4 に近い黄褐色 3~5cm角礫密に混 極粗粒砂~粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 4 10YR6/4 に近い黄褐色 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 5 10YR6/4 に近い黄褐色 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 6 10YR4/3 に近い黄褐色 極粗粒砂~細粒砂多量混 3~15cm角礫
- 7 10YR4/3 に近い黄褐色 極粗粒砂~細粒砂多量混 3~5cm角礫
- 8 10YR4/2 灰黄褐色 中粒砂~細粒砂混 2~10cm角礫
- 9 10YR5/3 に近い黄褐色 10~15cm角礫混 極粗粒砂~細粒砂混 2~5cm角礫
- 10 10YR4/2 灰黄褐色 極粗粒砂~細粒砂混 1~3cm角礫
- 11 10YR5/3 に近い黄褐色 5~10cm角礫混 粗粒砂~細粒砂多量混 1~4cm角礫
- 12 10YR6/2 灰黄褐色 3~10cm角礫混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 13 10YR5/3 に近い黄褐色 粗粒砂~細粒砂多量混 1~2cm角礫
- 14 10YR5/3 に近い黄褐色 1~3cm角礫混 極粗粒砂~粗粒砂混 中粒砂~細粒砂
- 15 10YR4/3 に近い黄褐色 極粗粒砂~中粒砂多量混 1~3cm角礫
- 16 10YR4/2 灰黄褐色 極粗粒砂~中粒砂多量混 1~5cm角礫
- 17 10YR4/2 灰黄褐色 1~4cm角礫多量混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 18 10YR4/2 灰黄褐色 極粗粒砂~中粒砂混 2~8cm角礫 に近い黄褐色中粒砂~細粒砂混 2~5cm角礫
- 19 10YR5/3 に近い黄褐色 中粒砂~細粒砂多量混 2~5cm角礫 灰黄褐色極粗粒砂~中粒砂混 2~5cm角礫
- 20 10YR5/4 に近い黄褐色 2~5cm角礫少量混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 21 10YR5/4 に近い黄褐色 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 22 10YR5/3 に近い黄褐色 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 23 10YR5/4 に近い黄褐色 1~5cm角礫少量混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 24 10YR5/4 に近い黄褐色 2~5cm角礫混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 25 10YR5/4 に近い黄褐色 炭混 灰黄褐色細粒砂~シルト混 極粗粒砂~粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 26 10YR4/3 に近い黄褐色 炭混 極粗粒砂~粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 27 10YR4/2 灰黄褐色 炭混 極粗粒砂~粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 28 10YR4/2 灰黄褐色 極粗粒砂~中粒砂多量混 1~5cm角礫
- 29 10YR5/2 灰黄褐色 細粒砂~シルト多量混 2~5cm角礫
- 30 10YR5/2 灰黄褐色 1~5cm角礫多量混 極粗粒砂~粗粒砂多量混 中粒砂~粗粒砂
- 31 10YR5/4 に近い黄褐色 2~5cm角礫少量混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 32 10YR5/2 灰黄褐色 3~10cm角礫少量混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト
- 33 10YR5/3 に近い黄褐色 極粗粒砂~粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 34 10YR5/4 に近い黄褐色 2~4cm角礫やや多混 粗粒砂~中粒砂混 細粒砂~シルト



第三一2一8図 遺構配置図(拡大図3)

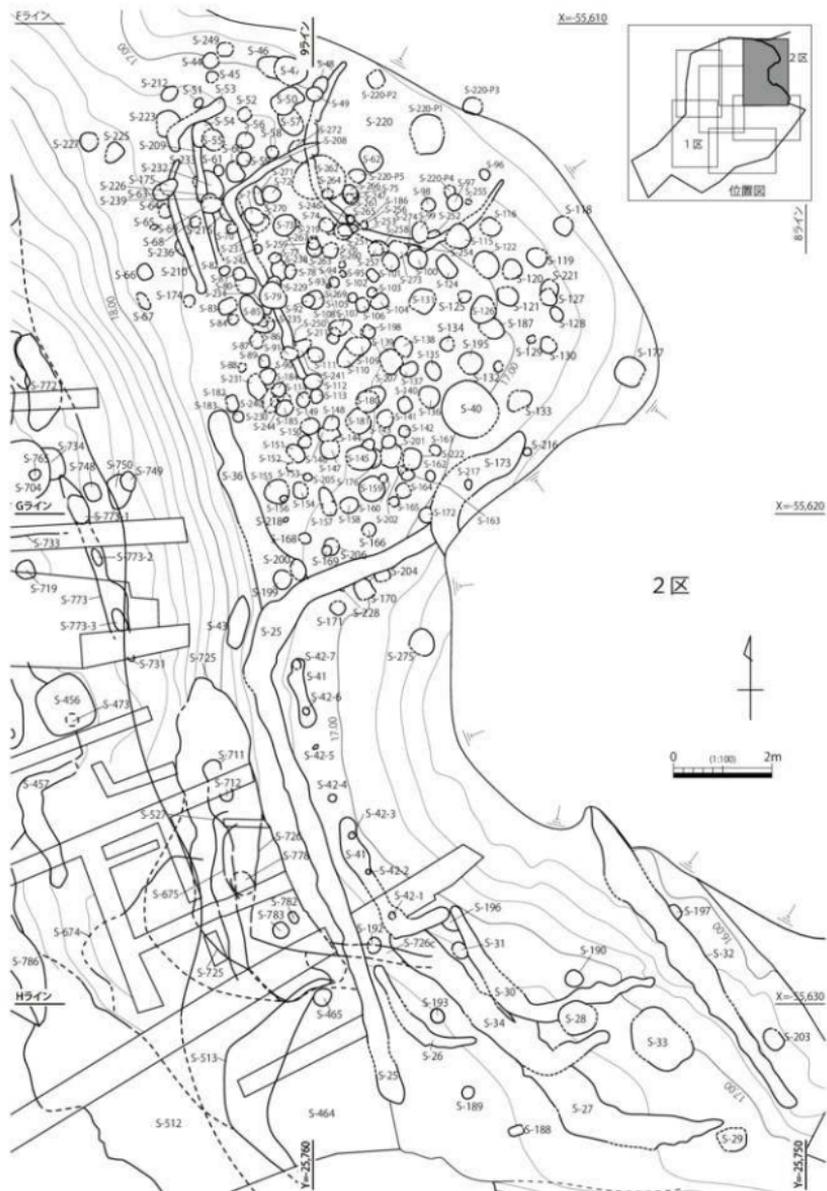


第Ⅲ-2-10図 遺構配置図(拡大図5)

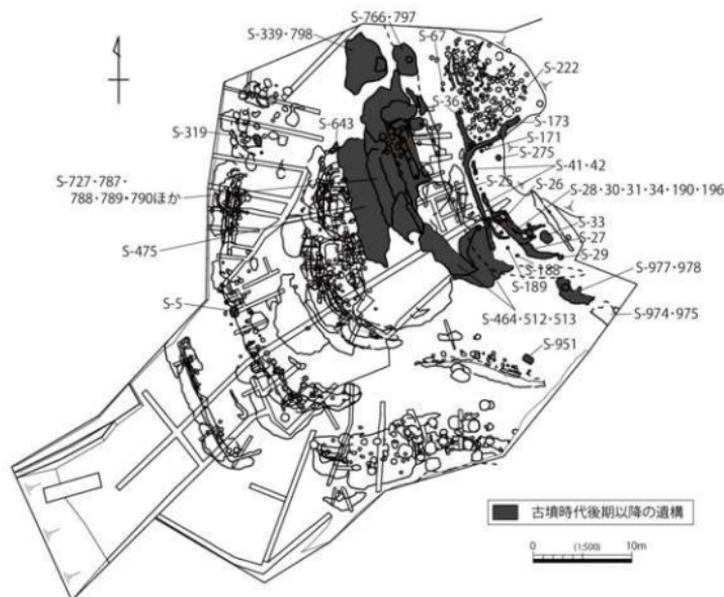
第三章 1区の調査



第三-2-11図 遺構配置図(拡大図6)



第III-2-12図 遺構配置図(拡大図7)



第三-4-1図 古墳時代後期以降の遺構配置図

た、堅坑下に地下室をもついわゆる地下式土坑を2基(S-766・977)検出した。

近世・近代には、斜面下方に平坦面造成が行われ、土坑等を検出した(S-475・789・788等)。

2 S-464・475・727・766・798段状遺構周辺の遺構(第三-4-2~13図)

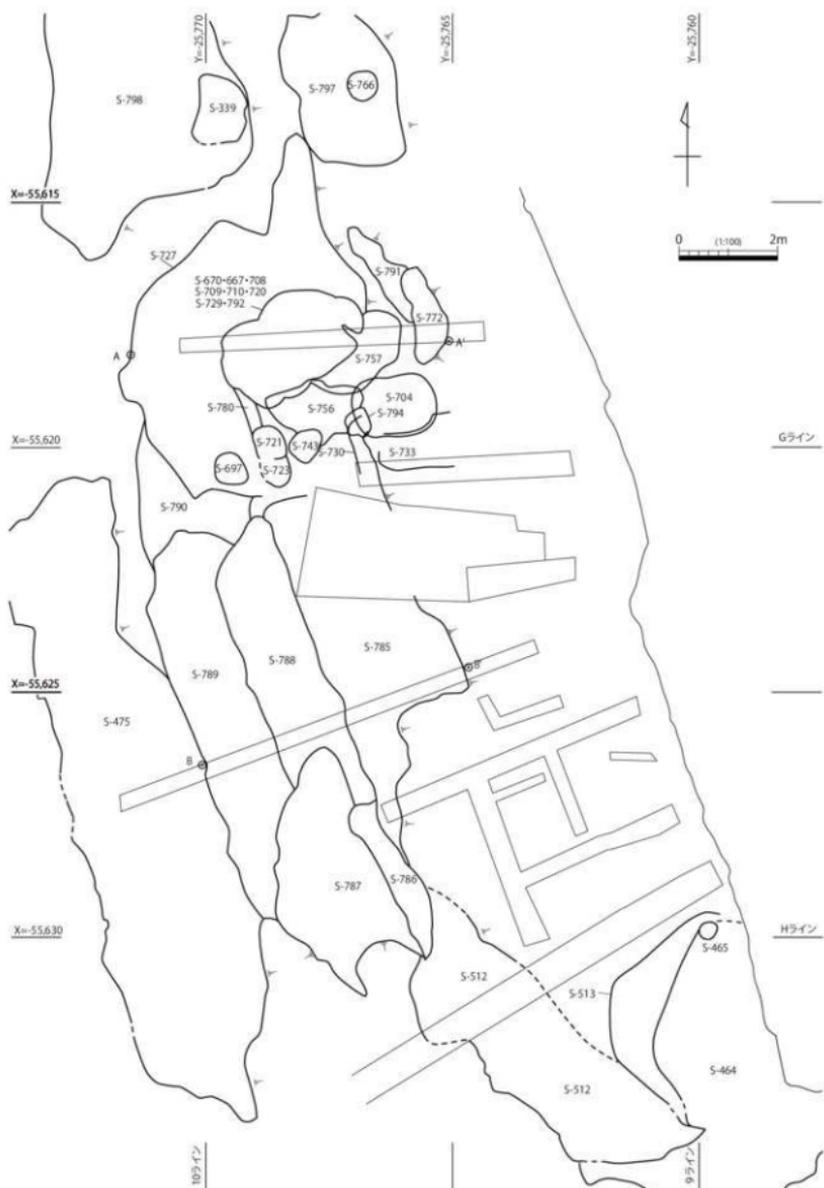
標高18.9m~22m前後を床面とする段状遺構の一群で、出土遺物からその大半が近世以降に掘削されたと考えられるものである。段状遺構を被覆する埋土は、堆積が薄い場所もあり、隣接する遺構との前後関係、あるいは段状遺構と周辺で検出された土坑等のセット関係が不明なものが多い。

S-475段状遺構(第三-4-3図)

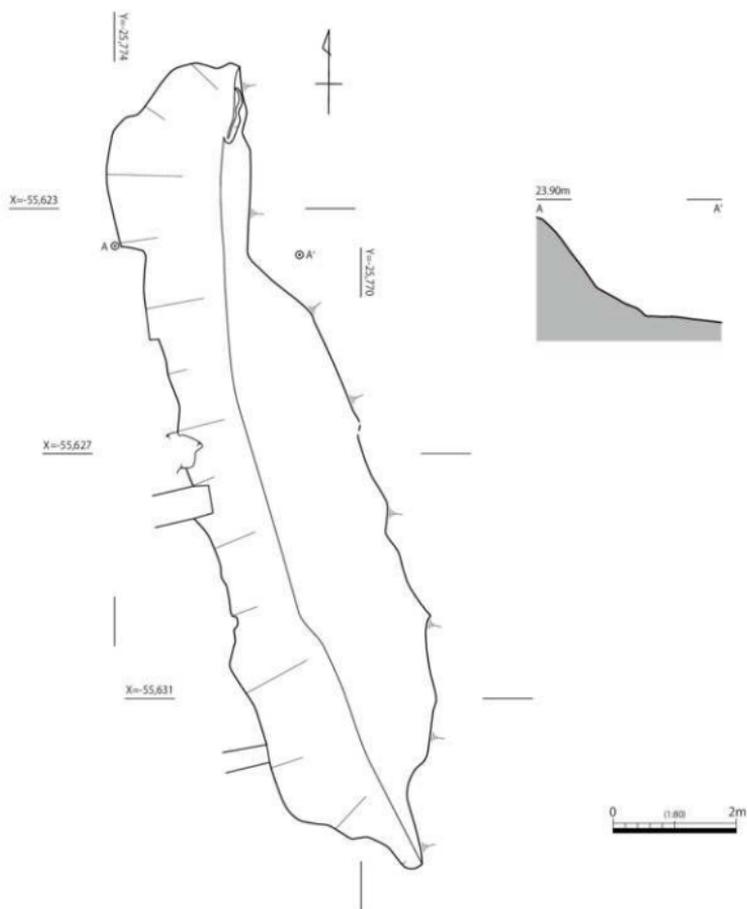
長さ約13.6m、幅約3.2mの段状を呈し、底面の最大幅は約1.7mである。北端部付近の床面には壁溝とみられる幅10cm程度の浅い溝がみられる。埋土はほとんどなく、ほぼ表土直下で床面が検出されたため、周辺遺構との前後関係は不明である。遺物は出土していないが、比較的新しい時期の遺構と推定される。

S-512段状遺構(第三-4-4図)

長さ約7.2m、幅約2.5mの段状を呈するが、水平な底面はなく、北西から南東方向に向けて傾斜する加工面のみが残存する。遺物は出土していないが、下段のS-464・513段状遺構(近代以降)を切って造成されていることから、近代以降の遺構と考えられる。



第Ⅲ-4-2図 S-464・475・512・727・789・787・797・798周辺遺構概念図



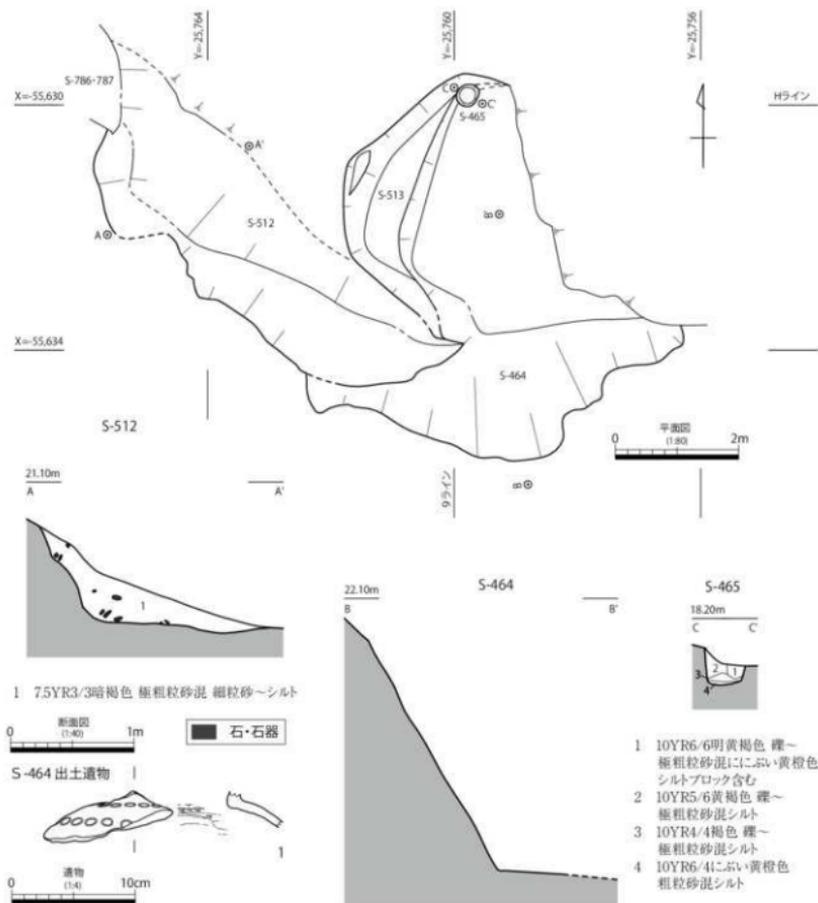
第三-4-3図 S-475段状遺構 平面図

S-464段状遺構(第三-4-4図)

長さ約6.3m、幅約6.1mの段状遺構で、底面には緩い傾斜があり、西側から東側に向けて15cm～20cm程度の高低差がある。埋土中から、地山土のブロック等が多量に含まれており、埋められたと思われる。弥生土器とみられる壺1も出土しているが、床面付近から出土した陶磁器小片から、近代以降の遺構とみられる。

S-513段状遺構(第三-4-4図)

S-464の西側に位置する。長さ約4.3m、幅約1.2mの段状を呈し、底面に平坦部をもつ。S-464との切り合い関係は不明であるが、埋土の特徴が類似することから、S-464と同一遺構であった可能性



第三-4-4図 S-464・512・513段状遺構、S-465土坑 平・断面図及び出土遺物

もある。遺物は出土していないが、近代以降と思われる。

S-727段状遺構、S-667・670・697・708・709・710・720・721・723・729・792土坑(第三-4-5～8図)

S-727・785・786・787・788・789・790はそれぞれ別個の段状遺構であるが、いずれも底面での標高が概ね20m前後の位置に造成された遺構である。いずれも薄い埋土の中で遺構が重複するため、段状遺構と床面で検出された土坑との共伴関係は一部を除き不明である。

このうちS-727は、南北約5.4m、東西約4.7mの規模で、東側がやや広がる台形の平面をなす。S-790段状遺構、及びS-780溝を周壁溝とする段状遺構より新しい遺構である。北側から西側に向け

ての周壁下には、幅約20cm～40cm、深さ約5cm～15cmの周壁溝が検出された。床面周辺では多数の土坑を切り合って検出した。このうち、S-667・670・708・709・710・720・729・792土坑の一群は、土層断面や調査時の所見から、S-727床面から掘削された遺構とみられる。これらの土坑はほぼ最終段階で掘削されたS-667土坑の形状や周囲残る断片的な土坑形状からみて、直径1.5m～2.0m程度、深さ0.65cm前後で平面円形の土坑が繰り返し掘削された結果と考えられる。S-670・792土坑もこうした一群の一部と思われる。

S-667土坑から、近世(17～18世紀)とみられる肥前陶磁の皿4が出土したことから、近世以降に掘削された段状遺構・土坑と考えられる。

S-780段状遺構、S-757・704土坑(第三-4-5・6図)

幅26cm、深さ9cm、長さ約1m程度の周壁溝を持ち、床面はS-727より約10cm低い。東側のS-757付近まで広がると推定される。床面が僅かしか残存しないが、以下に述べるS-757・704は、断面図などからS-780床面からの掘削と推定される。

S-757土坑は、長軸2.1m、短軸1.04m、深さ0.45m程度とみられ、北側をS-710、南側をS-756にそれぞれ切られる。底面はいびつである。S-704との関係は不明である。遺物は出土していない。

S-704土坑は、長軸1.70m、短軸1.25m、深さ0.69mの平面楕円形をなす。西側は、S-730溝、S-756・794土坑を切り、南側はS-734を切る。埋土中から近世の陶器播鉢の破片が出土した。

S-756土坑(第三-4-5・6図)

長軸約1.90m、短軸1.30m、深さ0.5m前後のいびつな平面形を呈する。底面には最大10cm程度の凹凸がある。S-667・704・709・710・755・743土坑に切られている。遺物は出土していない。

S-730溝(第三-4-5・8図)

S-733段状遺構の埋土を切っており、北東側のS-704より古い遺構である。S-785段状遺構の底面とはほぼ同じ高さで検出した。幅約0.3m、深さ約2cmで、長さ約1.9mを検出した。北端部は、東側に屈曲する。S-704より古い遺構である。遺物は出土していないが、埋土がS-733など周辺の段状遺構とはほぼ同じであることから、周辺の段状遺構同様に近世以降の遺構と推定される。

S-791・772段状遺構(第三-4-5・9図)

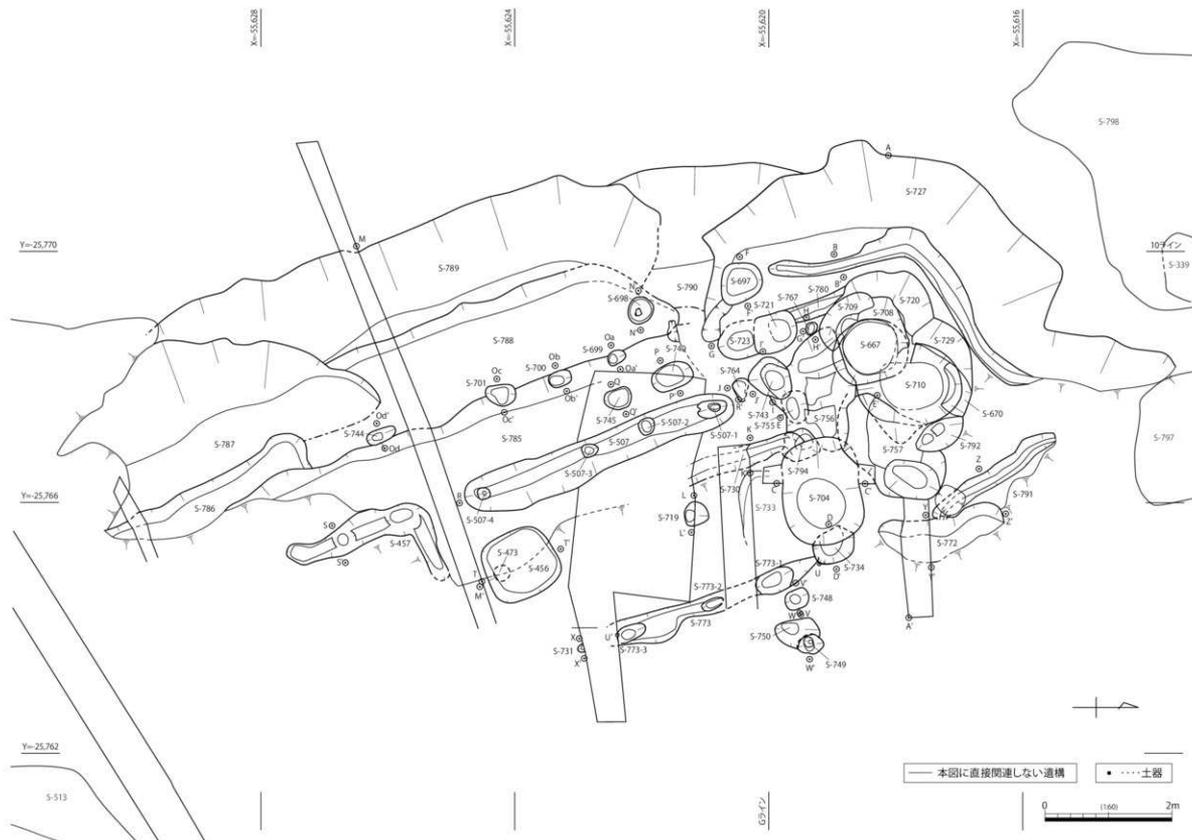
S-727段状遺構の東側に位置する。S-791段状遺構は、長さ2.3m、幅0.65mが残るもので、幅27cm、深さ1cm～4cm程度の周壁溝をもつ。S-772段状遺構は、長さ約1.9m、幅約0.7mの遺構である。底面は、いずれの遺構も東側に10cm近く傾斜しており水平ではない。遺物は出土していない。

S-790段状遺構(第三-4-5図)

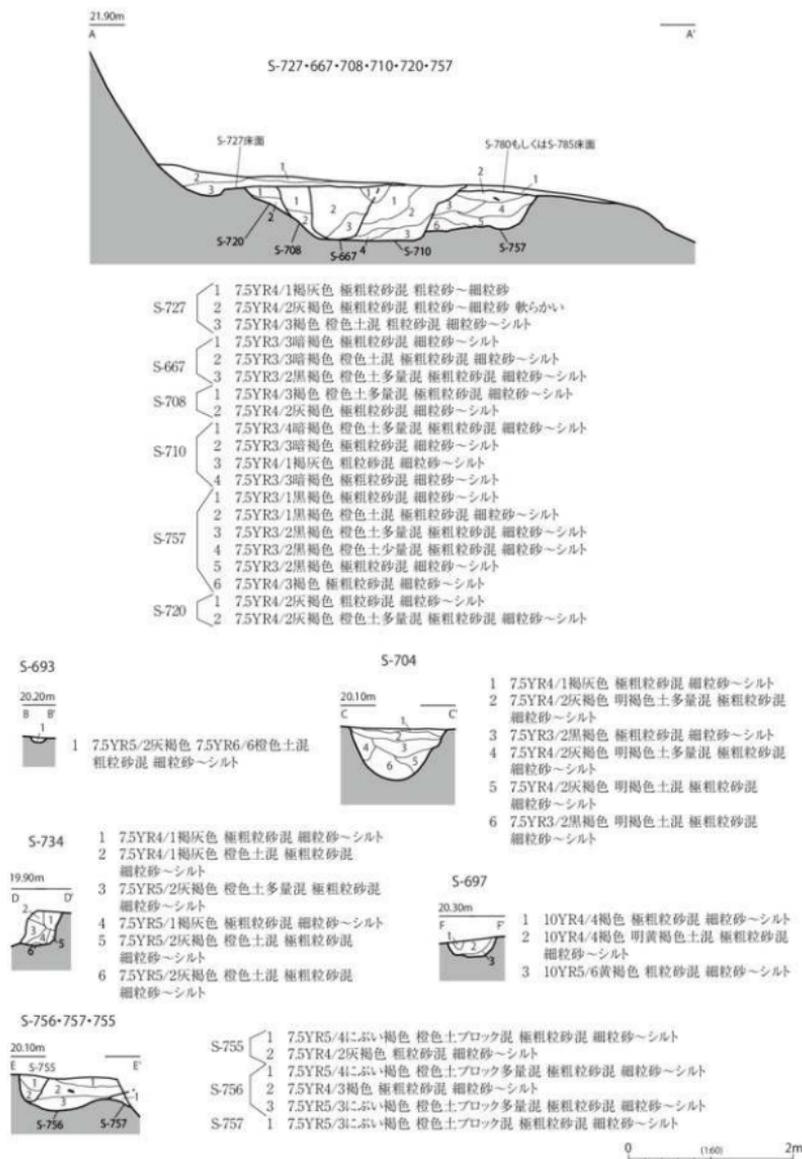
S-727の南側に位置する。S-789、S-727など周辺の遺構より古い段状遺構で、南北約3m、東西約2.2mの範囲のみが残る。底面は、S-789段状遺構より約5cm、S-727段状遺構より約15cm高い。底面に伴う遺構は不明である。遺物は出土していない。

S-785・788・789段状遺構(第三-4-5・8図)

S-785は南北約7.8m、東西約2.5m、S-788は南北約6.2m、東西約1.5m、S-789は南北約8.1m、東西約1.6mの規模で検出した。底面の高さは、S-785が標高約19.9m、S-788は標高約20.1m、S-789は標高約20.3mである。本遺構の周辺では埋土が希薄であるため、それぞれの遺構の前後関係、また以下に記載する底面で検出した多数の土坑とのセット関係は不明である。

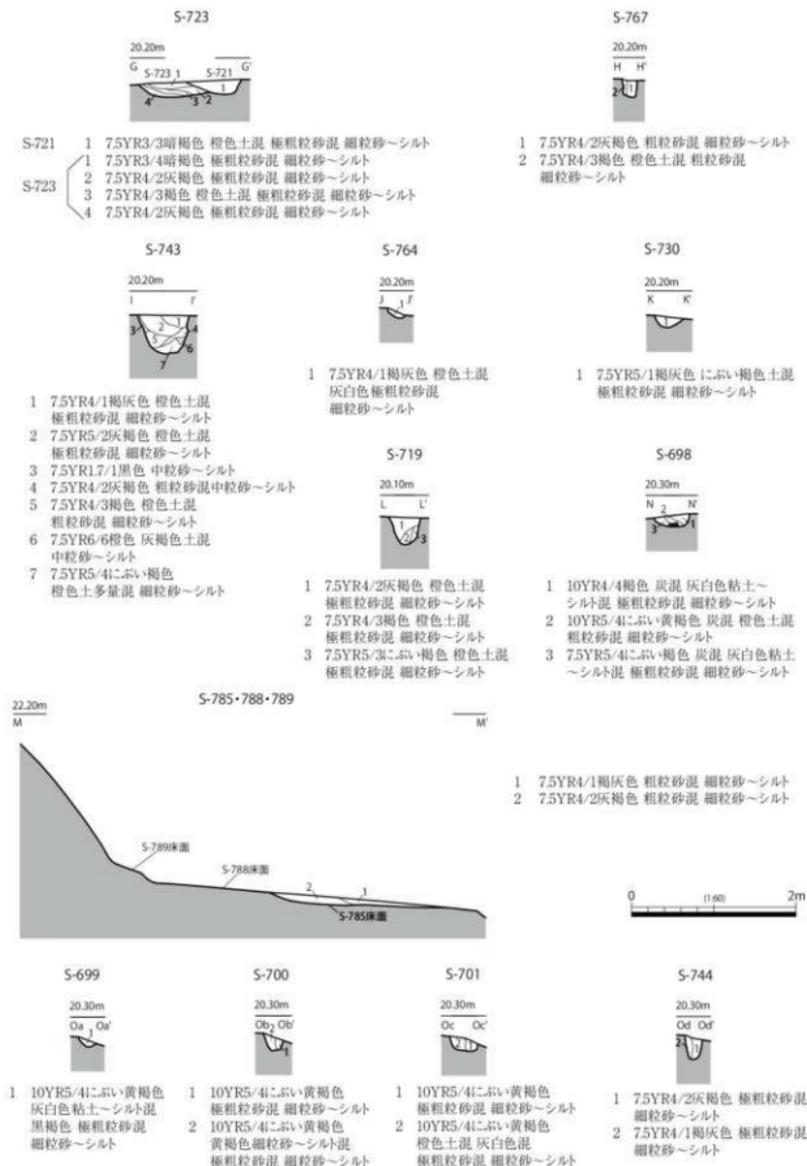


第Ⅲ-4-5図 S-464・475・512・727・789・787・797・798段状遺構ほか平面図

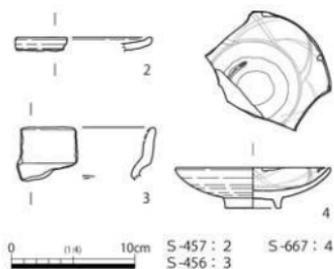


第Ⅲ-4-6図 S-727・789・787ほか段状遺構等断面図1

第三章 1区の調査



第三-4-7図 S-727・789・787ほか段状遺構等断面図2



第Ⅲ-4-8図 S-457・456・667

出土遺物

形をなすもので、S-785段状遺構底面で検出した。埋土には地山の角礫や粗粒砂が多量に混入しており、埋められたとみられる。埋土中から壺3が出土した。S-473はS-456埋没後に掘削されている。

S-773土坑(第Ⅲ-4-5・9図)

長さ3.4m、幅0.5m、深さは最大0.4mの布掘り状の遺構である。底面には3か所の窪み(S-773-1~773-3)があるが、底面の標高は一定ではなく最大20cm程度の落差がある。本来の掘削面は残存しないため他の遺構との関係は不明である。S-507やS-699~701・744とほぼ平行することから、類似する構造物の可能性がある。遺物は出土していない。

S-786・787段状遺構(第Ⅲ-4-5図)

S-787は南北約4.7m、東西約2.3m、S-786は南北約3.4m、東西約0.7mの規模が残る。南及び東側は谷の攪乱堆積により残存しない。底面での標高は、S-786は約20.0m、S-787は約20.1mである。ほぼ表土直下で検出したため、遺構同士の前後関係は不明である。遺物は出土していない。

S-798段状遺構、S-339土坑(第Ⅲ-4-10図)

S-798段状遺構は、S-727の北側に位置し、南北約6.2m、東西約4mの規模で検出され、幅約2.8mの底面が残存する。底面東寄りでS-339土坑を検出した。長軸1.39m、短軸0.99m、深さ0.34mの平面が不整形な遺構である。土坑の検出面で長軸30cm、短軸20cm程度の扁平な石が出土した。

これらの遺構から遺物は出土していないが、表土直下で床面を検出しており、先述した南側の段状遺構などと同様、近世以降の遺構と推定される。

S-797段状遺構、S-766地下式土坑(第Ⅲ-4-11~14図)

S-798・339の東側に位置する。北西-南東方向約3.7m、北東-南西方向約2.1mの規模で検出した。床面は水平ではなく北西から北東方向に向け15cm程度傾斜している。床面のほぼ中央付近からS-766地下式土坑を検出している。段状遺構の埋土が希薄であり、S-766との関係は明らかでない。

S-766地下式土坑は、開口部から鉛直方向へ下る竪坑と、竪坑下部から水平方向へ広がる地下室部に分かれる。竪坑の平面は、直径0.5m~0.6mのやや不整な円形を呈し、開口部から底面までの深さ約1.5mである。

地下室は、竪坑下部の南西側に開口し、開口部は高さ0.70m、幅0.50mを測る。地下室の底面は竪坑底面より約0.25m低い。地下室底面は、長軸(北西-南東方向)約2.0m、短軸(北東-南西方向)1.16mの規模で、高さは、南東側より北及び北東側が最大0.17m程度低くなる。南西側奥壁部に長さ

S-457・507・698~701・740・744・745土坑(第Ⅲ-4-5・7~9図)

S-785・788・789段状遺構の床面で検出した。S-699・700・701・744は、ほぼ列状に並んでおり、直径30cm~45cm程度と規模も類似することから、セット関係にあるものと考えられる。また、これらとほぼ平行し、布掘り状の土坑内に小穴を配したS-457・507がある。これらは、作り直された構造物の一部と考えられる。S-457から近世の陶磁器2が出土した。

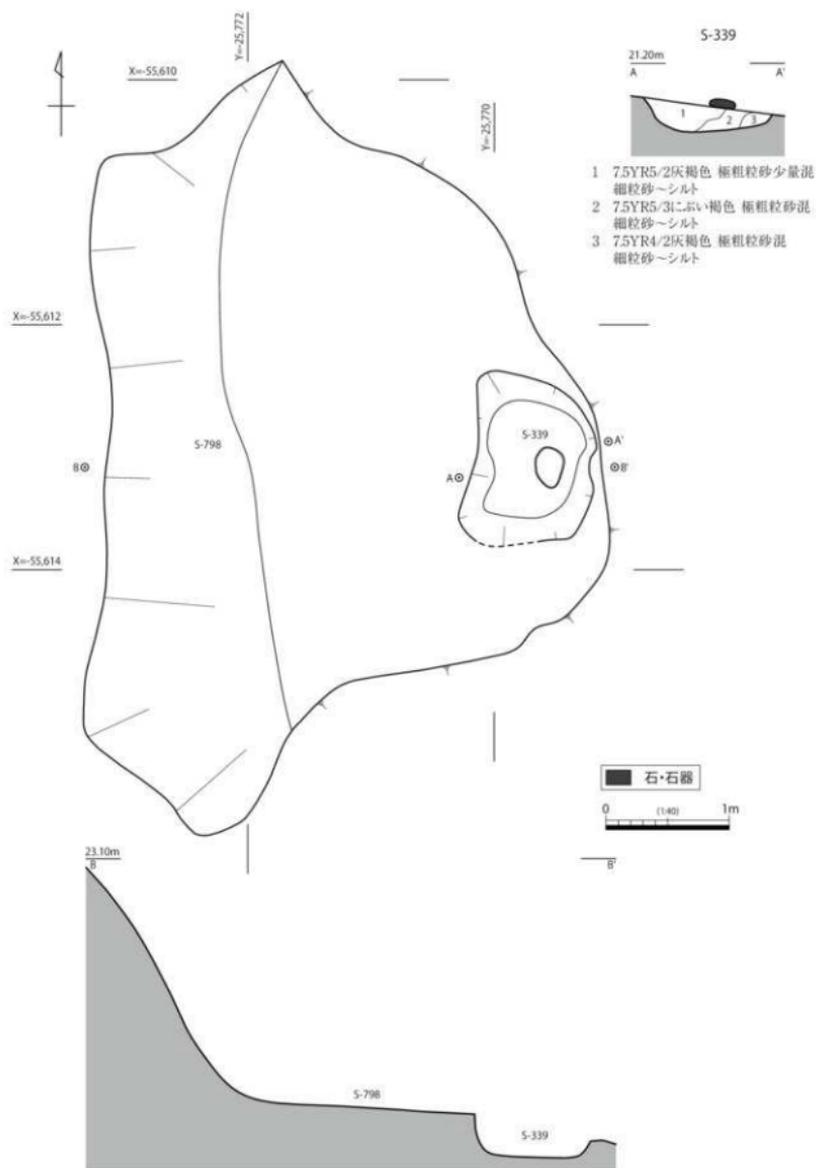
S-456土坑(第Ⅲ-4-5・7・9図)

長軸1.16m、短軸1.08m、深さ0.59mの平面隅丸方

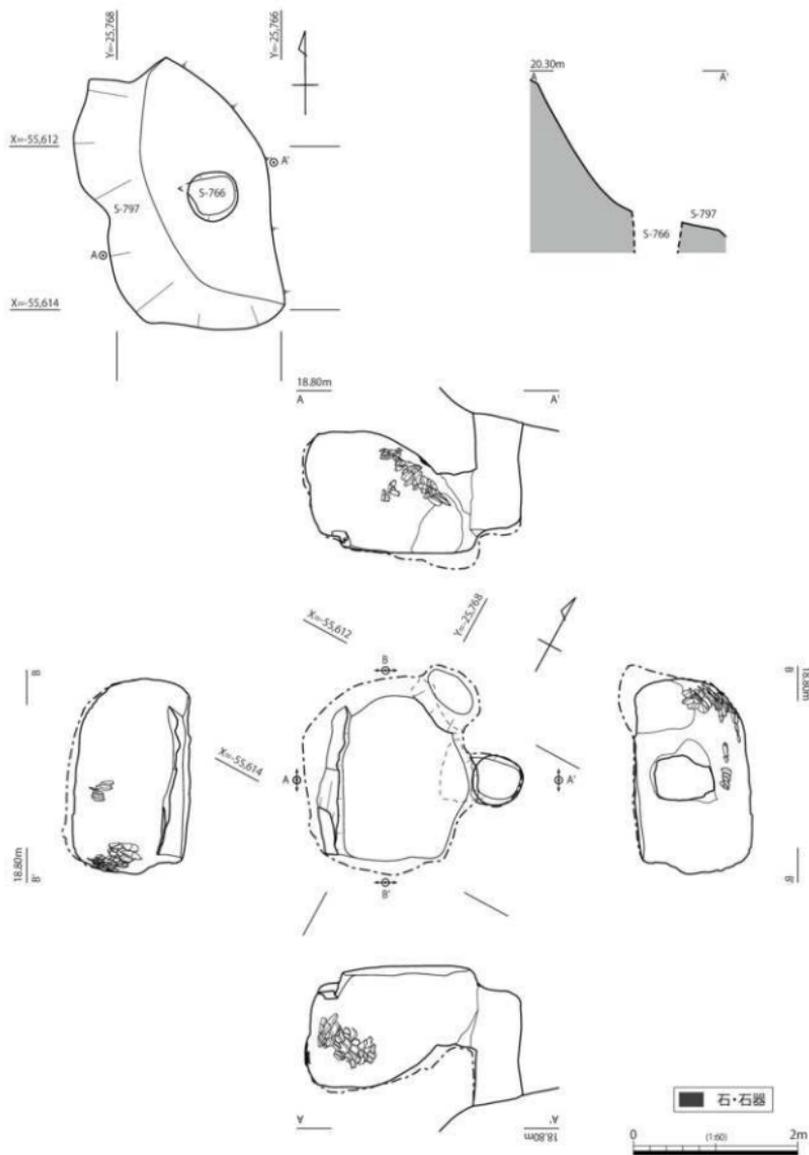
第Ⅲ章 1区の調査



第Ⅲ-4-9 図 S-727・789・787ほか段状遺構等断面図3



III-4-10 図 S-798段状遺構、S-339土坑 平・断面図

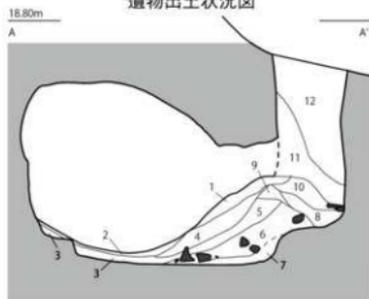


第Ⅲ-4-11図 S-766地下式土坑 平・立・断面図



第Ⅲ-4-12図 S-766地下式土坑

遺物出土状況図



- 1 7.5YR5/1褐灰色 根混 極粗粒砂多量混 細粒砂
～シルト 崩落土
- 2 7.5YR7/1明褐灰色 中粒砂混シルト～粘土 軟質
- 3 7.5YR7/1明褐灰色 7.5YR6/2灰褐色 極粗粒砂多量混
中粒砂～細粒砂
- 4 7.5YR6/1褐灰色 極粗粒砂混細粒砂～シルト
- 5 7.5YR5/1褐灰色 極粗粒砂多量混 中粒砂～細粒砂
- 6 7.5YR6/1褐灰色 極粗粒砂多量混 粗粒砂～細粒砂
- 7 7.5YR5/2灰褐色 極粗粒砂多量混 中粒砂～細粒砂
- 8 7.5YR6/1褐灰色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト
- 9 7.5YR5/2灰褐色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト 軟質
- 10 7.5YR6/1褐灰色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト
- 11 7.5YR4/1褐灰色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト
- 12 7.5YR4/2灰褐色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト



第Ⅲ-4-13図 S-766地下式土坑 土層断面図

約1.2m、幅約0.10m～0.15m、底面からの高さ約0.10mの段がある。段上面は傾斜しており、南東側が北西端部より約14cm程度高い。また、底面の北東端部には、長軸0.79m、短軸0.67m、地下室底面からの深さ約0.1mの平面楕円形の土坑がある。

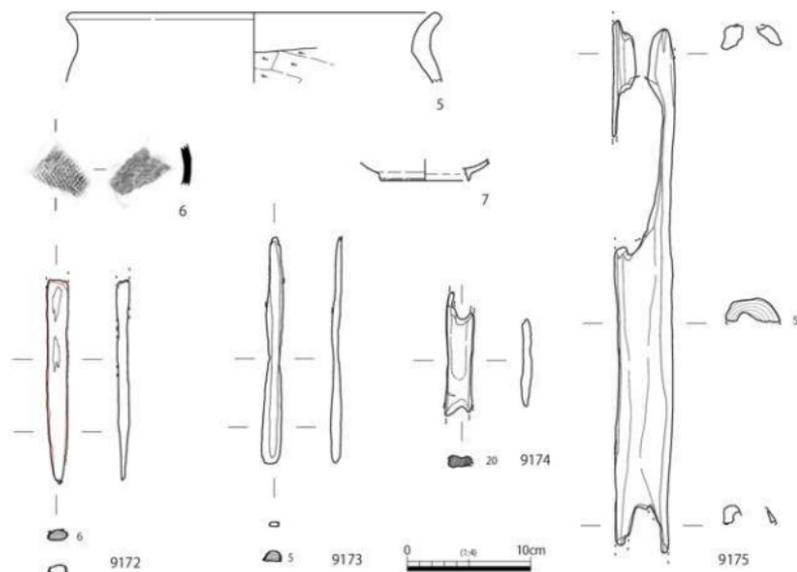
天井部は、底面から最大1.45m程度で、入口側がやや丸くなるドーム状を呈する。四方の壁面と天井部には工具痕が認められた。幅15cm程度の刃部をもつ工具で掘削したと考えられる。

竪坑には土が充填され、入口から空洞として残る地下室内に、充填土が流入した状態であった。流入土は、入口付近で厚さ0.70m程度、奥壁付近で厚さ6cm前後の堆積である。なお、この流入土を除去したところ、入口付近の底面直上で5cm～20cm角の角礫を多数検出した。本来は入口直近にも礫は存在したが、流入土の掘削・除去の際に誤って一部を除去している。

底面直上から、白磁7、及び木器9172～9175が出土した。白磁7は入口付近の角礫中から出土し、木器9172・9173は地下室底面直上、9174・9175は地下室底面の土坑底面から出土した。

白磁は高台部の破片で、16世紀頃の所産とみられる。また、流入土中から桃核1点が出土した。

木器9174は、中央に溝を彫り込んだ棒状の部材で、両端部を股状に加工する。9175は、長さ42.8cm、幅4.7cmで9174同様に中央に溝を彫り込んだ棒状の部材である。両端部を股状に加工するが、一方は浅い股状を呈するのに対し、他の方は一部欠損するものの、端部は狭く、内部は楕円形に大きく抉るものと推定される。9172・9173は、ともに扁平な棒状をなすもので、9172は先端部が細くなる形状、9173は中央部が細くなる形状をなす。これらと同形の他例を見出すことはできないが、紡織具であろうか。



第Ⅲ-4-14図 S-766地下式土坑 出土遺物

3 S-25・27・28・34・36・42溝、及びS-974・974段状遺構周辺の遺構(第Ⅲ-4-15～21図)

前項で述べたS-727・785等段状遺構の下段にあたり、標高19.0m～17.0mに広がる大きな加工段内で検出された壁溝とみられる一群である。流失によりいずれも床面は残存しない。弥生時代後期～古墳時代前期、及び中世(15世紀前後)の遺物も検出されているが、多くは近世から近代(18～19世紀頃)の遺構と推定される。

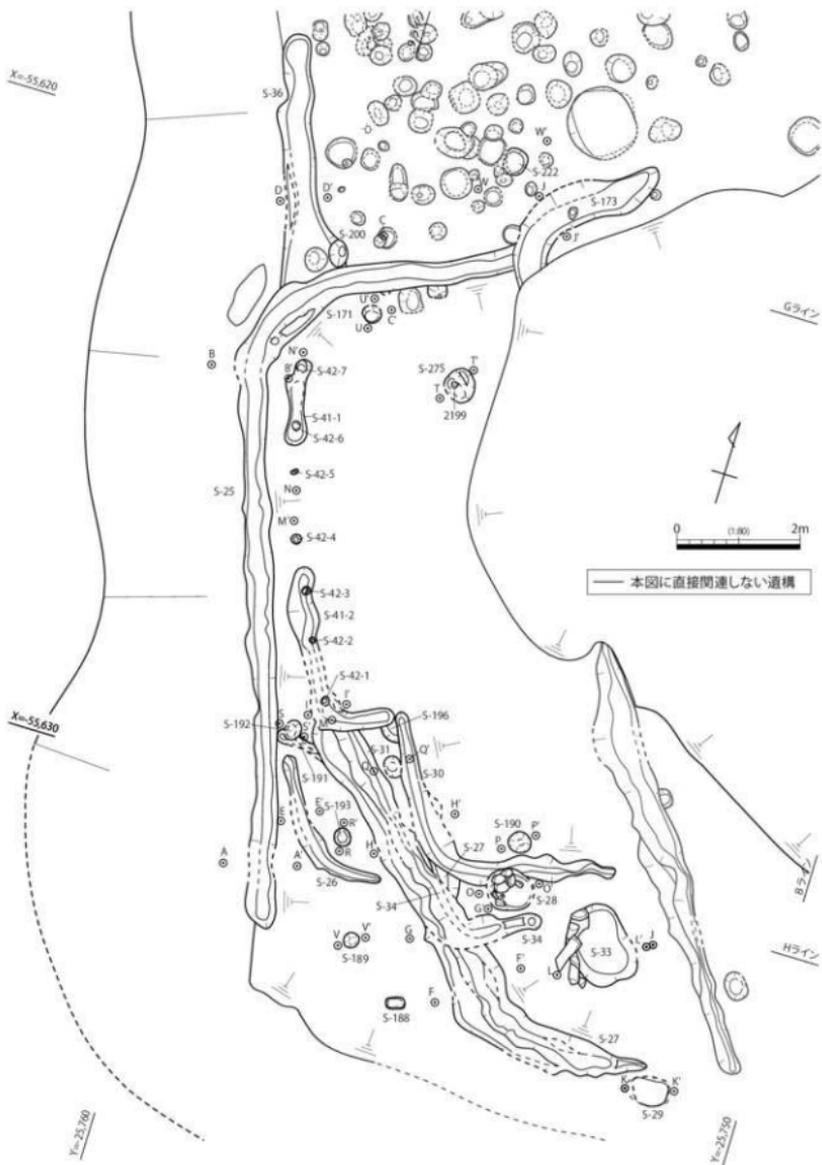
S-25溝(第Ⅲ-4-15・16・18図)

底面は多くの部分が流出しており、正確な規模は不明だが、壁溝と考えられるS-25の規模からみて、南北13mを超える床面をもつ段状遺構と推定される。西側の壁面は、弥生・古墳時代の段状遺構を大きく切って造成されており、壁面上端ラインは標高19m前後に推定される。溝の幅は約0.4m～0.5mで、西側から北側に向けて「L」字状に掘削されている。深さは、南端部で2cm程度、北・東側に向けて深くなり、東端部では約25cmである。床面南側には存在しない。溝内から鉄軸を施した須佐焼とみられる播鉢17が出土しており、18～19世紀頃の遺構と考えられる。

S-26溝(第Ⅲ-4-15・16図)

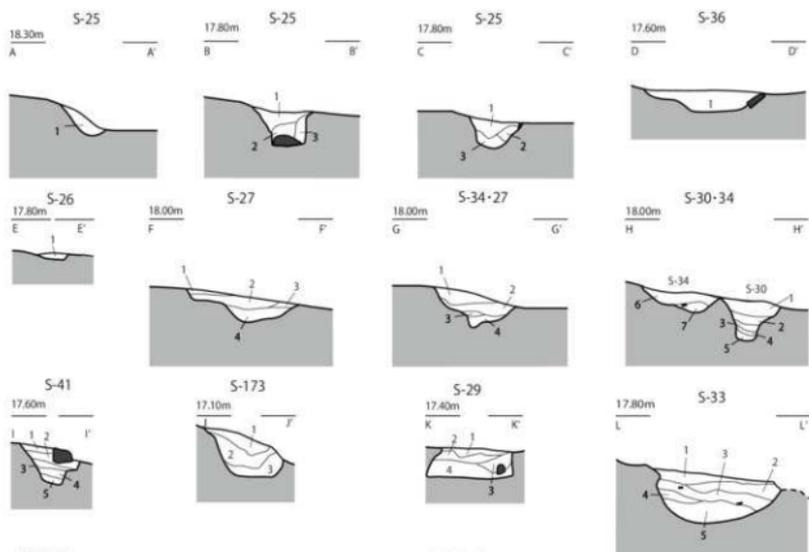
幅0.15m～0.35m、深さ5cm程度で、北西側から東側へ弧状に伸びるものである。底面は流出しており、S-193土坑が伴うか分からない。遺物は出土していない。

S-27溝(第Ⅲ-4-15・16図)



第Ⅲ-4-15図 S-25~27・28・30・34・36・42溝周辺遺構平面図

第三章 1区の調査



土層断面A

1 10YR4/6褐色土 φ2~3mm大の石英粒多量混

土層断面B

1 10YR5/1褐灰色土 しまる 粘性あり

2 10YR4/1褐色土 しまる 粘性あり

3 10YR4/1褐色土 しまる 粘性あり

土層断面C

1 10YR3/4暗褐色土 φ3mm大の石英粒多量混 炭化物混

2 10YR5/3にぶい黄褐色土 地山ブロック混

3 10YR4/2灰褐色土 φ3mm大の石英粒多量混 炭化物混

土層断面D

1 10YR4/6褐色土 粘性あり

土層断面E

1 10YR 4/6褐色土 φ2~4mmの石英粒・地山ブロック混

土層断面F

1 10YR6/8 明黄褐色土 地山ブロック主体

2 10YR5/8 黄褐色土 φ3mm大の石英粒多量混

3 10YR6/4 にぶい黄褐色土 φ3mm大の石英粒多量混

4 10YR6/4 にぶい黄褐色土 φ3mm大の石英粒多量混

土層断面G

1 10YR 6/8 明黄褐色土 地山ブロック主体 (S-34)

2 10YR 5/4 にぶい黄褐色土 地山ブロック混 φ3mm大の石英粒多量混 (S-34)

3 10YR 5/8 黄褐色土 φ3mm大の石英粒多量混 (S-27)

4 10YR 6/4 にぶい黄褐色土 φ3mm大の石英粒多量混 (S-27)

土層断面H

1 10YR5/3 にぶい黄褐色土 3~5cm大の角礫混 しまる 粘性弱 (S-30)

2 10YR5/2 灰黄褐色土 地山ブロック混 しまる 粘性弱 (S-30)

3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 3層より地山ブロック多量混 しまる 粘性弱 (S-30)

4 10YR3/3 暗褐色土 3~5cm大の角礫混 しまりなし 粘性弱 (S-30)

5 10YR4/6 褐色土 地山(花崗岩)を主体とする埋土 しまりなし 粘性弱 (S-30)

6 10YR5/4 にぶい黄褐色土 地山ブロック混 φ3mm大の石英粒多量混 (S-34)

7 10YR5/4 にぶい黄褐色土 3~5cm大の角礫混 φ3mm大の石英粒多量混 (S-34)

土層断面I

1 10YR5/3にぶい黄褐色土 地山主体の埋土 しまる 粘性弱(整地土)

2 10YR4/3にぶい黄褐色土 地山ブロック混 しまる 粘性弱

3 10YR4/3にぶい黄褐色土 2層より地山土を含む しまる 粘性弱

4 10YR3/3暗褐色土 角礫混 しまる 粘性弱

5 10YR4/6褐色土 地山(花崗岩)主体の埋土 しまる 粘性弱

土層断面J

1 10YR7/1灰白色シルト φ3mm大の石英粒 土器含む

2 10YR7/2にぶい黄褐色シルト φ3mm大の石英粒・黄褐色 地山ブロック少量混

3 10YR10/6にぶい黄褐色シルト 黄褐色地山土多量混

土層断面K

1 7.5YR7/1明褐色土 φ2~4mm石英粒・土器混

2 10YR6/8黄褐色土 φ2~4mm石英粒混 地山ブロック主体

3 7.5YR6/1褐色土 φ2~4mm石英粒混

4 7.5YR6/1褐色土 φ2~4mm石英粒混

土層断面L

1 10YR4/4褐色土 花崗岩(地山)を主体

2 10YR3/4暗褐色土 地山ブロック少量混

3 10YR4/4褐色土 花崗岩(地山)主体の埋土

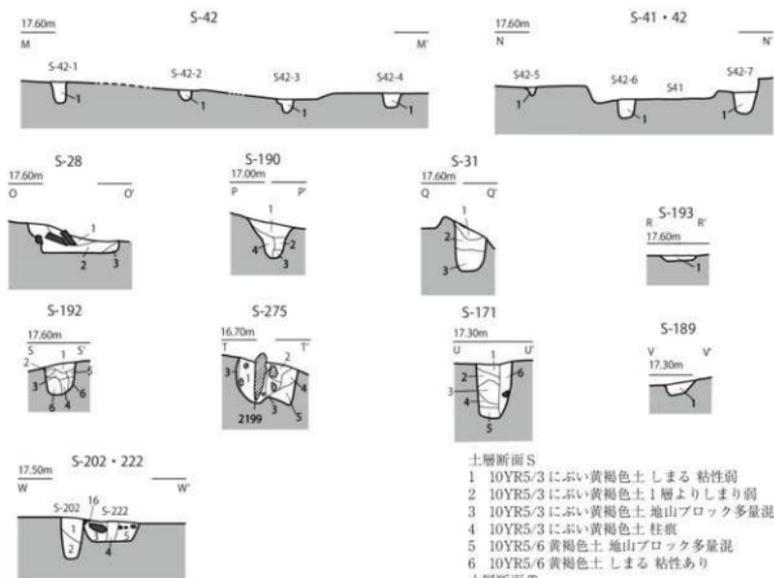
4 10YR3/4暗褐色土 粘性強

5 10YR5/2灰黄褐色土 黄褐色粘土ブロック少量混 粘性あり

■ 石・石器



第三-4-16図 S-25・26・27・30・34・36・41・173溝、S-29・33土坑土層断面図



土層断面M・N

1 10YR5/2 暗黄褐色粘土 φ2mm大の石英粒混

土層断面O

1 2.5Y5/2 暗灰黄色土 φ2~3mm石英粒多量混

φ20cm大の礫混

2 2.5Y4/2 暗灰黄色土 φ2~3mm石英粒多量混

地山ブロック混

3 2.5Y4/2 暗灰黄色土 φ2~3mm石英粒多量混

地山ブロック多量混

土層断面P

1 10YR5/4 黄褐色土 しまる 粘性あり

2 10YR5/6 黄褐色土 地山土主体

3 10YR5/6 黄褐色土 地山土主体 3層は粘性強

4 10YR4/2 灰黄褐色土 しまる 粘性弱

土層断面Q

1 10YR3/4 暗褐色土 炭化物・土器混 しまる 粘性弱

2 10YR4/6 褐色土 炭化物混 しまる 粘性弱

3 10YR4/6 褐色土 炭化物混 しまる 粘性弱

土層断面R

1 10YR 4/4 褐色土 黄褐色地山ブロック多量混

しまり弱 粘性弱

土層断面S

1 10YR5/3 黄褐色土 しまる 粘性弱

2 10YR5/3 黄褐色土 1層よりしまり弱

3 10YR5/3 黄褐色土 地山ブロック多量混

4 10YR5/3 黄褐色土 柱状

5 10YR5/6 黄褐色土 地山ブロック多量混

6 10YR5/6 黄褐色土 しまる 粘性あり

土層断面T

1 10YR8/1 灰白色シルト

2 10YR8/1 灰白色シルト 礫混

3 10YR8/3 灰白色シルト 地山混

4 10YR7/2 灰白色シルト

5 10YR5/8 黄褐色土

土層断面U

1 10YR5/1 褐色土 しまる 粘性あり

2 10YR4/1 褐色土 炭化物混 しまり弱 粘性あり

3 10YR5/4 黄褐色土 地山ブロック多量混

しまり弱 粘性あり

4 10YR4/1 褐色土 地山ブロック混 しまり弱

粘性あり

5 10YR2/2 黒褐色土 炭化物混 しまり弱 粘性あり

6 10YR4/6 褐色土 地山(明褐色)主体の埋土

しまる 粘性あり

土層断面V

1 10YR 5/4 黄褐色土 しまり・粘性弱

土層断面W

1 10YR5/3 黄褐色土

2 10YR5/3 黄褐色土

3 10YR5/3 黄褐色土 しまる

粘性あり

4 10YR4/4 褐色土 土器・礫混 しまる

粘性あり

5 10YR5/3 黄褐色土 しまる

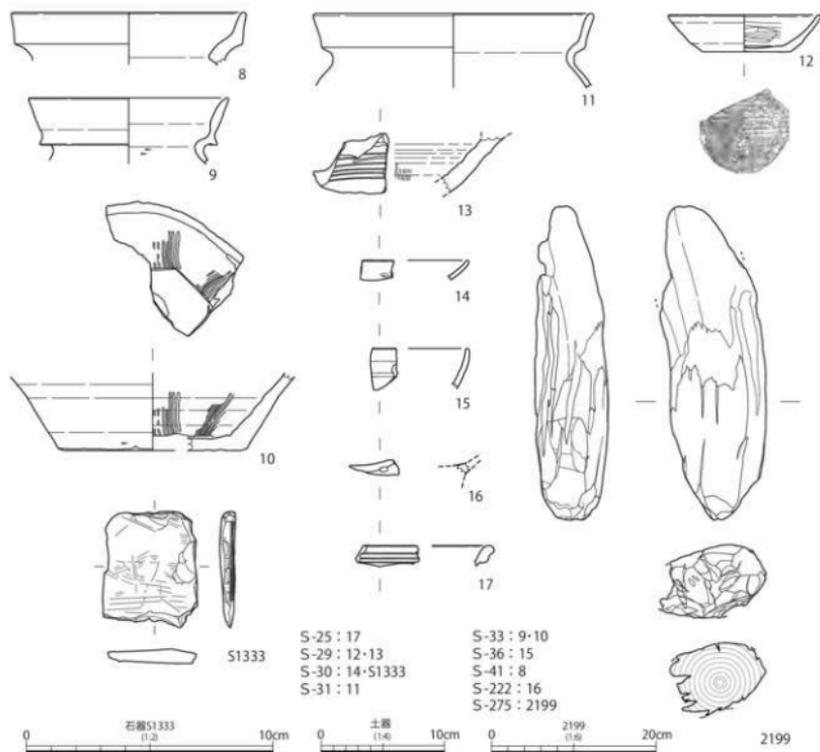
粘性あり



第三-4-17図 S-41・42溝、S-28・31・171・189・190・192・193・202・222・275土坑土層断面図

一部S-34に切られているが、南東側から北西側に向けて伸びる。土層断面や、南西側に残る段からみて、幅0.40m~0.70m程度の溝が掘り直された結果と考えられる。深さは当初の遺構が20cm程度、最終的な遺構は5cm~7cm程度である。遺物は出土していない。

S-30溝(第三-4-15・16・18図)



第Ⅲ-4-18図 S-25・30・36溝、S-29・31・33・222土坑 出土遺物

幅約0.20m～0.50m、深さは最大0.32m程度で、東側から北西側に向けてL字状に伸びる。埋土中から18世紀頃とみられる陶器の皿14、砥石1333が出土した。

S-34溝(第Ⅲ-4-15・16図)

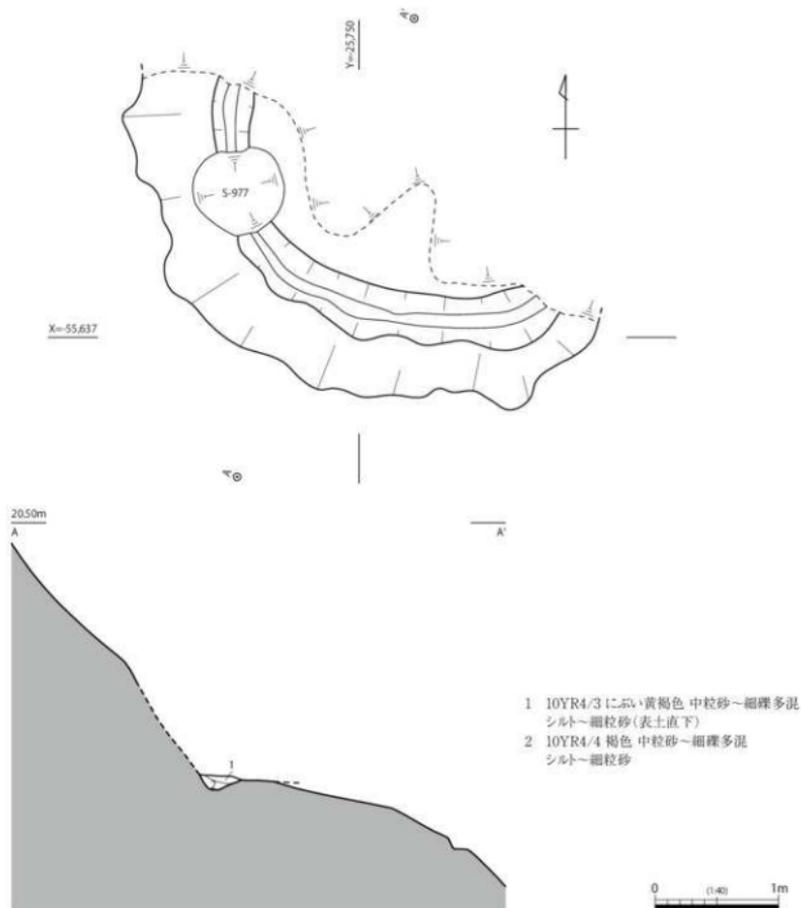
S-27を切って掘削されている。幅約0.20m～0.80m、深さ約0.15m～0.30m、北東側から北西側へ「L」字状に屈曲する。南西寄りに幅0.10m～0.15mの段があることから掘り直しが行われたと考えられる。遺物は出土していない。

S-41溝(第Ⅲ-4-15～18図)

S-41-1溝は、幅0.10m～0.15m、深さ0.14m程度、長さ約1.4mである。本来は、S41-2溝と連続し、S-25溝とほぼ平行する段状遺構の壁溝を構成していたことが推定される。S-41-2溝は、幅約0.3m～0.5m、深さ5cm程度で北東側から北西側へ「L」字型に屈曲する溝である。

S-42土坑(第Ⅲ-4-15・17図)

S-41・42溝の軸に沿い小土坑7基(S-42-1～S-42-7)を検出した。直径10cm～16cmの土坑で、底面レベルはやや差違があるが、概ね0.8m～1.0mの間隔で一列に存在することからセットと理



第三-4-19図 S-976段状遺構 平・断面図

解した。S-41溝との関係は不明である。ほぼ平行するS-25溝や隣接するS-30溝が近世の遺構であることから、ほぼ同時期の遺構と思われる。

S-36溝(第三-4-15・16・18図)

幅0.44m～1.00m程度、深さ0.16m程度の溝で、長さは約4mを検出した。S-25溝の東側壁面にほぼ連続する形で、北側へ続く段状遺構の周壁溝と推定される。底面では、弥生時代から古墳時代の遺構を含む多くの土坑を検出しており、その残存状況からみてもS-36を壁溝とする段状遺構がこうした遺構を大きく削平して造成されたことが推測される。床面の範囲は、概ねS-36の北側から東側

第三章 1区の調査

へ広がる段の範囲(第三-5-217図に示す範囲)と思われるが、多数の遺構が混在し、床面とみられる範囲も東側へ傾斜していることなどから、その範囲は明らかではない。

溝埋土中から陶器の埴15が出土した。なお、東側のS-222土坑からも近世とみられる白磁の埴16が出土した。

S-173溝(第三-4-15・16図)

幅約0.50m~0.65m、深さ約0.30m~0.35mの溝で、北東側から南東側へ「L」字状に伸びる。遺物は出土していない。

S-28土坑(第三-4-15・17図)

長軸0.77m、短軸0.68m、深さ0.24mで平面不整形な土坑である。S-30溝より新しいことから、近世18世紀以降の遺構と考えられる。

S-29土坑(第三-4-15・18図)

長軸0.59m、短軸0.48m、深さ0.20mである。平面は不整な円形を呈し、内部はやや袋状を呈する。埋土中から土師器の埴12及び15世紀頃とみられる陶器の播鉢13が出土した。土師器の埴12の底部は回転糸切り後板に押圧したものである。

S-33土坑(第三-4-15・16・18図)

長軸1.33m、短軸0.98m、深さ0.48mで、平面は不正な方形を呈する。内部は一部袋状をなす。埋土中から近世とみられる陶器の播鉢10が出土した。

S-275柱穴(第三-4-15・17図)

長径0.53m、短径0.49m、深さ0.38mの土坑内に、高さ0.38cm、最大幅11.9cmの柱2199がほぼ直立した状態で残存していた。周囲にセットをなす土坑は確認できない。遺物は出土していない。

S-976段状遺構(第三-4-19図)

長軸約4.2m、短軸約1.8mをなし、底面の最大幅は90cmである。壁面際には、幅0.30m~0.47m程度、深さ5cm~7cmの壁溝がある。切り合うS-977地下式土坑よりも古い遺構とみられる。遺物は出土していない。

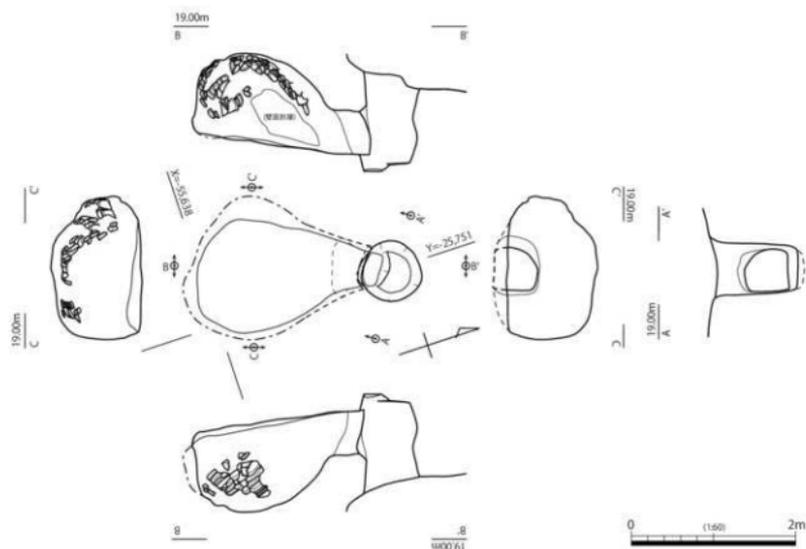
S-977地下式土坑(第三-4-20~22図)

開口部から鉛直方向へ下る竪坑と、竪坑下部から水平方向へ広がる地下室部に分かれるもので、既述のS-766地下式土坑と類似した形態の遺構である。竪坑平面は直径0.73m前後の円形を呈し、開口部から竪坑底面までの深さは約1.1mである。地下室は竪坑下部の南南西側に開口し、開口部直下の竪坑底面には長軸0.45m、短軸0.35m、竪坑底面からの深さ約8cmの土坑状の掘り込みがある。開口部は高さ0.61m、幅0.51mを測る。

地下室の天井部は、完掘底面から最大1.1m程度で、入口側がやや丸くなるドーム状を呈する。一部の壁面と天井には工具痕が残存する。幅10cm~15cm程度の刃部をもつ工具で掘削したと考えられる。

底面は2面あったと推定される。上面(第2面)は、土層断面3層~5層の下面(または3層・4層の下面)、10層~13層の上面にあたる。この底面は傾斜しており、奥壁側が高く、開口部が低い。

第1面の底面直上から、角礫、多数の炭片が出土した。角礫3個体は、床面南東側で出土したもので、いずれも16cm~20cm角の大きさである。使用痕や被熱の痕跡はみられない。炭片は地下室中央付近を中心に分布しており、長さや幅が1cm~2cm、厚さ0.5cm程度のものが7片、その他



第Ⅲ-4-20図 S-977地下式土坑 平・立面図

小片が多数出土した。このうち炭片2点(N0.5525・5529)について、樹種同定、放射性炭素年代測定を実施したところ、樹種はモクレン属、年代測定(暦年校正結果)は、calAD 1482 - calAD 1637(N0.5525)、及びcalAD 1480 - calAD 1635(N0.5529)の結果を得ている。

第2面は、地山直上である。奥壁側から地下室開口部に向けて傾斜しており、開口部側が奥壁側より最大0.21m低い。また、開口部底面は、堅坑の底面より約0.12m高い位置にあたる。底面から遺物は出土していない。

埋土は、堅坑内には土が充填された状態で、上部の厚さ0.4m程度は、2cm～15cm角程度の角礫により充填されていた。地下室内は空洞の状態、開口部付近には堅坑から流入した土砂が堆積していた。

4 その他、散在的に存在する遺構(第Ⅲ-4-23～26図)

既述の遺構以外の土坑・溝について以下で報告する。

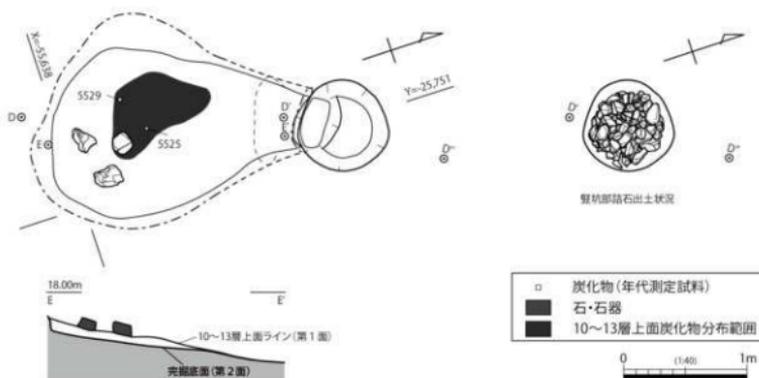
S-319土坑(第Ⅲ-4-23・24図)

G11グリッドに位置する。長軸1.29m、短軸0.78m、深さ0.50mで、南西側にテラス状の段をもつ。埋土中から、須恵器の甍片18が出土している。周囲の遺構との切り合い関係は不明である。

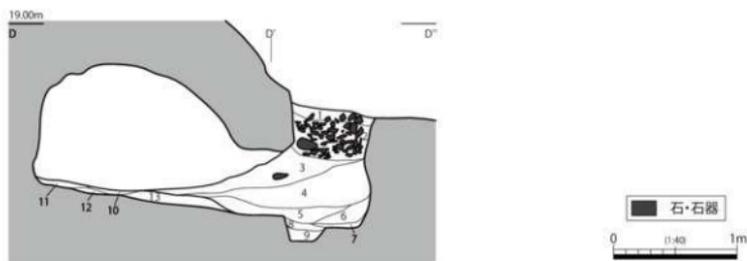
S-5土坑(第Ⅲ-4-23・24図)

H11グリッドに位置する。長軸1.09m、短軸0.81m、深さ0.43mで、楕円形の平面を呈する。壁面及び底面の一部は被熱により赤化しており、埋土下層にも多量の炭化物小片を含む。最上層から8世紀代の所産とみられる土師器の坏5が出土した。炭化物について放射性炭素年代測定を実施したとこ

第三章 1区の調査

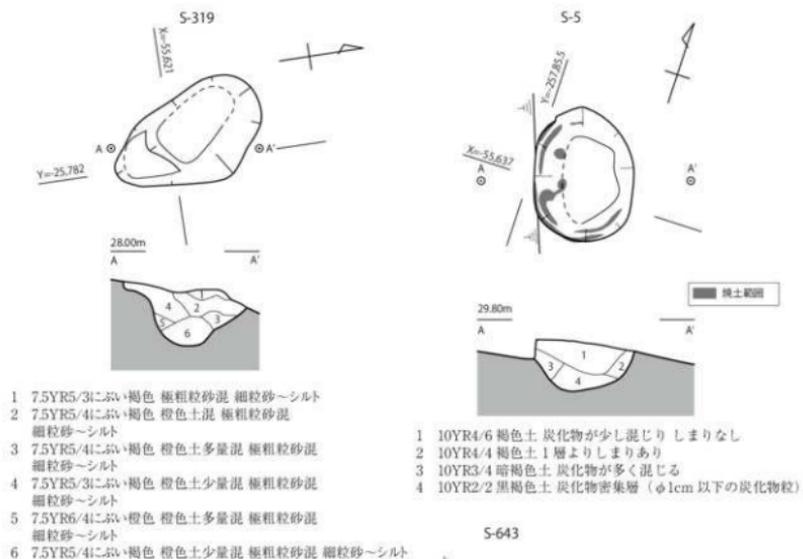


第三-4-21図 S-977地下式土坑竪坑部詰石出土状況、地下室10~13層上面 遺物出土状況図

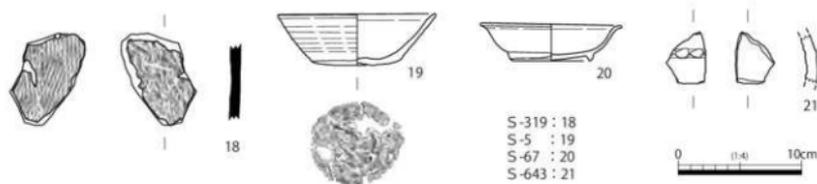


- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 極粗粒砂～中粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 10YR5/3 にぶい褐色 粗粒砂～中粒砂混 細粒砂～シルト (5～20cm角の角礫層に含まれる土) しまる
- 3 10YR5/4 にぶい褐色 にぶい黄褐色粘土～中粒砂少量混 粘土混 中粒砂～細粒砂 軟質
- 4 10YR5/3 にぶい褐色 にぶい黄褐色粘土～中粒砂多量混 極粗粒砂～粘土多量混 中粒砂～細粒砂
- 5 10YR5/1 褐灰色 極粗粒砂～粘土多量混 中粒砂～細粒砂
- 6 10YR5/1 灰褐色 炭多量混 極粗粒砂～粘土多量混 中粒砂～細粒砂
- 7 10YR5/3 にぶい黄褐色 極粗粒砂～粘土多量混 中粒砂～細粒砂
- 8 10YR6/4 にぶい黄褐色 極粗粒砂～粘土多量混 中粒砂～細粒砂
- 9 10YR4/6 褐色 炭混 粘土～中粒砂混 細粒砂～シルト
- 10 10YR5/3 にぶい黄褐色 上面に炭化物片散在 極粗粒砂～粗粒砂混 中粒砂～細粒砂
- 11 10YR6/2 灰黄褐色 極粗粒砂～粗粒砂混 中粒砂～細粒砂
- 12 10YR6/2 灰黄褐色 にぶい黄褐色粗粒砂～中粒砂多量混 極粗粒砂～粗粒砂混 中粒砂～細粒砂 しまる
- 13 10YR6/2 灰黄褐色 にぶい黄褐色粗粒砂～中粒砂多量混 極粗粒砂～粗粒砂混 中粒砂～細粒砂

第三-4-22図 S-977地下式土坑 土層断面図

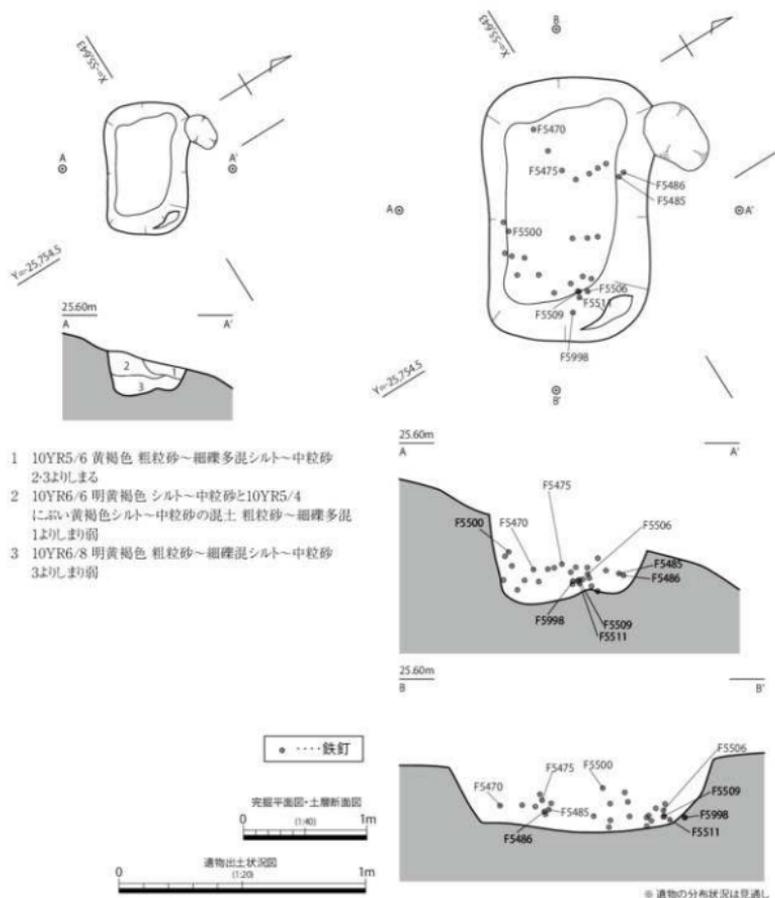


第三-4-23図 S-5・67・319・643土坑 平・断面図



第三-4-24図 S-5・67・319・643土坑 出土遺物

第三章 1区の調査



第三-4-25図 S-951土坑 平・断面図、遺物出土状況図

ろ、樹種はクリ、年代測定(暦年校正結果)は、calAD 680 - calAD 771の結果が得られた。

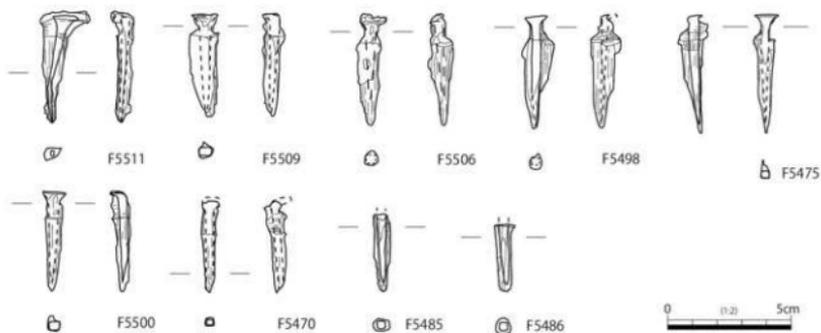
S-67土坑(第三-4-23・24図)

F9グリッドに位置する。長軸0.38m、短軸0.20m、深さ0.14m、楕円形の平面を呈する。埋土中から、16世紀頃の白磁の皿20が出土した。

S-643土坑(第三-4-23・24図)

G10グリッドに位置する。北東側は残存しないが、幅0.57m、長さ1.15m以上の土坑である。埋土中から近世とみられる陶器21が出土した。

S-951土坑(第三-4-25・26図)



第Ⅲ-4-26図 S-951土坑 出土遺物

I 8 グリッドに位置する。平面方形を呈し、長軸1.07m、短軸0.72m、深さ最大0.36mを測る。埋土中から28点の鉄釘が出土した。図化したもの9点以外はほぼ同種の釘とみられる小片である。釘頭、釘芯が方形をなす形態からみて、近世頃の土坑と考えられる。

第5節 弥生時代後期から古墳時代中期の遺構

1 遺構の概要

標高34mから17mに至る調査区のはほぼ全面にわたり当該期の遺構が分布し、段状遺構84基の他、多数の土坑を検出した。

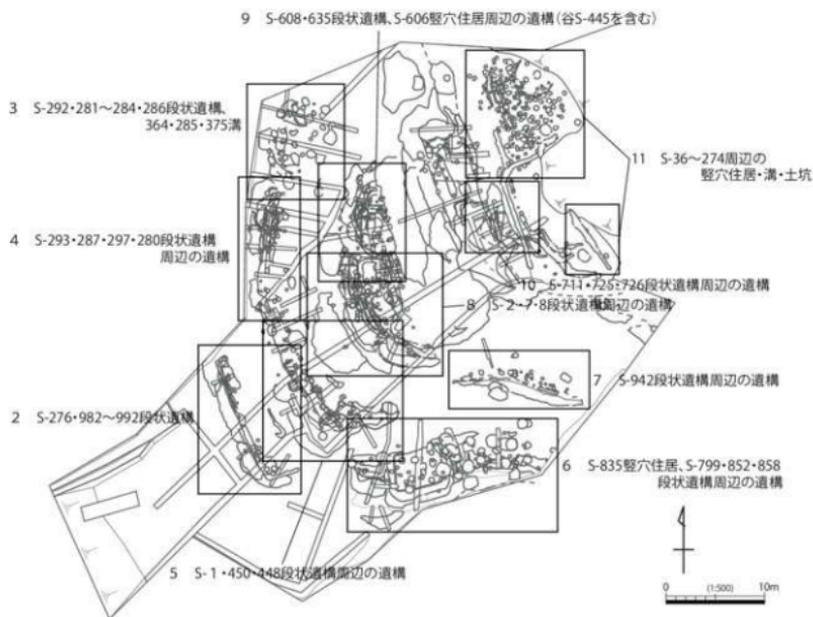
なお、多くの遺構を記載する本節では、記載の便宜上、遺構の分布域ごとに記載を行う。記載順、各項目で掲載される遺構の範囲は概ね第41図のとおりである。また、複雑な遺構の重複状況等に対する理解を補助するため、各項目の最初に主な遺構の概要を記載し、その後個別の記載を行う。

2 S-276・982～992段状遺構(第Ⅲ-5-2～20図)

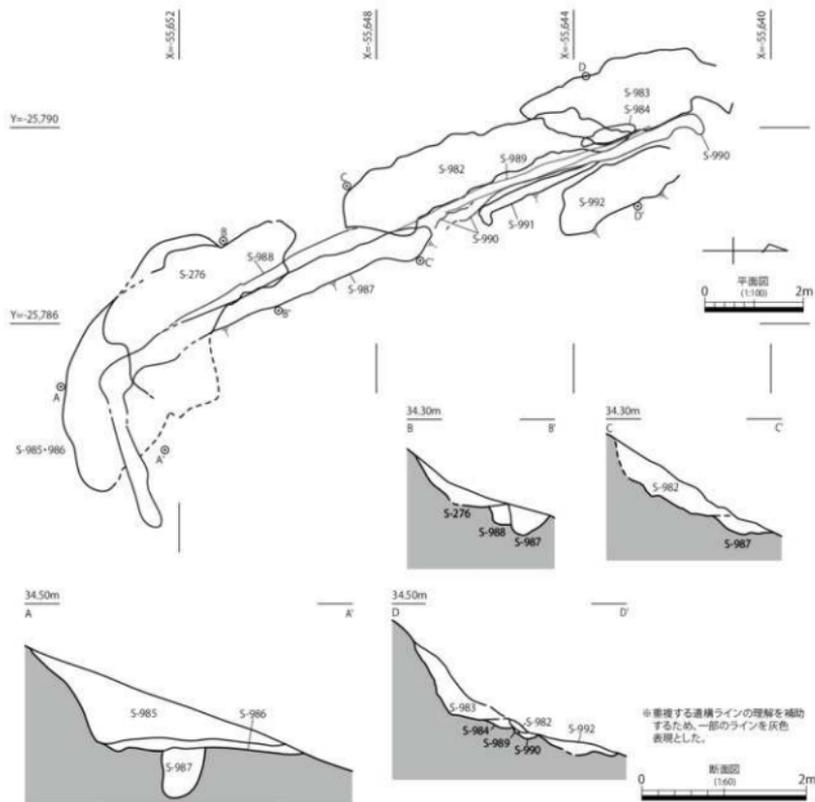
標高34m付近の調査区内で最も高い位置にある段状遺構の一群である。段状遺構やその残欠とみられる溝11基などを検出した。概して斜面下方側の遺構が古く、最終段階のS-276もしくはS-982段状遺構はより斜面側を深く掘削して造成されている。各遺構から乙亥正Ⅵ期の遺物が出土したことから、短期間のうちに連続して形成された遺構と考えられる。

S-276段状遺構(第Ⅲ-5-2～5-6図)

北東-南西方向4.5m、北西-南東方向1.6mの遺構である。床の平面はいびつな形状を呈し、北東側に向け比高にして10cm程度傾斜している。土層断面A-A'の2層上面から掘削される土坑(A-



第Ⅲ-5-1図 各項目で記載する遺構の位置



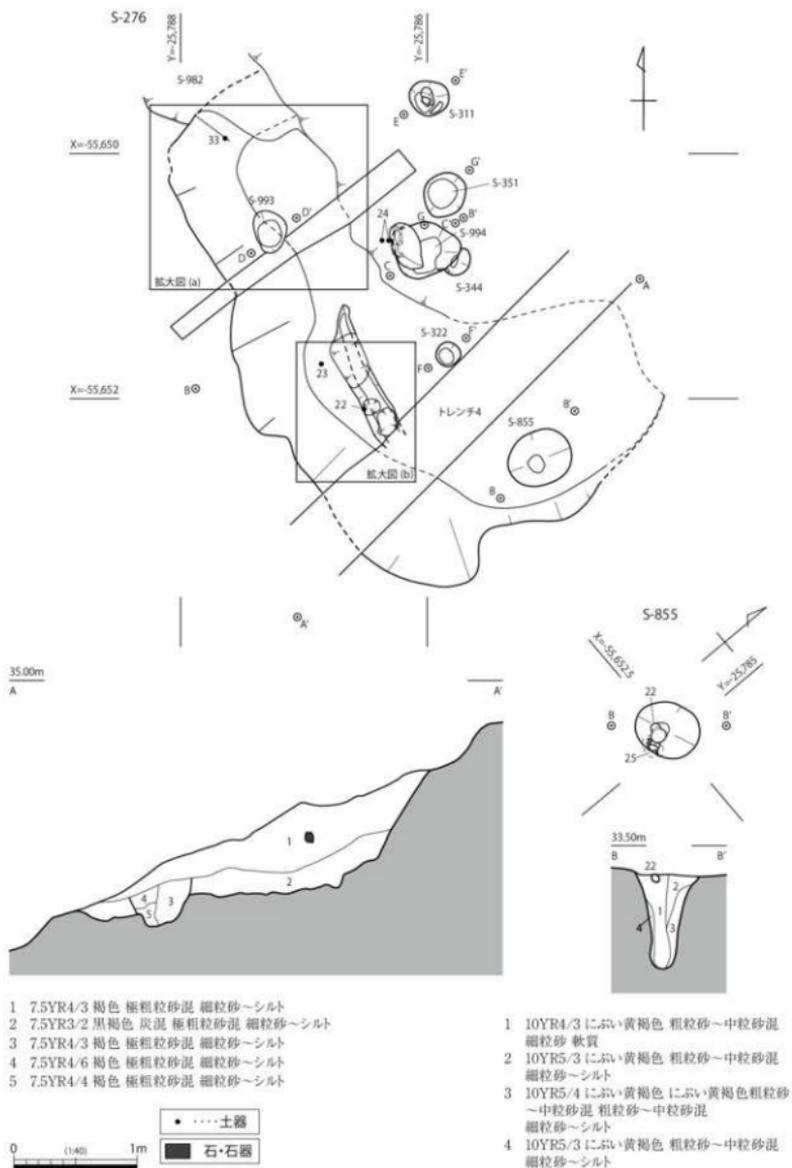
第Ⅲ-5-2図 S-276・982~992段状遺構概念図

A'断面、3層～5層、断面のみ記録)がみられるため、2層上面に調査できなかった床面が存在する可能性がある。床面の一部には幅20cm、深さ数1cm～2cmの浅い周壁溝がみられる。柱穴状の土坑は7基(S-311・322・344・351・855・993・994)検出した。いずれも本遺構の底面及び周辺で検出したものである。このうち、S-855・992は深さ80cm～90cm程度の深いもので、セットの可能性はある。

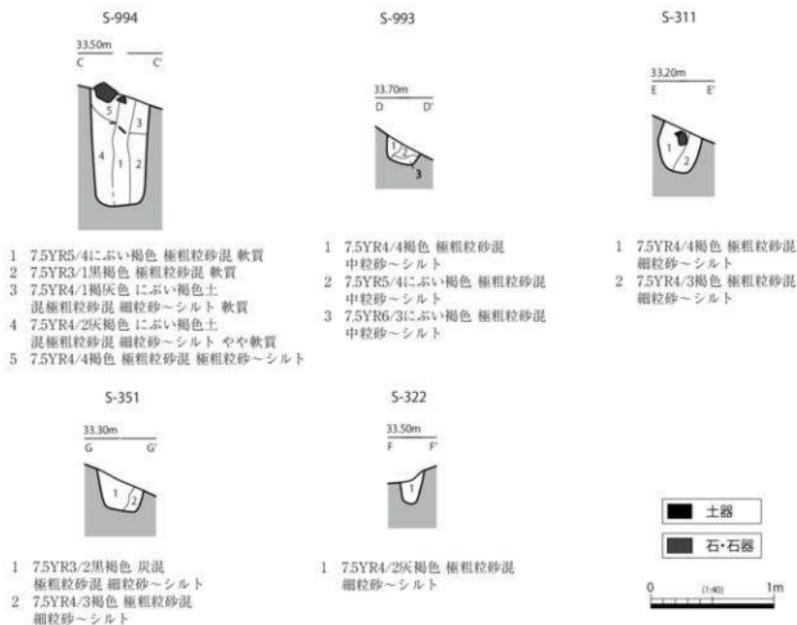
床面から数センチ高い埋土中から、甕27・28・38、高坏29、低脚坏30、胴部坏33が、その他埋土中から甕22～24・26、器台31が出土した。このうち、甕38(第Ⅲ-5-9図に掲載)は、S-982段状遺構の床面直上出土の甕と接合している。また、S-855土坑からは甕25、完形の直口壺32が出土した。出土遺物から乙亥正Ⅵ期頃の遺構と考えられる。

S-982段状遺構(第Ⅲ-5-7～5-9図)

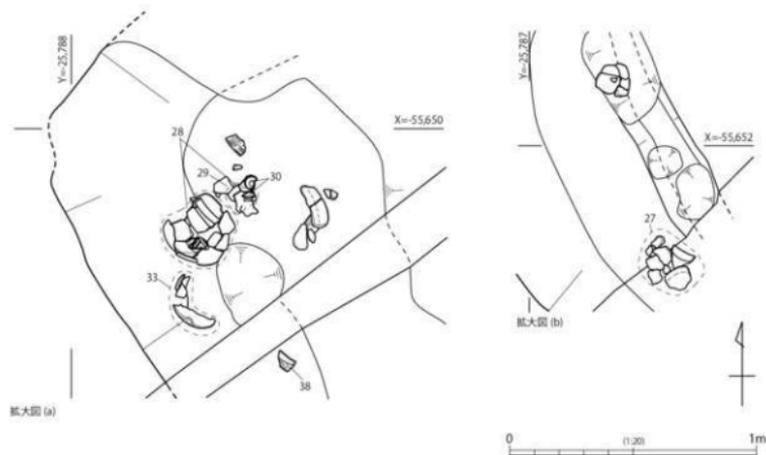
北西-南東方向5.5m程度、北東-南西方向1.5m程度の段状遺構である。床面に沿いS-310・



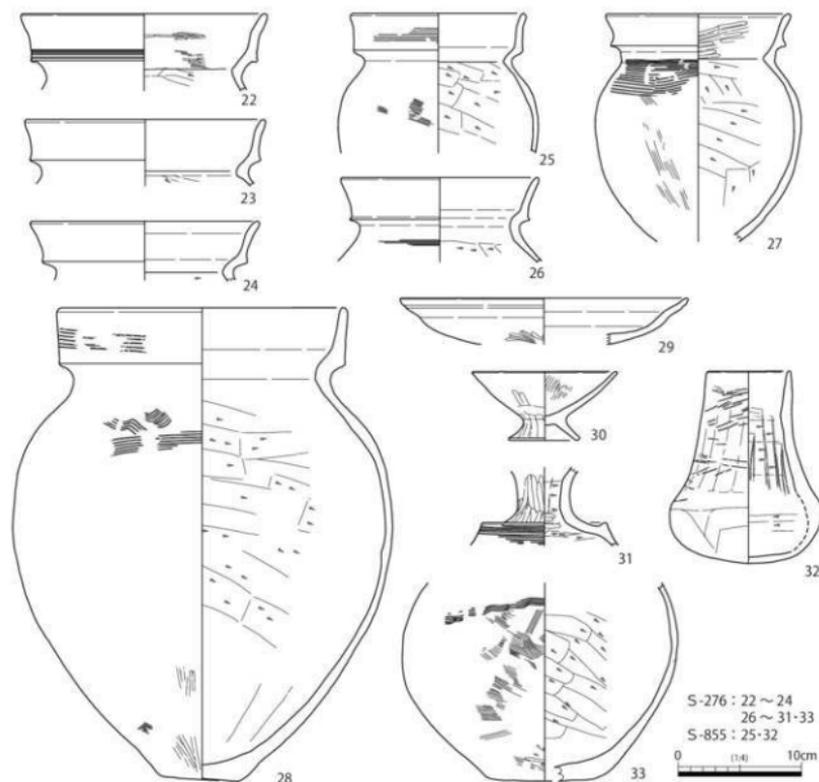
第三-5-3図 S-276段状遺構、S-311・322・344・351・855・944土坑 平・断面図



第三-5-4図 S-311・322・351・992・993・944土坑 断面図



第三-5-5図 S-276段状遺構 床面直上遺物出土状況図



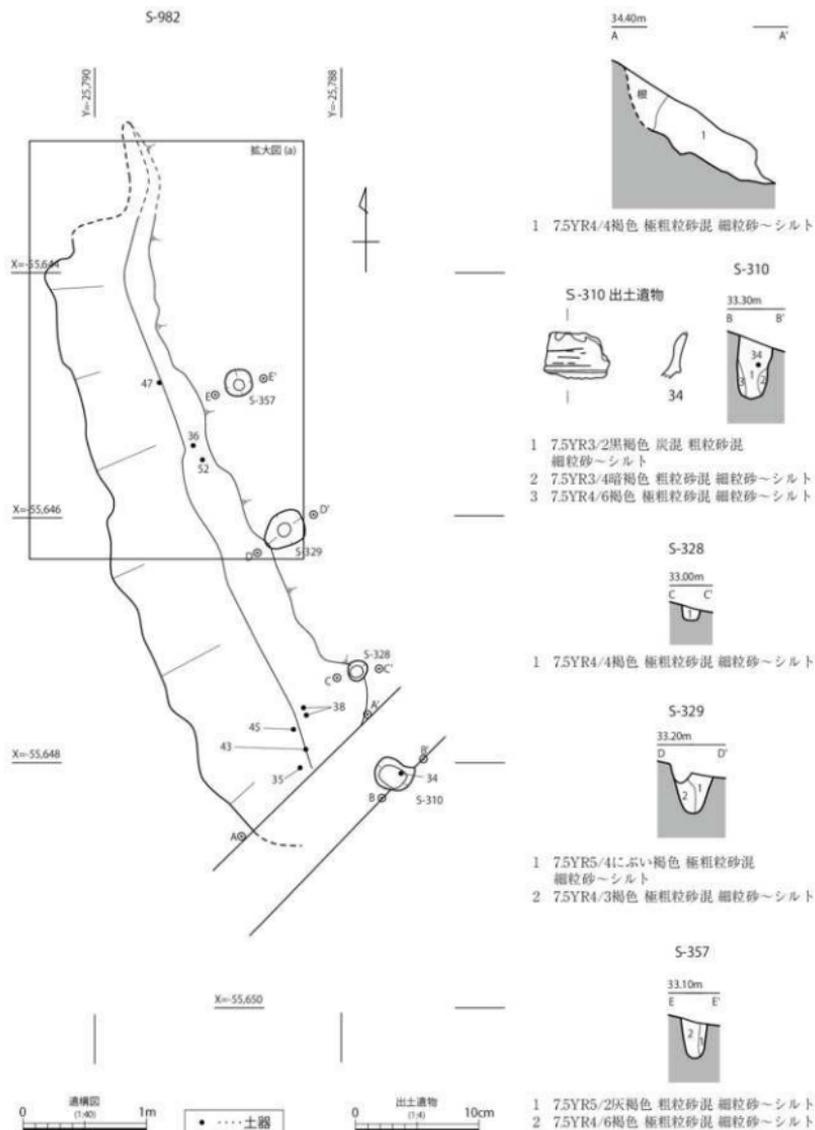
第三-5-6図 S-276段状遺構、S-855土坑 出土遺物

328・329・357土坑が検出された。1m~1.2mピッチで列状に並ぶ状況や、底面レベルが10cm程度の差に取まる状況からセットと推定される。重複する他の遺構との位置関係から本遺構に伴う土坑と推定される。

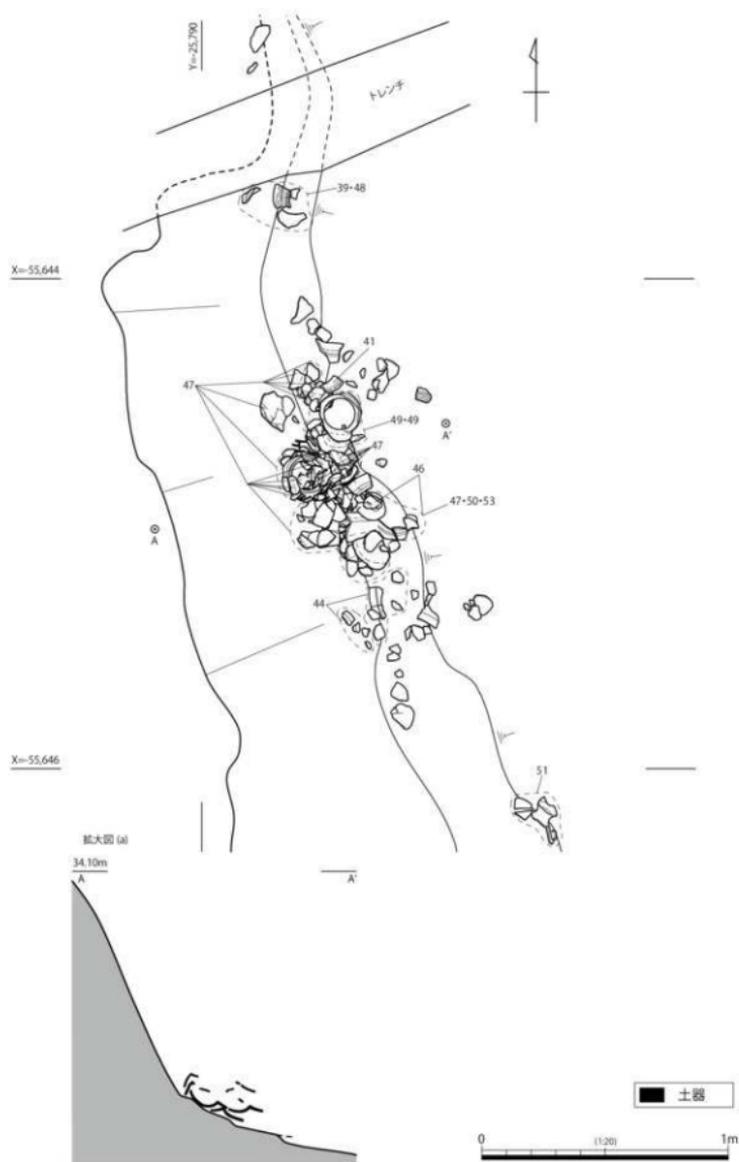
床面直上及び埋土中から多数の土器が出土した。北寄りの床面直上からは、甕39・41・42・44・36~50、器台(又は低脚坏)51、底部53が出土した。甕46・47はつぶれた状態で出土しており、器形の8割以上が復元できる個体である。その他埋土中から、壺35、甕36~38・40・43・45が出土した。出土遺物から乙亥正VI期頃の遺構と考えられる。

S-983段状遺構(第三-5-10~5-12図)

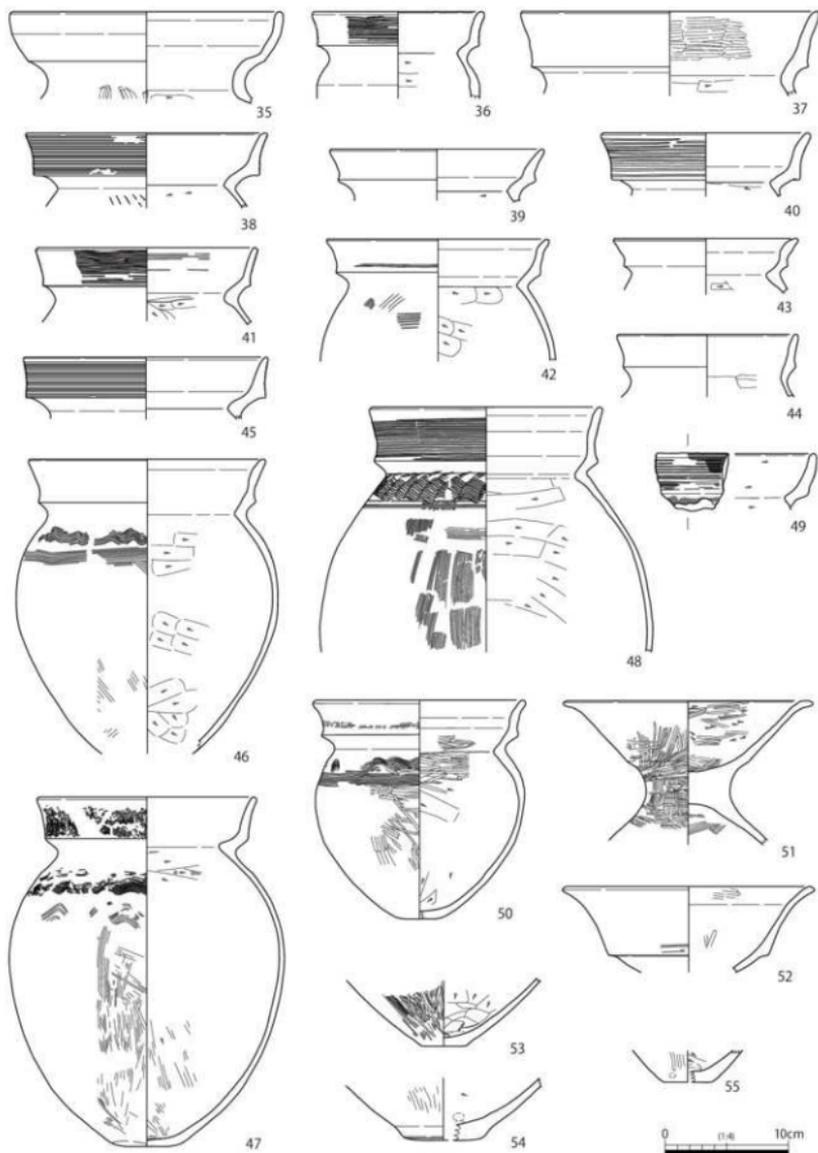
北西-南東方向4.5m程度、北東-南西方向約1.6mの段状遺構で、南側をS-982段状遺構に切られる。床面から、幅10cm前後、深さ1cm~2cmの壁溝数本を検出した。最も壁面寄りの壁溝は、他の周壁溝より数センチ高い位置にあることから、第三-5-10図土層断面A-A'の1・2層下面



第三-5-7図 S-982段状遺構、S-310・328・329・357土坑 平・断面図及びS-310出土遺物

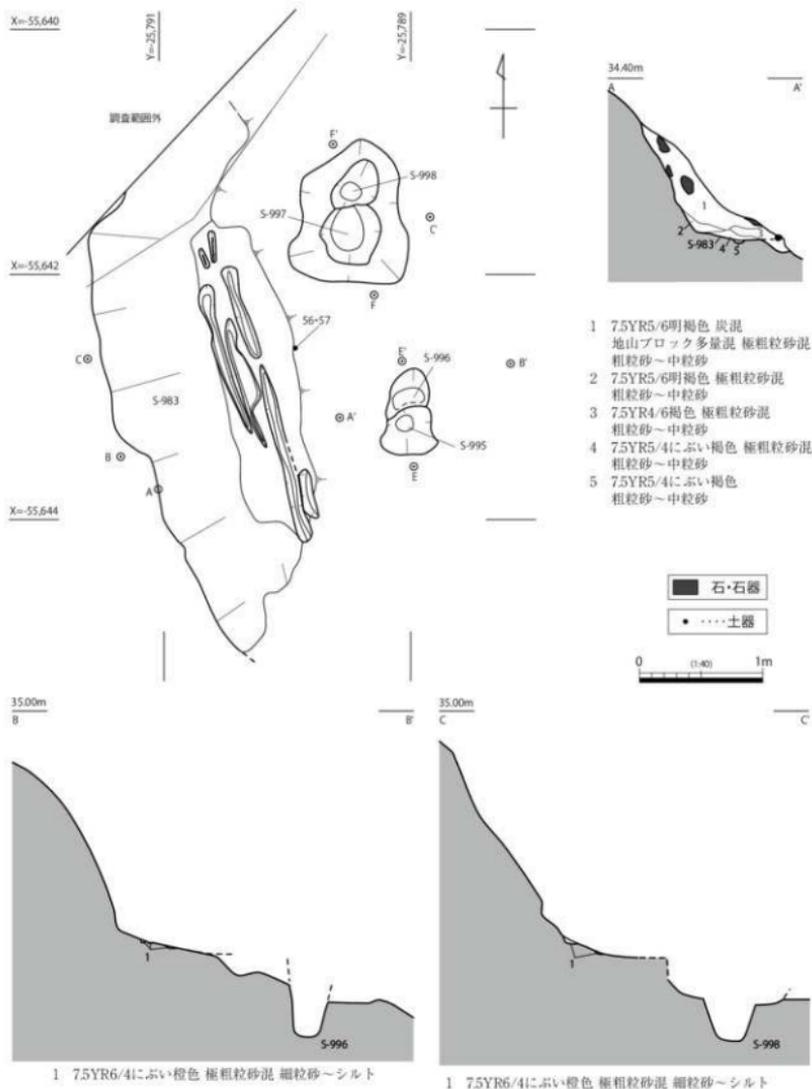


第三-5-8図 S-982段状遺構 床面直上遺物出土状況図

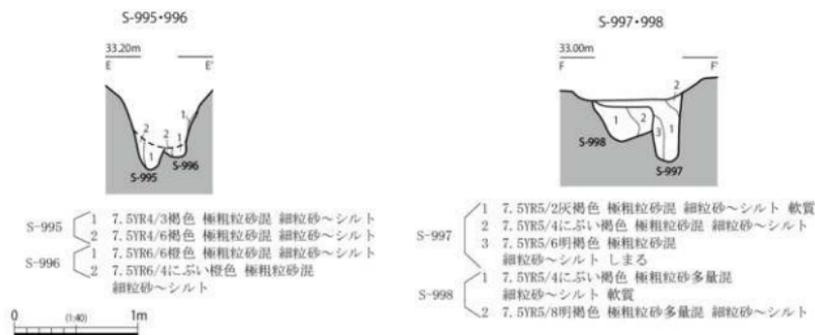


第Ⅲ-5-9図 S-982段状遺構 出土遺物

第三章 1区の調査



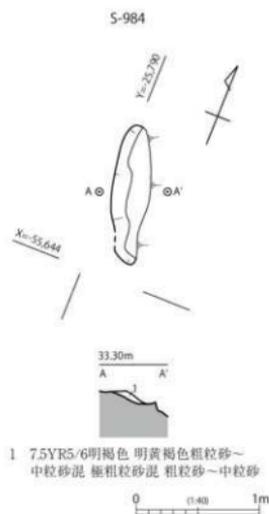
第Ⅲ-5-10図 S-983段状遺構 S-993～996土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-11図 S-983段状遺構 S-993～996土坑 断面図



第Ⅲ-5-12図 S-983段状遺構 出土遺物



第Ⅲ-5-13図 S-984段状遺構 平・断面図

正Ⅵ期頃の遺構と推定される。

S-986段状遺構(第Ⅲ-5-16図)

S-985段状遺構の下層にあたり、S-985段状遺構の掘方に相当する可能性もある。床面はほぼ水平

を床面とする段状遺構が最終段階の遺構として存在した可能性がある。床面が残存しない緩斜面部で、土坑4基S-993～996を検出した。深さや切り合い関係から、S-993とS-995、S-994とS-996がセット関係をなすと推定される。周辺に他の土坑は存在しないことや位置関係から、本遺構に伴う土坑と考えられる。

A-A'断面の1層には、軟質な風化花崗岩のブロックを多量に含むことから、埋められた可能性がある。

埋土中から甕56・57、底部58が出土した。乙亥正Ⅵ期頃の土器と推定される。

S-984段状遺構(第Ⅲ-5-13図)

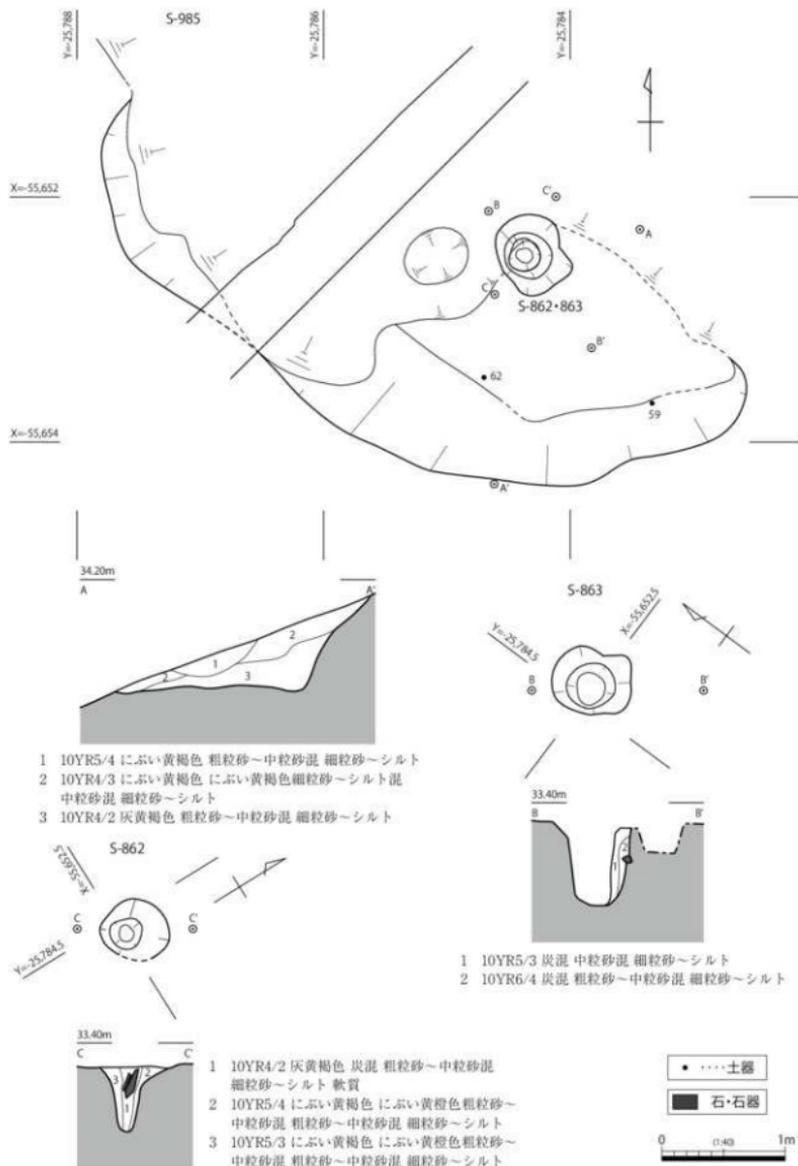
S-983段状遺構床面下から検出した遺構である。長軸1.1m、短軸0.3mの小規模な遺構である。S-983段状遺構床面に掘削された土坑の可能性もある。埋土中から土器小片が出土した。

S-985段状遺構(第Ⅲ-5-14・15図)

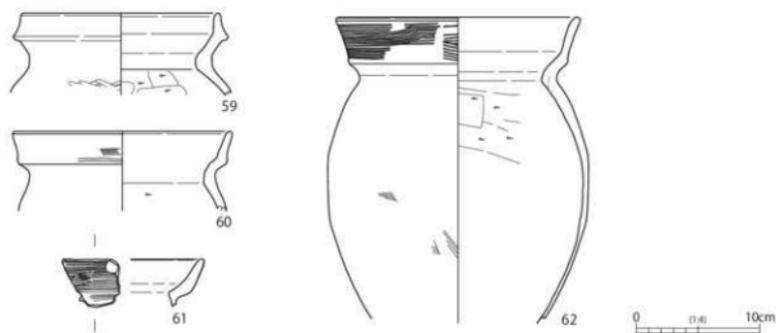
北西-南東方向約5.6m、北東-南西方向約2.3mの遺構である。北西側はS-276に切られる。床面から土坑S-862・863を検出した。S-862がS-863を切る。

埋土中から、壺59、甕60～62が出土した。出土土器から、乙亥

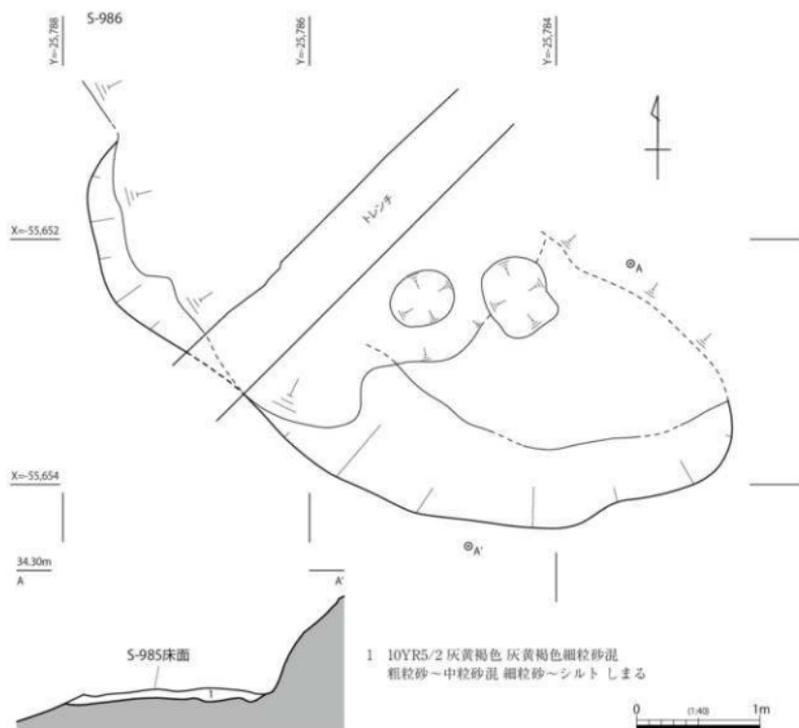
第三章 1区の調査



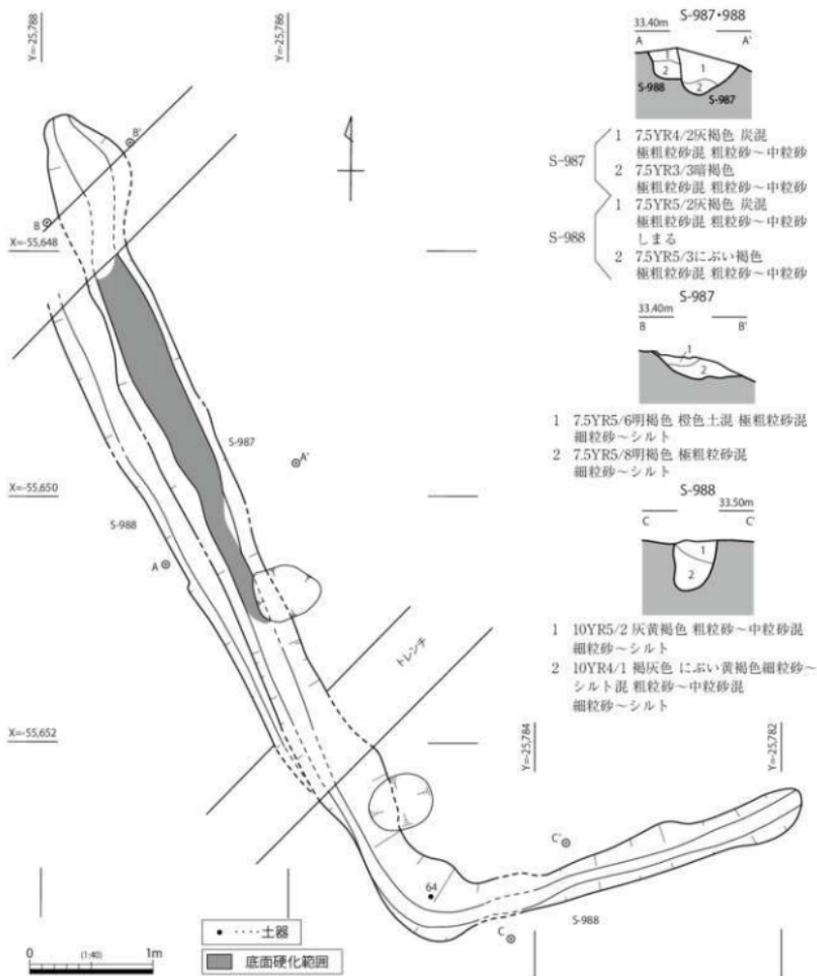
第三-5-14図 S-985段状遺構、S-862・863土坑 平・断面図



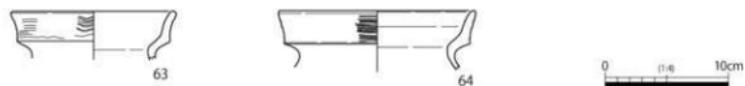
第Ⅲ-5-15図 S-985段状遺構 出土遺物



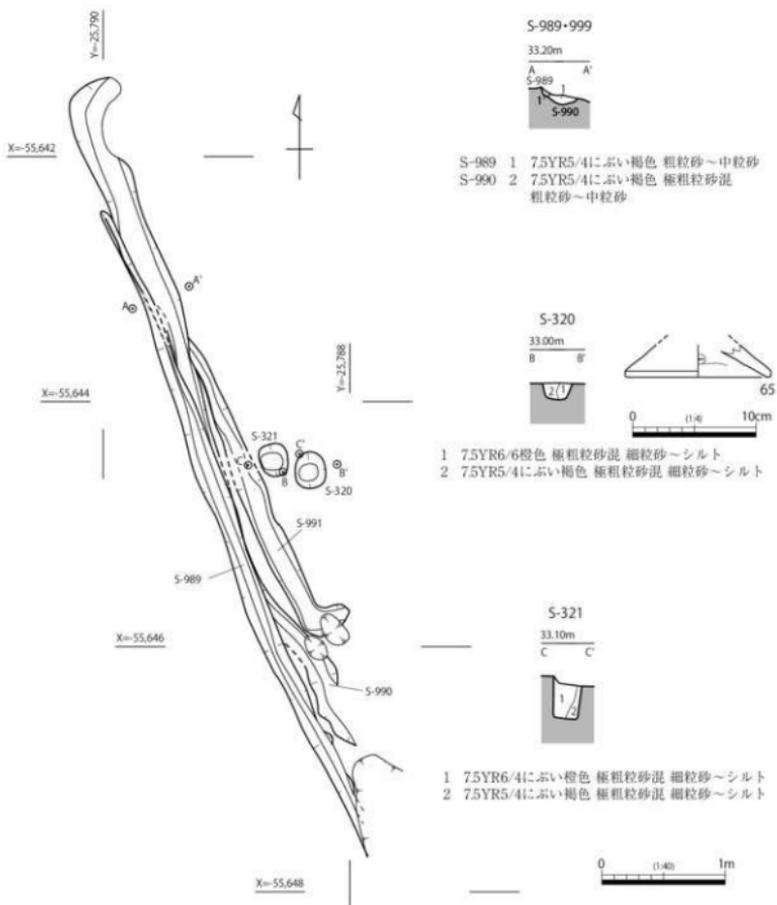
第Ⅲ-5-16図 S-986段状遺構 平・断面図



第三-5-17図 S-987・988溝 平・断面図



第三-5-18図 S-988溝 出土遺物



第三-5-19図 S-989・990・991溝、S-320・321土坑 平・断面図及びS-320出土遺物

である。遺物は埋土(A-A'断面1層)から土器小片が出土した。

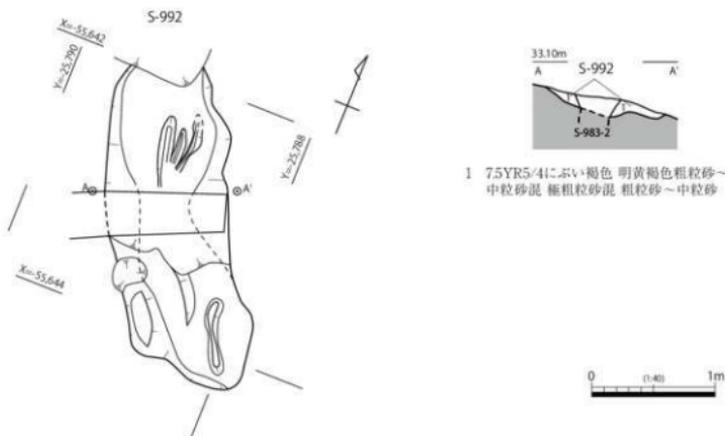
S-987・988溝(第三-5-17・18図)

いずれも、本来は段状遺構の壁溝として機能していたと推定される。S-987は、幅0.25m～0.65mの溝がL字状に伸びるもので、底面のレベルはほぼ水平である。底面の一部は硬く硬化していた。S-988はS-987に切られており、長さ約4.6mを検出した。いずれの遺構も伴う床面は残存していない。

S-988の埋土中から壺63、甕64が出土した。遺物から乙亥正VI期頃の遺構と考えられる。

S-989・990・991溝(第三-5-19図)

S-982段状遺構の斜面側で検出した。S-982より古い遺構である。溝として検出したが、いずれの



第三-5-20図 S-992段状遺構 平・断面図

遺構も本来は段状遺構の壁溝として機能したと考えられる。S-991→S-990→S-989の順で掘削されたと考えられる。S-989溝は長さ5.7m、幅20cm前後で、北端部の底面は南端より約5cm低い。S-990は長さ約6.0m、幅0.20m～0.30m程度で、北側はL字状に屈曲する。S-991溝は長さ2.7m、幅0.20m前後で、南端部は斜面側にL字状に屈曲する。S-990溝から土器小片が出土している他、付近のS-320土坑から脚部65が出土している。

3 S-292・281～284・286段状遺構、S-364・285・375溝(第三-5-21～33図)

標高26m～29m付近に位置する遺構の一群である。段状遺構7基、貯蔵穴状の土坑5基等を検出した。表土以下の堆積土が薄い場所が多く攪乱も激しいことから、遺構の実態や切り合い関係が明確でない遺構が多い。段状遺構、溝、袋状土坑などが検出されており、乙亥正VI～VIII期頃の遺構と推定される。

S-285段状遺構(第三-5-22図)

東西方向約3.3m、南北方向約2.3mの規模で検出した。壁面が「L」字をなす段状遺構で、幅0.50m～0.90m程度の平坦面をもつ。A-A断面より北側の状況は不明である。南側のみ深さ5cm前後の周壁溝が掘削されている。東側はS-283段状遺構より古く、S-364溝、S-315・316土坑より新しい遺構である。埋土中から時期不明の土器小片が出土している。

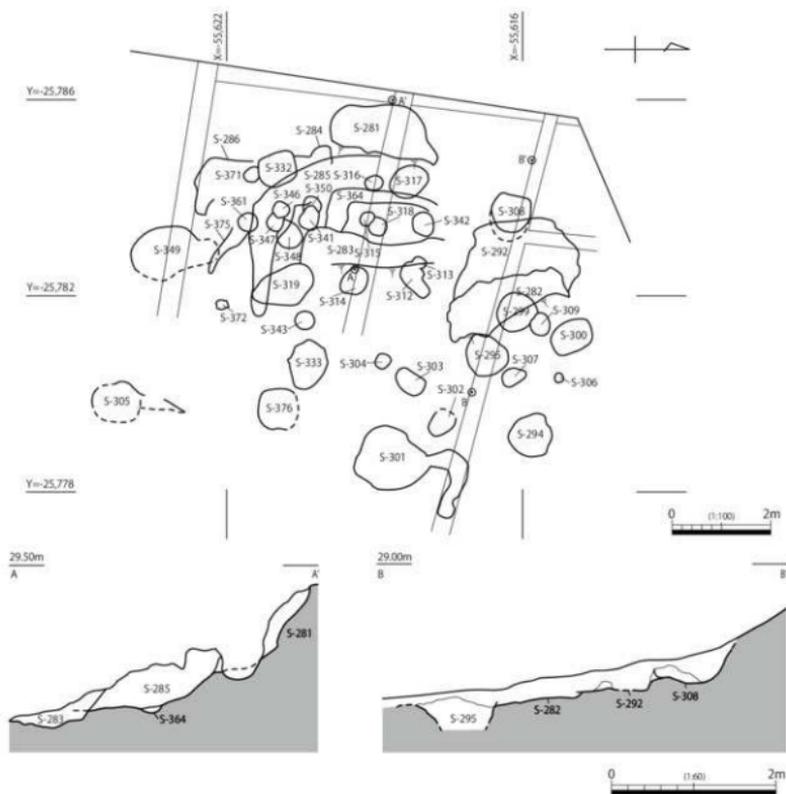
S-284段状遺構(第三-5-22図)

東西方向約0.5m、南北方向約0.7mの規模で検出した。東・南側をそれぞれS-285・286段状遺構に切られる。遺物は出土していない。

S-375段状遺構(第三-5-22図)

長軸1.1m、短軸0.3mの規模で検出した。北西側をS-285段状遺構に切られる。遺物は出土していない。

S-286段状遺構(第三-5-23図)



第三-5-21図 S-292・281～284・286段状遺構、S-364・285・375溝等概念図

東西0.6m、南北1.1mの遺構で、幅20cm程度の平坦面が残る。北側はS-285に切られたと推定される。付近からS-361土坑、及びこれと同規模で底面レベルが類似するS-318土坑が検出されている。位置関係からセットをなす可能性を考慮して図示した。遺物は出土していない。

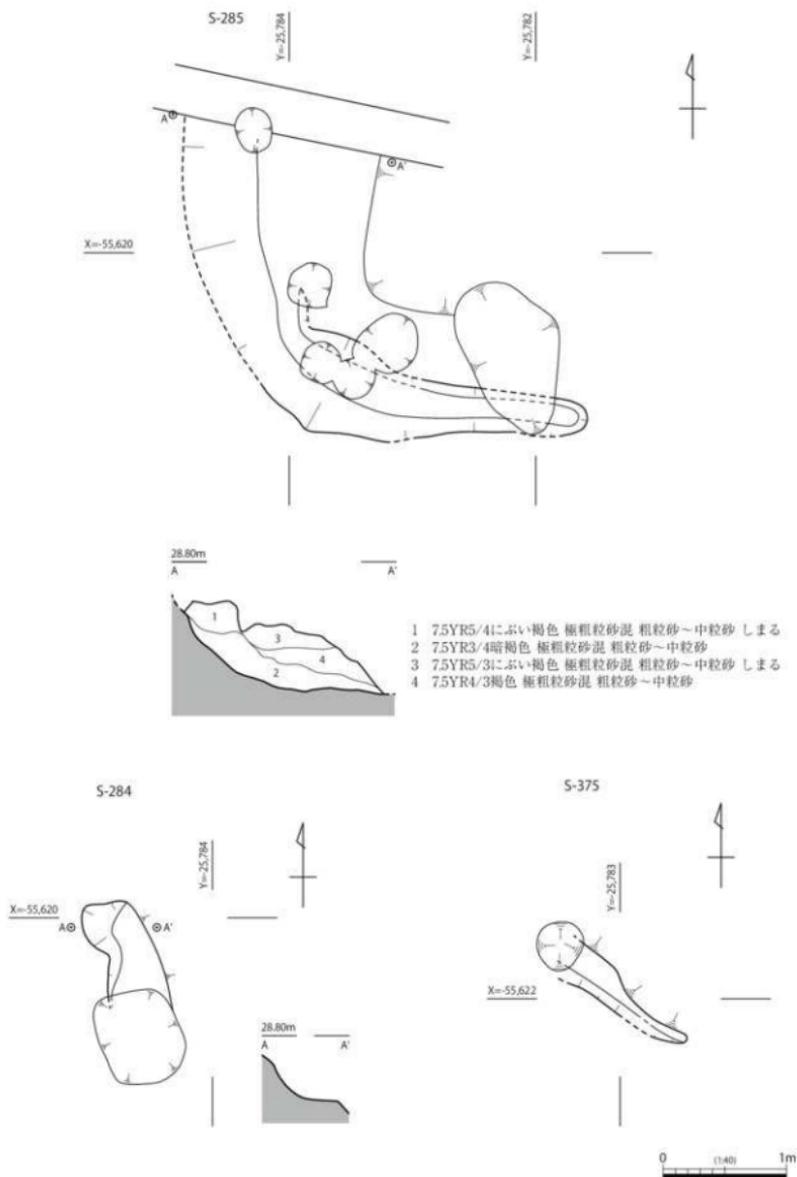
S-283溝(第三-5-24図)

東西0.7m、南北2.8m、深さ9cm前後の溝で、本来は段状遺構の壁溝と考えられる遺構である。西側はS-285を切るが、北・南側の状況は攪乱により不明である。

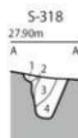
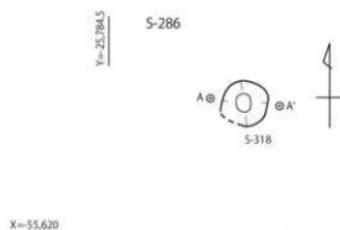
明確な床面は認識できなかったが、付近のS-314・312土坑はセットをなす可能性を考慮して図示した。床面直上から、乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の甕66が出土した。

S-364溝(第三-5-25図)

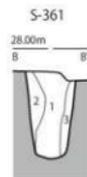
南北2.2m、東西0.9mの範囲で平面コの字状をなす溝で、幅0.20m～0.44m、深さ3cm～13cmである。S-285段状遺構に切られる。北側端部は攪乱により残存しないが、東西方向は2.2m程度の小型の段状遺構と推定される。溝で囲まれた範囲でS-315・342土坑を検出した。S-342は2つの土坑



第三-5-22図 S-284・285・375段状遺構 平・断面図



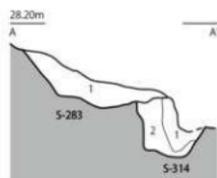
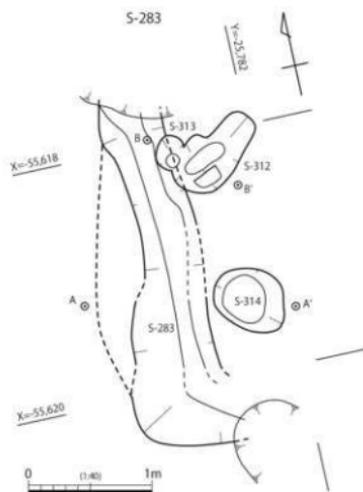
- 1 7.5YR4/2灰褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR6/6橙色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/3にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR6/4にぶい橙色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR5/3にぶい褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR6/3にぶい褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR6/4にぶい橙色 粗粒砂混 細粒砂～シルト

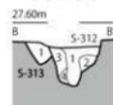


第Ⅲ-5-23図 S-286段状遺構、S-318・361土坑 平・断面図



- S-283 1 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 粗粒砂～中粒砂
- S-314 1 7.5YR4/4褐色 極粗粒砂混 粗粒砂～中粒砂
2 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 粗粒砂～中粒砂

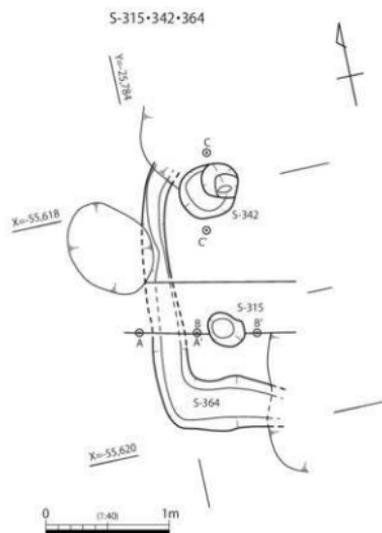
S-312・313



- S-312 1 7.5YR5/2灰褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
2 7.5YR6/4にぶい橙色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
3 7.5YR5/4にぶい褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
4 7.5YR5/3にぶい褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
- S-313 1 7.5YR4/2灰褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

第Ⅲ-5-24図 S-283段状遺構、S-312・313・314土坑 平・断面図

第三章 1区の調査



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/6明褐色 極粗粒砂多量混 細粒砂～シルト

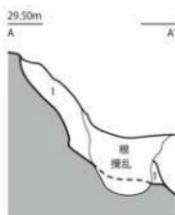
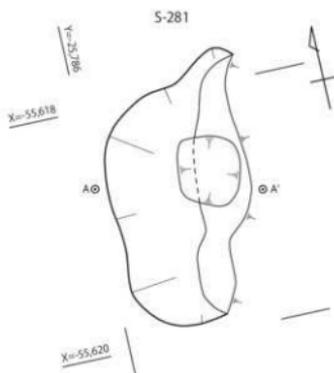


- 1 7.5YR6/4にぶい褐色 褐色地山ブロック多量混 極粗粒砂混 粗粒砂～中粒砂
- 2 7.5YR5/3にぶい褐色 極粗粒砂混 粗粒砂～中粒砂



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/6明褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

第三-5-25図 S-364溝、S-315・342土坑 平・断面図

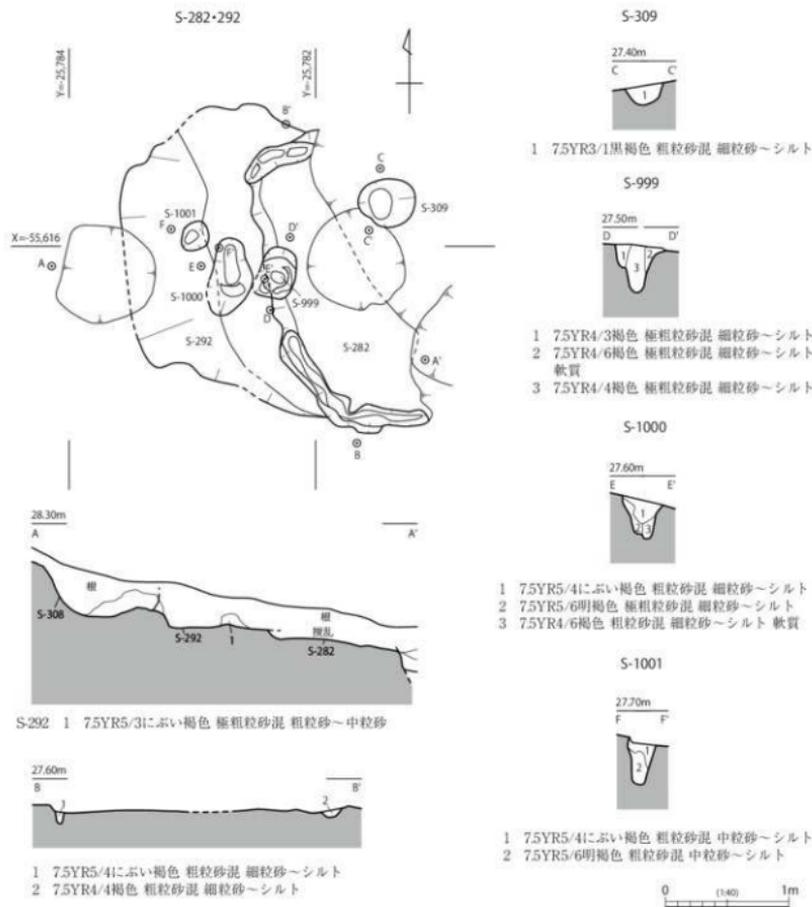


- 1 7.5YR4/4褐色 極粗粒砂混 粗粒砂～中粒砂

第三-5-26図 S-281段状遺構 平・断面図

の切り合いである。底面レベル、規模ともほぼ同じであり、S-364同様にS-285段状遺構に切られる遺構である。S-364溝とのセット関係の可能性を考慮し本遺構に図示した。遺物は出土していない。
S-281段状遺構(第三-5-26図)

南北2.2m、東西1.2mの遺構で、最大40cm幅の底面をもつ。東側はS-285段状遺構に切られている。底面の南北側両端が東側へカーブする形状から、南北2.2m程度の小規模な段状遺構と推定される。土器の小片が出土している。



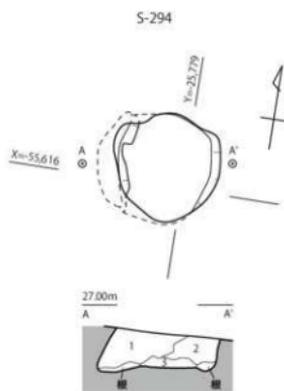
第Ⅲ-5-27図 S-282・292段状遺構、S-999～1001・309土坑 平・断面図

S-282・292段状遺構(第Ⅲ-5-27図)

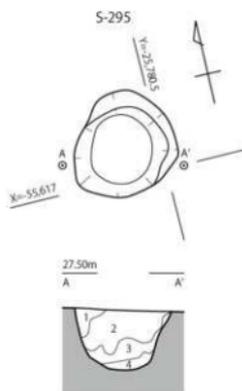
S-282段状遺構は、長軸2.5m、短軸1.0mの規模で検出した。北・西側から南側には、幅0.15m～0.20m、深さ2cm～6cm程度の壁溝がある。東側は表土直下や攪乱部にあたり遺構は残存しない。付近でS-309土坑を検出したが、S-282・292段状遺構との関係は不明である。埋土中から乙亥正Ⅵ～Ⅶ期頃とみられる土器片が出土している。

S-292段状遺構は、S-282より8cm～10cm高い床面の段状遺構である。北西-南東方向2.7m、北東-南西方向1.5mの遺構である。S-282との前後関係は、土層に攪乱が激しく不明である。底面でS-999～1001土坑を検出した。遺物は出土していない。

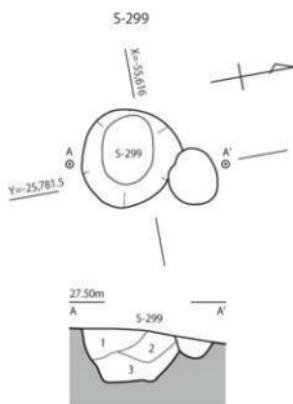
第三章 1区の調査



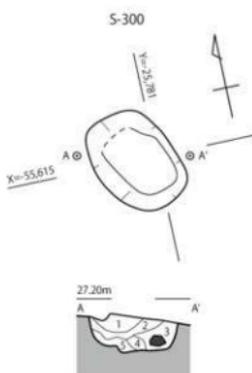
- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/3褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト 秋貫
- 3 7.5YR5/3にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR4/2灰褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/3にぶい褐色 橙色地山ブロック混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/4にぶい褐色 橙色地山ブロック混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR4/3褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR4/3褐色 極粗粒砂混 中粒砂～シルト
- 2 7.5YR6/6橙色 極粗粒砂多量混 中粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/3にぶい褐色 橙色地山ブロック混 極粗粒砂多量混 中粒砂～シルト



- 1 7.5YR3/4暗褐色 極粗粒砂混 中粒砂～細粒砂
- 2 7.5YR4/4褐色 極粗粒砂混 中粒砂～細粒砂
- 3 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 中粒砂～細粒砂
- 4 7.5YR3/4暗褐色 極粗粒砂多量混 中粒砂～細粒砂
- 5 7.5YR4/3褐色 極粗粒砂多量混 中粒砂～細粒砂



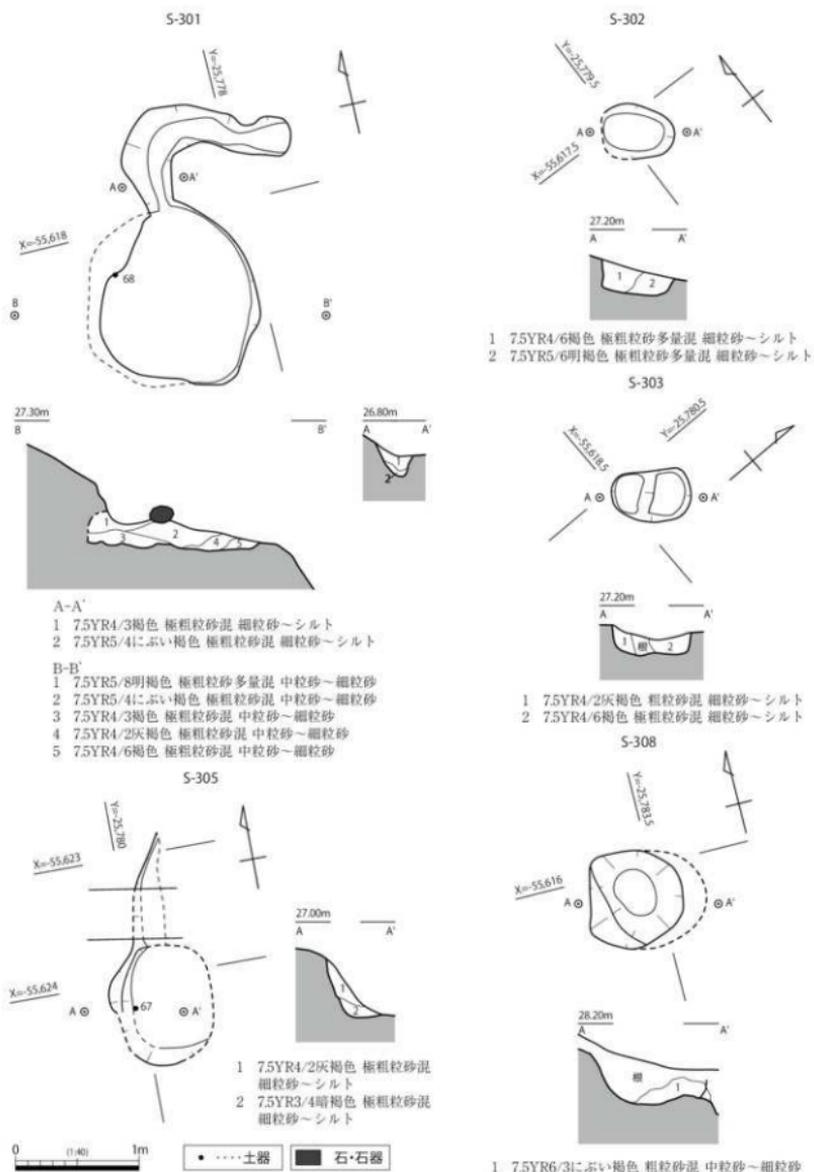
第三-5-28図 S-294・295・299・300段状遺構 平・断面図

S-294土坑(第三-5-28図)

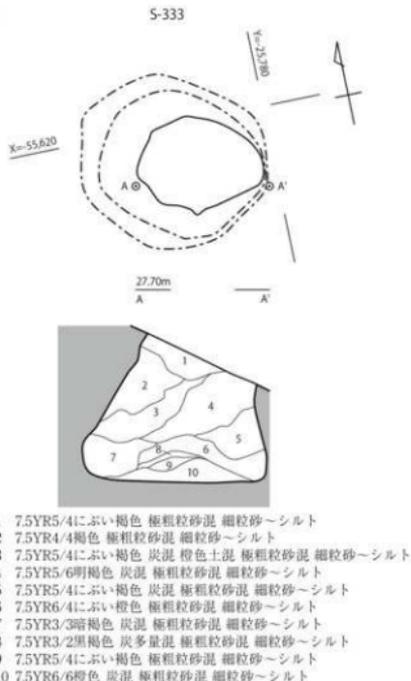
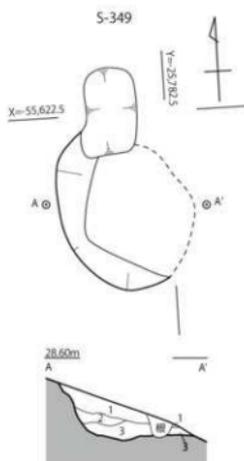
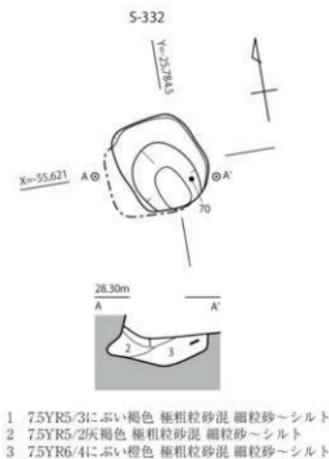
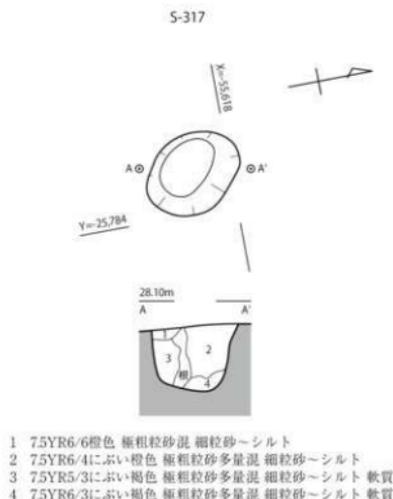
平面の最大規模が長軸0.89m、短軸0.86m、深さが0.50mで、断面は袋状をなす。遺物は出土していない。

S-295・299・308土坑(第三-5-28・29図)

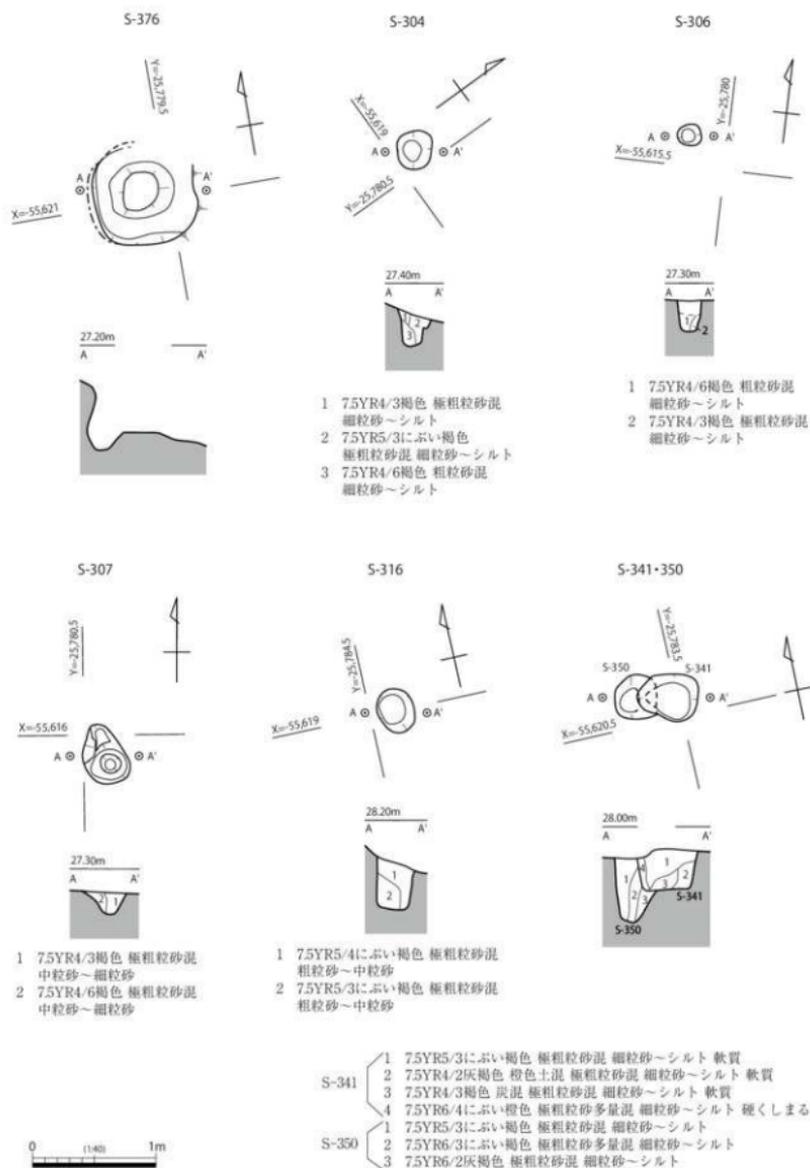
長軸0.81m～0.94m、短軸0.78m～0.82m、深さ0.45m～0.50mの平面円形もしくは楕円形をなす



第三-5-29図 S-301・302・303・305・308土坑 平・断面図

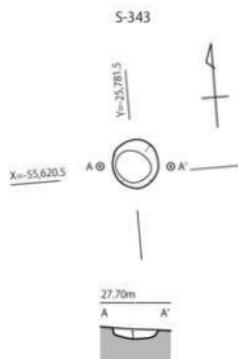


第三 - 5 - 30 図 S-317・332・333・349土坑 平・断面図

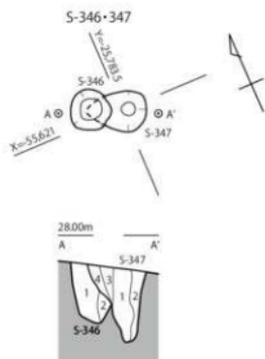


第Ⅲ-5-31図 S-304・306・307・316・341・350・376土坑 平・断面図

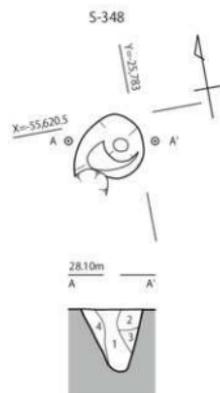
第三章 1区の調査



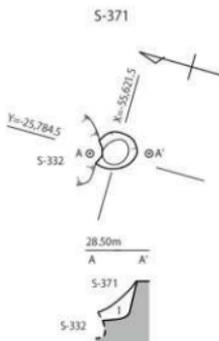
- 1 7.5YR5/4にぶい褐色
極粗粒砂混 細粒砂～シルト



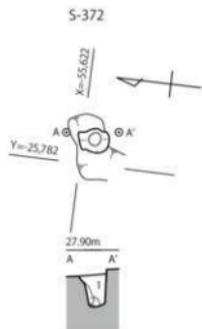
- S-347
- 1 7.5YR6/4にぶい橙色 炭混 橙色細粒砂多量混 粗粒砂混 細粒砂～シルト
 - 2 7.5YR5/3にぶい褐色 橙色細粒砂混 粗粒砂混 細粒砂～シルト
 - 3 7.5YR5/2灰褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト しまる
 - 4 7.5YR7/4にぶい橙色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト 硬くしまる
- S-346
- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
 - 2 7.5YR5/2灰褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR4/3褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
2 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
3 7.5YR4/4褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
4 7.5YR6/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色
極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混
細粒砂～シルト
2 7.5YR6/4にぶい褐色 極粗粒砂混
細粒砂～シルト

第三章－5－32図 S-343・346・347・348・371・372土坑 平・断面図

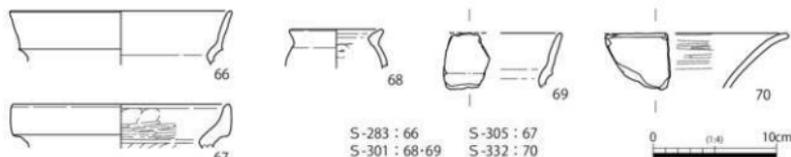
もので、規模、埋土が類似する土坑である。S-308土坑は、S-292の埋土を切って掘削されている。各遺構とも遺物は出土していない。

S-300土坑(第三章－5－28図)

長軸0.86m、短軸0.64m、深さ0.37mの平面隅丸方形をなす。遺物は出土していない。

S-301土坑(第三章－5－29図)

長軸1.50m、短軸1.32m、深さ0.28mの平面円形、断面は袋状をなす。北側には幅0.25m～0.40mの溝が斜面下方に向け平面「L」字状に掘削されている。埋土中から甕68・69が出土した。



第Ⅲ-5-33図 S-283段状遺構、S-301・305・332土坑 出土遺物

S-302・303土坑(第Ⅲ-5-29図)

S-302土坑は長軸0.59m、短軸0.45m、深さ0.27m、S-303土坑は長軸0.65m、短軸0.42m、深さ0.33mのいずれも平面楕円形の類似する土坑である。遺物は出土していない。

S-305土坑(第Ⅲ-5-29図)

底面での推定規模は、南北0.84m、東西0.64m程度の平面は楕円形、断面は袋状をなす土坑である。北側はから東側にかけての壁面は残存しない。土坑底面から数センチ高い位置に北側へ伸びる浅い遺構が認められる。小規模な段か、S-301土坑同様の小溝が付属するのであろう。埋土中から壺67が出土した。

S-317土坑(第Ⅲ-5-30図)

長軸0.78m、短軸0.63m、深さ0.63mで、平面は楕円形をなす。S-285段状遺構の埋没後に掘削されている。遺物は出土していない。

S-332土坑(第Ⅲ-5-30図)

長軸0.78m、短軸0.64m、深さ0.27mで、平面はいびつな円形をなす。底面は一部窪みがあり、西側は断面袋状となる。器台70が出土した。

S-333土坑(第Ⅲ-5-30図)

平面の最大規模で長軸1.01m、短軸0.81mの楕円形をなし、深さは1.21m、断面は袋状をなす。底面はほぼ平坦である。土器小片が出土しており、乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃とみられる薄手の胴器壁や、浅黄色の土器小片が出土している。

S-349土坑(第Ⅲ-5-30図)

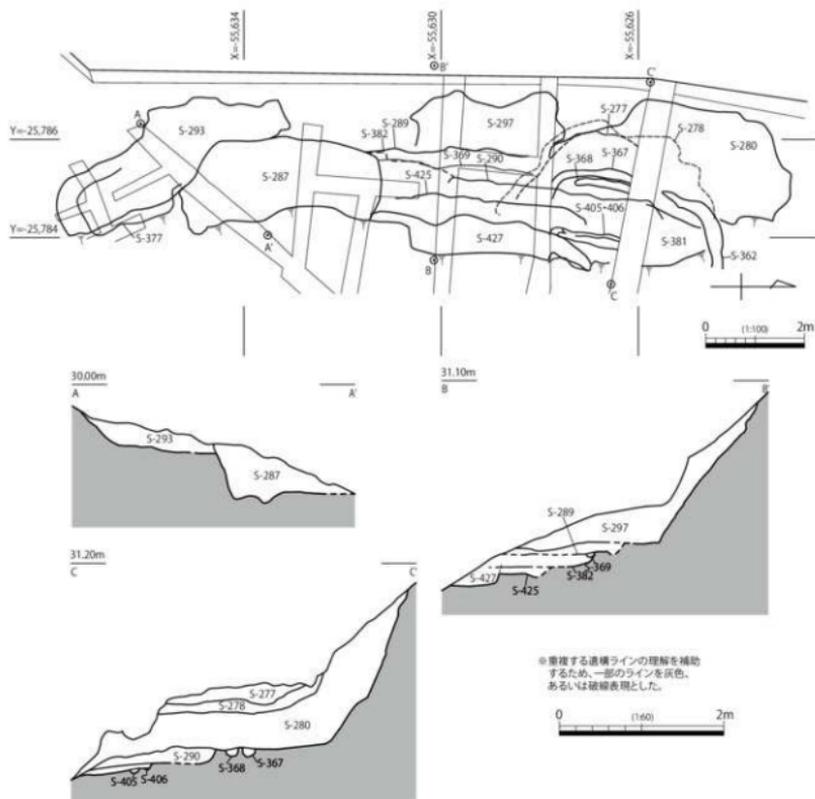
北側から東側にかけて残存しないが、東西1.1m、南北1.2m程度の土坑と思われる。底面には凹凸があり平坦ではない。埋土中からやや厚手の甕の胴部片が出土しているが、詳細は不明である。

S-376土坑(第Ⅲ-5-30図)

長軸0.81m、短軸0.81m、深さ最大0.37mで平面は隅丸方形をなす。底面周囲に幅20cm～30cm程度、深さ5cm～14cm程度の溝が掘削されており、結果的に掘り残された中央部が島状をなす。遺物は出土していない。

S-304・306・307・316・341・343・346・347・348・350・371・372等の土坑(第Ⅲ-5-21・31・32図)

周辺には、直径20cm～40cm程度の小規模な土坑が分布している。段状遺構の柱穴として機能したのもあろうが、セツト関係は不明である。S-316土坑から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃と推定される土器片が出土している。



第三-5-34図 S-287竪穴住居、S-293・297・280段状遺構周辺概念図

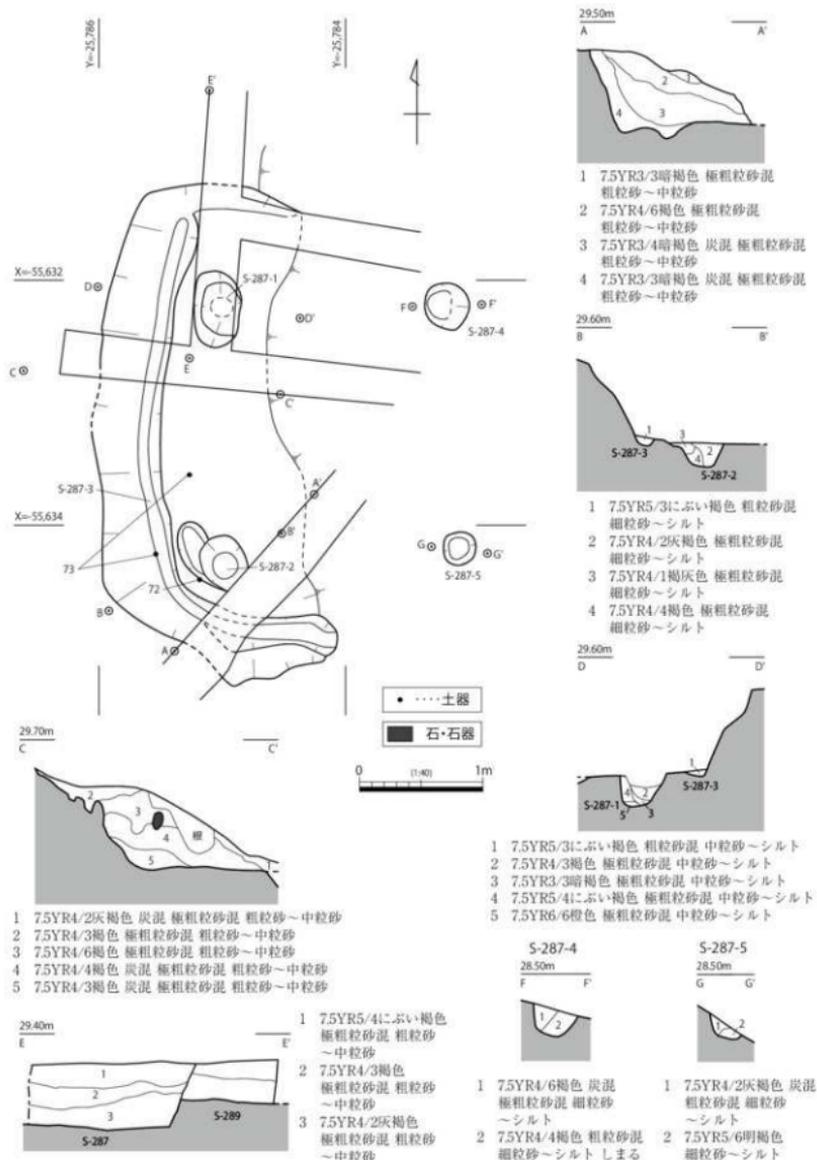
4 S-287竪穴住居、S-293・297・280段状遺構周辺の遺構(第三-5-34~54図)

標高28~30m付近に位置する遺構の一群である。竪穴住居1基、段状遺構14基、貯藏穴状の土坑2基等を検出した。南北方向の長さが3.5m~5.0m程度の段状遺構を主とする遺構が重層的に検出されている。古い段状遺構の床を埋め、一段高い位置で奥壁を掘削することで新しい床面を造成していることが多いが、S-287竪穴住居のように、斜面下方側に新しく掘削されるものもある。主に東西方向のトレンチにより垂直方向に重複する遺構の切り合い関係は概ね把握できたが、水平方向の切り合い関係は、薄い堆積の中での確認が困難で、多くが不明である。なお、第三-5-34図に示す遺構のうち、S-427段状遺構は他の遺構との前後関係は不明である。

これらの遺構の時期は、出土した土器から概ね乙亥正Ⅶ~Ⅷ期頃と推定される。

S-287竪穴住居(第三-5-35・36図)

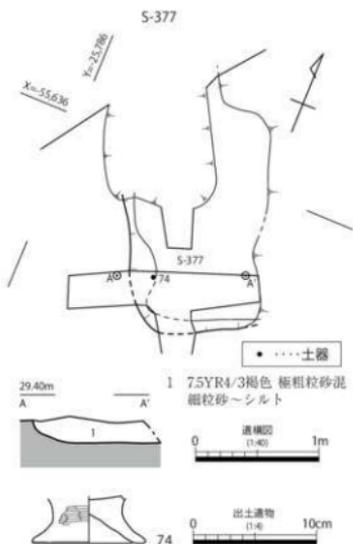
南北約4.1m、東西約1.6m、検出面から床面までは深い地点で70cm程度である。床面西側に周壁



第三-5-35図 S-287竪穴住居 平・断面図



第三-5-36図 S-287竪穴住居 出土遺物



第三-5-37図 S-377段状遺構
平・断面図及び出土遺物

S-293段状遺構(第三-5-38図)

北西-南東方向の長軸約5m、短軸約1.6mの規模で検出した。床面の周辺で2基の土坑(S-355・S-412土坑)を検出した。S-355土坑は、S-287竪穴住居の壁面で検出し、S-412土坑はより下層の地山直上で検出したものであるが、位置関係から本遺構に伴う可能性を考慮し本遺構に掲載した。

底面直上より乙亥正Ⅶ~Ⅷ期頃の甕75・76が出土した。

S-277段状遺構(第三-5-39図)

ほぼ表土直下で検出された遺構で、第74図C-C断面付近では最も新しい段状遺構である。南北約2.3m、東西約1.6mの範囲で検出したが、植物根による攪乱などにより北側の状況は不明である。平

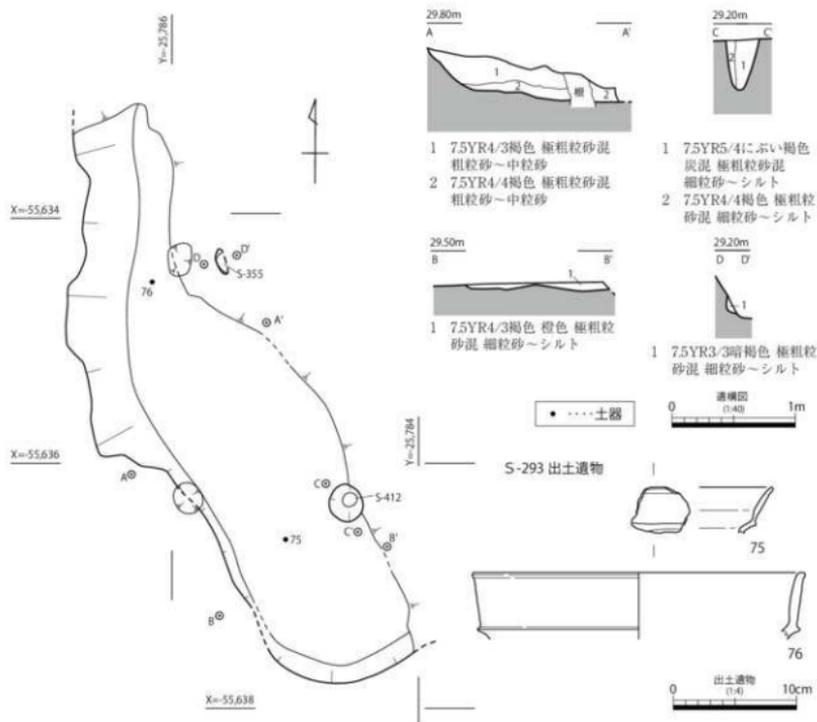
溝、方形の梁桁を構成する4本の柱穴(S-287-1・2・4・5)をもつ竪穴住居と推定される。床面で検出したS-287-1・2の深さは、床面からそれぞれ22cm、40cmと比較的浅いのに対し、床面が流出した谷側で検出したS-287-4・287-5は土坑底面レベルが低く、残存床面からの深さはそれぞれ0.63m、0.66mである。柱間距離は芯々で、南北方向が2.0m~2.1m、東西方向が1.8m~1.9mである。東側は流出しているが、主柱穴の位置からみて、本来は東西約3.6m、南北約4.1m程度の隅丸方形の竪穴住居と考えられる。

周壁溝は幅14cm~27cm、深さ3cm~7cm、底面はほぼ水平である。土層断面から、北側のS-289段状遺構及び西側のS-293段状遺構より新しい。S-427段状遺構との前後関係は不明である。

埋土中から、甕71・72と大振りな胴部片73が出土している。乙亥正Ⅶ期前後の土器と推定される。

S-377段状遺構(第三-5-37図)

北西-南東方向約2.1m、北東-南西方向約1.2mの遺構である。北側はS-413土坑に切られている。底面直上より、脚部74が出土した。



第三-5-38図 S-293段状遺構、S-355・412土坑 平・断面図及び出土遺物

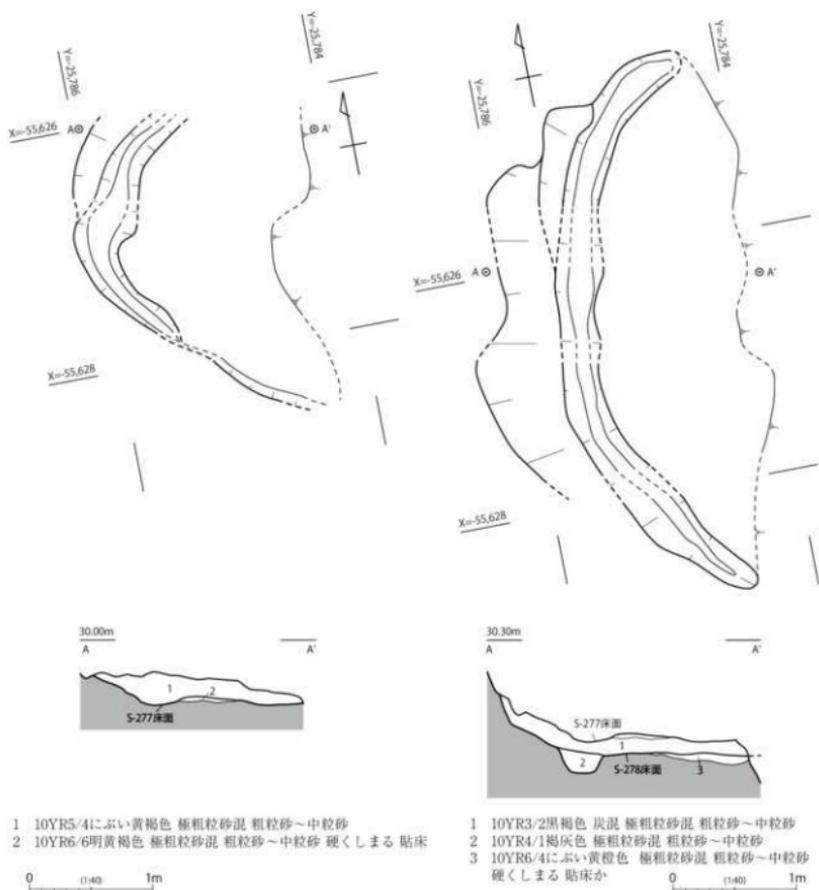
面はいびつな形状を呈し、東側のみ壁際に幅20cm～40cm、深さ1cm～3cm程度の壁溝がみられる。遺物は出土していない。

S-278段状遺構(第三-5-40図)

S-277の下層で確認された遺構で、南北約4.4m、東西約2.4mの範囲で確認した。床面の壁側は弧状をなし、壁面際に幅24cm～41cm、深さ1cm～7cmの周壁溝をもつ。床面を数センチ掘り過ぎたため、本来の周壁溝は深さ5cm～15cm程度と推定される。遺物は出土しなかった。

S-280段状遺構(第三-5-41・42図)

S-277・278段状遺構の下層にあたる。南北約4.8m、東西約3.1mの範囲で確認し、床面の南北端部が東側に屈曲するため、本来は南北5.5m程度の段状遺構と推定される。床面は北側が数センチ高くなるもののほぼ平坦で壁溝はない。床面で検出したS-280-1・280-2土坑は、床面からの深さがそれぞれ73cm、71cmと近いことからセットと考えられ、柱間は1.4m～1.5mである。同様に床面で検出したS-323・324・345土坑も床面からの深さが24cm～37cmと近いことからセット関係が推定され、柱間は約1.6mである。S-280-1・280-2土坑は、位置関係からS-280段状遺構とセットの可能性が高いと思われるが、S-323・324・345土坑は、軸がS-280の壁面と若干ずれることから、S-280と



第三-5-39図 S-277段状遺構 平・断面図

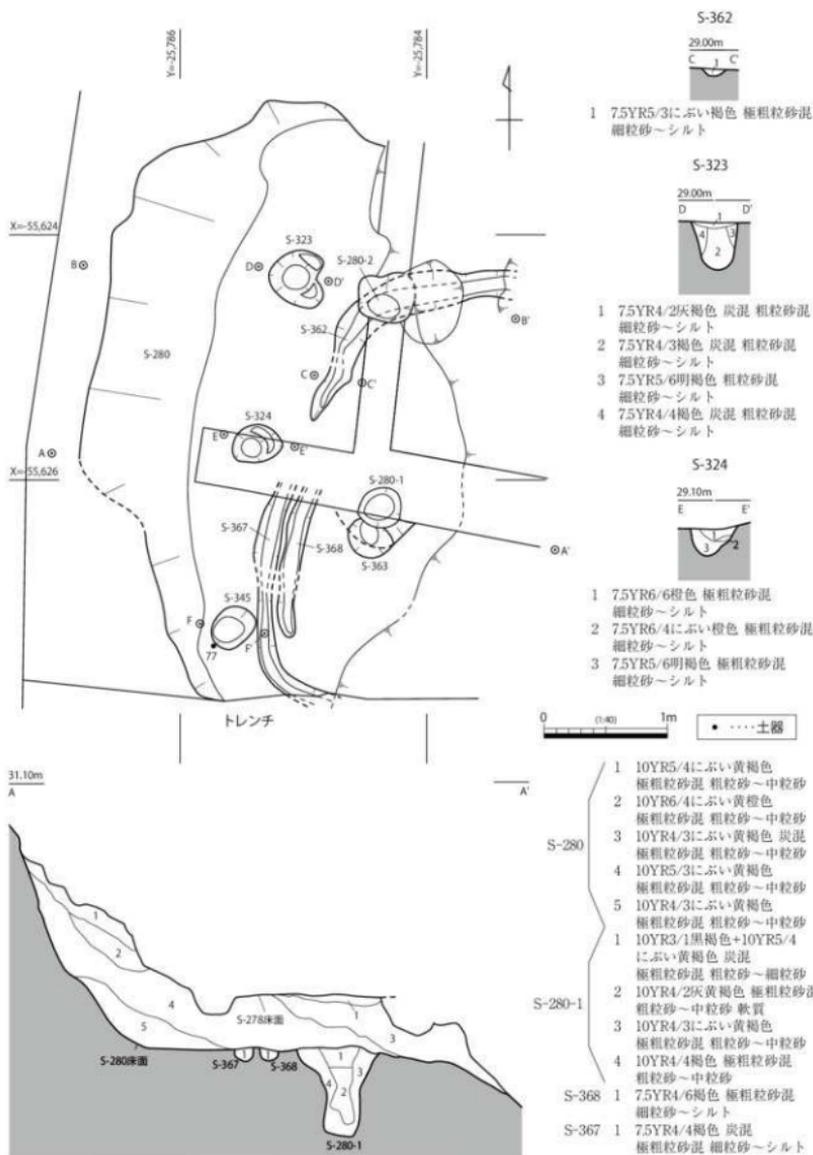
第三-5-40図 S-278段状遺構 平・断面図

は別遺構に伴う可能性もある。S-363はS-280-1柱穴より古く、床面から22cm程度の深さである。S-280段状遺構かS-362・367・368溝に伴う土坑と考えられる。床面直上から甕78、床面から14cm高い埋土中から甕77が出土した。下層の遺構の時期、及び甕77の特徴から、乙亥正VII～VIII期頃の遺構と推定される。

S-362・367・368溝(第三-5-41図)

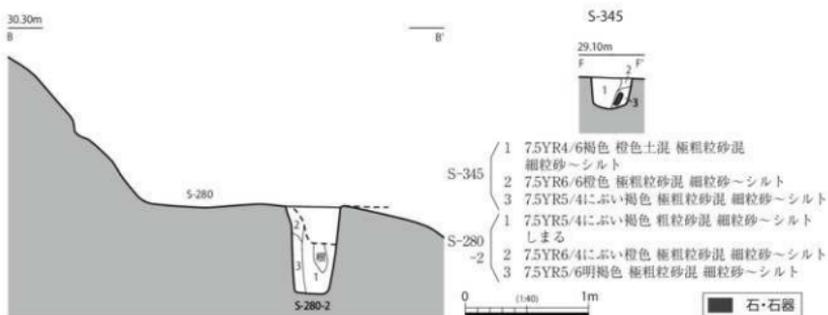
S-280段状遺構の床面で検出した溝である。S-362・367溝は、南北方向約3.7mの範囲で、幅10cm～26cm、深さ3cm～7cm程度で、本来は1本の溝と考えられる。

S-368溝は、S-367溝の内側に平行し、規模も類似する遺構であるが、北側にはみられない。S-362

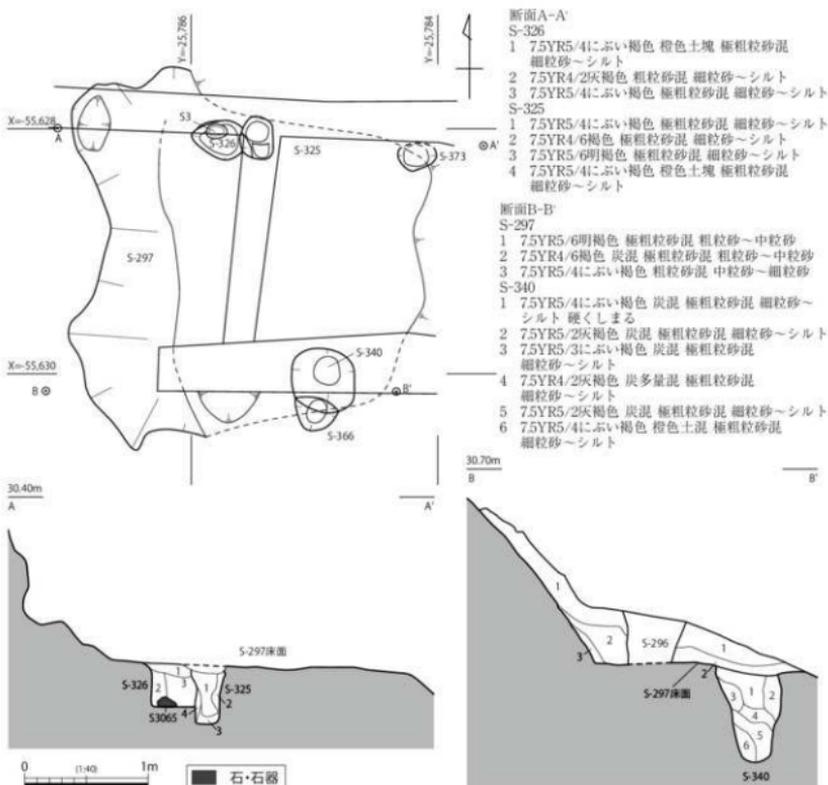


第三-5-41図 S-280段状遺構、S-362・367・368溝、S-323・324・345土坑 平・断面図

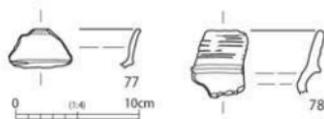
第三章 1区の調査



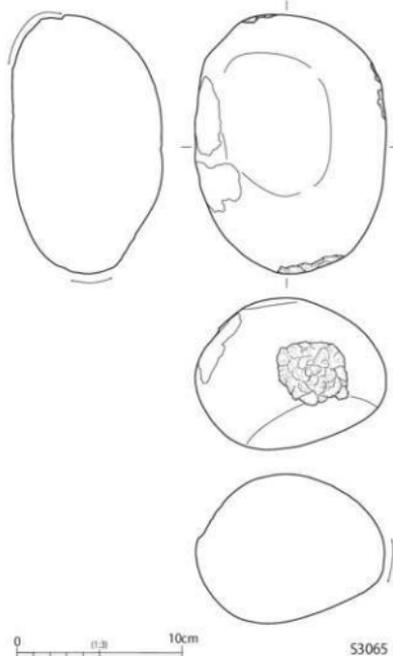
第三-5-42図 S-280段状遺構、S-345土坑 断面図



第三-5-43図 S-297段状遺構、S-325・326・340・366・373土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-44図 S-280段状遺構 出土遺物



第Ⅲ-5-45図 S-326土坑 出土遺物

S-289床面で壁溝を確認したことから、ほぼ同レベルの床面をもつ遺構と考えられる。北端部でS-289の壁溝に切られており、S-289より古い遺構である。S-289の項で記載したとおり、S-327・384・392土坑は本遺構に伴うものも含まれると推定される。

S-381段状遺構(第Ⅲ-5-48図)

南側端部はトレンチにより残存しないが、S-290段状遺構を切って掘削されている。南北方向約1.3mが残存する。A-A'断面の北側ではS-290より数センチ低い位置に床面がある。遺物は出土していない。

S-290段状遺構(第Ⅲ-5-49図)

南北方向約4.5m、東西方向約1.5mの規模で検出した。北側はS-381段状遺構に切られる。南側のS-382段状遺構との切り合い関係は不明である。壁際の一部で幅14cm～18cm、深さ2cm程度の

溝がS-280-1柱穴より古い遺構であることから、S-280段状遺構より古い遺構と推定される。遺物は出土していない。

S-297段状遺構(第Ⅲ-5-43・45図)

S-280段状遺構の南側で検出した。北側をS-280段状遺構に切られており、南北方向約3.0m、東西方向約2.8mの範囲で検出された。土層断面B-B'のS-296土坑はS-297の埋土を切ることから、検出できなかったが、さらに上層の段状遺構が存在したと推定される。床面からS-325・326・340・366・373土坑が検出された。

埋土中から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃とみられる土器小片が出土している。また、S-326底面から敲石3065が出土した。

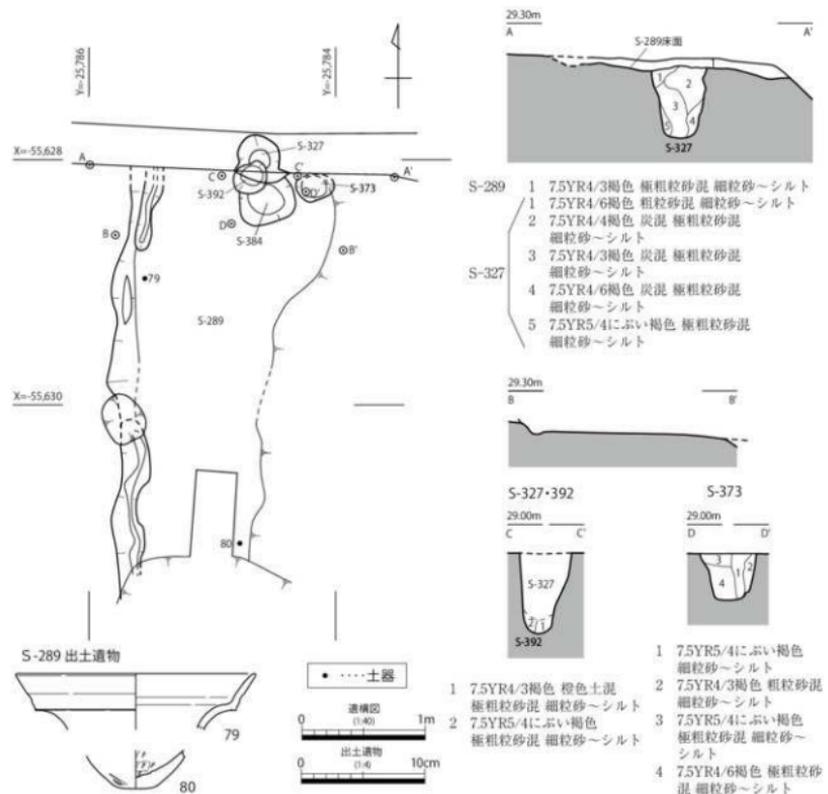
S-289段状遺構(第Ⅲ-5-46図)

S-297段状遺構の下層で検出した。南側はS-287段状遺構、北側はS-280段状遺構にそれぞれ切られており、南北方向約3.5m、東西方向約1.2mの範囲で検出した。壁際の一部には、幅8cm～24cm、深さ約3cmの壁溝を検出した。

床面から、S-327・373・384・392土坑を検出した。構築順は、S-384→S-392→S-327と考えられる。これらは同レベルの床面をもつS-369段状遺構に伴うことも考えられるため、土坑の平面図は両遺構に掲載した。

埋土中から、乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃とみられる壺79、底部80が出土した。

S-369段状遺構(第Ⅲ-5-47図)



第三-5-46図 S-289段状遺構、S-327・373・384・392土坑 平・断面図及びS-289出土遺物
壁溝が検出された。床面からS-383・391土坑が検出された。埋土中から、乙亥正VII～IX期の土器と推定される甕81が出土した。

S-382段状遺構(第三-5-90図)

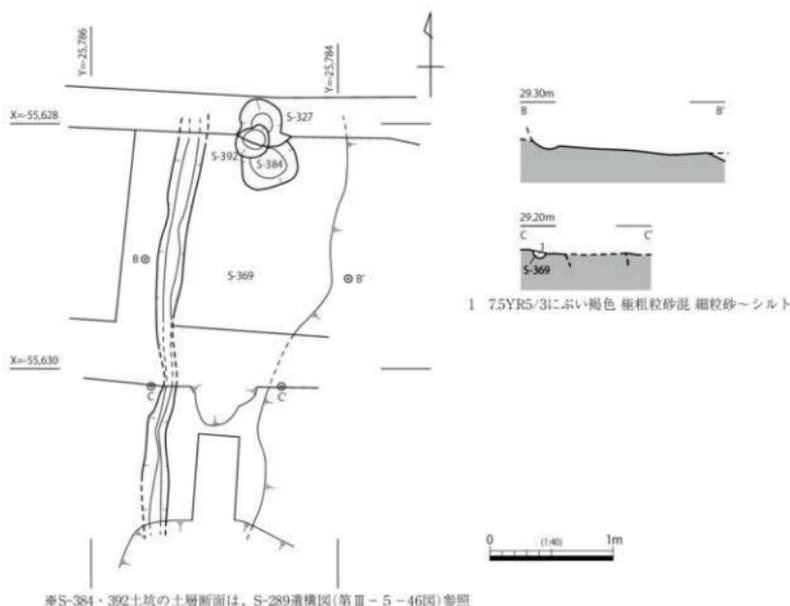
南北約1.5m、東西約1.2mの範囲で検出した。2S-289の下層、2S-425の上層にあたる。北側は2S-290、南側は2S-287に切られる。遺物は出土していない。

S-427段状遺構(第三-5-51図)

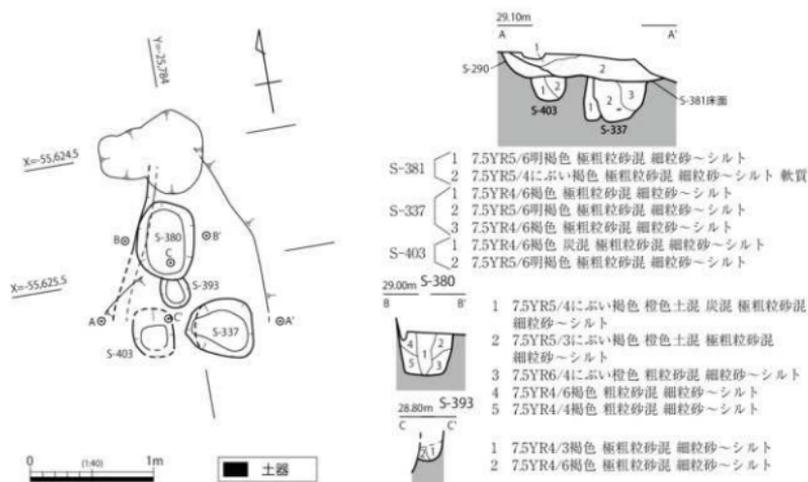
南北方向約4.5m、東西方向約0.8mの範囲で検出した。後述するS-425段状遺構より新しいが、他の遺構との前後関係は、切り合う部の土層断面等が僅かであるため判断できなかった。床面からS-387・423・437土坑を検出した。埋土中から遺物は出土していないが、S-387土坑の埋土中から、甕口縁82が出土した。

S-425段状遺構(第三-5-52図)

南北方向約4.0m、東西方向約0.4mの規模で検出された。S-382段状遺構の下層にあたり、東側は

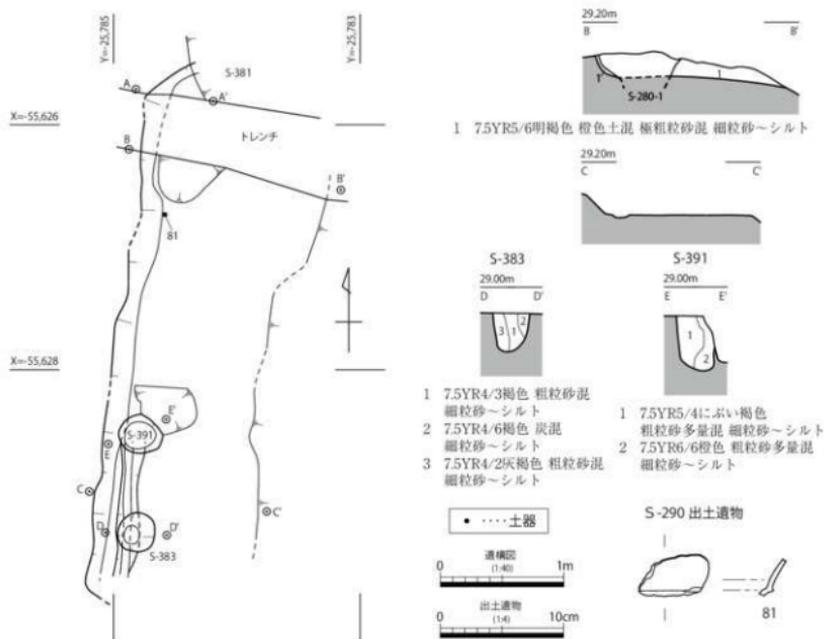


第三-5-47図 S-369段状遺構、S-327・384・392土坑 平・断面図

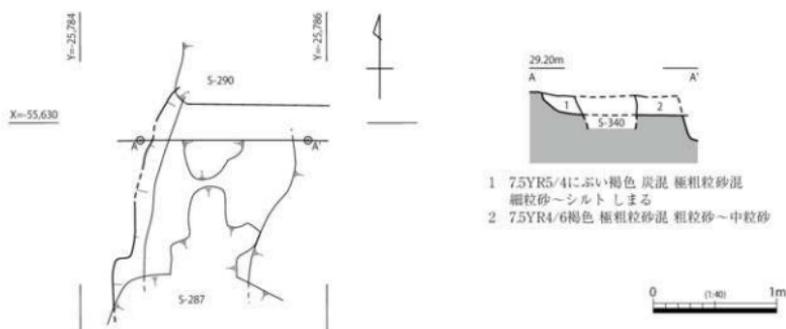


第三-5-48図 S-381段状遺構、S-337・380・393・403土坑 平・断面図

第三章 1区の調査



第三-5-49図 S-290段状遺構、S-383・391土坑 平・断面図及びS-290出土遺物

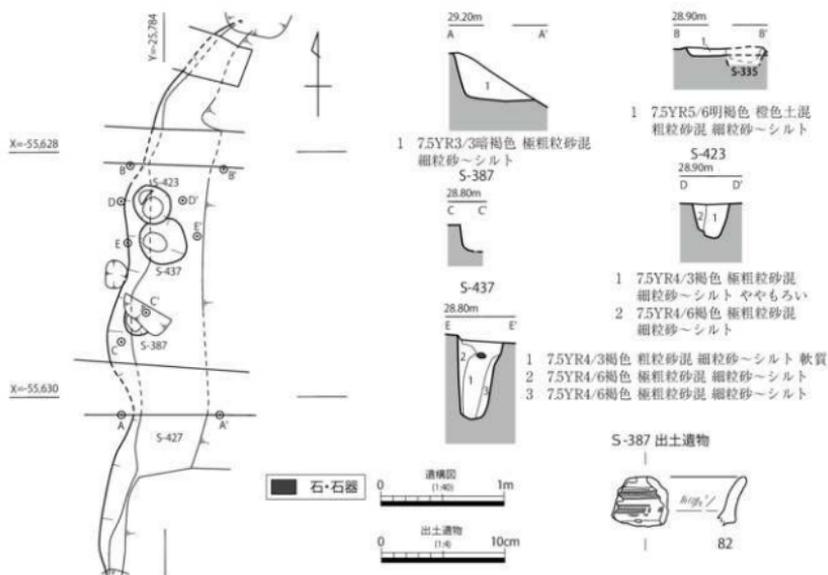


第三-5-50図 S-382段状遺構 平・断面図

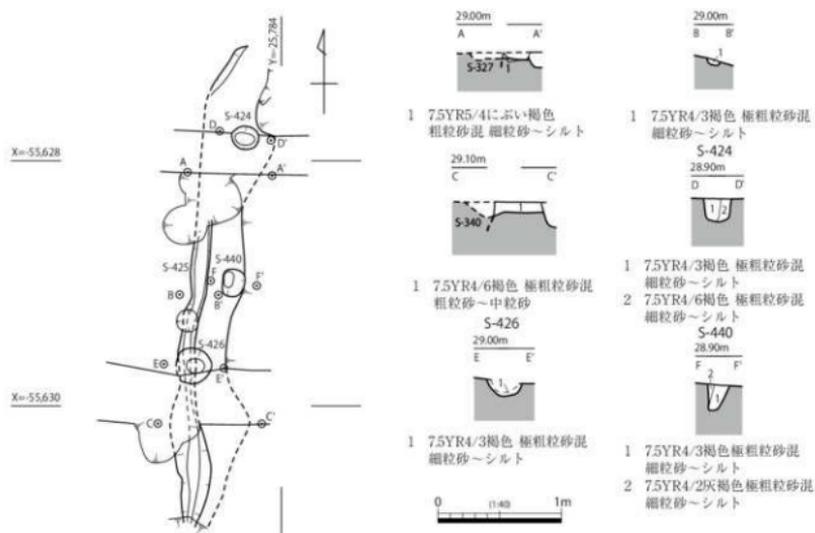
S-427段状遺構に切られる。壁際には、幅11cm～27cm、深さ3cm～4cm程度の壁溝が掘削されている。床面でS-426・440・424土坑を検出した。遺物は出土していない。

S-405溝・406段状遺構(第三-5-53図)

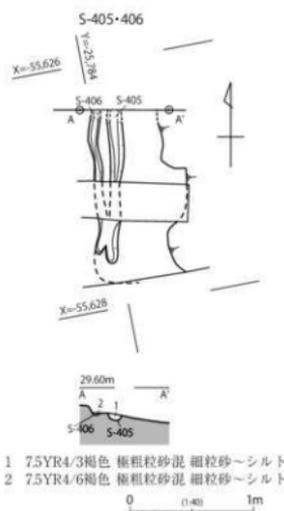
S-290の下層にあたる。S-406段状遺構は南北約1.4m、東西約0.8mの範囲で検出した。壁際で、



第三-5-51図 S-427段状遺構 S-387・423・437土坑 平・断面図及びS-387出土遺物



第三-5-52図 S-425段状遺構、S-424・426・440土坑 平・断面図



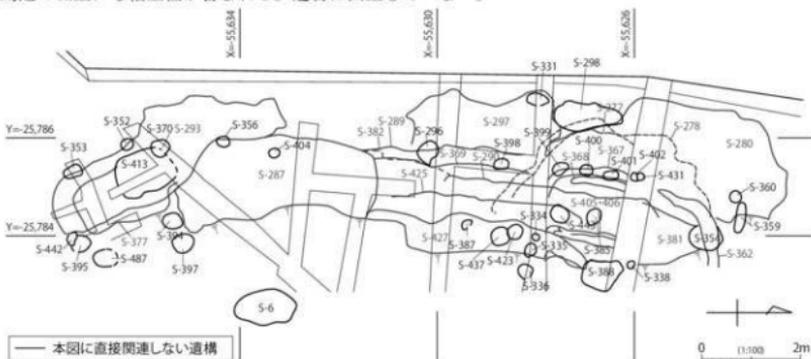
第Ⅲ-5-53図 S-405・406段状遺構 平・断面図
 1 7.5YR4/3褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
 2 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-388土坑(第Ⅲ-5-55図)

S-406段状遺構の東側斜面部に位置する。大部分が流出しており、本来の形状は不明である。遺物は出土していない。

S-413土坑(第Ⅲ-5-55図)

長軸1.0m、短軸0.9mの平面方形をなす。S-293段状遺構の埋土上面で検出した。最下層には精良な灰色またはオリープ灰色を呈する粘土が、30cm×20cm、厚さ数cmの範囲で塊状に存在する。周辺の埋土にも粘土粒が含まれる。遺物は出土していない。



第Ⅲ-5-54図 S-280・290・297・289・382段状遺構周辺の土坑

幅5cm～11cm、深さ1cm～3cmの周壁溝を確認した。平行するS-405溝も同規模で相前後して掘削された遺構と考えられる。遺物は出土していない。

S-S-280・290・297・289・382段状遺構周辺の土坑(第Ⅲ-5-54図)

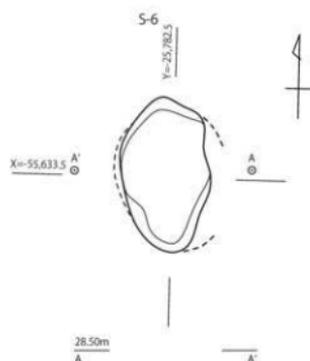
段状遺構との層位関係が不明な土坑について、ここでまとめて報告するもので、いわゆる貯蔵穴とみられる断面袋状の土坑2基、平面方形の土坑1基、形状不明な土坑1基、その他柱穴状の土坑30基である。

S-6土坑(第Ⅲ-5-55・59図)

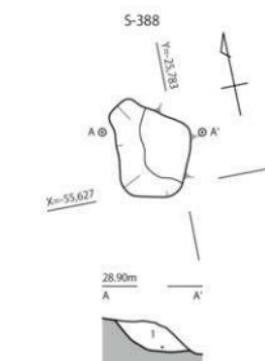
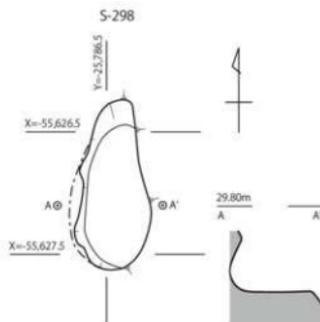
S-287堅穴住居の南側斜面部に位置する。東側は残存しないが、底面が南北1.1m、東西0.8m～0.9m程度の平面楕円形の土坑である。西側断面が袋状をなす。埋土中から甕83が出土した。

S-298土坑(第Ⅲ-5-55図)

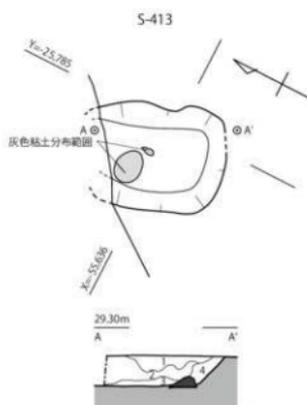
S-297段状遺構とS-280段状遺構の間に位置し、岩盤を掘削した断面袋状の土坑である。東側は残存しないが、底面の南北方向は約1.2mあり、平面が楕円形か円形の土坑と考えられる。



- 1 10YR5/6 黄褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混
- 2 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混 炭化物多量混
- 3 10YR4/6 褐色土 風化花崗岩のブロック土混 炭化物少量混
- 4 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混 炭化物多量混
- 5 10YR4/4 褐色土 ローム土主体
- 6 10YR3/4 暗褐色土 風化花崗岩のブロック土混 炭化物混
- 7 10YR5/6 黄褐色土 炭化物少量混 しまる
- 8 10YR5/6 黄褐色土 炭化物少量混 7層より粘性強



- 1 7.5YR4/4 褐色 極粗粒砂混 細粒砂~シルト



- 1 7.5YR6/4にぶい橙色 炭混 にぶい褐色土混 粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 2 7.5YR5/3にぶい褐色 炭混 粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 3 7.5YR5/2にぶい褐色 炭混 オリーブ灰色 粘土粒多く混 粗粒砂混 細粒砂~シルト
- 4 7.5YR4/3褐色 炭混 粗粒砂混 細粒砂~シルト

■ 石・石器

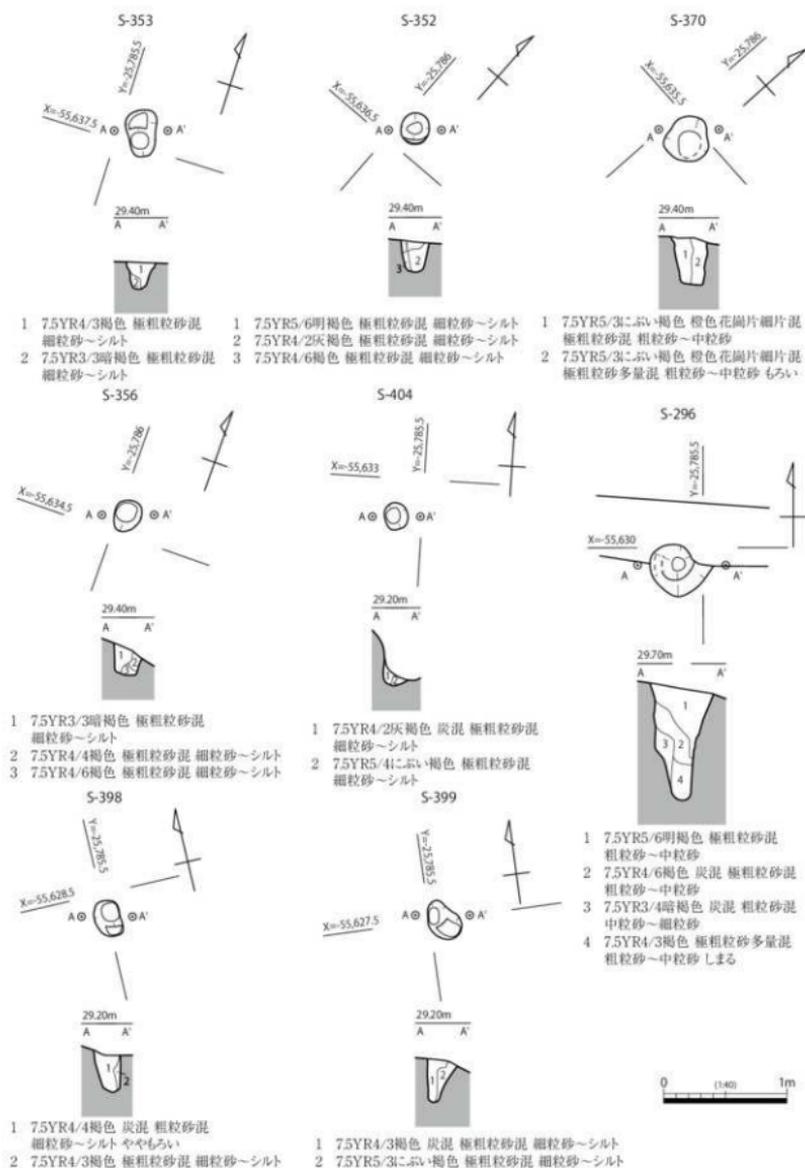
0 10.40 1m

第三-5-55図 S-6・298・388・413土坑 平・断面図

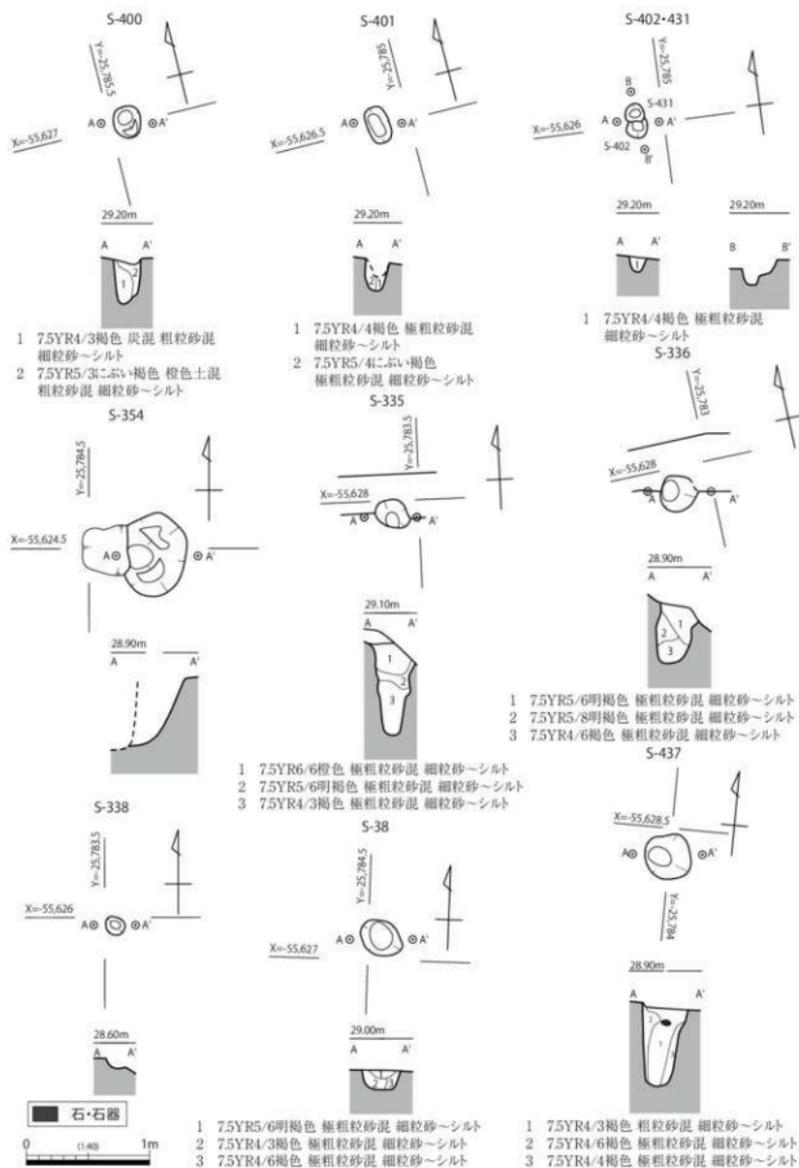
その他の土坑(第三-5-56~59図)

地山直上で検出したS-399・400・401・431土坑は、概ね50cm前後のピッチで一列に並ぶことからセットとみられる。比較的浅く、S-367溝を切ること、S-280段状遺構とは位置がずれることから、S-278段状遺構に伴うものかもしれない。その他の土坑と堅穴住居、段状遺構との関係は不明である。

第三章 1区の調査

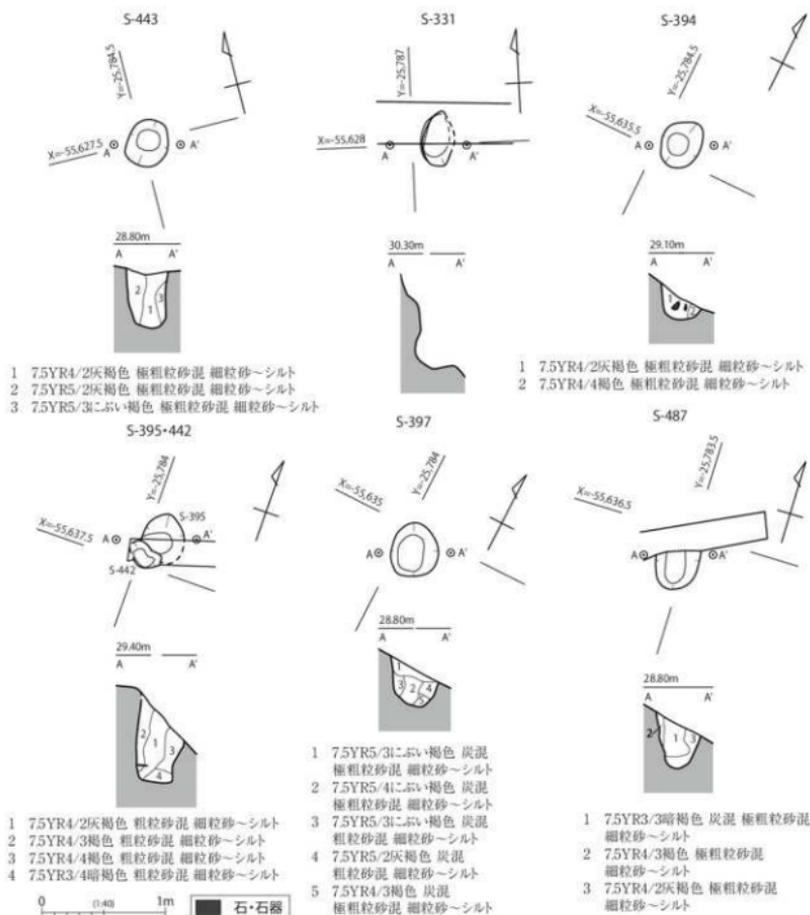


第三 - 5 - 56図 S-353・352・370・356・404・296・398・399土坑 平・断面図

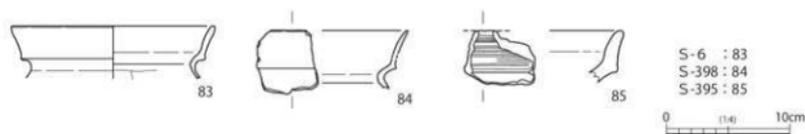


第Ⅲ-5-57図 S-335・336・338・354・385・400~402・431・437土坑 平・断面図

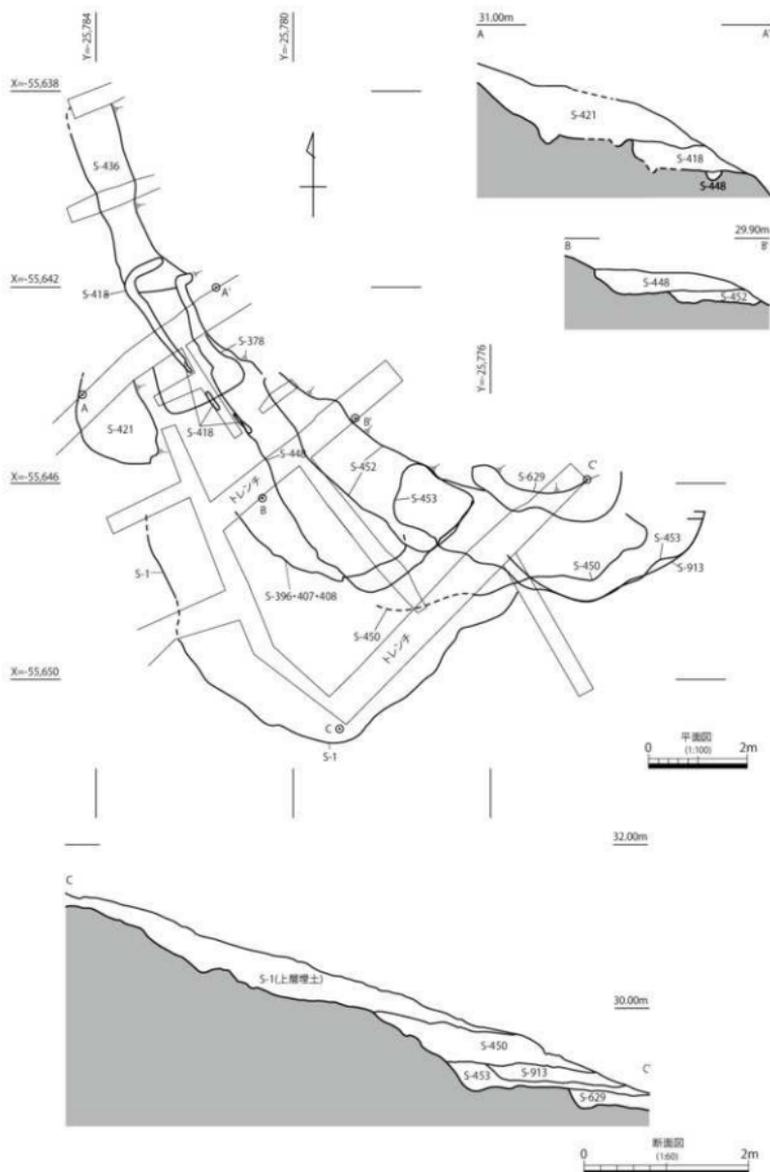
第三章 1区の調査



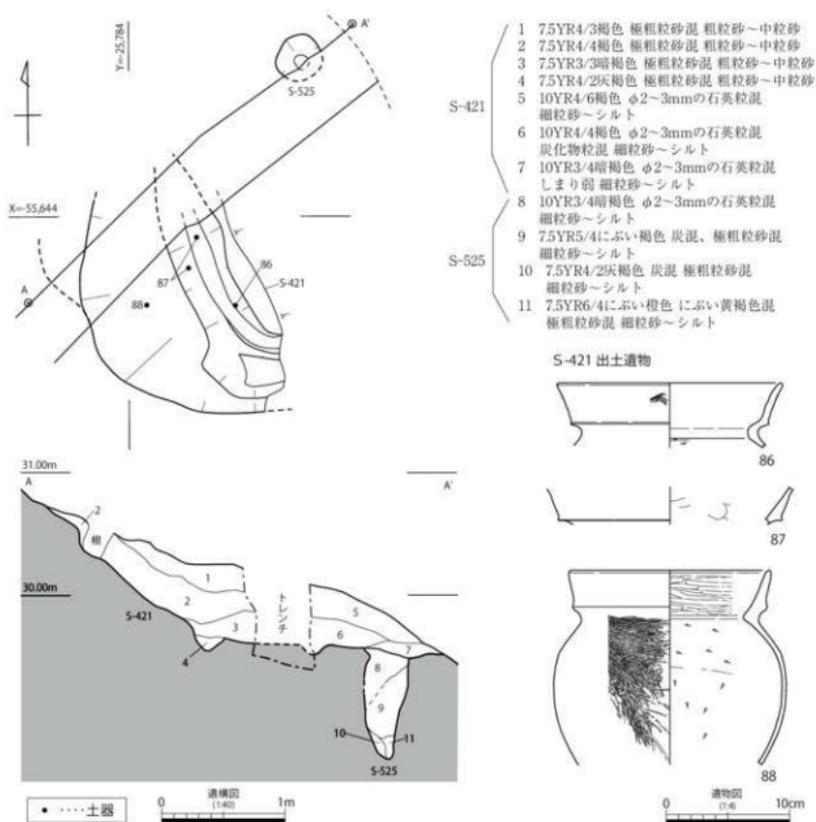
第三-5-58図 S-331・394・395・397・442・443・487土坑 平・断面図



第三-5-59図 S-6・395・398土坑 出土遺物



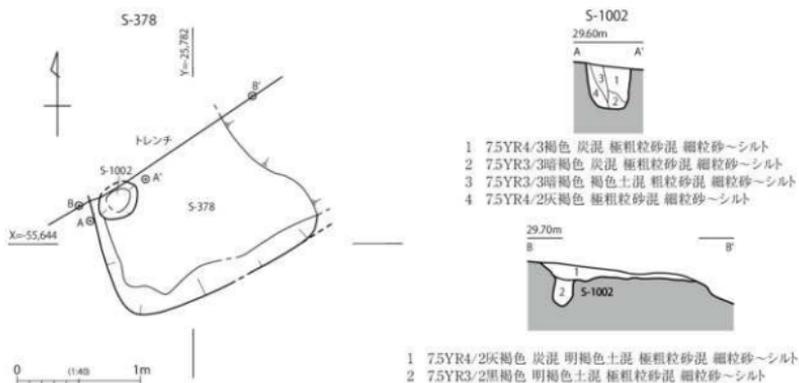
第Ⅲ-5-60図 S-1・450・448周辺段状遺構概念図



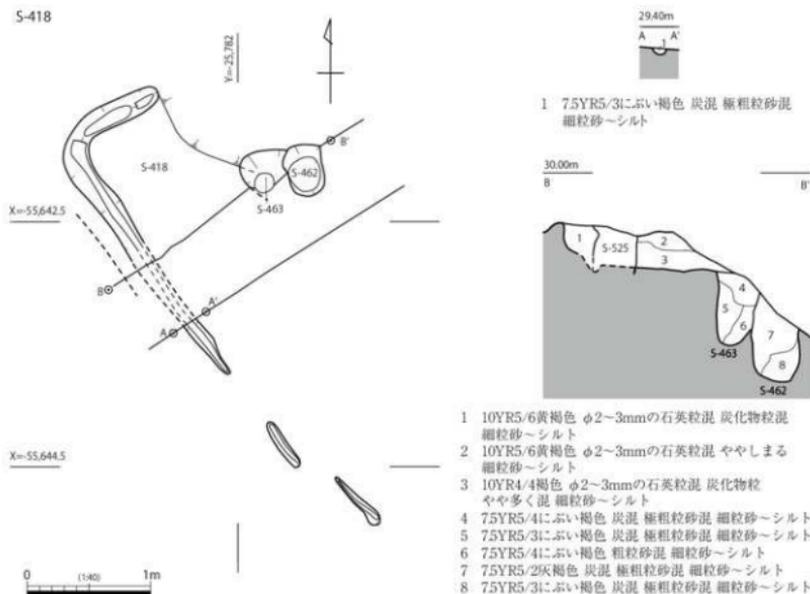
第三-5-61図 S-421段状遺構、S-525土坑 平・断面図及び出土遺物

5 S-1・450・448段状遺構周辺の遺構(第三-5-60～88図)

南西から北東方向へ伸びる浅い谷の底部、標高28.8m～29.8m付近に広がる段状遺構を主とする遺構の一群である。段状遺構12基、貯蔵穴状の土坑2基等を検出した。概して、平面的には北東側(斜面の低い方)から南西側(斜面の高い方)へ、断面的には古い加工段を埋めてその上部に新たに広い床面を作り出す手法で加工段が繰り返し造成されている。最も古いS-629段状遺構の床面は、標高約28.8m、この範囲で最も新しいS-1段状遺構の床面は約29.75mである。第三-5-60図に示すとおり、段状遺構の構築順が分かる遺構は、S-629→S-453→S-913→S-450(以上C-C'断面)、S-452→S-448→S-396・407・408(B-B'断面、調査時所見)、及びS-448→S-418→S-421(以上A-A'断面)である。上層のS-1、S-378、S-418、S-421が乙亥正Ⅵ～Ⅶ期頃、下層遺構のS-396、S-436、S-418、S-448等が乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃と考えられる。



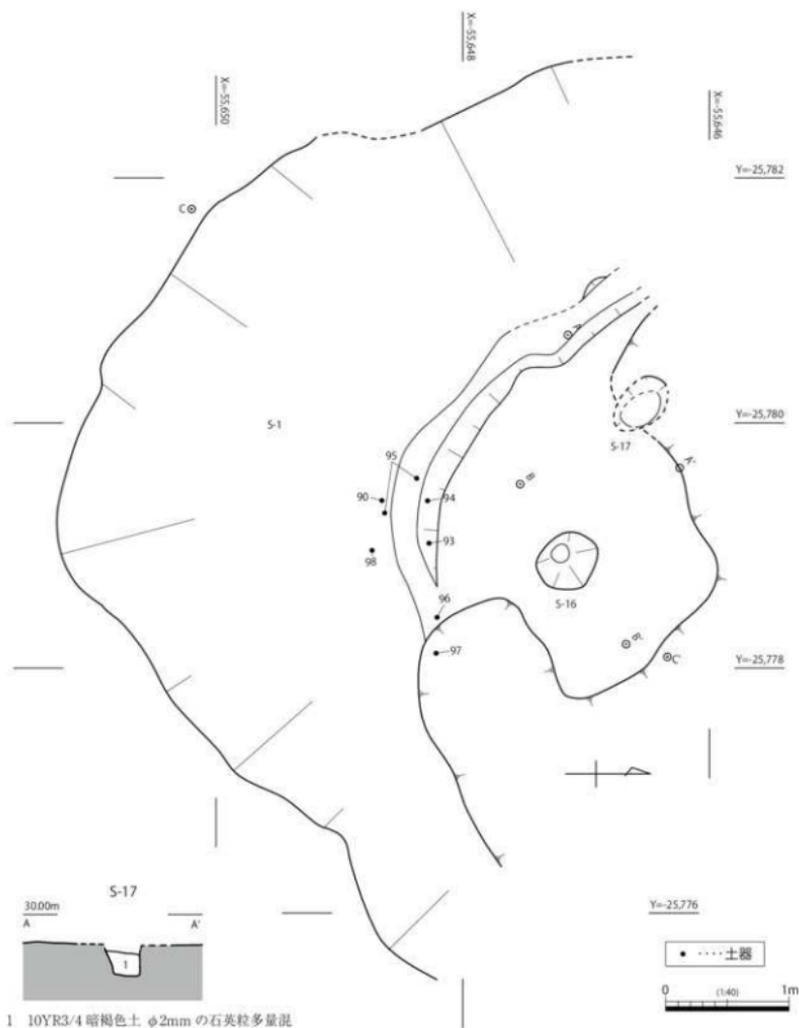
第三-5-62図 S-378段状遺構、S-1002土坑 平・断面図



第三-5-63図 S-418段状遺構 平・断面図

S-421段状遺構(第三-5-61図)

北西-南東方向で約1.6m、南西-北東方向で約1.4mの規模で検出した。平面的に調査できなかったが、A-A'断面からは、床面がさらに北東方向へ伸び、S-525土坑が床面から掘削されたことが分かる。壁際に幅40cm前後、深さ10cm前後の壁溝をもつ。壁溝の南端は東側へ屈曲するため、床面



1 10YR3/4 暗褐色土 φ2mm の石英粒多量混

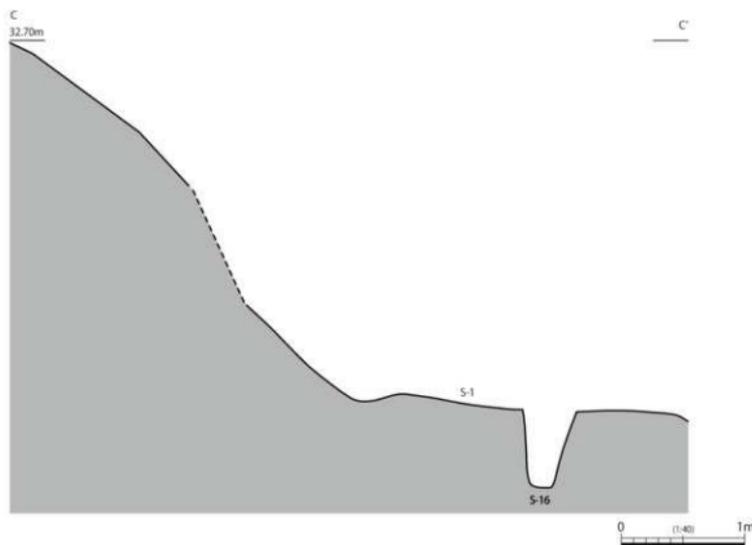
第Ⅲ-5-64図 S-1 段状遺構、S-16土坑 平面図、S-17土坑 平・断面図

の南端部にあたると考えられる。

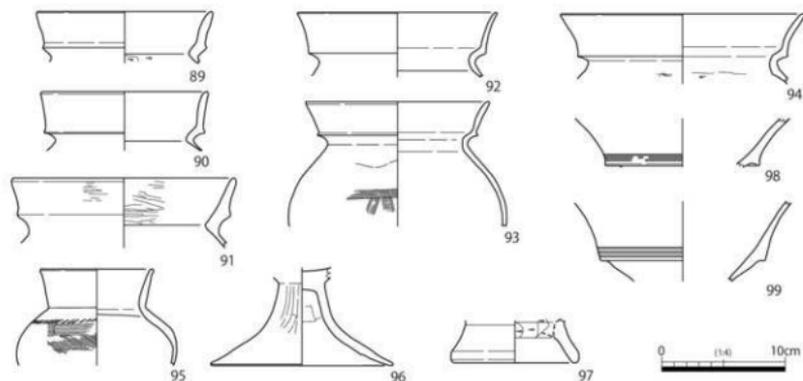
床面直上から、甕86、埋土中から87・88が出土した。乙亥正Ⅵ～Ⅶ期頃の土器と考えられる。

S-378段状遺構(第Ⅲ-5-62図)

北東-南西方向1.7m、北西-南東方向1.2mの規模で検出した。後述するS-418段状遺構の上層にあたり、西側のS-421との前後関係は不明である。トレンチから北側では土層断面を含めて確認でき



第Ⅲ-5-65図 S-1 段状遺構、S-16土坑 断面図

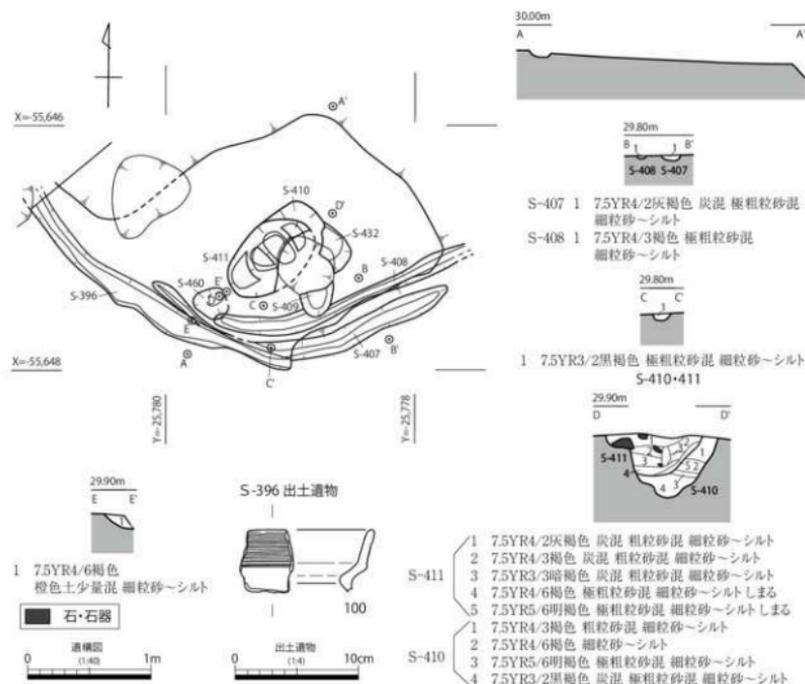


第Ⅲ-5-66図 S-1 段状遺構 出土遺物

ないことから、トレンチ内で収束する小規模な段状遺構と推定される。床面からS-1002を検出した。埋土中から甕の口縁の一部を含む小片が出土した。器壁が薄手であることなどから、乙亥正VI期～Ⅶ期頃の土器と推定される。

S-418段状遺構(第Ⅲ-5-63図)

S-378の下層にあたる。北西-南東方向4.1m、北東-南西方向1.2mの規模で検出した。南西側の壁高はやや低い位置まで掘削しているが、本来は高さ30cm程度残存したものと思われる(B-B'断



第Ⅲ-5-67図 S-396段状遺構、S-409・410・411・432・460土坑、S-407・408溝

平・断面図及びS-396出土遺物

面)。壁際には幅10cm～20cm、深さ2cm～4cmの壁溝が断続的に検出された。南東側は誤掘削により壁溝以外の床面は残存しない。S-463土坑は床面からの掘削でS-418に伴う可能性があるが、より新しいS-462の掘削面は不明である。

壁溝内から土器小片が出土した。

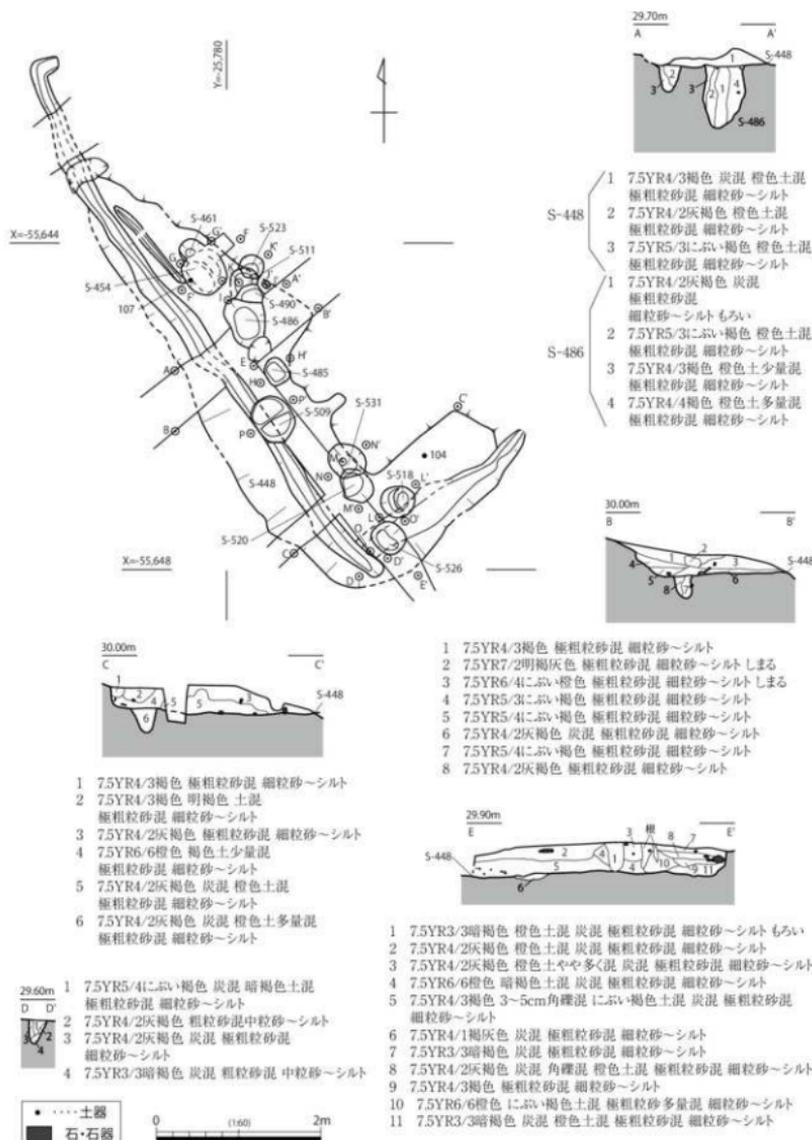
S-1 段状遺構 (第5-64～66図)

南北方向約5.5m、東西方向約7.5mの規模で検出した段状遺構である。遺構上端から床面までの高さは最大2.95mあり、山側を大きく掘削し加工段として造成されている。床面の残存が僅かで遺構の全体形状は不明だが、カーブする壁溝や柱穴とみられる土坑の配置からみて、本来は堅穴住居であった可能性もある。壁際の壁溝は幅30cm～40cm程度、深さ1cm～5cm程度の浅いもので北西から東に向けて緩やかに湾曲する。床面から、S-16・17を検出した。S-16は床面からの深さ44cm程度であるが、S-17は深さ24cm程度と比較的浅い。

壁溝内から直口壺95、埋土中から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の特徴をもつ甕89～94、高坏96、器台98・99、脚台97が出土した。

S-396段状遺構 (第Ⅲ-5-67図)

S-1の下層にあたり、南北方向約2m、東西方向約3.5mの規模で検出した。壁際には幅8cm～

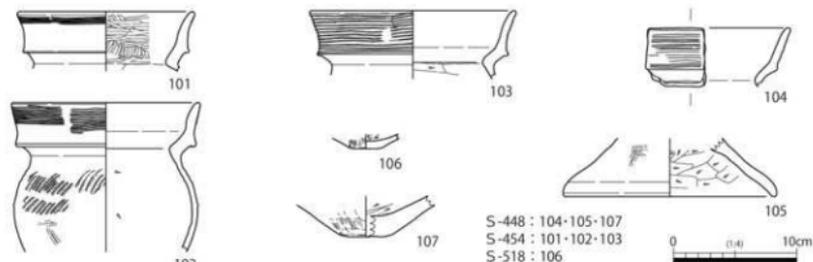


第三-5-68図 S-448段状遺構、S-454・461・485・486・490・511・518・520・523・526・531土坑
平・断面図

第三章 1区の調査

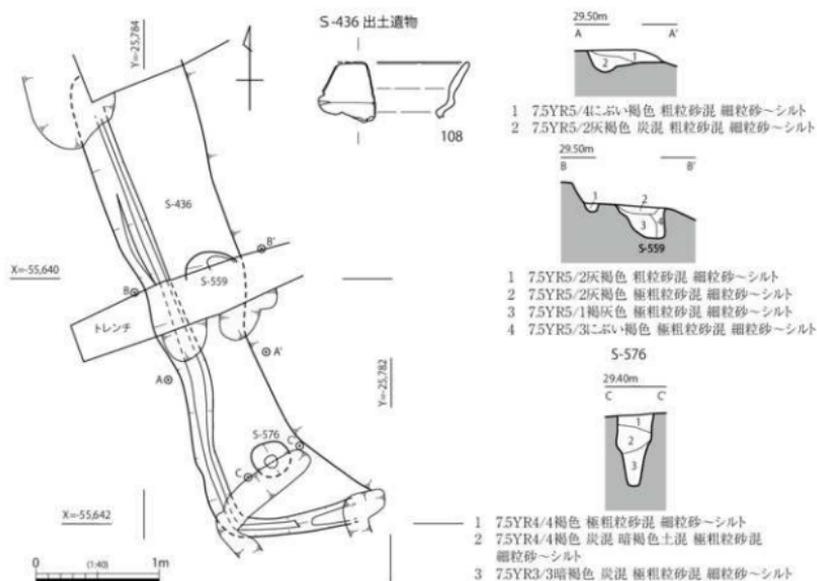


第Ⅲ-5-69図 S-448段状遺構 断面図



第Ⅲ-5-70図 S-448段状遺構、S-454・S-518土坑出土遺物

22cm、深さ2cm～6cm程度の壁溝が3本あり、掘り直されたと考えられる。壁溝が円弧状をなすことから、本来、平面円形もしくは隅丸多角形の竅穴住居であった可能性もある。床面からS-409・410・411・432・460土坑を検出した。切り合うS-410・411・432は、S-411が最も新しい。



第三-5-71図 S-436段状遺構、S-559・576土坑 平・断面図及び出土遺物

埋土中から、甕100が出土した。肉厚で擬凹線文を施す口縁部の形状から、乙亥正V～VI期頃の土器と推定される。

S-448段状遺構(第三-108～110図)

S-1及びS-396段状遺構の下層にあたる。北西-南東方向約7.7m、北東-南西方向約1.9mの規模で検出された。

壁際に幅約10cm～40cm、深さ6cm～29cmの壁溝をもつ。床面は、南東から北西方向に向けて数センチ低くなる。周壁溝は両端部で「L」字状に屈曲するため、遺構の主軸方向は概ね現状の規模に近いと思われる。南東側の壁溝底面は、角部で大きく段差があり、南東側一辺の溝は浅く、南西側一辺の溝は深い。このため両者の掘削時期が異なる可能性がある。床面から多数の小土坑を検出した。床面からの深さが60cmを超える深いものは、S-454・461・485・486・509・531・520・526である。セット関係は不明である。

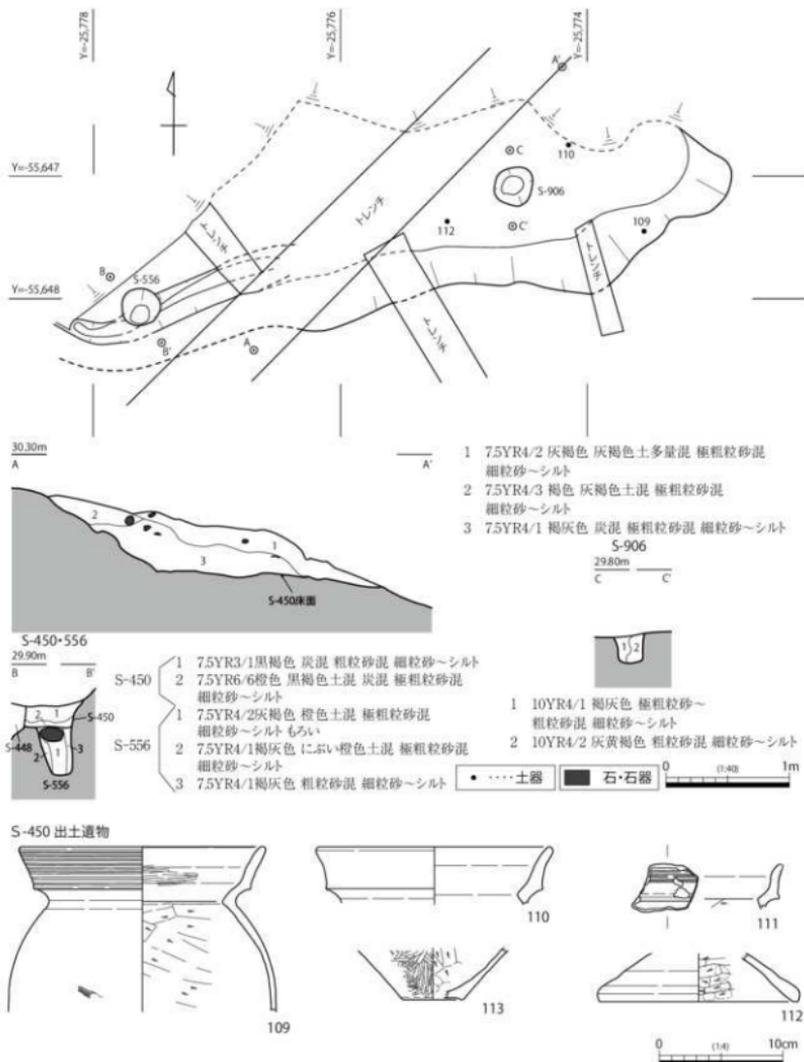
床面直上から甕104、埋土中から脚部105、底部107が出土した。また、S-454土坑から甕101～103、S-518土坑から底部106が出土した。乙亥正VI期頃の遺構と考えられる。

S-436段状遺構(第三-5-71図)

北西-南東方向約3.6m、北東-南西方向約1.2mの規模で検出した。周囲の遺構との切り合い関係は不明である。北西側端部はトレンチ付近で収束すると考えられる。周壁に沿い幅20cm、深さ4cm～6cm程度の壁溝が存在する。床面からS-576・559を検出した。

埋土中から、甕108が出土し、乙亥正VII～VIII期頃の特徴をもつ土器と推定される。

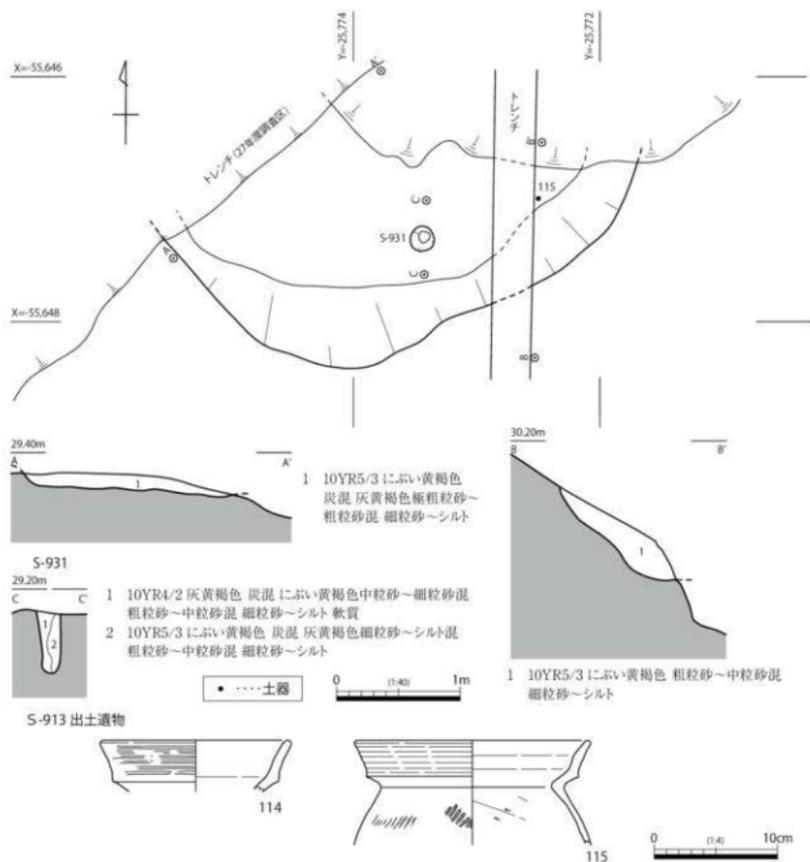
第三章 1区の調査



第三-5-72図 S-450段状遺構、S-556・906土坑 平・断面図及び出土遺物

S-450段状遺構(第三-5-72図)

S-1段状遺構の下層にあたり、西端部をS-448段状遺構に切られる。東西方向約5.5m、南北方向約1.8mの規模で検出した。壁際の一部に幅10cm、深さ1cm～3cm程度の壁溝がみられる。床



第三-5-73図 S-913段状遺構、S-931土坑 平・断面図及び出土遺物

面からS-556・906土坑が検出された。

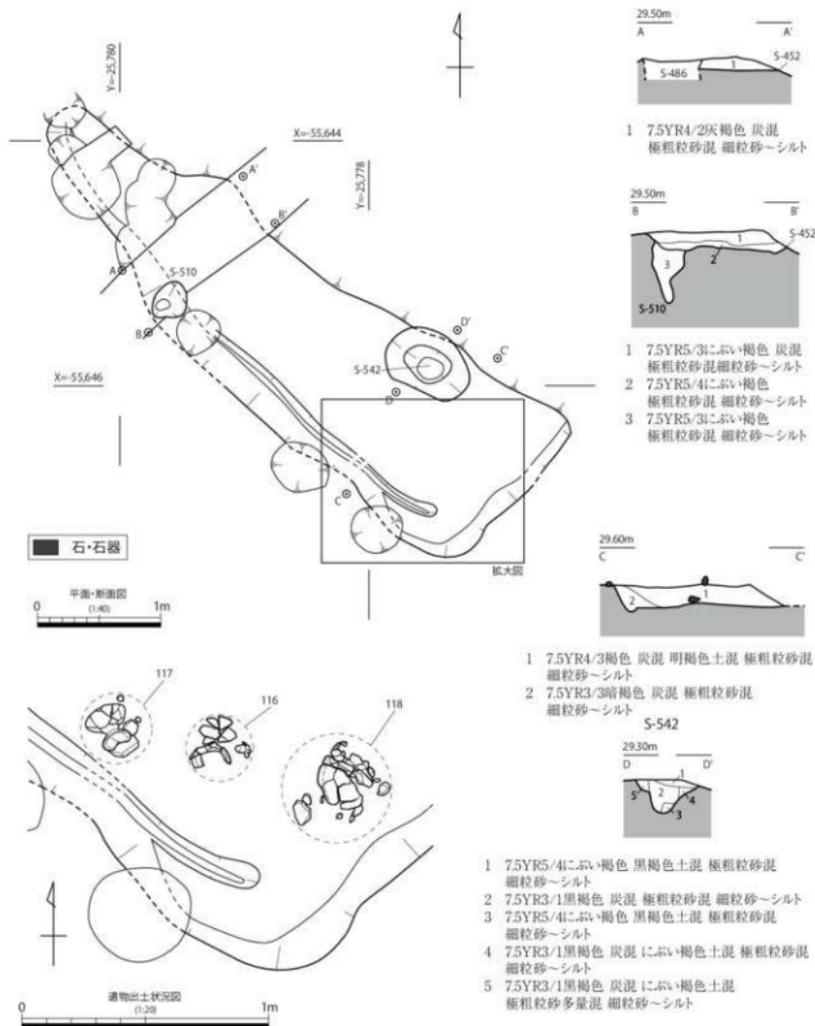
埋土中から、甕109～111、脚部112、底部113が出土した。乙亥正V～VI期項の特徴をもつ土器である。

S-913段状遺構(第三-5-73図)

S-450段状遺構の下層に位置し、S-452段状遺構を切って構築されている。東西約3.7m、南北約2.1mの範囲で検出した、床面が円弧強状をなす遺構である。トレンチから北西側では検出できなかった。床面からS-931を検出した。

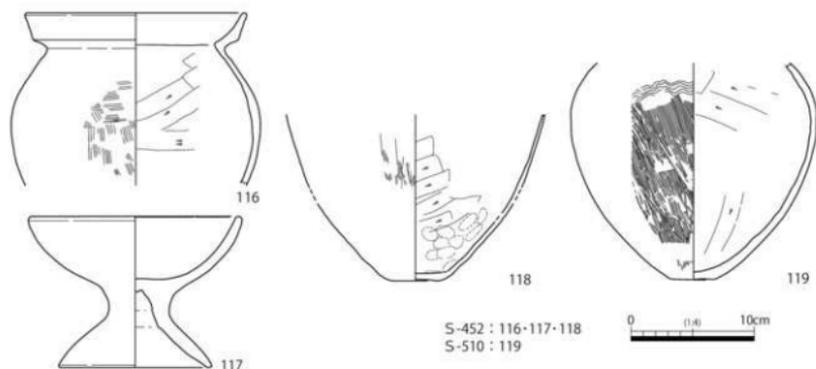
埋土中から、甕114・115が出土した。肉厚で胴部の張りが少ない器形や、口縁部の擬凹線文等の特徴から、乙亥正V～VI期項の特徴をもつ土器である。

S-452段状遺構(第三-5-74・75図)



第三-5-74図 S-452段状遺構 平・断面図、床面遺物出土状況図

S-448段状遺構の下層に位置し、後述のS-453段状遺構より新しい。北西-南東方向約4.9m、北東-南西方向約1.5mの規模で検出した。壁面の一部には、幅10cm前後、深さ2cm～3cmの壁溝が掘削されている。床面からS-452、壁面からS-510が検出された。S-510は別の遺構に伴う可能性がある。



第三-5-75図 S-452段状遺構、S-510土坑 出土遺物

床面直上から、甕116、高坏117、胴部118が出土した。S-510土坑からは、甕の胴部とみられる119が出土した。乙亥正VI期頃の遺構と推定される。

S-453段状遺構(第三-5-76・77図)

S-452・913段状遺構より古い遺構である。東西方向約6.2m、南北方向約2.2mの規模で検出した。壁際には、幅約10cm～25cm、深さ2cm～4cmの壁溝が巡る。床面から、S-580・585・586・587・922を検出した。

床面直上から、壺120がつぶれた状態で出土したほか、甕122が出土した。埋土中からは壺121が、S-587からは甕123が出土した。比較的肉厚な器壁や口縁部の形状、切り合い関係にある遺構の推定時期などから、乙亥正IV～V期頃の遺構と考えられる。

S-629段状遺構(第三-5-78図)

S-453の下層にあたる。東西約3.0m、南北約0.9mの範囲で検出した。東側の壁面沿いには幅20cm～30cm、深さ6cm程度の壁溝がみられる。遺物は出土していない。

S-1・450・448段状遺構周辺の溝、土坑(第三-5-79～88図)

貯蔵穴状の土坑2基を含む、段状遺構と直接のセット関係が分からない土坑について、下記で報告する。

S-11土坑(第三-5-80図)

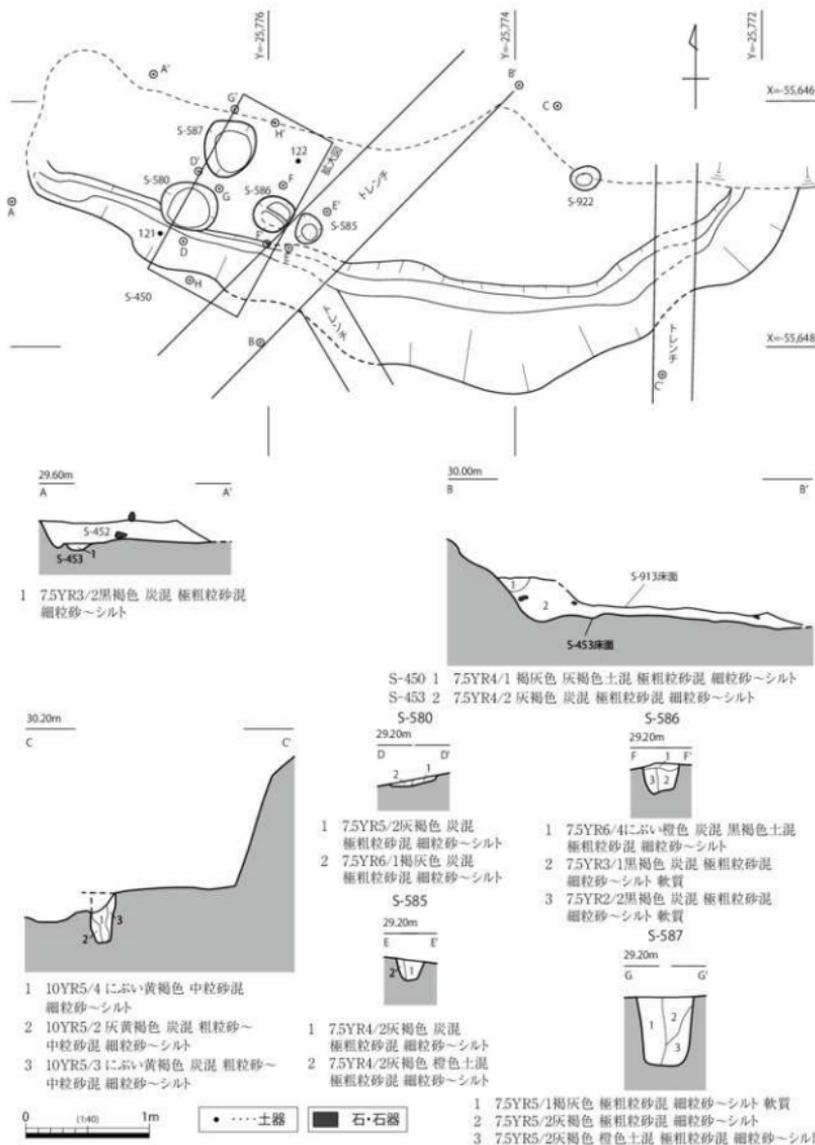
S-9の北東側で検出された遺構で、S-9より古く、S-448段状遺構の上層にあたる。北東-南西方向で約1.7m、北西-南東方向で約0.5mの範囲で検出した。トレンチから南側では検出されなかったため、土坑と推定される。埋土中から10cm～15cm角程度の多数の礫と伴に甕124、高坏125、低脚坏126が出土した。甕口縁部の薄手でシャープな形状等から、乙亥正VII～VIII期頃の遺構と推定される。

S-358溝(第三-5-81図)

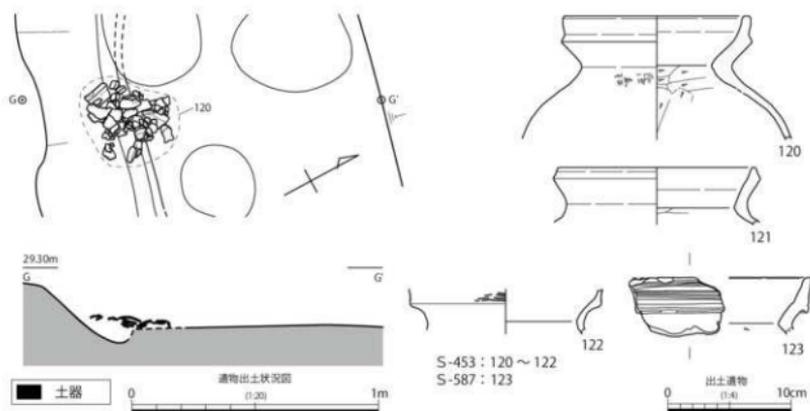
S-1南西側の斜面部で検出した遺構で、北西-南東方向の長さ3.2m、幅16cm～42cm、深さ3cm～26cmの溝である。南東側は西側へ大きく屈曲する。遺物は出土していない。

S-9土坑(第三-5-81・82図)

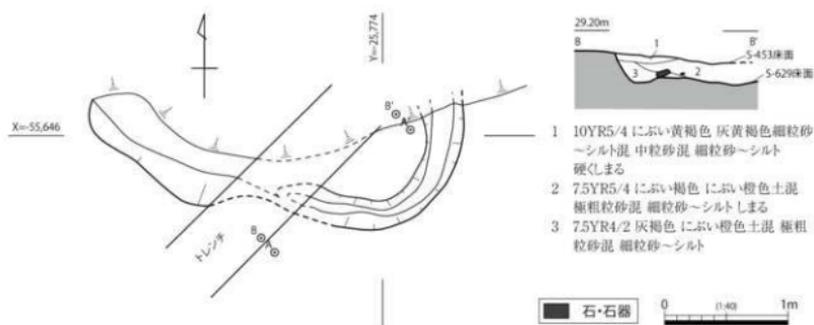
第三章 1区の調査



第三-5-76図 S-453段状遺構、S-580・585・586・587土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-77図 S-453段状遺構 床面遺物出土状況 平・断面図、及び出土遺物



第Ⅲ-5-78図 S-629段状遺構 平・断面図

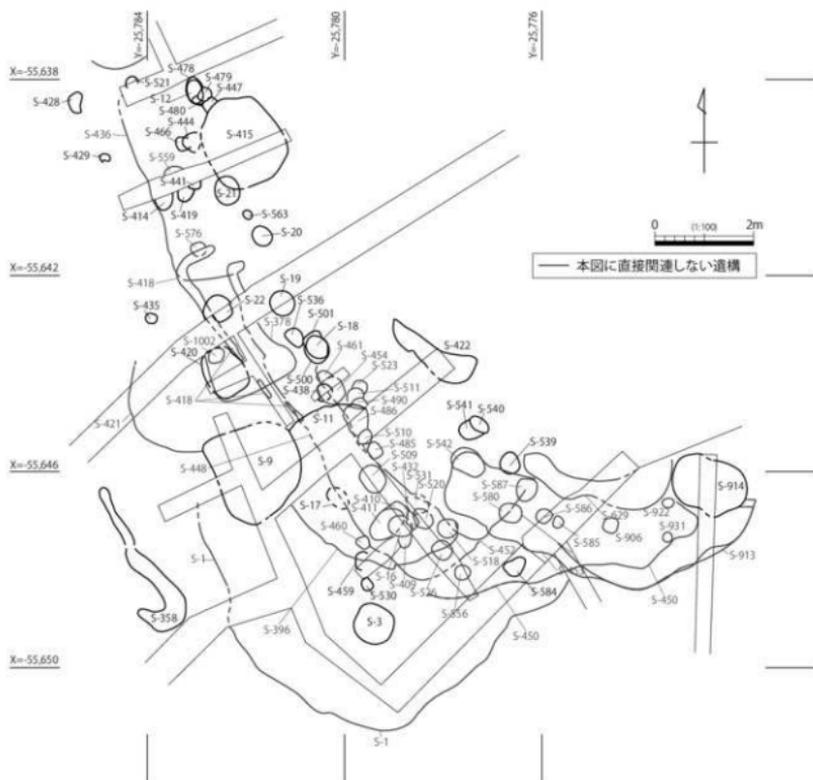
S-1の上層にあたる遺構である。長軸約2.1m、短軸約1.3m、深さ0.88mの規模で、平面は不整な円形を呈する。埋土には比較的多くの地山礫を含み、下層(7層)には多量の炭化物を含有する。壁面の被熱は確認できないため、炭の状態で投棄されたと考えられる。炭化物の一つは種子でダイズと鑑定された。この種子の放射性炭素年代測定を実施したところ、年代測定(暦年校正結果)は、calAD 128 - calAD 240の結果が得られた。

埋土下層(A-A'断面5~7層)から、甕127~133、高坏134が出土した。乙亥正Ⅶ~Ⅷ期頃の遺構と推定される。

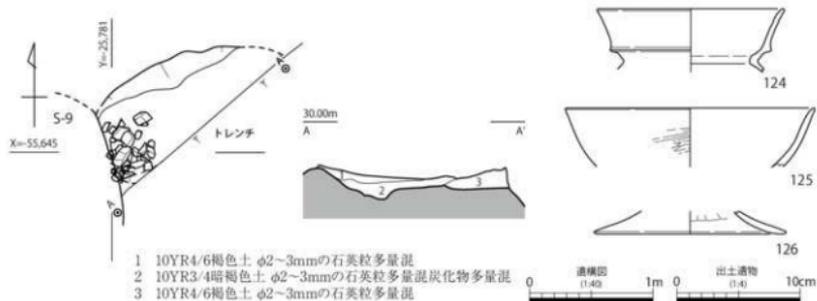
S-422土坑(第Ⅲ-5-83図)

S-1段状遺構の南側斜面部に位置する。斜面側は流失しているが、本来は底面での直径が1.8m程度の断面袋状をなす土坑と考えられる。遺物は出土していない。

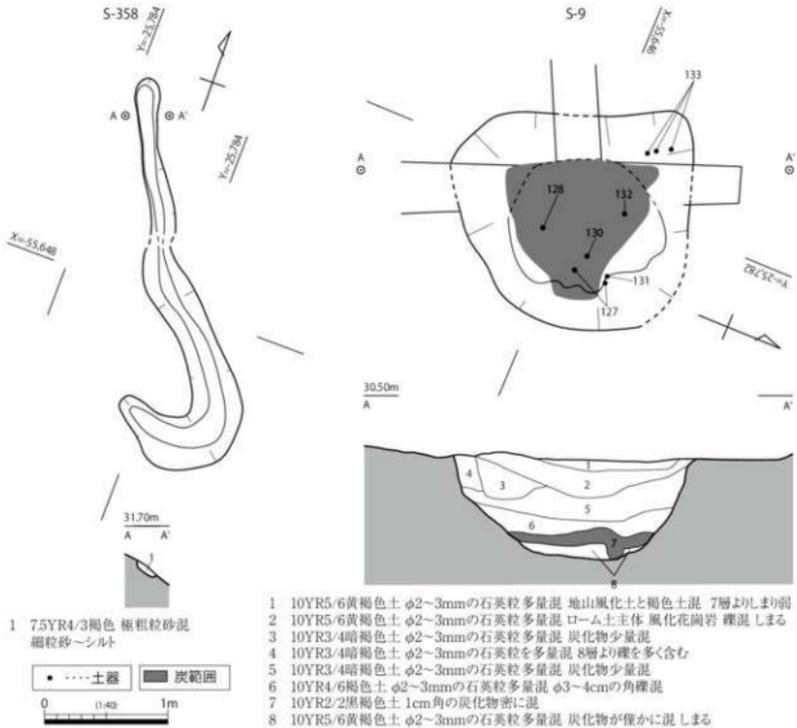
S-415土坑(第Ⅲ-5-83図)



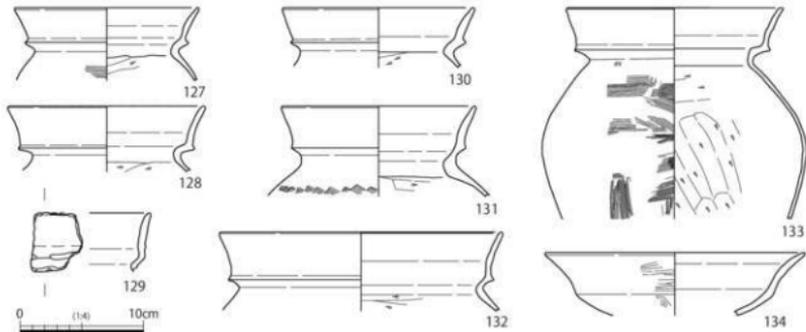
第Ⅲ-5-79図 S-1・450・448段状遺構周辺 溝、土坑配置図



第Ⅲ-5-80図 S-11土坑 平・断面・遺物出土状況図及び出土遺物

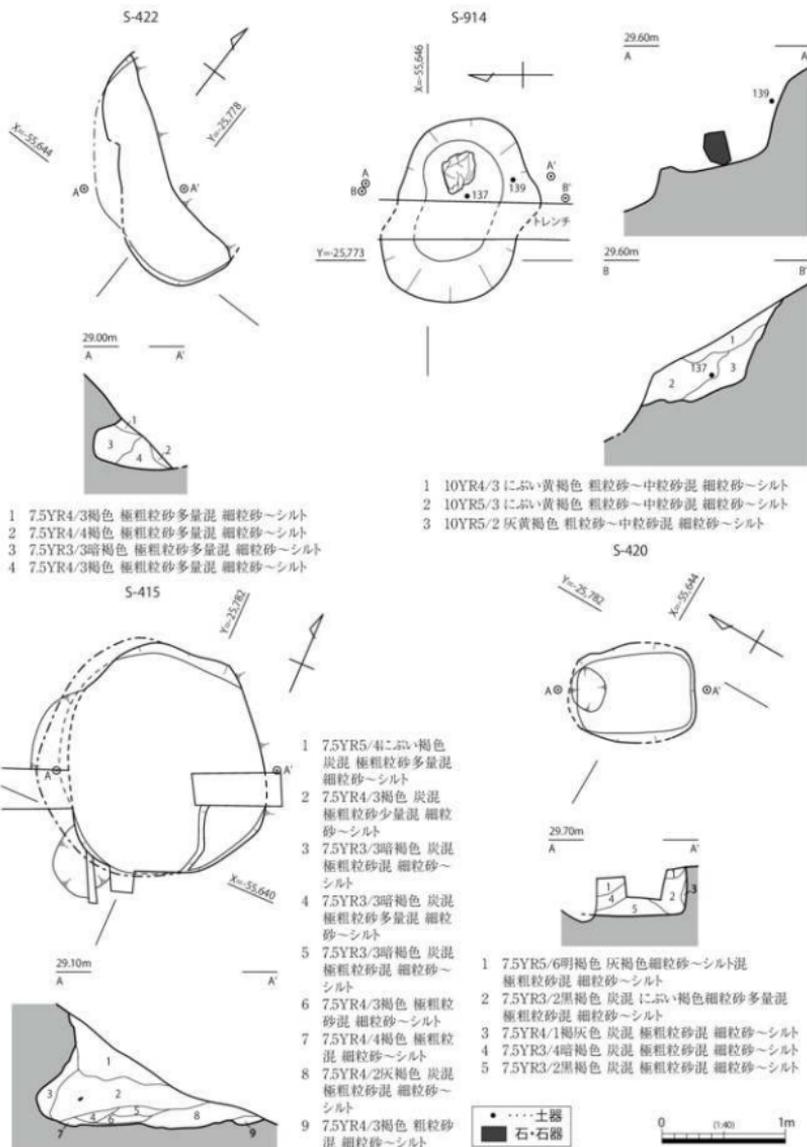


第三-5-81図 S-358溝、S-9土坑 平・断面図

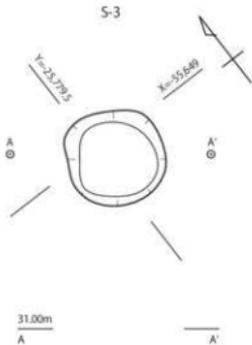


第三-5-82図 S-9土坑 出土遺物

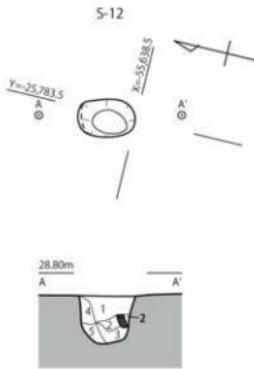
第三章 1区の調査



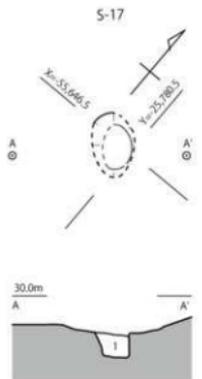
第三-5-83図 S-415・420・422・914土坑 平・断面図



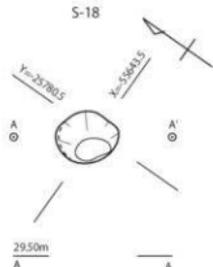
- 1 10YR2/2 黒褐色土 粉炭層



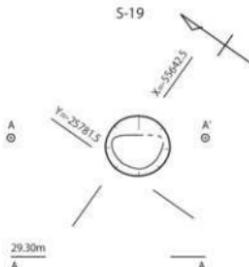
- 1 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混炭化物混
 2 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 1層より薄い
 3 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混
 4 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混
 5 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混
 ローム主体、4層より粘性強



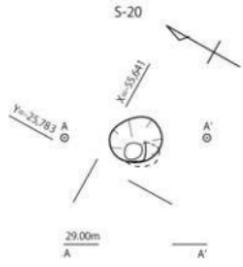
- 1 10YR3/4 暗褐色土 φ2mmの石英粒多量混



- 1 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 柱痕
 2 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 ローム主体 表达土
 3 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 ローム主体 表达土
 4 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 ローム 炭化物混 裏込土
 5 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 ローム 炭化物混 裏込土
 6 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒多量混 ローム 炭化物混 裏込土



- 1 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒混 ローム 炭化物混
 2 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒混
 3 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒混
 4 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒混 炭化物混
 5 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒混 柱痕
 6 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mm 石英粒混 炭化物混 裏込土
 7 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒混 炭化物混 裏込土
 8 10YR4/6 褐色土 φ2~3mm 石英粒混 炭化物混 裏込土

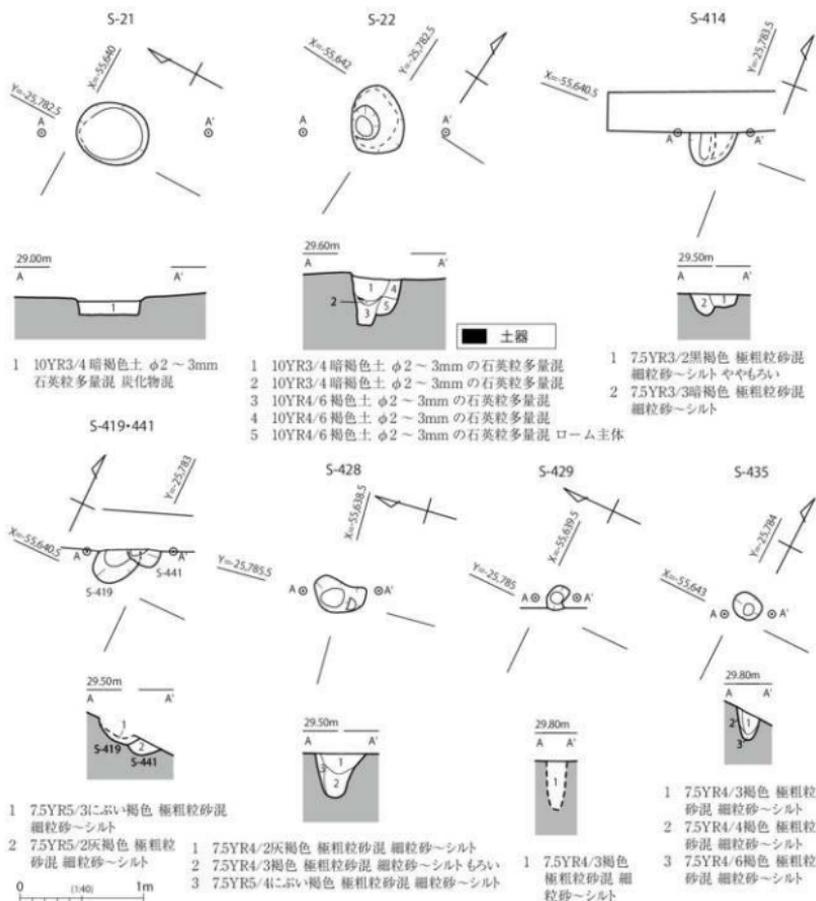


- 1 10YR4/6 褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混 炭化物混
 2 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混
 3 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混
 4 10YR4/6 褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混
 5 10YR3/4 暗褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混 炭化物混 粘性強
 6 10YR4/6 褐色土 φ2~3mmの石英粒多量混



第Ⅲ-5-84図 S-3・12・17・18・19・20土坑 平・断面図

第三章 1区の調査



第三-5-85図 S-21・22・414・419・428・429・435・441土坑 平・断面図

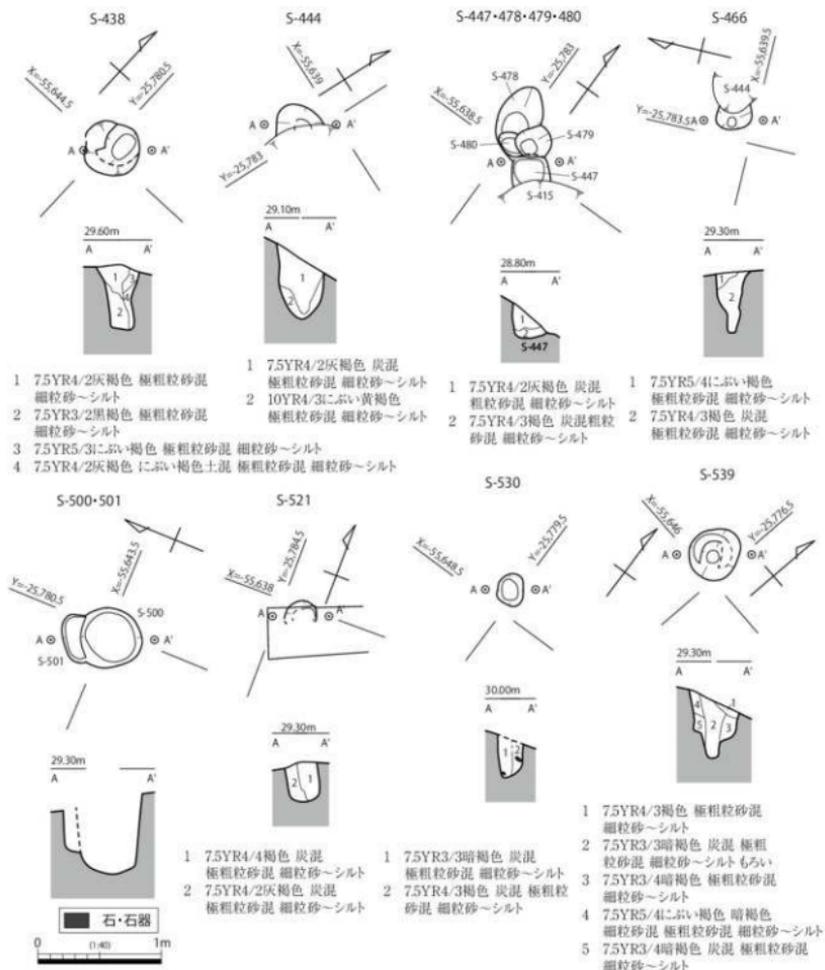
S-436段状遺構の東側斜面部に位置する。斜面側の大部分は流失しているが、底面が直径1.8m程度の円形をなし、断面が袋状をなす土坑である。深さは約0.9mが残存する。

埋土中から、甕140・141が出土した。形状から、乙亥正Ⅷ~Ⅸ期頃の遺構と推定される。

S-914土坑(第三-5-83図)

S-913段状遺構の埋土を切って構築されている。長軸約1.58m、短軸約1.13m、深さ0.88mの平面楕円形をなす。

埋土中から、底面に接した状態で長軸30cm、短軸20cm、厚さ27cm程度の角礫、及び乙亥正Ⅷ期頃の特徴をもつ甕137・139が出土した。

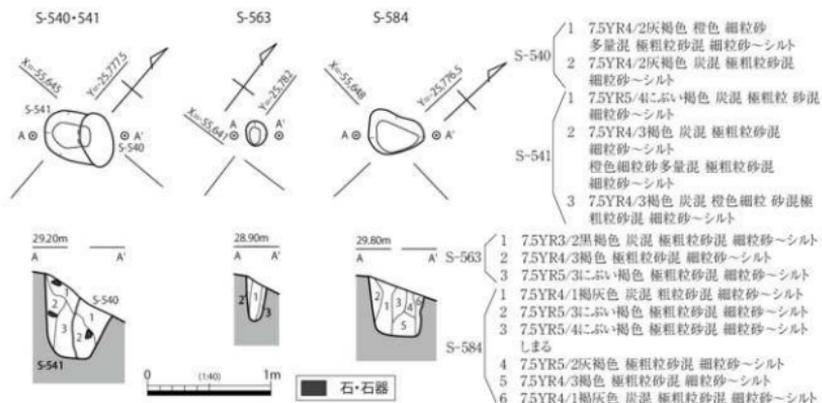


第三-5-86図 S-438・444・447・466・478・479・480・500・501・521・530・539土坑 平・断面図

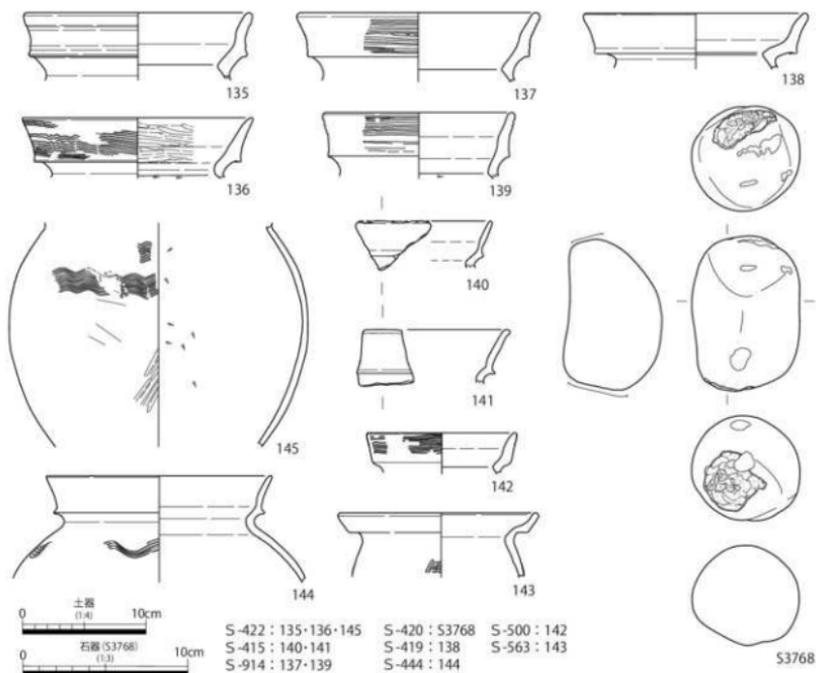
S-420土坑(第三-5-83図)

S-378段状遺構の下層で検出した。長軸103cm、短軸82cm、深さ50cmで、平面方形をなす。埋土中から敲石3768、及び土器細片が出土した。

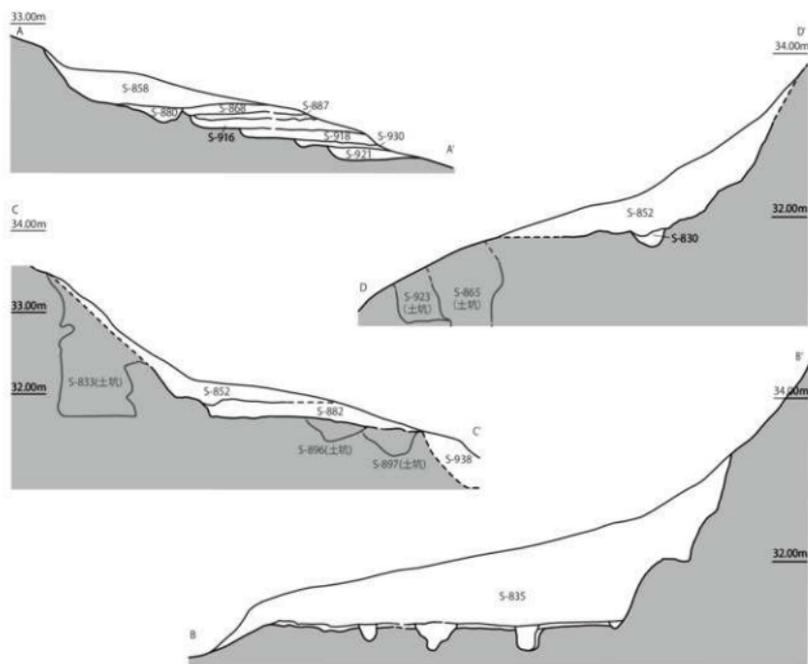
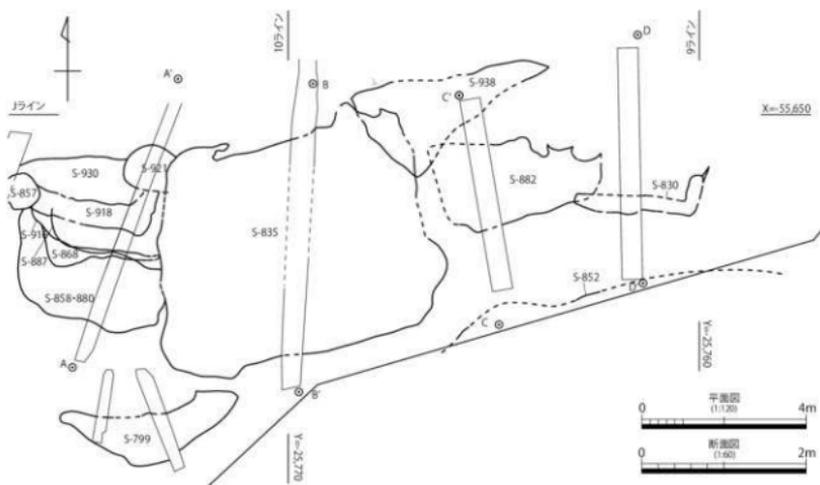
第三章 1区の調査



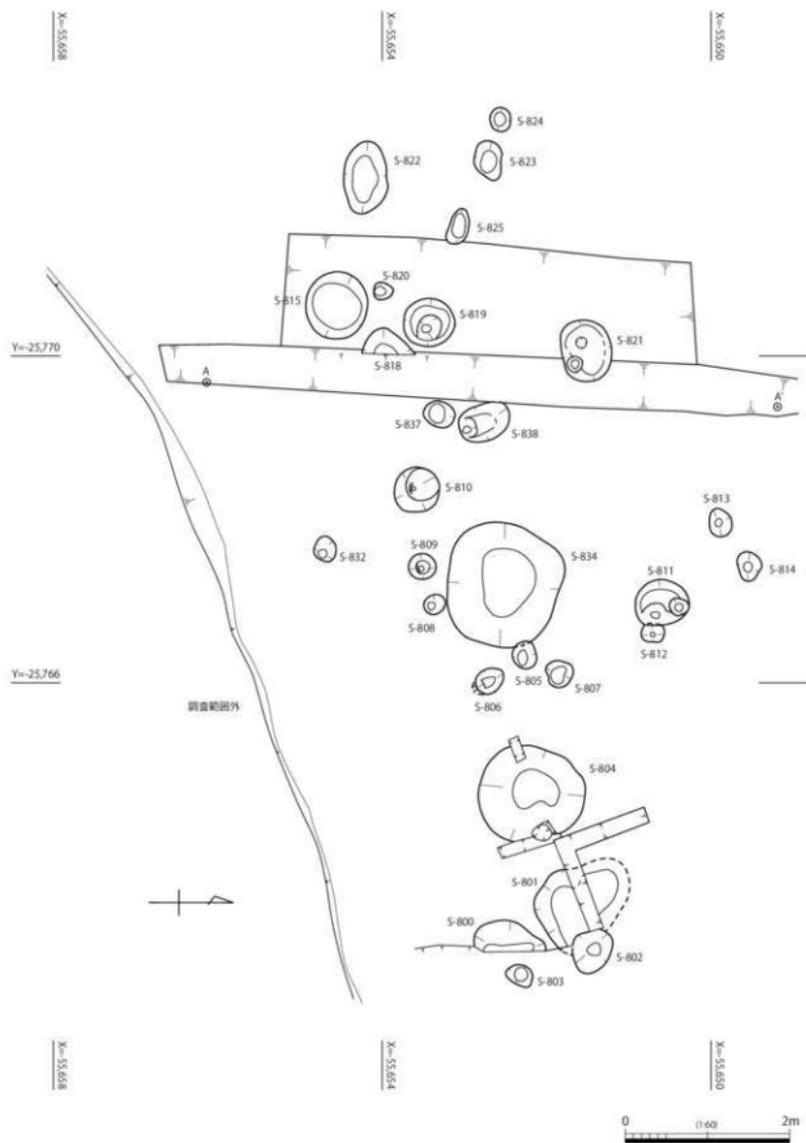
第Ⅲ-5-87図 S-540・541・563・584土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-88図 S-415・419・420・422・444・500・563・914土坑 出土遺物

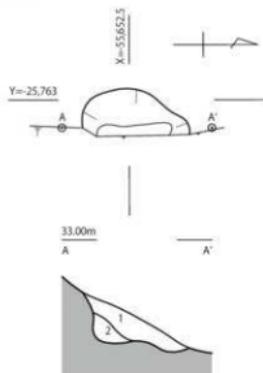


第三-5-89図 S-835竪穴住居、S-799・852・858段状遺構周辺概念図



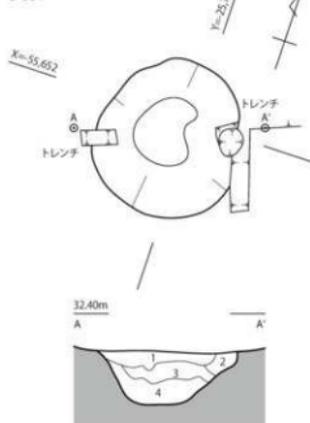
第三-5-90図 S-835竪穴住居上層検出遺構 平面図

S-800



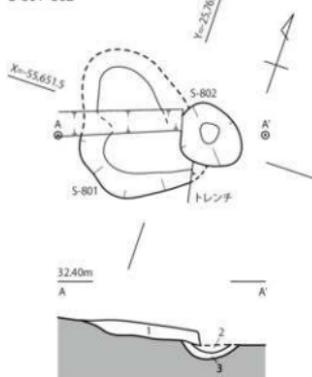
- 1 10YR4/3 に近い黄褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂と明褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂の混土
- 2 7.5YR5/6 明褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂

S-804



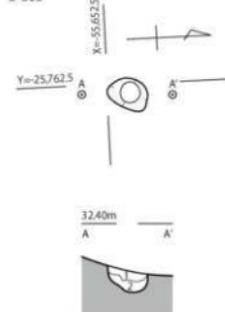
- 1 10YR4/4 褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂と黄褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土 炭粒少含
- 2 7.5YR5/6 明褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂
- 3 10YR3/2 黒褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂 炭片・炭粒多含
- 4 7.5YR5/6 明褐色 シルト～粗粒砂と褐色シルト～粗粒砂の混土 極粗粒砂～細礫混

S-801・802



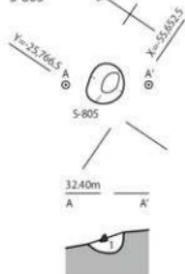
- S-801 { 1 10YR4/4 褐色 中粒砂～細礫混シルト～細粒砂と暗褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土 炭片・炭粒含
- S-802 { 2 10YR3/3 暗褐色 極粗粒砂～中粒砂混シルト～細粒砂 褐色中粒砂～細礫混シルト～細粒砂ブロック含 炭片・炭粒含
- 3 10YR5/6 明褐色 極粗粒砂～細礫混シルト～粗粒砂

S-803



- 1 10YR4/4 褐色 シルト～粗粒砂と明褐色シルト～粗粒砂の混土 極粗粒砂～細礫混
- 2 7.5YR6/6 橙色 シルト～粗粒砂 褐色シルト～粗粒砂ブロック含 極粗粒砂～細礫混

S-805

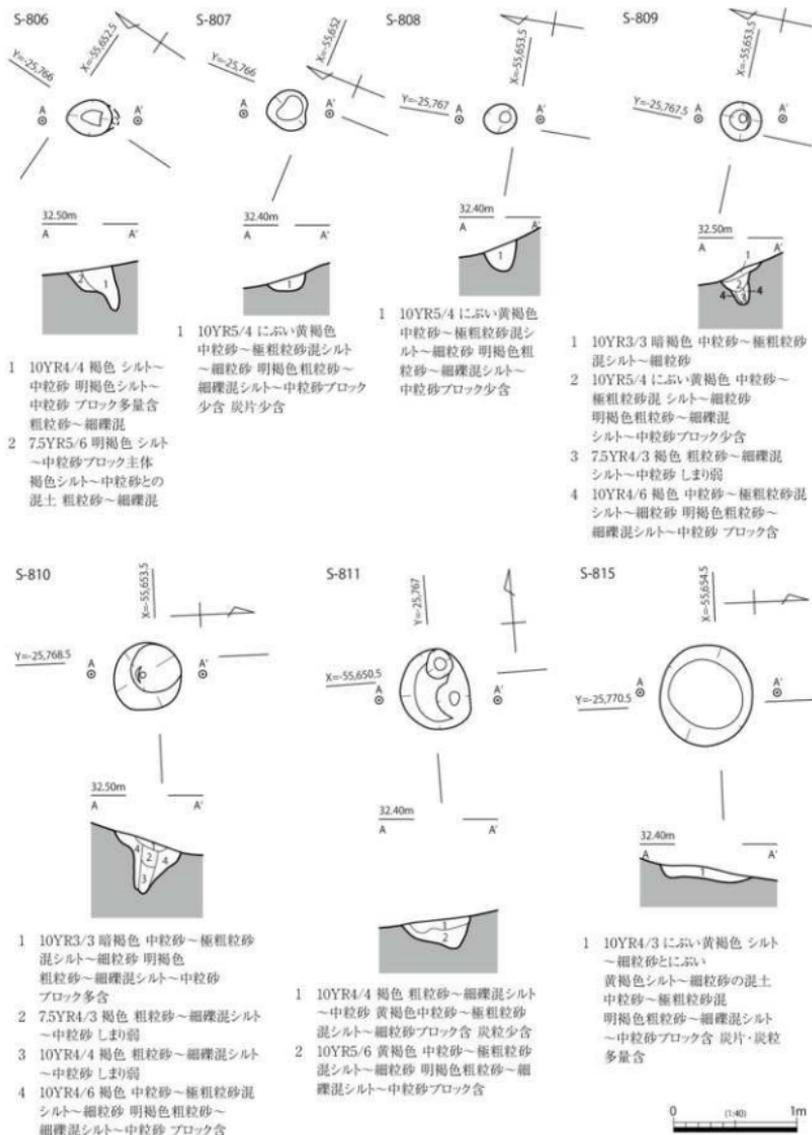


- 1 10YR5/4 に近い黄褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂 明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック少含

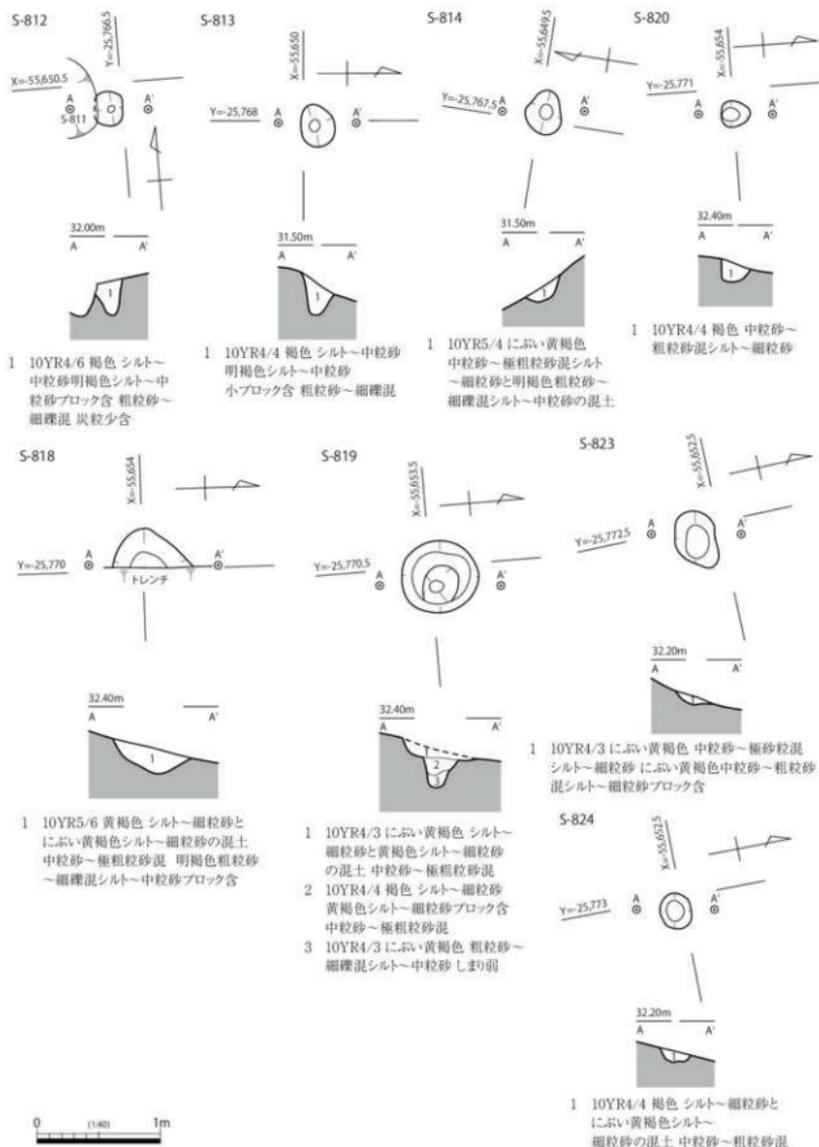


第三 - 5 - 91図 S-835竪穴住居上層検出遺構 平・断面図 1

第三章 1区の調査

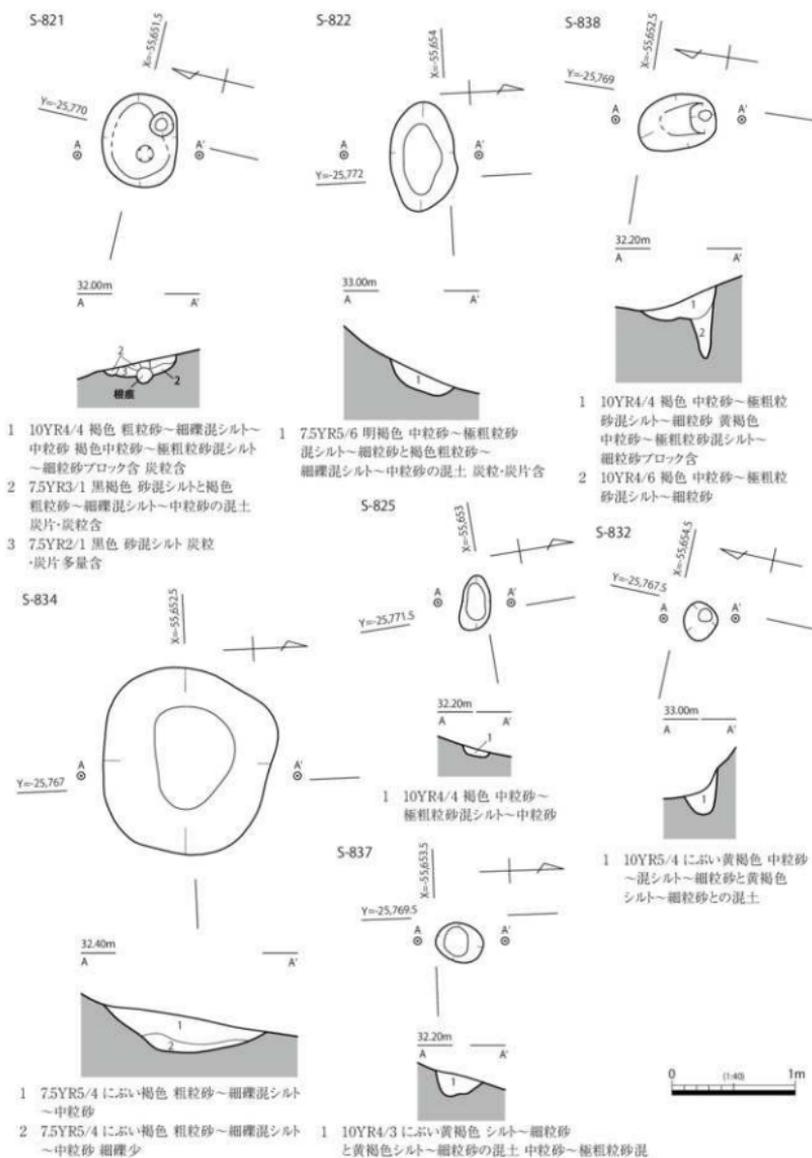


第三 - 5 - 92図 S-835竈穴住居上層検出遺構 平・断面図2

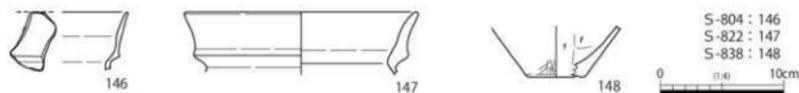


第三-5-93図 S-835竪穴住居上層検出遺構 平・断面図3

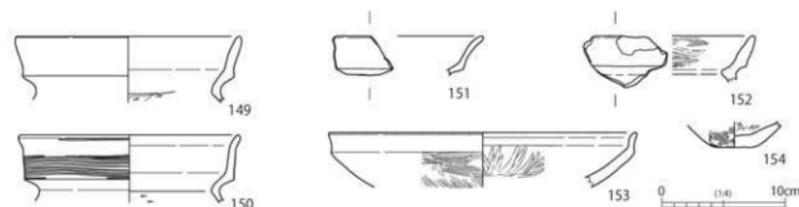
第三章 1区の調査



第三 - 5 - 94図 S-835竈穴住居上層検出遺構 平・断面図4



第Ⅲ-5-95図 S-835竪穴住居上層検出遺構出土遺物



第Ⅲ-5-96図 S-799・858段状遺構西側 礫層出土遺物

6 S-799・835・852・858段状遺構周辺の遺構(第Ⅲ-5-89~131図)

調査区の南東端部の標高31m~34m前後に位置する竪穴住居・段状遺構を主とする遺構の一群である。地形的には北向きの斜面部にあたり、第1項で述べたS-276・982・983を主とする段状遺構以外の集落遺構を俯瞰する位置にある。

検出した遺構は、竪穴住居1基、段状遺構11基、貯蔵穴状の土坑18基等である。西側には、S-799及びS-858等の段状遺構の一群、S-835竪穴住居を挟んで、東側にはS-852等多数の遺構が重複して検出されている。いずれも乙亥正V期~Ⅶ期頃の遺構とみられる。

S-835竪穴住居、S-852段状遺構周辺、S-799及びS-858段状遺構周辺、の順に報告する。

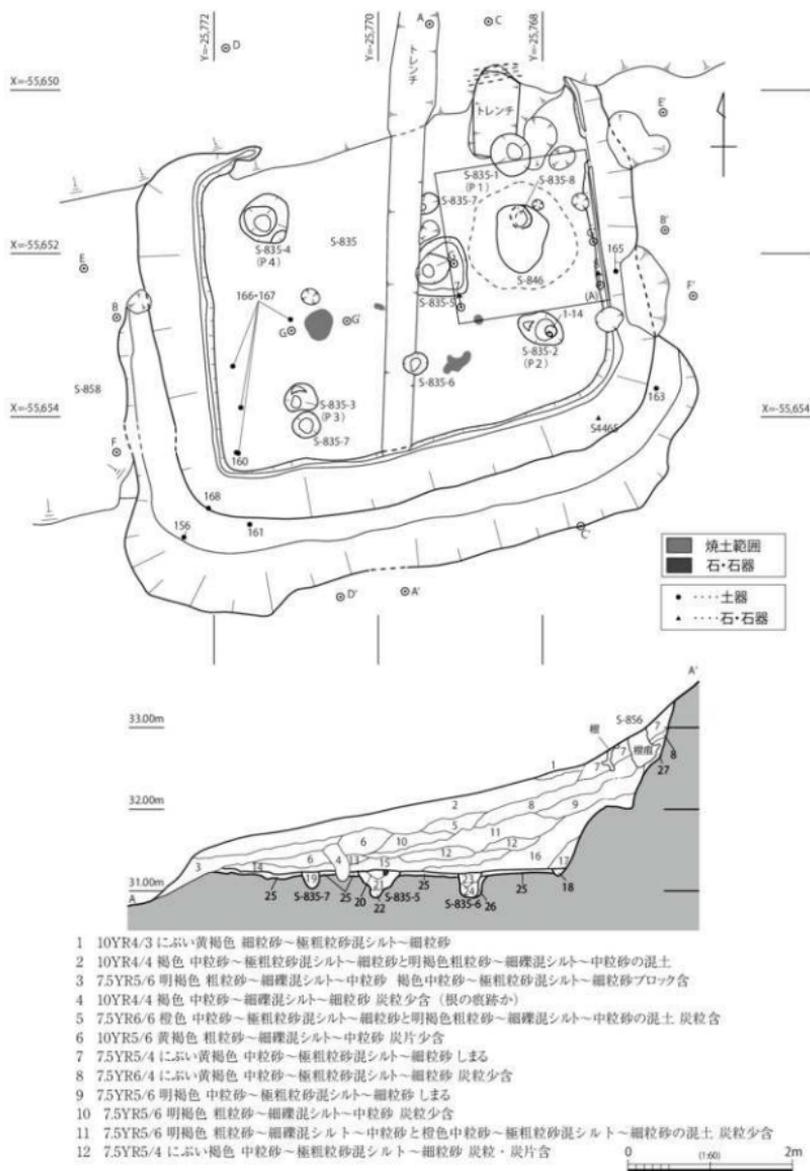
なお、ここでS-799及びS-858段状遺構の西側で、S-985・986等の段状遺構の東側にあたる浅い谷状地形に堆積する礫層について触れておきたい(断面図のみ第Ⅲ-2-5図に掲載、出土遺物第Ⅲ-5-96図)。表土直下には谷を埋めるように1cm~10cm角程度の角礫が堆積し、その規模は斜面上端部の調査区境界付近で最大幅17m程度、最大厚5m程度である。下端はS-857土坑付近まで伸びている。最上層付近には、乙亥正V~Ⅶ期頃の土器を含むが、中層~下層部は無遺物層で、S-857土坑(弥生土器とみられる遺物出土)はこの礫層の端部を切って構築されているほかは、礫層範囲内に遺構は分布しない。弥生時代後期には礫層の一部が存在したと考えられることから、こうした谷部の礫層を避けて集落施設を形成したと考えられる。

S-835竪穴住居埋土上層検出の遺構(第Ⅲ-5-90~95図)

S-835掘削中の2層及び3層下面(第Ⅲ-5-97図A-A'断面)において、多数の土坑を検出した。土層の色調や根の影響が少なくなる2層・3層下面で検出できたもので、本来はさらに上層から掘削された遺構と考えられる。東側のS-852段状遺構の床面より高い位置で検出された遺構が多いため、S-852とは別の遺構と考えられる。長軸が1mを超える比較的大型の土坑2基(S-804・834)のほか、柱穴状の小土坑25基を検出した。建物として成立する柱穴は見当たらない。

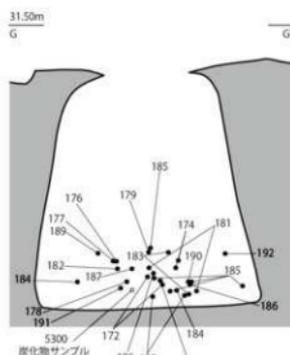
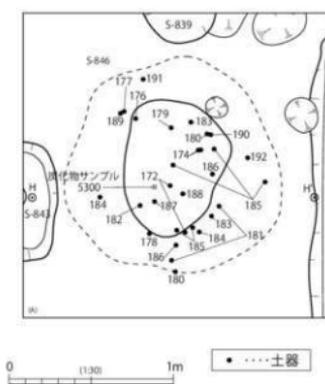
S-804・822・838土坑の埋土中から土器が出土した。甕146以外は下層のS-835竪穴住居より古い時代の土器であるため混入とみられる。遺構の時期は明らかではないが、S-835竪穴住居(乙亥正Ⅶ~

第三章 1区の調査



第三-5-97図 S-835竪穴住居 平・断面図、S-846土坑 平面図

- 13 10YR4/4 褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂と明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土
炭片・焼土少含
- 14 10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と橙色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土
- 15 10YR4/4 褐色 シルト～細粒砂と暗褐色シルト～細粒砂の混土 中粒砂～極粗粒砂混 炭片・炭粒多含
- 16 7.5YR5/8 明褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂と明褐色シルト～細粒砂の混土
- 17 7.5YR5/6 明褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂
- 18 7.5YR5/8 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂
- S-835-7 19 7.5YR4/4 褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂 炭粒少含
- S-835-5 20 10YR3/1 黒褐色 シルト～細粒砂と褐色シルト～細粒砂の混土 中粒砂～極粗粒砂 炭粒含
- S-835-5 21 10YR4/4 褐色 シルト～細粒砂と明褐色シルト～中粒砂の混土 炭粒少含
- S-835-5 22 10YR4/4 褐色 粗粒砂混シルト～細粒砂 明褐色粗粒砂～細礫混シルト～細粒砂 ブロック含 炭粒少含
- S-835-6 23 10YR5/6 黄褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂と明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土
- S-835-6 24 7.5YR5/8 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と黄褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂との混土
- 貼床 25 7.5YR8/6 浅黄橙色 岩盤ブロックと明褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土
- S-835-6 26 7.5YR6/8 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 岩盤小ブロック多含
- S-835-6 27 7.5YR5/8 明褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂 岩盤小ブロック多含



第Ⅲ-5-98図 S-835竪穴住居土層断面注記及びS-846土坑遺物出土状況図

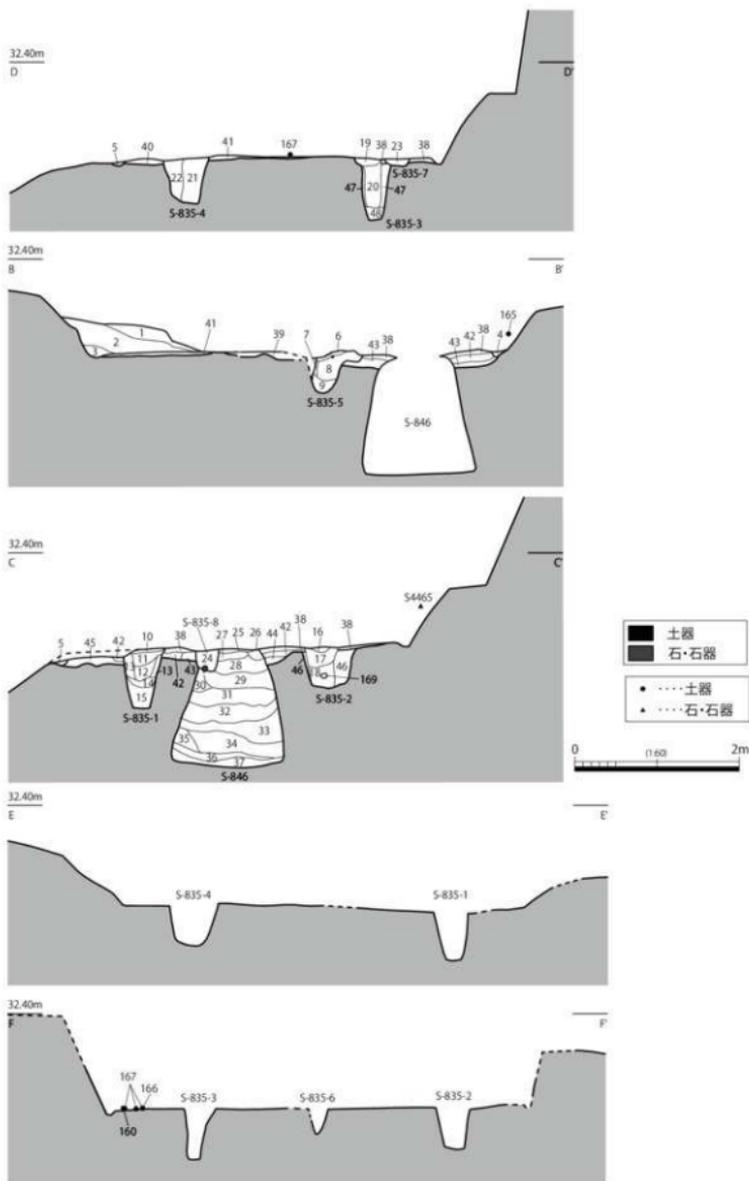
Ⅷ期頃)以降の遺構と考えられる。

S-835竪穴住居、S-846土坑(第Ⅲ-5-97～102図)

床面が東西約5.0m、南北約3.9mの規模で、平面隅丸方形を呈する。背面部には、床面から約80cmの高さに幅25cm～45cm程度の平坦面をもつ段がめぐる。調査段階ではこの段を別遺構と認識していたが、S-835と相似形をなすことや、土層断面の再検討、同様の遺構の類例から、S-835と一体の遺構と判断した。床面は貼床により形成され、実際には幅15cm前後、深さ5cm～7cm程度の周壁溝がある。北側の周壁溝は確認できないが、土層断面で周壁溝とみられる落ち込みが見られるため、存在したと考えられる(C-C'断面5層)。

床面からは、主柱穴S-835-1(P1)～S835-4(P4)(以下P1～P4)、中央土坑S-835-5、焼土面、貯蔵穴状の土坑S-846のほか小土坑を検出した。柱間距離は、南北方向のP1-P2、及びP3-P4が約2.2m、東西方向のP2-P3及びP1-P4が約3.15mである。中央土坑S-835-5は長軸84cm、短軸74cm、深さ34cmで、二段掘り状の掘り方をもつ。焼土面は主柱穴で囲まれる梁桁の内側で4カ所確認された。

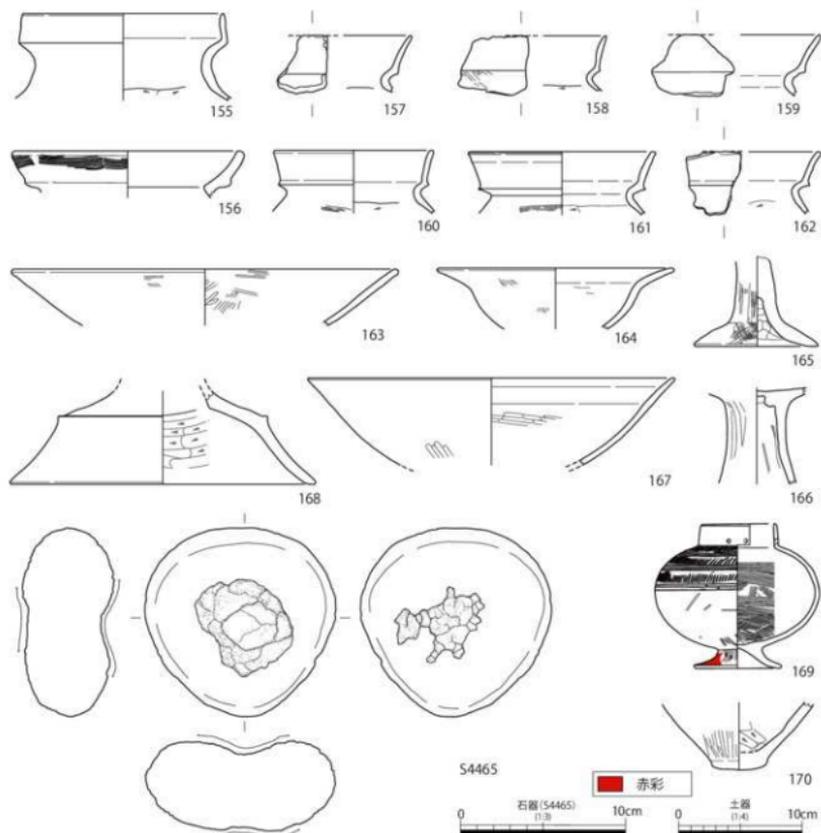
第三章 1区の調査



第三-5-99図 S-835竈穴住居 断面図

	1	7.5YR5/6 明褐色 シルト～細粒砂と明褐色シルト～細粒砂の混土 中粒砂～極粗粒砂混 炭粒少含
	2	10YR5/6 黄褐色 シルト～細粒砂 明褐色シルト～細粒砂ブロック含 中粒砂～極粗粒砂混 炭粒少含
	3	7.5YR5/6 明褐色 シルト～細粒砂と明褐色シルト～細粒砂の混土 中粒砂～極粗粒砂混
	4	7.5YR6/6 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 浅黄橙色風化岩盤小ブロック少含
	5	7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 炭粒わずかに含
	6	10YR3/1 黒褐色 シルト～細粒砂と褐色シルト～細粒砂の混土 中粒砂～極粗粒砂混 炭粒含
	7	10YR4/4 褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂と明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土 炭少含
S-835-5	8	10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック主体 橙色中粒砂～極粗粒砂混 シルト～細粒砂ブロック含
	9	10YR4/4 褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～中粒砂 明褐色粗粒砂～細礫混シルト～細粒砂 ブロック含 炭粒少含 しまり弱
	10	10YR5/4 におい黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂
	11	10YR6/6 明黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂
S-835-1	12	10YR4/4 褐色 シルトブロック主体 橙色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック含 炭粒少含
	13	10YR5/4 におい黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 明褐色中粒砂～極粗粒砂混 シルト～細粒砂の混土
	14	10YR6/6 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 明褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土
	15	7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 浅黄橙色岩盤ブロック少含 炭粒少含
	16	10YR5/4 におい黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂
S-835-2	17	7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 浅黄橙色風化岩盤ブロック含 炭片少含
	18	7.5YR5/4 におい褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 浅黄橙色風化岩盤小ブロック含
	19	10YR5/4 におい黄褐色 シルト～細粒砂と明褐色シルト～細粒砂の混土 炭片・炭粒多含
S-835-3	20	10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と明褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土 炭片少含
S-835-4	21	7.5YR6/6 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック主体 褐色砂混シルトブロック含
	22	7.5YR5/4 におい褐色シルト～中粒砂とにおい黄褐色シルト～中粒砂の混土 粗粒砂～細礫混 炭片・炭粒含
S-835-7	23	7.5YR5/6 明褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂 橙色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂ブロック少含 炭粒少含
S-835-8	24	10YR5/4 におい黄褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂と黄褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土
	25	10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 炭粒少混 しまる
	26	7.5YR5/4 におい褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 浅黄橙色岩盤小ブロック少含
	27	7.5YR6/8 浅黄橙色 岩盤ブロック主体 明褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂との混土
	28	7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 橙色細礫～シルトブロックとの混土 炭粒少含
	29	7.5YR6/8 橙色 細礫～シルトと明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土 明赤褐色風化岩盤ブロック 浅黄橙色岩盤ブロック含
S-846	30	7.5YR5/4 におい褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 浅黄橙色風化岩盤小ブロック含 炭粒少含
	31	7.5YR5/4 におい褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と橙色細礫～シルトの混土 風化岩盤小ブロック多含 炭粒含
	32	7.5YR5/6 明褐色 砂混シルト～粘土と7.5YR6/8 橙色細礫～シルトの混土 岩盤小ブロック多含 炭粒含
	33	7.5YR6/8 橙色 細礫～シルト 明褐色砂混シルト～粘土ブロック 風化岩盤小ブロック多含
	34	10YR3/3 暗褐色 砂混シルトブロック主体 明褐色砂混シルト～粘土ブロック少含 角礫・土器片・炭片多含
	35	7.5YR6/8 橙色 細礫～シルト 風化岩盤小ブロック多含
	36	7.5YR5/6 明褐色 砂混シルト～粘土と暗褐色砂混シルトの混土 最下部に炭(木本)の薄層 赤褐色焼土塊含
	37	7.5YR6/6 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 上位層よりしまる
	38	10YR5/6 黄褐色 細礫混シルト～砂と明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と岩盤小ブロックの混土
	39	7.5YR8/6 浅黄橙色 岩盤ブロックと橙色砂混シルト～粘土の混土 炭粒含
	40	7.5YR6/8 浅黄橙色 風化岩盤小ブロック主体 明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂との混土
	41	7.5YR6/6 橙色 砂混シルト～粘土とにおい褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土 岩盤小ブロック・炭少含
貼床 掘方埋土	42	7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と橙色細礫混シルト～砂の混土 岩盤小ブロック含
	43	7.5YR5/8 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 岩盤小ブロック含
	44	7.5YR6/8 橙色 細礫混シルト～砂と明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土 岩盤小ブロック少含
	45	7.5YR6/6 褐色 シルト～中粒砂と明褐色シルト～中粒砂の混土 粗粒砂～細礫混 岩盤ブロック少含
S-835-2	46	7.5YR6/8 褐色 細礫混シルト～砂と褐色シルト～砂の混土 岩盤小ブロック含
	47	7.5YR6/6 褐色 砂混シルト～粘土と橙色細礫混シルト～砂の混土 岩盤小ブロック多含
S-835-3	48	7.5YR6/6 褐色 中粒砂～細礫混シルト～細粒砂と明褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂の混土 岩盤小ブロック含 炭粒少含

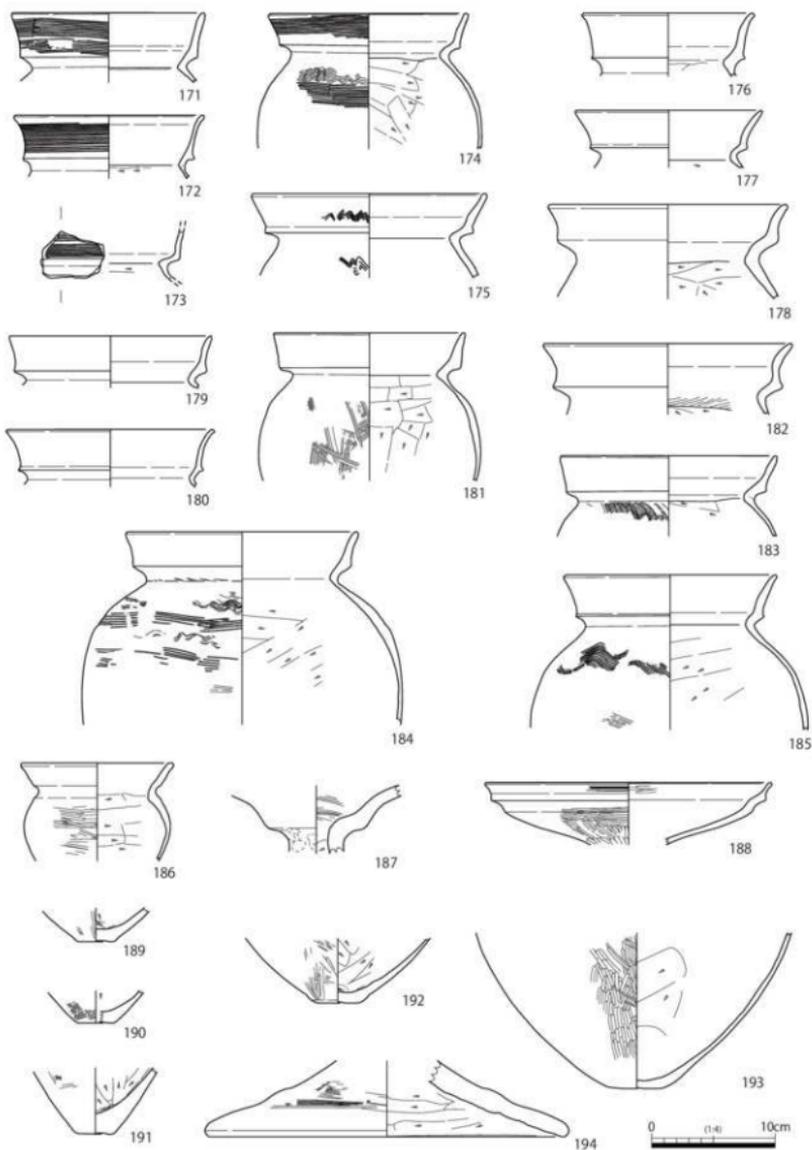
第三-5-99図 S-835竪穴住居 断面図土層注記



第Ⅲ-5-100図 S-835竪穴住居 出土遺物

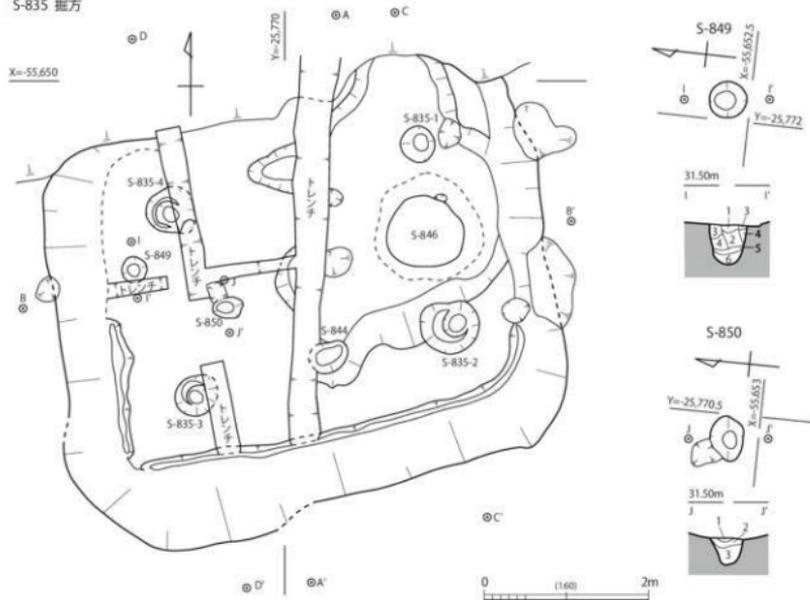
貯蔵穴状の土坑S-846は、床面東側の主柱穴間で検出した。底面での規模は、長軸短軸ともに約1.3m、S-835床面からの深さは約1.45mである。埋土下層を中心に多量の土器が出土した。甕171～186、高坏188、器台177、底部189～193、脚部194・高坏188(近畿北部系の土器とみられる)であり、主に乙亥正Ⅵ期頃の遺物と考えられるが、甕177・180や小片土器にS-835と同時期の乙亥正Ⅶ～Ⅷ期の特徴を有する個体が少数含まれる。層位的に貼床上の床面から掘削されていることから、S-835と同時に機能した土坑と考えられる。

S-835の床面直上からは、甕160、高坏166・167、主柱穴S-835-2から小型装飾壺169、竪穴埋土中からは、壺155、甕156～159・161・162、器台168、高坏163・165、底部170、凹石4465、桃核2点が出土した。小型装飾壺169は、S-835-2の底面付近で口縁部を下にし、ほぼ完形の状態で出土した。高坏164は貼床内出土である。床面直上、及びS-835-2出土土器の特徴から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の遺物と考えられる。



第Ⅲ-5-101図 S-846土坑 出土遺物

S-835 掘方



- S-849
 - 1 10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 褐色砂混シルトの混土 炭粒少含
 - 2 10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂と橙色中粒砂～細礫混シルト～細粒砂の混土
 - 3 10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 にふい黄褐色中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂ブロック含
 - 4 10YR5/4 にふい黄褐色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂 橙色中粒砂～細礫混シルト～細粒砂ブロック含
 - 5 7.5YR6/4 にふい橙色 中粒砂～極粗粒砂混シルト～細粒砂
 - 6 7.5YR6/6 橙色 砂混シルト～粘土 ブロック状
- S-850
 - 1 7.5YR5/6 明褐色 極粗粒砂～細礫混粗粒砂～シルト 炭粒・焼土塊少含
 - 2 7.5YR5/6 明褐色 砂混シルト～粘土 黄褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック含 炭粒・焼土塊少含
 - 3 10YR6/6 明褐色 砂混シルト～粘土 黄褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック含

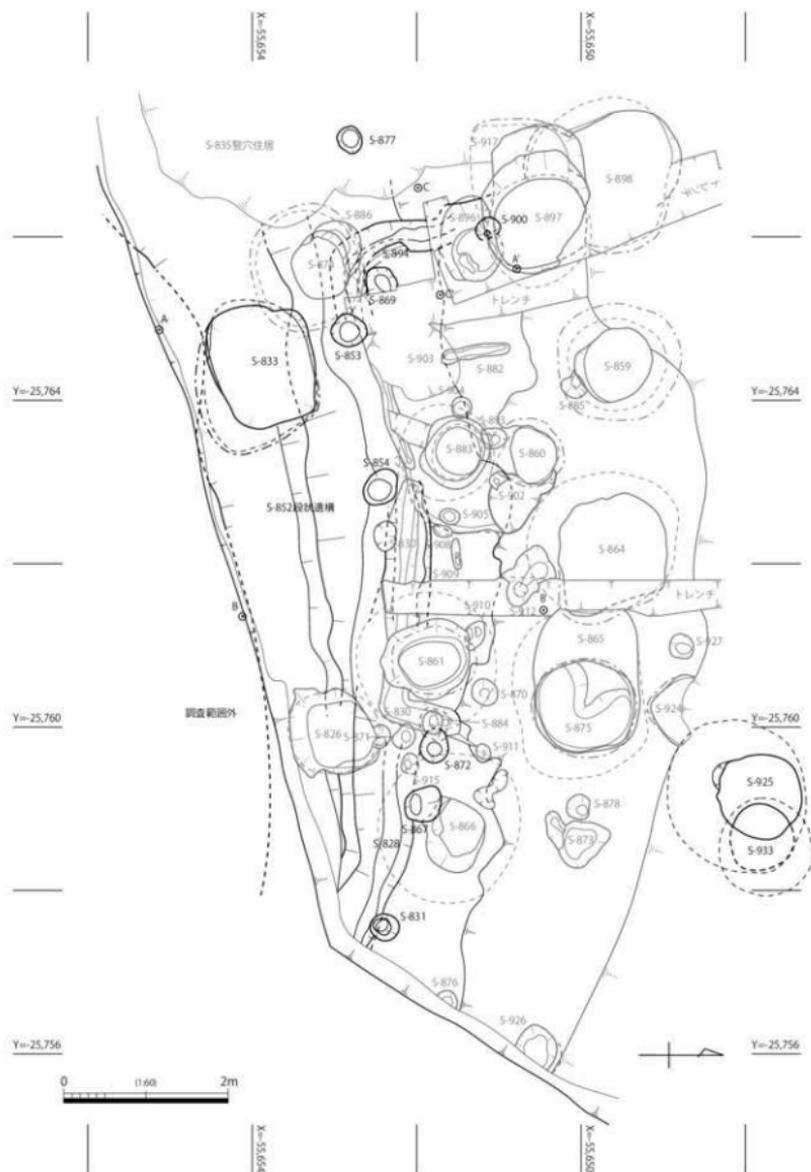
第三-5-102図 S-835竪穴住居 貼床除去後 掘方平面図、S-849・850土坑 平・断面図

なお、貼床除去後の掘方面において、S-849・850土坑を検出した。遺物は出土していないが、S-835構築前の遺構と考えられる。

S-852段状遺構、S-833・925・933土坑(第三-103～107図)

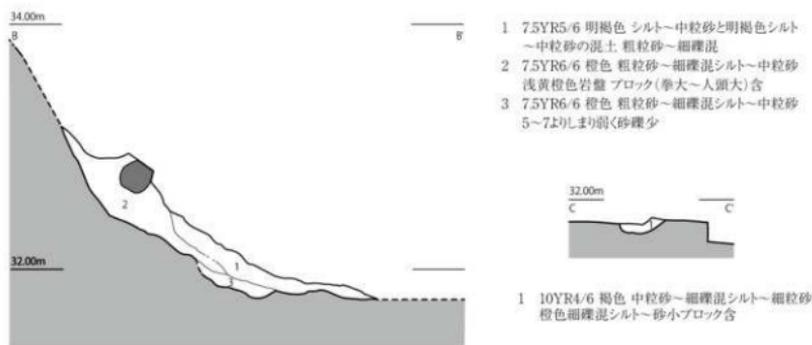
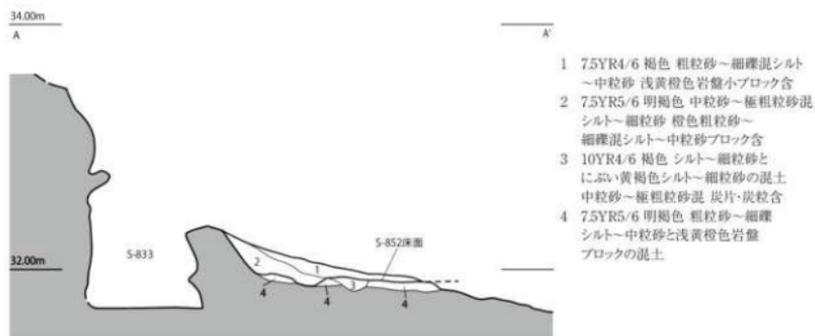
S-852段状遺構は、S-835竪穴住居の東側に位置する。西側のS-835との切り合い関係は不明だが、出土土器からみて2S-852が新しいと推定される。東側は調査区外に広がるため全体規模は不明であるが、東西9.6m、南北3.5mの範囲で検出された。壁際には、幅約30cm～75cm、深さ2cm～10cmの周壁溝がある。この壁溝は、掘削時の誤認により3か所に分かれて検出したが、底面レベルがほぼ同じで規模が類似することから、本来は一部が連続していた可能性がある。下層にS-882段状遺構がある範囲のみ貼床が認められた(第三-5-104図A-A'断面4層)。

貼床上で検出した遺構は、S-853・854・869である。S-833・925・933土坑は地山直上で検出した遺構であるが、出土した土器の時期がS-852とほぼ同時期(乙支正Ⅶ～Ⅷ期頃)であるため、本遺構と



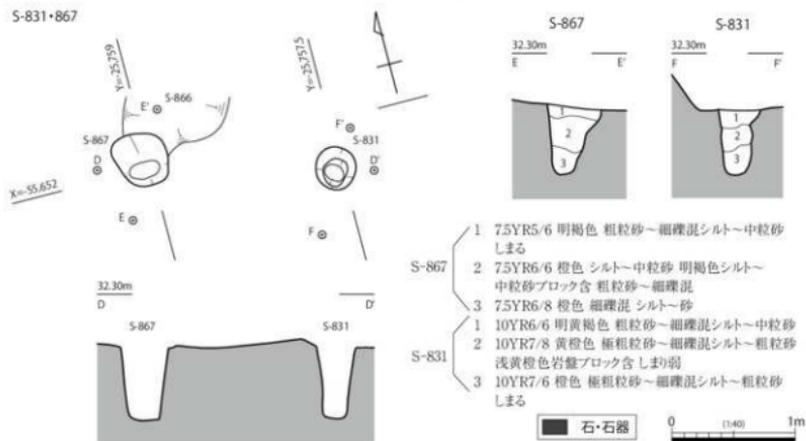
第Ⅲ-5-103図 S-852段状遺構(S-828・894溝)、S-831・833・853・854・867・869・872・877・900・925・933土坑等 平面図

第三章 1区の調査

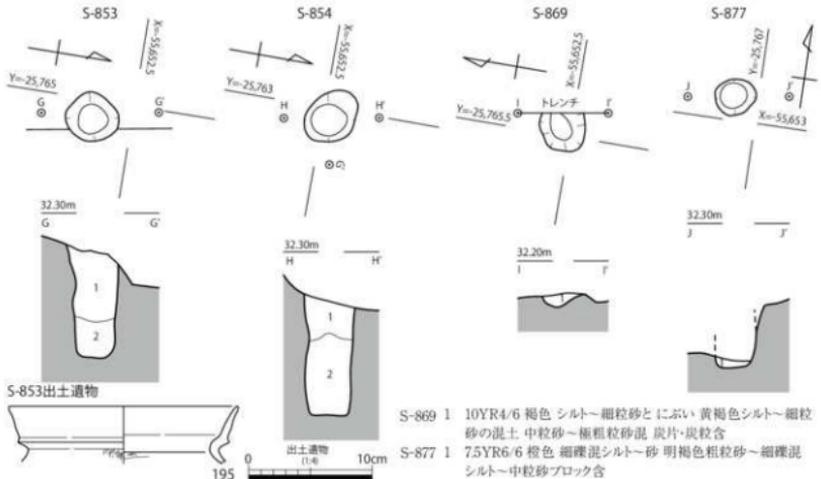


- 1 10YR4/6 褐色 中粒砂～細礫混シルト～細粒砂 橙色細礫混シルト～砂小ブロック含

S-831・867



第三 - 5 - 104図 S-852段状遺構 断面図、S-867・831土坑 平・断面図

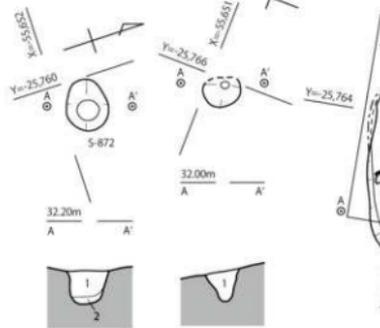


S-853出土遺物

- S-853 1 10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂
 2 7.5YR7/6 橙色 細礫混シルト～砂

- S-854 1 10YR5/6 黄褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 橙色細礫混シルト～砂 ブロック含 炭粒含
 2 7.5YR7/8 黄棕色 細礫混シルト～砂 浅黄棕色岩盤ブロック含

S-872

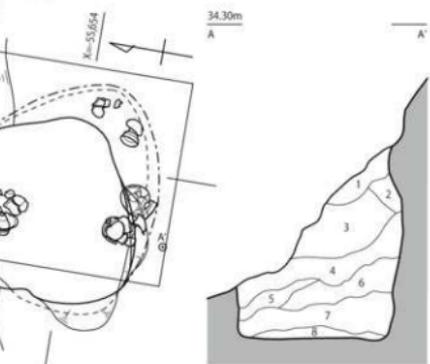


- S-872 1 10YR6/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 棕色粗粒砂～極粗粒砂混シルト～中粒砂ブロック含
 2 5YR5/8 明黄褐色 砂混シルト(風化岩盤)ブロック主体 橙色粗粒砂～極粗粒砂混シルト～中粒砂との混土

S-900
 1 7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂とに、明褐色シルトの混土

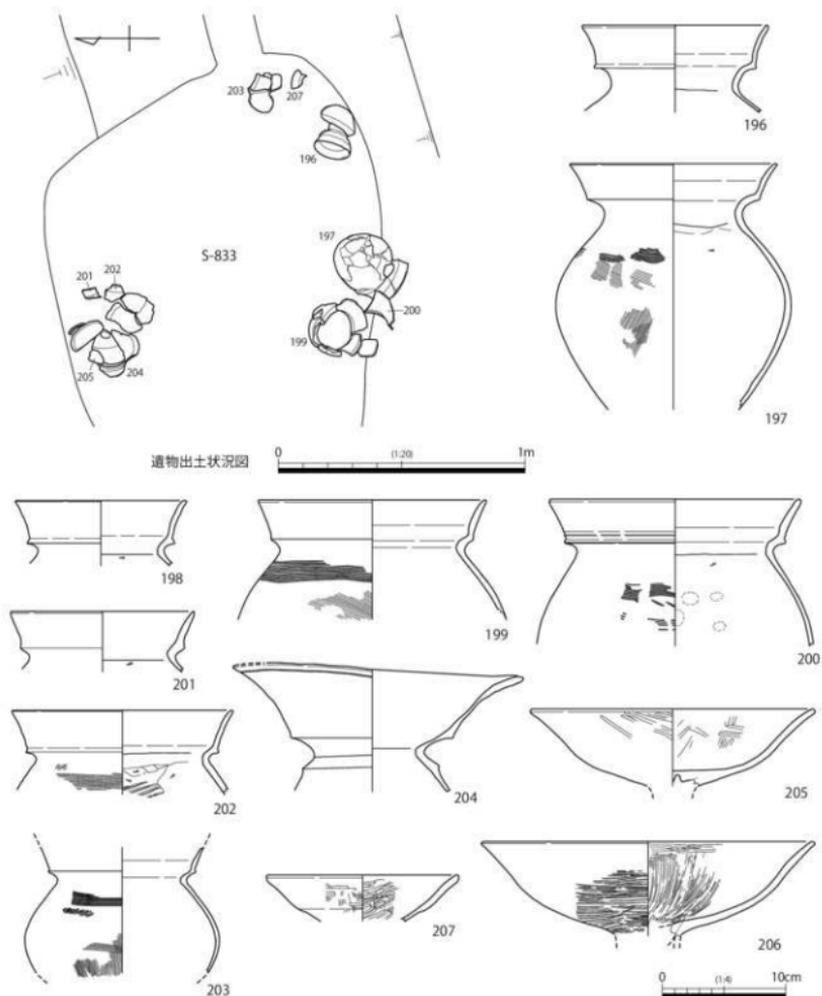
- S-869 1 10YR4/6 褐色 シルト～細粒砂とに、明褐色シルト～細粒砂の混土 中粒砂～極粗粒砂混 炭片・炭粒含

- S-877 1 7.5YR6/6 橙色 細礫混シルト～砂 明褐色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂ブロック含



- S-833
 1 7.5YR5/6 明褐色 シルト～中粒砂と橙色シルト～中粒砂の混土 粗粒砂～細礫混
 2 7.5YR5/6 明褐色 細礫～シルトと岩盤ブロックの混土
 3 7.5YR5/6 明褐色 シルト～細粒砂 橙色シルト～中粒砂ブロック含 粗粒砂～細礫混
 4 7.5YR5/6 明褐色 粗粒砂～細礫混シルト～細粒砂 橙色細礫～シルトブロック多含
 5 7.5YR6/6 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 4より上まる
 6 7.5YR6/6 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 橙色細礫～シルトブロック多含 炭片・炭粒含 4より上まる
 7 7.5YR5/6 明褐色 シルト～極粗粒砂と橙色粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂の混土 炭片・炭粒含
 8 7.5YR6/6 橙色 粗粒砂～細礫混シルト～中粒砂 7より上まる

第Ⅲ-5-105図 S-833・853・854・869・872・877・900土坑 平・断面図及びS-853出土遺物

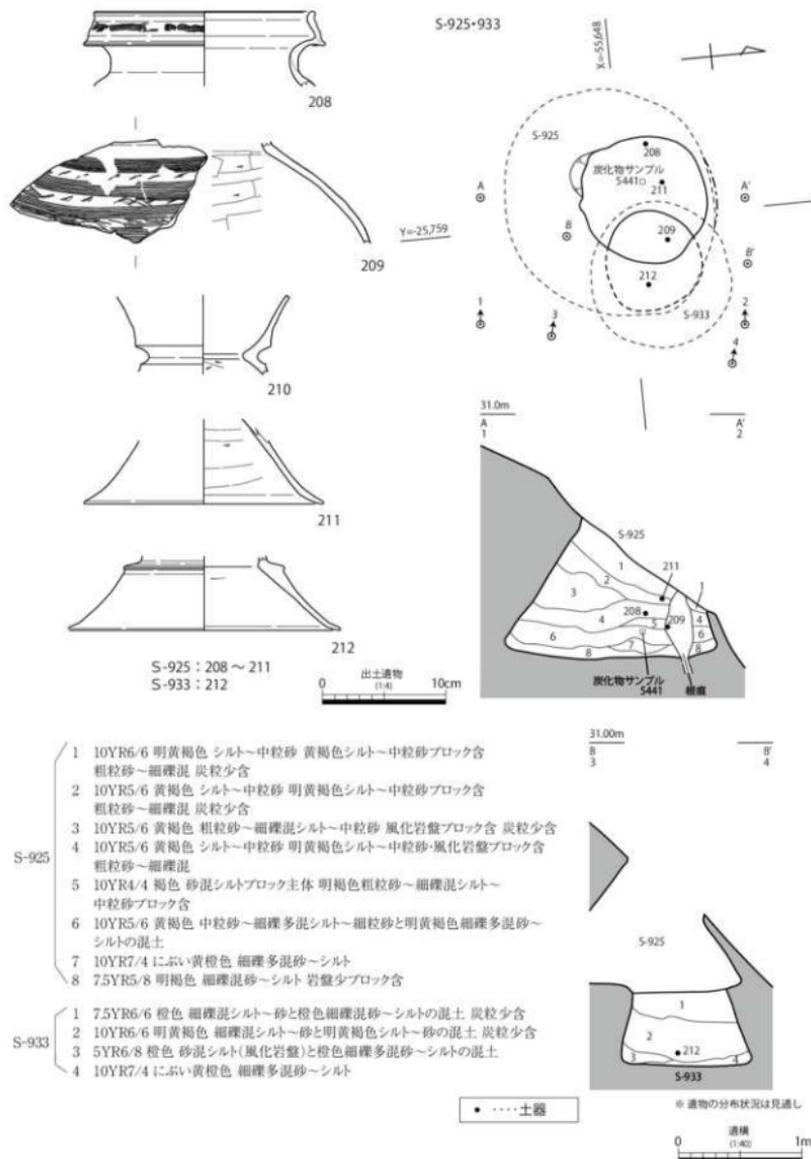


第三-5-106図 S-833土坑 遺物出土状況図及び出土遺物

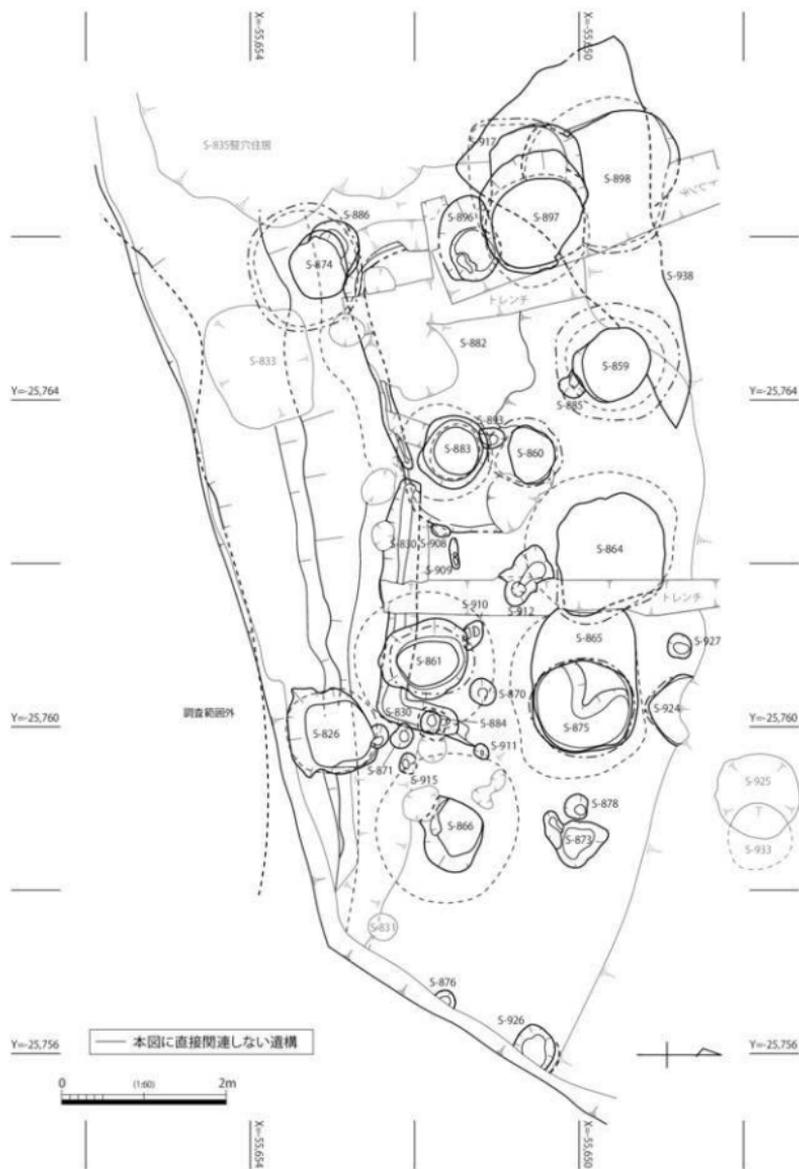
ともに掲載した。柱穴状の土坑のうち、S-877(S-835堅穴住居の床面周壁溝付近で検出)とS-853及びS-867とS-831は底面レベルや規模が類似しており、セット関係が想定される。S-872とS-900は切り合い関係から本遺構に伴う可能性を考慮し掲載した。

S-852埋土中から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の特徴を持つ土器小片が出土した。

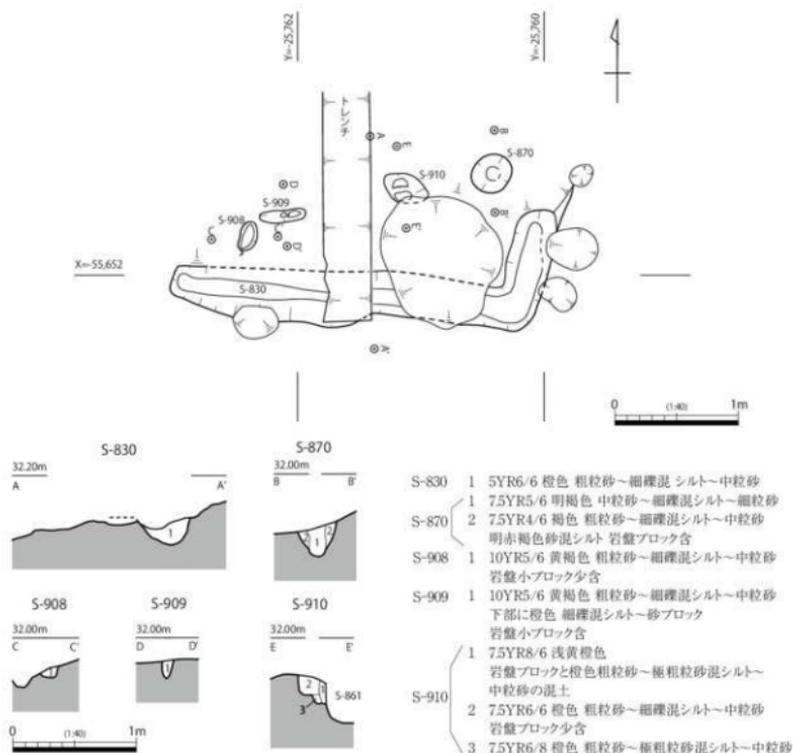
S-833土坑は、S-852壁面で確認した。底面では長軸1.60m、短軸1.36m、深さは最大約1.60mである。平面はいびつな円形、断面は袋状をなす。底面付近から多量の土器が出土した。壺196・197、



第Ⅲ-5-107図 S-925・933土坑 平・断面図及び出土遺物



第Ⅲ-5-108図 S-852段状遺構貼床除去後(地山直上)検出遺構 平面図



第三-5-109図 S-830溝、S-870・908・909・910土坑 平・断面図

甕198～203、器台204、高坏205・206、坏207が出土した。壺197は底部付近が細片化により復元できないが、ほぼ完形の状態で出土した。いずれも乙亥正Ⅶ期頃の土器とみられる。

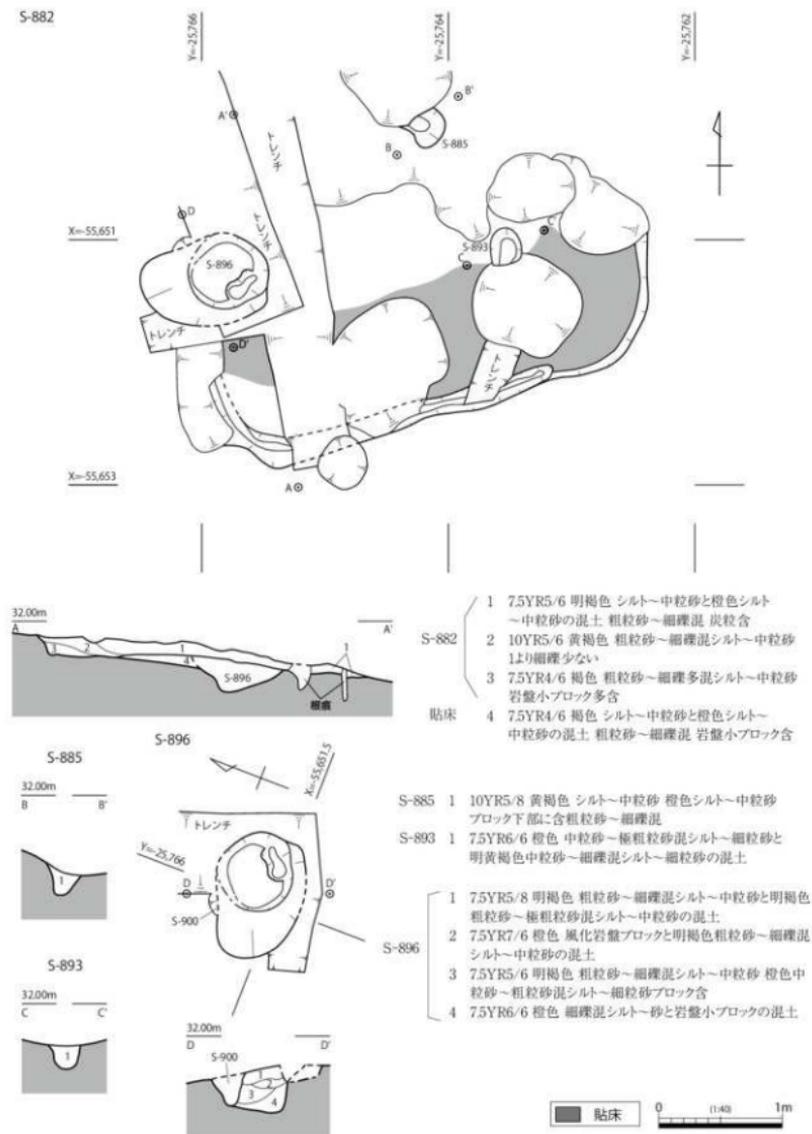
S-925土坑は、S-933を切って掘削されている。平面はほぼ円形、断面は袋状をなす。埋土中から、壺208・209、器台210・211が出土した。甕208・209は非在地系の土器であろうか。いずれも乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の土器とみられる。

S-933土坑は、S-925の底面で検出した。底面では長軸1.20m、短軸1.16m、S-925底面からの深さは0.63mである。埋土中から、器台212が出土した。S-925とはほぼ同時期の遺構と推定される。

S-852貼床除去後(地山直上)検出遺構(第三-5-108図)

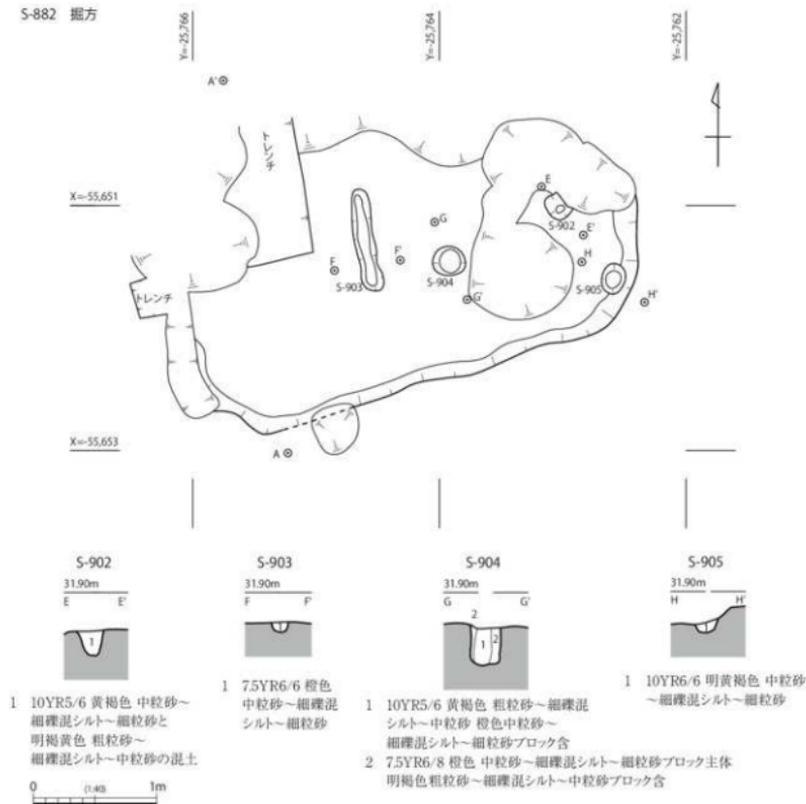
S-852貼床下面から、S-830溝、882段状遺構のほか多数の土坑を検出した。S-861・866などの断面形状からみて、S-852と同様の加工段が存在し、その平坦面上を中心にこれらの遺構が形成されたと推定される。地山直上での検出であるため、その他層位的に整理できない遺構を含めて、以下に詳説する。

S-830溝(第三-5-109図)



第三-5-110図 S-882段状遺構、S-885・893・896土坑 平・断面図

S-882 掘方



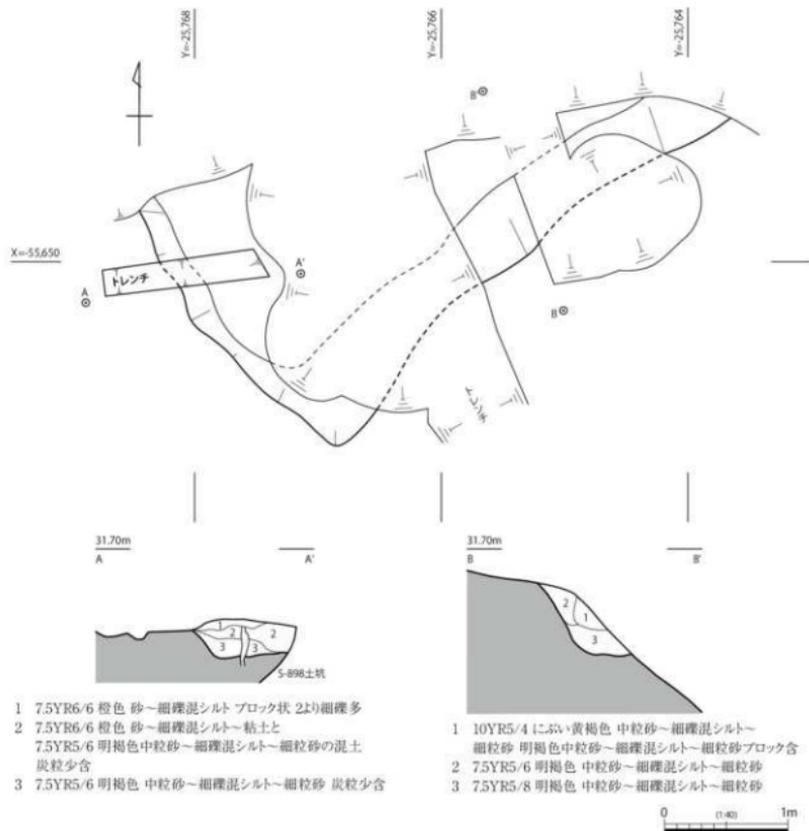
第Ⅲ-5-111図 S-882段状遺構掘方、S-902～905土坑 平・断面図

西側に切り合うS-882段状遺構より新しい溝である。本来は段状遺構の壁溝であったとみられるが、S-852段状遺構により掘削され、床面は残存しない。幅約30cm～35cm、深さ5cm～9cmで、東端で「L」字状に屈曲する。床面から掘削されたかは不明だが、伴う可能性のある小土坑S-870・908・909・910を図示した。埋土中から遺物は出土していない。

S-882段状遺構(第Ⅲ-5-110・111図)

東西約3.7m、南北約2.0mの規模で検出した。検出面から最大15cm程度の壁面高が残存し、平面は隅丸方形をなす。西から南側の壁際には、幅14cm～26cmの壁溝がみられる。床面から、S-893・896土坑を検出した。S-885土坑は検出レベルが床面と近いため掲載した。S-896土坑は、長軸0.52m、短軸0.46mの平面円形の底面をもつ。埋土中から、弥生土器とみられる肉厚の土器小片が出土した。

S-882埋土中からは乙亥正V～VI期頃と推定される土器片が出土している。



第三-5-112図 S-938段状遺構 平・断面図

なお、床面には一部貼床状の土が施され、除去後にはS-903溝等の遺構を検出している。

S-938段状遺構(第三-5-112図)

北東-南西方向約4.2m、北西-南東方向約2.5mの規模で検出した。遺物は出土していない。

S-826土坑(第三-5-113図)

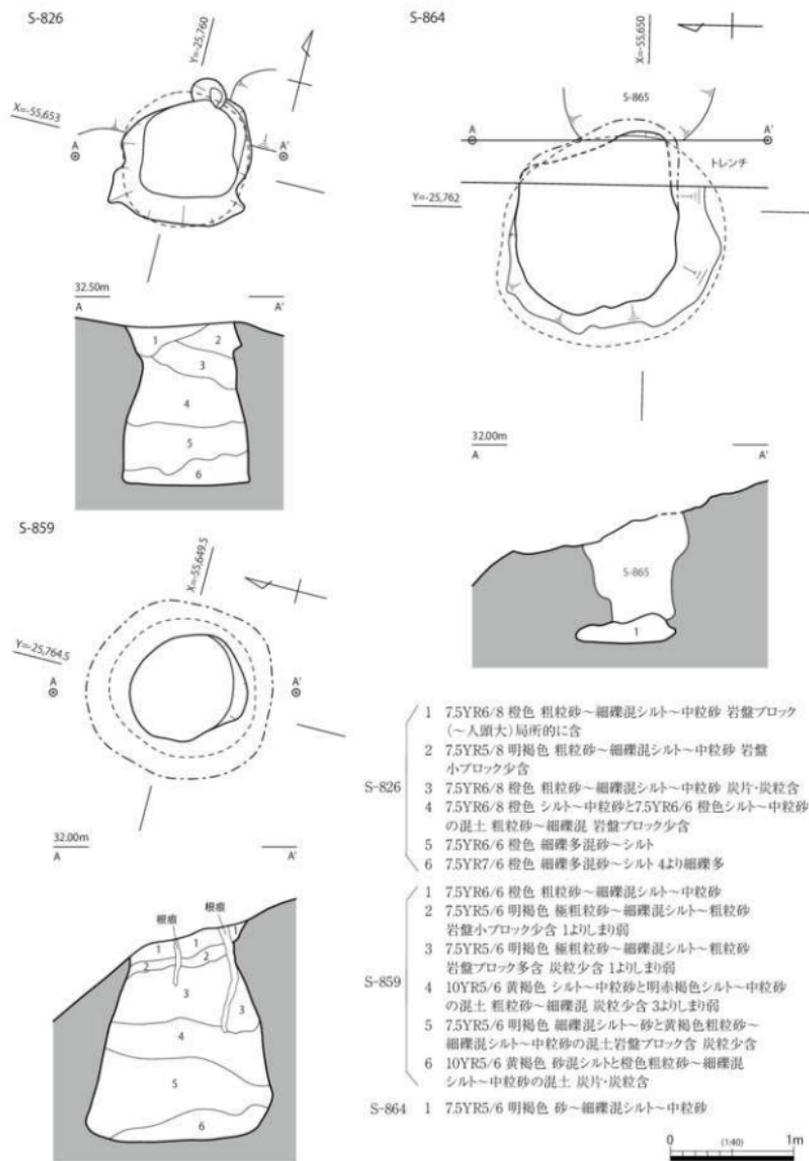
平面は最大規模で直径約1.1mのほぼ円形で、深さは132cm、断面が袋状をなす。埋土中から土器細片が出土した。

S-859土坑(第三-5-113図)

平面は最大規模で、長軸1.52m、短軸1.46mの円形で、深さ1.43m、断面が袋状をなす。埋土中から土器小片が出土した。

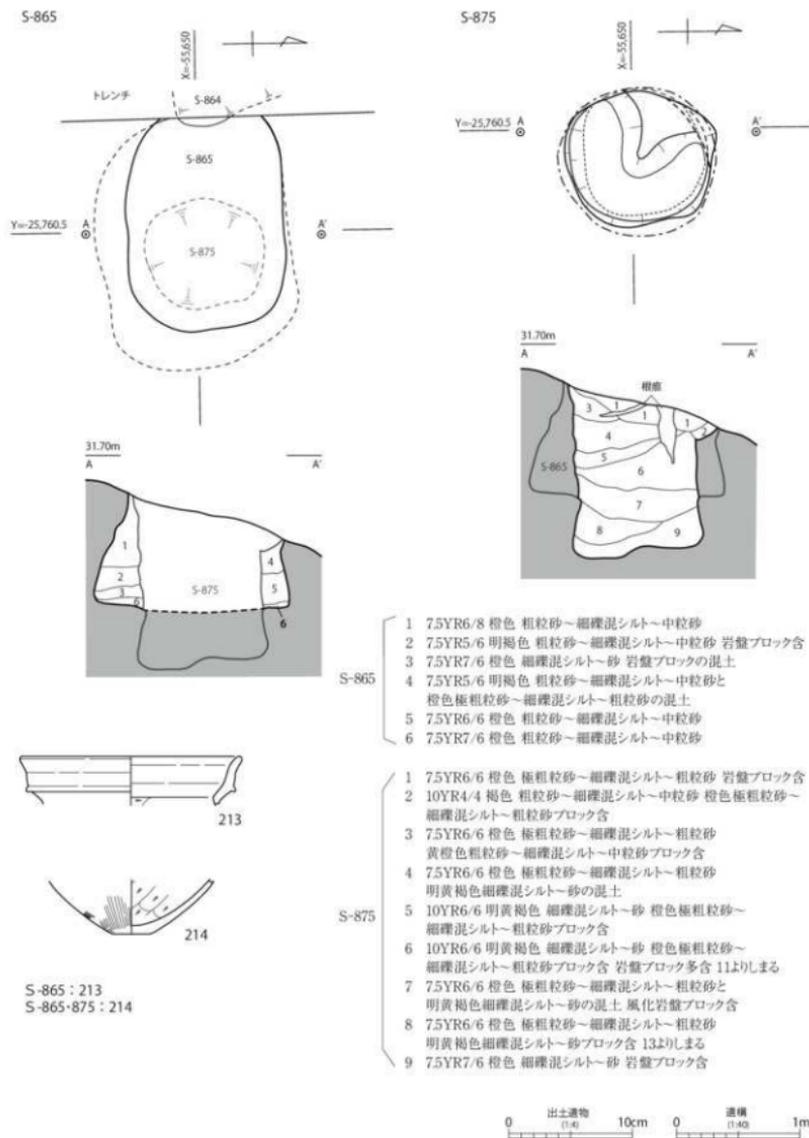
S-864土坑(第三-5-113図)

隣接するS-865と底面付近で切り合うもので、S-865より新しい。最大規模で長軸1.94m、短軸

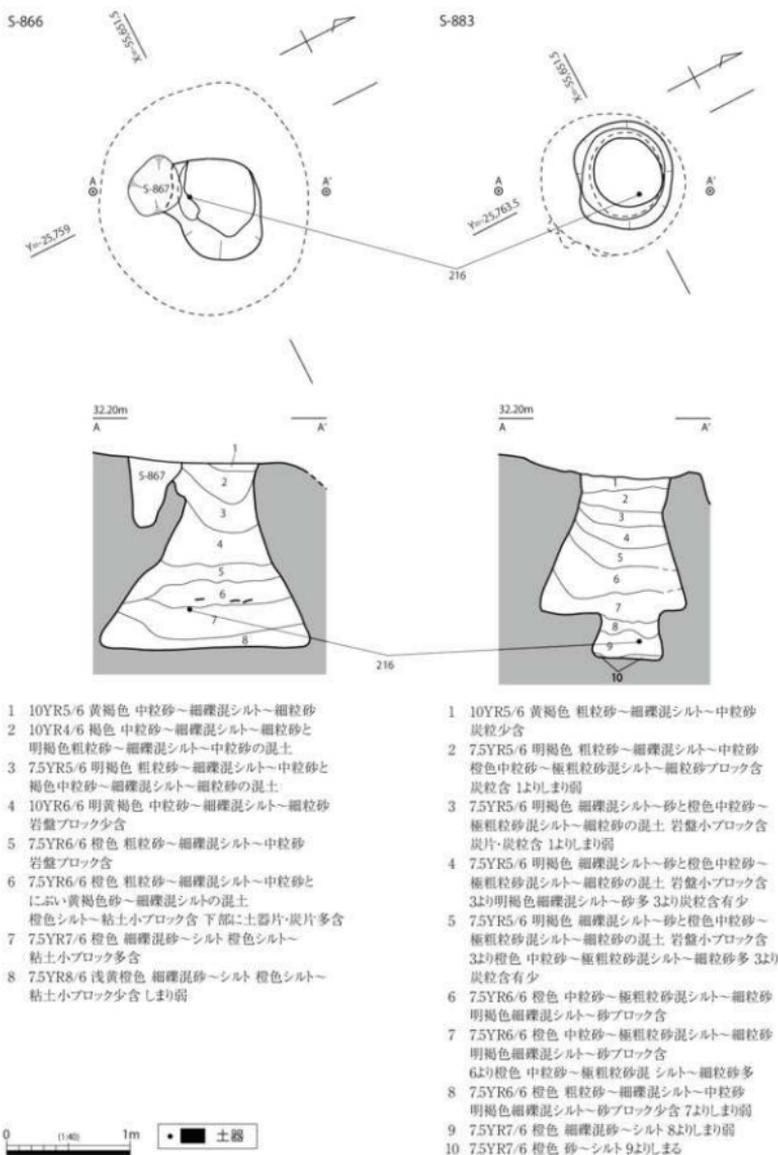


第Ⅲ-5-113図 S-826・859・864土坑 平・断面図

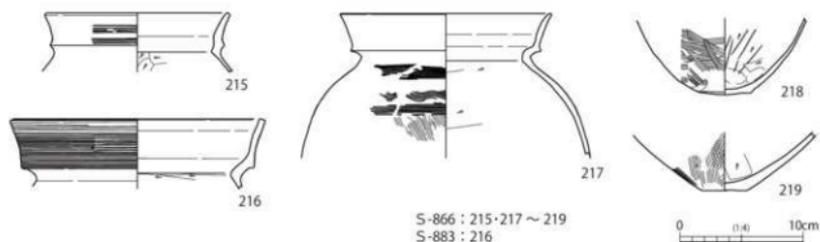
第三章 1区の調査



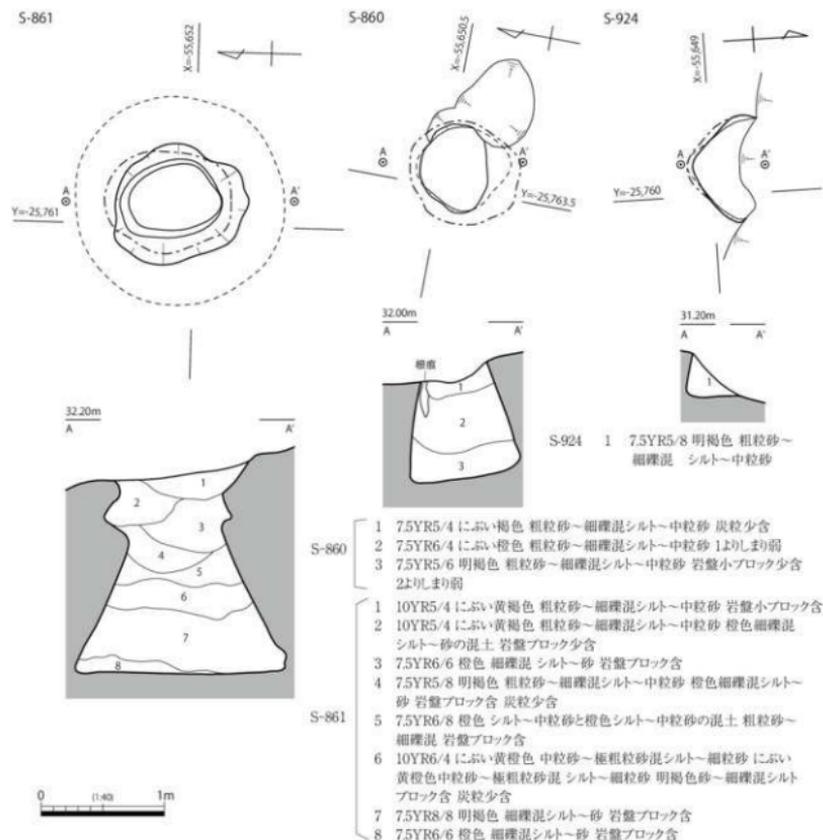
第三 - 5 - 114 図 S-865・875土坑 平・断面図及び出土遺物



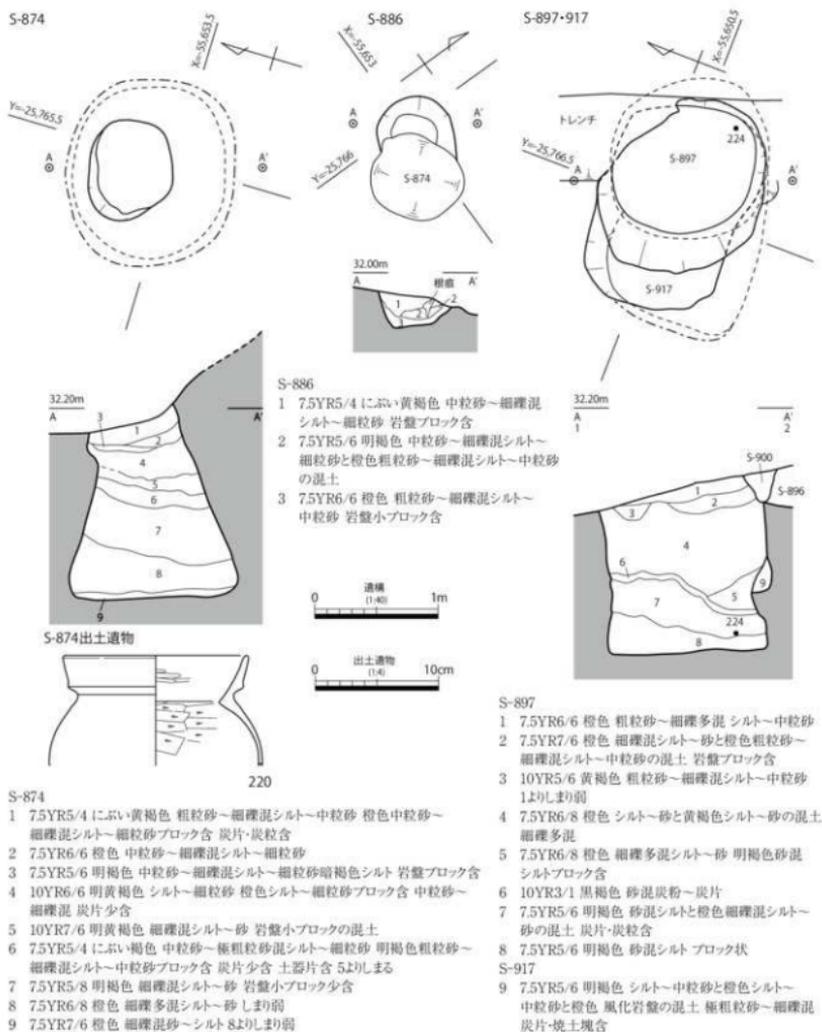
第三-5-115図 S-866・883土坑 平・断面図



第三-5-116図 S-866・883土坑 出土遺物



第三-5-117図 S-860・861・924土坑 平・断面図

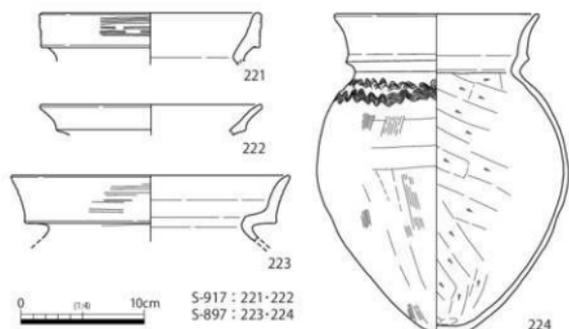


第Ⅲ-5-118図 S-874・886・897・917土坑 平・断面図、S-874土坑出土遺物

1.78mのいびつな円形で、深さは0.88m、断面が袋状をなす。遺物は出土していない。

S-875土坑(第Ⅲ-5-114図)

S-865の埋土を掘削し構築している。平面は最大規模で、長軸1.28m、短軸1.21mの円形で、深さは1.40m、断面がわずかに袋状をなす。底面の一部は10cm程度窪む。S-865かS-875か判断できない



第Ⅲ-5-119図 S-897・917土坑出土遺物

い埋土から平底が残る底部214が出土した。

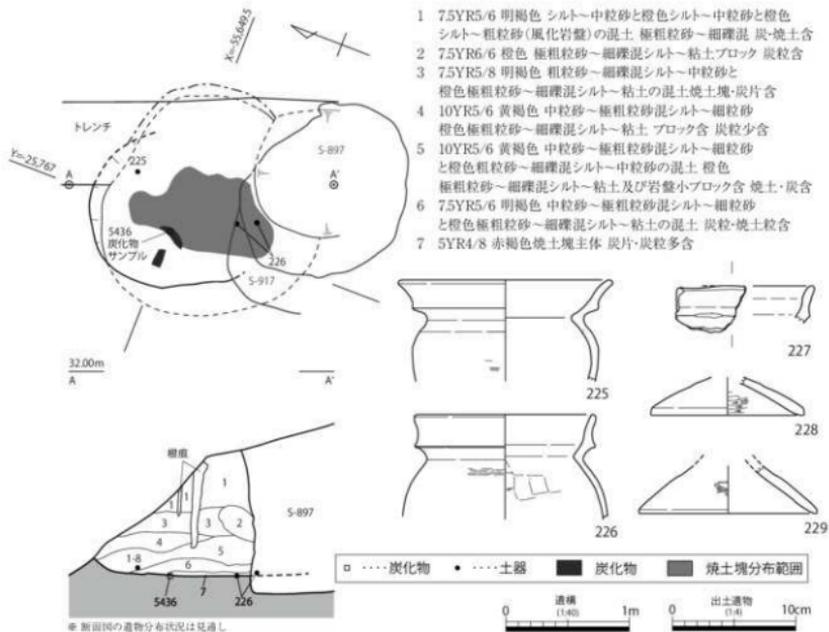
S-865土坑(第Ⅲ-5-114図)

S-865に切られる。平面は最大規模は長軸2.06m、短軸1.61mの楕円形で、深さ1.65m、断面は袋状をなす。埋土中から乙亥正V~VI期頃の特徴を有する甕213が出土した。

S-866土坑(第Ⅲ-5-115

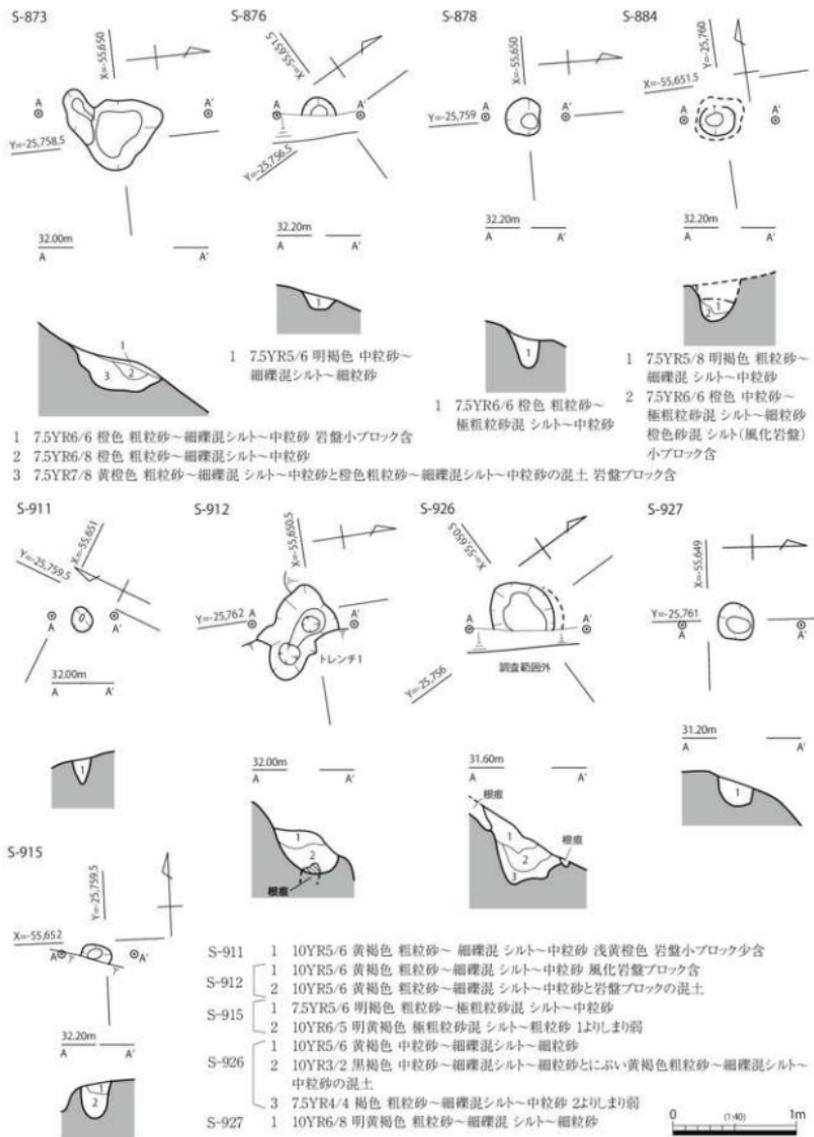
図)

S-852段状遺構に伴う土坑S-867に切られる。平面は最大規模で長軸1.89m、短軸1.70mのほぼ円形で、深さ1.52m、断面は袋状をなす。埋土下層から、甕215~217、底部218・219が出土した。このうち甕216は、S-883土坑出土の破片と接合した。特徴から乙亥正VII期頃の遺構と考えられる。

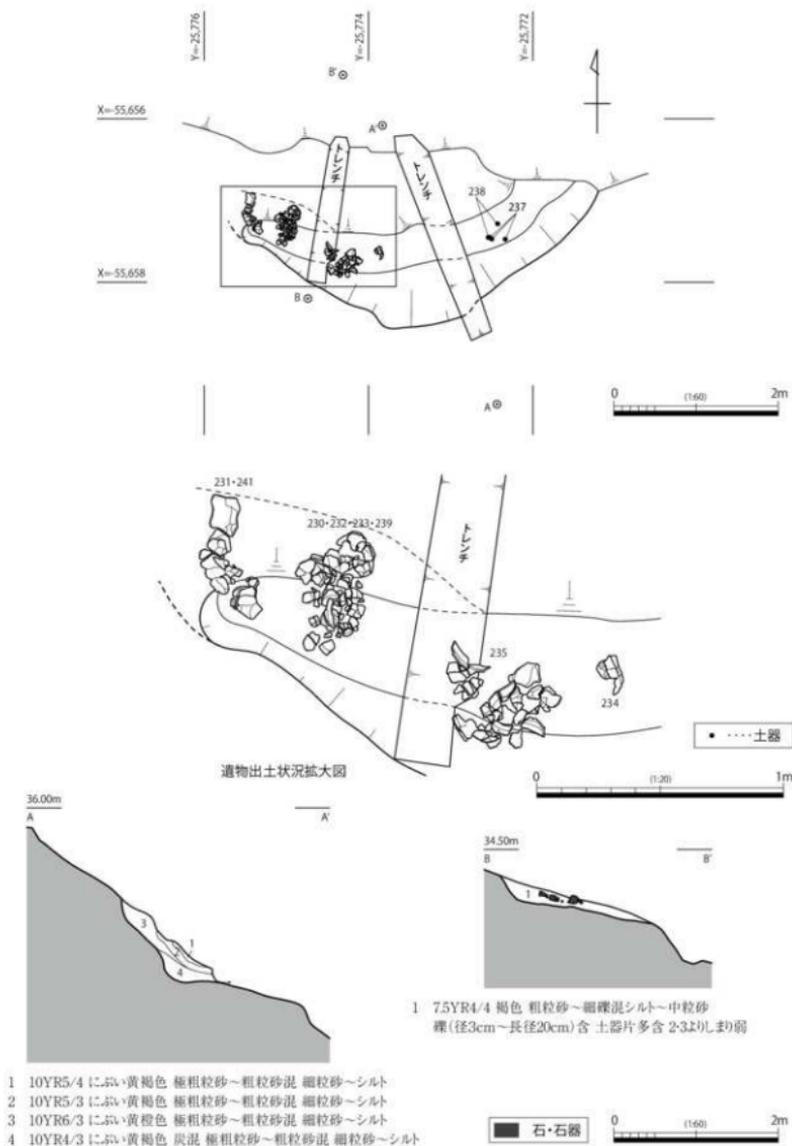


- 1 75YR5/6 明褐色 シルト~中粒砂と橙色シルト~中粒砂と橙色シルト~粗粒砂(風化岩盤)の混土 極粗粒砂~細礫混 炭・焼土含
- 2 75YR6/6 橙色 極粗粒砂~細礫混シルト~粘土ブロック 炭粒含
- 3 75YR5/8 明褐色 粗粒砂~細礫混シルト~中粒砂と橙色極粗粒砂~細礫混シルト~粘土の混土焼土塊・炭片含
- 4 10YR5/6 黄褐色 中粒砂~極粗粒砂混シルト~細粒砂 橙色極粗粒砂~細礫混シルト~粘土 ブロック含 炭粒少含
- 5 10YR5/6 黄褐色 中粒砂~極粗粒砂混シルト~細粒砂と橙色粗粒砂~細礫混シルト~中粒砂の混土 橙色極粗粒砂~細礫混シルト~粘土及び岩盤小ブロック含 焼土・炭含
- 6 75YR5/6 明褐色 中粒砂~極粗粒砂混シルト~細粒砂と橙色極粗粒砂~細礫混シルト~粘土の混土 炭粒・焼土粒含
- 7 5YR4/8 赤褐色焼土塊主体 炭片・炭粒多含

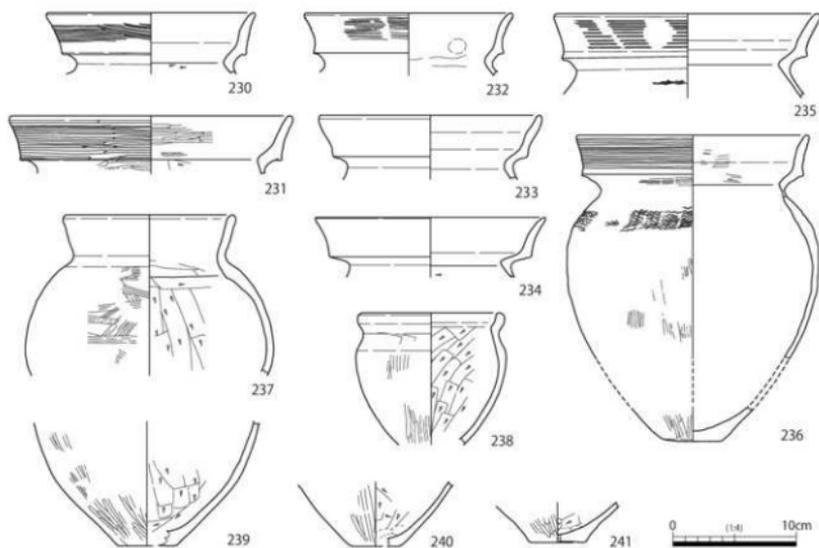
第Ⅲ-5-120図 S-898土坑 平・断面図及び出土遺物



第三—5—121図 S-873・876・878・884・911・912・915・926・927土坑 平・断面図



第三 - 5 - 122図 S-799段状遺構 平・断面・遺物出土状況図



第Ⅲ-5-123図 S-799段状遺構 出土遺物

S-883土坑(第Ⅲ-5-115図)

平面での最大規模が長軸1.17m、短軸1.15mの円形で、深さは1.12m、断面は袋状をなす。底面には、直径0.5m前後、深さ0.35m前後で断面袋状をなす小土坑が掘削されている。この小土坑は、小規模でかつS-833検出面から深い位置にあることなどから、同一遺構と判断した。小土坑の埋土中から出土した甕216は口縁部の破片であるが、S-866埋土中から出土した破片と接合している。

S-860土坑(第Ⅲ-5-117図)

S-883より古い遺構である。平面は最大規模が長軸0.94m、短軸0.83mのほぼ円形で、深さは0.99m、断面は袋状をなす。埋土中から、青銅製とみられる金属の断片が出土した。6mm程度で、厚さは0.5mmにも満たない極薄いものである。写真のみ掲載している。(PL.138)

S-861土坑(第5-117図)

平面は最大規模が長軸1.73m、短軸1.70mのほぼ円形で、深さ1.73m、断面は袋状をなす。

埋土中から、乙亥正V～VI期頃と推定される土器小片が出土した。

S-924土坑(第Ⅲ-5-117図)

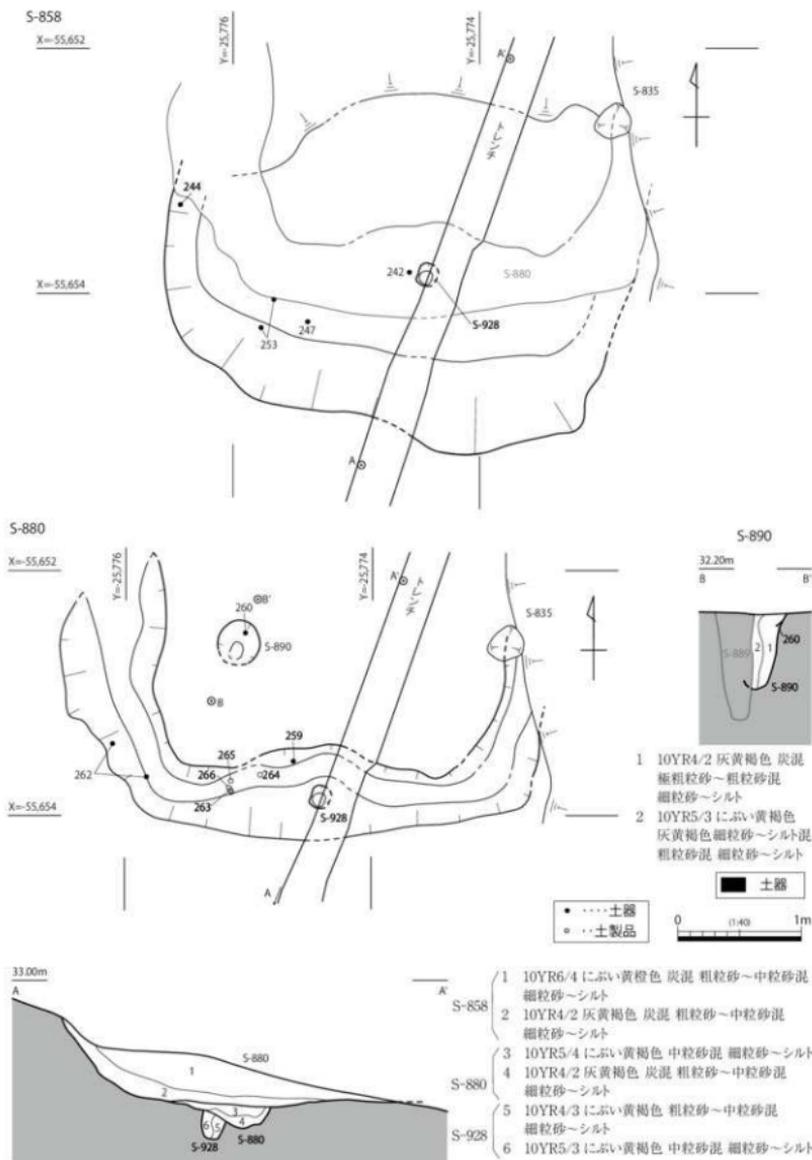
北側半分は残存しない。平面は最大規模が長軸0.97m、短軸0.56mのいびつな円形と推定され、深さは0.36m、断面は僅かに袋状をなす。遺物は出土しなかった。

S-874土坑(第Ⅲ-5-118図)

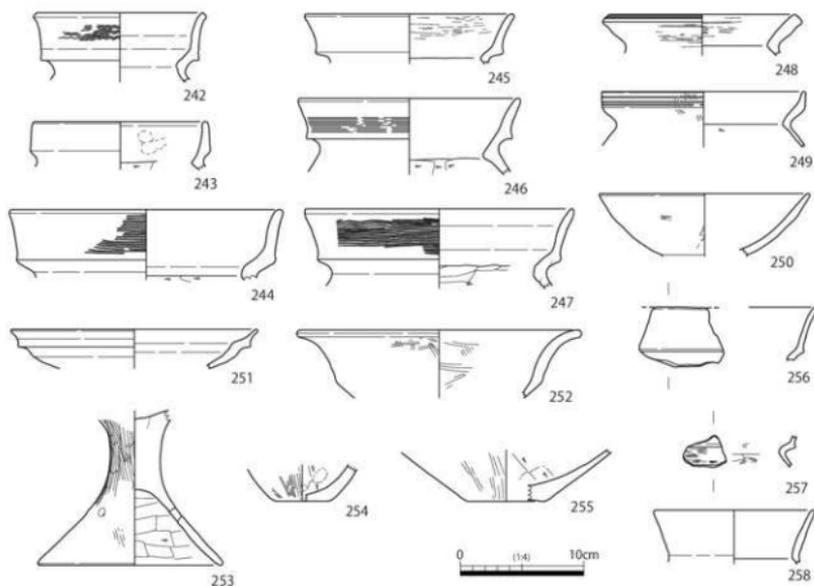
S-886土坑を切る。平面は最大規模が長軸1.58m、短軸1.41mのほぼ円形で、深さは1.60m、断面は袋状をなす。埋土中から、乙亥正VI期頃と推定される甕220が出土した。

S-886土坑(第Ⅲ-5-118図)

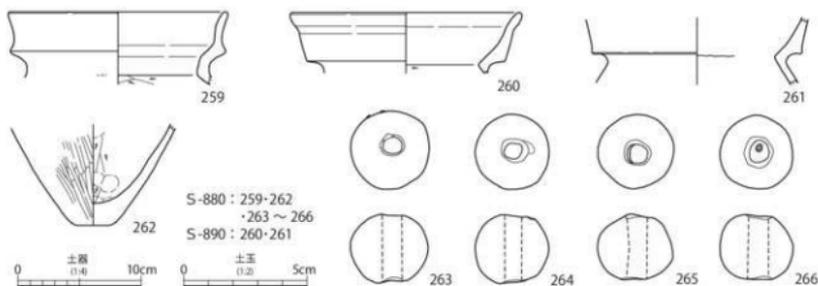
第三章 1区の調査



第Ⅲ-5-124図 S-858段状遺構、S-880溝、S-890・928土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-125図 S-858段状遺構 出土遺物



第Ⅲ-5-126図 S-880溝、S-890土坑 出土遺物

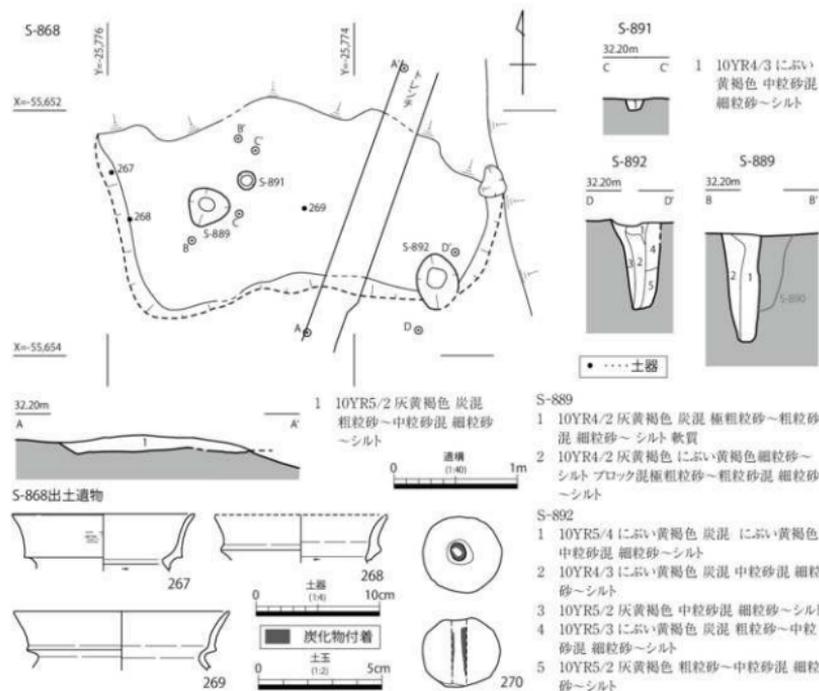
一部をS-874に切られるが、平面は直径0.67m前後のいびつな円形と推定され、深さは0.29mである。埋土中から弥生土器とみられる肉厚の土器小片が出土した。

S-897(第Ⅲ-5-118・119図)

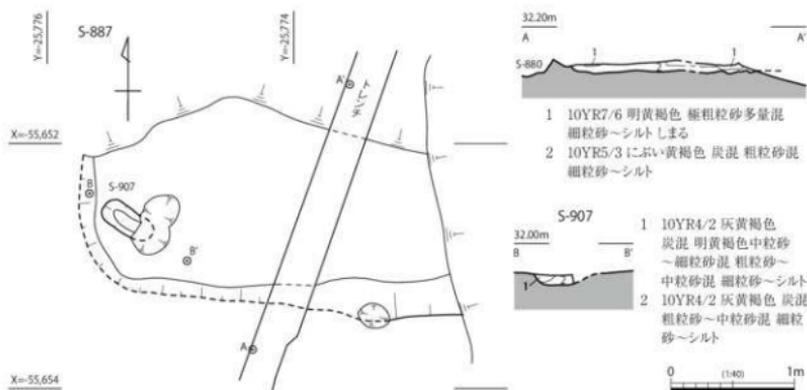
S-917・918・938を切る。平面は、最大規模が長軸1.42m、短軸1.30mのほぼ円形で、深さは1.42m、断面が方形をなす。埋土中から、甕223・224が出土した。224は底面付近から出土したもので、器形の約8割が残存する。肩の張りが弱い胴部や平底の残る底部などから、乙亥正Ⅷ期頃の土器と考えられる。

S-917土坑(第Ⅲ-5-118・119図)

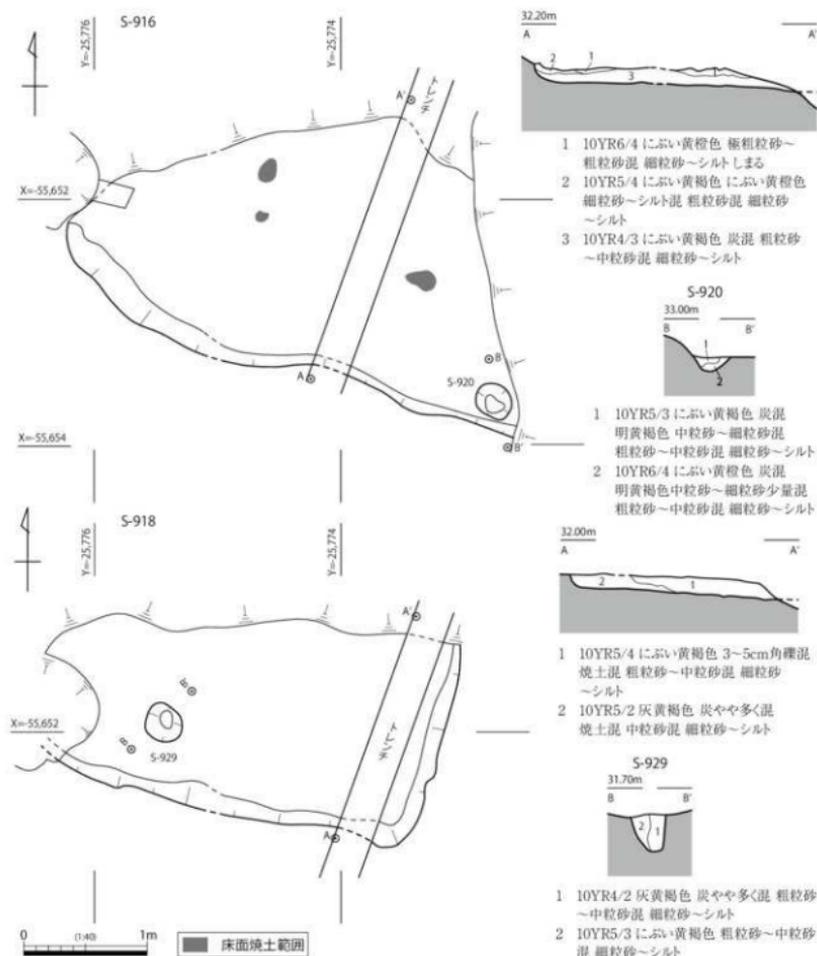
第三章 1区の調査



第Ⅲ-5-127図 S-868段状遺構、S-889-891-892土坑 平・断面図及びS-868段状遺構 出土遺物



第Ⅲ-5-128図 S-887段状遺構、S-907土坑 平・断面図



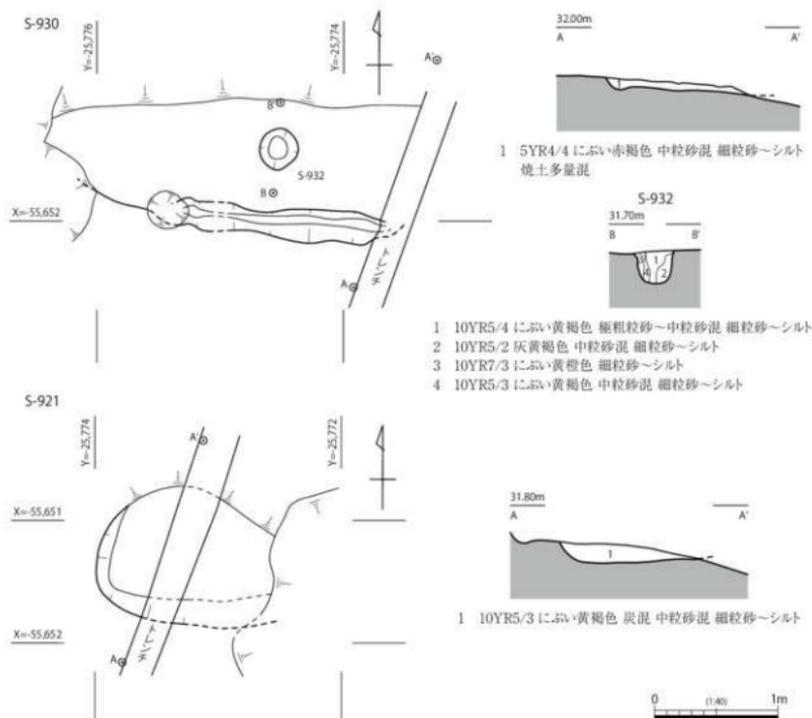
第Ⅲ-5-129図 S-916・918段状遺構、S-920・929土坑 平・断面図

S-896・897に切られ、S-898を切る。東側がS-897により残存しないが、平面は南北方向約1.20m、東西方向約0.70m以上のいびつな円形か隅丸方形を呈し、深さは96cm、断面は一部袋状をなす。埋土中から、甕221、高坏222が出土した。

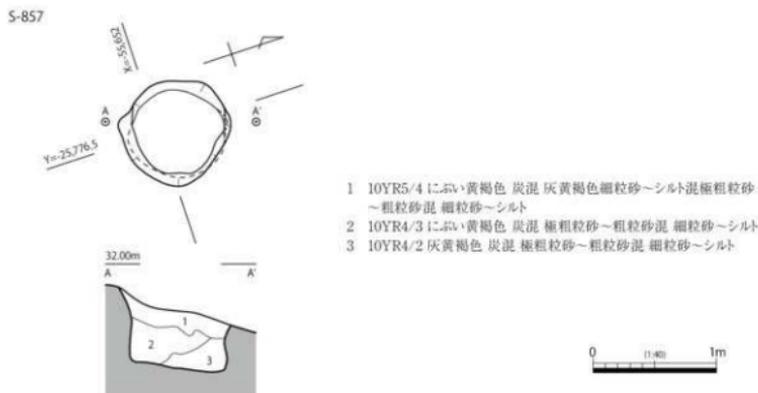
S-898土坑(第Ⅲ-5-120図)

南側がS-897・917に切られ残存しないが、平面は最大規模で直径1.30m程度の円形と推定され、深さは1.02mである。中央部付近の底面直上には焼土・炭化物が多数散布しており、一部採取した試料(5436)はトチノキで、放射性炭素年代測定の結果、 $1.850 \pm 20\text{yrBP}$ (暦年較正年代 2σ calAD120-

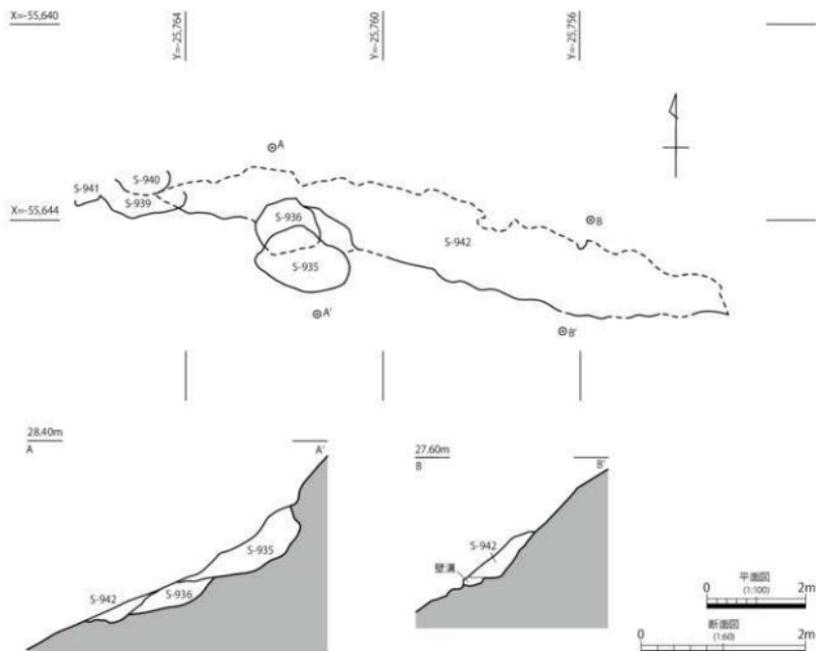
第三章 1区の調査



第Ⅲ-5-130図 S-921・930段状遺構 平・断面図



第Ⅲ-5-131図 S-857土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-132図 S-942周辺段状遺構等概念図

calAD232)であった。底面直上から甕226、下層から甕225、脚部229、その他埋土中から甕227、脚部228が出土した。肉厚な口縁部、肩の張りが少ない胴部、高坏脚部の形状などから、乙亥正Ⅵ期頃の遺構とみられる。

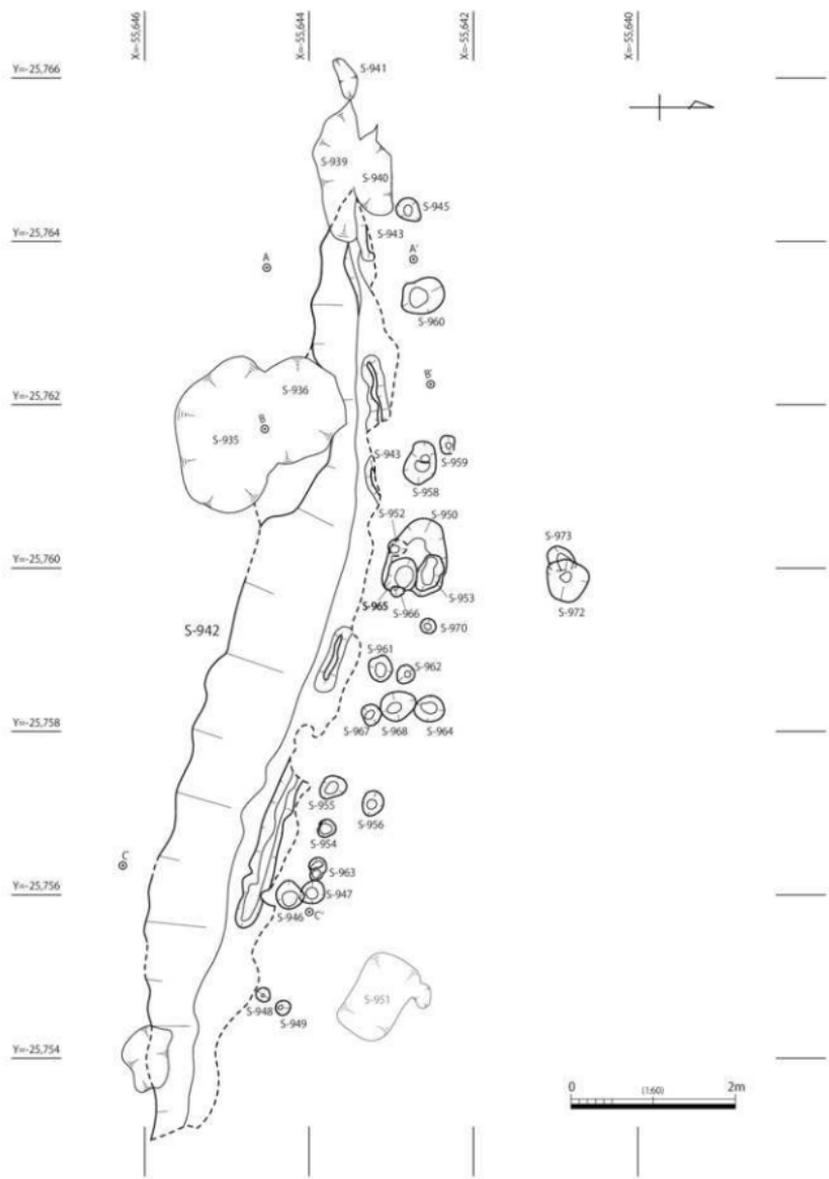
S-799段状遺構(第Ⅲ-5-122・123図)

床面での標高が33.8mであり、調査された遺構の中で最も高い位置にある遺構の一つである。東西方向約4.3m、南北方向約1.2mの規模で検出した。床面はやや弧状をなす。床面から柱穴等の土坑は検出されていない。床面付近から、甕230～236・238、直口壺237、底部239～241が出土した。甕236・238、直口壺237は、器形全体の最大1/3程度が復元できる個体である。乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃の土器と考えられる。

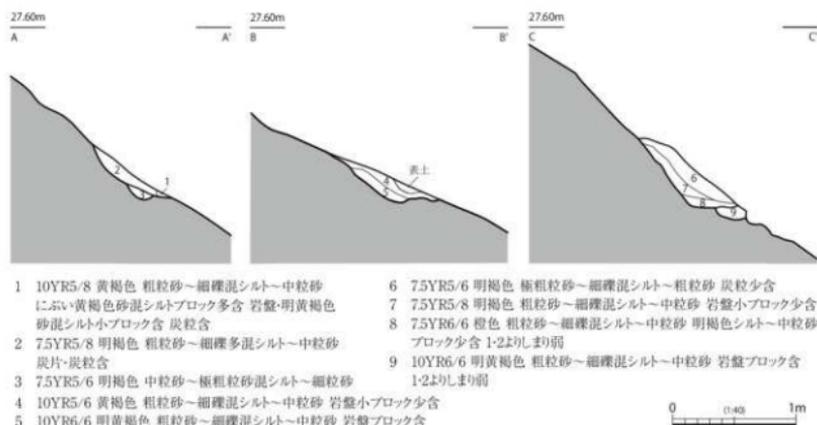
S-858段状遺構(第Ⅲ-5-124・125図)

S-799段状遺構の下方に位置する。東西方向約3.8m、南北方向約2.9mの規模で検出した。東側はS-835竅穴住居に切られる。床面は隅丸形状を呈し、柱穴等の土坑、壁溝は検出していない。床面で、後述するS-880溝を検出したが、遺構の軸がやや異なることや出土する遺物の時期が異なるため、別遺構と判断した。埋土下層から、壺242、甕243～249・256・257、高坏251～253が出土した。高坏251は近畿北部系の土器とみられる。乙亥正屋敷廻遺跡Ⅶ～Ⅷ期頃の特徴をもつ甕256・257、直口壺258が本遺構に伴うもので、その他の遺物は斜面上方のS-799段状遺構等からの流入遺物とみら

第三章 1区の調査



第Ⅲ-5-133図 S-942段状遺構 平面図



第Ⅲ-5-134図 S-942段状遺構 断面図

れる。

S-880溝(第Ⅲ-5-124・126図)

S-858段状遺構に切られる。東西方向約3.9m、南北方向約2.2mの範囲で検出した。幅48cm～87cm、深さは溝で囲まれた内部側で最大15cmである。平面「コ」の字形をなしており、本来的には段状遺構や堅穴住居の壁溝と考えられる。

埋土中から、壺259、甕260・261、底部262、土玉263～266が出土した。土器の特徴から乙亥正Ⅵ期頃の土器と推定される。なお、柱穴状の土坑S-890は、より新しいS-868段状遺構の床面で検出したものであるが、埋土中からS-880土器と同時代の遺物が出土していることから、本遺構に伴うことが推定される。

S-868段状遺構(第Ⅲ-5-127図)

S-858の下層にあたる。東西方向約3.1m、南北方向約1.6mの規模で検出した。当初は遺構の認識がなく掘削したため、上端ラインは残存しないが、締まった土で面的な広がり床が確認された。本来は隅丸形状の段状遺構と推定される。床面からS-889・891・892土坑を検出した。S-892は別遺構に伴うとみられる。埋土中から、乙亥正Ⅶ期頃と推定される甕267～269、土玉270が出土した。

S-887段状遺構(第Ⅲ-5-128図)

S-868の下層にあたる。東側はS-835に切られるが、東西方向約2.9m、南北方向約1.6mの規模で検出し、本来隅丸形状の遺構であったと推定される。床面からS-907土坑を検出した。埋土中から土器細片が出土している。

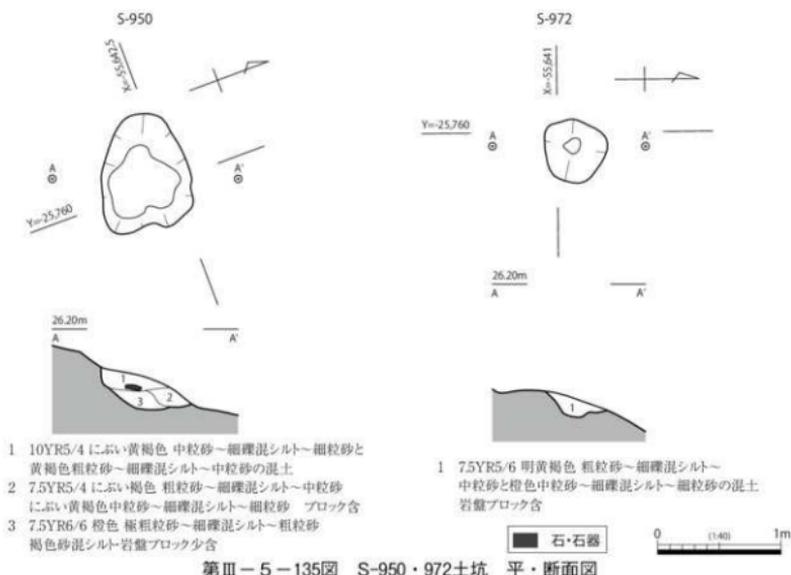
S-916段状遺構(第Ⅲ-5-129図)

S-887の下層にあたる。北西-南東方向約4.0m、北東-南西方向約2.2mの規模で検出した。床面で焼土面3か所、S-920土坑を検出した。埋土中から弥生土器とみられる小片が出土している。

S-918段状遺構(第Ⅲ-5-129図)

S-916の下層にあたる。北西-南東方向約3.3m、北東-南西方向約1.7mの規模で検出した。平面

第三章 1区の調査



方形の段状遺構とみられる。床面からS-929土坑を検出した。埋土中から乙亥正V～VI期頃とみられる弥生土器小片が出土した。

S-930段状遺構(第Ⅲ-5-130図)

S-918の下層にあたる。東西方向約2.9m、南北方向約1.1mの規模で検出した。壁際には、幅0.16m～0.25m、深さ2cm～4cmの壁溝がある。床面で柱穴とみられるS-932を検出した。

S-921段状遺構(第Ⅲ-5-130図)

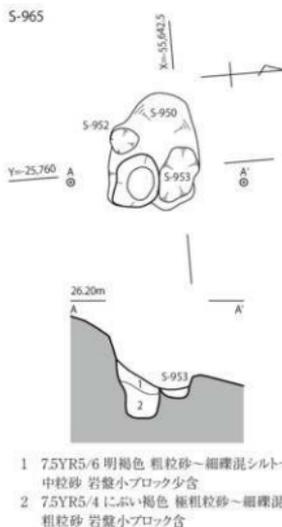
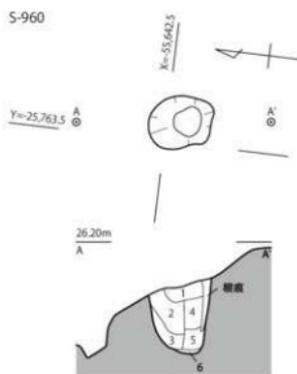
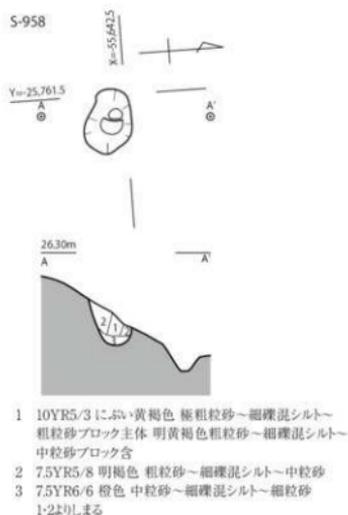
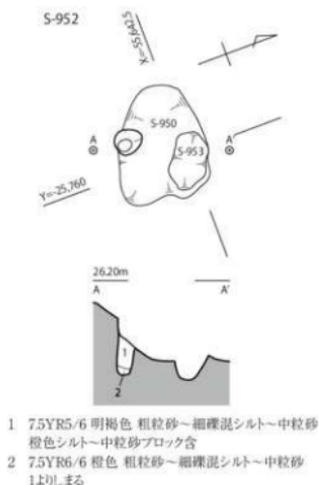
S-930の下層にあたる。東西方向約1.4m、南北方向約1.1mの規模で検出した。東側がS-835堅穴住居で切られているため、土坑であったかもしれない。埋土中から土器小片が出土している。

S-857土坑(第Ⅲ-5-130図)

平面は最大規模が長軸0.92m、短軸0.86mのほぼ円形で、深さ0.65m、断面は袋状をなす。埋土中から弥生土器とみられる土器片が出土している。

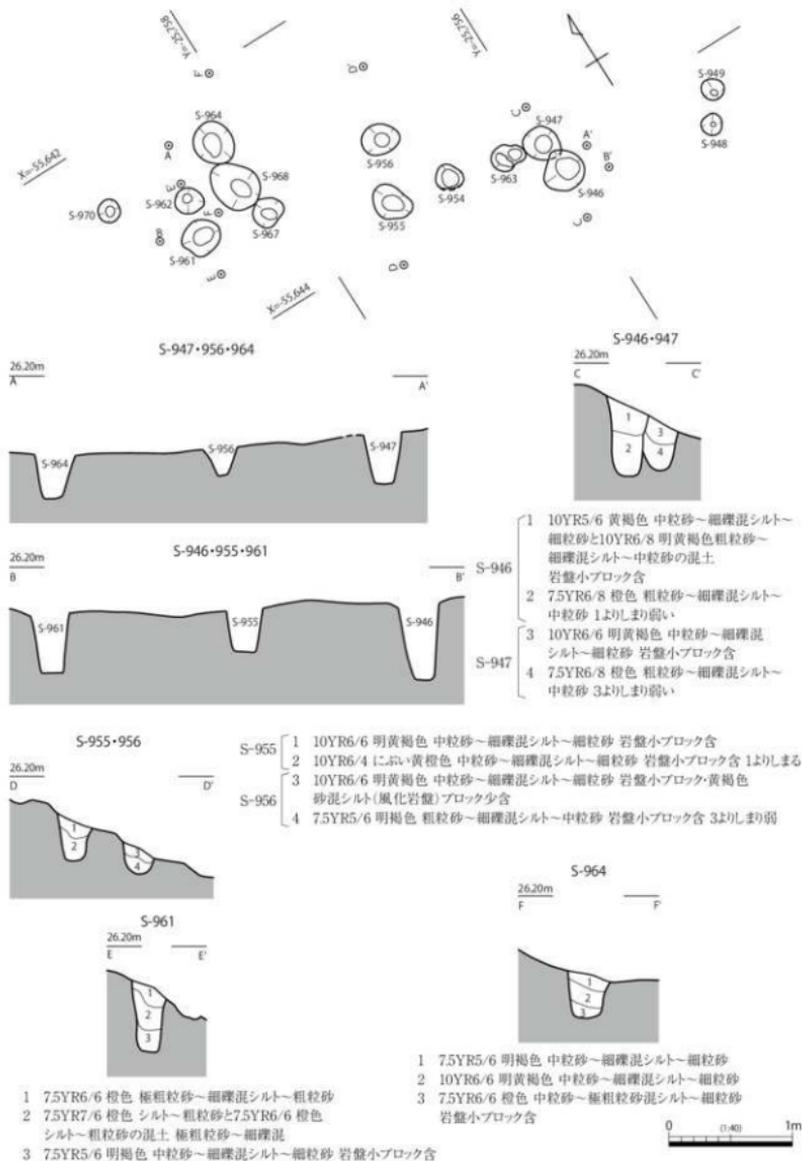
7 S-942段状遺構周辺の遺構(第Ⅲ-5-132～145図)

標高約25m～27mに広がる、S-942段状遺構を主とする一群である。約5m～6m斜面上には第6項で詳説した、S-835堅穴住居、S-852段状遺構等の遺構の一群がある。周辺の斜面は40度前後の傾

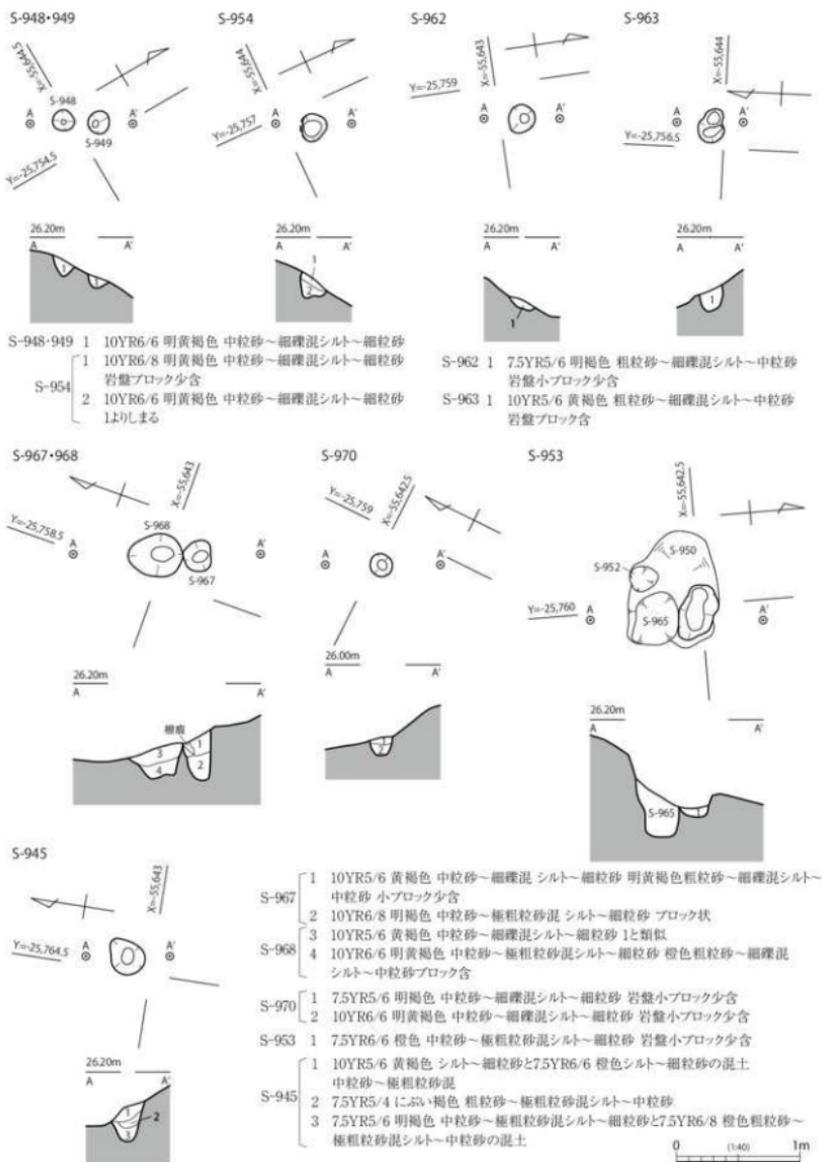


第Ⅲ-5-137図 S-952・958・960・965柱穴 平・断面図

第三章 1区の調査

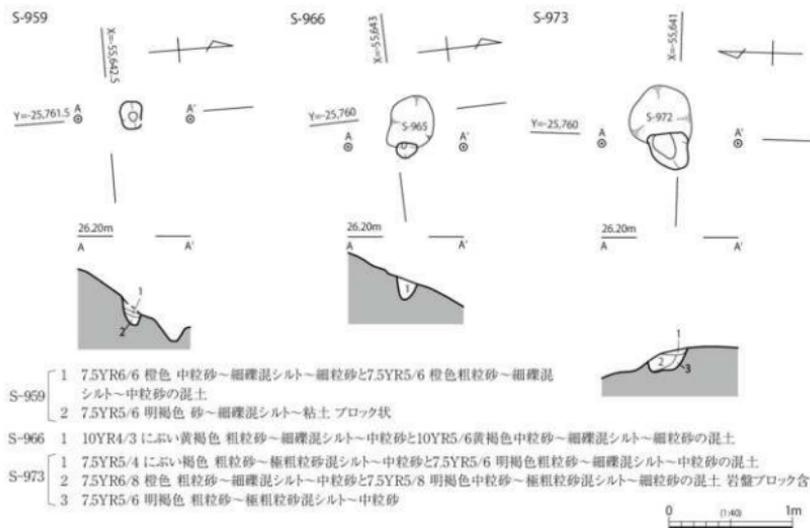


第三一五—138図 S-946・947・955・956・961・964土坑 平・断面図

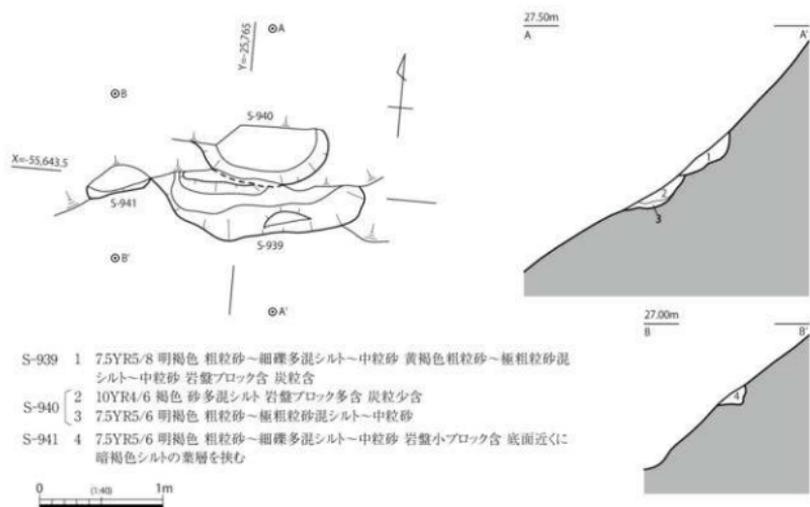


第三-5-139図 S-948・949・954・962・963・967・968・970土坑 平・断面図

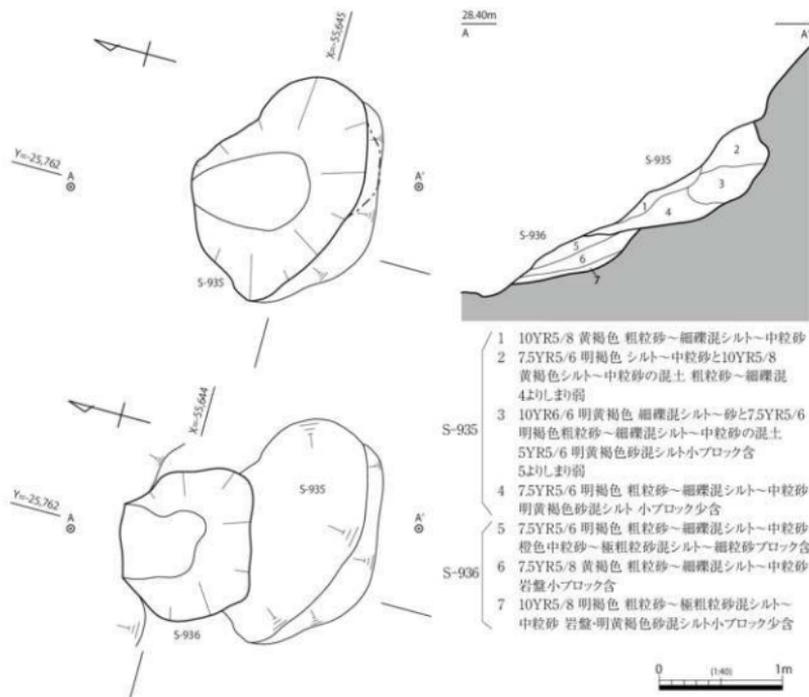
第三章 1区の調査



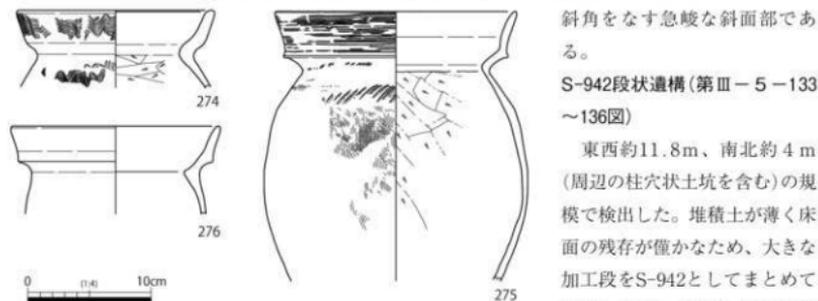
第三章-5-140図 S-959・966・973土坑 平・断面図



第三章-5-141図 S-939段状遺構、S-940・941土坑 平・断面図



第三—5—142図 S-935・936土坑 平・断面図



斜角をなす急峻な斜面部である。

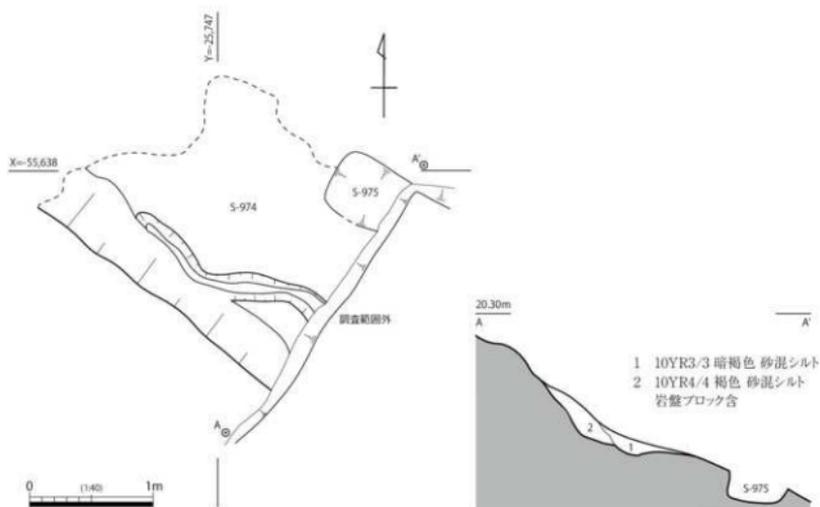
S-942段状遺構(第三—5—133～136図)

東西約11.8m、南北約4m(周辺の柱穴状土坑を含む)の規模で検出した。堆積土が薄く床面の残存が僅かなため、大きな加工段をS-942としてまとめて調査したが、東側と西側で壁面、壁溝の方向がやや異なるため、

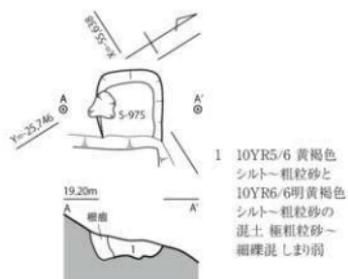
第三—5—143図 S-935・936土坑 出土遺物

本来はほぼ同じ高さの床面をもつ複数の段状遺構が存在したことも考えうる。壁際には幅30cm前後の壁溝が存在したとみられる。溝壁の一部は土手状をなすことから、複数の溝が存在した可能性がある。

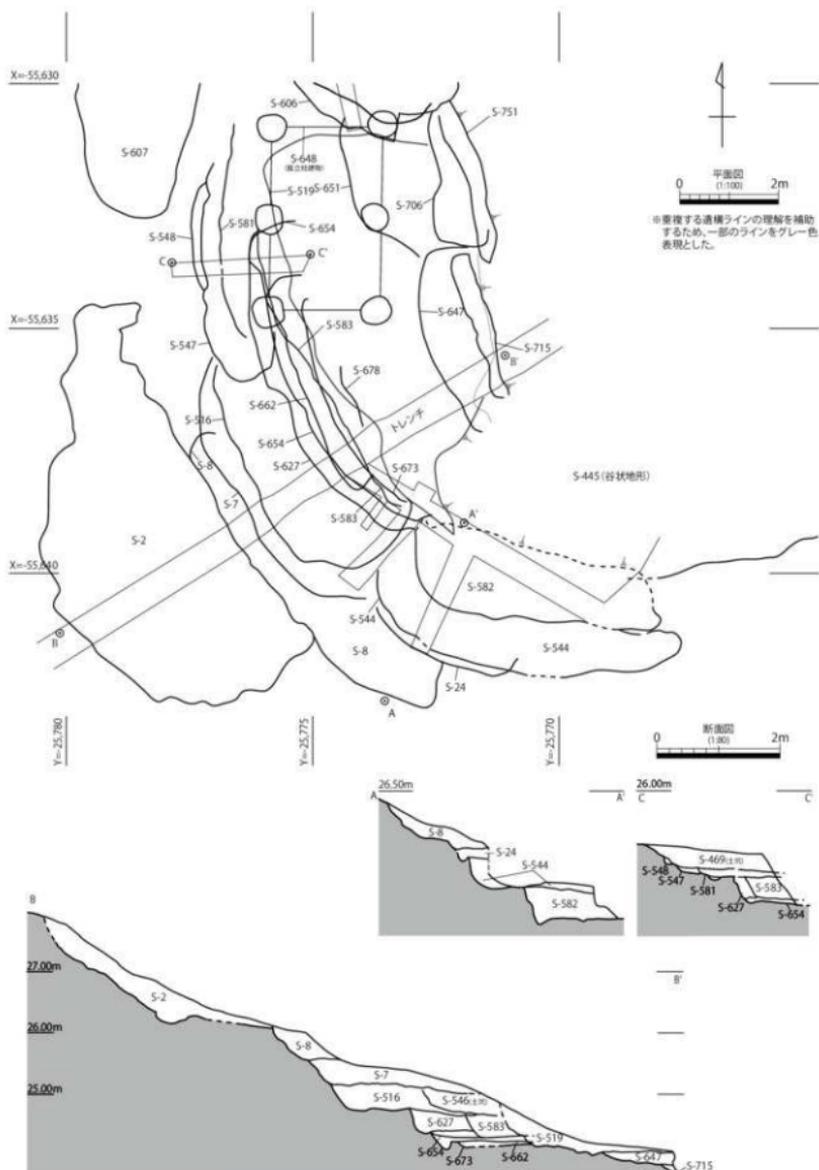
周壁溝の斜面側からは柱穴とみられる多数の土坑が検出されている。位置関係や底面の標高からみ



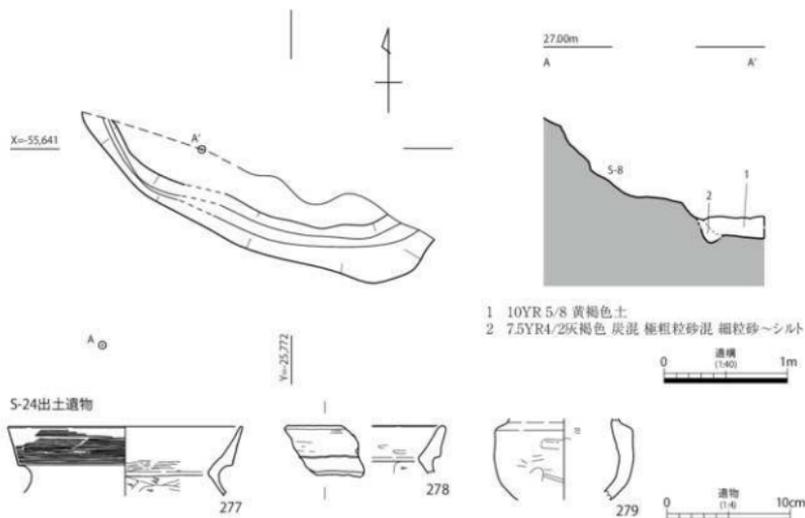
第Ⅲ-5-144図 S-974段状遺構 平・断面図



第Ⅲ-5-145図 S-975土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-146図 S-2・7・8段状遺構周辺遺構概念図(段状遺構・竪穴住居・掘立柱建物・一部土坑のみ)



第Ⅲ-5-147図 S-24段状遺構 平・断面図及び出土遺物

でセットとなる可能性がある遺構は、S-946-961-967、S-965-943、S-947-956-964、S-968-953である。この場合の柱間距離は、1.4m~1.7m程度である。

S-452埋土中から甕271、S-950埋土中から甕272、鉢273が出土している。概ね乙亥正VI期頃の遺構と推定される。

S-935・936土坑(第Ⅲ-5-142・143図)

S-935土坑は、S-942段状遺構の壁面に位置し、S-936土坑を切って掘削している。東西約1.9m、南北約1.3mの平面楕円形をなす。北側の立ち上がりは確認できない。S-942段状遺構との関係は不明だが、S-942底面より約50cm高い位置にS-935の底面がある。S-935・936を同時に掘削したため、甕274・275はいずれの遺構に伴うものか判断できない。

S-936土坑は、S-935に切られる遺構で、南北約1.1m、東西約1.2mの平面不整形な方形をなす。埋土中から甕276が出土した。S-935・936ともに乙亥正VI期頃の特徴をもつ土器が出土しており、S-942段状遺構とはほぼ同時期の遺構と推定される。

S-939段状遺構(第Ⅲ-5-141図)

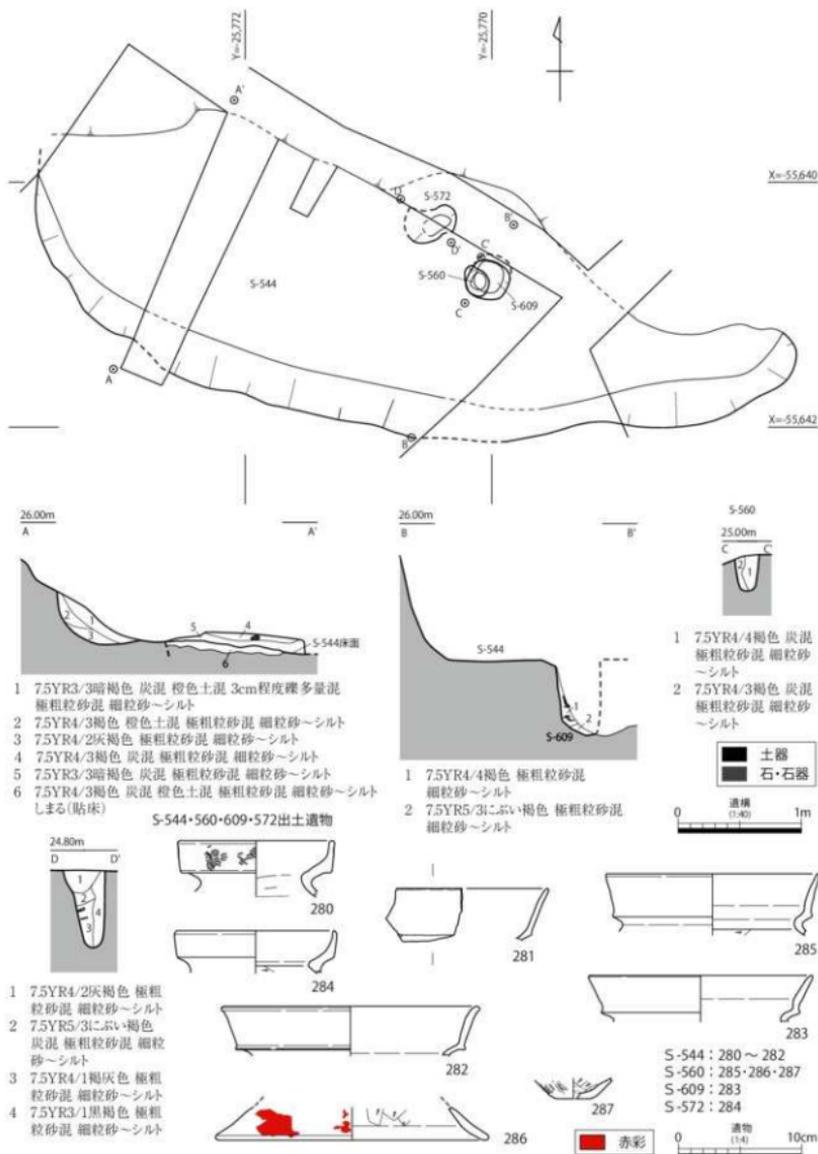
S-942段状遺構の西側に位置する。S-940土坑を切る。東西約1.7m、南北約0.5mの範囲で検出した。壁際に幅約30cm、深さ2~3cm程度の壁溝がある。遺物は出土していない。

S-940土坑(第Ⅲ-5-141図)

上面をS-940に切られており、東西約1.1m、南北約0.4m、深さ約0.3mが残存する。遺物は出土していない。

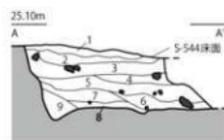
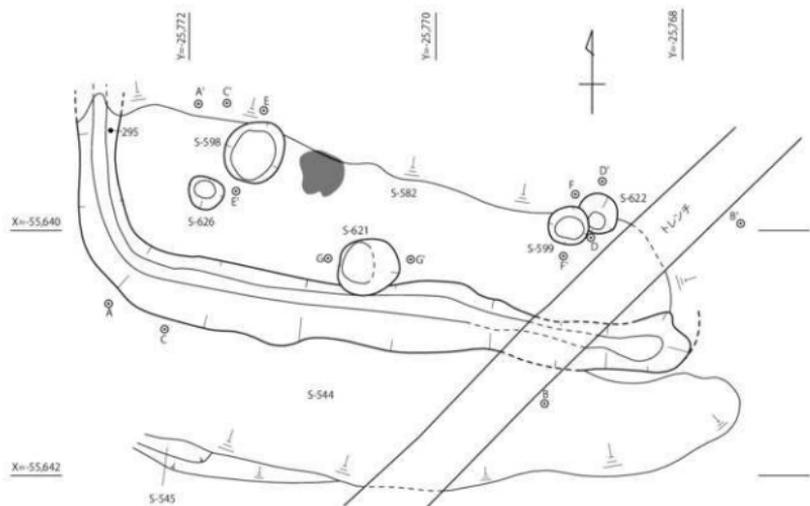
S-941土坑(第Ⅲ-5-141図)

S-939段状遺構の西側に位置する。東西約0.5m、南北約0.2mの規模で検出した。遺物は出土して



第Ⅲ-5-148図 S-544段状遺構、S-560・572・609土坑 平・断面図及び出土遺物

第三章 1区の調査



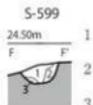
- 1 7.5YR4/3 褐色 炭混 橙色土混
極粗粒砂混 細粒砂～シルト しまる (貼床)
- 2 7.5YR4/2 灰褐色 炭混 橙色土混
極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR4/3 褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR3/4 暗褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 5 7.5YR4/6 褐色 3～5cm 角礫混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト
- 6 7.5YR4/1 褐灰色 炭混 極粗粒 砂混
細粒砂～シルト
- 7 7.5YR3/3 暗褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 8 7.5YR4/6 褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 9 7.5YR3/2 黒褐色 炭混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト



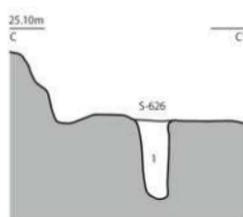
- 1 7.5YR4/3 褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/2 灰褐色 褐色土混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト



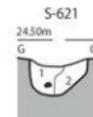
- 1 7.5YR3/1 黒褐色
炭混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/1 褐灰色
炭混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト



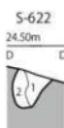
- 1 7.5YR4/2 灰褐色 炭混
極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/2 灰褐色 橙色土混
極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/4 赤い褐色 極粗
粒砂混 細粒砂～シルト



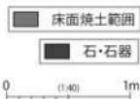
- 1 7.5YR4/3 褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



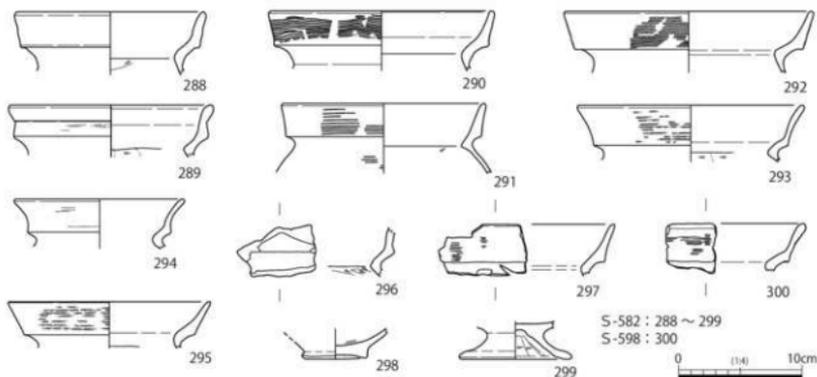
- 1 7.5YR3/2 黒褐色
炭混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト 軟質
- 2 7.5YR3/3 暗褐色
極粗粒砂混 細粒砂
～シルト



- 1 7.5YR3/3 暗褐色
炭混 粗粒砂混
細粒砂～シルト
- 2 7.5YR3/2 黒褐色
炭混 極粗粒砂混
細粒砂～シルト



第三 - 5 - 149図 S-582段状遺構、S-598・599・621・622・626土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-150図 S-582段状遺構、S-598土坑 出土遺物

いない。

S-974段状遺構、S-975土坑(第Ⅲ-5-144・145図)

1区の東南端部の標高19.1m~19.2mに位置する。東側は調査区外であるが、北西-南東方向2.3m、北東-南西方向1.9mの規模で検出した。壁際には、幅20cm程度、深さ1cm~2cm程度の浅い壁溝がある。遺物は出土していない。

床面から、S-975土坑を検出した。一部調査区外へ続くが、北西-南東方向、北東-南西方向ともに約50cmの範囲で検出され、平面長方形の土坑とみられる。遺物は出土していない。

8 S-2・7・8段状遺構周辺の遺構(第Ⅲ-5-146~172図)

標高約24m~27mに広がる、S-2・7・8・519段状遺構等の一団で、地形的には、東から北西向きの斜面部にあたる。今回の調査で最も多くの段状遺構や堅穴住居が累積的に検出された箇所、段状遺構18基等が検出された。概ね乙亥正VI期~VIII期頃、及び古墳時代中期に形成されたと推定される。

古い遺構を埋め、その上方斜面をカットすることで、斜面下方側から上方へ新たな加工段を造成するものが多いが、S-519のように累積した遺構を新たに大きくカットするものもある。流失や削平により僅かな平坦面のみを残す遺構も多く、伴う柱穴なども明らかでないものが多い。壁溝がない幅の狭い遺構などは、本来下方側の段状遺構とセットとなり機能したものも含まれている可能性がある。

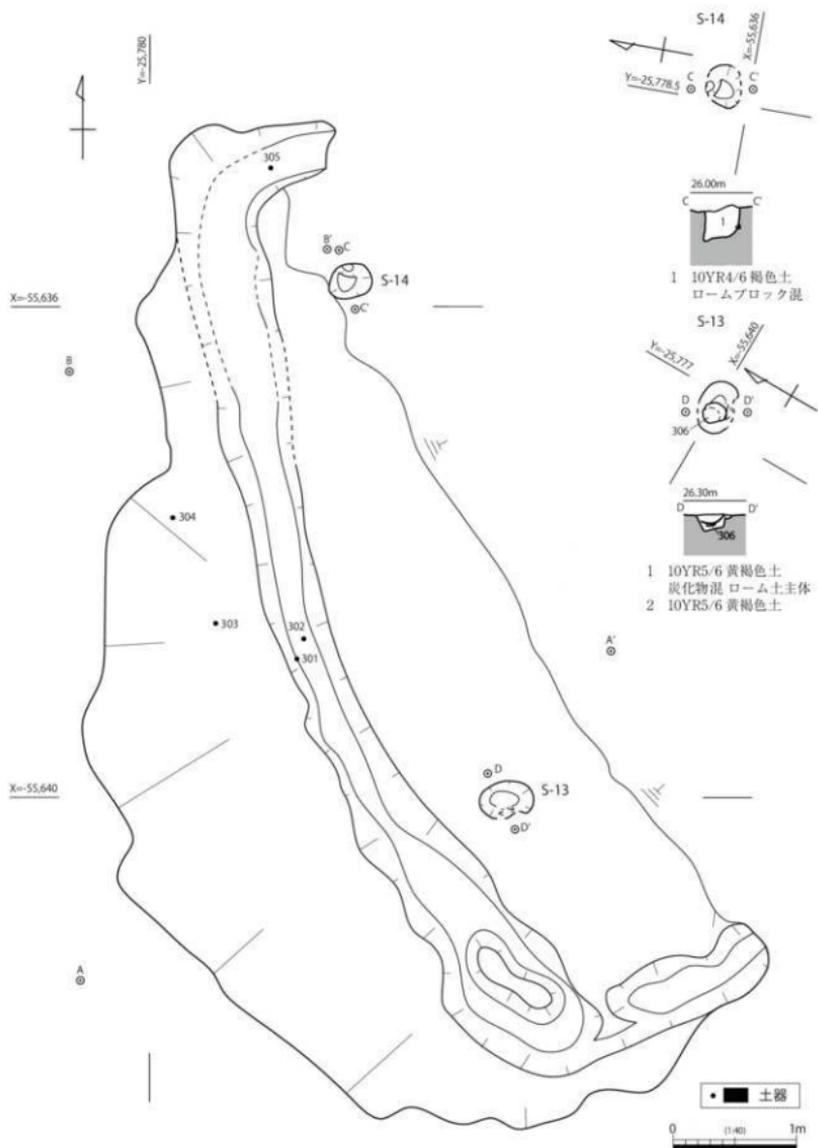
記載は、第Ⅲ-5-146図のA-A'周辺→B-B'周辺→C-C'周辺の順とする。

S-24段状遺構(第Ⅲ-5-147図)

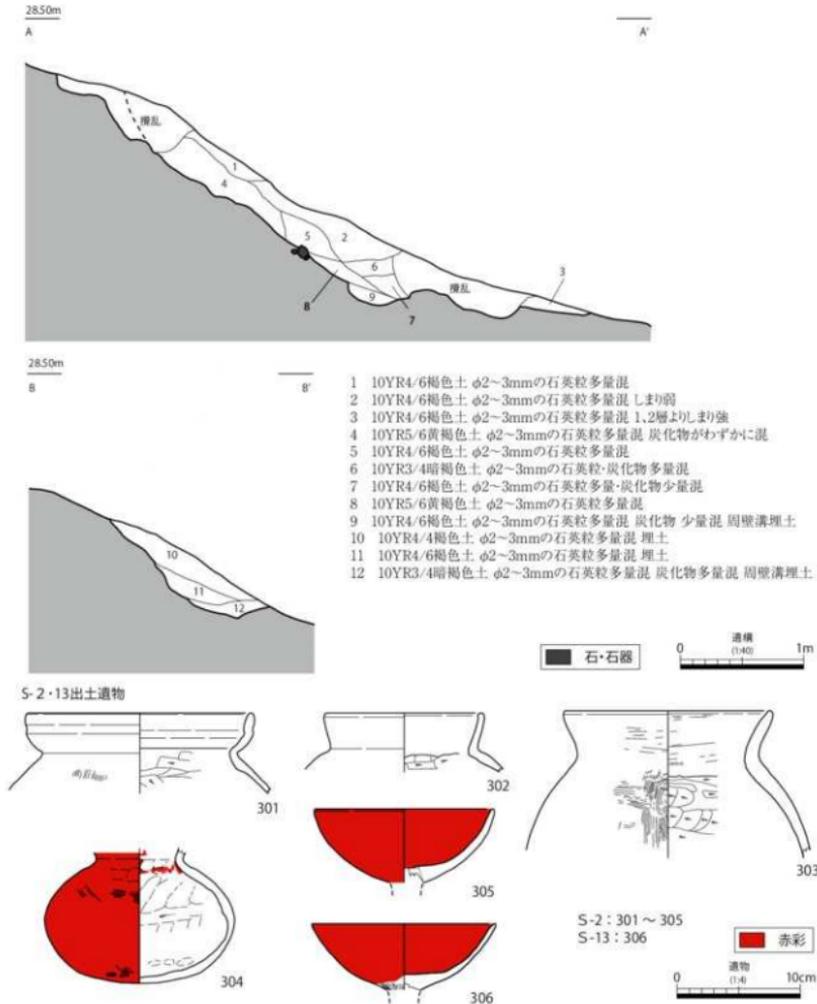
S-8段状遺構の下層にあたる。北西-南東方向約3.0m、北東-南西方向約0.6mの範囲で検出した。壁際には幅15cm前後、深さ3cm~5cmの壁溝が弧状に巡る。埋土中から甕277・278、壺279が出土した。

S-544段状遺構(第Ⅲ-5-148図)

S-24の下層にあたる。東西約6.3m、南北約2.1mの範囲で検出した。明確な壁溝はないが、壁際



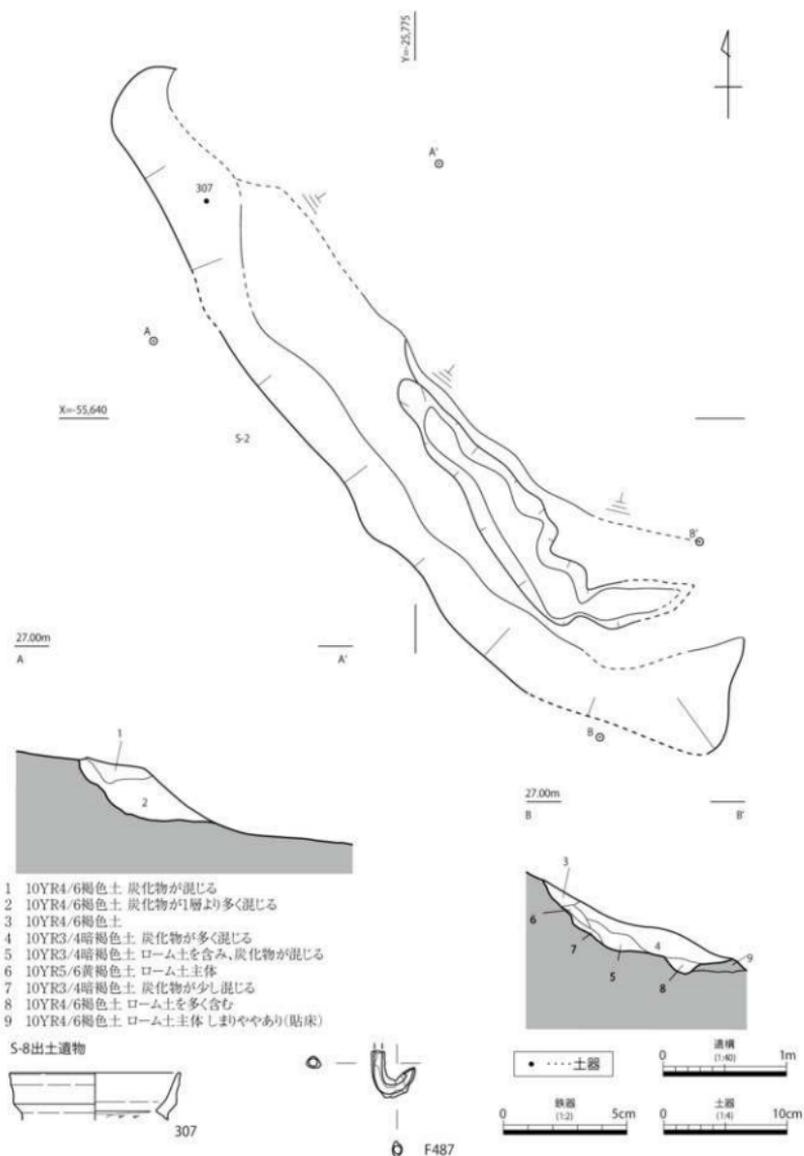
第三-5-151図 S-2段状遺構、S-13・14土坑 平・断面図



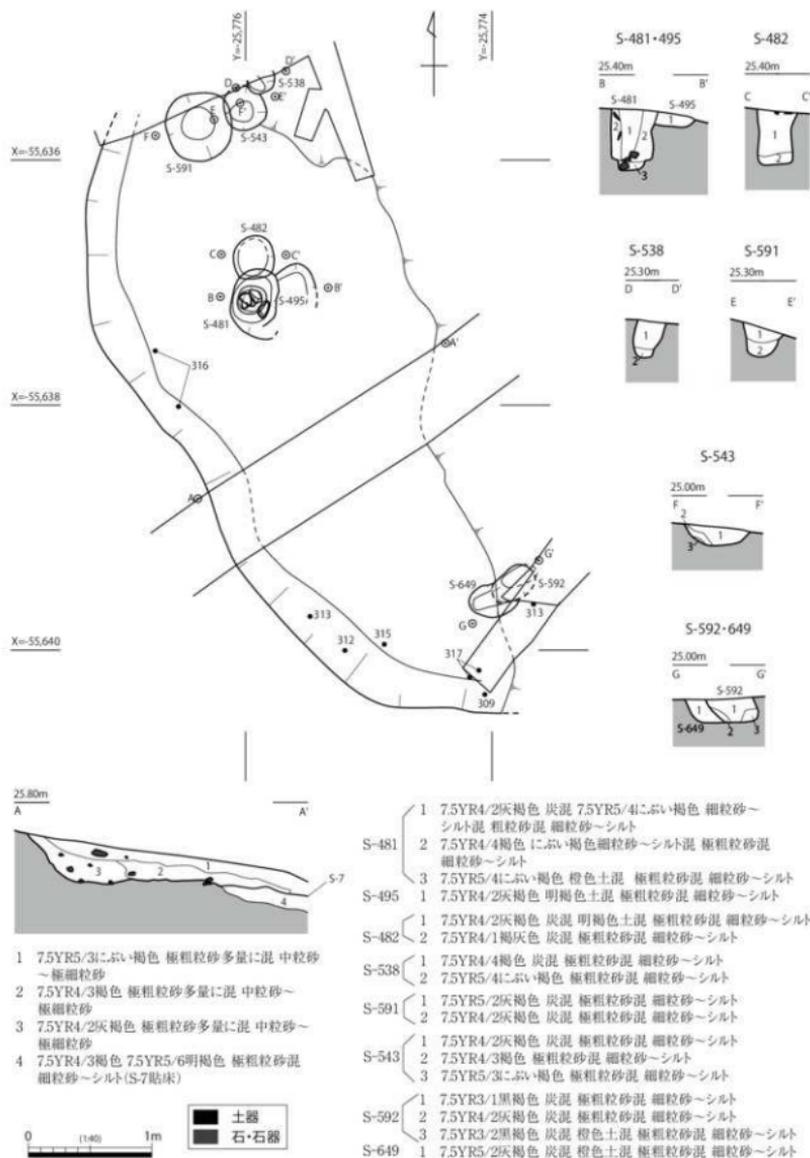
第Ⅲ-5-152図 S-2段状遺構 断面図及び出土遺物

は他の床面よりやや低い。床面から柱穴状の土坑S-560・609・572を検出した。S-609よりS-560が新しい。

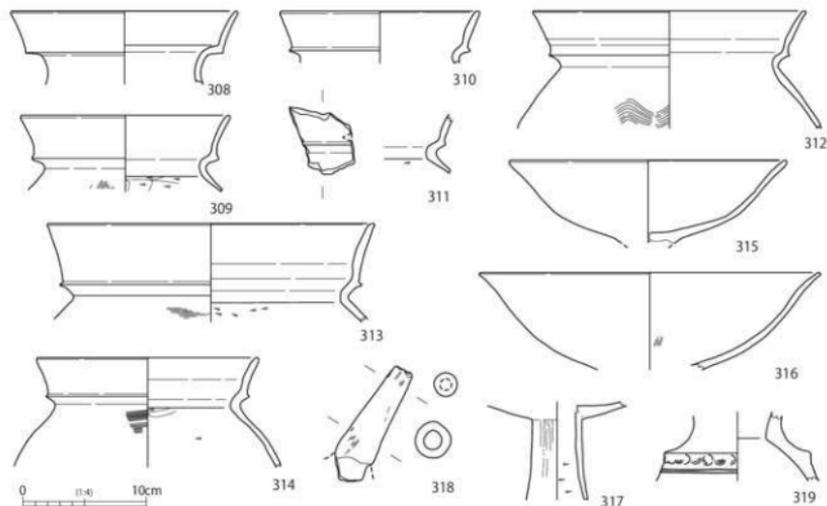
S-544埋土中から壺280・284、甕281・282、S-560から甕285、器台286、底部287、S-609から甕283が出土した。甕281~283・285薄手の器壁や器台286の特徴から、乙亥ⅦⅡ~Ⅷ期頃の土器と推定される。



第三-5-153図 S-8段状遺構 平・断面図及び出土遺物



第三-5-154図 S-7段状遺構、S-481・482・495・538・543・591・592・649土坑 平・断面図



第三-5-155図 S-7段状遺構 出土遺物

S-582段状遺構(第三-5-149・150図)

S-505の下層にあたる。東西方向約5.0m、南北方向約1.7mの範囲で検出した。平面隅丸方形をなす。壁際には、幅20cm～30cm、深さ5cm～10cm程度の壁溝がある。床面から柱穴状の土坑S-598・599・621・622・626、及び焼土面を検出した。埋土中から、乙亥正VI～VII期頃の特徴を有する壺288、壺289～297、底部298、低脚杯299、S-598から甕300が出土した。

S-2段状遺構(第三-5-151・152図)

S-24の上層にあたり、第186図に示す遺構の中で最も新しいと考えられる。北東-南西方向約8.2m、北西-南東方向約3.9mの範囲で検出した。壁際には、幅0.42m～約1m、深さ3cm～12cmの壁溝が「コ」の字状に掘削されており、長軸方向の床面はほぼ完存とみられる。床面周辺から、S-13・14の柱穴状の土坑を検出しているが、いずれも浅い。

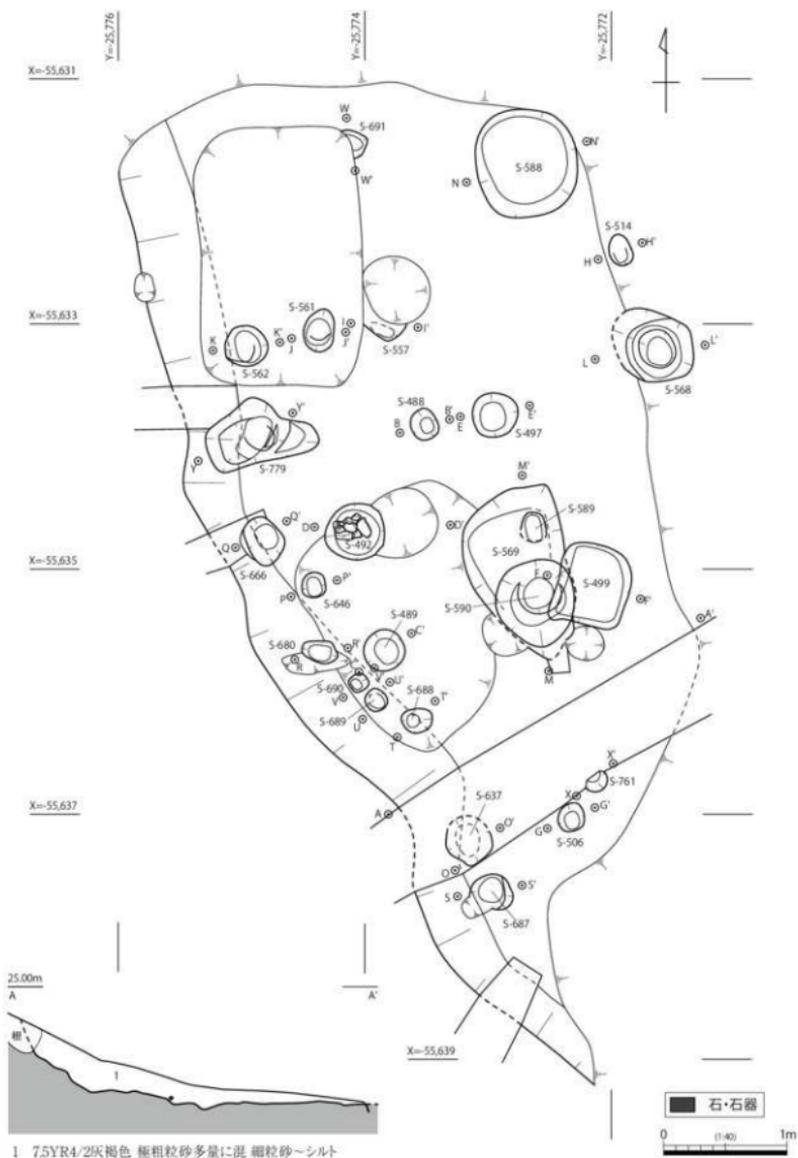
床面直上から、甕301・302、埋土中から、甕303、直口壺304、高杯305が出土した。また、柱穴状の土坑S-13から高杯306が出土した。退化した厚手の複合口縁や、丸みを持つ高杯の形状などから、古墳時代中期頃(乙亥正X期以後)の遺構と推定される。

S-8段状遺構(第三-5-153図)

後述するS-7段状遺構の上層にあたる。北西-南東方向約7.2m、北東-南西方向約1.4mの範囲で検出した。床面の南東側にのみ、幅30cm～54cm前後、深さ7cm～11cmの溝が検出された。埋土中から、甕307、鉄製の釣針F487が出土した。下層の遺構の時期から、概ね乙亥正VII期以降の遺構と推定される。

S-7段状遺構(第三-5-154・155図)

S-8の下層にあたる。北西-南東方向約5.7m、北東-南西方向約2.5mの範囲で検出した。床面



第Ⅲ-5-156図 S-519段状遺構、S-488・497~499・506・514土坑等 平・断面図

第三章 1区の調査



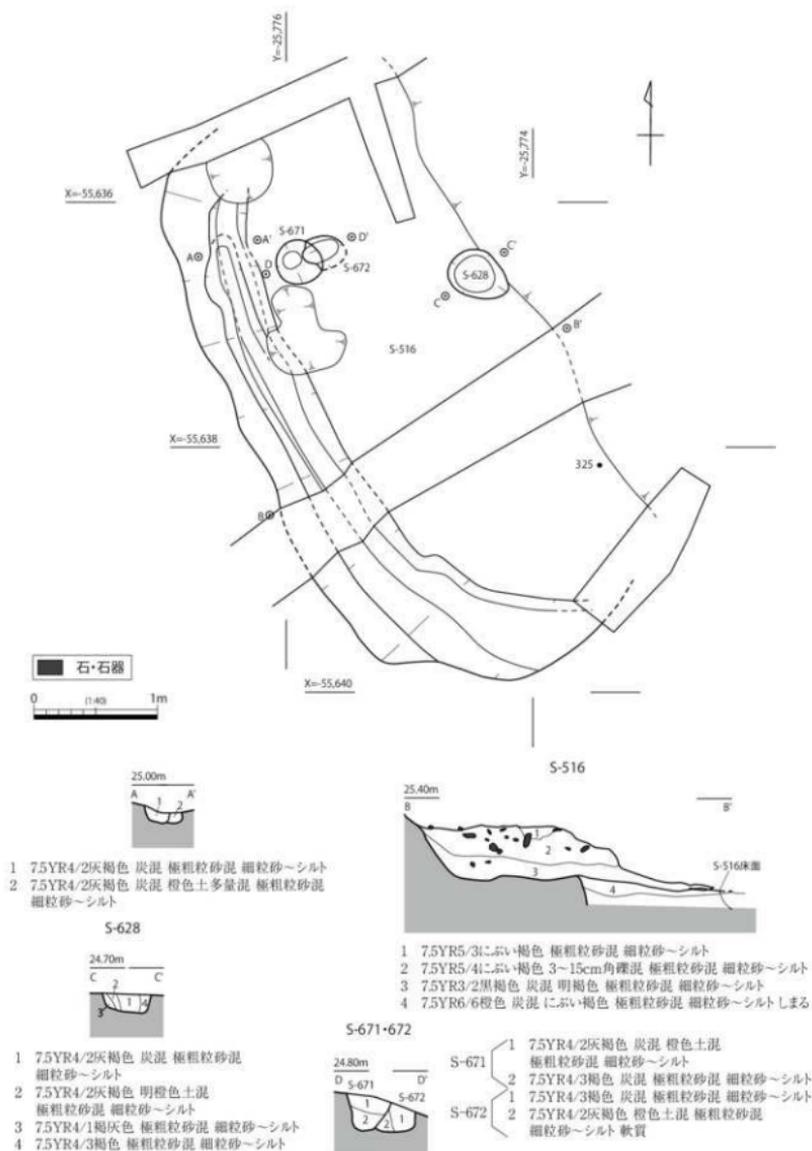
第Ⅲ-5-157図 S-519段状遺構 土坑平・断面図 1



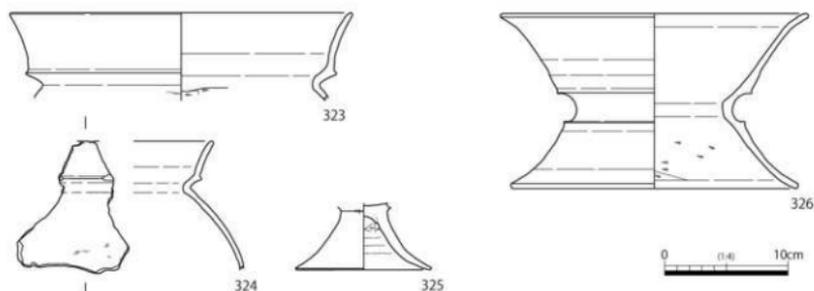
第Ⅲ-5-158図 S-519段状遺構 土坑平・断面図2



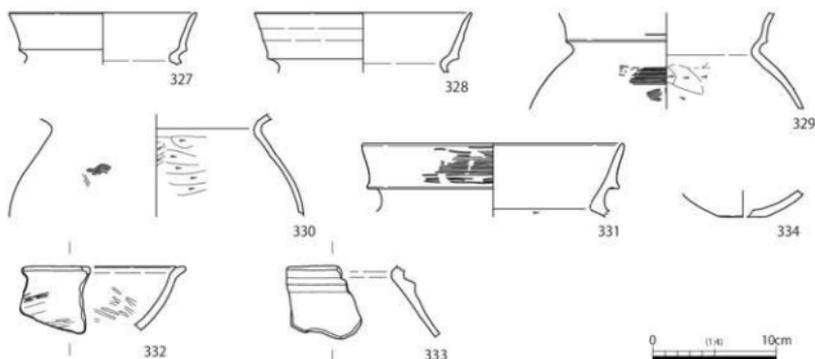
第Ⅲ-5-159図 S-488・492・561土坑 出土遺物



第三-5-160図 S-516段状遺構、S-671・672・628土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-161図 S-516段状遺構 出土遺物



第Ⅲ-5-162図 S-583段状遺構 出土遺物

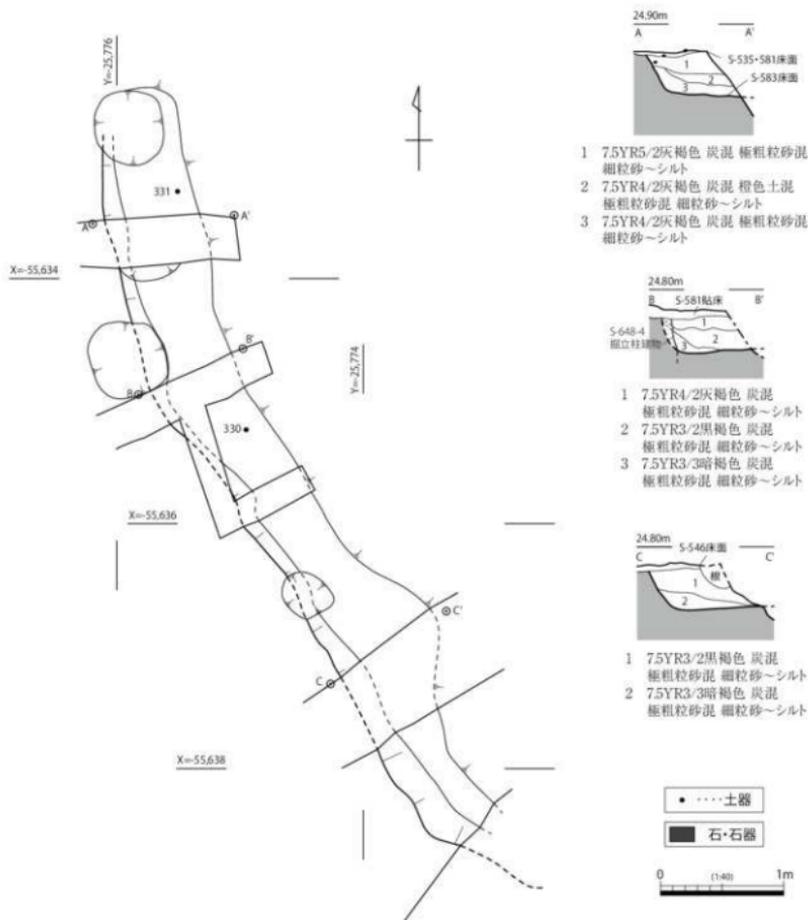
から柱穴を含む土坑S-481・482・495・538・543を検出した。S-591・592・649は下層の遺構掘削中に検出したものである。埋土中から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の特徴を有する壺308、甕309～314、高坏315～317、器台319、注口部318が出土した。

S-519段状遺構(第Ⅲ-5-156～159図)

S-7との関係は不明だが、S-7から下層の段状遺構を大きく切って構築されている。北西-南東方向約8.6m、北東-南西方向約3.7mの範囲で検出した。床面から多数の土坑を検出した。古い段階の遺構を大きく切って造成されているため、S-583・654・662・673段状遺構など古い遺構に伴う土坑が含まれると推定される。柱痕や根石などの存在から柱穴として機能したものが相当数あるとみられるが、底面レベルや規模から建物に推定復元しうるものはない。

埋土中からは土器細片のみ出土した。床面検出の土坑からは、S-488から甕320、S-492から底部321、S-561から器台322が出土しており、いずれも乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃の土器と推定される。本遺構は、S-583段状遺構など、乙亥正Ⅶ期頃の遺構より新しいことから、これらの土器は古い段状遺構に伴う遺物と考えられる。

S-516段状遺構(第Ⅲ-5-160・161図)



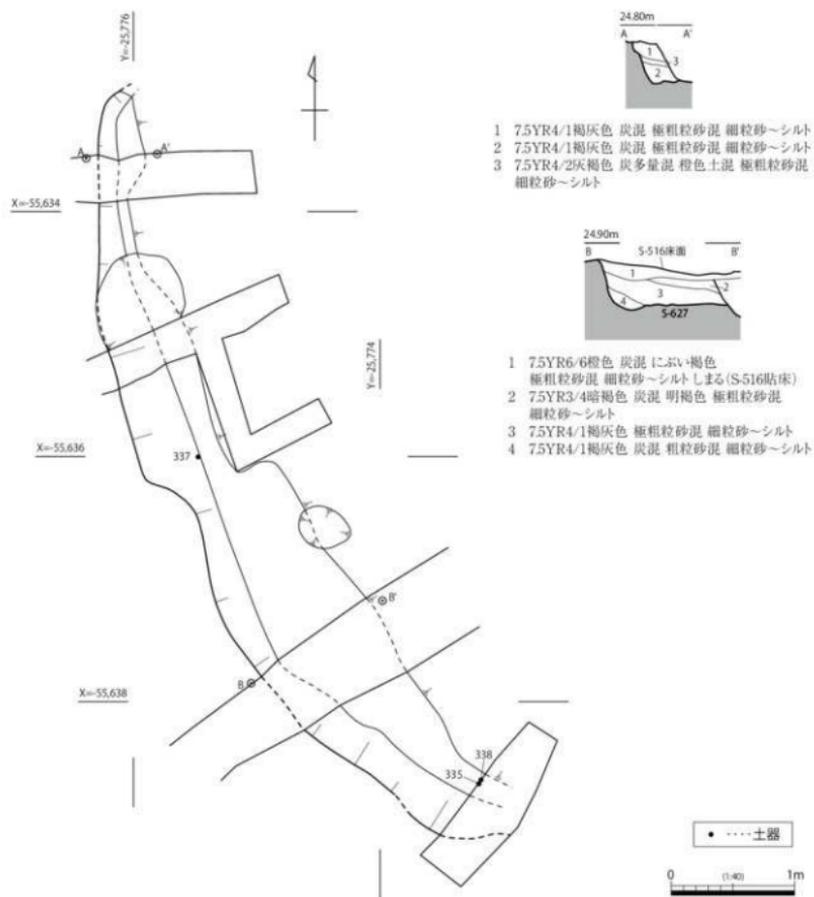
第三 - 5 - 163図 S-583段状遺構 平・断面図

S-7の下層にあたる。北西-南東方向約5.0m、北東-南西方向約2.6mの規模で検出した。壁際には、幅0.25m~0.30m、深さ4cm程度の周壁溝を一部で二段階検出した。床面からは、土坑S-628・671・672を検出した。

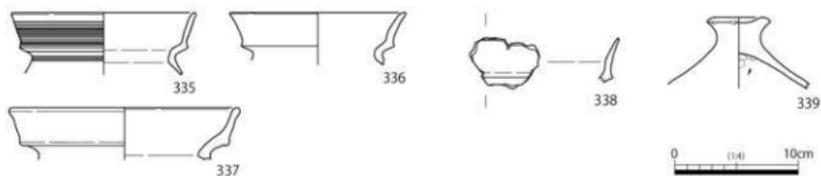
埋土中から、乙亥正Ⅶ~Ⅷ期頃の特徴を有する甕323・324、器台326、高坏325が出土した。

S-583段状遺構(第三 - 5 - 162・163図)

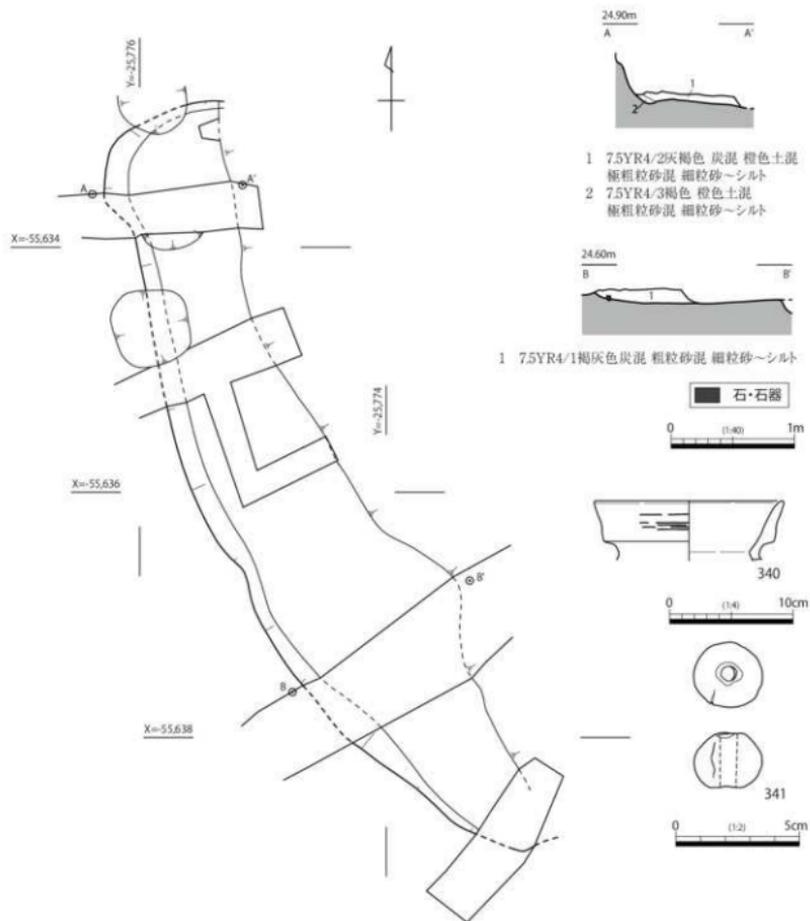
S-516の下層にあたり、後述するS-627・654を切る遺構である。北西-南東方向約6.7m、北東-南西方向約0.9mの規模で検出した。床面直上から甕330、埋土中から甕327~329・331、坏332、器台333、底部334が出土した。概ね乙亥正Ⅶ期頃の土器と推定される。



第Ⅲ-5-164図 S-627段状遺構 平・断面図



第Ⅲ-5-165図 S-627段状遺構 出土遺物



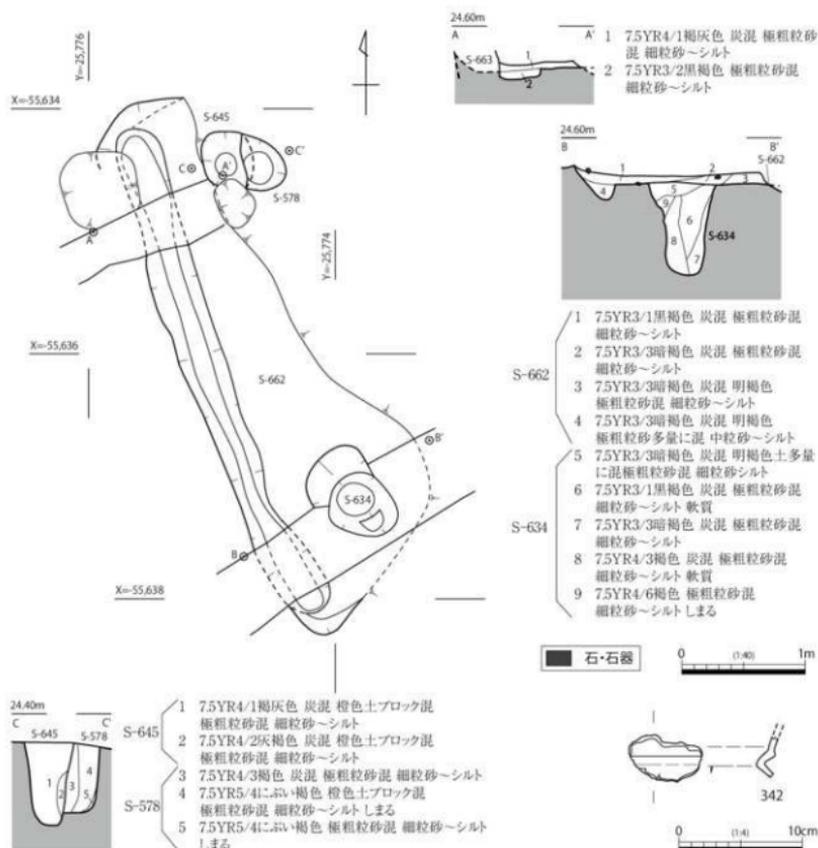
第三-5-166図 S-654段状遺構 平・断面図及び出土遺物

S-627段状遺構(第三-5-164・165図)

S-516の下層にあたり、東側をS-583に切られる。北西-南東方向約6.3m、北東-南西方向約1.0mの規模で検出した。埋土最上層(B-B'断面1層)はS-516造成時の貼床の可能性が有る。床面直上から甕336、埋土中から甕335・337・338、蓋339が出土した。概ね乙亥正VI～VII期頃の土器と推定される。

S-654段状遺構(第三-5-166図)

S-627の下層にあたり、東側をS-583に切られる。北西-南東方向約6.7m、北東-南西方向約1.5



第三-5-167図 S-662段状遺構 平・断面図及び出土遺物

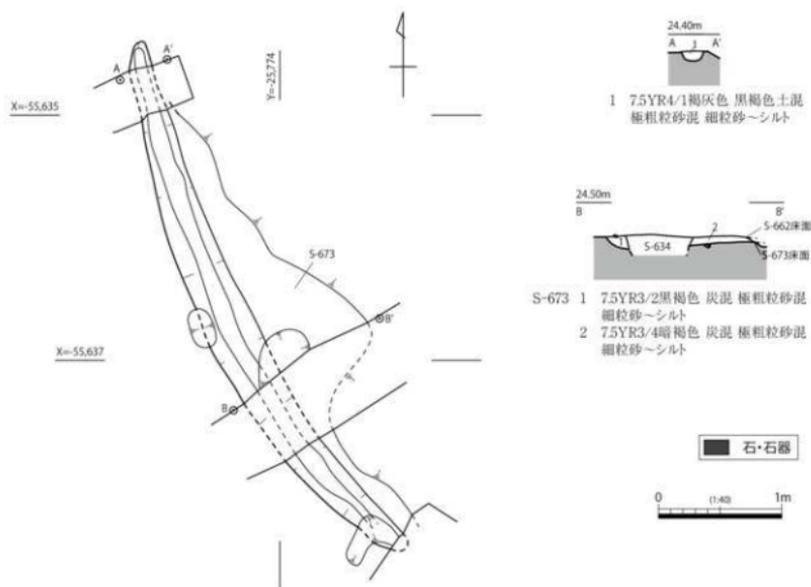
mの規模で検出した。北西-南東方向は本来の規模に近いとみられる。埋土中から、甕340・土玉341が出土した。

S-662段状遺構(第三-5-167図)

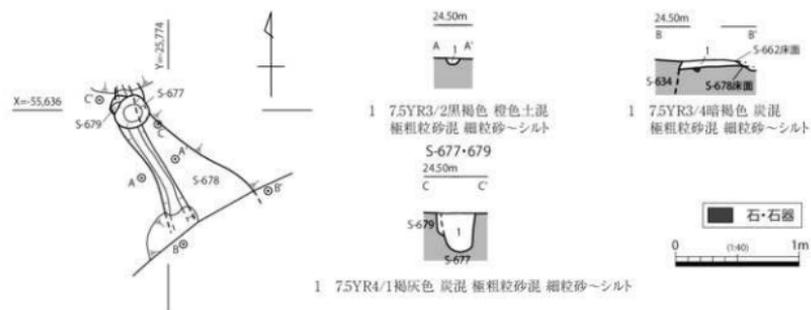
S-654の下層にあたり、北東側をS-583に切られる。北西-南東方向約4.6m、北東-南西方向約1.5mの規模で検出した。壁際には、幅0.24m~0.40m、深さ3cm~6cm程度の壁溝がある。床面で、柱穴状の土坑S-634を検出した。S-645・578は、S-519段状遺構の壁際に検出したもので、底面レベルやほぼ同じで、規模が類似するためセット関係を推定し本遺構に掲載した。埋土中から、甕342が出土した。

S-673段状遺構(第三-5-168図)

S-662の下層にあたり、北東側をS-519に切られる。北西-南東方向約4.6m、北東-南西方向約



第三-5-168図 S-673段状遺構 平・断面図

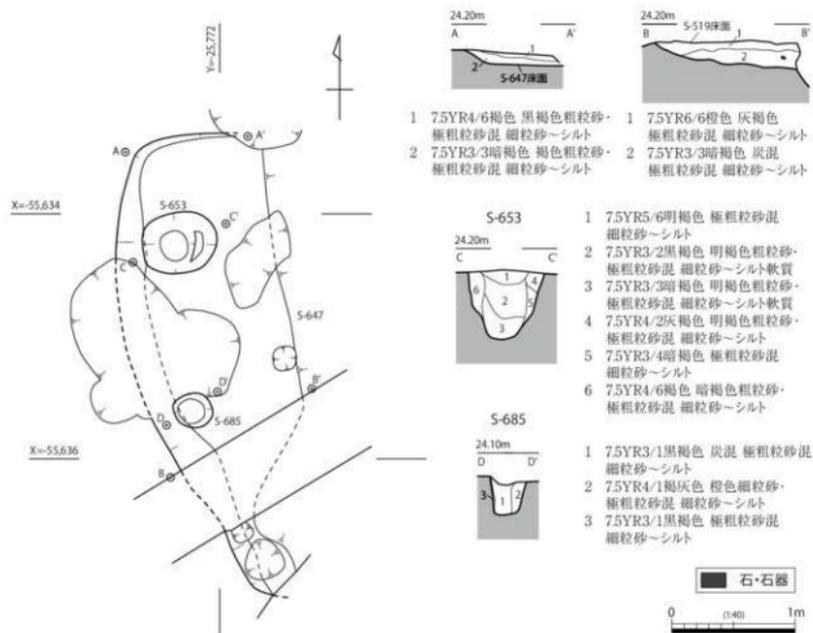


第三-5-169図 S-678段状遺構、S-667・679土坑 平・断面図

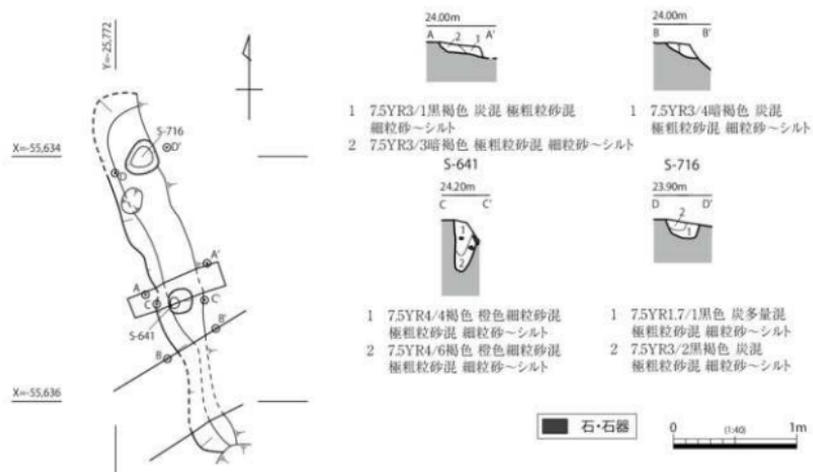
1.2mの規模で検出した。壁際には、幅0.30m前後、深さ6cm～11cmの壁溝があり、やや緩いカーブを描いて掘削されている。埋土中から弥生土器とみられる土器小片が出土した。

S-678段状遺構(第三-5-169図)

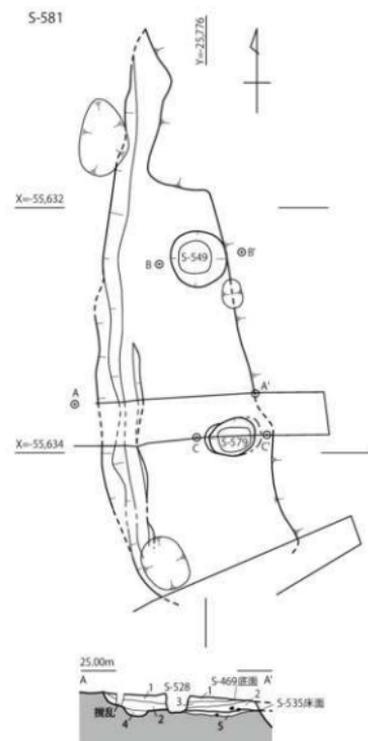
S-7・8段状遺構の下層に累積する段状遺構の中では最下層にあたる。一部が残存するのみであるが、北西-南東方向約1.2m、北東-南西方向約0.6mの規模で検出した。壁際には、幅0.12m～0.16m程度の浅い壁溝がある。埋土中から遺物は出土していない。



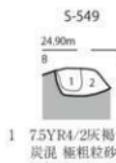
第三-5-170図 S-647段状遺構、S-653・685土坑 平・断面図



第三-5-171図 S-715段状遺構、S-641・716土坑 平・断面図



- 1 7.5YR6/6橙色 極粗粒砂多量に混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/2灰褐色 炭混 粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 5 7.5YR5/2灰褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト(貼床か)

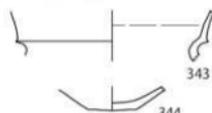


- 1 7.5YR4/2灰褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR3/3暗褐色 炭混 黒褐色細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

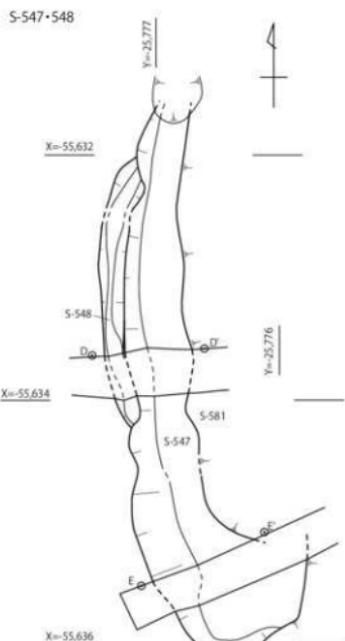


- 1 7.5YR4/1褐灰色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/2灰褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR4/2灰褐色 橙色細粒砂混 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

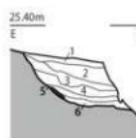
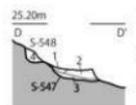
S-547・581出土遺物



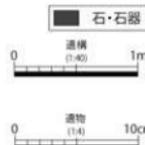
S-581 : 343・344
S-547 : 345



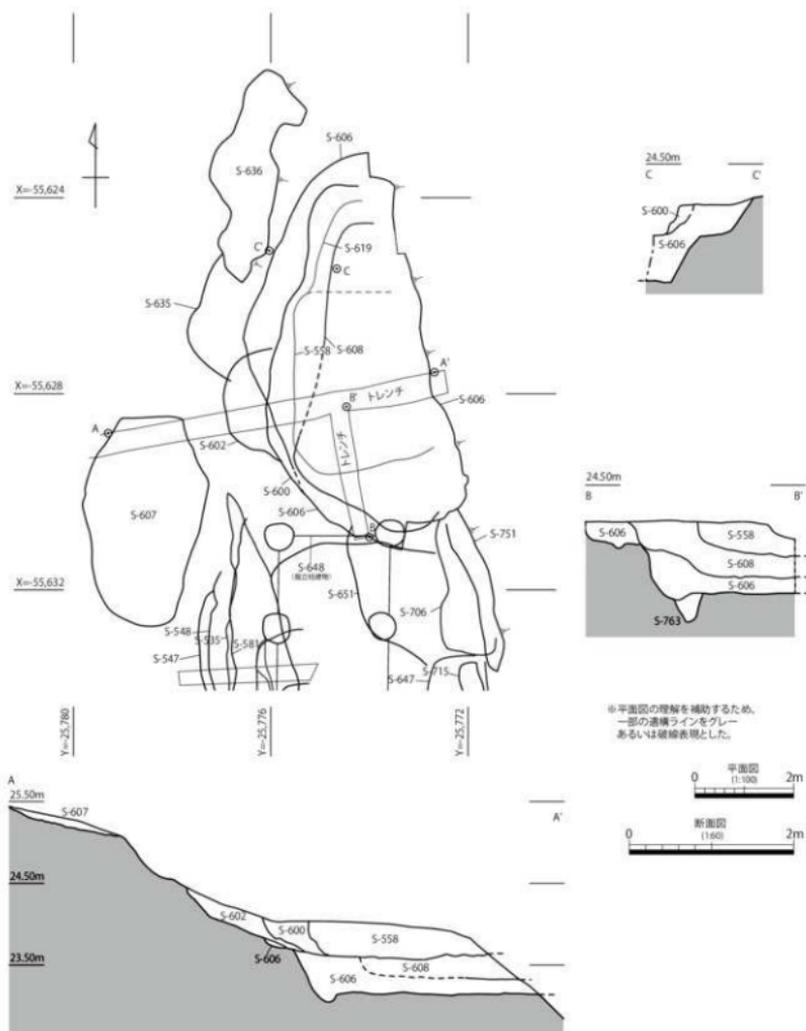
- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 橙色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR6/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/2灰褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR6/6褐色 炭混 灰褐色土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



- 1 7.5YR4/6褐色 炭混 明褐色細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/6明褐色 褐色細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR4/6褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 5 7.5YR4/6褐色 明褐色細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 6 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



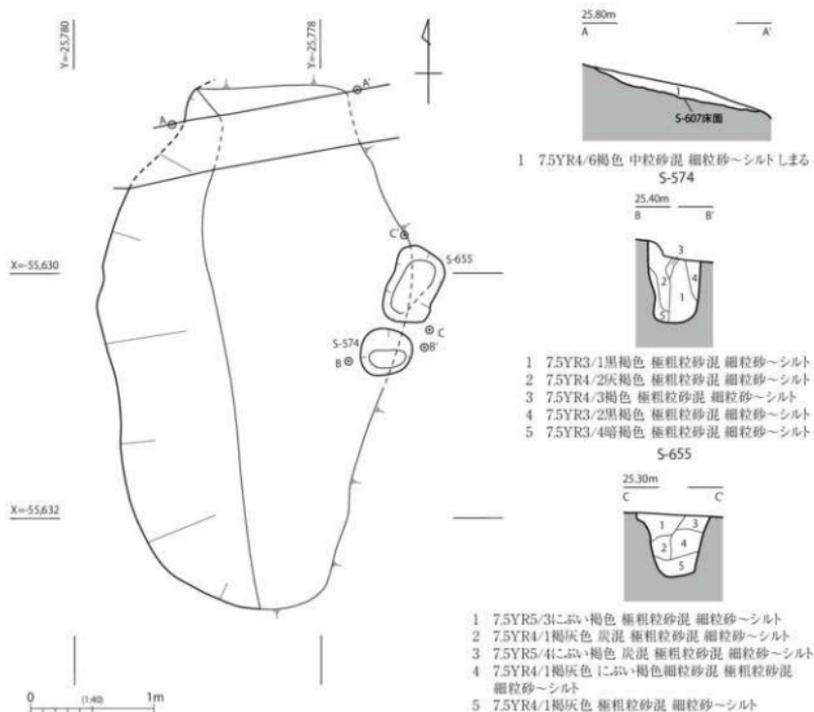
第三-5-172図 S-547・581段状遺構、S-548溝、S-549・579土坑 平・断面図
及びS-547・581出土遺物



第三-5-173図 S-606竪穴住居、S-558段状遺構周辺遺構概念図
(竪穴住居・段状遺構、一部土坑のみ)

S-647段状遺構(第三-5-170図)

S-519床面の東端部付近で検出した。上面をS-519に切られ、東側は谷(S-445)により流失している。南北方向約3.8m、東西方向約1.2mの規模で検出した。床面から柱穴状の土坑S-653・685を検出した。埋土中から遺物は出土しなかった。



第三・5-174図 S-607段状遺構、S-655・574土坑 平・断面図

S-715段状遺構(第三・5-171図)

S-647の下層にあたる。東側は、谷(S-445)により遺構の大部分が流失しており、南北方向約3.0m、東西方向約0.4mの規模で検出した。床面から土坑S-641・716が検出された。遺物は出土していない。

S-581段状遺構(第三・5-172図)

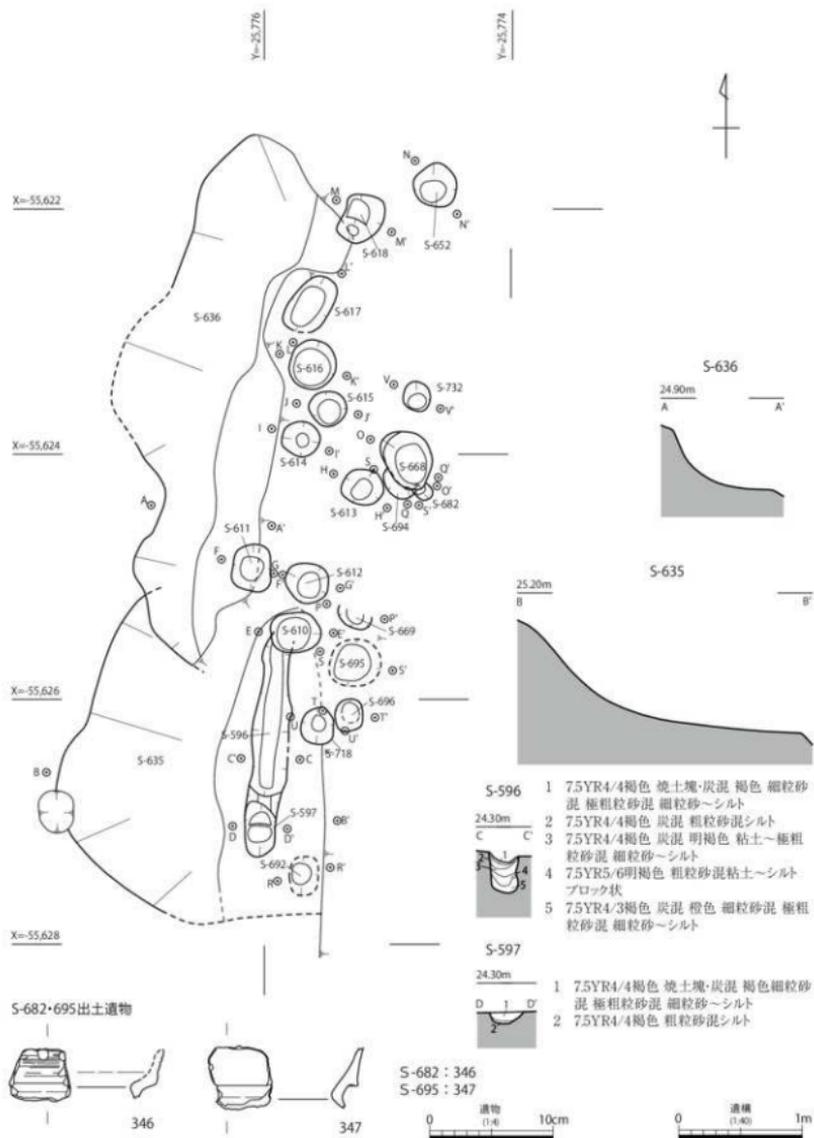
S-7・516より北側に位置する遺構である。上面を後述するS-469土坑により切られ、西側のS-547段状遺構を切る。南北方向約4.7m、東西方向約1.2mの規模で検出した。壁際の一部で、幅20cm～25cmの浅い壁溝を検出した。床面でS-549・579土坑を検出した。埋土中から甕343、底部344が出土した。

S-547段状遺構(第三・5-172図)

S-581・469に切られる。南北方向約4.4m、東西方向約0.8mの規模で検出した。埋土中から、甕345が出土した。

S-548溝(第三・5-172図)

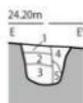
S-547の床面から約0.15m高い位置で検出した。幅0.17m～0.22m、長さ約2.2m、深さ3cm～



第Ⅲ-5-175図 S-635・636段状遺構、S-596溝、S-597・610～618等土坑 平・断面図及び出土遺物

第三章 1区の調査

S-610



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/4褐色 焼土塊・炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR4/4褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR5/6明褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 5 7.5YR4/6褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-611



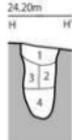
- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/8明褐色 炭混 にぶい褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/8明褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト ブロック主体

S-612



- 1 7.5YR4/4褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/4褐色 炭混 細粒砂シルト 褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR4/4褐色 炭混 細粒砂シルト
- 4 7.5YR5/3にぶい褐色 明褐色 細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-613



- 1 7.5YR4/4褐色 炭混 明褐色 細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/4褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/4にぶい褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR4/4褐色 明褐色 細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト しまる

S-614



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/6明褐色 にぶい褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-615



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 明褐色 細粒砂混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-616



- 1 7.5YR4/6褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/6明褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-617



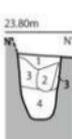
- 1 7.5YR4/6褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/6明褐色 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-618



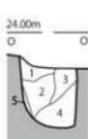
- 1 7.5YR5/6明褐色 炭混 にぶい褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR5/4にぶい褐色 明褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/6明褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-652



- 1 7.5YR5/4にぶい褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/4褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR5/4にぶい褐色 炭混 棕色 土混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR5/6明褐色 岩盤ブロック混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト

S-668



- 1 7.5YR4/2灰褐色 炭混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/3褐色 炭混 棕色 細粒砂～シルト多量混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 3 7.5YR4/3褐色 炭混 棕色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 4 7.5YR4/1褐色 粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 5 7.5YR4/1褐色 棕色 細粒砂～シルト混 粗粒砂混 細粒砂～シルト

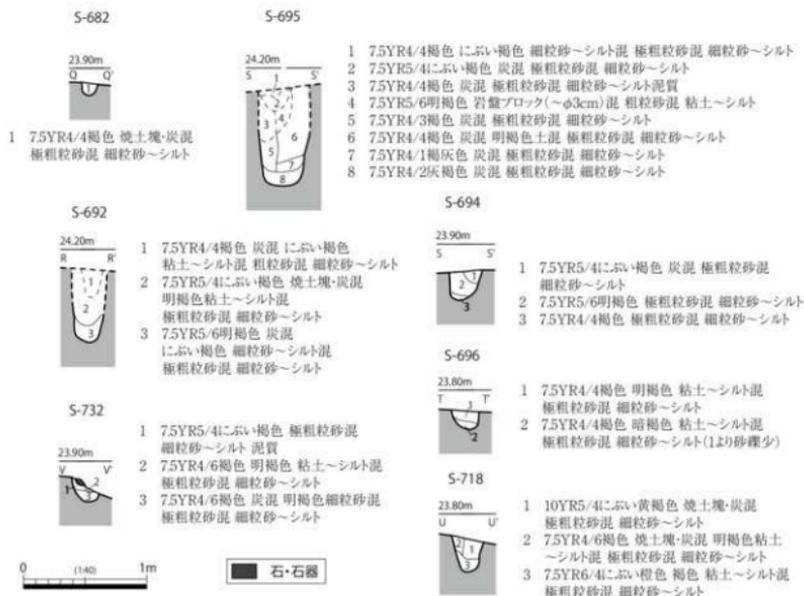
S-669



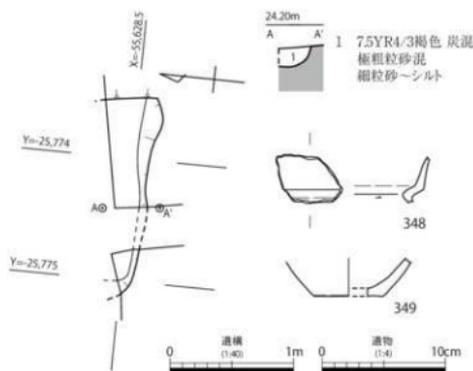
- 1 7.5YR4/6褐色 炭混 褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト
- 2 7.5YR4/4褐色 炭混 褐色 細粒砂～シルト混 極粗粒砂混 細粒砂～シルト



第三-5-176図 S-635・636段状遺構 土坑断面図1



第三ー5ー177図 S-635・636段状遺構 土坑断面図2



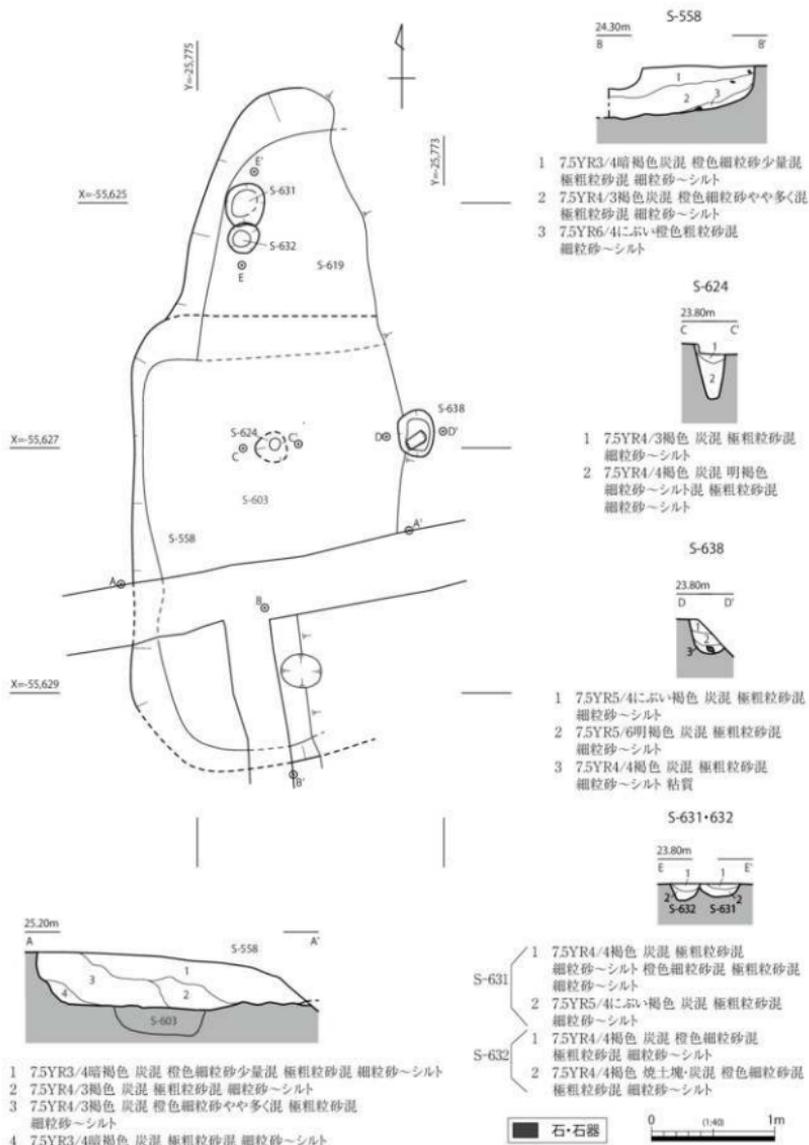
5 cm程度の溝である。S-547段状遺構やS-469土坑構築以前の段状遺構の壁溝とみられる。遺物は出土していない。

9 S-606竪穴住居、S-608・635段状遺構周辺の遺構(第三ー5ー173～205図)

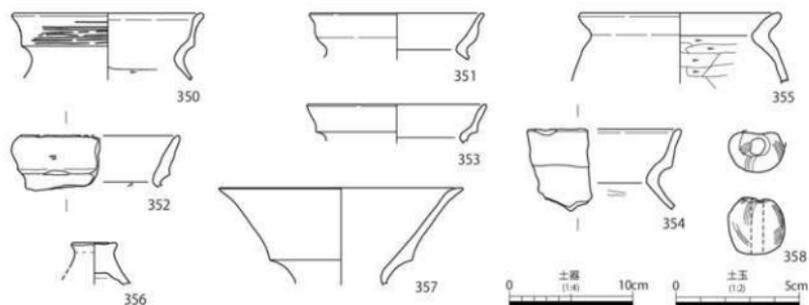
標高約23m～25.5m付近に広がる、竪穴住居、段状遺構等の一群で、地形的には、前項「8 S-2・7・8段状遺構周辺の遺構」で報告した遺構よりやや東に軸を振った東向きの斜面部にあたる。検出した遺構は、竪穴住居

第三ー5ー178図 S-564土坑 平・断面図及び出土遺物

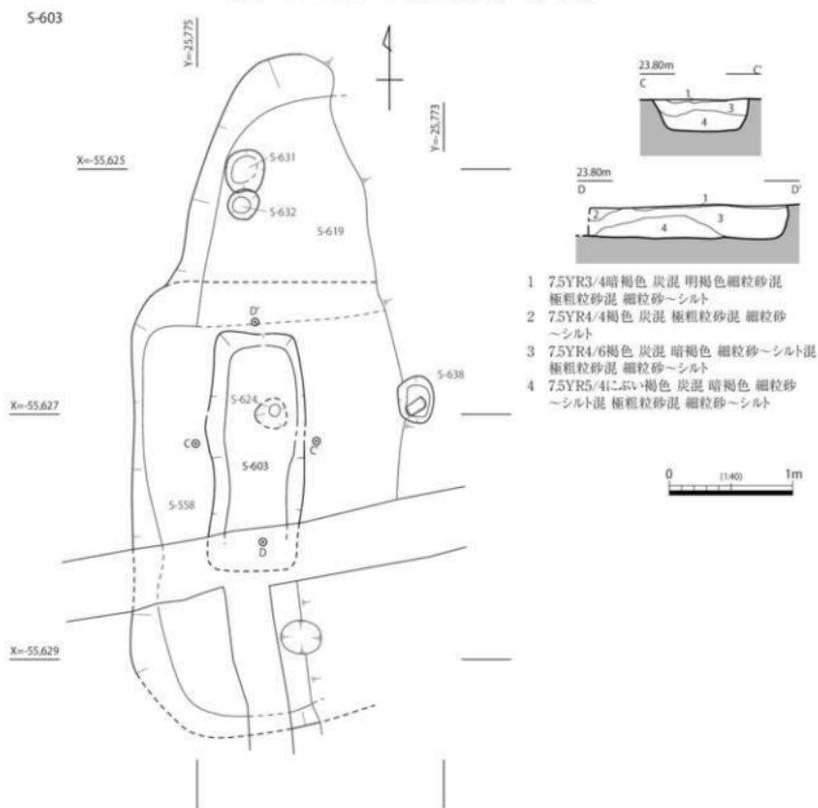
1棟、段状遺構11基、掘立柱建物1棟、土坑である。乙亥正V期～Ⅶ期頃にかけての遺構とみられる。東側を谷(S-445)や、近世以降とみられるS-475段状遺構により大きく削平されているが、本来は弥生時代後期から古墳時代前期にかけて形成された1区の加工段の中で最も広く、継続的に利用された場所である。



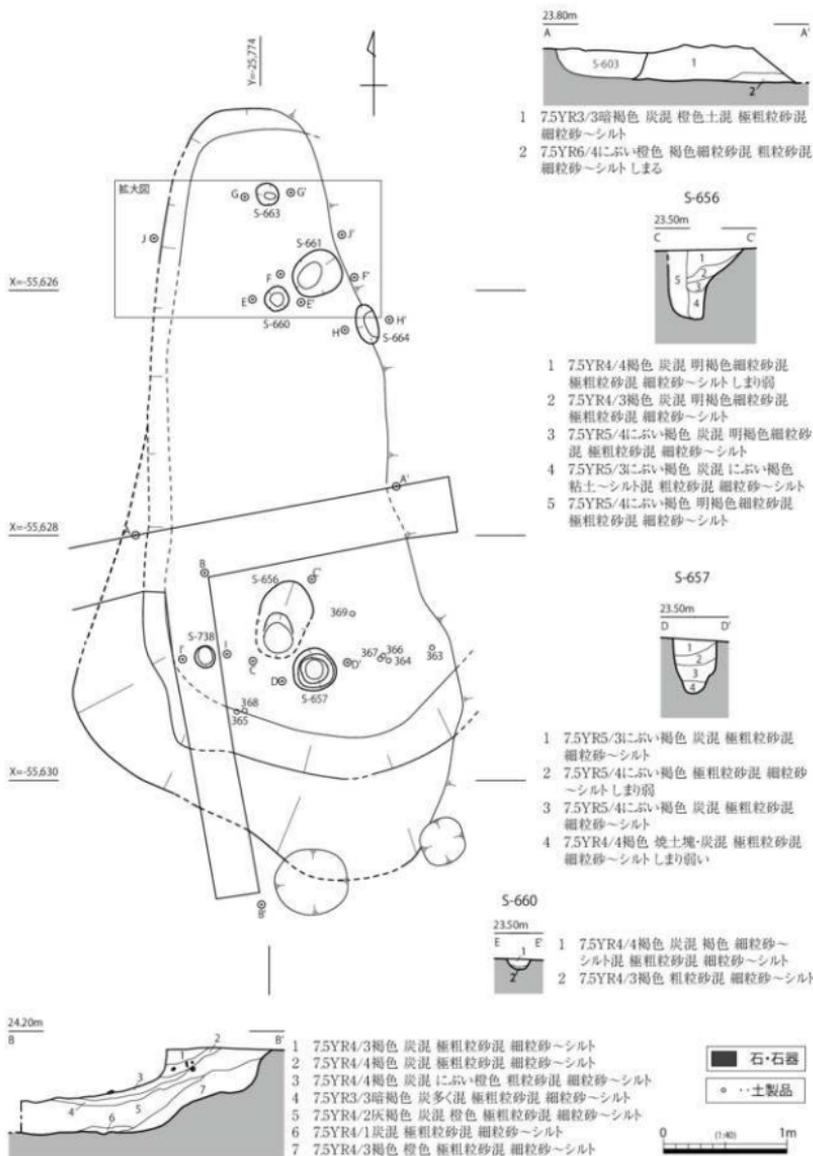
第三 - 5 - 179図 S-558・619段状遺構、S-624・631・632・638土坑 平・断面図



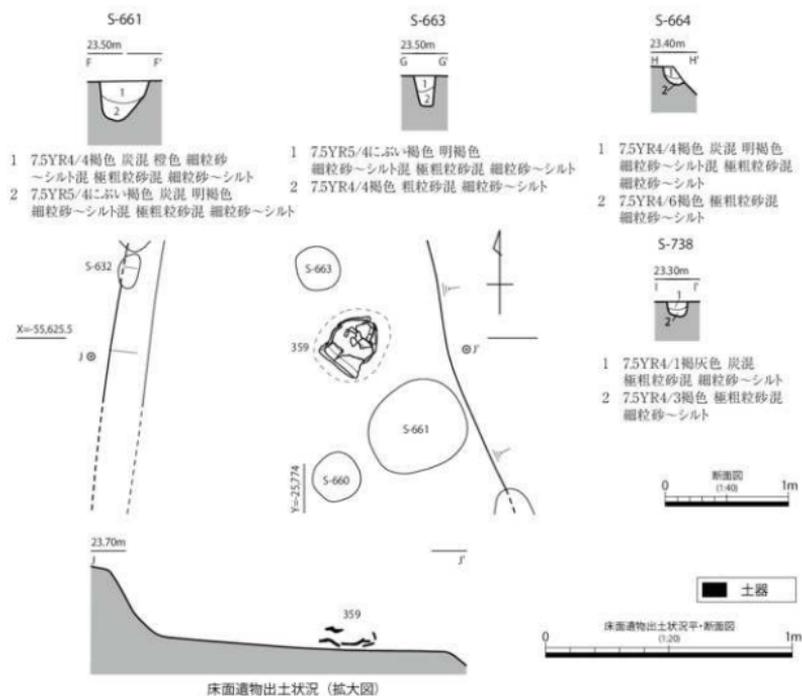
第Ⅲ-5-180図 S-558段状遺構 出土遺物



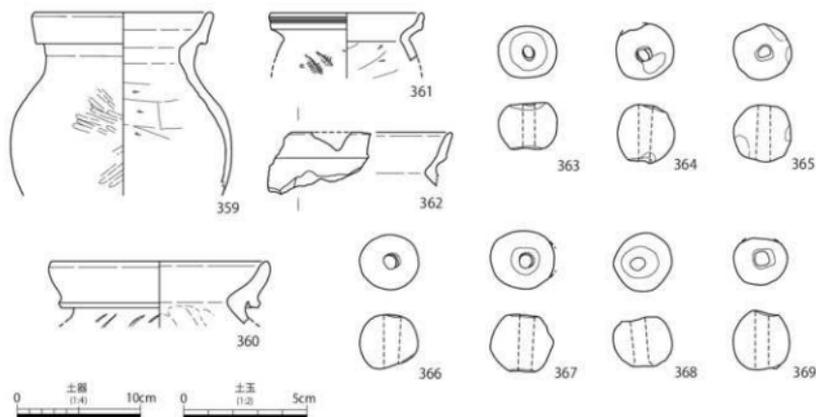
第Ⅲ-5-181図 S-603土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-182図 S-608段状遺構、S-660・661・663・664・656・657・738土坑 平・断面図

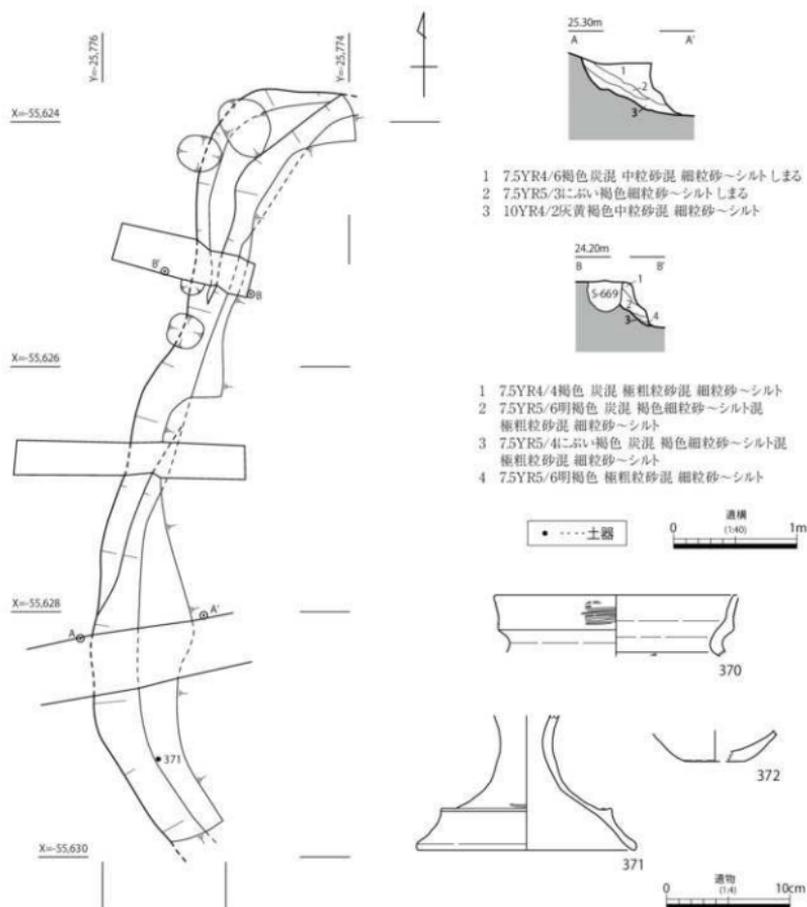


第三-5-183図 S-608段状遺構 土坑断面図、床面遺物出土状況 平・断面図



第三-5-184図 S-608段状遺構 出土遺物

第三章 1区の調査



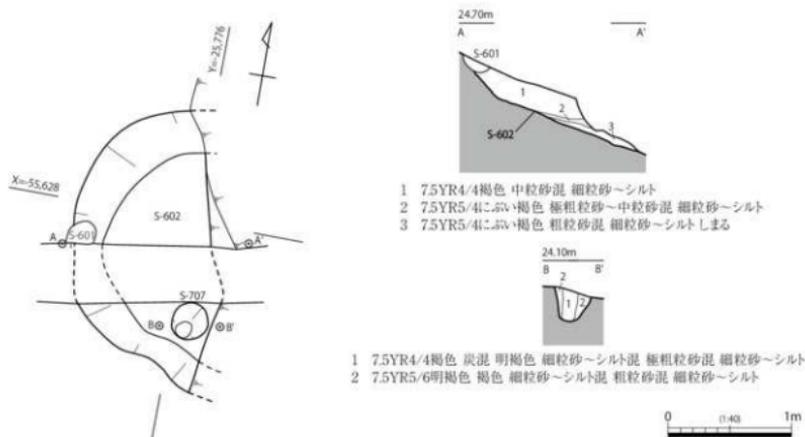
第三-5-185図 S-600段状遺構 平・断面図及び出土遺物

S-607段状遺構(第三-5-174図)

本項で詳説する遺構の中では最も高い位置にあり、標高約25.0mを底面とし、南北方向約4.3m、東西方向約2.5mの規模で検出した。底面は西から東に向けて傾斜しており、10cm～25cm程度の落差がある。底面から、S-574・655土坑を検出した。埋土中から遺物は出土していない。

S-635・636段状遺構(第三-5-175～177図)

S-636は南北方向4.4m、東西方向約1.4m、S-635は南北方向約2.5m、東西方向約2.1mの規模で検出した。両者の床面には約10cmの落差があるが、堆積層が浅く切り合い関係は不明である。S-613・668・694・732は、S-558・619段状遺構及び、606竅穴住居の埋土上面で検出したことから、



第Ⅲ-5-186図 S-602土坑 平・断面図

S-558・619・606よりは新しいと考えられる。両者とも壁は比較的穏やかに立ち上がるもので、S-635の壁際近くには幅20cm～30cm程度の浅い壁溝がある。床面周辺から多数の柱穴状の土坑を検出した。柱穴同士のセット関係は不明である。埋土中から遺物は出土していないが、S-682から甕346、S-695から甕347が出土し、乙亥正VI～VII期頃の土器とみられる。

S-564土坑(第Ⅲ-5-178図)

S-558段状遺構の埋土上面で検出した土坑である。東西方向約1.6mの範囲で検出したが、全体像は不明である。埋土中から甕348、底部349が出土した。

S-558・619段状遺構(第Ⅲ-5-179・180図)

埋土掘削時は一つの遺構として調査したが、西側の壁面が「L」字状に屈曲して検出されたことから、北側をS-619、南側をS-558として理解している。床面レベルも同じで、両者の切り合い関係は不明である。S-558は南北方向約3.7m、東西方向約2.2mの規模で、検出面から床面までは約0.4mである。

壁溝はなく、床の壁際は比較的緩慢に仕上げられている。床面から柱穴状の土坑S-624・638を検出した。

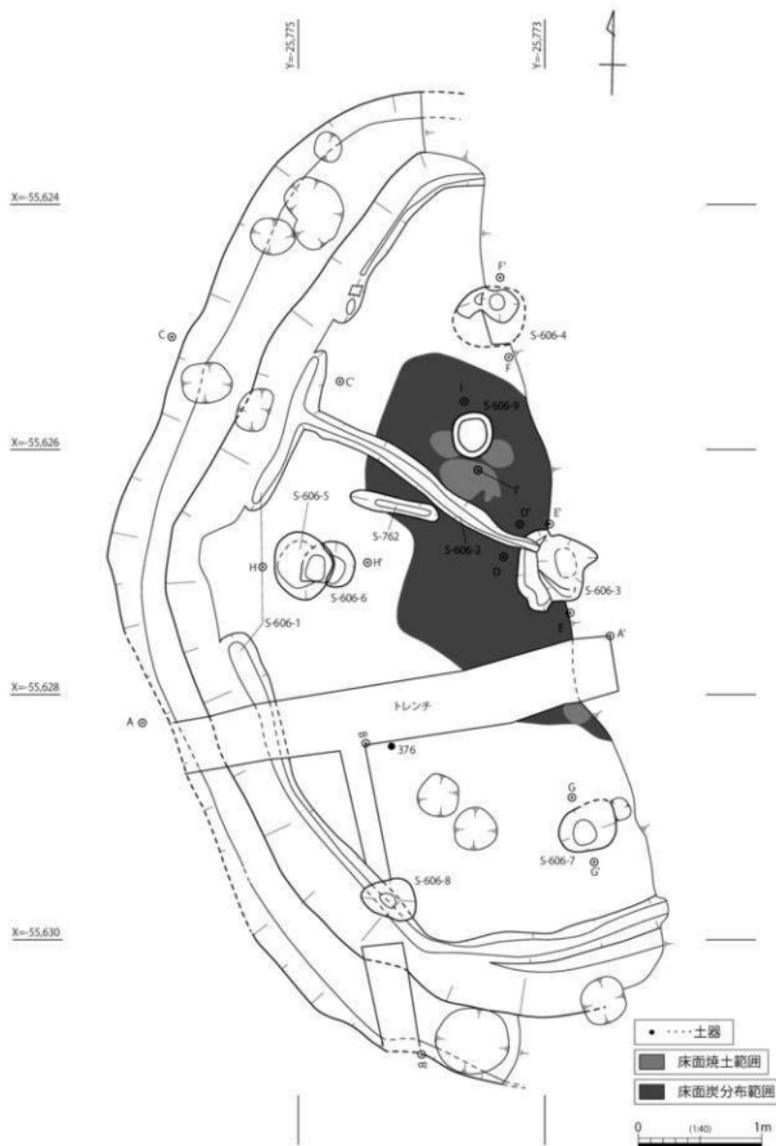
S-619は、南北方向1.9m、東西方向1.5mの範囲で検出した。床面から土坑S-631・632を検出したが、上層からの掘り込みの可能性がある。

S-558・619の埋土中から、壺350・351、甕352～355、器台357、蓋356、土玉358が出土した。両遺構を同時に掘削したため遺構の所属は不明である。概ね乙亥正VI～VII期頃の土器と推定される。

S-603土坑(第Ⅲ-5-181図)

S-558の床面で検出したもので、S-558に伴う可能性もある。長軸は2.0m前後、短軸は最大0.81m、深さ約0.3mの平面長方形をなす。埋土中から土器小片が出土した。

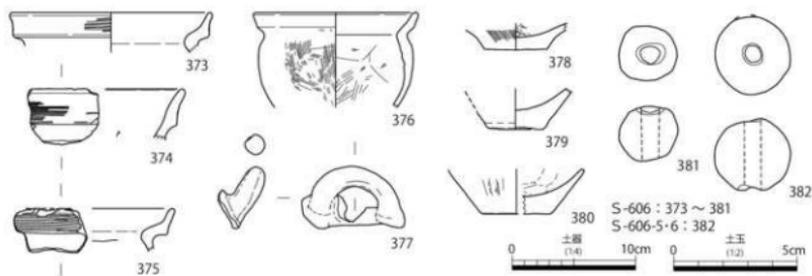
S-608段状遺構(第Ⅲ-5-182～184図)



第Ⅲ-5-187図 S-606竪穴住居 平面図



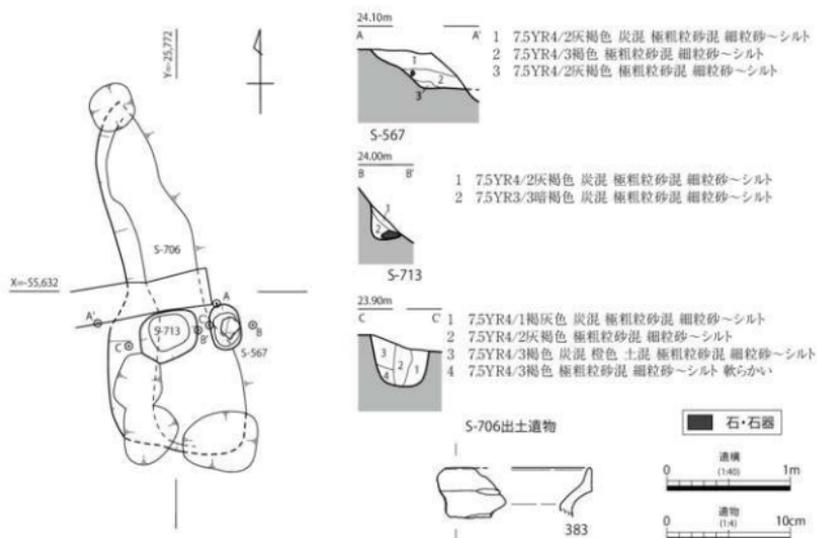
第三-5-188図 S-606竅穴住居 断面図



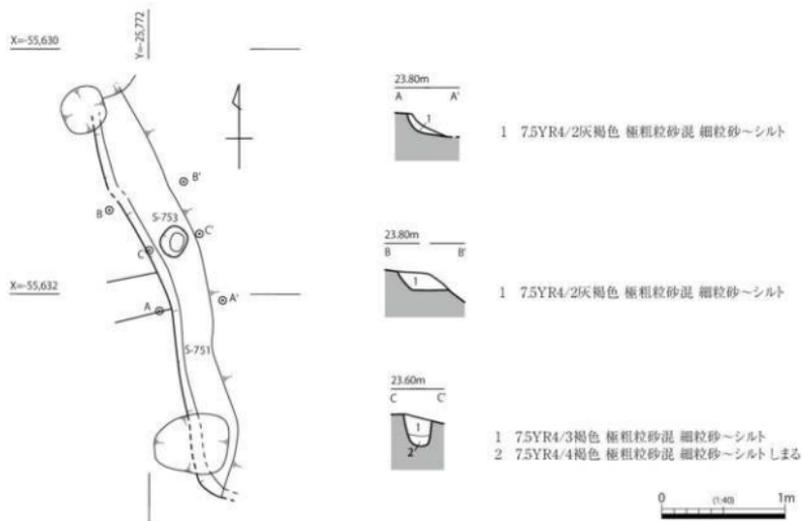
第三-5-189図 S-606竪穴住居 出土遺物



第三-5-190図 S-651段状遺構、S-503・684・717・776・796土坑 平・断面図

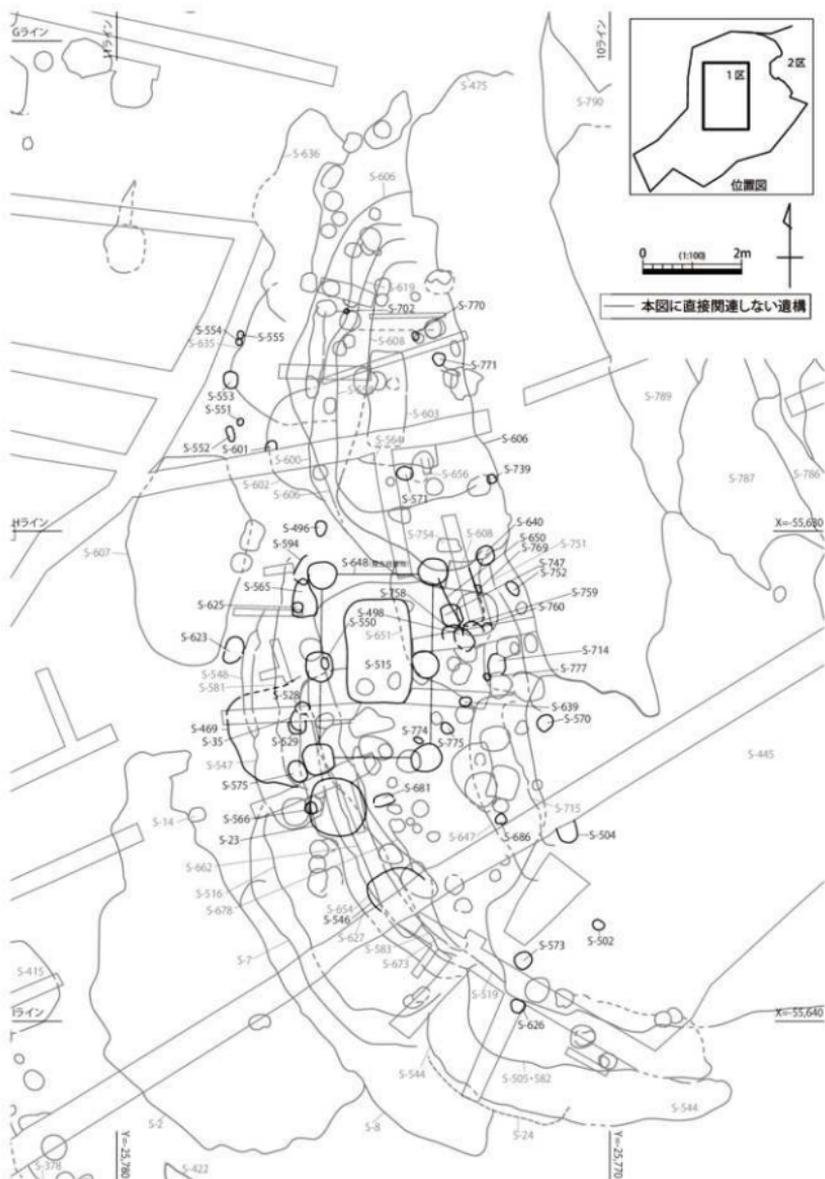


第三-5-191図 S-706段状遺構、S-657・713土坑 平・断面図及び出土遺物

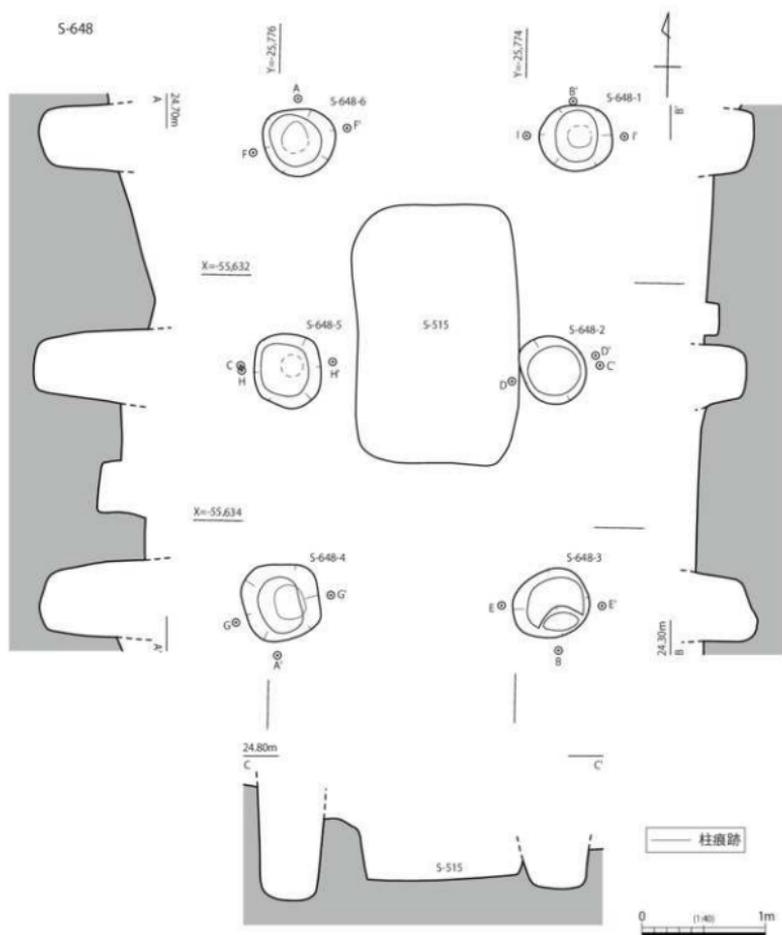


第三-5-192図 S-751段状遺構 平・断面図

第三章 1区の調査



第Ⅲ-5-193図 S-558・606周辺遺構配置図(竪穴住居・段状遺構との関係が不明な土坑等)



第三-5-194図 S-648掘立柱建物 平・断面図

S-558の下層、S-606の上層にあたる。南北方向約6.1m、東西方向約3.1m、床面までの深さ0.67mの規模で検出した。床面からS-656・657・661等の柱穴状の土坑を検出した。S-656・657は底面レベルも近いが、明確な柱配置は不明である。

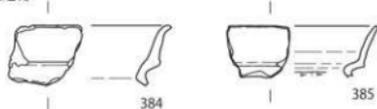
床面直上から、壺359、及び土玉363～369、埋土中から甕360～362が出土した。壺359は、ほぼ完形の個体が横転した状態で出土したが、下半部が細片化により復元・図化できていない。土玉は床面南端部付近でまとまって出土した。土器から、乙亥正V期頃の遺構と考えられる。

S-600段状遺構(第三-5-185図)

第三章 1区の調査



S-648-5-6出土遺物



S-648-5: 384
S-648-6: 385

遺物 (1:4) 10cm

第三-5-195図 S-648掘立柱建物 柱穴平・断面図及び出土遺物

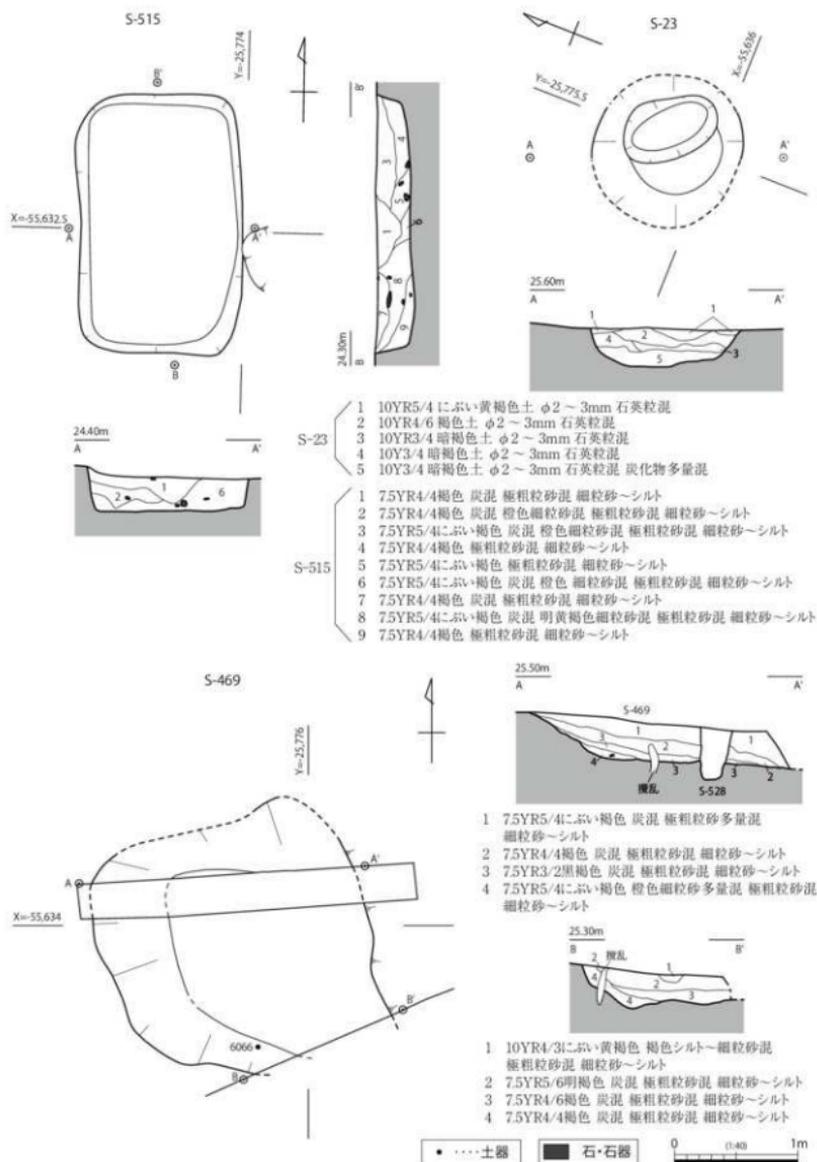
東側をS-558に切られる。南北方向約6.2m、東西方向での幅が約0.70mである。東側のS-608の二段掘りの上段部であった可能性もある。壁面は比較的緩やかに立ち上がるもので、壁溝や土坑は検出していない。

埋土中から甕370、底部372、器台371が出土した。概ね乙亥正VI期頃の土器と推定される。

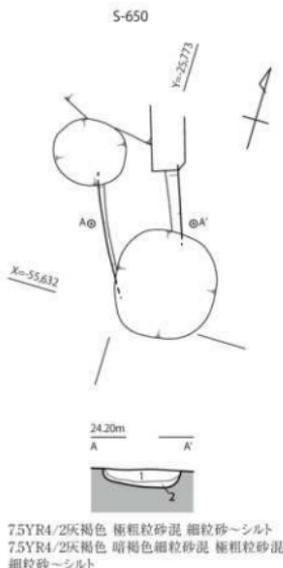
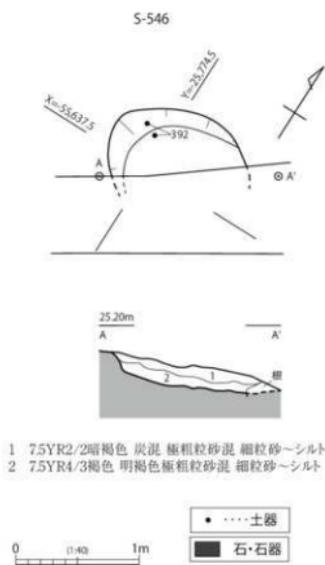
S-602土坑(第三-5-186図)

東側をS-600に切られ、S-606の上段部を切る。南北方向約2.2m、東西方向約1.1mの規模で検出した。底面は東側に大きく傾斜している。底面から土坑S-707を検出した。遺物は出土していない。

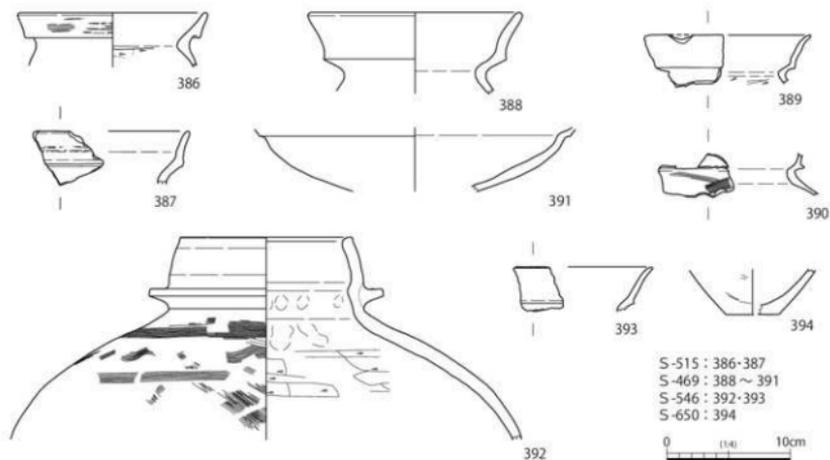
S-606竅穴住居(第三-5-187~189図)



第Ⅲ-5-196図 S-23・469・515土坑 平・断面図

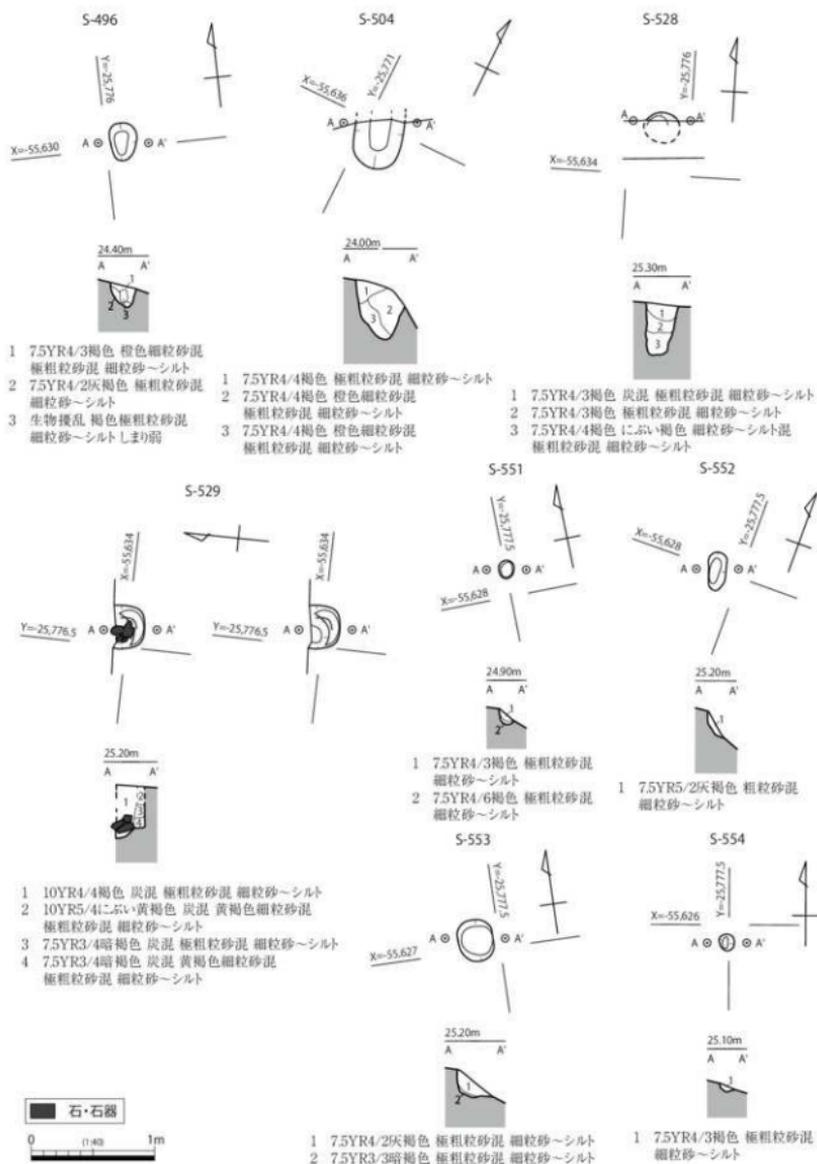


第Ⅲ-5-197図 S-546・650土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-198図 S-515・469・546・650土坑 出土遺物

S-558・600・602・608より古い遺構である。二段掘りになっており、上段部を含めた規模は、南北方向約8.1m(床面で約6.4m)、東西方向約3.6m(床面で約2.8m)、上段部上端から床面までの深さは約1.4m、上段部底面から床面までは概ね0.5m程度である。遺構の形状や柱穴の配置から、平面六

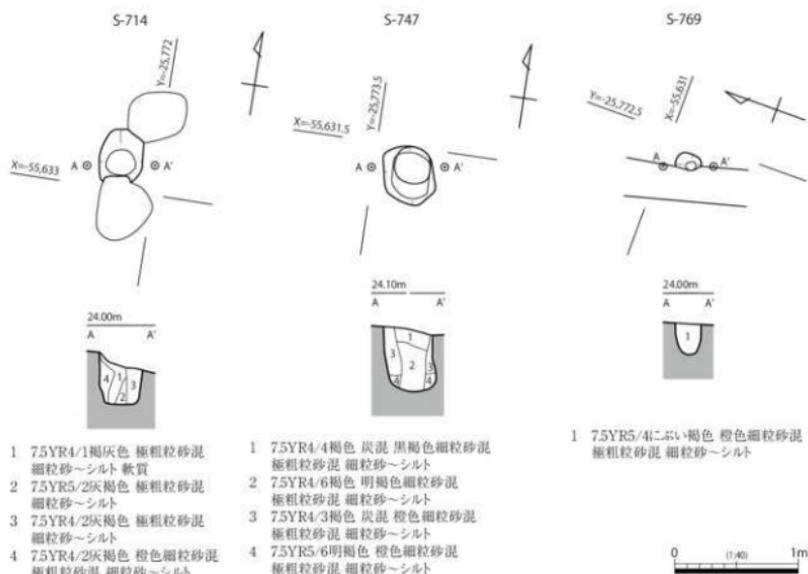


第Ⅲ-5-199図 S-496・504・528・529・551～554土坑 平・断面図

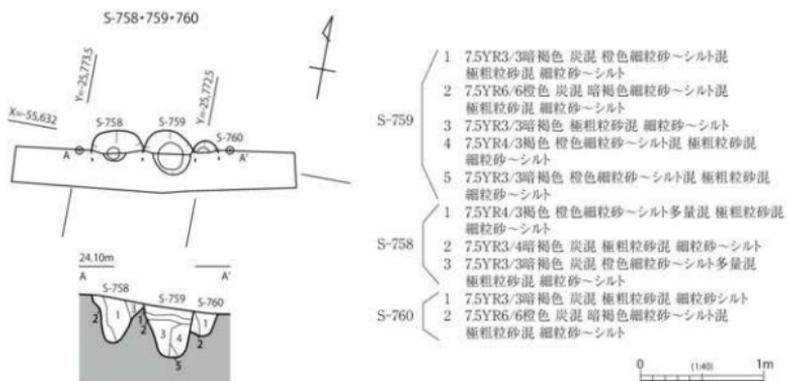
第三章 1区の調査



第三-5-200図 S-555・570・571・573・575・623・625・640土坑 平・断面図及び出土遺物



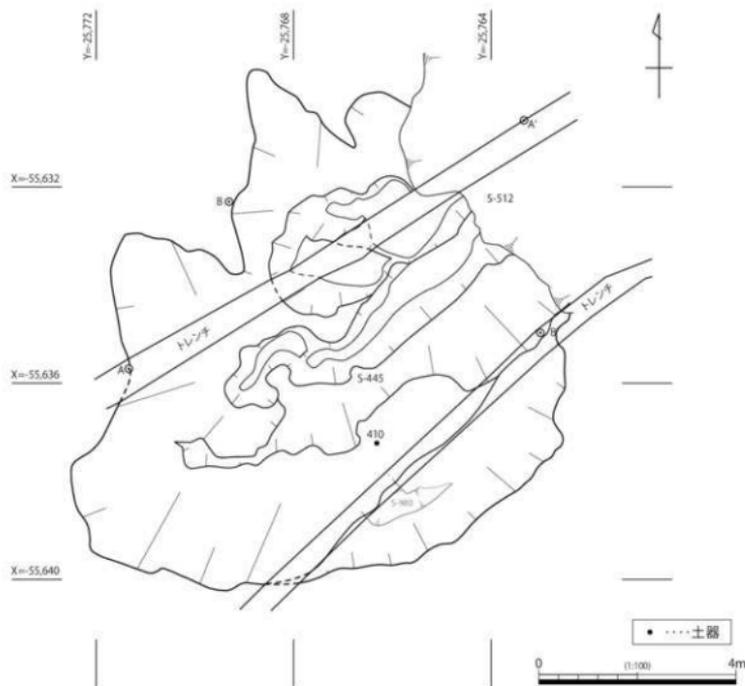
第Ⅲ-5-201図 S-714・747・769土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-202図 S-714・747・769土坑 平・断面図

角形の竪穴住居と判断される。上段部は、調査当初は別遺構として掘削したが、下段部と相似形に巡る形状や土層断面の検討から、二段掘りの一部と判断したものである。

床面では、幅0.1m～0.25m、深さ1cm～3cm程度の周壁溝S-606-1がある。遺構のほぼ中央にあたる位置には土坑S-606-3があり、周壁溝からS-606-3まで周壁溝と同様の小溝S-606-2が掘削されている。建物の主柱穴とみられる土坑はS-606-4・6・7である。



第三-5-203図 谷(S-445) 平面図

柱間距離は、2.6m(606-4-606-6)、3.0m(606-6-606-7)である。また、主柱穴とS-606-3の間では焼土面(地床?)を大きく2箇所検出し、周辺の床面には薄い炭化物の広がりが出た。

床面直上から底部379、埋土中から甕373~376、底部378・380、把手377、土玉381、S-606-5・6から382が出土した。このうち甕375は壁面上段部からの出土である。概ね乙亥正V~VI期頃の遺構と考えられる。

S-651段状遺構(第三-5-190図)

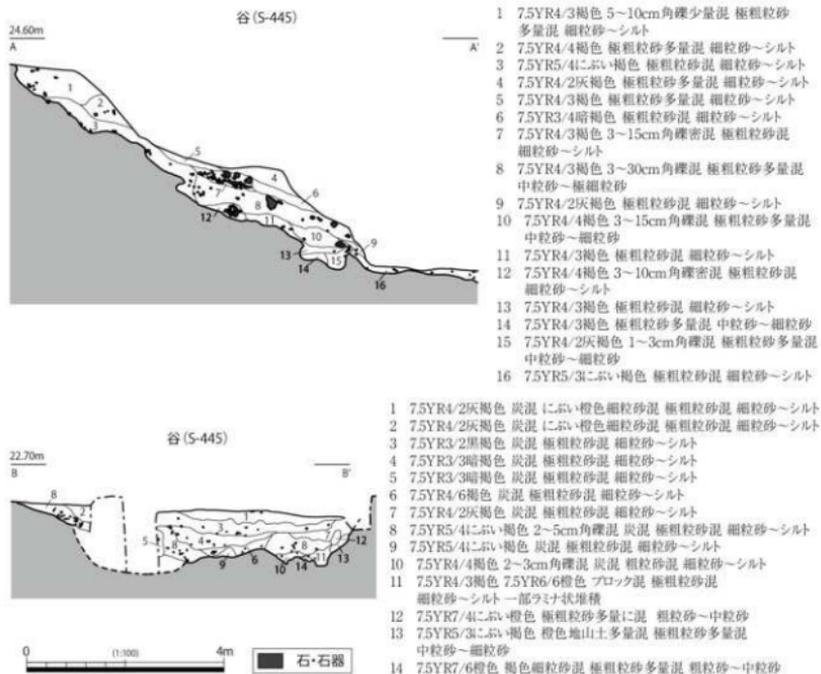
S-519段状遺構の底面で検出したもので、北側のS-606・608との前後関係は不明である。北西-南東方向約3.3m、北東-南西方向約1.5mの規模で検出した。床面からS-776・796等の土坑を検出したが、S-651の埋土が薄いため、本遺構より新しいものが含まれているかもしれない。埋土中から遺物は出土していない。

S-706段状遺構(第三-5-191図)

S-651の床面で検出した。北西-南東方向約2.6m、北東-南西方向約1.0mの規模で検出された。床面で土坑S-567・713を検出した。埋土中から甕383が出土した。

S-751段状遺構(第三-5-192図)

S-706の床面で検出した。北西-南東方向約3.4m、北東-南西方向約0.4mの規模で検出した。床



第Ⅲ-5-204図 谷(S-445) 断面図

面から土坑S-753を検出した。埋土中から遺物は出土していない。

S-606竪穴住居、S-558段状遺構周辺の遺構、谷部包含層(S-445) (第Ⅲ-5-193~205図)

第8・9項で詳説した竪穴住居、段状遺構との関係が不明な建物跡・土坑、及び、S-1・2・7段状遺構の斜面下方に広がる谷部の包含層堆積について以下で報告する。

S-648掘立柱建物(第Ⅲ-5-194・195図)

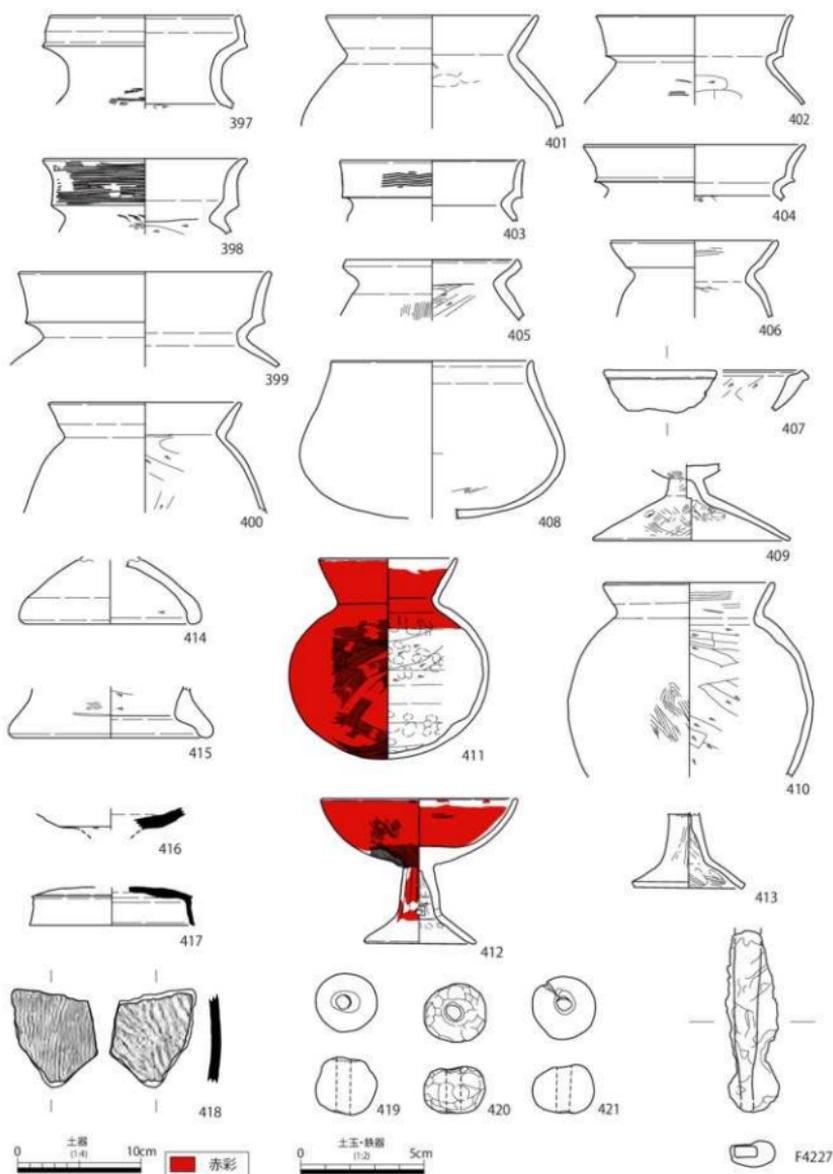
S-648-4・5付近の遺構切り合い関係(第Ⅲ-5-163図)から、S-583・627・654段状遺構より新しく、S-547・581段状遺構より古い遺構である。ほぼ南北方向を主軸とし、桁行2間×梁間1間の規模をなす。柱間距離は、桁行方向が1.9m~2.0m、梁間方向が2.2m~2.3mである。土層断面と検出面で確認できた柱痕からみると、直径0.18m~0.28m程度の柱であったと推定される。

S-648-5埋土中から甕384、S-648-6埋土中から甕385が出土した。

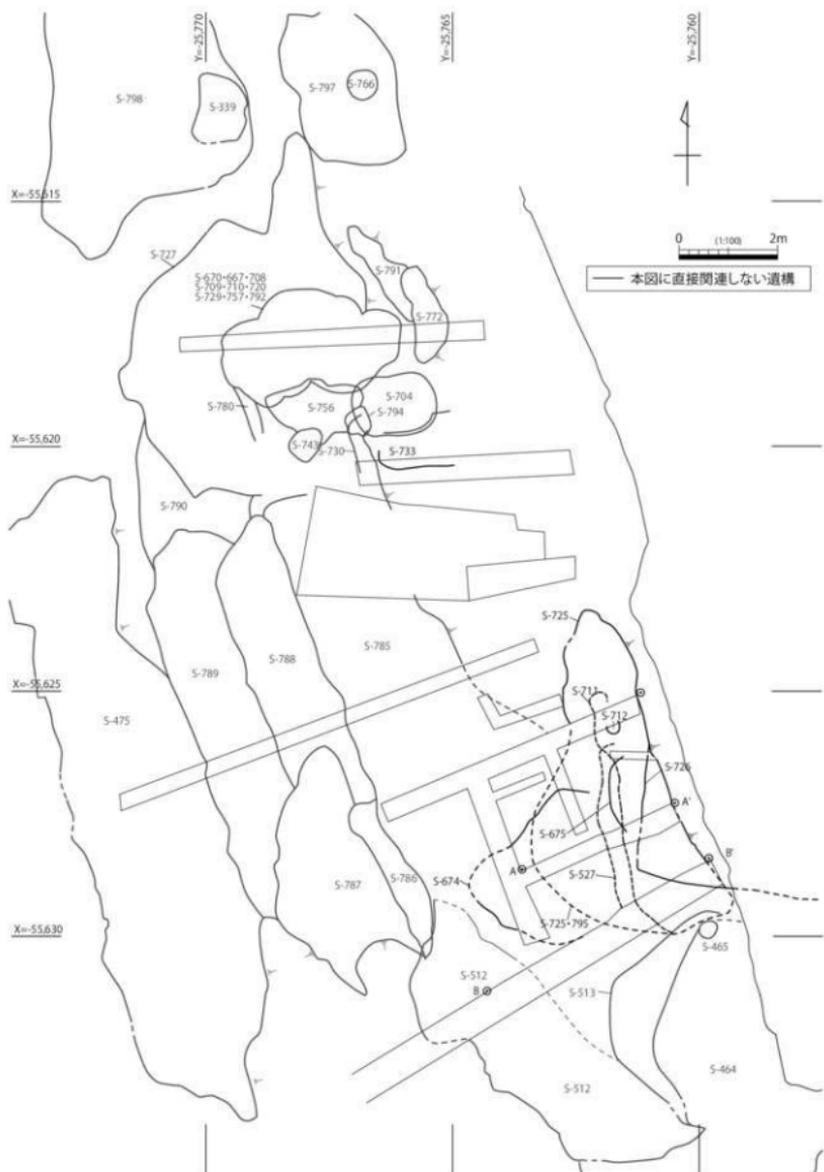
S-515土坑(第Ⅲ-5-196・198図)

南北方向の長軸2.10m、短軸1.32m、検出したS-519床面からの深さは0.42mの平面長方形を呈する。S-648掘立柱建物の梁桁内に位置し、主軸方向もほぼ一致することから、本来的にはS-648の土間か床下に存在した土坑の可能性がある。ただ、埋土中から出土した、甕386・387はやや古手のもの

第三章 1区の調査

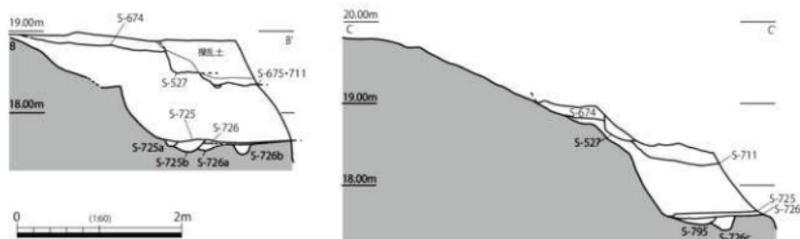


第三-5-205図 谷(S-445)包含層 出土遺物

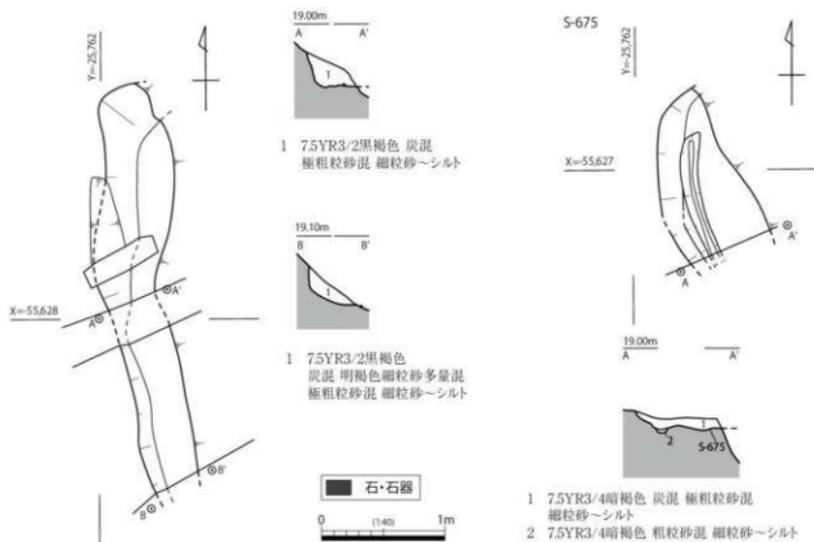


第Ⅲ-5-206図 S-711・725・726段状遺構周辺遺構概念図1 (段状遺構のみ)

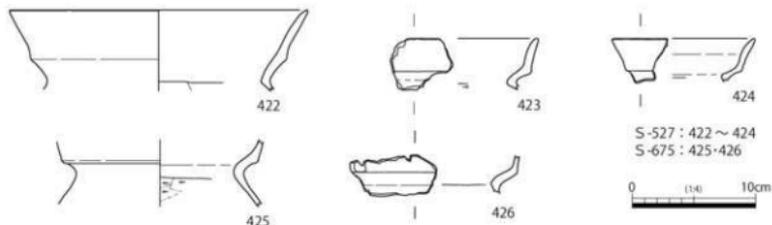
第三章 1区の調査



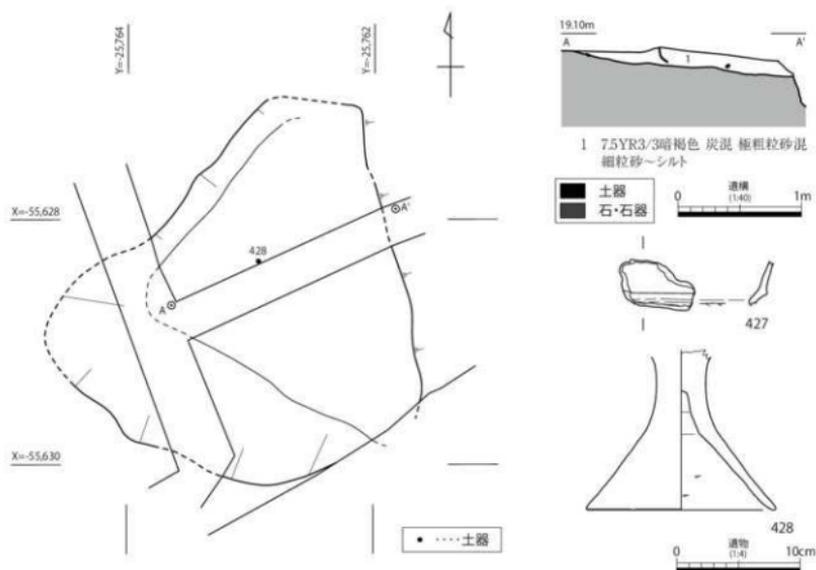
第三-5-207図 S-711・725・726段状遺構周辺遺構概念図2



第三-5-208図 S-527・675段状遺構 平・断面図



第三-5-209図 S-527・675段状遺構 出土遺物



第三-5-210図 S-674段状遺構 平・断面図及び出土遺物

で、乙亥正Ⅶ期頃の土器とみられる。

S-23土坑(第三-5-196図)

S-7埋土を切って掘削されている。直径約1.2m程度、深さ約0.32m、平面がほぼ円形の土坑と推定される。遺物は出土しなかった。

S-469土坑(第三-5-196・198図)

S-547・548・581段状遺構を切る(第三-5-146図)。南北方向約2.2m、東西方向約2.1m、深さ0.54m、平面が不整形を呈する。埋土中から、乙亥正Ⅶ期頃とみられる壺388、甕389・390、高坏391が出土した。

S-546土坑(第三-5-197・198図)

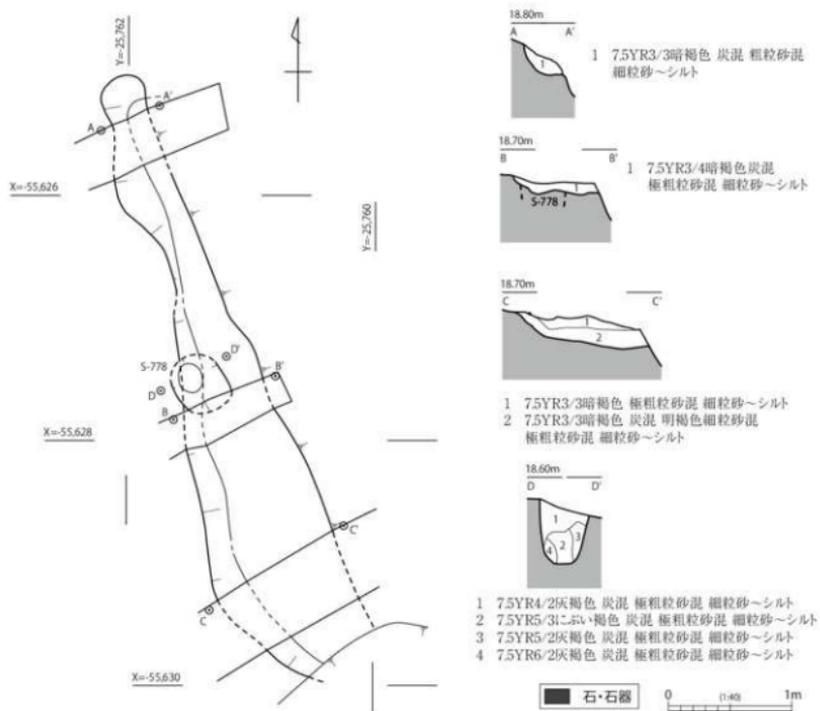
S-515段状遺構の埋土を切り、S-7段状遺構より古い遺構である(第三-5-197図)。南側はトレンチにより残存しないが、直径1.2m程度、深さ0.24mの土坑と推定される。埋土中から、大型の壺392、甕393が出土した。壺392は斜面上部のS-1埋土中から出土した破片と接合している。乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の土器と推定される。

S-650土坑(第三-5-197・198図)

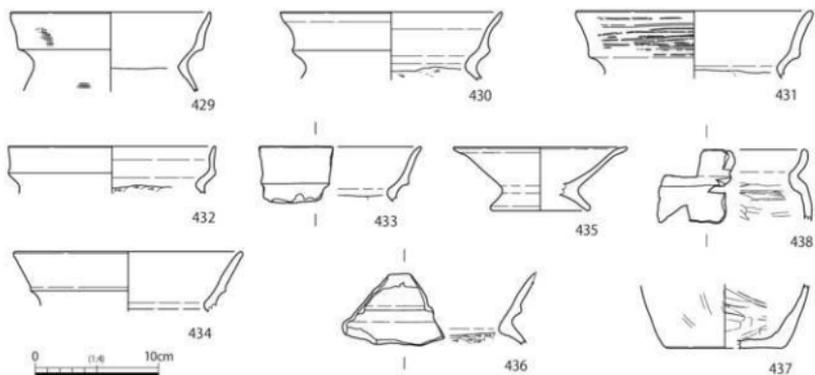
掘立柱建物の柱穴S-648-1に切られる。幅約0.6m、長さ約0.8mの規模で検出された。埋土中から、底部394が出土した。

S-445谷(第三-5-203・204図)

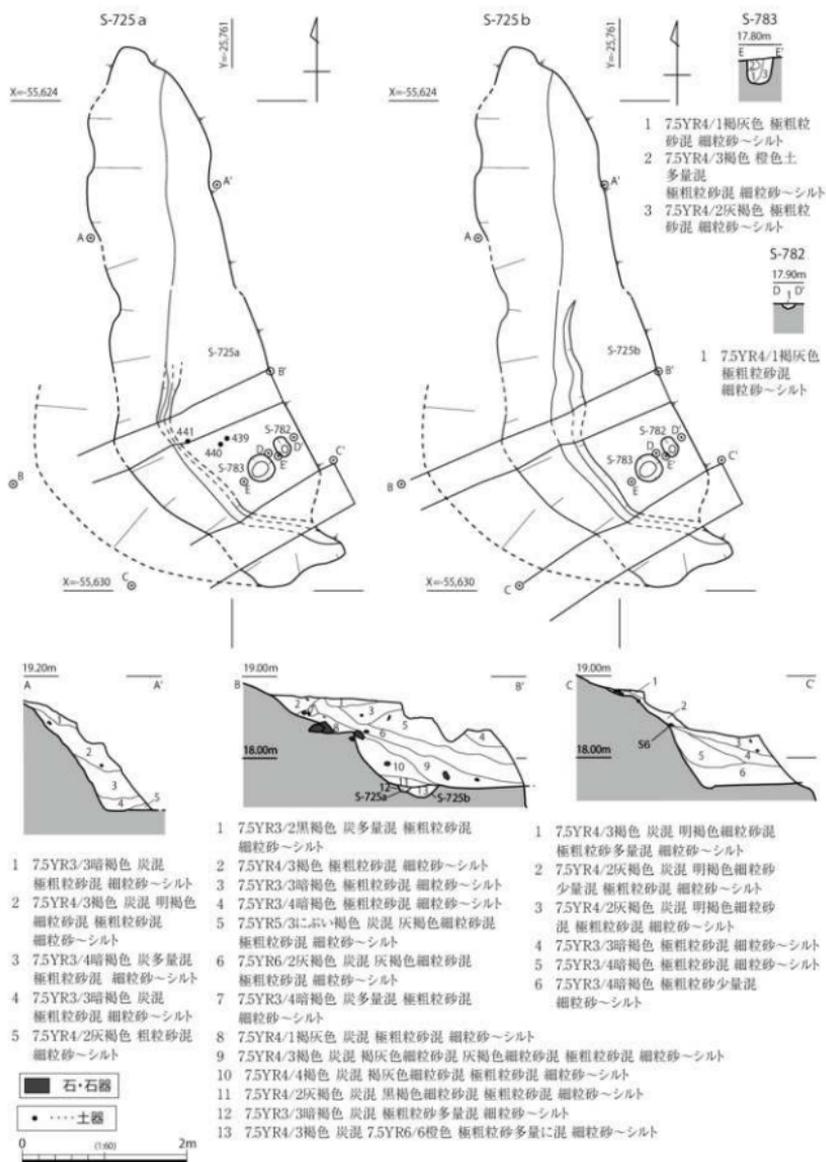
S-1・2・7段状遺構付近は、浅い谷状の地形をなすが、これらの遺構の斜面下方で谷部に堆積



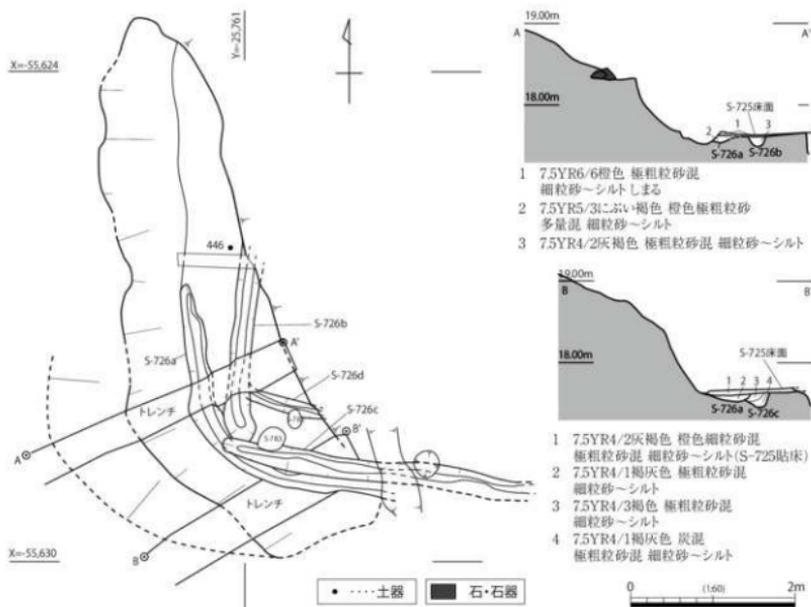
第Ⅲ-5-211図 S-711段状遺構、S-778土坑 平・断面図



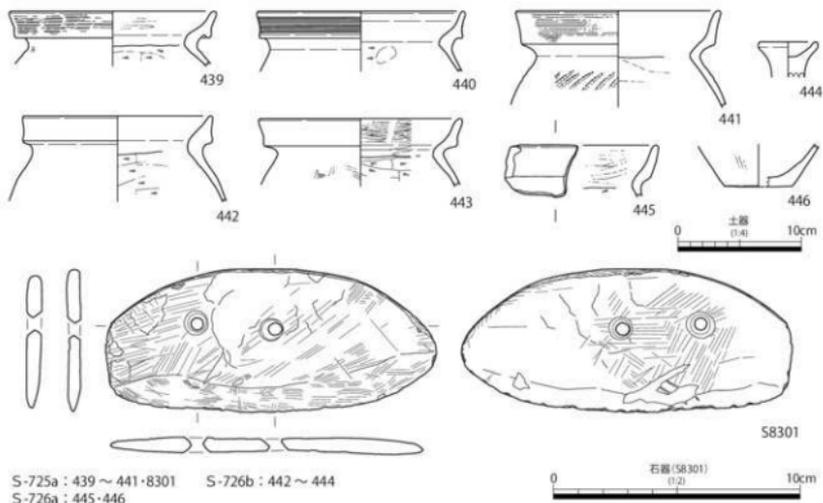
第Ⅲ-5-212図 黒色・暗褐色包含層 出土遺物



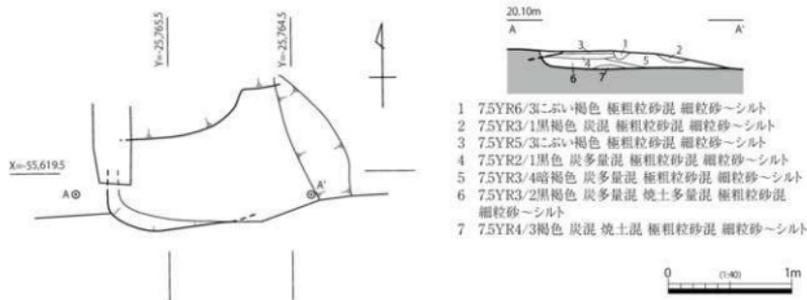
第三-5-213圖 S-725段状遺構、S-782・783土坑 平・断面図



第三-5-214図 S-726段状遺構 平・断面図



第三-5-215図 S-725・726段状遺構 出土遺物



第Ⅲ-5-216図 S-733段状遺構 平・断面図

する包含層堆積を確認した。谷の主軸となる北東-南西方向の長さ約10.5m、北西-南東方向の幅約10.1m、最も厚い部分で約1.5mの堆積である。谷の上部ではS-582・519・647・465など、弥生時代後期から古墳時代前期に構築された竪穴住居や段状遺構を切って堆積している。S-475・789・787との関係は不明である。谷の下部では、S-512段状遺構(近代以降)が谷堆積を切って構築されている。堆積土には、30cm角を超える地山に含まれる角礫が部分的に多数含まれている。

最下層に近い堆積を除いて、土器が出土した。乙亥正V～IX期頃の土器に加えて、6世紀後半から7世紀頃とみられる須恵器の高坏416、坏蓋417や甕418、S-2段状遺構とはほぼ同時期の古墳時代中期頃とみられる直口壺411、甕410、高坏412が出土している。高坏408は近畿北部系の土器である。弥生時代後期から古墳時代前期にかけての集落廃絶後に周辺の遺構を切って堆積した包含層と理解される。

10 S-711・725・726段状遺構周辺の遺構(第Ⅲ-5-207～216図)

標高約17.5m～20.0m付近に広がる段状遺構の一群で、地形的には、北東向きの斜面にあたる。検出した遺構は、段状遺構7基、土坑である。乙亥正IV期～VII期頃にかけての遺構とみられる。西側斜面上部をS-785、東側をS-25等の近世以降の段状遺構により大きく削平を受けている。

なお、近世の段状遺構の床面は大半が基盤層であるが、S-527・674段状遺構の西側には、一部黒褐色または暗褐色の細粒砂～シルトが最大厚40cm程度堆積している(第Ⅲ-2-2図 86・87層)。S-527・674・675・711段状遺構がこの堆積を切って構築されている。乙亥正VII期頃の土器を一定量包含しており(第Ⅲ-5-212図)、S-725段状遺構(乙亥正IV期頃)より新しい堆積と考えられる。

S-527段状遺構(第Ⅲ-5-208・209図)

上記の黒色・暗褐色包含層を切って構築している。東側はS-25に伴う段状遺構(近世以降)、埋土はS-445谷の一部とみられる攪乱土により大きく削平されている。南北方向約3.3m、東西方向約0.5mの規模で検出した。埋土中から、乙亥正VII期頃の特徴を有する甕422～424が出土した。

S-675段状遺構(第Ⅲ-5-208・209図)

S-527の東側で検出したが、上部の攪乱土(S-445谷の一部か)の削平により、切り合い関係は不明である。埋土中から、甕425・426が出土した。基盤となる黒褐色または暗褐色の細粒砂～シルト層(第Ⅲ-2-2図 86・87層)から乙亥正VII期の土器が出土することから、VII期以降の遺構と考えられ

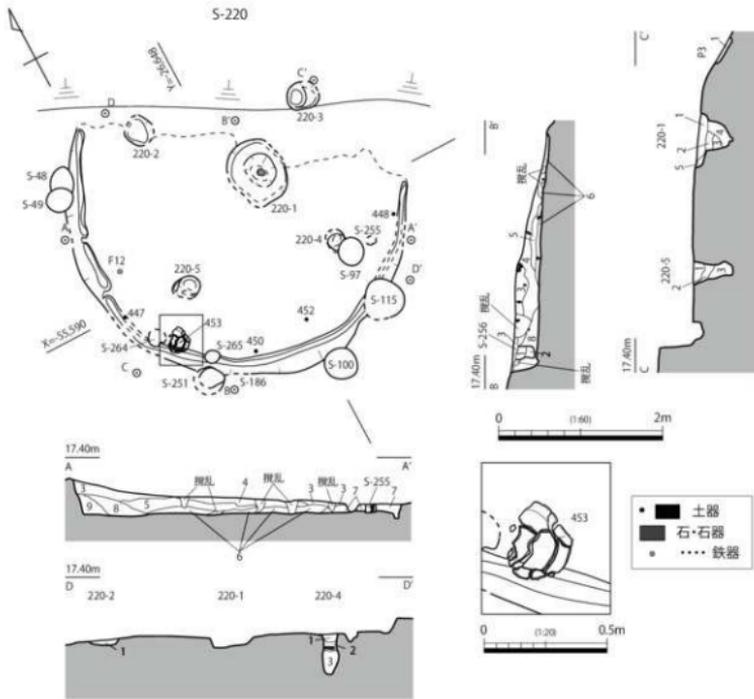


第三-5-217図 S-36~274周辺の竪穴住居、溝、土坑 平面図

る。

S-674段状遺構(第三-5-210図)

S-527・675の西側で検出したが、攪乱土によりこれらとの切り合い関係は不明である。南北方向約3.1m、東西方向約2.8mの規模で検出した。底面はやや傾斜しており、西側端部と東側端部での比高は10cm~15cmある。埋土中から甕427、高坏428が出土した。概ね乙亥正Ⅵ~Ⅶ期頃の土器とみられるが、下層の黒色・暗褐色包含層から乙亥正Ⅶ期の土器が出土することから、Ⅶ期以降の遺構と



竪穴埋土 (A-A'、B-B' 断面)

- 1 10YR 4/4 褐色土 炭化物が少量混しまり弱 粘性あり
- 2 10YR 4/6 褐色土 まる土混 地山ブロック少量混しまり弱 粘性あり
- 3 10YR 4/4 褐色土 土器混 地山ブロック多量混しまり強 粘性あり
- 4 10YR 4/4 褐色土 明褐色地山ブロック混 5層より地山ブロックを密に含む 炭化物混 土器混しまり強 粘性あり
- 5 10YR 4/4 褐色土 明褐色地山ブロック混 砂質の多い土質 炭化物・土器混しまり弱 粘性あり
- 6 10YR 4/6 褐色土 4層より地山ブロック少ないし弱 粘性弱
- 7 10YR 4/4 褐色土 明褐色地山ブロック主体 しまり強 粘性あり
- 8 10YR 4/6 褐色土 3.5層より地山ブロック少ないし弱 粘性あり
- 9 10YR 4/6 褐色土 赤褐色地山ブロック主体 しまり強 粘性あり

220-1 (C-C' 断面)

- 1 10YR 3/4 暗褐色土 赤褐色地山ブロック混 炭化物混 砂多量混しまり強 粘性あり
- 2 10YR 3/3 暗褐色土 1層より暗い色調 炭化物混 1, 3, 4層よりしまり弱 粘性あり
- 3 10YR 3/4 暗褐色土 2.4層により色調深い 炭化物混しまり強 粘性あり
- 4 10YR 4/4 褐色土 黄褐色地山土主体 炭化物混しまり強 粘性あり
- 5 10YR 3/4 暗褐色土 地山ブロックの崩落と根覆乱が多いしまり強 粘性あり

220-2 (D-D' 断面)

- 1 10YR 4/4 褐色土 赤褐色ブロック混

220-3 (C-C' 断面)

- 1 7.5YR 4/6 褐色土 赤褐色 明褐色地山ブロック主体

220-4 (D-D' 断面)

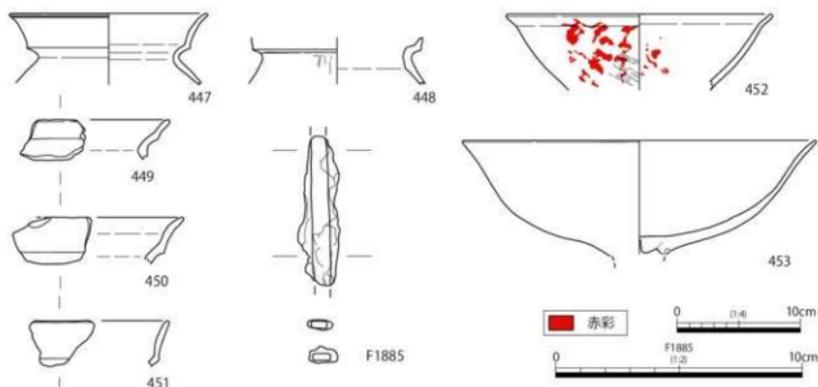
- 1 10YR 4/4 褐色土 赤褐色地山ブロック多量混 2層より黄色強
- 2 10YR 4/4 褐色土 礫混しまり強 粘性あり
- 3 10YR 5/3 土 黄褐色土 地山ブロックを多く含むが、灰色を帯び、しまり良く、粘性あり

220-5 (C-C' 断面)

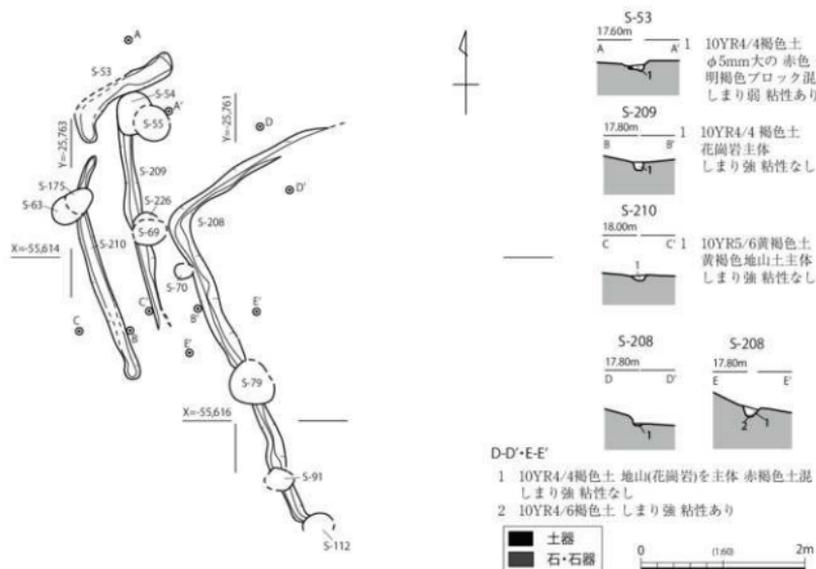
- 1 10YR 4/6 褐色土 2.3層より明るい 地山ブロック多量混 炭化物混しまり強 粘性あり
- 2 10YR 4/4 褐色土 1層より暗い 地山ブロックは1層より少ないしまり強 粘性あり
- 3 10YR 4/4 褐色土 2層より明るい 1, 2層より地山ブロック少ないしまり強 粘性あり

第Ⅲ-5-218図 S-220竪穴住居 平・断面図

第三章 1区の調査



第三-5-219図 S-220竪穴住居 出土遺物

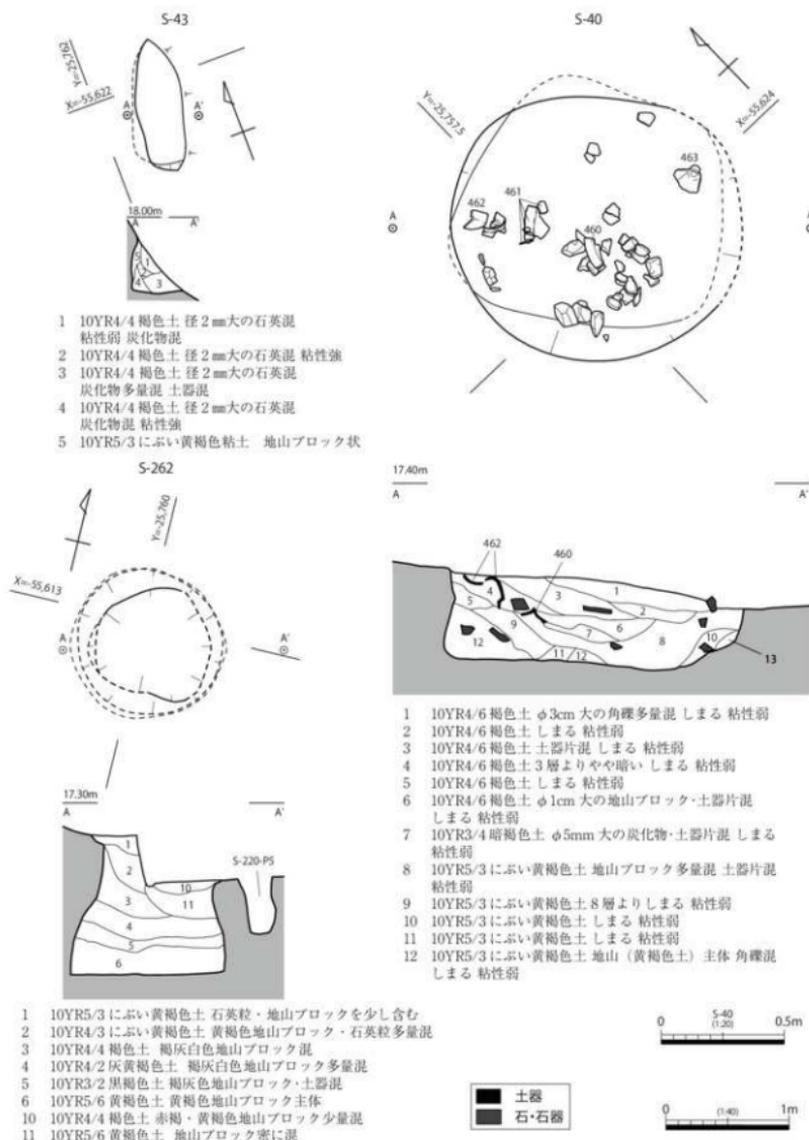


第三-5-220図 S-53・208・209・210溝 平・断面図

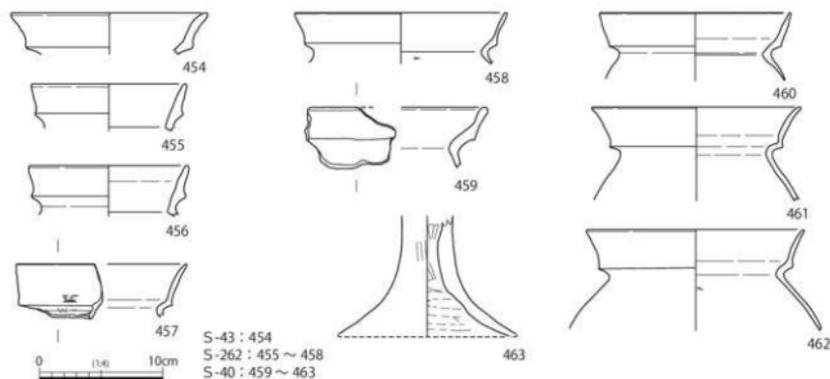
考えられる。

S-711段状遺構(第三-5-211図)

上部をS-527に切られる。北西-南東方向約4.9m北東-南西方向約1.1mの規模で検出した。壁面から底面で柱穴状の土坑S-778を検出した。埋土中から土器小片が出土している。



第三-5-221図 S-40・43・262土坑 平・断面図



第三-5-222図 S-40・43・262土坑 出土遺物

S-725段状遺構(第三-5-213・215図)

S-527・674・675・711の下層にあたる。北西-南東方向約6.8m、北東-南西方向は推定部を含めて約3mの規模で検出した。調査時点では、遺構上端を壁面の傾斜変換点としたが、土層断面などの再検討から、緩斜面を経たさらに西側を遺構上端ラインに推定している。床面は、壁溝の位置により2段階が想定され、新段階をS-725a、古段階をS-725bとしている。725a段階の壁溝は、幅15cm、深さ2cm前後、725b段階の壁溝は、幅25cm~40cm、深さ3cm~10cm程度で、いずれも床面の南側でのみ検出された。また、床面からS-782・783土坑を検出した。

埋土中から、甕439~441、石包丁8301が出土した。乙亥正IV期頃の遺構と推定される。

S-726段状遺構(第三-5-214・215図)

S-725の貼床下面で検出した。遺構全体はS-725と同規模である。床面で複数の周壁溝を検出し、S-726a~726dの名称で記載する。最終段階の726aは、幅20cm~25cm、深さ5cm~6cm程度で、貼床施工後の725bとほぼ同様の形状を呈する。726bは幅25cm、深さ5cm~9cm前後、726cは幅25cm、深さは20cm程度ある。726bとcは平面「L」字状をなすが、両者は接続しておらず、726cが深いなどの差違があり、同時に機能したかどうかは不明である。726dは幅16cm、深さ5cm前後のもので、726bより古い遺構である。

床面直上より底部446、埋土中から甕445が出土した。また、726b埋土中から甕442・443、蓋444が出土した。概ねS-725同様に乙亥正IV期頃の遺構と推定される。

S-733段状遺構(第三-5-216図)

S-674・725・726等の段状遺構の北側に位置する。周囲をS-780など近世以降の遺構により削平され、僅かに残存する遺構である。南北方向約0.8m、東西方向約1.5mの規模で検出された。埋土下層には多量の炭・焼土を混入する。埋土中から弥生土器とみられる細片が出土している。

11 S-36~274周辺の竪穴住居、溝、土坑(第三-5-217~235図)

標高約17m~18m付近に広がる、竪穴住居、土坑、溝からなる遺構の一群で、地形的には、東向き

の斜面部を大きく造成した加工段上に形成されている。堅穴住居の壁面高や袋状土坑の残存状況などからみて、本来の機能面は数十センチ高い位置にあり、近世以降に大きく削平され、現状の加工段となったと推測される。検出した遺構は、堅穴住居1基、断面袋状の土坑3基の他、多数の柱穴状の土坑を、地山直上で検出した。多くは堅穴住居及び袋状土坑が形成された乙亥正Ⅶ期頃の遺構とみられるが、時期不明の遺構が大半で、斜面際のS-36や、小土坑S-222などで近世～近代の遺物が出土することから、この時期の遺構もある程度含む可能性が高い。また、この加工段の南東側にはS-32溝があり含めて詳説する。

S-220堅穴住居(第三-5-218・219図)

北西-南東方向約4.1m、北東-南西方向約2.9mの規模で確認したもので、北東側は大きく削平されているが、直径約4.1m程度、平面円形の堅穴住居跡と推定される。検出面から床面までの深さは最大約40cmである。床面でS-220-1～220-5を検出した。S-220-1は、床面のほぼ中央に位置するもので、二段掘をなす。S-220-2～220-5は主柱穴である。床面直上から甕448、周壁溝内より甕451、埋土中から甕447・449・450、高坏452・453、棒状の鉄器1885が出土した。乙亥正Ⅶ期頃の遺構と考えられる。

S-53・208・209・210溝(第三-5-220図)

S-220の西側で検出された。S-208・209・210はいずれも、幅0.15m～0.25m、深さ数cm程度のもの、ほぼ平行して伸びるが、S-208・210の北側は北東方向に向けて屈曲する。S-53はこうした屈曲部から北東側が残存した結果と思われる。これらの溝は、本来段状遺構や堅穴住居の周壁溝が残存したものと推測される。周辺から多数の柱穴状の土坑を検出しているが、本遺構に伴うものを抽出することは困難である。遺物は出土していない。

S-40土坑(第三-5-221図)

S-220の南側に位置する。最大規模で長軸1.18m、短軸1.07m、底面までの深さ0.41mが残存する。断面は一部が袋状をなす。埋土中から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の特徴を有する甕459～462、高坏463が出土した。

S-43土坑(第三-5-221図)

遺構が集中する範囲の南西端部に位置する。底面での直径約1m程度と推測されるもので、東側は残存しない。西側の断面はやや袋状をなす。底面までの深さは0.44mが残存する。埋土中から壺454が出土した。

S-262土坑(第三-5-221図)

S-220に切られる。最大規模で長軸1.00m、短軸0.91m、底面までの深さ1.13mである。平面はほぼ円形、断面は袋状を呈する。埋土中から乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の特徴を有する壺455・456、甕457・458が出土した。

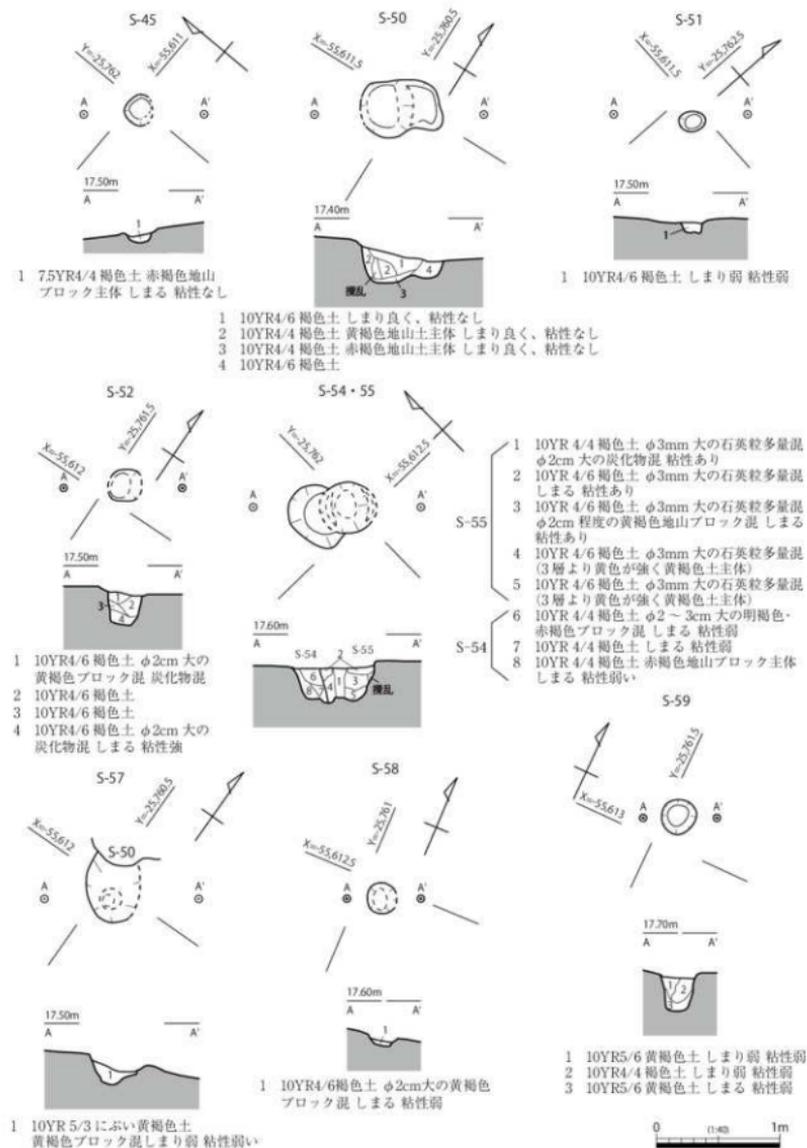
周辺の柱穴状の土坑(第三-5-217・223～234・236図)

周辺から多数の小土坑を検出した。柱痕跡が多数みられるため、多くは建物跡の柱穴と推定されるが、セット関係を推察することは困難である。S-44・99・141・147・157・159・170・180・181・199・240の各土坑からは土器、砥石、土玉が出土した。概ね乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の土器と推定される。

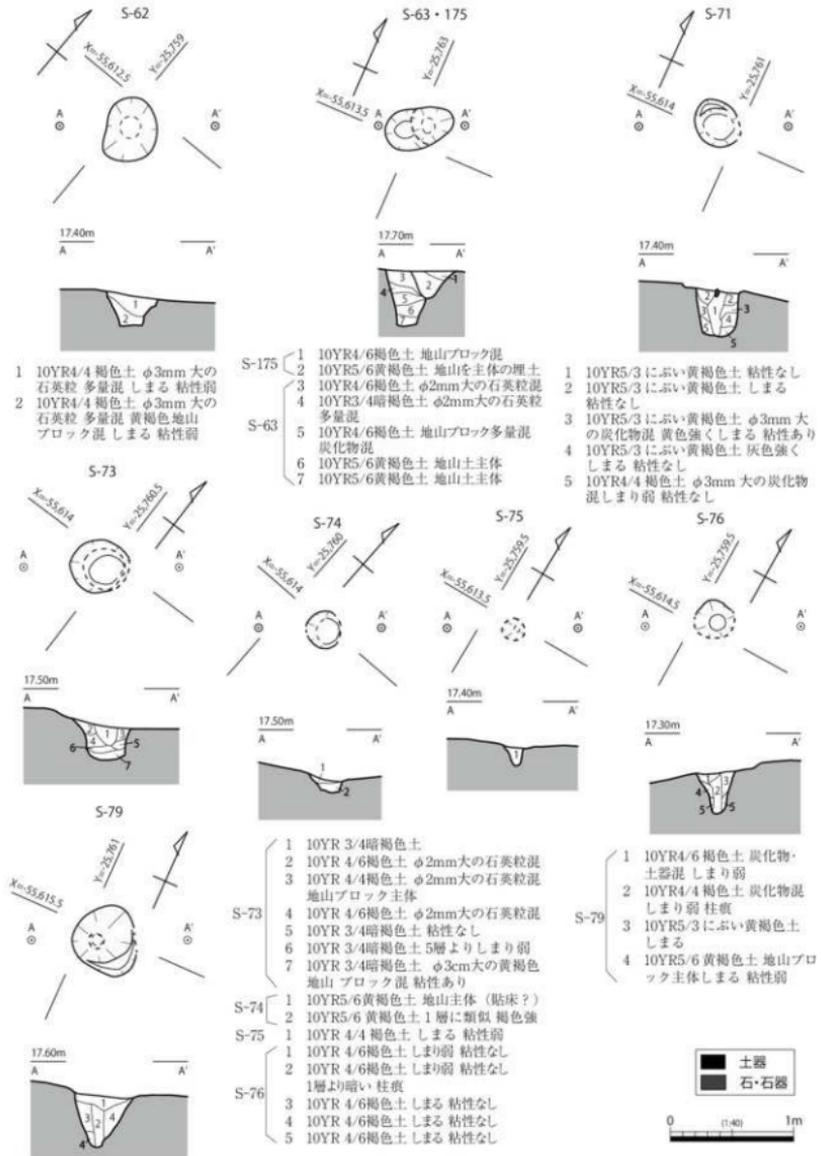
S-32溝(第三-5-235図)

近世以降の遺構が主とみられるS-25～34の北東側に位置する。北西-南東方向7.3m、幅0.45m～

第三章 1区の調査

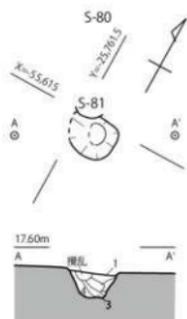


第三-5-223図 S-45・50・51・52・54・55・57~59土坑 平・断面図

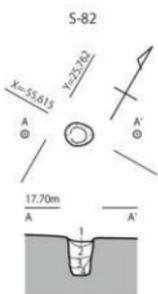


第三-5-224図 S-62・63・71・73~76・79・175土坑 平・断面図

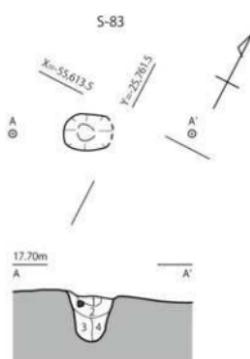
第三章 1区の調査



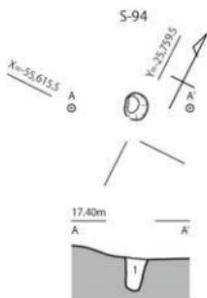
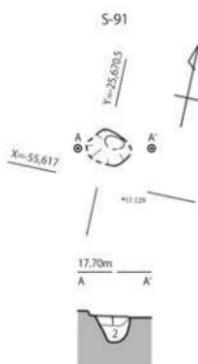
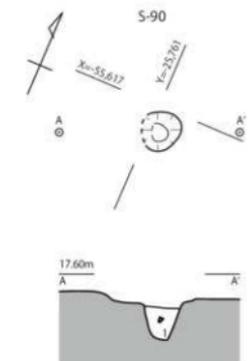
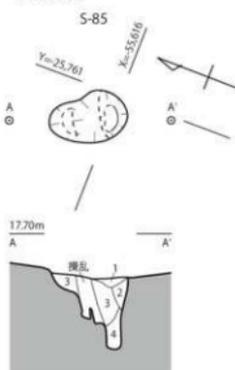
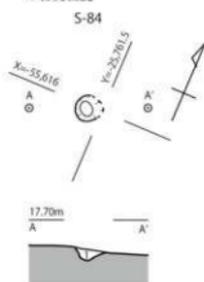
- 1 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混粘性弱
- 2 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混
- 3 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混 2・4層より明るい粘性あり
- 4 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混



- 1 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混
- 2 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混
- 3 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混 黄褐色地山ブロック多量混
- 4 10YR4/6 褐色土 φ2mm 大の石英粒混



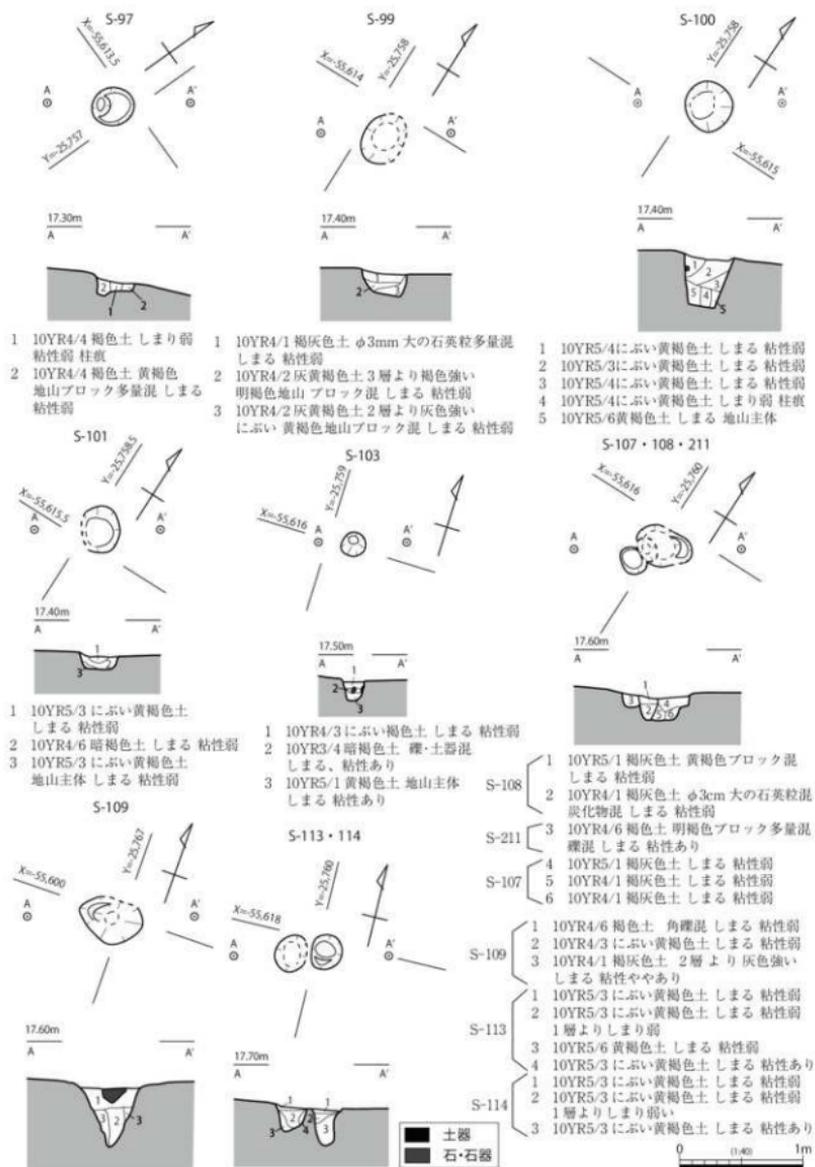
- 1 10YR5/6 黄褐色土 地山ブロック主体
- 2 10YR4/3 土い黄褐色土 しまる粘性あり
- 3 10YR5/6 黄褐色土 しまる粘性強
- 4 10YR5/6 黄褐色土 φ2mm 大の石英粒多量混 しまる粘性強



- | | |
|------|---------------------------------------|
| S-84 | 1 10YR4/6 褐色土 地山ブロック主体 |
| | 2 10YR5/3 土い黄褐色土 しまる粘性弱 |
| | 3 10YR5/3 土い黄褐色土 地山土主体 しまる粘性弱い |
| S-85 | 3 10YR5/3 土い黄褐色土 φ1cm 大の炭化物混 しまり弱 粘性弱 |
| | 4 10YR5/3 土い黄褐色土 φ1cm 大の炭化物混 しまり弱 粘性弱 |
| S-90 | 1 10YR4/1 褐灰色土 角礫・明褐色地山ブロック混 しまる粘性あり |
| S-91 | 1 10YR4/6 褐色土 地山ブロック混 しまり弱 粘性なし |
| | 2 10YR4/6 褐色土 地山ブロック混 しまり弱 粘性なし |
| S-94 | 1 10YR 3/4 暗褐色土 しまる粘性あり |

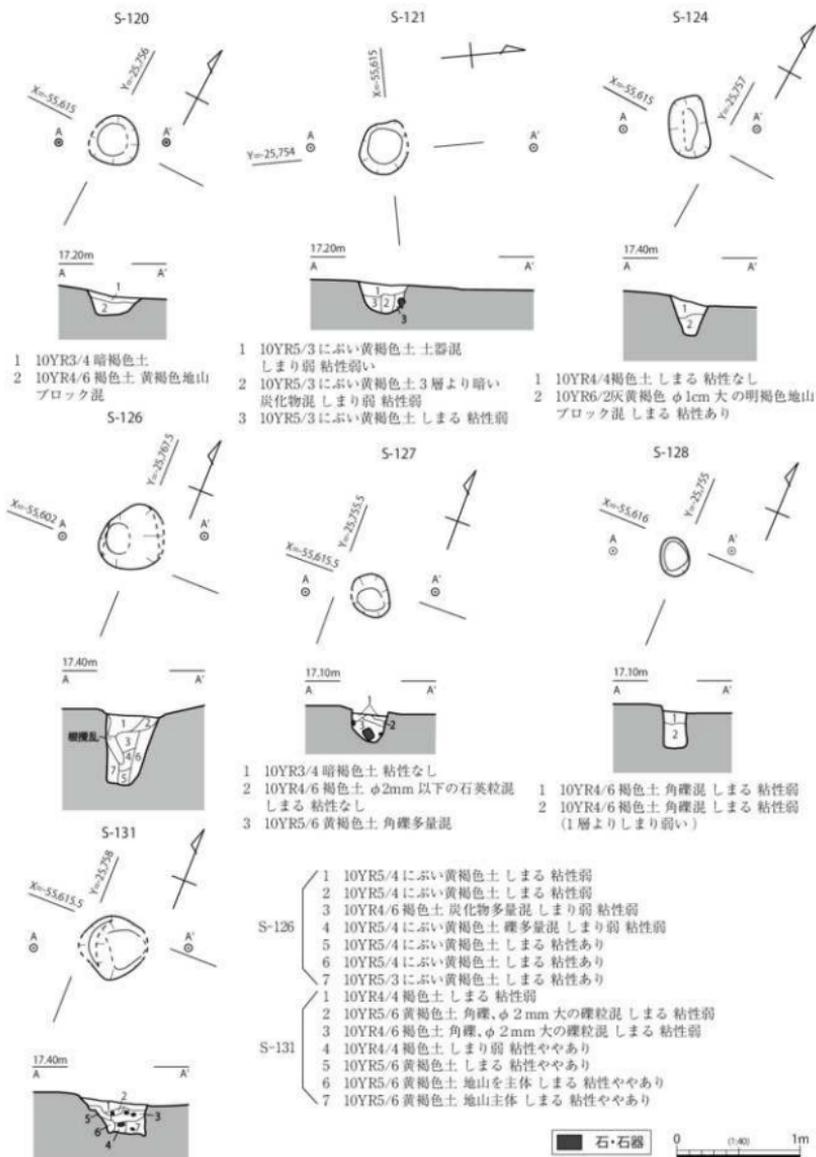


第三-5-225図 S-80・82~85・90・91・94土坑 平・断面図

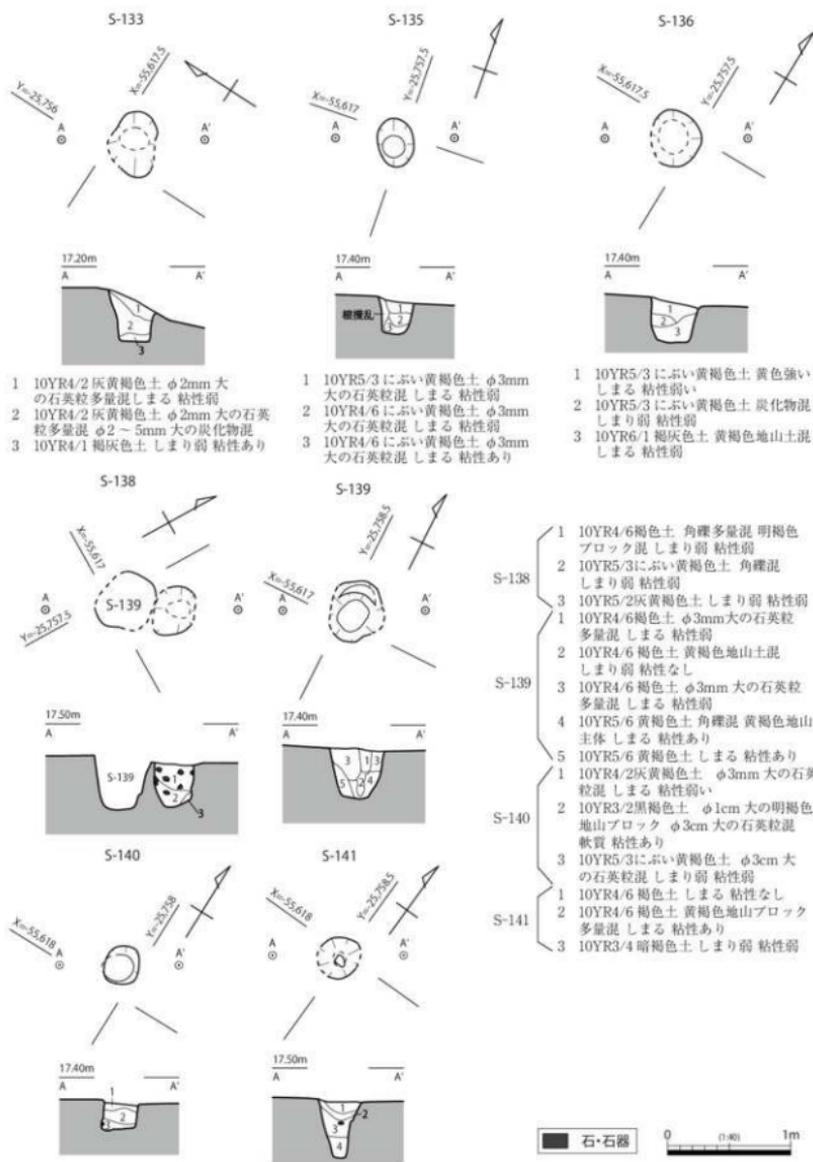


第Ⅲ-5-226図 S-97・99・100・101・103・107~109・113・114・211土坑 平・断面図

第三章 1区の調査

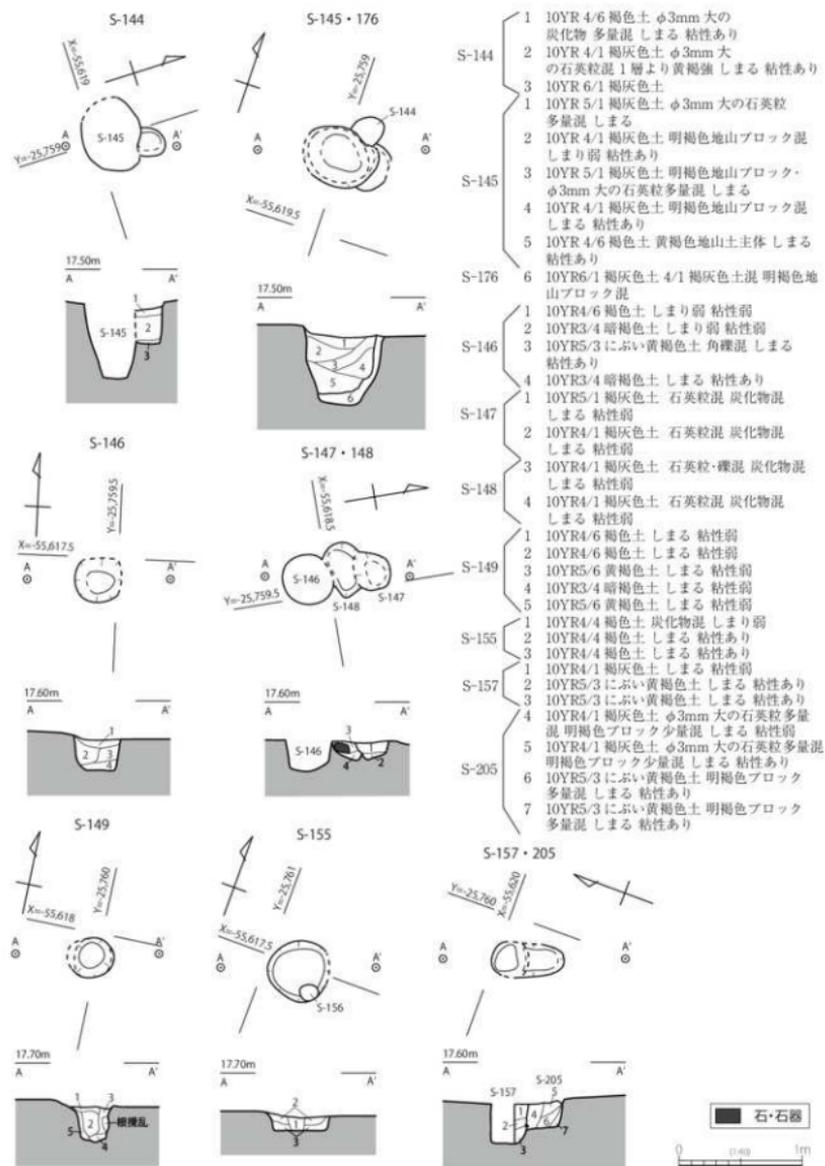


第III-5-227図 S-120・121・124・126~128・131土坑 平・断面図

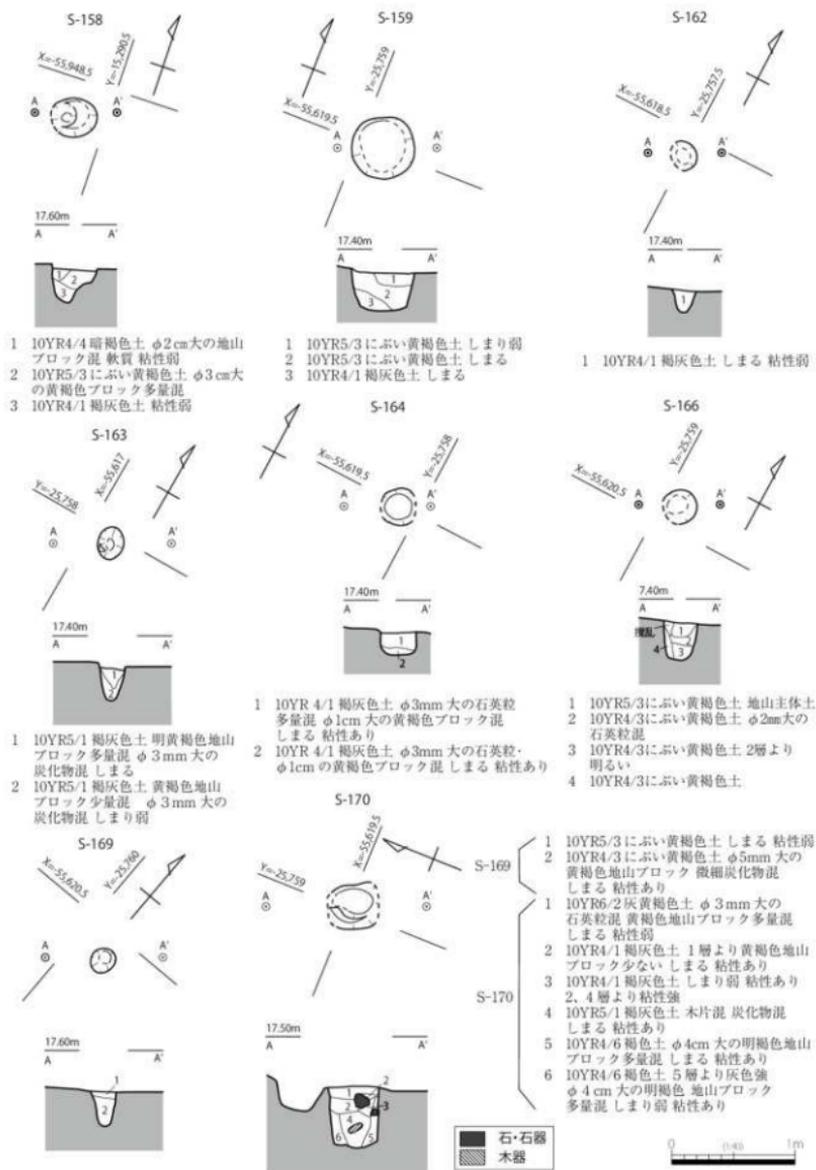


第Ⅲ-5-228図 S-133・135・136・138～141土坑 平・断面図

第三章 1区の調査

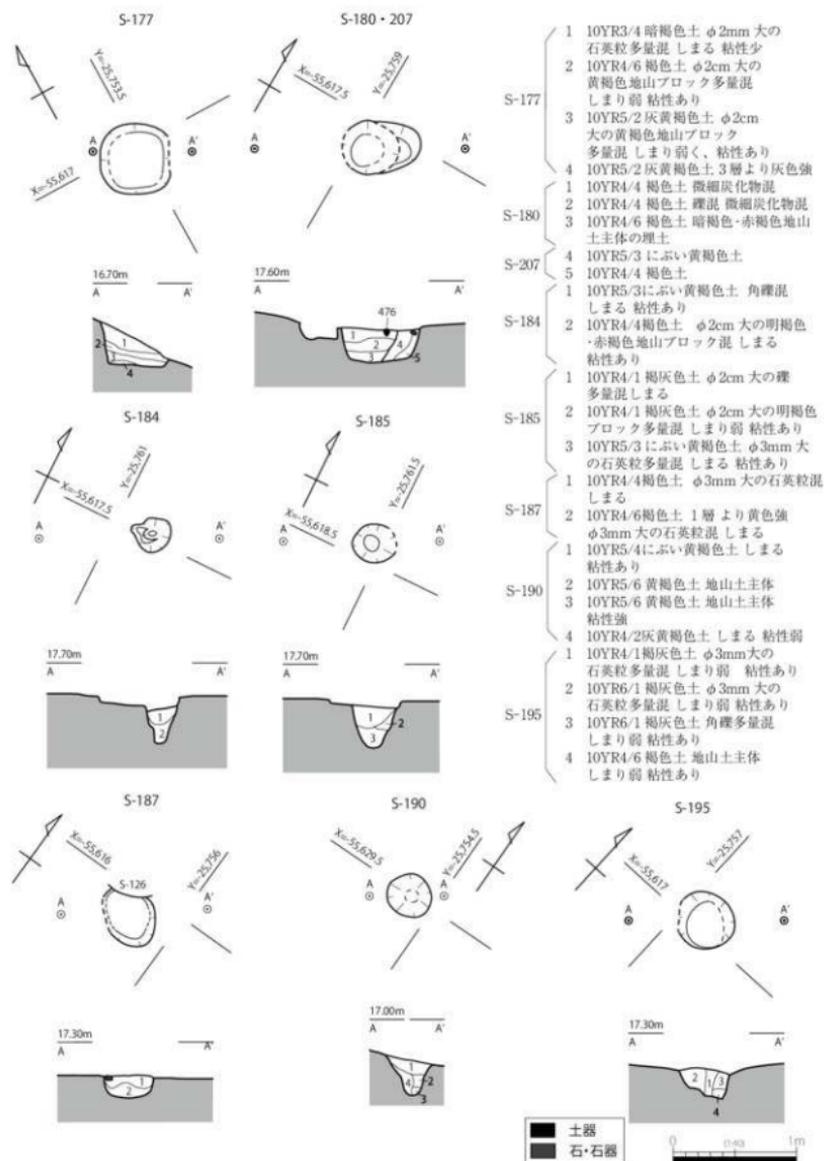


第III-5-229図 S-144~149・155・157・176・205土坑 平・断面図

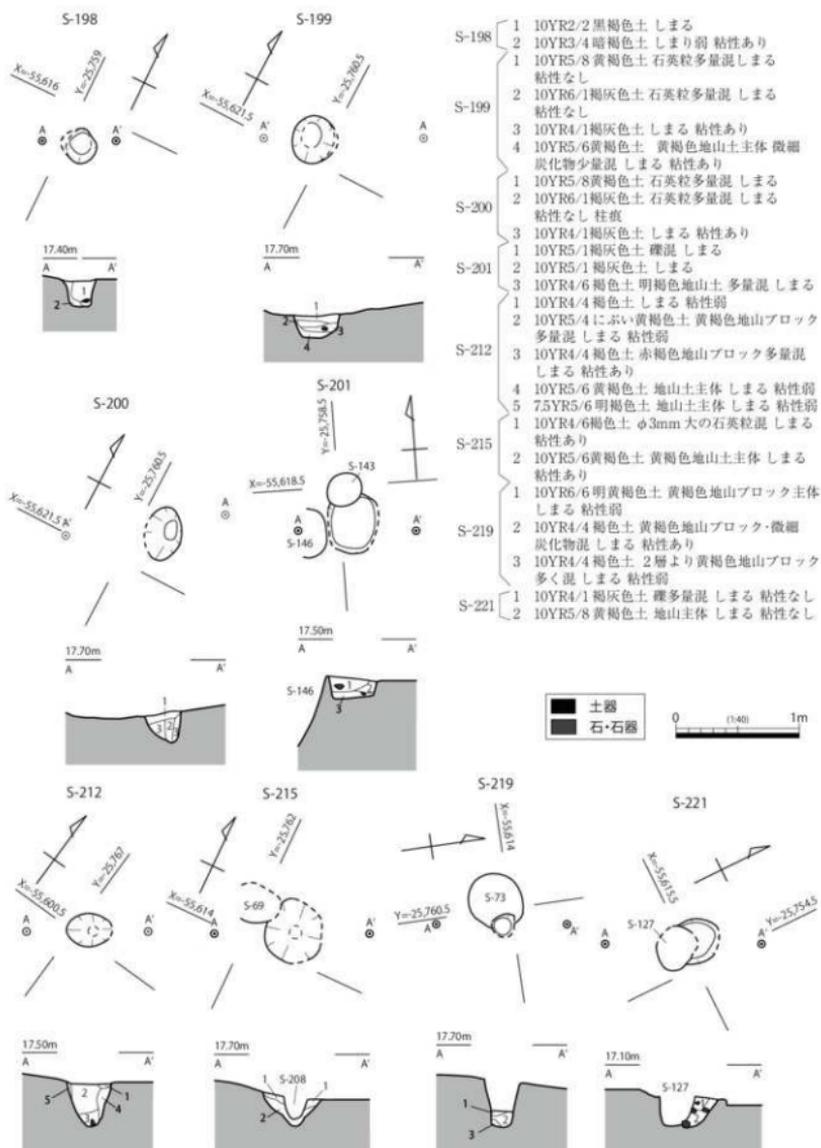


第三-5-230図 S-158・159・162~164・166・169・170土坑 平・断面図

第三章 1区の調査

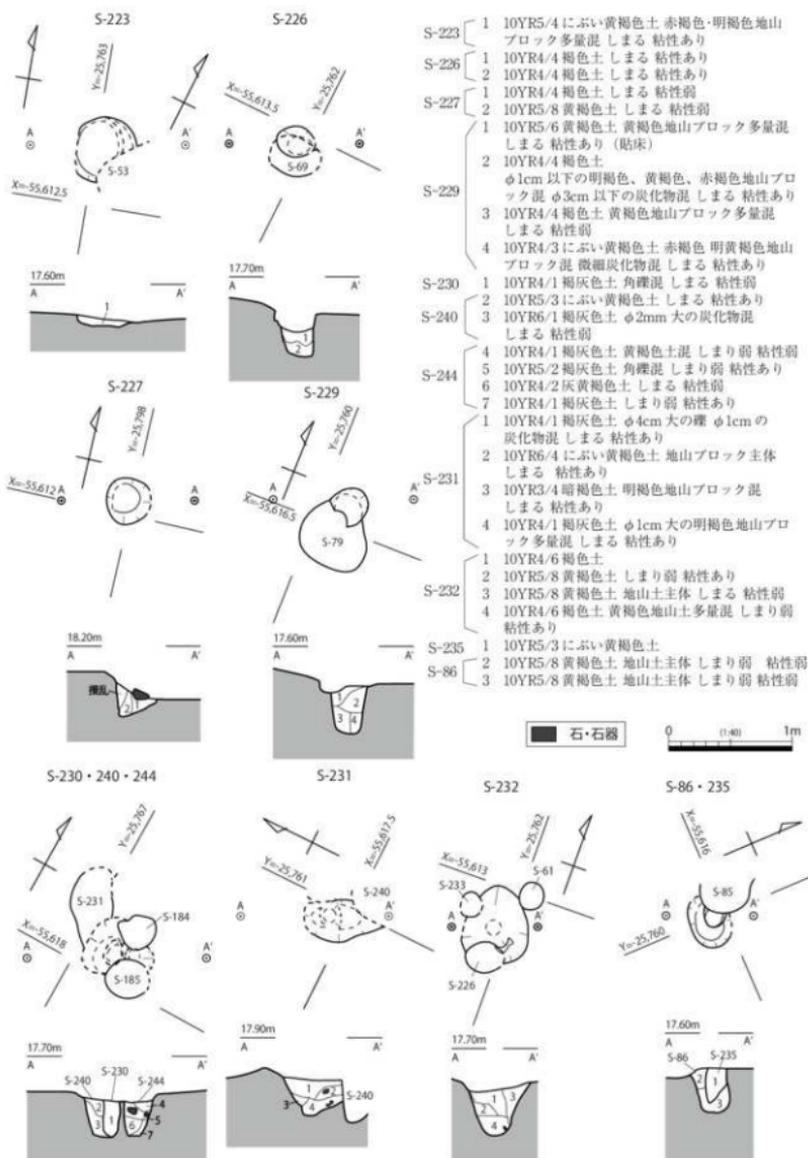


第Ⅲ-5-231図 S-177・180・184・185・187・190・195・207土坑 平・断面図

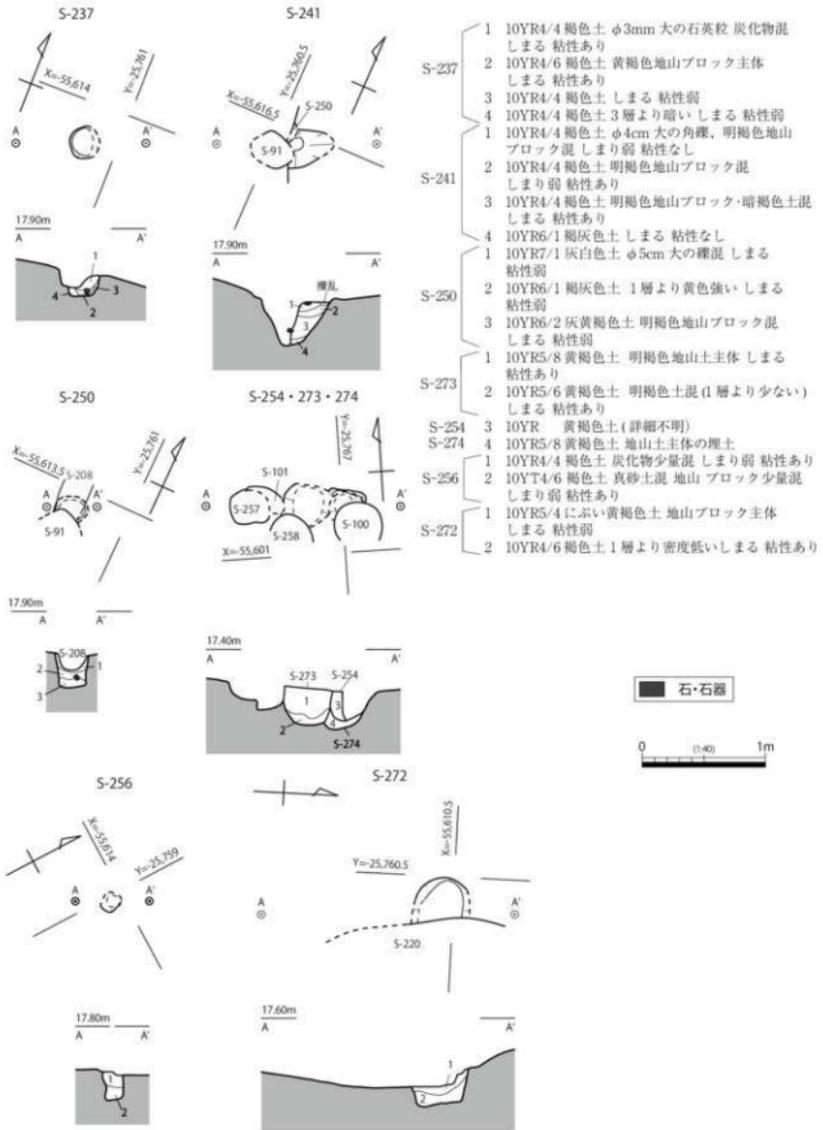


第Ⅲ-5-232図 S-198~201・212・215・219・221土坑 平・断面図

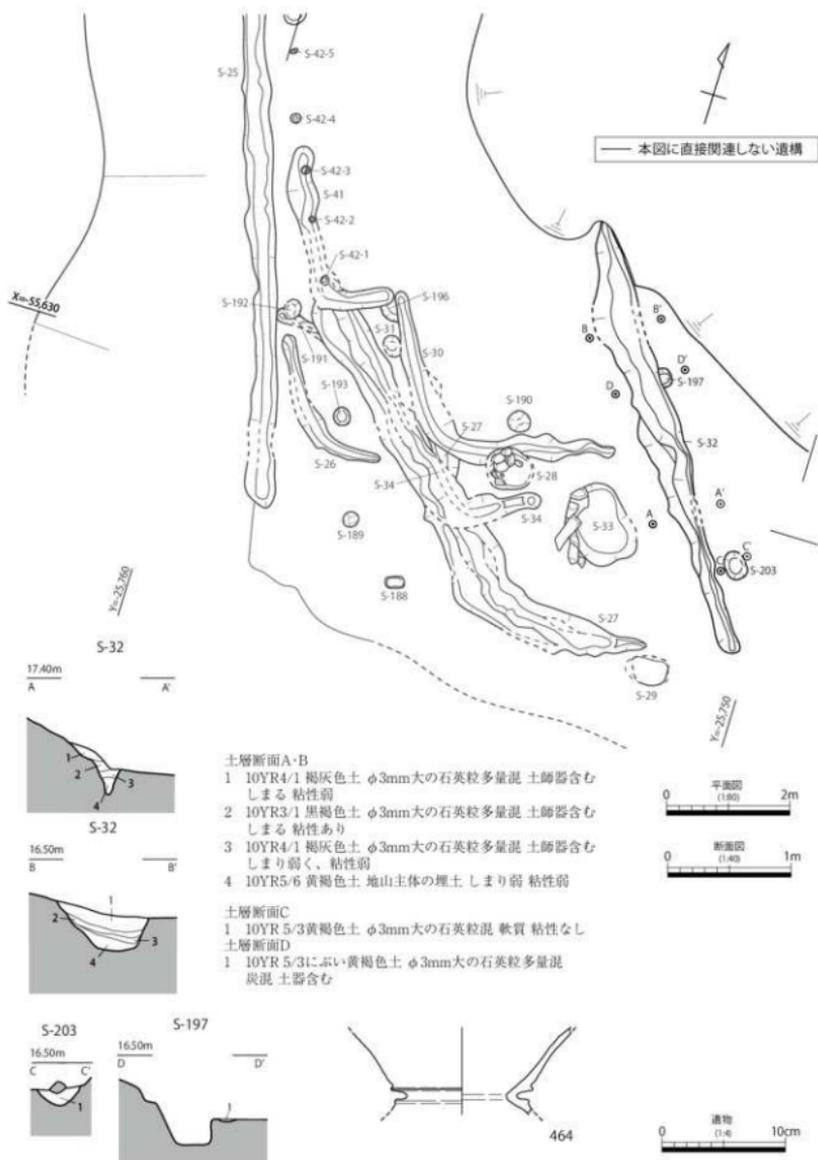
第三章 1区の調査



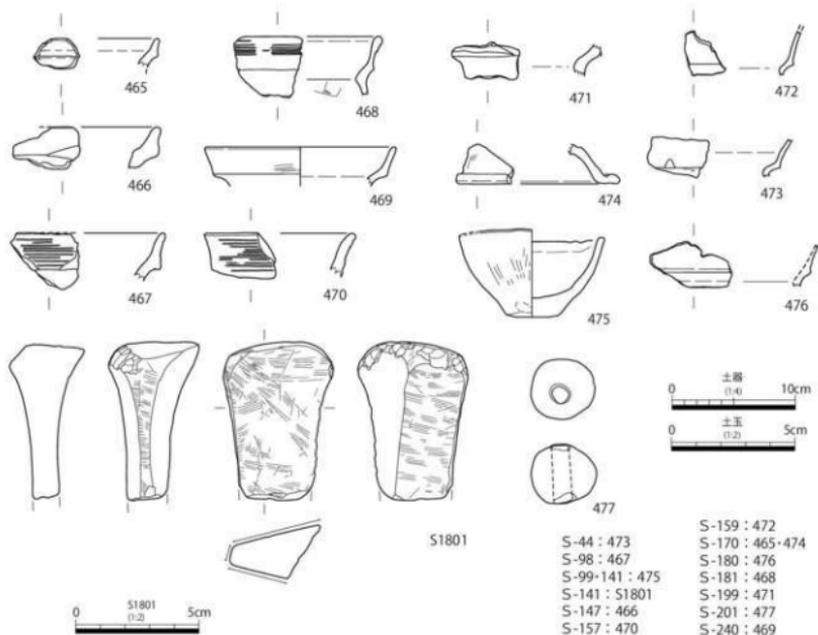
第三 - 5 - 233図 S-86・223・226・227・229・230・231・232・235・240・244土坑 平・断面図



第Ⅲ-5-234図 S-237・241・250・254・256・273・274・272土坑 平・断面図



第三-5-235図 S-32段状遺構 平・断面図及び出土遺物



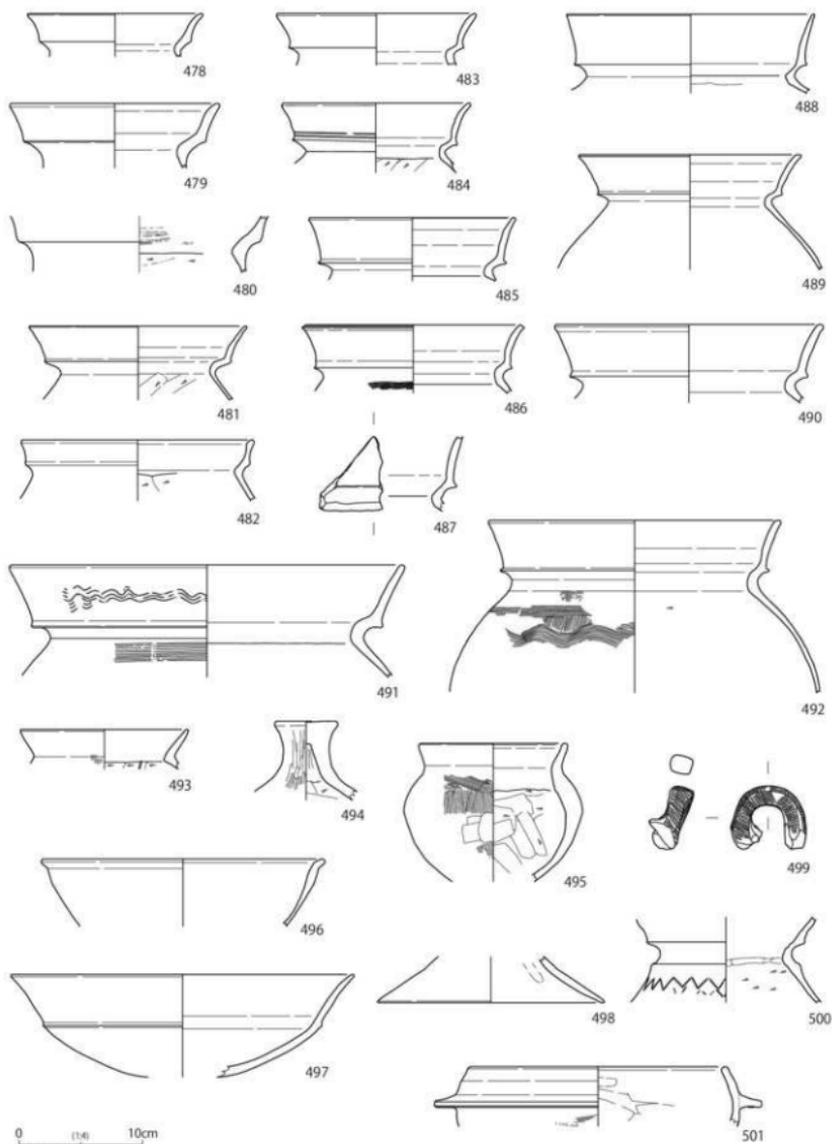
第三-5-236図 S-44・99・141・147・157・159・170・180・181・199・240土坑 出土遺物

0.75m程度、深さ0.20m～0.40m程度の規模で検出した。北西側が幅広く断面台形を呈するのに対して、南東側は比較的幅の狭い断面V字形を呈していることから、別々の遺構の可能性もある。溝の東側で小土坑S-197・203を検出した。溝埋土中から、器台464が出土した。概ね乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の土器と推定される。南西側のS-25～34の中には構築された時期が不明な遺構もあり、弥生時代から古墳時代の遺構も含まれている可能性がある。

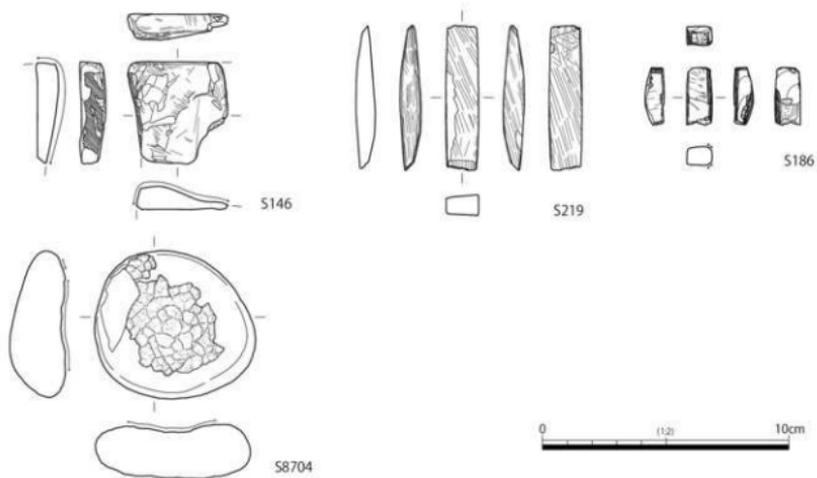
12 遺構外出土遺物(第三-5-237・238図)

壺478、甕481・482・484・486～488・490・491・493、脚部498は、S-1段状遺構からS-426段状遺構周辺で出土した。これは、平成26年度調査では、S-1からS-426にかけての加工段全体をS-1として取り扱ったため、下層で検出された各遺構との対応が結果的に不明となった遺物である。概ねS-1・9・11・378・418・421・436など新しい段階に位置する遺構の上層出土遺物と推定される。甕495はS-280段状遺構とS-281段状遺構の間の斜面部最上層から出土したものである。甕483・485は、S-297段状遺構の南側で出土した。その他は、表土中、トレンチ掘削中、最終的に遺構として認定しなかった包含層出土の遺物である。羽釜501は、調査区東側(下段側)表土中の出土である。

第三章 1区の調査



第Ⅲ-5-237図 遺構外出土遺物1



第Ⅲ-5-238図 遺構外出土遺物2

第6節 遺構一覧表、出土遺物観察表

第Ⅲ-6-1表 竪穴住居、掘立柱建物、段状遺構、溝、地下式土坑一覧表1

遺構番号	検出番号 (遺構平面図)	調査時遺構番号 (発見の場合のみ)	集合遺構名	類別	グリッド	寸法(目次のみ)			備考
						長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	
S-1	Ⅲ-5-64			段状遺構	H・J-11・I・J-10				
S-2	Ⅲ-5-151			段状遺構	H・I-10・11				
S-7	Ⅲ-5-154			段状遺構	H-10・11				
S-8	Ⅲ-5-153			段状遺構	H-10				
S-24	Ⅲ-5-147	S-24・545		段状遺構	I-10				
S-25	Ⅲ-4-15			溝	G-8・9・H-8				
S-26	Ⅲ-4-15			溝	G・H-8				
S-27	Ⅲ-4-15			溝	H-8				
S-30	Ⅲ-4-15			溝	G・H-8				
S-32	Ⅲ-5-235			溝	G・H-8				
S-34	Ⅲ-4-15			溝	H-8				
S-36	Ⅲ-4-15			溝	F・G-9				
S-41	Ⅲ-4-15			溝	G・H-8・9				
S-53	Ⅲ-5-220			溝	F-9				
S-173	Ⅲ-4-15			溝	F・G-8				
S-191	Ⅲ-4-15			溝	G-8				
S-208	Ⅲ-5-220			溝	F-8・9				
S-209	Ⅲ-5-220			溝	F-9				
S-210	Ⅲ-5-220			溝	F-9				
S-220	Ⅲ-5-218			竪穴住居	F-8・9				
S-276	Ⅲ-5-3	S-276a		段状遺構	I-11・J-11				
S-277	Ⅲ-5-39			段状遺構	G-11				
S-278	Ⅲ-5-40			段状遺構	G-11				
S-280	Ⅲ-5-41			段状遺構	G-11				
S-280-1	Ⅲ-5-41		S-280	竪穴	G-11	36	33	51	
S-280-2	Ⅲ-5-41		S-280	竪穴	G-11	46	42	70	
S-281	Ⅲ-5-26			段状遺構	F-11				
S-282	Ⅲ-5-27	S-282・282-1・2		溝	F-11				
S-283	Ⅲ-5-24			溝	F-11・G-11				
S-284	Ⅲ-5-27			段状遺構	F-11・G-11				
S-285	Ⅲ-5-22			段状遺構	F-11・G-11				
S-286	Ⅲ-5-22			段状遺構	G-11				
S-287	Ⅲ-5-25			竪穴住居	H-11				
S-287-1	Ⅲ-5-25		S-287	竪穴	H-11	62	36	41	
S-287-2	Ⅲ-5-25		S-287	竪穴	H-11	(41)	36	25	
S-287-3	Ⅲ-5-25		S-287	竪穴	H-11				
S-287-4	Ⅲ-5-25		S-287	竪穴	H-11	40	36	27	
S-287-5	Ⅲ-5-25		S-287	竪穴	H-11	28	27	19	
S-289	Ⅲ-5-46			段状遺構	G-11・H-11				
S-290	Ⅲ-5-49			段状遺構	G-11				
S-292	Ⅲ-5-27			段状遺構	F-11				
S-293	Ⅲ-5-38			段状遺構	H-11				
S-297	Ⅲ-5-43			段状遺構	G-11・H-11				
S-358	Ⅲ-5-81			溝	I-11				
S-359	Ⅲ-5-54			溝	G-11				
S-362	Ⅲ-5-41			溝	G-11				
S-364	Ⅲ-5-25			溝	G-11				
S-367	Ⅲ-5-41			溝	G-11				
S-368	Ⅲ-5-41			溝	G-11				
S-369	Ⅲ-5-47			段状遺構	G-11・H-11				
S-375	Ⅲ-5-22			段状遺構	G-11				
S-377	Ⅲ-5-37			段状遺構	H-11				
S-378	Ⅲ-5-62			段状遺構	I-11				
S-381	Ⅲ-5-48			段状遺構	G-11				
S-382	Ⅲ-5-50			段状遺構	G-11・H-11				
S-396	Ⅲ-5-67	S-396・407・408		段状遺構	I-10・I-11				
S-405	Ⅲ-5-53			溝	G-11				
S-406	Ⅲ-5-53			段状遺構	G-11				
S-407	Ⅲ-5-67			溝					
S-408	Ⅲ-5-67			溝					
S-418	Ⅲ-5-63	S-418・S-418-1		段状遺構	I-11				
S-421	Ⅲ-5-61			段状遺構	I-11				
S-425	Ⅲ-5-52			段状遺構	G-11・H-11				
S-427	Ⅲ-5-51			段状遺構	G-11・H-11				
S-436	Ⅲ-5-71		S-436・436-1	段状遺構	H-11・I-11				
S-445	Ⅲ-5-203			谷汲台	G・H-9・H-1-10				
S-448	Ⅲ-5-68	S-448・484・532	S-448	段状遺構	I-10・I-11				
S-450	Ⅲ-5-72	S-450・450-1		段状遺構	I-10				
S-452	Ⅲ-5-74			段状遺構	I-10				
S-453	Ⅲ-5-76			段状遺構	I-10				

第Ⅲ-6-1表 竪穴住居、掘立柱建物、段状遺構、溝、地下式土坑一覽表2

遺構番号	種別番号 (遺構平面図)	調査時遺構番号 (発見の場合のみ)	集合遺構名	種別	グリッド	法量(柱穴のみ)			備考
						長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	
S-464	Ⅲ-4-4			段状遺構	H-8・H-9				
S-475	Ⅲ-4-3			段状遺構	G-10				
S-512	Ⅲ-4-4			段状遺構	H-9				
S-513	Ⅲ-4-4			段状遺構	H-9				
S-516	Ⅲ-5-160	S-516・S-516-1・2		段状遺構	H-10・I-10				
S-519	Ⅲ-5-156			段状遺構	H-10				
S-527	Ⅲ-5-208			段状遺構	G-9				
S-544	Ⅲ-5-148			段状遺構	I-9・I-10				
S-547	Ⅲ-5-172			段状遺構	H-10				
S-548	Ⅲ-5-172			溝	H-10				
S-558	Ⅲ-5-179			段状遺構	G-10				
S-581	Ⅲ-5-172	S-583・581		段状遺構	H-10				
S-582	Ⅲ-5-149	S-582・582-1		段状遺構	H-9・I-9・I-10				
S-583	Ⅲ-5-163			段状遺構	H-10				
S-596	Ⅲ-5-175			溝	G-10				
S-600	Ⅲ-5-185			段状遺構	G-10				
S-606	Ⅲ-5-187	S-606・728・665		竪穴住居	G-10				
S-606-1	Ⅲ-5-187		S-606	掘立柱	G-10				
S-606-2	Ⅲ-5-187		S-606	溝	G-10				
S-606-3	Ⅲ-5-187	S-735	S-606	柱穴	G-10	69	61	26	
S-606-4	Ⅲ-5-187	S-736	S-606	柱穴	G-10	50	27	74	
S-606-5	Ⅲ-5-187	S-741	S-606	柱穴	G-10	56	49	45	
S-606-6	Ⅲ-5-187	S-742	S-606	柱穴	G-10	38	19	14	
S-606-7	Ⅲ-5-187	S-737	S-606	柱穴	G-10	30	39	69	
S-606-8	Ⅲ-5-187	S-763	S-606	柱穴	G-10	46	33	36	
S-606-9	Ⅲ-5-187	S-746	S-606	柱穴	G-10	37	33	45	
S-607	Ⅲ-5-174			段状遺構	G-10				
S-608	Ⅲ-5-182	S-608・604		段状遺構	G-10				
S-619	Ⅲ-5-179			段状遺構	G-10				
S-627	Ⅲ-5-164			段状遺構	H-10				
S-629	Ⅲ-5-78			段状遺構	I-10				
S-635	Ⅲ-5-175			段状遺構	G-10				
S-636	Ⅲ-5-175			段状遺構	G-10				
S-647	Ⅲ-5-170			段状遺構	H-10				
S-648	Ⅲ-5-194			掘立柱建物	H-10				
S-648-1	Ⅲ-5-194	S-644	S-648	柱穴	H-10	60	54	36	
S-648-2	Ⅲ-5-194	S-683	S-648	柱穴	H-10	58	51	35	
S-648-3	Ⅲ-5-194	S-693	S-648	柱穴	H-10	63	54	43	
S-648-4	Ⅲ-5-194	S-633	S-648	柱穴	H-10	69	68	89	
S-648-5	Ⅲ-5-194	S-642	S-648	柱穴	H-10	62	55	94	
S-648-6	Ⅲ-5-194	S-524	S-648	柱穴	H-10	60	58	75	
S-651	Ⅲ-5-190			段状遺構	H-10				
S-654	Ⅲ-5-166			段状遺構	H-10				
S-662	Ⅲ-5-167	S-662・662-1		段状遺構	H-10				
S-673	Ⅲ-5-168	S-673・673-1		段状遺構	H-10				
S-674	Ⅲ-5-210			段状遺構	G・H-9				
S-675	Ⅲ-5-208	S-675・676		段状遺構	G-9				
S-678	Ⅲ-5-169	S-678・678-1		段状遺構	H-10				
S-706	Ⅲ-5-191			段状遺構	H-10				
S-711	Ⅲ-5-211			段状遺構	G-9				
S-715	Ⅲ-5-171			段状遺構	H-10				
S-725a	Ⅲ-5-213		S-725	段状遺構	G-9				
S-725b	Ⅲ-5-213		S-725	段状遺構	G-9				
S-726a	Ⅲ-5-214		S-726	段状遺構	G-9				
S-726b	Ⅲ-5-214		S-726	段状遺構	G-9				
S-728c	Ⅲ-5-214		S-726	段状遺構	G-9				
S-736d	Ⅲ-5-214		S-726	段状遺構	G-9				
S-727	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-9・I-9・G-9・I-10				
S-730	Ⅲ-4-5			溝	F-9・G-10				
S-733	Ⅲ-5-216			段状遺構	F-9・G-9				
S-751	Ⅲ-5-192			段状遺構	H-10				
S-762	Ⅲ-5-187			溝	G-10				
S-766	Ⅲ-4-11			地下式土坑	F-9				
S-772	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-9				
S-780	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-9				
S-785	Ⅲ-4-5			段状遺構	G-9				
S-786	Ⅲ-4-5			段状遺構	G・H-9				
S-787	Ⅲ-4-11			段状遺構	G・H-9				
S-788	Ⅲ-4-11			段状遺構	G-9				
S-789	Ⅲ-4-5			段状遺構	G-9・I-10				
S-790	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-10・G-9・I-10				
S-791	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-9				
S-797	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-9				

第Ⅲ章 1区の調査

第Ⅲ-6-1表 竪穴住居、掘立柱建物、段状遺構、溝、地下式土坑一覧表3

遺構番号	種別番号 (遺構平面図)	調査時遺構番号 (発見の場合のみ)	集合遺構名	種別	グリッド	法量(柱式のみ)			備考
						長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	
S-798	Ⅲ-4-5			段状遺構	F-9・10				
S-799	Ⅲ-5-122			段状遺構	J-10				
S-828	Ⅲ-5-103		S-852	溝	J-8				
S-830	Ⅲ-5-109			溝	J-8・9				
S-835	Ⅲ-5-97	S-835・836・836		竪穴住居	I・J-9・J-10				
S-835-1	Ⅲ-5-97	S-839	S-835	柱穴	J-9	44	41	70	
S-835-2	Ⅲ-5-97	S-840	S-835	柱穴	J-9	72	66	50	
S-835-3	Ⅲ-5-97	S-841	S-835	柱穴	J-10	36	48	71	
S-835-4	Ⅲ-5-97	S-842	S-835	柱穴	J-10	63	58	57	
S-835-5	Ⅲ-5-97	S-843	S-835	柱穴	J-9	(84)	74	34	
S-835-6	Ⅲ-5-97	S-844	S-835	柱穴	J-9	30	27	32	
S-835-7	Ⅲ-5-97	S-845	S-835	柱穴	J-9	(30)	(19)	20	
S-835-8	Ⅲ-5-97	S-848	S-835	柱穴	J-9	(27)	(26)	28	
S-852	Ⅲ-5-103			段状遺構	J-8・9				
S-858	Ⅲ-5-124			段状遺構	J-10				
S-868	Ⅲ-5-127			段状遺構	J-10				
S-880	Ⅲ-5-124			溝	J-10				
S-882	Ⅲ-5-110	S-882・885		段状遺構	J-9				
S-887	Ⅲ-5-128			段状遺構	J-10				
S-894	Ⅲ-5-103		S-852	溝	J-9				
S-903	Ⅲ-5-111		S-882	溝	J-9				
S-913	Ⅲ-5-73			段状遺構	I-10				
S-916	Ⅲ-5-129			段状遺構	I-10				
S-918	Ⅲ-5-129			段状遺構	I-10				
S-921	Ⅲ-5-130			段状遺構	I-10				
S-930	Ⅲ-5-130			段状遺構	I-10				
S-938	Ⅲ-5-112			段状遺構	I-9, J-9				
S-939	Ⅲ-5-141			段状遺構	I-9				
S-942	Ⅲ-5-133	S-942・943・944		段状遺構	I-8・9				
S-974	Ⅲ-5-141			段状遺構	I-7				
S-976	Ⅲ-4-19	S-976・978		段状遺構	H-7・8				
S-977	Ⅲ-4-20			地下式土坑	H-8				
S-982	Ⅲ-5-7	S-276b		段状遺構	I-11・12				
S-983	Ⅲ-5-10	S-276c		段状遺構	I-11・12				
S-984	Ⅲ-5-13	S-276d		段状遺構	I-11・12				
S-985	Ⅲ-5-14	S-276e		段状遺構	J-11				
S-986	Ⅲ-5-16	S-276f		段状遺構	J-11				
S-987	Ⅲ-5-17	S-276g		溝	I-11・J-11				
S-988	Ⅲ-5-17	S-276f		溝	I-11・J-11				
S-989	Ⅲ-5-19	S-276f		溝	I-11・12				
S-990	Ⅲ-5-19	S-276g		溝	I-11・12				
S-991	Ⅲ-5-19	S-276b		溝	I-11				
S-992	Ⅲ-5-20	S-276f		段状遺構	I-11				

第Ⅲ-6-2表 土坑一覽表1

遺構番号	調査坑 遺構番号	組合遺構名	種類	グリップ	長径(c.m)	短径(c.m)	深さ(c.m)	備 考
S-3			土坑	I-10	82	78	(25)	
S-5			土坑	H-11	109	81	(43)	壁面・底面は軟熟。炭・灰化物層あり。
S-6			土坑	H-11	130	72	(46)	
S-9			土坑	I-11	210	135	(88)	
S-11			土坑	I-11	(162)	(79)	(26)	S-9に切られる。土器片少量出土。
S-12			土坑	I-11	48	30	(39)	
S-13			土坑	H-I-10	42	29	(14)	土器底部出土。
S-14			土坑	H-10	36	(27)	(25)	
S-16			土坑	I-10	48	41	(43)	
S-17			土坑	I-10	(52)	(33)	(20)	
S-18			土坑	H-11	52	43	(63)	
S-19			土坑	H-11	52	48	(63)	
S-20			土坑	I-11	43	37	(50)	
S-21			土坑	H-11	59	50	(10)	
S-22			土坑	I-10	63	(55)	(40)	
S-23			土坑	H-10	(124)	121	(32)	
S-28			土坑	G・H-8	(77)	68	(24)	S-30を切る。壁土から径5-25cmの礫が出土。
S-29			土坑	H-8	(59)	(48)	(20)	
S-31			土坑	G-8	36	(26)	(41)	S-30に切られる。上層で微量の赤土器片が出土。
S-33			土坑	G・H-8	(33)	98	(48)	
S-35			土坑	H-10	(42)	(15)	(30)	
S-40			土坑	F-8	(118)	107	(41)	土器片出土。
S-42-1	S-42		土坑	G・S-9	16	16	(16)	
S-42-2	S-42		土坑	G・S-9	10	9	(9)	
S-42-3	S-42		土坑	G・S-9	14	12	(11)	
S-42-4	S-42		土坑	G・S-9	16	16	(11)	
S-42-5	S-42		土坑	G・S-9	11	7	(6)	
S-42-6	S-42		土坑	G・S-9	16	12	(28)	
S-42-7	S-42		土坑	G・S-9	(20)	19	(27)	
S-43			土坑	G-9	(100)	(42)	(44)	
S-44			土坑	F-9	32	31	(11)	
S-45			土坑	F-9	25	(22)	(7)	
S-46			土坑	F-9	(49)	43	(19)	S-47を切る。
S-47			土坑	F-9	68	(56)	(37)	S-46切られる。
S-48			土坑	F-8	(33)	27	(20)	S-220を切り、S-49に切られる。
S-49			土坑	F-8	33	30	(33)	S-48・220を切る。
S-50			土坑	F-9	(65)	46	(38)	S-57を切る。
S-51			土坑	F-9	22	17	(8)	
S-52			土坑	F-9	(36)	26	(29)	
S-54			土坑	F-9	(52)	(44)	(25)	S-309を切り、S-351に切られる。
S-55			土坑	F-9	(47)	42	(35)	
S-56			土坑	F-9	37	32	(8)	
S-57			土坑	F-8	(57)	(45)	(19)	S-50に切られる。
S-58			土坑	F-9	25	(23)	(17)	
S-59			土坑	F-9	30	27	(30)	
S-60			土坑	F-9	43	36	(23)	S-263を切る。
S-61			土坑	F-9	21	18	(7)	S-232を切る。
S-62			土坑	F-8	33	42	(28)	S-230を切る。
S-63			土坑	F-9	25	(33)	(45)	S-210を切り、S-175に切られる。
S-64			土坑	F-9	30	(22)	(8)	S-210を切る。
S-65			土坑	F-9	(15)	(10)	(5)	
S-66			土坑	F-9	32	(28)	(20)	
S-67			土坑	F-9	26	(20)	(14)	
S-68			土坑	F-9	(23)	(22)	(7)	壁面片出土。
S-69			土坑	F-9	(42)	(31)	(20)	S-215・236・232・243を切る。
S-70			土坑	F-9	(23)	(19)	(9)	S-308を切る。
S-71			土坑	F-9	40	(35)	(48)	S-270を切る。
S-72			土坑	F-9	38	25	(5)	
S-73			土坑	F-9	(48)	43	(34)	S-219を切る。
S-74			土坑	F-8	(30)	(28)	(16)	S-186・261を切る。
S-75			土坑	F-8	(19)	(18)	(16)	S-230・266を切る。
S-76			土坑	F-8	(33)	(32)	(35)	
S-77			土坑	F-9	(25)	20	(5)	S-238を切る。
S-78			土坑	F-9	30	(23)	(5)	S-238を切る。
S-79			土坑	F-9	57	(51)	(47)	S-308・229・234を切る。
S-80			土坑	F-9	(42)	33	(22)	S-81を切る。
S-81			土坑	F-9	25	25	(24)	S-80に切られる。
S-82			土坑	F-9	22	18	(30)	
S-83			土坑	F-9	(39)	30	(41)	
S-84			土坑	F-9	(23)	21	(11)	
S-85			土坑	F-9	65	41	(63)	S-86・234・235を切る。
S-86			土坑	F-9	(45)	(35)	(36)	S-85・233に切られる。
S-87			土坑	F-9	(32)	(28)	(7)	
S-88			土坑	F-9	(18)	(15)	(4)	

第三章 1区の調査

第三-6-2表 土坑一覧表2

遺構番号	調査時 遺構番号	組合遺構名	種類	グリッド	長径(c m)	短径(c m)	深さ(c m)	備 考
S-89			土坑	F-9	25	30	(21)	
S-90			土坑	F-9	32	(32)	(28)	S-231を切る。
S-91			土坑	F-9	(31)	(29)	(25)	S-208・241・250を切る。
S-92			土坑	F-8・9	25	25	(2)	S-309を切る。
S-93			土坑	F-8	8	6	(12)	
S-94			土坑	F-8	21	18	(30)	
S-95			土坑	F-8	15	(12)	(16)	
S-96			土坑	F-8	22	20	(12)	
S-97			土坑	F-8	35	30	(15)	
S-98			土坑	F-8	28	27	(27)	
S-99			土坑	F-8	(43)	(33)	(20)	
S-100			土坑	F-8	41	39	(43)	
S-101			土坑	F-8	38	(30)	(14)	S-273を切る。
S-102			土坑	F-8	27	21	(15)	
S-103			土坑	F-8	20	19	(19)	
S-104			土坑	F-8	38	30	(15)	
S-105			土坑	F-8	20	19	(7)	
S-106			土坑	F-8	28	26	(9)	
S-107			土坑	F-8	(20)	(14)	(20)	S-108を切る。
S-108			土坑	F-8	46	(32)	(22)	S-107に切られる。
S-109			土坑	F-8	52	(36)	(46)	S-110を切る。
S-110			土坑	F-8	(47)	(38)	(11)	S-109に切られる。
S-111			土坑	F-8・9	24	(20)	(25)	
S-112			土坑	F-8・9	(28)	31	(19)	S-208を切る。
S-113			土坑	F-9	28	25	(30)	
S-114			土坑	F-9	29	(26)	(23)	
S-115			土坑	F-8	(51)	50	(30)	S-220を切る。
S-116			土坑	F-8	(40)	(36)	(13)	
S-118			土坑	F-8	39	(37)	(15)	
S-119			土坑	F-8	42	(38)	(10)	
S-120			土坑	F-8	41	(40)	(20)	
S-121			土坑	F-8	45	(37)	(28)	
S-122			土坑	F-8	55	(47)	(23)	
S-124			土坑	F-8	51	32	(33)	
S-125			土坑	F-8	(25)	23	(20)	
S-126			土坑	F-8	53	(52)	(59)	S-187を切る。
S-127			土坑	F-8	36	(32)	(27)	S-221を切る。
S-128			土坑	F-8	32	22	(35)	
S-129			土坑	F-8	(17)	16	(30)	
S-130			土坑	F-8	36	(32)	(46)	
S-131			土坑	F-8	(50)	49	(30)	
S-132			土坑	F-8	22	(18)	(28)	
S-133			土坑	F-8	55	(38)	(41)	
S-134			土坑	F-8	(29)	(28)	(17)	
S-135			土坑	F-8	40	29	(30)	
S-136			土坑	F-8	47	(42)	(37)	
S-137			土坑	F-8	37	28	(22)	
S-138			土坑	F-9	62	(33)	(37)	
S-139			土坑	F-8	49	(44)	(41)	
S-140			土坑	F-8	32	27	(25)	
S-141			土坑	F-8	36	(35)	(47)	
S-142			土坑	F-8	25	23	(12)	
S-143			土坑	F-8	30	27	(17)	S-201を切る。
S-144			土坑	F-8	(21)	21	(24)	S-126を切り、S-145に切られる。
S-145			土坑	F-8	(62)	48	(54)	S-141・128を切る。
S-146			土坑	F-8	(28)	(26)	(29)	S-147を切る。
S-147			土坑	F-8	(41)	(32)	(16)	S-146・148に切られる。
S-148			土坑	F-8	(37)	(31)	(15)	S-147を切る。
S-149			土坑	F-8・9	(28)	32	(28)	
S-150			土坑	F-9	(26)	25	(15)	
S-151			土坑	F-9	42	(27)	(17)	
S-152			土坑	F-9	(19)	(18)	(7)	
S-153			土坑	F-9	17	15	(16)	
S-154			土坑	F-9	35	(30)	(10)	
S-155			土坑	F-9	50	49	(14)	
S-156			土坑	F-9	16	14	(10)	
S-157			土坑	F・G-8	(31)	(30)	(36)	S-205を切る。
S-158			土坑	F-8	(37)	32	(27)	
S-159			土坑	F-8	30	49	(38)	S-160に切られる。
S-160			土坑	F-8	(19)	(16)	(12)	S-159を切る。
S-161			土坑	F-8	(25)	(20)	(15)	
S-162			土坑	F-8	22	18	(18)	
S-163			土坑	F-8	27	21	(30)	S-202を切る。
S-164			土坑	F-8	30	(29)	(17)	

第Ⅲ-6-2表 土坑一覧表3

遺構番号	調査年度 遺構番号	組合遺構名	種類	グッド	長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	備 考
S-165			土坑	F-8	200	200	110	
S-166			土坑	G-8	28	27	233	
S-168			土坑	G-9	223	22	9	
S-169			土坑	G-8	21	30	280	S-206を切る。
S-170			土坑	G-8	41	330	53	S-251に切られる。
S-171			土坑	G-8	32	330	460	
S-172			土坑	F・G-8	30	27	111	S-173に切られる。
S-174			土坑	F-9	241	23	230	
S-175			土坑	F-9	34	230	22	S-63・210を切る。
S-176			土坑	F-8	40	230	400	S-201を切り、S-144・145に切られる。
S-177			土坑	F-8	58	55	230	
S-180			土坑	F-8	46	45	227	S-181・207を切る。
S-181			土坑	F-8	49	46	110	S-180に切られる。
S-182			土坑	F-9	33	25	230	
S-183			土坑	F-9	23	22	15	
S-184			土坑	F-9	32	27	230	S-240・244を切る。
S-185			土坑	F-9	330	32	25	S-240・244を切る。
S-186			土坑	F-8	26	24	17	S-220・231・232・261を切る。S-74に切られる。
S-187			土坑	F-8	52	42	18	S-136に切られる。
S-188			土坑	H-8	30	20	5	
S-189			土坑	H-8	26	25	12	
S-190			土坑	G-9	35	35	233	
S-192			土坑	G-8	33	27	230	S-191を切る。
S-193			土坑	H-8	30	25	5	
S-195			土坑	F-8	50	46	223	
S-196			土坑	G-8	230	25	111	S-30・41に切られる。
S-197			土坑	G-8	232	17	1	S-32に切られる。
S-198			土坑	F-8	280	27	234	土層直上。
S-199			土坑	G-9	40	330	230	S-361に切られる。
S-200			土坑	G-9	43	230	230	S-361に切られる。
S-201			土坑	F-8	50	43	18	S-202を切り、S-143に切られる。
S-202			土坑	F-8	220	15	24	S-163に切られる。
S-203			土坑	H-8	46	34	15	
S-204			土坑	G-8	31	230	139	S-251に切られる。
S-205			土坑	F-8	330	230	234	S-157に切られる。
S-206			土坑	G-8	34	30	7	S-169に切られる。
S-207			土坑	F-8	42	40	227	S-180に切られる。
S-211			土坑	F-8	23	119	111	S-108に切られる。
S-212			土坑	F-9	27	27	230	
S-215			土坑	F-9	52	46	227	S-499・238に切られる。
S-216			土坑	F-8	17	16	17	平面形は円形。断面形は逆三角形を呈する。
S-217			土坑	F-8	20	15	12	S-173に切られる。
S-218			土坑	G-9	11	7	14	
S-219			土坑	F-9	119	119	230	S-73に切られる。
S-221			土坑	F-8	27	35	225	S-127に切られる。
S-222			土坑	F-8	43	36	119	
S-223			土坑	F-9	53	49	9	S-53に切られる。
S-225			土坑	F-9	44	33	5	
S-226			土坑	F-9	31	24	235	S-232・239・243を切り、S-499・239に切られる。
S-227			土坑	F-9	27	36	231	
S-228			土坑	G-8	36	15	15	S-250切られる。
S-229			土坑	F-9	29	28	230	S-228を切り、S-79・208に切られる。
S-230			土坑	F-9	20	14	230	S-240を切る。
S-231			土坑	F-9	66	35	232	S-90・200に切られる。
S-232			土坑	F-9	64	55	43	S-223・230・233を切り、S-41・49・239に切られる。
S-233			土坑	F-9	20	18	14	S-209・232に切られる。
S-234			土坑	F-9	30	17	3	S-79・85に切られる。
S-235			土坑	F-9	119	119	230	S-96を切り、S-85に切られる。
S-236			土坑	F-9	38	32	18	S-210に切られる。
S-237			土坑	F-9	23	25	17	S-208に切られる。
S-238			土坑	F-9	42	32	7	S-77・28・236に切られる。
S-239			土坑	F-9	23	12	230	S-209・236・232に切られる。
S-240			土坑	F-9	50	23	25	S-231を切り、S-184・185・239に切られる。
S-241			土坑	F-9	38	30	230	S-250を切り、S-91・208に切られる。
S-242			土坑	F-9	19	15	8	S-208に切られる。
S-244			土坑	F-9	25	20	230	S-240を切り、S-184・185に切られる。
S-249			土坑	F-9	33	27	11	
S-250			土坑	F-9	28	16	227	S-91・208・241に切られる。
S-251			土坑	F-8	48	33	18	S-261を切り、S-186・231に切られる。
S-252			土坑	F-8	—	—	—	S-230を切り、S-99に切られる。検出面跡のみ。
S-253			土坑	F-8	—	—	—	S-230を切り、S-186に切られる。検出面跡のみ。
S-254			土坑	F-8	27	25	237	S-100に切られ、S-220・257・274を切る。
S-255			土坑	F-8	—	—	—	S-230を切る。検出面跡のみ。
S-256			土坑	F-8	—	—	—	S-230を切る。検出面跡のみ。

第三章 1区の調査

第三-6-2表 土坑一覧表4

遺構番号	調査時 遺構番号	組合遺構名	種類	グリップ	長径(c m)	短径(c m)	深さ(c m)	備 考
S-237			土坑	F-8	(30)	(27)	(13)	S-236を切り、S-230・254に切られる。
S-238			土坑	F-8	(35)	(19)	(19)	S-273を切り、S-230・257に切られる。
S-239			土坑	F-9	(22)	22	(30)	S-267を切る。
S-260			土坑	F-8	14	(12)	(5)	
S-261			土坑	F-8	(24)	(15)	(16)	S-74・186・251に切られる。
S-262			土坑	F-8・9	(100)	(91)	(113)	S-208・230・248・264・266・272に切られる。
S-263			土坑	F-8	(34)	(29)	(30)	S-259に切られる。
S-264			土坑	F-8	(23)	(21)	(12)	S-230・262を切る。
S-265			土坑	F-8	17	15	(7)	S-220と重複し、S-220を切る。
S-266			土坑	F-8	33	(29)	(9)	S-247・230・262を切り、S-75に切られる。
S-267			土坑	F-8・9	(21)	(13)	(20)	S-259に切られる。
S-269			土坑	F-8・9	43	36	(7)	S-92に切られる。
S-270			土坑	F-9	40	(27)	(6)	S-71に切られる。
S-271			土坑	F-8	40	15	(15)	
S-272			土坑	F-9	(46)	(42)	(31)	S-220を切り、S-208に切られる。
S-273			土坑	F-8	(39)	(34)	(32)	S-274を切り、S-101・230・258に切られる。
S-274			土坑	F-8	(29)	(7)	(31)	S-100・230・254・273に切られる。
S-275			土坑	G-8	53	(49)	(38)	
S-294			土坑	F-10	89	86	50	
S-295			土坑	F-11	90	82	45	
S-296			土坑	F-11	51	(42)	84	
S-298			土坑	G-11	(139)	(37)	43	
S-299			土坑	F-11	84	78	59	
S-300			土坑	F-11	86	64	37	
S-301			土坑	F-10	150	132	28	
S-302			土坑	F-10	(59)	(45)	27	
S-303			土坑	F-10・F-11	65	42	33	
S-304			土坑	F-11	33	30	31	
S-305			土坑	G-10・G-11	(190)	(83)	40	土器片出土。
S-306			土坑	F-11	19	17	25	
S-307			土坑	F-11	51	34	28	
S-308			土坑	F-11	(94)	80	47	
S-309			土坑	F-11	47	40	12	S-299に切られる。
S-310			土坑	I-11	32	25	35	
S-311			土坑	I-11	32	28	36	
S-312	S-283		土坑	F-11	79	45	43	
S-313	S-283		土坑	F-11	28	(19)	31	
S-314	S-283		土坑	F-11	63	49	36	
S-315			土坑	F-11	32	25	35	
S-316			土坑	F-11	36	29	41	S-285を切る。
S-317			土坑	F-11	78	63	63	S-285を切る。
S-318	S-286		土坑	F-11	40	38	38	S-315を切る。
S-319			土坑	G-11	129	78	50	S-285を切る。
S-320			土坑	I-11	30	25	28	
S-321			土坑	I-11	27	23	33	
S-322	S-276		土坑	J-11	19	19	25	
S-323	S-280		土坑	G-11	48	45	37	
S-324	S-280		土坑	G-11	41	31	24	
S-325	S-297		土坑	G-11	35	27	42	
S-326	S-297		土坑	G-11	(39)	32	34	
S-327			土坑	G-11	36	36	41	
S-328	S-276・982		土坑	I-11	17	15	13	
S-329	S-276・982		土坑	I-11	37	29	38	
S-331			土坑	G-11	65	(26)	33	
S-332			土坑	G-11	78	64	27	S-286を切る。
S-333			土坑	F-11・G-11	101	81	121	土器小片出土。
S-334			土坑	G-11	16	14	14	
S-335			土坑	G-11	38	29	72	
S-336			土坑	G-11	31	29	46	
S-337	S-281		土坑	G-11	55	48	39	
S-338			土坑	G-11	17	14	10	
S-339	S-339		土坑	F-9・F-10	139	99	34	
S-340	S-297		土坑	G-11・F-11	58	52	51	
S-341			土坑	G-11	49	39	34	
S-342			土坑	F-11	50	43	52	
S-343			土坑	G-11	40	37	11	
S-344	S-276		土坑	J-11	24	(13)	69	
S-345	S-280		土坑	G-11	38	30	25	
S-346			土坑	G-11	(48)	33	60	S-347に切られる。
S-347	S-982		土坑	G-11	33	33	52	S-346を切る。
S-348			土坑	G-11	(64)	50	44	S-347に切られる。
S-349			土坑	G-11	(174)	(110)	44	甕壁面片出土。
S-350			土坑	G-11	36	(33)	61	
S-351	S-276		土坑	J-11	38	34	29	

第Ⅲ-6-2表 土坑一覽表5

遺構番号	調査年度 遺構番号	組合遺構名	種類	グリップ	長さ(c.m)	幅(c.m)	深さ(c.m)	備 考
S-352			土坑	H-11	36	23	26	
S-353			土坑	H-11	38	25	42	S-293に切られる。
S-354			土坑	G-11	69	(48)	64	S-290・2に切られる。
S-355			土坑	H-11	22	(8)	15	
S-356			土坑	H-11	28	22	26	
S-357		S-982	土坑	I-11	22	22	26	
S-360			土坑	G-11	24	24	8	
S-361		S-296	土坑	G-11	41	38	72	
S-363		S-290	土坑	G-11	39	(26)	54	
S-366		S-297	土坑	H-11	37	(28)	42	S-340を切る。
S-370			土坑	H-11	37	36	32	S-293を切る。
S-371			土坑	G-11	(36)	30	30	S-322を切る。
S-372			土坑	G-11	24	20	30	
S-373		S-297	土坑	G-11	44	(32)	31	
S-376			土坑	G-10・G-11	(81)	(81)	37	
S-380			土坑	G-11	66	48	46	S-393を切る。
S-383			土坑	G-11	33	31	32	
S-384			土坑	G-11	45	(32)	39	S-327に切られる。
S-387			土坑	G-11	26	(12)	23	土器片出土。
S-388			土坑	G-11	86	(62)	29	
S-391		S-290	土坑	G-11	35	31	43	
S-392			土坑	G-11	30	25	39	
S-393		S-381	土坑	G-11	(29)	24	24	S-380に切られる。
S-394			土坑	H-11	41	32	30	
S-395			土坑	H-11	(29)	(35)	72	
S-397			土坑	H-11	44	38	39	
S-398			土坑	G-11	30	21	34	
S-399			土坑	G-11	34	24	36	
S-400			土坑	G-11	26	23	36	
S-401			土坑	G-11	31	18	23	
S-402			土坑	G-11	(18)	16	13	S-431を切る。
S-403			土坑	G-11	33	(31)	17	
S-404			土坑	H-11	22	19	25	
S-409			土坑	I-10	(27)	21	19	S-161に切られる。S-408溝を切る。
S-410			土坑	I-10	(64)	(48)	49	S-16・411に切られる。
S-411			土坑	I-10	79	(51)	47	S-161に切られる。S-419を切る。
S-412			土坑	H-10	31	27	42	
S-413			土坑	H-10	(95)	88	35	S-337を切る。
S-414			土坑	I-10	(37)	(28)	19	
S-415			土坑	I-11	189	(156)	92	
S-419			土坑	I-11	(32)	(30)	21	土器片出土。
S-420			土坑	I-11	(103)	(82)	50	
S-422			土坑	I-10	(193)	-64	53	土器片出土。
S-423			土坑	G-11	32	29	30	
S-424			土坑	G-11	22	19	19	
S-426			土坑	G-11	29	29	13	
S-428			土坑	H-11	43	26	55	
S-429			土坑	H-11	22	17	40	
S-431			土坑	G-11	15	15	21	S-402に切られる。
S-432			土坑	I-10	(43)	(25)	24	
S-435			土坑	I-11	24	20	27	
S-437			土坑	G-11	40	38	66	S-423に切られる。
S-438			土坑	I-11	(36)	(33)	59	S-417を切る。
S-440			土坑	G-11	22	18	23	
S-441			土坑	I-11	(27)	(15)	4	S-419に切られる。
S-442			土坑	H-11	(28)	17	95	S-393に切られる。
S-443			土坑	G-11	39	33	49	
S-444			土坑	H-11	(40)	(22)	78	S-415に切られる。
S-447			土坑	H-11	35	(24)	31	S-415に切られる。
S-454		S-448	土坑	I-11	(57)	56	100	S-438に切られる。
S-456		S-603	土坑	G-9	116	108	59	
S-457			土坑	G-9	232	49	57	陶器出土。
S-459			土坑	I-10	(28)	(20)	23	
S-460			土坑	I-10	(26)	25	13	
S-461		S-448	土坑	I-11	36	(20)	56	S-438に切られる。
S-462		S-418	土坑	I-11	43	32	50	
S-463		S-418	土坑	I-11	(43)	(36)	59	S-462に切られる。
S-465		S-464	土坑	G-8	39	34	29	
S-466			土坑	H-11	(31)	(22)	32	
S-469			土坑	H-10	(211)	(148)	54	S-968に切られる。
S-473		S-727	土坑	G-9	(25)	(25)	49	S-456を切る。
S-478			土坑	H-11	63	35	49	
S-479			土坑	H-11	(30)	(28)	26	
S-480			土坑	H-11	18	(16)	36	

第三章 1区の調査

第三-6-2表 土坑一覧表6

遺構番号	調査時 遺構番号	組合遺構名	種別	グリッド	長径(c.m)	短径(c.m)	深さ(c.m)	備 考
S-481		S-7	土坑	H-10	54	37	52	S-482・483を切る。
S-482		S-7	土坑	H-10	38	35	44	S-481に切られ、S-483を切る。
S-485		S-448	土坑	I-10	33	27	73	
S-486		S-448	土坑	I-10・I-11	63	48	74	S-490を切る。
S-487			土坑	H-11	36	31	45	
S-488		S-519	土坑	H-10	25	22	40	
S-489		S-519	土坑	H-10	33	33	28	
S-490		S-448	土坑	I-10	(39)	(22)	49	S-486に切られる。
S-492		S-519	土坑	H-10	49	46	60	
S-495		S-7	土坑	H-10	(34)	(18)	6	
S-496			土坑	G-10・H-10	31	22	26	
S-497		S-519	土坑	H-10	37	36	19	
S-498			土坑	H-10	50	(25)	5	
S-499		S-519	土坑	H-10	66	59	18	
S-500			土坑	I-11	50	49	77	
S-501			土坑	I-11	40	(16)	47	
S-502			土坑	H-10	24	20	17	
S-503		S-651	土坑	H-10	28	26	36	
S-504			土坑	H-10	(40)	39	37	
S-506		S-519	土坑	H-10	24	21	41	
S-507		S-507・727	土坑	G-9	417	74	47	遺構内に土坑4基。
S-507-1		S-507	土坑	G-9	48	38	18	
S-507-2		S-507	土坑	G-9	39	25	27	
S-507-3		S-507	土坑	G-9	25	21	8	
S-507-4		S-507	土坑	G-9	20	19	12	
S-509		S-448	土坑	I-10	59	47	94	
S-510		S-452	土坑	I-10	52	42	75	
S-511		S-448	土坑	I-10	33	(22)	33	S-490に切られる。
S-514		S-519	土坑	H-10	26	19	30	
S-515			土坑	H-10	210	132	42	独立柱建物S-468の基壇内位置。
S-518		S-448	土坑	I-10	42	38	45	
S-520		S-448	土坑	I-10	46	(38)	70	
S-521			土坑	H-11	(26)	(13)	34	
S-523		S-448	土坑	I-10	(33)	(33)	33	
S-525		S-418	土坑	I-11	38	(36)	56	
S-526		S-448	土坑	I-10	41	36	66	
S-528			土坑	H-10	(25)	(7)	43	S-469の上面より掘り込み。
S-529			土坑	H-10	36	(24)	30	S-469の上面より掘り込み。
S-530			土坑	I-10	26	22	38	
S-531		S-448	土坑	I-10	49	40	69	
S-536			土坑	I-11	42	30	17	
S-538		S-7	土坑	H-10	23	(11)	32	
S-539			土坑	I-10	45	41	50	
S-540			土坑	I-10	44	26	42	S-541を切る。
S-541			土坑	I-10	40	(28)	67	S-540に切られる。
S-542		S-452	土坑	I-10	71	50	19	
S-543		S-7	土坑	H-10	(34)	33	27	
S-546			土坑	H-10	110	(54)	24	S-7に切られる。
S-549		S-581	土坑	H-10	47	46	22	
S-550			土坑	H-10	24	15	21	
S-551			土坑	G-10	15	12	12	
S-552			土坑	G-10	31	15	22	
S-553			土坑	G-10	34	20	22	
S-554			土坑	G-10	33	12	7	
S-555			土坑	G-10	15	13	9	
S-556		S-490	土坑	I-10	31	20	42	
S-557		S-519	土坑	H-10	(35)	(16)	11	S-483・515に切られる。
S-559		S-436	土坑	H-11	41	(13)	2	
S-560		S-541	土坑	I-10	26	19	30	
S-561		S-519	土坑	H-10	35	24	21	
S-562		S-519	土坑	H-10	35	34	18	
S-563			土坑	I-11	30	17	38	
S-564			土坑	G-10	(158)	(45)	18	
S-565			土坑	H-10	78	49	12	
S-566			土坑	H-10	25	25	7	
S-567		S-706	土坑	H-10	37	24	27	
S-568		S-519	土坑	H-10	(72)	56	62	
S-569		S-519	土坑	H-10	(143)	82	20	
S-570			土坑	H-10	35	29	29	
S-571			土坑	G-10	33	27	51	
S-572			土坑	I-10	41	(33)	63	
S-573			土坑	H-10	36	33	23	
S-574		S-407	土坑	H-10	41	41	71	
S-575			土坑	H-10	45	35	19	S-581を切る。

第Ⅲ-6-2表 土坑一覧表7

遺構番号	調査年度 遺構番号	集合遺構名	種類	グリップ	長さ(c.m)	幅(c.m)	深さ(c.m)	備 考
S-576		S-436	土坑	I-11	(32)	(30)	59	
S-578			土坑	H-10	30	26	54	
S-579		S-561	土坑	H-10	38	30	61	
S-580		S-453	土坑	I-10	46	39	9	S-453埋埋溝に切られる。
S-584			土坑	I-10	47	33	45	
S-585		S-453	土坑	I-10	24	22	18	
S-586		S-453	土坑	I-10	34	29	26	
S-587		S-453	土坑	I-10	48	42	57	
S-588		S-519	土坑	H-10	91	85	24	
S-589		S-519	土坑	H-10	(24)	(21)	22	S-5604に切られる。
S-590		S-519	土坑	H-10	20	65	57	S-5604に切られる。
S-591		S-7	土坑	H-10	59	56	18	S-516埋埋溝を切る。
S-592		S-7	土坑	H-10	(38)	(25)	18	S-516・649を切る。
S-594			土坑	H-10	(61)	(31)	10	S-524に切られる。
S-597		S-635	土坑	G-10	46	25	41	
S-598		S-582	土坑	H-10	54	47	25	
S-599		S-582	土坑	H-9・I-9	33	31	17	
S-601		S-602	土坑	G-10	(24)	(19)	13	
S-602			土坑	G-10	229	110	53	
S-603		S-558	土坑	G-10	(165)	81	30	
S-609		S-544	土坑	I-10	32	32	52	
S-610		S-635	土坑	G-10	41	33	23	S-596を切る。
S-611		S-635	土坑	G-10	39	32	28	
S-612		S-635	土坑	G-10	36	33	23	
S-613		S-635	土坑	G-10	34	27	39	
S-614		S-635	土坑	G-10	31	29	29	
S-615		S-635	土坑	G-10	31	29	12	
S-616		S-635	土坑	G-10	40	37	19	
S-617		S-635	土坑	G-10	52	32	20	
S-618		S-635	土坑	G-10	42	34	57	
S-621		S-582	土坑	I-10	51	47	31	S-572に切られる。
S-622		S-582	土坑	H-9	34	(31)	33	S-5994に切られる。
S-623			土坑	H-10	57	(38)	26	
S-624		S-558	土坑	G-10	(25)	(25)	44	S-620を切る。
S-625			土坑	H-10	21	21	56	
S-636		S-582	土坑	H-10	29	26	64	
S-638		S-516	土坑	H-10	51	39	15	S-583を切る。
S-631		S-558	土坑	G-10	38	32	13	
S-632		S-558	土坑	G-10	26	24	14	
S-634		S-662	土坑	H-10	57	50	42	
S-637		S-519	土坑	H-10	(41)	37	44	
S-638		S-558	土坑	G-10	38	29	27	
S-639			土坑	H-10	24	19	19	S-651を切る。
S-640			土坑	H-10	41	37	57	S-706を切る。
S-641		S-715	土坑	H-10	22	30	41	S-647・715を切る。
S-643			土坑	G-10	110	56	40	
S-645			土坑	H-10	(53)	(43)	68	S-578・6661に切られる。
S-646		S-519	土坑	H-10	21	19	22	
S-649		S-7	土坑	H-10	(41)	(28)	19	S-592に切られる。
S-650			土坑	H-10	(94)	64	17	S-588・644に切られる。
S-652		S-635	土坑	G-10	36	35	60	S-643に切られる。
S-653		S-647	土坑	H-10	61	49	55	
S-655		S-607	土坑	G-10・H-10	64	49	46	
S-656		S-608	土坑	G-10	(64)	42	57	
S-657		S-608	土坑	G-10	35	35	44	
S-660		S-608	土坑	G-10	21	20	9	
S-661		S-608	土坑	G-10	40	36	32	S-600・608・651に切られる。
S-663		S-608	土坑	G-10	19	18	27	
S-664		S-608	土坑	G-10	33	17	15	
S-666		S-519	土坑	H-10	39	29	58	S-673を切る。
S-667			土坑	F-9	(120)	90	66	
S-668		S-635	土坑	G-10	51	37	56	S-600を切る。
S-669		S-635・727	土坑	G-10	61	(22)	34	S-600を切る。
S-670			土坑	F-9	93	49	43	S-720・729を切る。S-710に切られる。
S-671		S-516	土坑	H-10	38	36	31	S-672を切る。
S-672		S-516	土坑	H-10	(33)	(28)	22	S-671に切られる。
S-677		S-678	土坑	H-10	28	25	30	
S-679		S-678	土坑	H-10	(18)	(7)	3	
S-680		S-519	土坑	H-10	30	19	11	
S-681			土坑	H-10	43	23	9	
S-682		S-635	土坑	G-10	(13)	11	11	S-6001に切られる。S-606を切る。
S-684		S-651	土坑	H-10	45	(34)	50	
S-685		S-647	土坑	H-10	33	28	29	
S-686			土坑	H-10	22	21	20	

第三章 1区の調査

第三-6-2表 土坑一覧表8

遺構番号	調査時 遺構番号	組合遺構名	種類	グリッド	長径(c.m)	短径(c.m)	深さ(c.m)	備 考
S-687		S-519	土坑	H-10	35	(28)	85	
S-688		S-519	土坑	H-10	25	30	17	
S-689		S-519	土坑	H-10	19	18	9	
S-690		S-519	土坑	H-10	17	15	13	
S-691		S-519	土坑	H-10	25	(14)	9	S-515に切られる。
S-692		S-635	土坑	G-10	32	23	29	
S-694			土坑	G-10	(30)	(11)	24	S-600を切る。
S-695		S-635	土坑	G-10	43	40	33	
S-696			土坑	G-10	28	24	16	
S-697		S-603	土坑	G-9	74	64	24	
S-698			土坑	G-9	43	39	16	
S-699			土坑	G-9	30	21	18	
S-700			土坑	G-9	37	25	27	
S-701			土坑	G-9	48	35	18	S-696を切る。
S-702			土坑	G-10	11	9	10	S-683に切られる。
S-704			土坑	F-9	170	125	69	
S-707		S-602	土坑	G-10	31	29	28	S-602・705を切る。
S-708			土坑	F-9	(128)	(90)	3	S-667・709に切られる。S-720を切る。
S-709			土坑	F-9	(105)	(45)	65	S-708・780を切る。S-667に切られる。
S-710			土坑	F-9	165	(131)	66	S-667に切られる。S-670・729・737・792を切る。
S-713		S-706	土坑	H-10	52	40	37	S-714を切る。
S-714			土坑	H-10	(36)	35	41	S-713・717に切られる。
S-716		S-715	土坑	H-10	30	25	15	
S-717		S-651	土坑	H-10	53	44	51	S-714を切る。S-717に切られる。
S-718			土坑	G-10	31	27	28	
S-719		S-727	土坑	G-9	40	40	35	
S-720			土坑	F-9	(161)	(99)	29	S-667・708に切られる。
S-721		S-727	土坑	F-9・G-9	69	61	25	S-723を切る。
S-722		S-727	土坑	G-9	(87)	(59)	17	S-721に切られる。
S-729			土坑	F-9	(124)	(55)	37	S-710に切られる。S-670・729を切る。
S-731		S-727	土坑	G-9	14	(11)	23	
S-732		S-635	土坑	G-10	25	22	19	
S-734		S-727	土坑	F-9	69	53	45	S-704に切られる。
S-736		S-608	土坑	G-10	18	16	11	
S-739			土坑	G-10	20	19	6	
S-740		S-727	土坑	G-9	66	41	16	
S-743		S-727	土坑	F-9・F-10	71	57	50	
S-744		S-727	土坑	G-9	30	23	30	
S-745		S-727	土坑	G-9	44	32	10	
S-747			土坑	H-10	49	41	51	
S-748		S-727	土坑	F-9	39	30	16	
S-749		S-727	土坑	F-9	41	30	24	S-730を切る。
S-750		S-727	土坑	F-9	(71)	49	38	S-749に切られる。
S-752			土坑	H-10	33	20	7	
S-753			土坑	H-10	24	21	27	
S-754			土坑	G-10	30	28	46	
S-755		S-727	土坑	F-9	(53)	(39)	35	S-736を切る。
S-756		S-727	土坑	F-9	197	(136)	53	S-735に切られる。S-757を切る。
S-757		S-727	土坑	F-9	(210)	(104)	43	S-736に切られる。
S-758			土坑	H-10	44	(25)	35	S-739に切られる。
S-759			土坑	H-10	42	(37)	43	S-738・740を切る。
S-760			土坑	H-10	24	(12)	26	S-739に切られる。
S-761		S-727	土坑	H-10	(30)	(14)	22	
S-764			土坑	G-9	38	(25)	13	
S-765			土坑	F-9	23	20	11	S-704に切られる。
S-767		S-727	土坑	F-9	21	17	22	
S-769			土坑	H-10	21	(14)	25	
S-770			土坑	G-10	18	(13)	17	S-606前面で検出。
S-771			土坑	G-10	27	25	28	S-606前面で検出。
S-772			土坑	F-9・G-9	(330)	51	41	遺構内に土坑3基。
S-773-1		S-773	土坑	F-9・G-9	63	37	40	
S-773-2		S-773	土坑	G-9	(96)	17	6	
S-773-3		S-773	土坑	G-9	(48)	24	12	
S-774			土坑	H-10	20	12	16	
S-775			土坑	H-10	27	20	20	
S-776		S-651	土坑	H-10	47	33	48	
S-777			土坑	H-10	15	12	18	
S-778		S-771	土坑	G-9	(50)	41	53	
S-779		S-519	土坑	H-10	92	56	55	
S-781			土坑	H-9	32	24	27	
S-782		S-725	土坑	G-9	25	18	6	
S-783			土坑	G-9	33	32	32	
S-792			土坑	F-9	94	48	40	S-710に切られる。S-670・793を切る。
S-794		S-727	土坑	F-9	61	53	33	S-704に切られる。

第Ⅲ-6-2表 土坑一覽表9

遺構番号	調査年度 遺構番号	組合遺構名	種類	グリップ	長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	備考
S-790		S-651	土坑	H-10	(25)	(7)	18	
S-800			土坑	J9	(87)	(38)	49	
S-801			土坑	J9	(107)	(92)	20	S-801-S-802
S-802			土坑	J9	58	47	16	S-802-S-801
S-803			土坑	J9	33	26	22	
S-804			土坑	J9	130	(119)	44	
S-805			土坑	J9	31	30	17	S-805-S-834
S-806			土坑	J9	43	29	36	
S-807			土坑	J9	33	32	15	
S-808			土坑	J9	27	23	25	
S-809			土坑	J9	34	31	35	
S-810			土坑	J9	58	56	51	
S-811			土坑	J9	66	56	25	S-811-S-812
S-812			土坑	J9	29	(25)	30	S-812-S-811
S-813			土坑	J9、J9	36	28	35	
S-814			土坑	J9	36	30	22	
S-815			土坑	J10	83	76	14	
S-818			土坑	J9、J10	66	(32)	28	
S-819			土坑	J10	63	59	40	
S-820			土坑	J10	24	22	19	
S-821			土坑	J9、J10	76	52	23	
S-822			土坑	J10	89	55	30	
S-823			土坑	J10	50	34	11	
S-824			土坑	J10	29	26	13	
S-825			土坑	J10	45	25	10	
S-826			土坑	J8、J9	130	116	132	S-826-S-852-S919
S-832			土坑	J9	32	27	37	
S-833			土坑	J9	160	136	152	
S-834			土坑	J9	154	147	39	S-834-S-805
S-837			土坑	J9	38	33	21	
S-838			土坑	J9	64	45	59	
S-846		S-835	土坑	J9	145	132	143	
S-847		S-835	土坑	J10	34	31	9	
S-849			土坑	J10	31	29	33	
S-850		S-835	土坑	J10	37	28	21	
S-851			土坑	J9	(74)	(73)	115	S-851-S-856
S-853		S-852	土坑	J9	44	40	92	S-853-S-852跡地
S-854		S-852	土坑	J9	49	39	99	
S-855		S-276	土坑	J11	54	44	79	
S-857			土坑	J10	92	86	65	
S-859		S-852	土坑	J9、J9	152	146	180	S-859-S-885-S-938
S-860			土坑	J9	94	83	99	S-860-S-883
S-861		S-852	土坑	J8、J9	173	170	173	S-861-S-829-S-830
S-862		S-985	土坑	J-11	57	49	53	
S-863		S-985	土坑	J-11	65	55	67	
S-864			土坑	J9、J9	194	178	88	S-864-S-865-S-912
S-865			土坑	J8、J9、J8、J9	(206)	161	165	S-923-S-860-S-864-S-875
S-866		S-852	土坑	J8	189	170	152	S-866-S-867
S-867		S-852	土坑	J8	51	43	57	S-867-S-866
S-869		S-852	土坑	J9	(49)	46	14	S-852跡地-S-869-S-852跡地
S-870		S-829	土坑	J9	34	31	28	
S-871		S-852	土坑	J8、J9	39	26	12	S-871-S-830
S-872		S-852	土坑	J8、J9	42	25	28	S-872-S-830/S-884
S-873		S-852	土坑	J8、J9	78	65	39	
S-874		S-852	土坑	J9	138	141	140	
S-875			土坑	J8、J9、J8、J9	128	121	140	S-852跡地、S-874-S-886-S-882
S-876		S-852	土坑	J8	(34)	(19)	18	S-875-S-860
S-877		S-852	土坑	J9	34	30	(46)	S-877-S-835-S-836
S-878		S-852	土坑	J8、J8	29	28	32	
S-883			土坑	J9	117	115	152	S-852-S-883-S-882
S-884		S-852	土坑	J8、J9	43	38	(34)	S-884-S-830-S-872
S-885		S-882	土坑	J9、J9	(33)	(31)	27	S-885-S-859
S-886			土坑	J9	(54)	(67)	29	S-886-S-874
S-889		S-868	土坑	J10	34	30	62	S-889-S-800
S-890		S-868	土坑	J10	32	32	89	S-889-S-800
S-891		S-868	土坑	J10	15	14	9	
S-892		S-868	土坑	J10	45	34	72	
S-893		S-882	土坑	J9	30	26	20	
S-896			土坑	J9	(66)	(63)	29	S-900-S-896-S-897
S-897			土坑	J9、J9	142	130	142	900-896-897-S-917-S-898-S-938
S-898			土坑	J9、J9	141	-	101	S-938-S-898-S-897
S-900		S-852	土坑	J9	31	(24)	64	S-882跡地-S-900-S-896-S-897-S-882跡地
S-902		S-882	土坑	J9	24	20	9	S-882跡地跡地上面構出
S-904		S-882	土坑	J9	84	18	8	S-882跡地跡地上面構出

第Ⅲ章 1区の調査

第Ⅲ-6-2表 土坑一覧表10

遺構番号	調査時 遺構番号	組合遺構名	種別	グリッド	長径(c.m)	短径(c.m)	深さ(c.m)	備 考
S-905		S-882	土坑	J9	27	24	33	S-882跡床跡上面検出
S-906		S-450	土坑	J10	25	20	12	
S-907		S-887	土坑	J10	(33)	21	9	
S-908		S-829	土坑	J9	25	15	9	
S-909		S-829	土坑	J9	37	10	14	
S-910		S-829	土坑	J9	38	24	23	
S-911		S-852	土坑	J8	21	17	21	
S-912		S-852	土坑	J9	79	62	38	S-912<S-964
S-914			土坑	J10	158	113	88	
S-915		S-852	土坑	J8	25	15	30	S-915<S-828
S-917			土坑	J9	(120)	(90)	(90)	S-938<S-898<S-917<S-897
S-920		S-916	土坑	J10	32	28	12	
S-922		S-453	土坑	J10	24	19	40	
S-924			土坑	18・9	87	56	36	
S-925			土坑	18・9	197	171	127	
S-926			土坑	J8	(64)	(51)	63	S-926<S-852
S-927		S-852	土坑	J9	30	30	24	
S-928		S-858	土坑	J10	19	(16)	21	
S-929		S-918	土坑	J10	34	30	30	
S-931		S-913	土坑	J10	21	19	50	
S-932		S-900	土坑	J10	34	31	27	
S-933			土坑	J8	120	116	63	
S-935			土坑	J9	190	(130)	93	S-935<S-936
S-936			土坑	J9	133	(122)	45	S-935<S-936
S-940			土坑	1-1	(112)	(49)	27	
S-941			土坑	1-1	52	26	16	
S-945		S-942	土坑	J9	34	27	33	
S-946		S-942	土坑	J8	35	31	66	S-946<S-947
S-947		S-942	土坑	J8	(32)	27	45	S-947<S-946
S-948		S-942	土坑	J8	18	17	17	
S-949		S-942	土坑	J8	19	17	11	
S-950		S-942	土坑	18・9	99	76	35	S-950<S-952・S-953・S-965・S-966
S-951			土坑	J8	107	72	36	既削出土
S-952		S-942	土坑	J9	22	20	36	S-952<S-900
S-953		S-942	土坑	18・9	48	29	17	S-950<S-953<S-965
S-954		S-942	土坑	J8	23	21	22	
S-955		S-942	土坑	J8	35	27	49	
S-956		S-942	土坑	J8	32	26	26	
S-958		S-942	土坑	J9	54	39	37	
S-959		S-942	土坑	J9	22	18	23	
S-960		S-942	土坑	J9	55	43	62	
S-961		S-942	土坑	J8	32	29	58	
S-962		S-942	土坑	J8	24	22	12	
S-963		S-942	土坑	J8	28	22	21	
S-964		S-942	土坑	J8	37	32	38	
S-965		S-942	土坑	18・9	48	39	48	S-950・S-953<S-965<S-966
S-966		S-942	土坑	J8	(17)	(13)	(18)	S-966<S-950・S-965
S-967		S-942	土坑	J8	26	23	40	
S-968		S-942	土坑	J8	45	35	29	
S-970		S-942	土坑	J8	19	18	16	
S-972		S-942	土坑	18・9	33	51	21	S-972<S-973
S-973		S-942	土坑	18・9	39	33	19	S-973<S-972
S-975			土坑	H7	(36)	(34)	22	S-975<S-974
S-979			土坑	J10	(30)	26	14	
S-983	S-276a-1	S-276	土坑	J-11	35	26	24	
S-994	S-276a-2	S-276	土坑	J-11	53	44	53	
S-996	S-276c-1	S-983	土坑	1-11	46	39	61	
S-996	S-276c-2	S-983	土坑	1-11	32	(31)	44	
S-998	S-276c-3	S-983	土坑	1-11	96	(63)	45	
S-997	S-276c-4	S-983	土坑	1-11	79	(53)	68	
S-999	S-392-1	S-292	土坑	F-11	42	30	40	
S-1000	S-392-2	S-292	土坑	F-11	64	34	38	
S-1001	S-392-3	S-292	土坑	F-11	36	22	39	
S-1002	S-378-1	S-378	土坑	1-11	36	(28)	33	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表1

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	グリップ	遺構 層位	器種	数量(単位:cm)		胎土	構成	色調
							全長(全長)元、△2段分	口径(e m) 器高(e m) 底径(e m) 胴底最大径(e m)			
1	H27	Ⅲ-4-4	5114	H9	S-464 埋土中	甕	△4.2 -	普通	良好	明赤褐色	
2	H27	Ⅲ-4-8	4836	G9	S-457 埋土中	陶器	△4.1 -	精緻	良好	にぶい橙色 外面釉:黒オリーブ色 内面釉:淡黄色	
3	H27	Ⅲ-4-8	5496	G9	S-456 埋土中	甕	△4.4 -	普通	不良	にぶい黄褐色	
4	H27	Ⅲ-4-8	8094	F9	S-467 埋土中	皿	●12.3 3.3 ●4.1 -	精緻	良好	灰白色	
5	H27	Ⅲ-4-14	8708	F9	S-766 埋土中	甕	●29.6 △5.7 -	粗	不良	にぶい黄褐色	
6	H27	Ⅲ-4-14	8708	F9	S-766 埋土中	須恵器 甕	△4.4 -	精緻	良好	灰色	
7	H27	Ⅲ-4-14	8999	F9	S-766 成人土中	白磁	△1.8 ●7.0 -	精緻	良好	灰白色	
8	H26	Ⅲ-4-18	1695	G8	S-41 埋土中	甕	●18.6 △4.3 -	精緻	良	にぶい黄褐色	
9	H26	Ⅲ-4-18	1434	H8	S-33 床前直上	甕	●16.0 △5.4 -	普通	良好	灰白色	
10	H26	Ⅲ-4-18	1641	H8	S-33 埋土下層	陶器 器鉢	●6.35 ●14.2 -	粗	良好	にぶい赤褐色	
11	H26	Ⅲ-4-18	1694	G8	S-31 1層	甕	●22.4 △6.1 -	普通	良	橙色	
12	H26	Ⅲ-4-18	1295	H8	S-29 埋土中	埴	●12.2 3.0 7.3 -	精緻	良好	灰白色	
13	H26	Ⅲ-4-18	1101	H8	S-29 検出直	陶器 器鉢	●4.9 -	精緻	良	灰色	
14	H26	Ⅲ-4-18	1333	G8	S-30 埋土中	陶器	△1.6 -	精緻	良	浅黄褐色	
15	H26	Ⅲ-4-18	1334	G9	S-36 埋土中	陶器	△4.9 -	精緻	良	灰黄色	
16	H26	Ⅲ-4-18	1836	F8	S-222 埋土中	白磁 甕部	△1.3 -	精緻	良	白色	
17	H26	Ⅲ-4-18	1270	G9	S-25 埋土中	陶器 器鉢	△1.7 -	精緻	良	赤褐色	
18	H27	Ⅲ-4-26	2406	G11	S-219 最上層	須恵器 甕	△7.5 -	普通	良	浅黄色・にぶい橙色	
19	H26	Ⅲ-4-26	305,841	H11	S-5 検出直	埴	12.6 4.2 7.3 -	普通	良好	橙色	
20	H26	Ⅲ-4-26	1368,1774	F9	S-67 埋土中	白磁 皿	11.1 3.1 6.2 -	精緻	良好	黄緑・浅黄色 釉:灰白色	
21	H27	Ⅲ-4-26	7597	G10	S-443 埋土中	陶器 甕	△4.0 -	精緻	良	灰白色	
22	H27	Ⅲ-5-6	1246	J11	S-276 埋土中	甕	●19.6 △6.3 -	普通	良好	にぶい黄褐色	
23	H27	Ⅲ-5-6	1245	J11	S-276 埋土中	甕	●19.2 △5.4 -	普通	良好	にぶい黄褐色	
24	H27	Ⅲ-5-6	1307,1308	J11	S-276 埋土中	甕	●18.2 △4.8 -	粗	不良	橙色	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表2

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グラフィド	遺構 層位	器種	寸法 (単位:cm)		胎土	焼成	色調
							口径	高さ			
25	H28	Ⅲ-5-6	5199	J11	S-855 埋土中	甕	φ13.9 △11.4 -	-	粗	良好	浅黄褐色
26	H27	Ⅲ-5-6	994,1286	J11	S-276 埋土中	甕	φ15.8 △6.9 -	-	普通	良好	にぶい黄褐色
27	H27	Ⅲ-5-6	1437,1286	J11	S-276 埋土中	甕	φ14.7 △18.6 -	φ16.7	普通	良好	浅黄色
28	H27	Ⅲ-5-6	1485,1949,1197,994	J11 J11	S-276 埋土中	甕	φ22.8 38.6 30.8	6.6	普通	良好	浅黄褐色
29	H27	Ⅲ-5-6	1949,994,1197	I11 J11	S-276 埋土中	高坏	φ23.1 △3.8 -	-	普通	良	褐色
30	H27	Ⅲ-5-6	1488	J11	S-276 埋土中	低脚坏	φ11.6 5.6 5.4	-	普通	良好	浅黄褐色
31	H27	Ⅲ-5-6	1194	J11	S-276 埋土中	器台	φ6.5 -	-	粗	良好	にぶい褐色
32	H28	Ⅲ-5-6	5198	J11	S-855 埋土中	直口碗	6.55 15.7 12.4	-	普通	良好	浅黄褐色
33	H26	Ⅲ-5-6	1243,1286,1445	J11	S-276 埋土中	胴部	φ16.2 9.2 φ22.3	-	普通	良好	暗灰黄色
34	H27	Ⅲ-5-7	2287	I11	S-310 1層	甕	φ4.0 -	-	普通	良	明黄褐色
35	H27	Ⅲ-5-9	2128	I11	S-982 埋土中	甕	φ21.6 △7.5 -	-	普通	良	にぶい黄褐色
36	H27	Ⅲ-5-9	1237	I11	S-982 埋土中	甕	φ13.6 △7.1 -	-	粗	不良	黄褐色
37	H27 H28	Ⅲ-5-9	1196,5231	J11 J9	S-982 埋土中	甕	φ24.0 △6.9 -	-	普通	良好	にぶい黄色
38	H27 H28	Ⅲ-5-9	1439,2130,2140,2015	I11 J11	S-276 S-982 埋土中	甕	φ19.3 △6.2 -	-	普通	良好	にぶい黄褐色
39	H27	Ⅲ-5-9	1504	I11	S-982 埋土中	甕	φ17.0 △4.2 -	-	普通	良	浅黄褐色
40	H27	Ⅲ-5-9	1197	I11	S-982 埋土中	甕	φ16.4 △5.2 -	-	粗	良好	浅黄色
41	H27	Ⅲ-5-9	1501	I11	S-982 埋土中	甕	φ17.4 △6.1 -	-	普通	良	黄褐色
42	H27	Ⅲ-5-9	1510	I11	S-982 埋土中	甕	17.3 △10.0 -	-	粗	良	褐色
43	H27	Ⅲ-5-9	2142	I11	S-982 表面直上	甕	φ14.6 △4.6 -	-	精緻	良	灰黄褐色
44	H27	Ⅲ-5-9	1494,1495	I11	S-982 埋土中	甕	14.4 △5.1 -	-	普通	良好	明黄褐色
45	H27	Ⅲ-5-9	2130,2129	I11	S-982 S-982S-276 埋土中	甕	φ19.5 △5.1 -	-	普通	良	褐色
46	H27	Ⅲ-5-9	2014,1602,1946,1944, 1903,2011	H11 I11	S-982 表面直上	甕	φ18.6 △3.0 -	φ21.2	普通	良	黄褐色
47	H27	Ⅲ-5-9	1512,1508,1604,1609, 1505,1946,2013,2012, 2015,2017,1603,1602, 1605,1945	I11 H11	S-982 埋土中、表面直上	甕	φ17.3 28.5 φ13.2 22.3	-	普通	良	褐色
48	H27	Ⅲ-5-9	1953,1504	H11 I11	S-982 埋土中	甕	18.35 △20.0 36.95	-	普通	良好	明黄褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表3

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	ドリッド	遺構 層位	部種	数量 (単位: cm)		胎土	焼成	色調
							全長(直線元)・△△部存在	口径 (cm) 器高 (cm) 底径 (cm) 胴底最大径 (cm)			
49	H27	Ⅲ-5-9	1510	III	S-982 埋土中	甕	△4.1 -	-	普通	良	にぶい黄褐色
50	H27	Ⅲ-5-9	2015, 1602, 1947, 1287, 1197	H11 III	S-982 床面直上埋土中	甕	16.8 17.85 器高 2.2 17.0	-	普通	良好	にぶい褐色
51	H27	Ⅲ-5-9	1490, 1196	III	S-982 埋土中	器台 (又は鉄製坏)	器19.0 △11.8 -	-	普通	良好	にぶい褐色
52	H27	Ⅲ-5-9	1238, 1196	III	S-982 埋土中	器台	器19.6 △7.0 -	-	粗	良	浅黄褐色
53	H27	Ⅲ-5-9	1402	III	S-982 埋土中	底部	△5.4 3.4 -	-	普通	良	褐色
54	H27	Ⅲ-5-9	1197	III	S-982 埋土中	底部	△5.1 -	-	普通	良	褐色
55	H27	Ⅲ-5-9	1941	H11	S-982 埋土中	底部	△2.4 3.8 -	-	普通	良	褐色
56	H27	Ⅲ-5-12	1307	III	S-983 埋土中	甕	器17.0 △5.1 -	-	粗	良	黄褐色
57	H27	Ⅲ-5-12	1307	III	S-983 埋土中	甕	器13.6 △2.5 -	-	普通	良	褐色
58	H27	Ⅲ-5-12	1197	III	S-983 埋土中	底部	△3.1 器15.4 -	-	普通	良	褐色
59	H28	Ⅲ-5-15	5182	J11	S-985 埋土上層	甕	器15.8 △6.7 -	-	普通	良	にぶい黄褐色
60	H28	Ⅲ-5-15	5206	J11	S-985 埋土中	甕	器17.4 △6.5 -	-	粗	良	にぶい黄褐色
61	H28	Ⅲ-5-15	5206	J11	S-985 埋土中	甕	△3.9 -	-	粗	良	褐色
62	H28	Ⅲ-5-15	5150, 5151	J11	S-985 埋土上層	甕	器19.0 △25.9 器21.2 -	-	普通	良好	浅黄褐色
63	H28	Ⅲ-5-18	5290	J11	S-988 埋土中	甕	器12.6 △4.0 -	-	粗	不良	黄褐色
64	H28	Ⅲ-5-18	5256	J11	S-988 埋土中	甕	器15.4 △4.8 -	-	粗	良	黄褐色
65	H27	Ⅲ-5-19	2630	III	S-320 埋土中	胴部	△2.6 器11.2 -	-	普通	良	褐色
66	H27	Ⅲ-5-33	2050	F11	S-283 床面直上	甕	器17.8 △4.4 -	-	普通	良	黄褐色
67	H27	Ⅲ-5-33	2073	G11	S-305 埋土中	甕	器17.5 △3.6 -	-	普通	不良	にぶい褐色
68	H27	Ⅲ-5-33	2072	F10	S-301 埋土中	甕	器7.2 △3.2 -	-	普通	良	褐色
69	H27	Ⅲ-5-33	2071	F10	S-301 埋土中	甕	△4.4 -	-	普通	良	黄褐色
70	H27	Ⅲ-5-33	2021	G11	S-322 埋土中	器台	△4.5 -	-	普通	良	褐色
71	H27	Ⅲ-5-36	2053	H11	S-287 床面直上	甕	△3.2 -	-	粗	良	褐色
72	H27	Ⅲ-5-36	1962	H11	S-287 埋土中	甕	△2.8 -	-	普通	良	浅黄褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表4

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グラフィド	遺構 層位	部種	寸法 (単位:cm)	胎土	焼成	色調
							全長(包括元・△は残部) 口径(□)cm 器高(◇)cm 底径(○)cm 胴部最大径(▽)cm			
73	H27	Ⅲ-5-36	1963,1972,1992	H11	S-267 甕上中	胴部	△16.5 △47.4	普通	良	明赤褐色
74	H27	Ⅲ-5-37	3753	H11	S-377 床面直上	胴部	△4.0 △8.0	粗	良	褐色
75	H27	Ⅲ-5-38	2388	H11	S-295 床面直上	甕	△3.8 -	普通	良	浅黄褐色
76	H27	Ⅲ-5-38	2998,2527	H11	S-293 床面直上	甕	△26.8 △5.5	普通	良	浅黄褐色
77	H27	Ⅲ-5-44	1983	G11	S-280 甕上中	甕	△3.2 -	普通	良	浅黄褐色
78	H27	Ⅲ-5-44	2003	G11	S-280 床面直上	甕	△5.1 -	粗	良	にぶい褐色
79	H27	Ⅲ-5-46	1981	G11	S-289 甕上中	甕	△19.3 △4.6	普通	良好	明黄褐色
80	H27	Ⅲ-5-46	3069	H11	S-289 床面直上	甕部	△3.2 △3.0	普通	良	褐色
81	H27	Ⅲ-5-49	2884	G11	S-290 甕上中	甕	△3.1 -	粗	良	浅黄褐色
82	H27	Ⅲ-5-51	3867	G11	S-387 甕上中	甕	△4.0 -	普通	良	にぶい黄褐色
83	H26	Ⅲ-5-59	455	H11	S-6 甕上中	甕	△16.2 △4.35	普通	良好	明黄褐色
84	H27	Ⅲ-5-59	3739	G11	S-398 甕上中	甕	△5.2 -	普通	良	にぶい黄褐色
85	H27	Ⅲ-5-59	3819	I11	S-396 甕上中	甕	△4.2 -	粗	良	褐色
86	H27	Ⅲ-5-61	3708	I11	S-421 床面直上	甕	△18.0 △5.3	普通	良	にぶい黄褐色
87	H27	Ⅲ-5-61	3457,3461	I11	S-421 甕上中	甕台	△3.1 -	普通	良	にぶい黄褐色
88	H27	Ⅲ-5-61	3465,3657	I11	S-421 甕上中	甕	△16.2 △15.9 △18.8	粗	良好	にぶい黄褐色
89	H27	Ⅲ-5-66	1193	I11	S-1 甕上中	甕	△14.0 △4.2	普通	良	浅黄褐色
90	H26	Ⅲ-5-66	905	I10	S-1 甕上中	甕	△13.4 △4.8	普通	良	浅黄褐色
91	H27	Ⅲ-5-66	1193	I11	S-1 甕上中	甕	△17.8 △5.7	普通	良	にぶい黄褐色
92	H26	Ⅲ-5-66	629	I10	S-1 甕上中	甕	△16.0 △5.3	普通	良	にぶい黄褐色
93	H26	Ⅲ-5-66	904	I10	S-1 甕上中	甕	△14.8 △10.2	普通	良好	にぶい黄褐色
94	H26	Ⅲ-5-66	903	I10	S-1 甕上中	甕	△19.6 △5.75	普通	良好	にぶい黄褐色
95	H26	Ⅲ-5-66	650,606,738	I10	S-1甕溝内 甕上中	底口直	△9.0 △7.9 △13.0	精緻	良好	浅黄褐色
96	H26	Ⅲ-5-66	613	I10	S-1 甕上中	高坏	△8.0 △14.4	普通	良好	浅黄褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表5

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	ドリフト	遺構 層位	部種	位置 (単位:cm)		胎土	焼成	色調
							※1(中心元、△2(存在部)	※3(最大径)			
							□1(厚)	◎高			
							◎高	◎高			
							◎高	◎高			
							◎高	◎高			
97	H26	Ⅲ-5-66	616	110	S-1 埋土中	脚部	△3.7 ◎10.0	普通	良	浅黄褐色	
98	H26	Ⅲ-5-66	382,607	110	S-1 埋土中	器台	△3.9 ◎	普通	良	にぶい褐色	
99	H27	Ⅲ-5-66	1193	111	S-1 埋土中	器台	△6.5 ◎	普通	良	浅黄褐色	
100	H27	Ⅲ-5-67	4152	110	S-396 埋土中	蓋	△5.1 ◎	普通	良	にぶい黄褐色	
101	H27	Ⅲ-5-70	5511	111	S-454 埋土中	壺	◎14.0 △4.85	普通	良好	明黄褐色	
102	H27	Ⅲ-5-70	4273,4806	111	S-454 埋土中	蓋	◎15.1 △12.25 ◎15.0	粗	良好	黄褐色	
103	H27	Ⅲ-5-70	5511	111	S-454 埋土中	蓋	◎16.4 △5.6	普通	良好	にぶい黄褐色	
104	H27	Ⅲ-5-70	4865	110	S-448 床面直上	蓋	△4.8 ◎	普通	良	明赤褐色	
105	H27	Ⅲ-5-70	4221	110	S-448 埋土中	脚部	△4.7 17.1	普通	良	褐色	
106	H27	Ⅲ-5-70	5818	110	S-518 埋土中	底部	△1.2 ◎2.7	普通	良好	灰黄褐色	
107	H27	Ⅲ-5-70	5393	111	S-448 埋土中	底部	△3.4 3.0	普通	良	灰白色	
108	H27	Ⅲ-5-71	6396	111	S-436 埋土中	蓋	△4.6 ◎	普通	良	にぶい黄褐色	
109	H27	Ⅲ-5-72	5326,5380,5383	110	S-490 埋土中	蓋	◎19.6 △13.5 ◎21.6	粗	良好	にぶい黄褐色	
110	H28	Ⅲ-5-72	5361,5365	19 110	S-490 埋土中	蓋	◎18.2 △4.7	普通	良好	褐色	
111	H27	Ⅲ-5-72	6352	110	S-490 埋土中	蓋	△3.8 ◎	普通	良	にぶい褐色	
112	H28	Ⅲ-5-72	5360	110	S-490 埋土中	脚部	△4.0 ◎15.2	普通	良	明黄褐色	
113	H27	Ⅲ-5-72	6352	110	S-490 埋土中	底部	△4.2 5.6	普通	良	黒褐色	
114	H28	Ⅲ-5-73	5383	110	S-913 埋土中	壺	◎15.0 △4.2	普通	良好	にぶい黄褐色	
115	H27 H28	Ⅲ-5-73	4824,5415,5419	110 111	S-913 埋土中	蓋	◎18.7 △8.55 ◎	粗	良好	褐色	
116	H27	Ⅲ-5-75	6146,4825	110	S-452 床面直上、埋土中	蓋	◎17.8 △14.05 ◎20.2	普通	良好	褐色	
117	H27	Ⅲ-5-75	6145	110	S-452 床面直上	高坏	◎16.8 12.35 ◎12.0	普通	良好	浅黄褐色	
118	H27	Ⅲ-5-75	6147	110	S-452 床面直上	脚部	△13.6 3.9	普通	良	にぶい赤褐色	
119	H27	Ⅲ-5-75	5961	110	S-510 埋土中	蓋	△17.7 3.4 ◎19.85	粗	良好	黄褐色	
120	H27	Ⅲ-5-77	6624,6615	110	S-453 床面直上、埋土中	壺	◎14.2 △10.0	普通	良	褐色	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表6

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グリップ	遺構 層位	器種	寸法 (単位:cm)		胎土	焼成	色調
							口径 (cm)	高さ (cm)			
121	H27	Ⅲ-5-77	7320,6548,7014	I10	S-53,5-580 床面直上、埋上中	甕	φ15.4 △4.7	普通	良	明赤褐色	
122	H27	Ⅲ-5-77	7457	I10	S-433 床面直上	甕	△3.7	普通	良	浅黄褐色	
123	H27	Ⅲ-5-77	7015	I10	S-567 埋上中	甕	△4.7	普通	良	浅黄褐色	
124	H36	Ⅲ-5-80	1102	I11	S-11 埋上中	甕	φ15.0 △5.2	普通	良	浅黄褐色	
125	H36	Ⅲ-5-80	1028	I11	S-11 埋上中	坏	φ20.1 △4.9	普通	良	浅黄褐色	
126	H36	Ⅲ-5-80	1033	I11	S-11 埋上中	舞部	△1.9 13.2	普通	良	明黄褐色	
127	H36	Ⅲ-5-82	776,910,915,951	I11	S-9 埋上中	甕	φ14.8 △5.56	普通	良好	褐色	
128	H36	Ⅲ-5-82	957	I11	S-9 埋上中	甕	φ15.8 △5.4	普通	良好	にぶい黄褐色	
129	H27	Ⅲ-5-82	3565	I11	S-9 埋上中	甕	△4.8	普通	良	褐灰色	
130	H36	Ⅲ-5-82	913	I11	S-9 埋上中	甕	φ15.3 △4.8	普通	良好	褐色	
131	H36	Ⅲ-5-82	908	I11	S-9 埋上中	甕	φ15.6 △7.4	普通	良好	浅黄褐色	
132	H36	Ⅲ-5-82	1002	I11	S-9 最下層	甕	φ22.8 △6.4	普通	良好	浅黄褐色	
133	H27	Ⅲ-5-82	3451,3453,3454	I11	S-9 埋上中	甕	17.26 △17.3	普通	良好	褐色	
134	H36	Ⅲ-5-82	30,443,951,851,500 444,625,36	I11	S-9 3層より下層	高坏	φ20.7 △5.1	普通	良	褐色	
135	H27	Ⅲ-5-88	3723	I10	S-422 埋上中	甕	φ18.0 △5.6	普通	良好	にぶい黄褐色	
136	H27	Ⅲ-5-88	3723	I10	S-422 埋上中	甕	φ18.6 △5.0	粗	良好	褐色	
137	H28	Ⅲ-5-88	5403	I10	S-914 埋上中	甕	φ19.2 △5.6	普通	良	にぶい黄褐色	
138	H27	Ⅲ-5-88	3776	I11	S-419 埋上中	甕	φ17.6 △4.6	普通	良好	明赤褐色	
139	H28	Ⅲ-5-88	5402	I10	S-914 埋上中	甕	φ15.0 △5.4	普通	良	明黄褐色	
140	H27	Ⅲ-5-88	4144	H11	S-415 埋上中	甕	△4.6	普通	良	浅黄褐色	
141	H27	Ⅲ-5-88	4144	H11	S-415 埋上中	甕	△4.6	普通	良	にぶい黄褐色	
142	H27	Ⅲ-5-88	5512	I11	S-500 埋上中	甕	φ12.0 △3.3	普通	良	にぶい黄褐色	
143	H27	Ⅲ-5-88	6827	I11	S-563 埋上中	甕	φ15.4 △5.2	普通	良	にぶい黄褐色	
144	H27	Ⅲ-5-88	4145	H11	S-444 埋上中	甕	φ18.2 △8.7	普通	良好	浅黄色	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表7

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	ドリフト	遺構 層位	部種	数量 (単位:cm)		胎土	構成	色調
							全長(全長)元、△2段分	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴底最大径(cm)			
145	H27	Ⅲ-5-88	4151	J10	S-422 埋土中	甕	△18.3 - Φ24.2	- -	粗	良好	にぶい黄褐色
146	H28	Ⅲ-5-95	2253	J9	S-804 埋土中	甕	△3.6 -	- -	粗	良	浅黄褐色
147	H28	Ⅲ-5-95	2983	J10	S-822 埋土中	甕	Φ18.8 △5.2 -	- -	普通	良	橙色
148	H28	Ⅲ-5-95	4618	J9	S-838 埋土中	底部	△3.2 Φ4.4 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
149	H28	Ⅲ-5-96	5181	J11	谷部確層	甕	Φ18.0 △5.4 -	- -	普通	良好	にぶい黄褐色
150	H28	Ⅲ-5-96	1560	J11	谷部確層	甕	Φ17.7 △5.6 -	- -	粗	良好	黄褐色
151	H28	Ⅲ-5-96	5181	J11	谷部確層	甕	△3.2 -	- -	普通	良好	にぶい黄褐色
152	H28	Ⅲ-5-96	5181	J11	谷部確層	甕	△4.2 -	- -	普通	良好	にぶい黄褐色
153	H28	Ⅲ-5-96	1560	J11	谷部確層	高坏	Φ24.8 △4.5 -	- -	普通	良好	にぶい黄褐色
154	H28	Ⅲ-5-96	1560	J11	谷部確層	底部	△2.1 Φ3.0 -	- -	普通	良好	にぶい黄褐色
155	H28	Ⅲ-5-100	5183	J10	S-835 埋土下層	甕	Φ16.2 △7.1 -	- -	普通	良	浅黄褐色
156	H28	Ⅲ-5-100	5191, 5207, 5210, 5246, 4885	J10	S-835 埋土上層、下層	甕	Φ18.3 △3.8 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
157	H28	Ⅲ-5-100	4885	J10	S-835 埋土下層	甕	△4.6 -	- -	精製	良	浅黄褐色
158	H28	Ⅲ-5-100	4625	J10	S-835 埋土下層	甕	△4.8 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
159	H28	Ⅲ-5-100	4625, 4885	J10	S-835 埋土下層	甕	△5.0 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
160	H28	Ⅲ-5-100	4885, 5048	J10	S-835 前面直上	甕	Φ12.8 △5.1 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
161	H28	Ⅲ-5-100	5216, 5246, 5207	J10 J9	S-856 埋土中、埋土上層	甕	Φ14.7 △5.15 -	- -	粗	良好	浅黄褐色
162	H28	Ⅲ-5-100	5300	J9	S-835 背面段 後面直上	甕	△5.0 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
163	H28	Ⅲ-5-100	5232	J9	S-835 埋土中	高坏	Φ31.0 △4.6 -	- -	普通	良	浅黄褐色
164	H28	Ⅲ-5-100	5186	J9	S-835 貼付	高坏	Φ18.8 △5.0 -	- -	普通	良	にぶい黄褐色
165	H28	Ⅲ-5-100	4622	J9	S-835 埋土下層	高坏	△7.3 Φ9.9 -	- -	普通	良	明黄褐色
166	H28	Ⅲ-5-100	5050	J10	S-835 後面直上	高坏	△7.9 -	- -	普通	良	浅黄褐色
167	H28	Ⅲ-5-100	5056, 5049, 5030, 5049, 4885	J10	S-835 埋土下層	高坏	Φ29.4 △7.1 -	- -	普通	良	黄褐色
168	H28	Ⅲ-5-100	5212	J10	S-856 埋土中	器台	△7.6 Φ23.8 -	- -	普通	良	明赤褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表8

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取土No.	グリッド	遺構 層位	器種	注量 (単位:cm)	胎土	焼成	色調
							口径 (cm)			
169	H28	Ⅲ-5-100	5185	J9	S-835-2 埋土中	小型尖筒壺	5.8 11.8 口径 13.35	精練	良好	明赤褐色
170	H28	Ⅲ-5-100	4470,4624	J10	S-835 埋土上層	底部	△5.3 4.6	普通	良	褐色
171	H28	Ⅲ-5-101	5231,5317	J9	S-846 埋土下層、埋土中	甕	15.35 △5.7	普通	良好	浅黄褐色
172	H28	Ⅲ-5-101	5294,5317,5270	J9	S-846 埋土中	甕	15.1 △5.2	普通	良好	浅黄褐色
173	H28	Ⅲ-5-101	5234	J9	S-846 埋土中	甕	△3.55	普通	良好	浅黄褐色
174	H28	Ⅲ-5-101	5281,5317,5283	J9	S-846 埋土中	甕	15.9 △11.1 口径 18.2	精練	良好	にぶい黄褐色
175	H28	Ⅲ-5-101	5317	J9	S-846 埋土中	甕	口径18.8 △6.7	普通	良	浅黄褐色
176	H28	Ⅲ-5-101	5238	J9	S-846 埋土中	甕	口径13.6 △3.2	普通	良好	明黄褐色
177	H28	Ⅲ-5-101	5221	J9	S-846 埋土下層	甕	△15.0 口径1.7	普通	良	浅黄褐色
178	H28	Ⅲ-5-101	5230	J9	S-846 埋土下層	甕	口径19.1 △7.7	普通	良	にぶい黄褐色
179	H28	Ⅲ-5-101	5262	J9	S-846 埋土中	甕	口径16.3 △4.0	普通	良	明黄褐色
180	H28	Ⅲ-5-101	5310,5317,5312	J9	S-846 埋土中	甕	18.6 △4.75	粗	良好	淡黄色
181	H28	Ⅲ-5-101	5271,5268	J9	S-846 埋土中、埋土下層	甕	15.4 △12.1	精練	良好	褐色
182	H28	Ⅲ-5-101	5226	J9	S-846 埋土下層	甕	口径20.0 △5.8	普通	良	浅黄褐色
183	H28	Ⅲ-5-101	5308,5277,5263,5317	J9	S-846 埋土中、埋土下層	甕	17.2 △6.6 口径17.8	普通	良好	浅黄褐色
184	H28	Ⅲ-5-101	5223,5309,5317,5234	J9	S-846 埋土中、埋土下層	甕	口径18.5 △15.8 口径26.0	普通	良好	黄褐色
185	H28	Ⅲ-5-101	5364,5303,5288,5307	J9	S-846 埋土中	甕	16.85 △12.65 口径22.5	普通	良好	浅黄褐色
186	H28	Ⅲ-5-101	5269,5317,5285	J9	S-846 埋土中	甕	口径12.1 △8.0 口径11.9	普通	良好	浅黄褐色
187	H28	Ⅲ-5-101	5228	J9	S-846 埋土下層	甕台	△5.6	普通	良	褐色
188	H28	Ⅲ-5-101	5299,5317	J9	S-846 埋土中	高坏	口径23.0 △5.1	粗	良好	浅黄褐色
189	H28	Ⅲ-5-101	5229	J9	S-846 埋土下層	底部	△5.1 2.5	普通	良	褐色
190	H28	Ⅲ-5-101	5302	J9	S-846 埋土中	底部	△2.7 3.0	普通	良	にぶい黄褐色
191	H28	Ⅲ-5-101	5243	J9	S-846 埋土中	底部	△5.4 2.9	普通	良	浅黄褐色
192	H28	Ⅲ-5-101	5267	J9	S-846 埋土中	底部	△5.3 3.2	普通	良	褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表9

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	グリッド	遺構 層位	部種	数量 (単位:cm)	胎土	構成	色調	
							※222369元、△222369底				
							口径 (cm)				
							器高 (cm)				
							底径 (cm)				
							胴底最大径 (cm)				
193	H28	Ⅲ-5-101	5317	J9	S-846 埋土中	胴部	△12.7 4.4	普通	良	黄褐色	
194	H28	Ⅲ-5-101	5274, 5191, 5317	J9, J10	S-846 埋土中	脚部	△6.2 28.8	普通	良	浅黄褐色	
195	H28	Ⅲ-5-105	5190	J9	S-853 埋土中	甕	※18.3 △4.5	普通	良	黄褐色	
196	H28	Ⅲ-5-106	5156	J9	S-833 埋土下層	甕	※15.0 △7.0	普通	良	浅黄褐色	
197	H28	Ⅲ-5-106	5157	J9	S-833 埋土下層	甕	※16.3 △20.1 ※19.1	粗	良	黄褐色	
198	H28	Ⅲ-5-106	5153	J9	S-833 埋土下層	甕	※13.7 △5.2	普通	良	浅黄褐色	
199	H28	Ⅲ-5-106	5158, 5153	J9	S-833 埋土下層	甕	※18.3 △9.8	粗	不良	浅黄褐色	
200	H28	Ⅲ-5-106	5159	J9	S-833 埋土下層	甕	※20.2 △12.0	粗	不良	浅黄褐色	
201	H28	Ⅲ-5-106	5161	J9	S-833 埋土下層	甕	※14.8 △5.0	精緻	良	浅黄褐色	
202	H28	Ⅲ-5-106	5162	J9	S-833 埋土下層	甕	※17.8 △6.9	精緻	良	浅黄褐色	
203	H28	Ⅲ-5-106	5154	J9	S-833 埋土下層	甕	※12.8 △10.3 ※15.8	粗	不良	浅黄褐色	
204	H28	Ⅲ-5-106	5165, 5153	J9	S-833 埋土下層	脚台	23.1 △10.5	普通	良好	黄褐色	
205	H28	Ⅲ-5-106	5163	J9	S-833 埋土下層	高坏	※22.8 △6.3	普通	良	浅黄褐色	
206	H28	Ⅲ-5-106	2816	J9	S-833 埋土中	高坏	※26.6 △7.8	普通	良好	白・黄褐色	
207	H28	Ⅲ-5-106	5155	J9	S-833 埋土下層	坏	※15.4 △3.8	普通	良	浅黄褐色	
208	H28	Ⅲ-5-107	5433	18	S-925 埋土中	甕	※17.6 △6.1	精緻	良好	灰白色	
209	H28	Ⅲ-5-107	5448	18	S-925 埋土中	甕	△8.3	普通	良好	浅黄褐色	
210	H28	Ⅲ-5-107	5449	18	S-925 埋土中	脚台	△6.6	普通	良	明黄褐色	
211	H28	Ⅲ-5-107	5432	18	S-925 埋土中	脚台	△6.9 ※19.2	普通	良好	明黄褐色	
212	H28	Ⅲ-5-107	5453, 5451	18	S-933 埋土中	脚台	△6.1 ※22.0	普通	良好	浅黄褐色	
213	H28	Ⅲ-5-114	5345	J9	S-865 埋土中	甕	※17.6 △3.9	普通	良	明黄褐色	
214	H28	Ⅲ-5-114	5321, 5345	18, 19, J8, J9	S-875, S-865 埋土中	底部	△4.3 ※3.0	普通	良	浅黄褐色	
215	H28	Ⅲ-5-116	5417	J8	S-866 埋土上層	甕	※14.6 △4.9	普通	良	浅黄褐色	
216	H28	Ⅲ-5-116	5425, 5414	J9	S-866, S-883 埋土中、埋土下部	甕	19.9 △5.7	普通	良好	浅黄褐色	

第三章 1区の調査

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表10

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グリップ	遺構 層位	部種	寸法 (単位:cm)			胎土	焼成	色調
							口径	器高	胴厚最大			
217	H28	Ⅲ-5-116	5408,5417,5423	J8	S-866 埋土上層・下層	葉	φ17.0 △4.8	普通	良	にぶい黄褐色		
218	H28	Ⅲ-5-116	5408,5423,5417	J8	S-866 埋土中・埋土下部	底部	φ6.15 3.15	精緻	良好	灰黄色		
219	H28	Ⅲ-5-116	5408,5423	J8	S-866 埋土中・下層	底部	φ4.8 3.6	普通	良	浅黄褐色		
220	H28	Ⅲ-5-118	5331	J9	S-874 埋土上層	葉	φ14.7 △9.0	普通	良好	浅黄褐色		
221	H28	Ⅲ-5-119	5426	J9	S-917 埋土中	壺	φ17.5 △4.2	普通	良	にぶい黄褐色		
222	H28	Ⅲ-5-119	5426	J9	S-917 埋土中	高坏	φ17.6 △2.6	普通	良	褐色		
223	H28	Ⅲ-5-119	5412	J9	S-897 埋土上層	葉	φ22.4 △3.4	粗	不良	黄褐色		
224	H28	Ⅲ-5-119	5400	J9	S-897 埋土中	葉	16.35 25.9 3.2 20.4	普通	良好	浅黄褐色		
225	H28	Ⅲ-5-120	5424	J9	S-888 埋土中	葉	φ17.0 △8.25 φ19.1	普通	良好	黄褐色		
226	H28	Ⅲ-5-120	5438,5437	J9	S-888 或面直上	葉	φ14.0 △8.6	普通	良好	褐色		
227	H28	Ⅲ-5-120	5442	J9	S-898 埋土上層	葉	△3.1 -	普通	良	灰黄褐色		
228	H28	Ⅲ-5-120	5401	J9	S-888 埋土中	脚部	φ3.1 φ12.2	普通	良	暗褐色		
229	H28	Ⅲ-5-120	5446	J9, J9	S-898 埋土下層	脚部	△3.9 φ14.4	普通	良	褐色・浅黄褐色		
230	H28	Ⅲ-5-123	2820	J10	S-799 埋土中	葉	16.6 △5.0	普通	良好	にぶい黄褐色		
231	H28	Ⅲ-5-123	1652,3824	J10	S-799 埋土中	葉	φ22.6 △4.8	普通	良好	にぶい褐色		
232	H28	Ⅲ-5-123	2820,2374	J10	S-799 埋土中	葉	φ16.6 △5.1	普通	良	にぶい黄褐色		
233	H28	Ⅲ-5-123	2374,2820	J10	S-799 埋土中	葉	φ17.8 △5.25	普通	良好	にぶい黄褐色		
234	H28	Ⅲ-5-123	2826	J10	S-799 埋土中	葉	φ18.5 △5.1	普通	良	浅黄褐色		
235	H28	Ⅲ-5-123	2818,2489,2821	J10	S-799 埋土中	葉	φ21.1 △6.9	普通	良好	黄褐色		
236	H28	Ⅲ-5-123	1652,2582	J10	S-799 埋土中	葉	φ18.6 △24.0 4.8 φ20.4	粗	良好	にぶい黄褐色		
237	H28	Ⅲ-5-123	5324,5328,5322,5323	J10	S-799 埋土中	壺	φ13.4 △13.1 φ20.1	普通	良好	灰黄色		
238	H28	Ⅲ-5-123	5322,5323	J10	S-799 埋土中	葉	φ11.1 △10.8 φ12.2	普通	良好	浅黄褐色		
239	H28	Ⅲ-5-123	2374,2820	J10	S-799 埋土中	底部	△10.2 4.6	普通	良好	浅黄褐色		
240	H28	Ⅲ-5-123	2821	J10	S-799 埋土中	底部	△5.3 3.8	普通	良	にぶい黄褐色		

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表11

図録 番号	調査 年度	探検 番号	取上No.	ドリフト	遺構 層位	部種	数量 (単位:cm)		胎土	焼成	色調
							全長(全長)元、△2箇存部	口径 (cm) 底径 (cm) 胴径最大径 (cm)			
241	H28	Ⅲ-5-123	2804	J10	S-799 埴土中	底部	△3.3 4.3	-	普通	良	浅黄褐色
242	H28	Ⅲ-5-125	5315	J10	S-858 埴土中	底	φ13.4 △5.7	-	普通	良	橙色
243	H28	Ⅲ-5-125	5249	J10	S-858 埴土上層	葉	φ13.8 △3.9	-	普通	良	にぶい黄褐色
244	H28	Ⅲ-5-125	5304	J10	S-858 埴土中	葉	φ21.6 △5.7	-	普通	良	橙色
245	H28	Ⅲ-5-125	5252	J10	S-858 埴土下層	葉	φ16.7 △4.9	-	普通	良	にぶい黄褐色
246	H28	Ⅲ-5-125	5252	J10	S-858 埴土下層	葉	φ17.8 △6.9	-	普通	良	明黄褐色
247	H28	Ⅲ-5-125	5257	J10	S-858 埴土下層	葉	φ21.3 △6.5	-	普通	良好	にぶい黄褐色
248	H28	Ⅲ-5-125	5252	J10	S-858 埴土下層	葉	φ15.0 △3.3	-	普通	良	橙色
249	H28	Ⅲ-5-125	5276	J9, J10	S-858, S-868 埴土中	葉	φ16.4 △4.5	-	普通	良	浅黄褐色
250	H28	Ⅲ-5-125	5249	J10	S-858 埴土上層	鉄脚环	φ17.0 △5.2	-	普通	良	にぶい黄褐色
251	H28	Ⅲ-5-125	5276	J9	S-858, S-868 埴土中	高环	φ19.5 △3.2	-	普通	良	黄褐色
252	H28	Ⅲ-5-125	5349	J10	S-858 埴土上層	高环	φ22.6 △5.6	-	普通	良	橙色
253	H28	Ⅲ-5-125	5265, 5266	J10	S-858 埴土下層	高环	△12.65 14.6	-	普通	良好	にぶい黄褐色
254	H28	Ⅲ-5-125	5252	J10	S-858 埴土下層	底部	△3.0 4.1	-	普通	良	橙色
255	H28	Ⅲ-5-125	5252	J10	S-858 埴土下層	底部	△4.2 6.2	-	普通	良	明黄褐色
256	H28	Ⅲ-5-125	5241	J10	S-858 埴土中	葉	△4.4	-	普通	良	にぶい黄褐色
257	H28	Ⅲ-5-125	5241	J10	S-858 埴土中	葉	△2.7	-	普通	良	浅黄褐色
258	H28	Ⅲ-5-125	5319	J10	S-858 埴土中	底	φ12.6 △4.4	-	普通	良	にぶい黄褐色
259	H28	Ⅲ-5-126	5316	J10	S-880 埴土中	底	φ17.3 △5.4	-	普通	良	にぶい黄褐色
260	H28	Ⅲ-5-126	5356	J10	S-880 埴土中	底	φ18.8 △5.0	-	普通	良	明黄褐色
261	H28	Ⅲ-5-126	5366	J10	S-880 埴土中	葉	△5.4	-	粗	不直	黄褐色
262	H28	Ⅲ-5-126	5302, 5303	J10	S-880 埴土中	底部	△8.3 2.6	-	普通	良	にぶい黄褐色
263	H28	Ⅲ-5-126	5385	J10	S-0880 埴土	土玉	高さ 2.8 幅 3.0	-	-	-	-
264	H28	Ⅲ-5-126	5386	J10	S-0880 埴土	土玉	高さ 2.8 幅 3.0	-	-	-	-
265	H28	Ⅲ-5-126	5286	J10	S-0880 埴土	土玉	高さ 2.7 幅 3.1	-	-	-	-

第Ⅲ章 1区の調査

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表12

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グリッド	遺構 層位	器種	寸法 (単位:cm) ※は測定元、△は測定部		胎土	焼成	色調
							口径 (cm)	高さ (cm)			
266	H28	Ⅲ-5-126	5387	J10	S-0880 甕上	土玉	高さ 2.7 幅 3.0	-	-	-	
267	H28	Ⅲ-5-127	5351	J10	S-868 甕上中	甕	口径 14.6 高さ 4.7	普通	良	にぶい・棕色	
268	H28	Ⅲ-5-127	5342	J10	S-868 甕上中	甕	口径 14.6 高さ 3.6	普通	良	赤褐色	
269	H28	Ⅲ-5-127	5340	J10	S-868 甕上中	甕	口径 17.2 高さ 4.4	普通	良	明黄褐色	
270	H28	Ⅲ-5-127	5348	J10	S-0868 甕上	土玉	高さ 2.8 幅 3.2	-	-	-	
271	H28	Ⅲ-5-136	5462	18	S-942 甕上中	甕	口径 15.0 高さ 7.5	普通	良好	棕色	
272	H28	Ⅲ-5-136	5473	18,19	S-950 甕上中	甕	口径 13.4 高さ 4.4	普通	不良	にぶい・黄褐色	
273	H28	Ⅲ-5-136	5473	18,19	S-950 甕上中	鉢	口径 14.8 高さ 4.4	普通	良好	棕色	
274	H28	Ⅲ-5-143	5466	19	S-935,936 甕上中	甕	口径 15.6 高さ 6.4	普通	良好	にぶい・黄褐色	
275	H28	Ⅲ-5-143	5466,5463	19	S-935,936 甕上中	甕	口径 19.3 高さ 22.0 幅 21.4	粗	不良	にぶい・黄褐色	
276	H28	Ⅲ-5-143	5463,5466	19	S-935,936, S-936 甕上中	甕	口径 16.6 高さ 7.2	粗	良好	にぶい・棕色	
277	H36	Ⅲ-5-147	1322	I10	S-24 甕上中	甕	口径 19.0 高さ 5.7	普通	良好	棕色	
278	H36	Ⅲ-5-147	963	I10	S-24 甕上中	甕	口径 14.2 高さ 4.4	普通	良	明黄褐色	
279	H36	Ⅲ-5-147	962	I10	S-24 甕上中	甕	口径 16.6 高さ 4.4	普通	良	棕色	
280	H27	Ⅲ-5-148	6363	I10	S-544 甕上中	甕	口径 12.4 高さ 7.2	普通	良	棕色	
281	H27	Ⅲ-5-148	6217	I10	S-544 甕上中	甕	口径 14.2 高さ 4.4	普通	良	にぶい・黄褐色	
282	H27	Ⅲ-5-148	6217	I10	S-544 甕上中	甕	口径 20.5 高さ 4.1	普通	良	棕色	
283	H27	Ⅲ-5-148	7213	I10	S-609 甕上中	甕	口径 18.0 高さ 3.8	精緻	良	にぶい・黄褐色	
284	H27	Ⅲ-5-148	6670	I10	S-572 甕上中	甕	口径 12.9 高さ 3.5	普通	良	にぶい・黄褐色	
285	H27	Ⅲ-5-148	6366	I10	S-560 甕上中	甕	口径 16.0 高さ 3.0	普通	良	にぶい・黄褐色	
286	H27	Ⅲ-5-148	6366,6466,6709	I10	S-560, S-582 甕上中	甕台	口径 22.7 高さ 21.3	普通	良	にぶい・黄褐色	
287	H27	Ⅲ-5-148	6466	I10	S-560 甕上中	底部	口径 1.7 高さ 2.6	普通	良	赤褐色	
288	H28	Ⅲ-5-150	5479	H9	S-582 甕上中	甕	口径 15.1 高さ 4.8	普通	良	にぶい・黄褐色	
289	H27	Ⅲ-5-150	6549	I10	S-935 甕上中	甕	口径 16.2 高さ 4.3	普通	良好	にぶい・黄褐色	
290	H27	Ⅲ-5-150	6625,7440	I10	S-582 甕上中	甕	口径 18.0 高さ 4.9	粗	良好	浅黄褐色	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表13

図録 番号	調査 年度	探検 番号	取上No.	ドリフド	遺構 層位	部種	数量 (単位: cm)		胎土	構成	色調
							全長(全長)元、△2面/底面	口径 (cm) 器高 (cm) 底径 (cm) 胴底最大径 (cm)			
291	H28	Ⅲ-5-150	5477, 5488	H9	S-282 埋土中	甕	●16.0 △5.7	粗	良	浅黄褐色	
292	H27	Ⅲ-5-150	6994	H10	S-282 埋土中	甕	●20.0 △5.0	粗	良	黄褐色	
293	H27	Ⅲ-5-150	6079	I10	S-285 埋土中	甕	●18.1 △4.6	普通	不良	にぶい黄褐色	
294	H28	Ⅲ-5-150	5488	H9	S-282 埋土中	甕	●13.5 △4.9	精緻	良	にぶい黄褐色	
295	H27	Ⅲ-5-150	6543	H10	S-285 埋土中	甕	●16.2 △3.8	粗	不良	にぶい黄褐色	
296	H28	Ⅲ-5-150	5490	H9	S-282 埋土中	甕	●13.9 △3.9	精緻	良	にぶい黄褐色	
297	H27	Ⅲ-5-150	6549	I10	S-285 埋土中	甕	△4.2	普通	不良	褐色	
298	H28	Ⅲ-5-150	5489	H9	S-282 埋土中	甕部	△2.5 4.8	精緻	良	にぶい黄褐色	
299	H27	Ⅲ-5-150	6079	I10	S-285 埋土中	瓶脚部	△3.1 ●8.4	普通	不良	浅黄褐色	
300	H27	Ⅲ-5-150	7299	H10	S-288 埋土中	甕	●13.9	普通	良	にぶい黄褐色	
301	H28	Ⅲ-5-152	351	H10	S-2 床面直上	甕	●18.0 △4.6	普通	良	にぶい黄褐色	
302	H28	Ⅲ-5-152	300, 368	H10	S-2 床面直上、埋土中	甕	●12.4 △4.8	精緻	良	にぶい黄褐色	
303	H28	Ⅲ-5-152	348	H10	S-2 埋土中	甕	●16.6 △12.0	普通	良	褐色	
304	H28	Ⅲ-5-152	347, 368	H10	S-2 埋土中	直門窓	△11.1 15.4	精緻	良好	にぶい黄褐色	
305	H28	Ⅲ-5-152	344	H10	S-2 埋土中	高坏	●14.4 △6.9	緻密	良好	黄褐色	
306	H28	Ⅲ-5-152	343, 280	H10	S-13 埋土中	高坏	●14.8 △5.4	普通	良好	褐色	
307	H28	Ⅲ-5-153	502, 399, 302, 450	H10 I10	S-7、S-8 埋土中、横断面	甕	●13.7 △3.9	普通	良好	褐色	
308	H28	Ⅲ-5-155	386	H・I10	S-7 横断面直上	甕	●18.1 △6.0	普通	良好	浅黄褐色	
309	H28	Ⅲ-5-155	1524	H10	S-7 埋土中	甕	●16.6 △6.3	普通	良	にぶい黄褐色	
310	H28	Ⅲ-5-155	657, 737	I10	S-7 埋土中	甕	●16.0 △4.3	普通	良	にぶい褐色	
311	H27	Ⅲ-5-155	5974	H10	S-7 埋土中	甕	●14.8	普通	良	にぶい黄褐色	
312	H28	Ⅲ-5-155	1080	H10	S-7 埋土中	甕	●22.0 △9.6	普通	良好	明黄褐色	
313	H28	Ⅲ-5-155	987, 1074	H10	S-7 埋土中	甕	●26.4 △8.0	普通	良好	灰白色	
314	H28	Ⅲ-5-155	385, 448, 483	H10	S-7 横断面、埋土中	甕	●17.7 △9.0	普通	不良	褐色	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表14

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グリップ	遺構 層位	器種	寸法 (単位:cm)				胎土	焼成	色調
							全量 (単位:cm)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)			
315	H26	Ⅲ-5-155	1081	H10	S-7 層上中	高坏	φ22.4 △7.8	-	-	-	粗	良	黄褐色
316	H26	Ⅲ-5-155	637,641,654	H10	S-7 層上中	高坏	φ27.3 △7.9	-	-	-	普通	良好	赤色
317	H26	Ⅲ-5-155	1079,1077,1204	H10	S-7 層上中	高坏	-	△8.1	-	-	普通	良好	浅黄褐色
318	H26	Ⅲ-5-155	450	H10	S-7 検出前	注口部	-	△10.4	-	-	普通	良	浅黄褐色
319	H26	Ⅲ-5-155	952,975	H10 H10	S-7 層上中	器台	-	△5.7	-	-	普通	良好	にぶい黄褐色
320	H27	Ⅲ-5-159	5003	H10	S-48R 層上中	壺	φ12.6 △3.9	-	-	-	精緻	良	にぶい黄褐色
321	H27	Ⅲ-5-159	6077	H10	S-482 層上中	底部	-	△1.8 2.6	-	-	精緻	良	にぶい黄褐色
322	H27	Ⅲ-5-159	6306	H10	S-561 層上中	器台	-	△2.5 φ22.3	-	-	精緻	良	浅黄褐色
323	H27	Ⅲ-5-161	5562	H10	S-516 層上中	罍	φ27.4 △7.2	-	-	-	普通	不良	にぶい黄褐色
324	H27	Ⅲ-5-161	5772	H10	S-516 層上中	罍	△10.8	-	-	-	普通	不良	褐色
325	H26	Ⅲ-5-161	1536	H10	S-7 層上中	高坏	△5.4 φ10.75	-	-	-	普通	良好	浅黄褐色
326	H27	Ⅲ-5-161	5772	H10	S-516 層上中	器台	φ21.4 14.3 φ23.1	-	-	-	普通	不良	にぶい黄褐色
327	H27	Ⅲ-5-162	7298	H10	S-583 層上中	罍	φ15.1 △4.3	-	-	-	普通	良	にぶい褐色
328	H27	Ⅲ-5-162	7298	H10	S-583 層上中	罍	φ17.5 △4.9	-	-	-	普通	良	にぶい黄褐色
329	H27	Ⅲ-5-162	7327	H10	S-583 層上中	罍	△7.9	-	-	-	普通	良	浅黄褐色
330	H27	Ⅲ-5-162	7455	H10	S-583 床前直上	罍	△8.4	-	-	-	普通	良	灰青褐色
331	H27	Ⅲ-5-162	7472	H10	S-583 層上中	罍	φ21.0 △6.0	-	-	-	普通	良	浅黄褐色
332	H27	Ⅲ-5-162	6992	H10	S-583 層上中	坏	△5.2	-	-	-	普通	良	にぶい黄褐色
333	H27	Ⅲ-5-162	7298	H10	S-583 層上中	器台	△5.9	-	-	-	普通	良	にぶい黄褐色
334	H27	Ⅲ-5-162	7298	H10	S-583 層上中	底部	△2.2 φ3.4	-	-	-	普通	良	にぶい黄褐色
335	H27	Ⅲ-5-165	7331	H10	S-627 層上中	罍	φ14.8 △5.1	-	-	-	精緻	良	にぶい黄褐色
336	H27	Ⅲ-5-165	7764	H10	S-627 床前直上	罍	φ14.2 △4.3	-	-	-	精緻	良	にぶい黄褐色
337	H27	Ⅲ-5-165	7780	H10	S-627 層上中	罍	φ18.2 △4.3	-	-	-	精緻	良	にぶい黄褐色
338	H27	Ⅲ-5-165	7330	H10	S-627 層上中	罍	△3.7	-	-	-	普通	良	黒色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表15

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	ドリッド	遺構 層位	器種	数量 (単位:cm)	胎土	焼成	色調
							全径(最大径) △2径(内径)			
339	H27	Ⅲ-5-165	7763	H10	S-627 埋土中	蓋	△5.8 -	普通	良	明黄褐色
340	H27	Ⅲ-5-166	7933	H10	S-654 埋土中	甕	φ15.1 △4.4 -	粗	不良	浅黄褐色
341	H27	Ⅲ-5-166	7934	H10	S-0604 埋土中	土玉	高さ 2.2 幅 2.8	-	-	-
342	H27	Ⅲ-5-167	7936	H10	S-632 埋土中	甕	△3.2 -	普通	良	にぶい黄色
343	H27	Ⅲ-5-172	6465	H10	S-535 埋土中	甕	△4.2 -	精緻	良	褐色
344	H27	Ⅲ-5-172	6465	H10	S-535 埋土中	底部	△2.5 4.0	精緻	良	にぶい黄褐色
345	H27	Ⅲ-5-172	6610	H10	S-547 埋土中	甕	△5.0 -	普通	良	褐色
346	H27	Ⅲ-5-175	8103	G10	S-682 埋土中	甕	△4.1 -	普通	良	にぶい黄褐色
347	H27	Ⅲ-5-175	8187	G10	S-695 埋土中	甕	△5.0 -	普通	良	褐色
348	H27	Ⅲ-5-178	6521	G10	S-964 埋土中	甕	△3.9 -	普通	良	灰黄褐色
349	H27	Ⅲ-5-178	6521	G10	S-964 埋土中	底部	△3.1 △5.3	精緻	良	にぶい黄褐色
350	H27	Ⅲ-5-180	6611	G10	S-556 埋土中	甕	φ19.8 △7.9 -	普通	良	にぶい黄褐色
351	H27	Ⅲ-5-180	6611	G10	S-556 埋土中	甕	φ14.0 △3.8 -	精緻	良	褐色
352	H27	Ⅲ-5-180	7012	G10	S-556 埋土中	甕	△4.0 -	普通	良	にぶい褐色
353	H27	Ⅲ-5-180	7012	G10	S-556 埋土中	甕	φ14.2 △3.2 -	普通	良	にぶい黄褐色
354	H27	Ⅲ-5-180	6683	G10	S-556 埋土中	甕	△4.6 -	精緻	良	浅黄褐色
355	H27	Ⅲ-5-180	7012	G10	S-556 埋土中	甕	φ15.6 △5.8 -	普通	良	にぶい黄褐色
356	H27	Ⅲ-5-180	6462	G10	S-556 埋土中	蓋	△3.5 -	精緻	良	黄灰色
357	H27	Ⅲ-5-180	6520	G10	S-556 埋土中	器台	φ19.8 △7.9 -	精緻	良	褐色
358	H27	Ⅲ-5-180	6611	G10	S-0556 埋土中	土玉	高さ 2.3 幅 2.3	-	-	-
359	H27	Ⅲ-5-184	7941	G10	S-606 床面直上	甕	φ14.2 △15.0 φ17.9	粗	良好	にぶい褐色
360	H27	Ⅲ-5-184	7889	G10	S-606 埋土中	甕	φ17.4 △5.1 -	精緻	良	にぶい黄褐色
361	H27	Ⅲ-5-184	7927	G10	S-606 埋土中	甕	φ12.3 △3.6 -	普通	良	褐色
362	H27	Ⅲ-5-184	7810	G10	S-606 埋土中	甕	△3.6 -	普通	良	明褐色
363	H27	Ⅲ-5-184	7913	G10	S-0608 床面直上	土玉	高さ 1.9 幅 2.4	-	-	-

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表16

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グラフィド	遺構 層位	器種	寸法 (単位:cm)		胎土	焼成	色調
							高さ △(cm)	口径 ○(cm)			
364	H27	Ⅲ-5-184	7914	G10	S-0008 床面直上	土玉	高さ 2.4 幅 2.4	-	-	-	
365	H27	Ⅲ-5-184	7919	G10	S-0008 床面直上	土玉	高さ 2.3 幅 2.4	-	-	-	
366	H27	Ⅲ-5-184	7915	G10	S-0008 床面直上	土玉	高さ 2.2 幅 2.4	-	-	-	
367	H27	Ⅲ-5-184	7916	G10	S-0008 床面直上	土玉	高さ 2.3 幅 △2.6	-	-	-	
368	H27	Ⅲ-5-184	7918	G10	S-0008 床面直上	土玉	高さ 2.0 幅 2.4	-	-	-	
369	H27	Ⅲ-5-184	7927	G10	S-0008 層上中	土玉	高さ 2.4 幅 2.3	-	-	-	
370	H27	Ⅲ-5-185	7906	G10	S-600 層上中	甕	φ19.2 △3.0 -	普通	良	明赤褐色	
371	H27	Ⅲ-5-185	7982	G10	S-600 層上中	器台	△11.0 △17.6 -	粗	良好	橙	
372	H27	Ⅲ-5-185	7963	G10	S-600 層上中	底部	△2.2 △4.6 -	普通	良	にぶい・褐色	
373	H27	Ⅲ-5-189	8186	G10	S-606 層上中	甕	φ16.0 △3.3 -	普通	良	にぶい・黄褐色	
374	H27	Ⅲ-5-189	7983	G10	S-606 層上中	甕	△4.2 -	普通	良	灰褐色	
375	H27	Ⅲ-5-189	7966	H10	S-606 層上中	甕	△3.6 -	普通	不良	にぶい・黄褐色	
376	H27	Ⅲ-5-189	8099	G10	S-606 層上中	甕	φ13.0 △7.8 -	普通	良	褐色	
377	H27	Ⅲ-5-189	8321	G10	S-606 層上中	把手	△5.1 -	普通	良好	にぶい・黄褐色	
378	H27	Ⅲ-5-189	8321	G10	S-606 層上中	底部	△2.2 △5.1 -	普通	良	明赤褐色	
379	H27	Ⅲ-5-189	8430	G10	S-606 最下層	底部	△2.1 4.4 -	普通	良	にぶい・赤褐色	
380	H27	Ⅲ-5-189	8321	G10	S-606 層上中	底部	△3.7 △5.7 -	普通	良	赤褐色	
381	H27	Ⅲ-5-189	8999	G10	S-0006 層上中	土玉	高さ 2.2 幅 2.4	-	-	-	
382	H27	Ⅲ-5-189	8460	G10	S-606-5、6 層上中	土玉	高さ 2.9 幅 3.0	-	-	-	
383	H27	Ⅲ-5-191	8190	H10	S-706 層上中	甕	△4.0 -	普通	良	明黄褐色	
384	H27	Ⅲ-5-195	7599	H10	S-648-5 層上中	甕	△4.9 -	精緻	良	にぶい・褐色	
385	H27	Ⅲ-5-195	5976	H10	S-648-6 層上中	甕	△4.2 -	普通	不良	にぶい・黄褐色	
386	H27	Ⅲ-5-198	5816	H10	S-515北東部 層上中	甕	φ15.0 △4.4 -	粗	不良	褐色	
387	H27	Ⅲ-5-198	5769	H10	S-515北西 層上中	甕	△4.4 -	普通	不良	褐色	
388	H27	Ⅲ-5-198	5975	H10	S-489 層上中	甕	φ16.8 △6.7 -	精緻	良	明黄褐色	
389	H27	Ⅲ-5-198	5975	H10	S-489 層上中	甕	△3.8 -	普通	良	にぶい・黄褐色	
390	H27	Ⅲ-5-198	5975	H10	S-489 層上中	甕	△3.2 -	普通	良	にぶい・黄褐色	

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表17

図録 番号	調査 年度	採回 番号	取上No.	ドリッド	遺構 層位	部種	数量 (単位:cm)	胎土	構成	色調
							全長(全長)元、△△埋存部 口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴底最大径(cm)			
391	H27	Ⅲ-5-198	5975	H10	S-469 埋上中	高坏	△4.4 -	精細	良	浅黄褐色
392	H27	Ⅲ-5-198	5545,5974,6433,6434	H10	S-466, S-1, S-7 埋上中	甕	△13.8 △16.5 -	普通	不良	浅黄色
393	H27	Ⅲ-5-198	6349	H10	S-466 埋上中	甕	△3.6 -	精細	良	にぶい黄褐色
394	H27	Ⅲ-5-198	7902	H10	S-460 埋上中	底部	△3.7 △4.2 -	精細	良	にぶい黄褐色
395	H27	Ⅲ-5-200	6598	G10	S-571 埋上中	器台	△2.4 -	普通	良	にぶい黄褐色
396	H27	Ⅲ-5-200	7128	H10	S-623 埋上中	机脚环	△4.7 △9.7 -	普通	良好	浅黄褐色
397	H27	Ⅲ-5-205	4708	G9	S-445 埋上中	甕	△15.3 △7.6 -	普通	良	にぶい黄褐色
398	H27	Ⅲ-5-205	4366	H9	S-445 埋上中	甕	△16.0 △6.2 -	普通	良	にぶい黄褐色
399	H27	Ⅲ-5-205	4403	H9	S-445 埋上中	甕	△20.0 △7.5 -	普通	良	浅黄褐色
400	H27	Ⅲ-5-205	4421	H9	S-445 埋上中	甕	△14.7 △9.0 -	普通	良	明赤褐色
401	H27	Ⅲ-5-205	4708	G9	S-445 埋上中	甕	△17.0 △9.2 -	普通	良	にぶい黄褐色
402	H27	Ⅲ-5-205	4708	G9	S-445 埋上中	甕	△15.8 △7.3 -	普通	良	褐色
403	H27	Ⅲ-5-205	4213	H9	S-445 埋上中	甕	△14.7 △5.9 -	普通	良	にぶい黄褐色
404	H27	Ⅲ-5-205	4366	H9	S-445 埋上中	甕	△17.6 △4.6 -	普通	良	浅黄褐色
405	H27	Ⅲ-5-205	4421	H9	S-445 埋上中	甕	△14.0 △4.5 -	普通	良	にぶい黄褐色
406	H27	Ⅲ-5-205	4421	H9	S-445 埋上中	甕	△13.4 △8.3 -	精細	良	浅黄褐色
407	H27	Ⅲ-5-205	4147, 4213	H10, H9	S-445 埋上中、上層	环	△3.3 -	普通	良	明赤褐色
408	H27	Ⅲ-5-205	4421	H9	S-445 埋上中	高坏	△16.3 △12.5 -	精細	良	浅黄褐色
409	H27	Ⅲ-5-205	4403	H9	S-445 埋上中	小型器台	△6.3 △15.8 -	普通	良	にぶい褐色
410	H27	Ⅲ-5-205	4143	H9	S-445 埋上中	甕	13.4 △15.9 -	普通	良好	暗灰黄色
411	H27	Ⅲ-5-205	4366	H9	S-445 埋上中	甕	△11.0 16.4 16.2 -	精細	良好	浅黄褐色
412	H27	Ⅲ-5-205	4213	H9	S-445 埋上中	高坏	△15.6 11.9 8.8 -	粗	良好	褐色
413	H27	Ⅲ-5-205	4147	H10	S-445 上層	高坏	△6.2 -8.7 -	普通	良好	にぶい褐色
414	H27	Ⅲ-5-205	4421	H9	S-445 埋上中	器部	△5.2 △13.2 -	普通	良	暗灰色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表18

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グリッド	遺構 層位	部種	寸法 (単位:cm)	胎土	焼成	色調
							口径 (cm) 器高 (cm) 底径 (cm) 胴部最大径 (cm)			
415	H27	Ⅲ-5-205	4708	G9	S-445 埋上中	脚部	φ14.0 φ19.6	普通	良	にぶい黄褐色
416	H27	Ⅲ-5-205	4071,4147	H10	S-445 埋上中、上層	黒色野 高坏	φ1.7	精緻	良	灰色
417	H27	Ⅲ-5-205	4213	H9	S-445 埋上中	黒色野 坏蓋	φ13.2 φ3.1	精緻	良	灰色
418	H27	Ⅲ-5-205	4421	H9	S-445 埋上中	黒色野 坏	φ8.0	普通	良	にぶい黄褐色
419	H27	Ⅲ-5-205	4821	G9	S-0445 埋上中	土玉	高さ 2.3 幅 2.5	-	-	-
420	H27	Ⅲ-5-205	4396	H9	S-0445 埋上中	土玉	高さ 1.9 幅 2.6	-	-	-
421	H27	Ⅲ-5-205	4709	G9	S-0445 埋上中	土玉	高さ 2.0 幅 2.6	-	-	-
422	H27	Ⅲ-5-209	5813	G9	S-527 埋上中	罌	φ24.0 φ6.6	普通	不良	浅黄色
423	H27	Ⅲ-5-209	5813	G9	S-527 埋上中	罌	φ4.2	普通	不良	にぶい黄褐色
424	H27	Ⅲ-5-209	5813	G9	S-527 埋上中	罌	φ3.5	普通	不良	にぶい黄褐色
425	H27	Ⅲ-5-209	7985	G9	S-675 埋上中	罌	φ5.5	普通	不良	にぶい黄褐色
426	H27	Ⅲ-5-209	8109	G9	S-676 埋上中	罌	φ3.4	普通	不良	にぶい黄褐色
427	H27	Ⅲ-5-210	7961	G9	S-674 埋上中	罌	φ4.1	普通	不良	にぶい黄褐色
428	H27	Ⅲ-5-210	7967	G9	S-674 埋上中	高坏	φ13.0 φ15.0	粗	不良	にぶい黄褐色
429	H27	Ⅲ-5-212	5767	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ16.0 φ6.5	粗	不良	にぶい黄褐色
430	H27	Ⅲ-5-212	5767	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ17.8 φ3.6	普通	不良	にぶい黄褐色
431	H27	Ⅲ-5-212	5767	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ18.9 φ3.5	粗	不良	にぶい黄褐色
432	H27	Ⅲ-5-212	5499	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ16.6 φ3.9	普通	良好	にぶい黄褐色
433	H27	Ⅲ-5-212	5499	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ4.6	普通	不良	にぶい黄褐色
434	H27	Ⅲ-5-212	5529	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ18.2 φ4.9	普通	良好	浅黄褐色
435	H27	Ⅲ-5-212	5767	G9	黒色・暗褐色包含層	脱脚坏	φ5.2 φ7.6	普通	不良	橙色
436	H27	Ⅲ-5-212	5499	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ5.9	普通	良好	にぶい黄褐色
437	H27	Ⅲ-5-212	5499	G9	黒色・暗褐色包含層	罌	φ6.1	普通	良好	にぶい黄褐色
438	H27	Ⅲ-5-212	5499	G9	黒色・暗褐色包含層	底部	φ5.2 φ9.2	普通	良好	にぶい黄褐色
439	H27	Ⅲ-5-215	8584	G9	S-725a 埋上中	罌	φ16.5 φ4.5	普通	不良	にぶい黄褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表19

図録 番号	調査 年度	検出 番号	取上No.	グリップ	遺構 層位	部種	数量 (単位:cm)		胎土	構成	色調
							全長(全長)元、△2段分	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴底最大径(cm)			
440	H27	Ⅲ-5-215	8586	G9	S-725a 埋土中	蓋	φ16.6 △4.9	普通	良好	橙色	
441	H27	Ⅲ-5-215	8586	G9	S-725a 埋土中	蓋	φ16.4 △7.9	普通	不良	橙色	
442	H27	Ⅲ-5-215	8242	G9	S-726b 埋土中	蓋	φ15.2 △7.0	普通	不良	にぶい黄褐色	
443	H27	Ⅲ-5-215	8242	G9	S-726b 埋土中	蓋	φ16.2 △5.6	普通	良好	灰青褐色	
444	H27	Ⅲ-5-215	8242	G9	S-726b 埋土中	蓋	φ4.6 △2.9	粗	不良	にぶい黄褐色	
445	H27	Ⅲ-5-215	9001	G9	S-726a 埋土中	蓋	△4.3	普通	良好	橙色	
446	H27	Ⅲ-5-215	9000	G9	S-726a 床面直上	底部	△3.5 φ5.5	普通	良好	橙色	
447	H26	Ⅲ-5-219	1972	F8	S-220 5層	蓋	φ15.6 △3.8	普通	不良	浅黄色	
448	H26	Ⅲ-5-219	1947	F8	S-220 床面直上	蓋	△3.8	精緻	良	橙色	
449	H26	Ⅲ-5-219	1888	F8	S-220 1層	蓋	△3.2	普通	良	橙色	
450	H26	Ⅲ-5-219	1973	F8	S-220 5層	蓋	△3.8	精緻	良	にぶい黄褐色	
451	H26	Ⅲ-5-219	2007	F8	S-220 周溝内	蓋	△3.7	精緻	良	橙色	
452	H26	Ⅲ-5-219	1914	F8	S-220 2層	高坏	φ21.3 △6.25	普通	良好	赤色	
453	H26	Ⅲ-5-219	1955	F8	S-220 2層	高坏	φ28.4 △9.4	普通	良好	浅黄褐色	
454	H26	Ⅲ-5-222	1786	G9	S-43 埋土中	蓋	φ15.8 △3.4	精緻	良	にぶい黄褐色	
455	H26	Ⅲ-5-222	2229	F8	S-262 6層	蓋	φ12.4 △3.8	普通	不良	にぶい黄褐色	
456	H26	Ⅲ-5-222	2229	F8	S-262 6層	蓋	φ12.7 △4.2	普通	良好	浅黄褐色	
457	H26	Ⅲ-5-222	2229	F8	S-262 6層	蓋	φ4.3	普通	良好	浅黄褐色	
458	H26	Ⅲ-5-222	2182	F8	S-262 埋土中	蓋	φ17.0 △4.2	普通	良好	浅黄褐色	
459	H26	Ⅲ-5-222	1689	F8	S-40 埋土中	蓋	△5.0	普通	良	にぶい橙色	
460	H26	Ⅲ-5-222	1552	F8	S-40 埋土中	蓋	φ15.4 △5.6	普通	不良	灰白色	
461	H26	Ⅲ-5-222	1335, 1351, 1714, 1689, 1559	F8	S-40 埋土中	蓋	φ16.8 △7.6	精緻	良	橙色	
462	H26	Ⅲ-5-222	1713, 1730, 1335, 941, 953	F8・9	S-40 埋土中、横断面	蓋	17.5 △8.3	普通	不良	浅黄褐色	
463	H26	Ⅲ-5-222	1689, 1719, 1935	F8	S-40 埋土中	高坏	△9.9	普通	良好	橙色	

第三章 1区の調査

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表20

図録 番号	調査 年度	図録 番号	取上No.	グラフィフ	遺構 層位	器種	寸法(単位:cm)		胎土	焼成	色調
							口径(口径) 口径(口径) 口径(口径) 口径(口径)	高さ 高さ 高さ 高さ			
464	H26	Ⅲ-5-235	1684	G8	S-22 甕上中	甕台	△6.6	-	普通	良	にぶい褐色
465	H26	Ⅲ-5-236	1787	G8	S-170 甕上中	甕	△2.3	-	普通	良	にぶい黄褐色
466	H26	Ⅲ-5-236	1778	F8	S-147 甕上中	甕	△3.2	-	普通	良	黒褐色
467	H26	Ⅲ-5-236	1775	F8	S-88 椀山面	甕	△3.9	-	普通	良	にぶい黄褐色
468	H26	Ⅲ-5-236	1558	F8	S-181 甕上中	甕	△4.7	-	普通	良	粉灰色
469	H26	Ⅲ-5-236	1862	F9	S-90 甕上中		△15.2 △3.2	-	普通	良	浅黄褐色
470	H26	Ⅲ-5-236	1686	F8	S-157 甕上中	甕	△3.6	-	普通	良	にぶい黄褐色
471	H26	Ⅲ-5-236	1802	G9	S-109 1層	甕	△2.7	-	粗	良	浅黄褐色
472	H26	Ⅲ-5-236	1664	F8	S-159 甕上中	甕	△3.7	-	普通	良	灰白色
473	H26	Ⅲ-5-236	1806	F9	S-44 甕上中	甕	△3.0	-	精緻	良	にぶい黄褐色
474	H26	Ⅲ-5-236	1783	G8	S-170 甕上中	甕	△3.2	-	普通	良	にぶい褐色
475	H26	Ⅲ-5-236	1688,1419,1421,1012	F8	S-99,S-141 甕上中、椀山面	鉢	11.4 7.2 4.2	-	普通	良	褐色
476	H26	Ⅲ-5-236	1835	F8	S-180 1層	甕台	△3.2	-	普通	良	にぶい黄褐色
477	H26	Ⅲ-5-236	1782	F8	S-0201 椀山面	土玉	高さ 2.4 幅 2.7	-	-	-	-
478	H26	Ⅲ-5-237	365	I10	S-1 甕上中	甕	△14.0 △3.5	-	普通	良	褐色
479	H26	Ⅲ-5-237	343	I10	S-4 甕上中	甕	△16.7 △3.3	-	普通	良好	明黄褐色
480	H27	Ⅲ-5-237	8241	G9	S-712 甕上中	甕	△4.6	-	普通	良好	にぶい黄褐色
481	H26	Ⅲ-5-237	83,416	I11	S-1 下層、甕上中	甕	△17.5 △6.1	-	普通	良好	褐色
482	H26	Ⅲ-5-237	453	I11	S-1 甕上中	甕	△18.6 △5.1	-	普通	良	にぶい褐色
483	H27	Ⅲ-5-237	2145,2167	H11	- 包含層	甕	△16.0 △4.2	-	普通	良	にぶい黄褐色
484	H26	Ⅲ-5-237	78,438	I11	S-1 下層	甕	△10.0 △5.7	-	普通	良好	褐色
485	H27	Ⅲ-5-237	2145	H11	- 包含層	甕	△16.5 △5.2	-	普通	良	褐色
486	H26	Ⅲ-5-237	434,432,57	I11	S-1 甕上中、3層より下層	甕	△17.4 △5.6	-	普通	良	褐色
487	H26	Ⅲ-5-237	426	I11	S-1 甕上中	甕	△6.0	-	普通	良	黄褐色

第Ⅲ-6-3表 土器、土製品観察表21

観察番号	調査年度	検出番号	取上No.	グリッド	遺構層位	器種	法量(単位:cm)		胎土	焼成	色調
							口径(c.m.)	高さ(c.m.)			
488	H26	Ⅲ-5-237	423,424	I11	S-1付近	罌	φ20.0 △6.5	普通	良好	浅黄褐色	
489	H26	Ⅲ-5-237	1621,1619,1597,1595	H10 H9	S-10付近	罌	φ17.8 △5.4	普通	良好	にぶい黄褐色	
490	H26	Ⅲ-5-237	432	I11	S-1付近	罌	φ21.4 △6.4	普通	良	にぶい黄褐色	
491	H26	Ⅲ-5-237	453	I11	S-1付近	罌	φ31.6 △9.2	普通	良好	浅黄褐色	
492	H26	Ⅲ-5-237	1595	H9	S-10付近	罌	φ23.4 △14.1	普通	良好	にぶい黄褐色	
493	H26	Ⅲ-5-237	57	I11	S-1付近	罌	φ13.1 △3.2	普通	良	褐色	
494	H26	Ⅲ-5-237	1024	G9	-	蓋	φ13.7 △6.4	粗	良好	褐色	
495	H27	Ⅲ-5-237	602,667	G11	検出作業中	短頸甕	φ11.6 △11.5 φ14.0	普通	良好	褐色	
496	H26	Ⅲ-5-237	1594	H9	S-10付近	鉢	φ22.6 △5.5	普通	良好	浅黄褐色	
497	H27	Ⅲ-5-237	8289	G9	トレンチ19 3層	高杯	φ27.8 △8.4	普通	良好	明黄褐色	
498	H26	Ⅲ-5-237	78	I11	S-1付近	脚部	△3.8 φ18.4	普通	良好	にぶい黄褐色	
499	H26	Ⅲ-5-237	961	I10	-	肥手	△5.15	普通	良好	明黄褐色	
500	H26	Ⅲ-5-237	1596	H9	-	器台	△7.0	普通	良好	にぶい褐色	
501	H26	Ⅲ-5-237	8	調査区下部	黄土	瓦葉	φ20.5 △4.9	普通	良好	灰白色	

第Ⅲ-6-4表 石器観察表

観察番号 (取上No.)	調査年度	検出番号	グリッド	遺構層位	器種	法量(小径点第2位全四角五入)				石材
						長さ(c.m.)	幅(c.m.)	厚さ(c.m.)	重量(g)	
S1333	H26	Ⅲ-4-18	G8	S-000 埋土中	砥石	3.9	3.2	0.5	8.3	泥岩
S3065	H27	Ⅲ-5-45	G11	S-020 底面	砥石	15.8	11.6	9.2	2290.0	安山岩~デイスイト
S2968	H27	Ⅲ-5-88	I11	S-0420 埋土中	砥石	9.4	6.5	6.3	570.0	玄武岩~安山岩
S4465	H28	Ⅲ-5-100	J9	S-835 埋土上部	閃石	11.5	11.6	5.7	810.0	火山噴出灰岩
S8301	H27	Ⅲ-5-215	G9	S-725 埋土中	石包丁	5.8	13.4	0.7	82.1	緑色岩?
S1801	H26	Ⅲ-5-236	F8	S-0141 埋土中	砥石	9.7	6.6	5.2	214.6	デイスイト~流紋岩 または輝閃岩
S146	H26	Ⅲ-5-236	H9	-	砥石	3.5	3.2	0.8	11.8	泥岩
S219	H26	Ⅲ-5-236	H11	黄土	石斧	5.9	1.3	0.8	9.9	デイスイト~流紋岩 または輝閃岩
S186	H26	Ⅲ-5-236	H10	-	玉作関係石器	1.9	0.8	0.6	1.6	緑色凝灰岩
S8704	H27	Ⅲ-5-236	G8	-	閃石	9.1	9.8	3.6	346.1	安山岩~デイスイト

第三-6-5表 金属器観察表

陶器番号 (取上No.)	調査年度	検出 番号	グリッド	遺構 層位	器種	寸量 (cm)			備考
						長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	
F5511	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	4.5	2.0	0.9	
F5509	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	4.2	1.2	0.9	
F5506	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	4.5	1.2	1.1	
F5498	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	4.6	1.3	1.2	
F5475	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	4.8	1.0	1.2	
F5500	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	4.1	1.0	1.3	
F5470	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	3.7	0.7	0.8	
F5485	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	3.2	0.7	0.5	
F5486	H28	Ⅲ-4-28	18	S-951 埋土中	釘	2.7	0.9	0.7	
F487	H26	Ⅲ-5-153	H10	S-8 埋土中	釣り針	1.9	1.8	0.6	
F4227	H27	Ⅲ-5-205	H9	S-445 埋土中	棒状鉄器	7.4	2.2	1.5	
F1885	H26	Ⅲ-5-219	F8	S-220 埋土中	棒状鉄器	6.1	1.7	1.0	
Bt5208	H28	PL.138	J4	S-800 埋土中	不明 (青銅品小)				

第三-6-6表 木器観察表

陶器番号 (取上No.)	調査 年度	検出 番号	グリッド	遺構名 層位名	器種	寸量 (cm)	器種	水取り	備考
						最大長 (11目 最大幅・器高 最大厚/底(部)径)			
9172	H27	Ⅲ-4-14	F9	S-766 床面直上	不明	△16.7 1.8 0.9	スギ	板目	
9173	H27	Ⅲ-4-14	F9	S-766 床面直上	不明	18.5 1.6 0.8		板目	
9174	H27	Ⅲ-4-14	F9	S-766 流土上中	不明	△10.1 2.3 1.0	スギ	板目	
9175	H27	Ⅲ-4-14	F9	S-766 床面直上	不明	△12.8 4.7 1.8	ナリ	志去丸大	
2199	H26	Ⅲ-4-18	G8	S-275 埋土中	柱	△28.4 11.9 8.3	ナリ?	志持丸大	

第三-6-7表 出土種子一覧表

年度	遺構	水毛根(点)			土ホ・その他(点)		
		定形	半分	破片	定形	半分	破片
H26	S-1	1					
H27	S-266	1					
H27	S-833	2					

写真図版



1 遺跡全景(東から、調査開始前)



2 遺跡全景(南から、調査開始前)



1 遺跡全景(北東から、平成27年度調査区)



2 平成27年度調査区全景(北東から)



1 平成28年度調査区全景(北東から)



2 S-475段状遺構(北東から)



1 S-512段状遺構
(北西から)



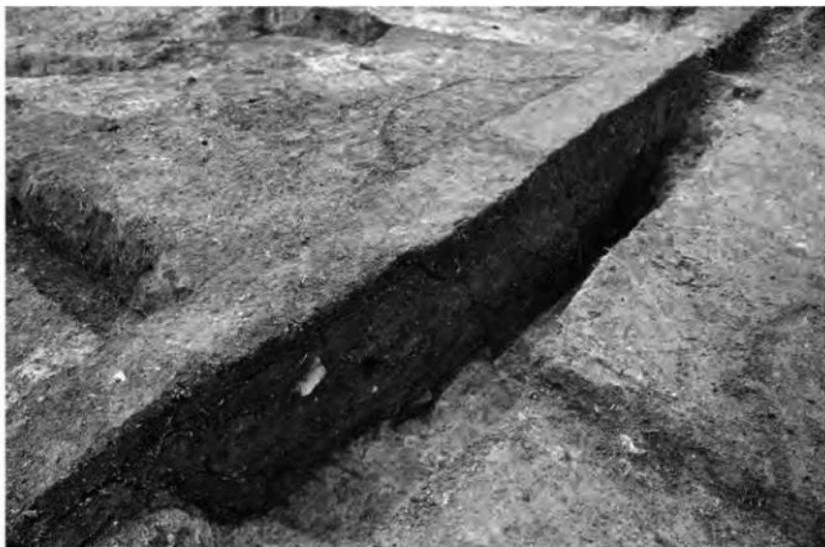
2 S-464・513段状遺構
(北東から)



3 S-667・708・709・
710土坑(南東から)



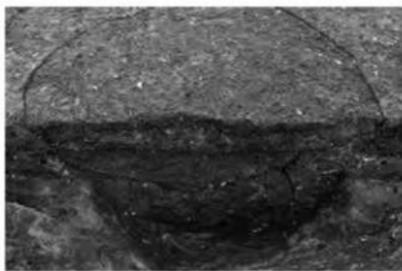
1 S-727・780段状遺構、S-667・670・708・709・710・720土坑(東から)



2 S-727段状遺構、S-667・670・708・709・710・720土坑断面(北東から)



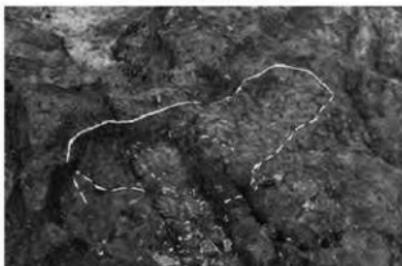
1 S-755・756・757土坑断面(東から)



2 S-704断面(西から)



3 S-791段状遺構(南東から)



4 S-772段状遺構(南東から)



5 S-785・786・787・788・789・790段状遺構(東から)



1 S-730溝断面(南から)



2 S-507溝(北東から)



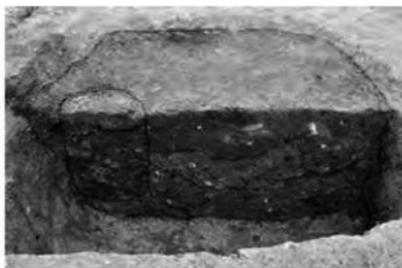
3 S-721・723土坑断面(西から)



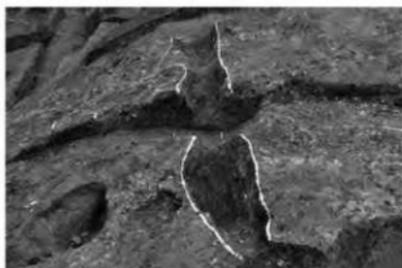
4 S-698土坑(南から)



5 S-456土坑(北東から)



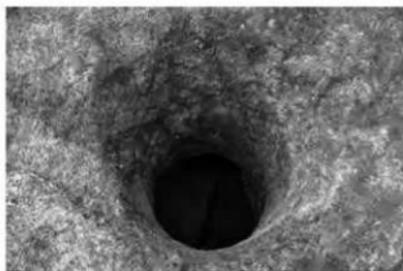
6 S-456土坑断面(北東から)



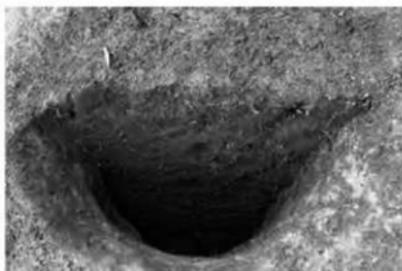
7 S-773土坑(北東から)



8 S-339土坑(北から)



1 S-766地下式土坑 豎坑(北東から)



2 S-766地下式土坑 豎坑断面(北西から)



3 S-766地下式土坑 地下室入口
(豎坑半裁除去後、北東から)



4 S-766地下式土坑
地下室入口流入土断面(北東から)



5 S-766地下式土坑
地下室内入口礫出土状況(南西から)



6 S-766地下式土坑
地下室底面木器出土状況1(南から)



7 S-766地下式土坑
地下室底面木器出土状況2(南から)



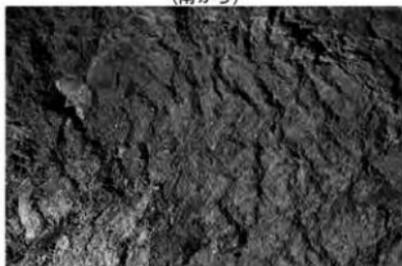
8 S-766地下式土坑
地下室底面木器出土状況3(南から)



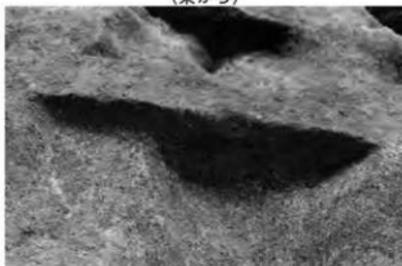
1 S-766地下式土坑 地下室内底面土坑
(南から)



2 S-766地下式土坑 地下室奥壁の段
(東から)



3 S-766地下式土坑 地下室南壁工具痕
(北から)



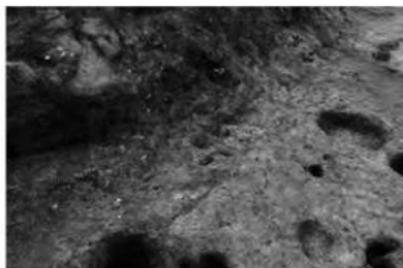
4 S-27溝断面(南東から)



5 S-25・41・42溝(北西から)



1 S-25・26・27・30・34・191溝(北西から)



2 S-36溝(南東から)



3 S-173溝(北西から)



4 S-28土坑(南東から)



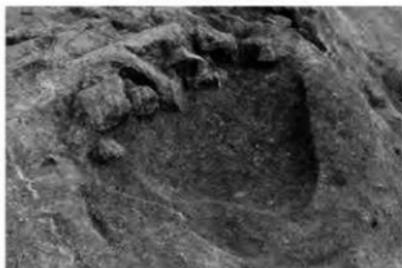
5 S-28土坑(南から)



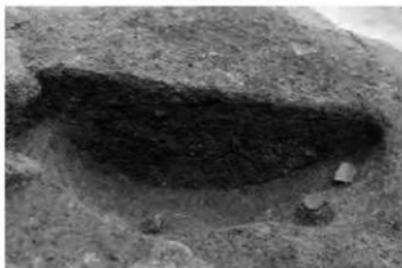
1 S-29土坑(南東から)



2 S-29土坑(南から)



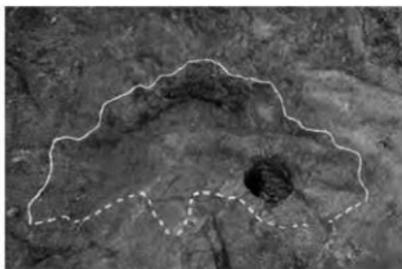
3 S-33土坑(南東から)



4 S-33土坑(南から)



5 S-275柱穴(南東から)



6 S-976段状遺構(北東から)



1 S-977地下式土坑 竪坑検出部断面
(南東から)



2 S-977地下式土坑 竪坑詰石検出状況
(東から)



3 S-977地下式土坑 竪坑(東から)



4 S-977地下式土坑 入口部埋土断面
(南東から)



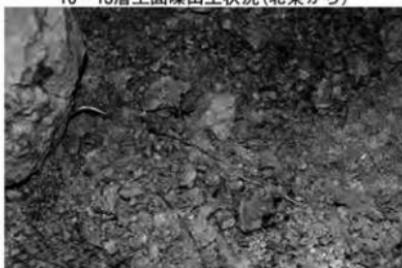
5 S-977地下式土坑 入口
(竪坑半截除去後、北東から)



6 S-977地下式土坑
10~13層上面礫出土状況(北東から)



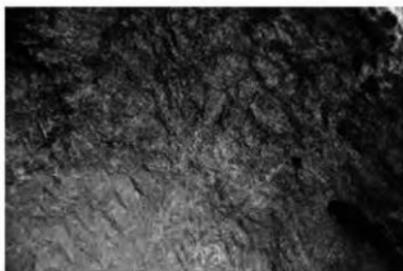
7 S-977地下式土坑
10~13層上面炭化物出土状況1(北東から)



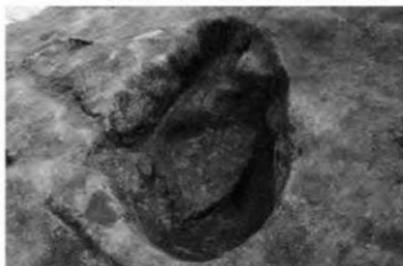
8 S-977地下式土坑
10~13層上面炭化物出土状況2(北から)



1 S-977地下式土坑 地下室完掘(南東から)



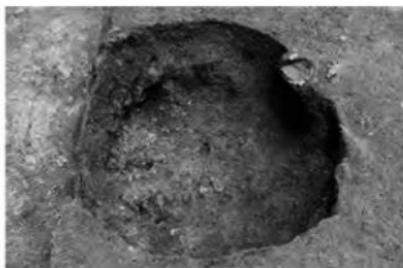
2 S-977地下式土坑
地下室南西壁面の工具痕(南東から)



3 S-319土坑(南東から)



4 S-319土坑断面(南東から)



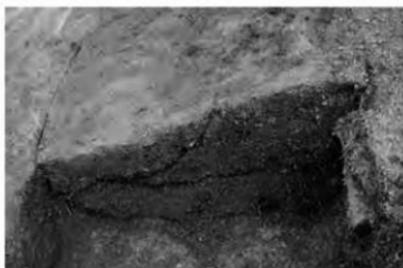
5 S-5土坑(南から)



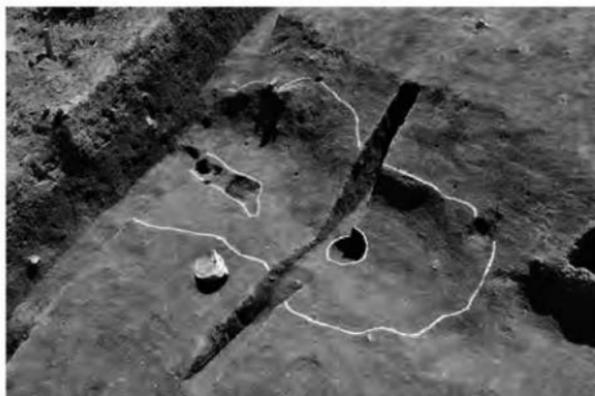
6 S-5土坑断面(南から)



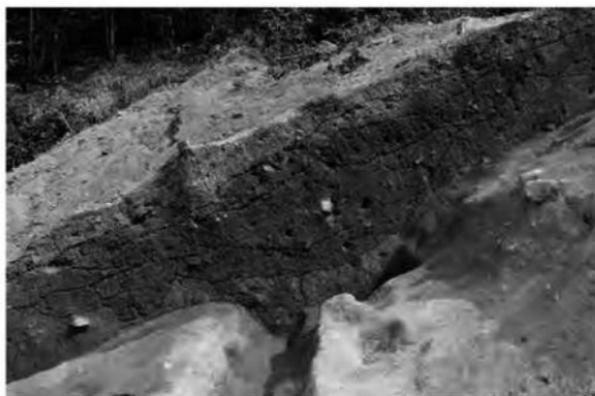
7 S-67土坑遺物出土状況(南東から)



8 S-951土坑断面(南から)



1 S-276段状遺構
(北から)

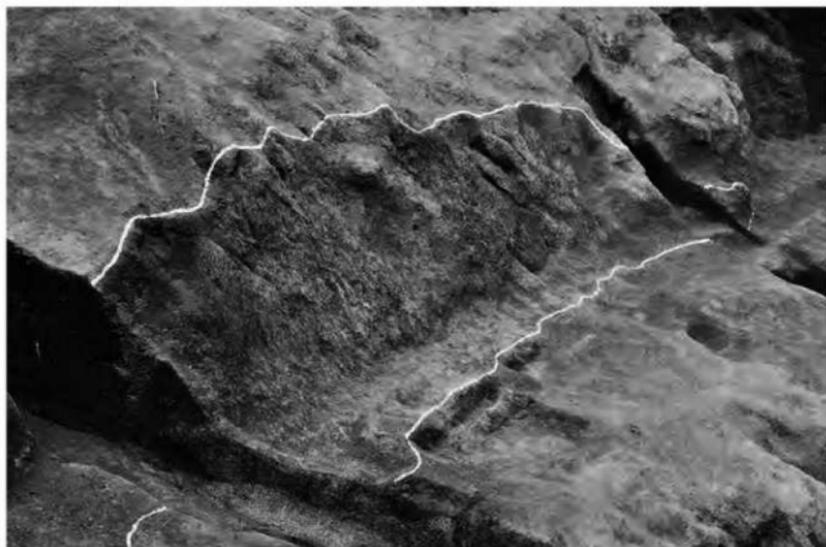


2 S-276段状遺構断面
(北西から)



4 S-855土坑断面(北西から)

3 S-276段状遺構断面・遺物出土状況
(南東から)



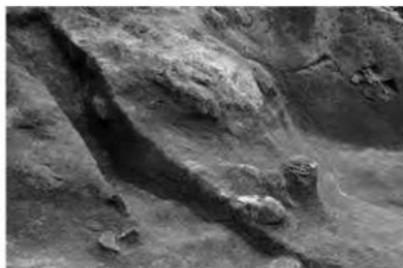
1 S-982段状遺構(南東から)



2 S-982段状遺構遺物出土状況(北から)



1 S-983段状遺構(南東から)



2 S-983段状遺構断面(南東から)



3 S-983-3・4土坑断面(東から)



4 S-983-1・2土坑(北東から)



5 S-984段状遺構(南東から)

1 S-985段状遺構
(北から)



2 S-985・986段状遺構、
987溝断面(北東から)



3 S-986段状遺構
(北から)





1 S-987溝 (H28年度調査範囲、北西から)

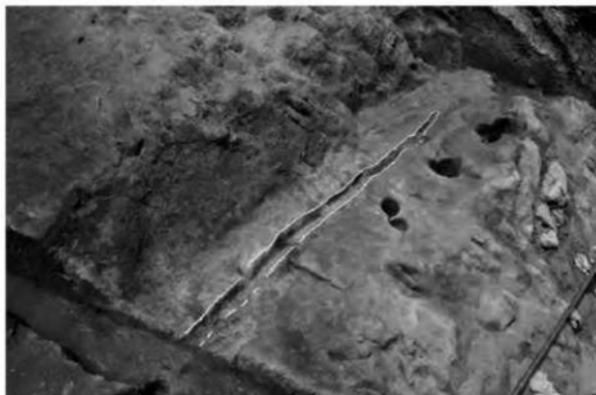


2 S-987溝硬化面 (北から)

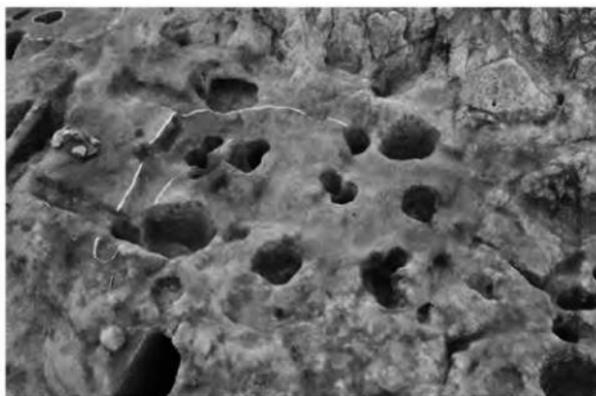


3 S-988溝 (北から)

1 S-989溝
(北から)

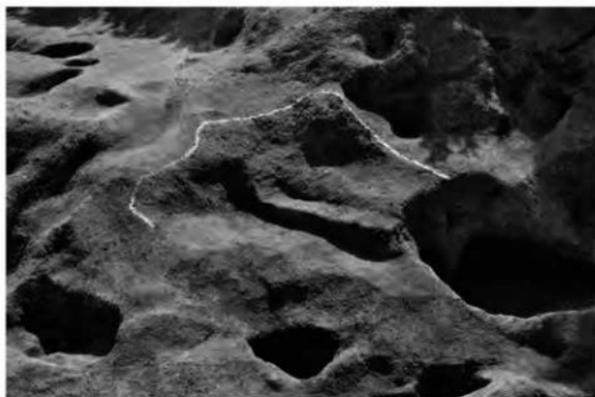


2 S-285段状遺構
(北東から)

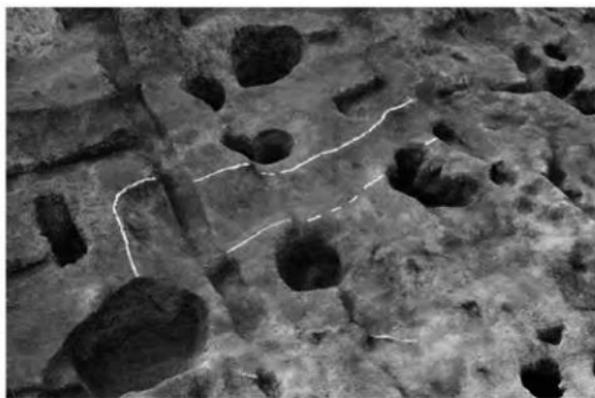


3 S-285段状遺構断面
(北から)





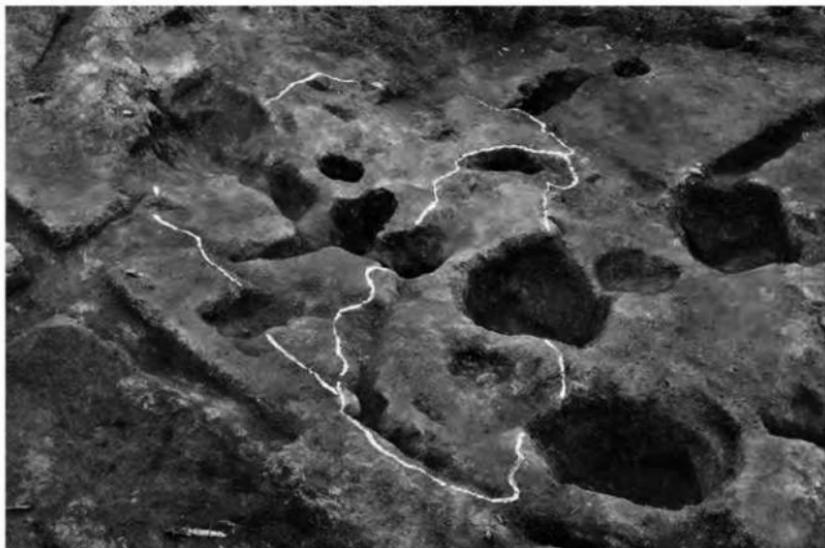
1 S-286段状遺構
(北東から)



2 S-283段状遺構
(南東から)



3 S-285段状遺構
(南東から)



1 S-282・292段状遺構(南東から)



2 S-294土坑(北から)



3 S-294断面(北から)



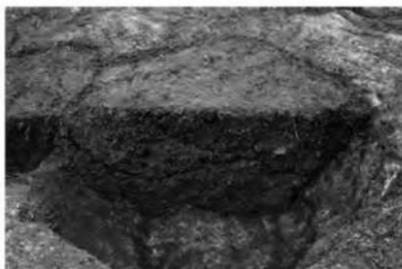
4 S-295土坑(北から)



5 S-295土坑(北から)



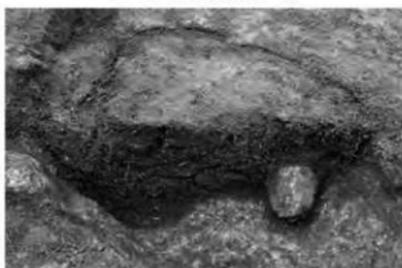
1 S-299土坑(北東から)



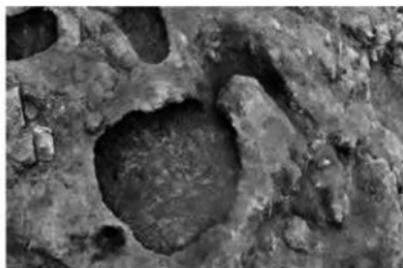
2 S-299土坑(西から)



3 S-300土坑(北東から)



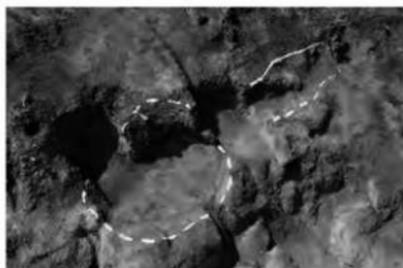
4 S-300土坑断面(南から)



5 S-301土坑(南東から)



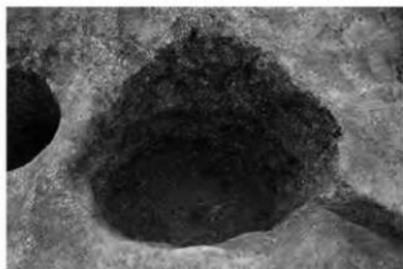
6 S-301土坑断面(北東から)



7 S-305土坑(南東から)



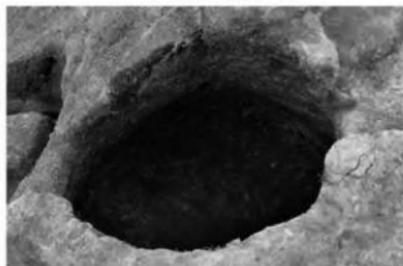
8 S-305土坑断面(南から)



1 S-317土坑(北から)



2 S-317土坑断面(東から)



3 S-333土坑(南から)



4 S-333土坑断面(南から)



5 S-294・295・299・300~303・308・319・332・333土坑周辺の状況(南東から)



1 S-287竪穴住居(南東から)



2 S-332土坑(北東から)



3 S-332土坑断面(北から)



4 S-287-4土坑断面(北から)



5 S-287-5土坑断面(北から)

1 S-377段状遺構
(北東から)



2 S-293段状遺構
(北東から)



3 S-293段状遺構断面
(南東から)





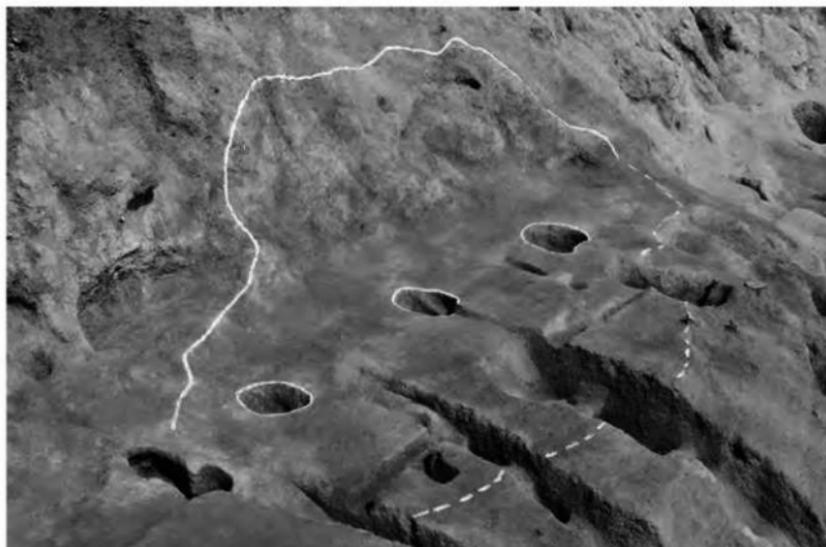
1 S-277段状遺構
(北東から)



2 S-278段状遺構
(北東から)



3 S-362・367・366溝
(南東から)



1 S-280段状遺構、S-323・324・345土坑(南東から)



2 S-280-1土坑断面(北から)



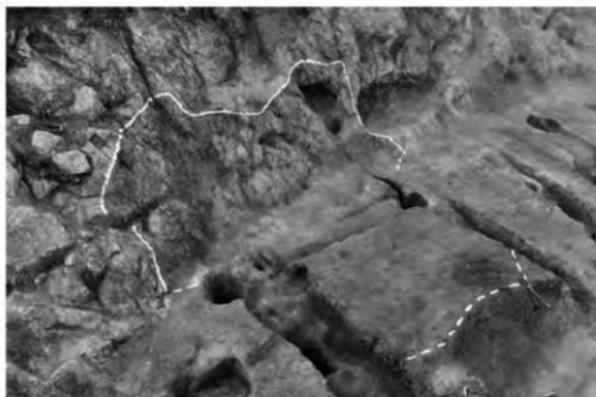
3 S-280-2土坑断面(北から)



4 S-323土坑断面(北から)



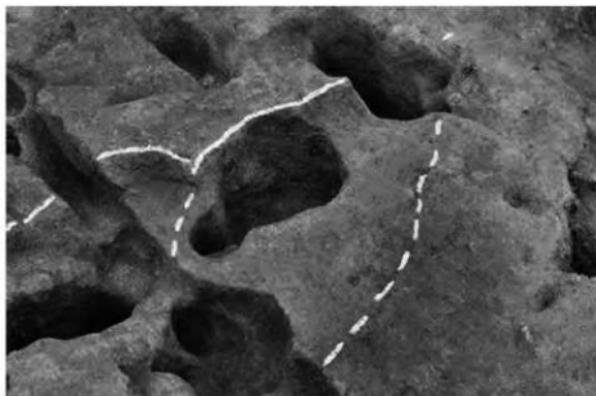
5 S-345土坑断面(北から)



1 S-297段状遺構
(南東から)

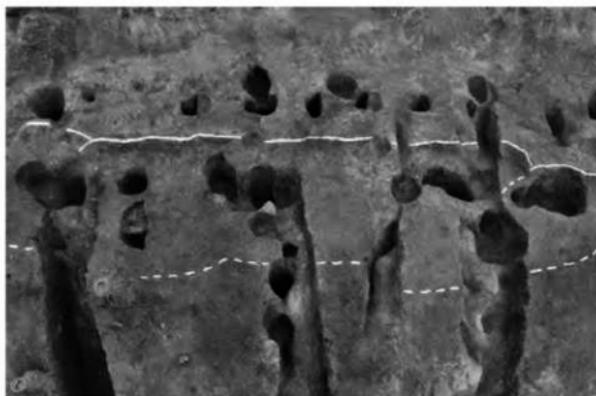


2 S-369段状遺構
(南東から)



3 S-381段状遺構
(南から)

1 S-290段状遺構
(東から)

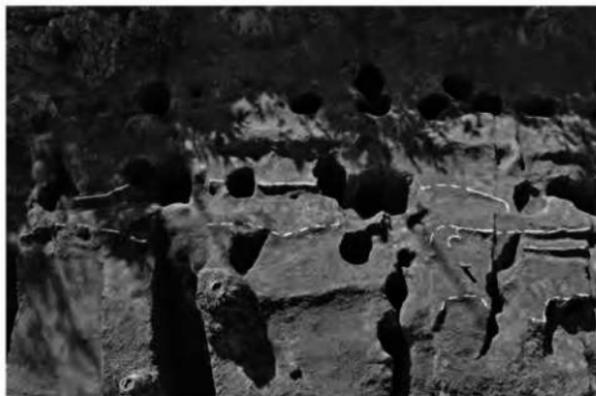


2 S-382段状遺構
(北東から)



3 S-427段状遺構
(東から)





1 S-425段状遺構
(東から)



2 S-405・406溝
(南東から)



3 S-280・289・290・
297段状遺構周辺完掘
(南東から)



1 S-6土坑(北東から)



2 S-6土坑(北東から)



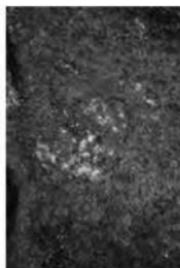
3 S-298土坑(東から)



4 S-413土坑(北から)



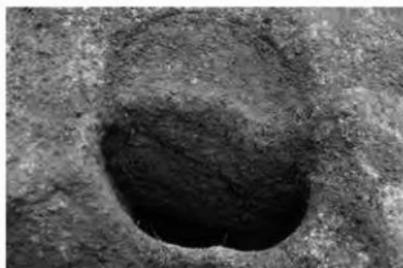
5 S-413土坑断面(南西から)



6 S-413土坑粘土土状況(北から)



7 S-296土坑(北から)



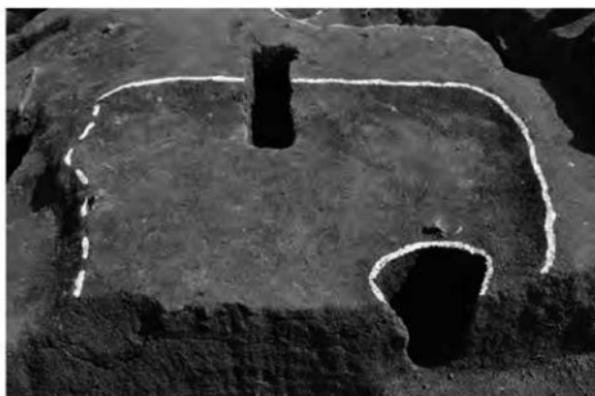
8 S-400土坑(南から)



1 S-450・453・629・
913段状遺構断面
(西から)



2 S-421段状遺構
(北東から)



3 S-378段状遺構
(北西から)

1 S-378段状遺構断面
(北西から)

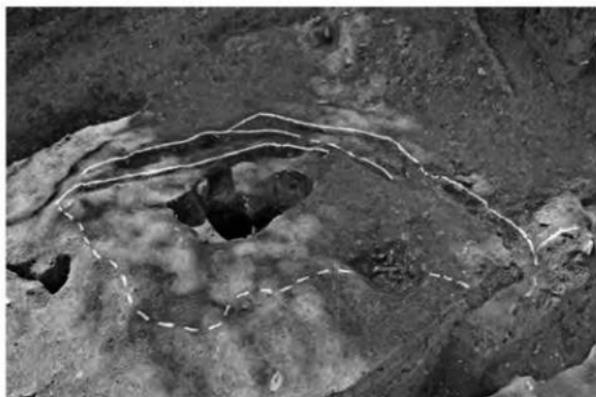


2 S-418段状遺構
(東から)



3 S-1 段状遺構
(北東から)





1 S-396段状遺構
(北から)



2 S-410・411土坑断面
(南東から)

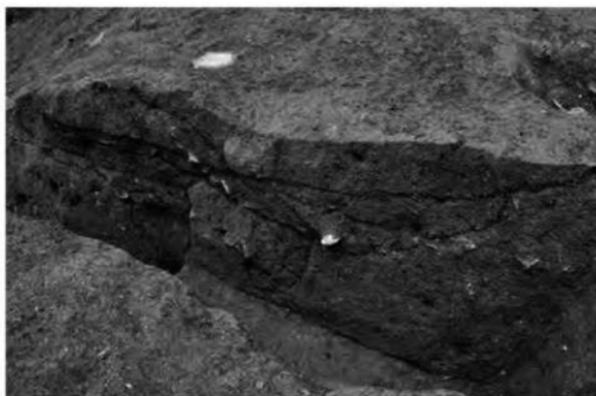


3 S-448段状遺構
(南東から)

1 S-448段状遺構
A-A'断面(南東から)



2 S-448段状遺構
B-B'断面(北西から)



3 S-436段状遺構
(北西から)





1 S-436段状遺構断面
(南から)



2 S-450段状遺構東側
(北西から)



3 S-450段状遺構西側
(北西から)

1 S-452段状遺構
(南東から)



2 S-452段状遺構床面
遺物出土状況
(南東から)



3 S-452段状遺構
B-B'断面(北西から)





1 S-453段状遺構東側
(北西から)



2 S-453段状遺構西側
(東から)



3 S-453段状遺構床面
遺物出土状況
(北西から)

1 S-629段状遺構(西側)
(北西から)



2 S-629段状遺構東側
(北西から)



3 S-358溝
(北東から)





1 S-11土坑遺物・曝出土状況(北から)



2 S-11土坑断面(南東から)



3 S-9土坑(南東から)



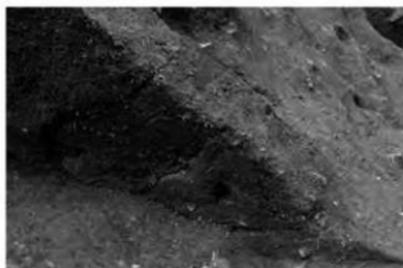
4 S-9土坑下層炭・遺物出土状況(南東から)



5 S-9土坑断面(東から)



6 S-422土坑(東から)



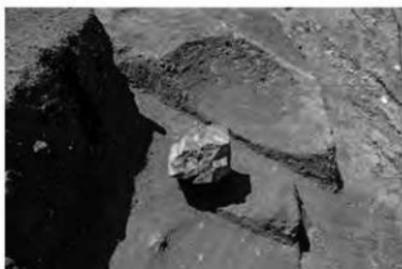
7 S-422土坑断面(東から)



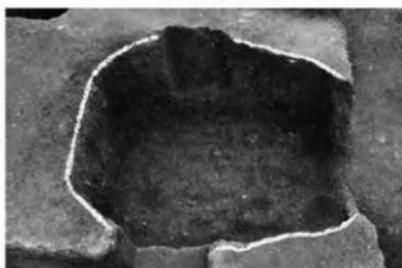
8 S-415土坑(北から)



1 S-415土坑断面(北東から)



2 S-914土坑(西から)



3 S-420土坑(北東から)



4 S-420土坑断面(南西から)



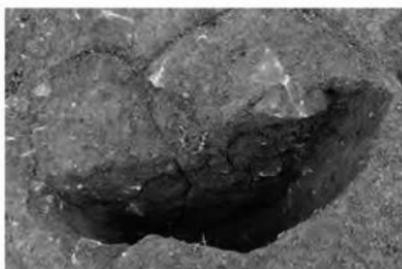
5 S-19土坑断面(北東から)



6 S-22土坑断面(南東から)



7 S-539土坑断面(南東から)



8 S-540・541土坑断面(北西から)



1 S-1・448・450・436段状遺構周辺完掘(南から)



2 S-1・448・450・436・297・280段状遺構周辺完掘(北東から)



1 S-835竪穴住居、S-852・799段状遺構周辺完掘(北から)



2 S-835竪穴住居 上層遺構(西から)



1 S-835竪穴住居(東から)



2 S-835竪穴住居背部の段(北東から)



1 S-835竪穴住居断面(北西から)



2 S-835竪穴住居 床面遺物出土状況(東から)



1 S-835竪穴住居 床焼土面(北から)



2 S-835-1 柱穴断面(西から)



3 S-835-2 柱穴遺物出土状況(北西から)



4 S-835-4 柱穴断面(東から)



5 S-835-5 土坑断面(北から)



1 S-846土坑(北東から)



2 S-846土坑断面
(北西から)



3 S-846土坑遺物出土
状況(北から)



1 S-852段状遺構
(西から)



2 S-852段状遺構・830
溝 B-B'断面
(北東から)



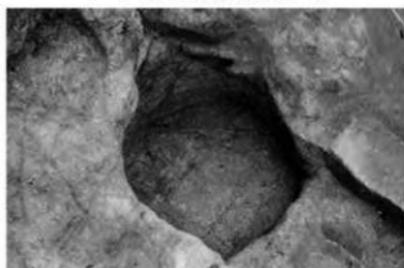
3 S-852・882段状遺構
A-A'断面(東から)



1 S-831土坑断面(北西から)



2 S-853土坑断面(西から)



3 S-833土坑(北東から)



4 S-833土坑断面(北から)



5 S-833土坑遺物出土状況(西から)



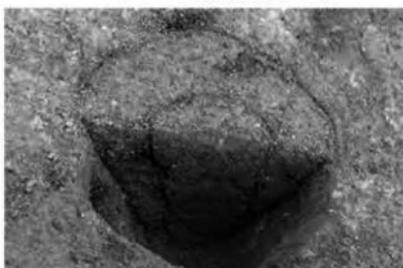
1 S-925・933土坑(西から)



2 S-925土坑断面(北西から)



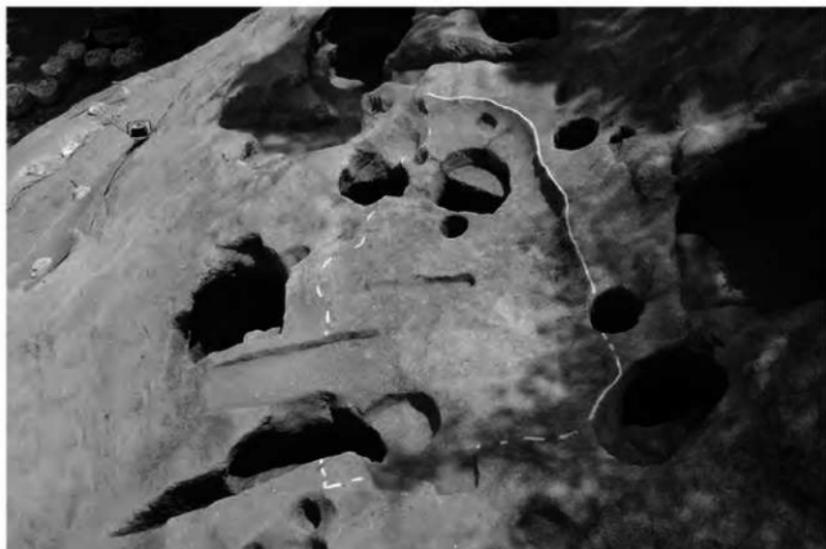
3 S-933土坑断面(西から)



4 S-870土坑断面(西から)



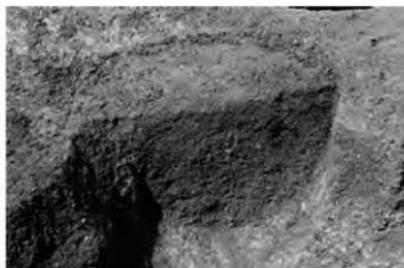
5 S-830溝(西から)



1 S-882段状遺構(西から)



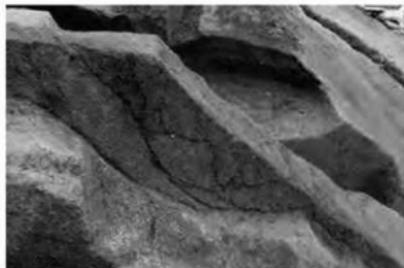
2 S-897土坑断面(東から)



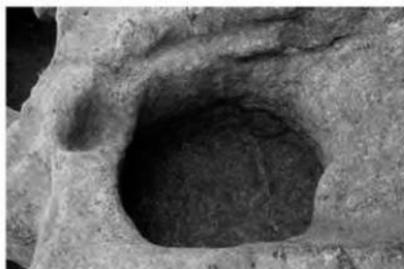
3 S-893土坑断面(南から)



4 S-904土坑断面(南から)



5 S-938段状遺構断面(東から)



1 S-826土坑(西から)



2 S-826土坑断面(北から)



3 S-859土坑(西から)



4 S-859土坑断面(西から)



5 S-864土坑(東から)



6 S-864・865土坑断面(西から)



7 S-875・865土坑(西から)



8 S-875土坑断面(北西から)



1 S-866土坑(西から)



2 S-866土坑断面(北西から)



3 S-883土坑(北から)



4 S-883土坑断面(北西から)



5 S-860土坑(南東から)



6 S-860土坑断面(東から)



7 S-861土坑(西から)



8 S-861土坑断面(東から)



1 S-924断面断面(北西から)



2 S-924土坑(北西から)



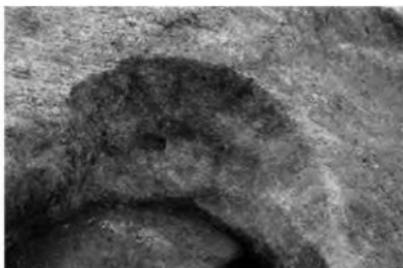
3 S-874土坑(東から)



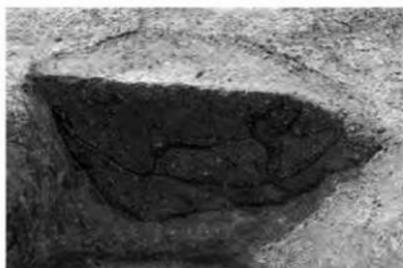
4 S-874土坑上層断面(東から)



5 S-874土坑下層断面(東から)



6 S-456土坑断面(北東から)



7 S-886土坑断面(南東から)



8 S-897・917土坑(東から)



1 S-730溝断面(南から)



2 S-507溝(北東から)



3 S-721・723土坑断面(西から)



4 S-698土坑(南から)



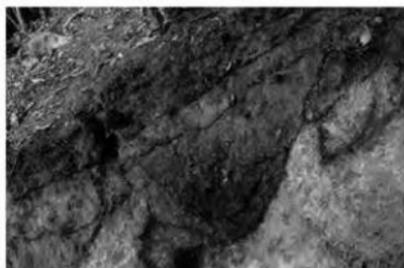
5 S-456土坑(北東から)



6 S-456土坑断面(北東から)



7 S-773土坑(北東から)



8 S-339土坑(北から)



1 S-799段状遺構
(北東から)

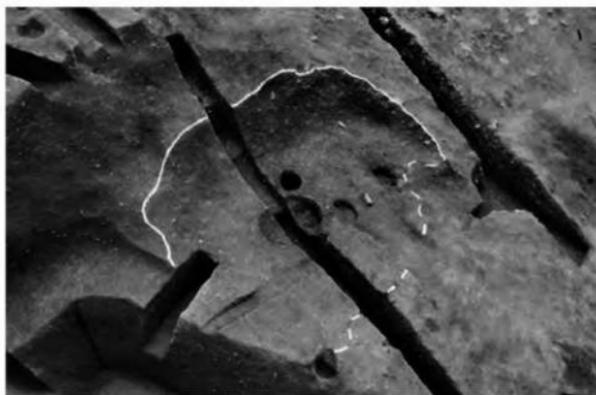


2 S-799段状遺構
遺物出土状況
(北から)



3 S-799段状遺構断面
(北東から)

1 S-858段状遺構
(北東から)



2 S-880溝
(北東から)



3 S-858段状遺構、880
溝 断面(南東から)

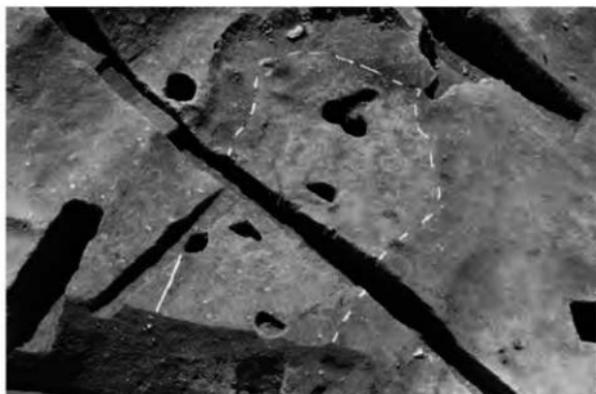




1 S-868段状遺構等断面(北東から)



2 S-868段状遺構(東から)



3 S-887段状遺構(東から)



1 S-889・890土坑断面(北西から)



2 S-892土坑断面(南東から)



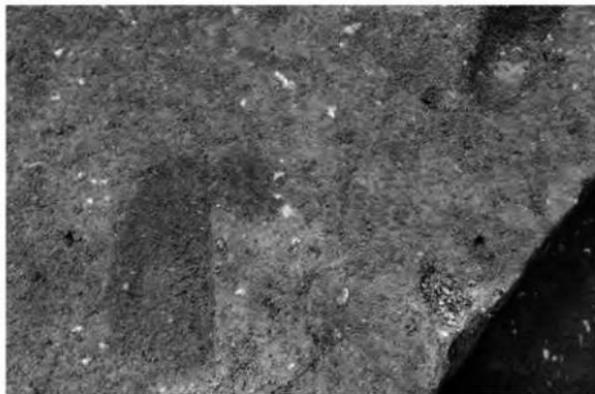
3 S-929土坑断面(北西から)



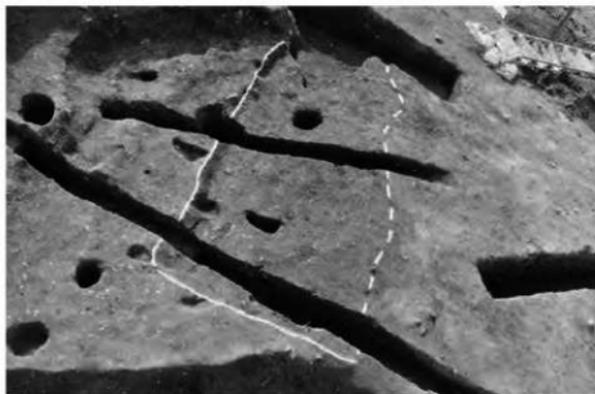
4 S-932土坑断面(南東から)



5 S-916段状遺構(東から)



1 S-916段状遺構
床焼土面(北から)



2 S-918段状遺構
(東から)



3 S-930段状遺構
(東から)



1 S-921段状遺構(東から)



2 S-857土坑(西から)



3 S-857土坑断面(西から)



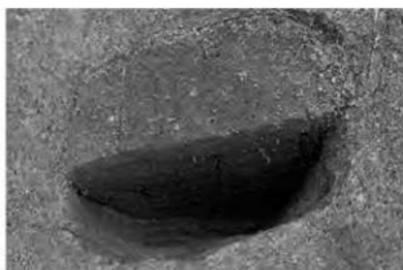
4 S-950土坑断面(西から)



5 S-942段状遺構(東から)



1 S-942段状遺構断面(北西から)



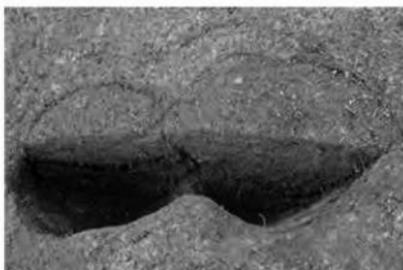
2 S-960土坑断面(西から)



3 S-958土坑断面(西から)



4 S-965土坑断面(西から)

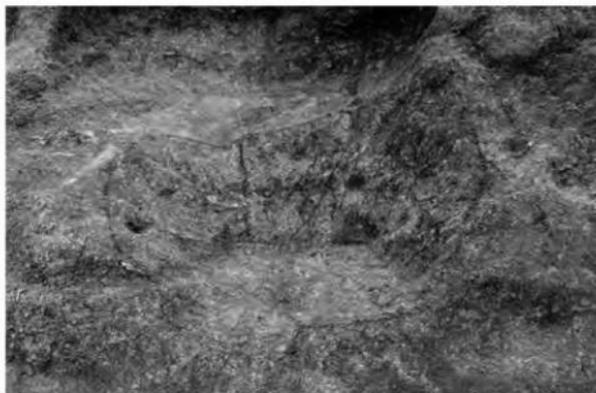


5 S-946・947断面(西から)

1 S-935土坑
(北東から)

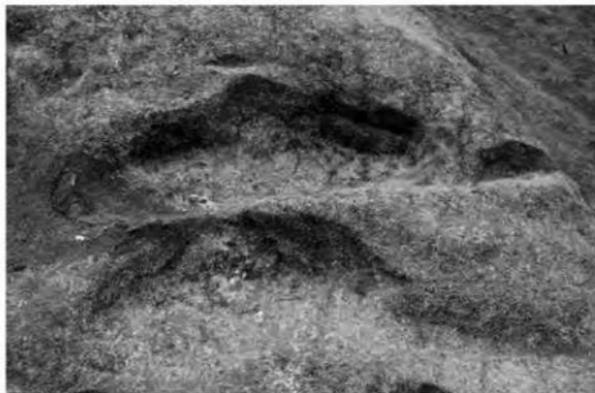


2 S-936土坑
(北から)

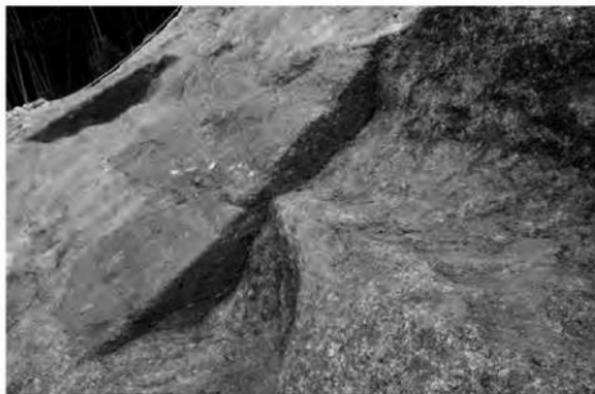


3 S-935・936土坑、
942段状遺構断面
(北東から)

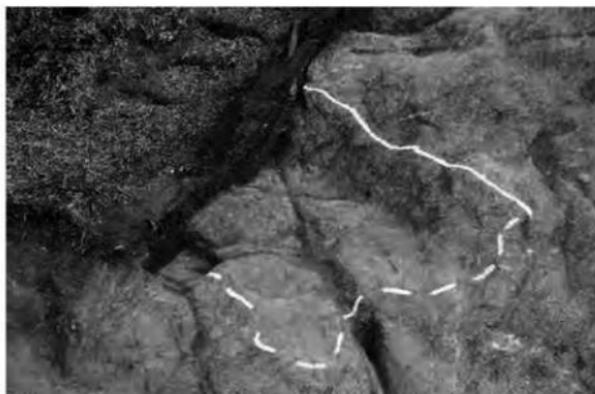




1 S-939段状遺構、
S-940・941土坑
(北西から)



2 S-939段状遺構、
S-940土坑断面
(西から)

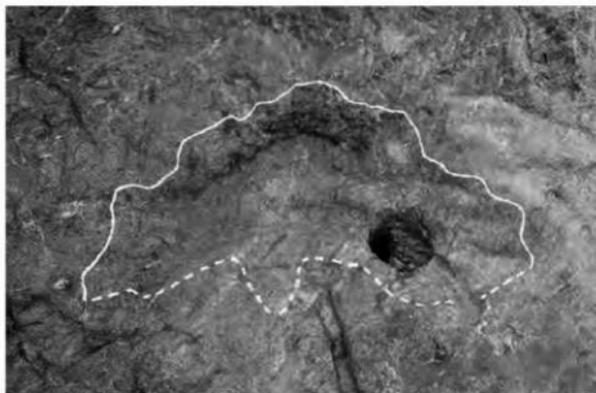


3 S-974段状遺構
(北から)

1 S-974段状遺構断面
(北西から)



2 S-976段状遺構
(北から)



3 S-976段状遺構
周壁溝断面(東から)





1 S-942段状遺構周辺完掘状況(北東から)

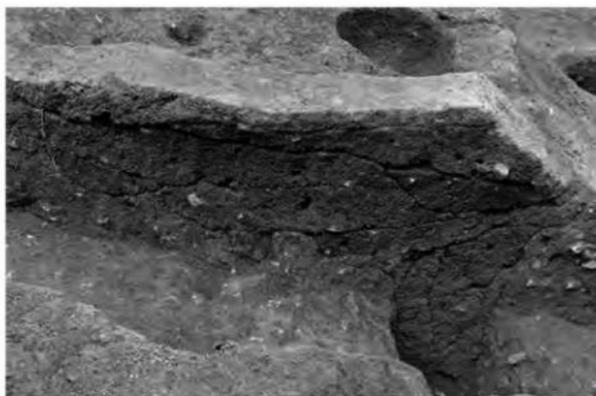


2 S-2・7・519・582周辺完掘状況(東から)

- 1 S-7 段状遺構等断面
(第Ⅲ-2-2図A-A'
断面、南東から)

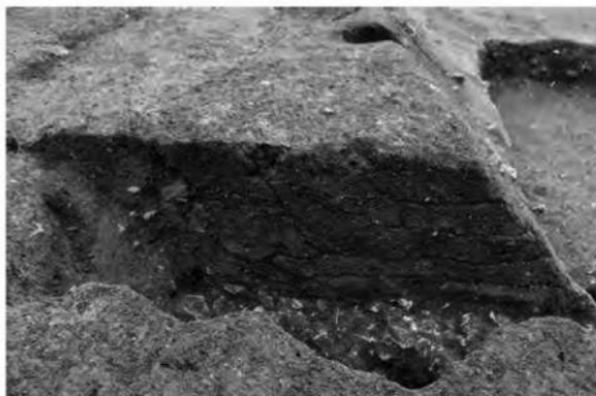


- 2 S-627 段状遺構等断面
(第Ⅲ-2-2図A-A'
断面、南東から)



- 3 S-469 土坑等断面
(第Ⅲ-5-146図C-C'
断面、南から)





1 S-583段状遺構等断面
(第Ⅲ-5-146図
C-C'断面、南から)



2 S-24段状遺構
(北から)



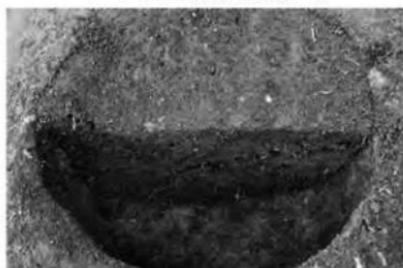
3 S-544段状遺構
(北から)



1 S-572土坑断面(北東から)



2 S-609土坑断面(東から)



3 S-598土坑断面(北西から)



4 S-621土坑断面(南東から)



5 S-582段状遺構(北から)



1 S-544・582段状遺構
断面(西から)



2 S-2段状遺構
(南東から)



3 S-2段状遺構断面
(南東から)

1 S-8段状遺構
(南東から)



2 S-8段状遺構断面1
(南東から)



3 S-8段状遺構断面2
(南東から)

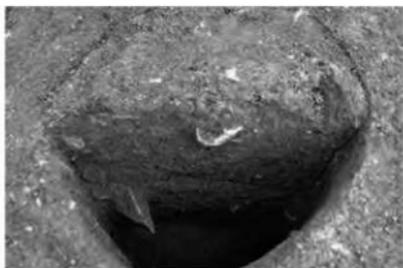




1 S-7段状遺構(北東から)



2 S-481・495土坑断面(南から)



3 S-482土坑断面(北から)



4 S-592断面(南東から)



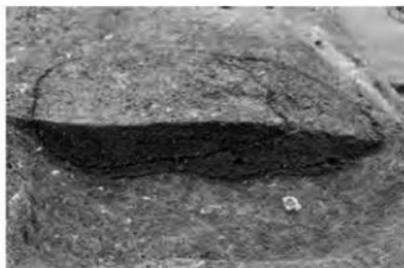
5 S-543断面(南から)



1 S-519段状遺構(南東から)



2 S-499土坑断面(北東から)



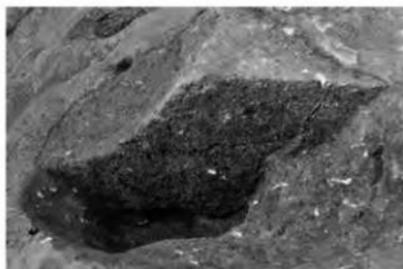
3 S-588土坑断面(南から)



4 S-492・493土坑断面(南から)



5 S-569・589・590土坑断面(東から)



1 S-568土坑断面(北から)



2 S-779土坑断面(北西から)



3 S-516段状遺構周壁溝断面(南から)

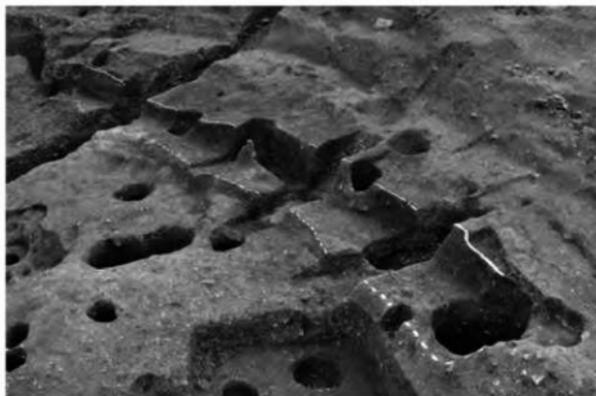


4 S-671・672土坑断面(南から)

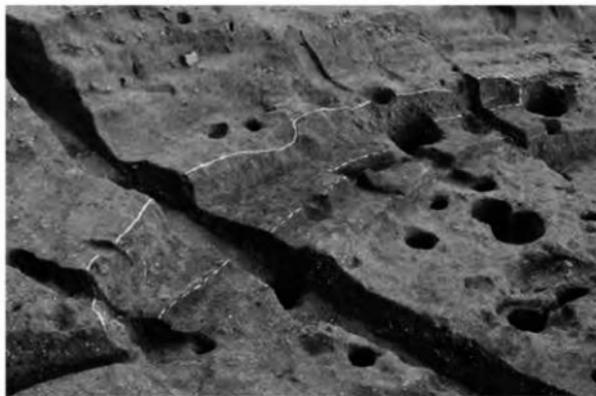


5 S-516段状遺構(南東から)

1 S-583段状遺構
(北東から)



2 S-627段状遺構
(南東から)



3 S-654段状遺構
(南東から)





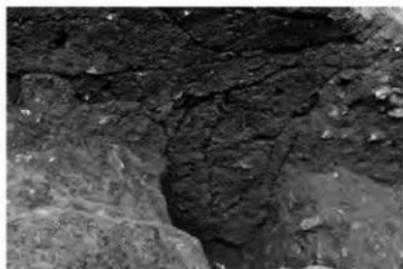
1 S-662段状遺構
(南東から)



2 S-673段状遺構
(南東から)



3 S-678段状遺構
(南東から)



1 S-634土坑断面(南東から)



2 S-645・578土坑断面(南から)



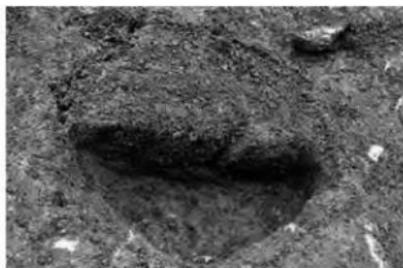
3 S-653土坑断面(南から)



4 S-685土坑断面(北から)



5 S-641土坑断面(北西から)



6 S-716土坑断面(南から)



7 S-549土坑断面(北西から)



8 S-579土坑(北から)



1 S-647段状遺構
(北東から)



2 S-647段状遺構断面
(南東から)



3 S-715段状遺構断面
(北東から)



1 S-547・548・581段状遺構(南東から)



2 S-606竪穴住居、S-519段状遺構周辺の完掘状況(北東から)



1 S-606竪穴住居、S-558・600・608段状遺構、S-603・602土坑断面
(南から、第Ⅲ-5-173図A-A'断面)



2 S-606竪穴住居、S-558・608段状遺構断面(北西から、第Ⅲ-5-173図B-B'断面)

1 S-607段状遺構
(東から)

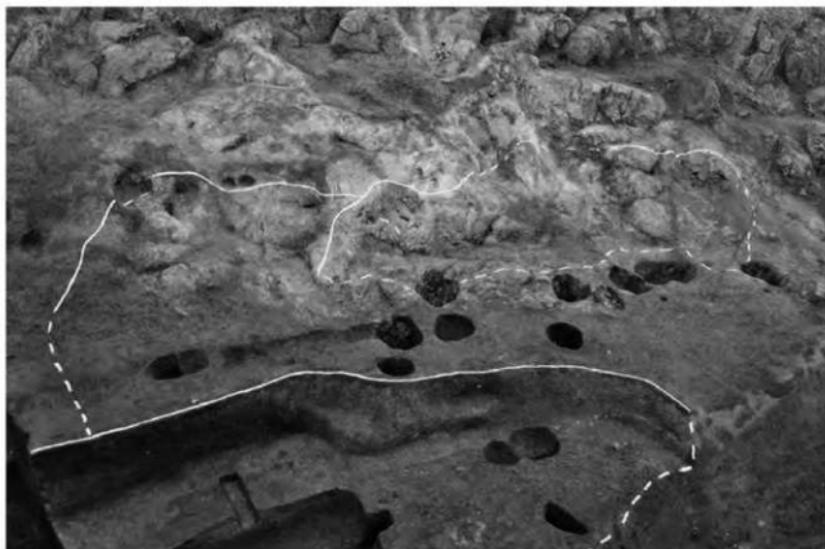


2 S-607段状遺構断面
(南から)



3 S-564土坑
(北から)





1 S-635・636段状遺構(南東から)



2 S-574土坑断面(南から)



3 S-618断面(北から)



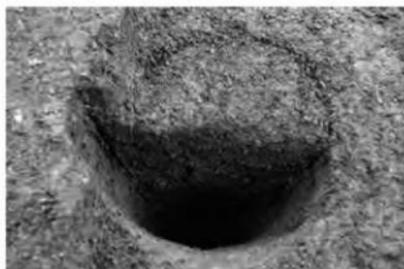
4 S-652土坑断面(南西から)



5 S-668土坑(南から)



1 S-564土坑断面(西から)



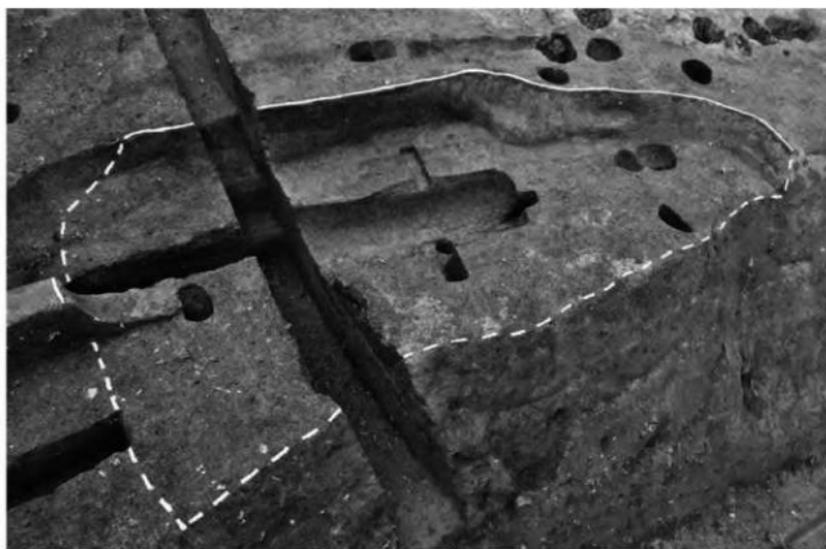
2 S-624土坑断面(南から)



3 S-631・632土坑断面(東から)



4 S-638土坑根石出土状況(南から)



5 S-558・619段状遺構(南東から)



1 S-603土坑
(東から)



2 S-603土坑断面
(北東から)



3 S-608段状遺構
(南東から)

- 1 S-608段状遺構床面
土器(359)出土状況
(南東から)



- 2 S-608段状遺構床面
土玉出土状況
(北東から)



- 3 S-600段状遺構
(南東から)





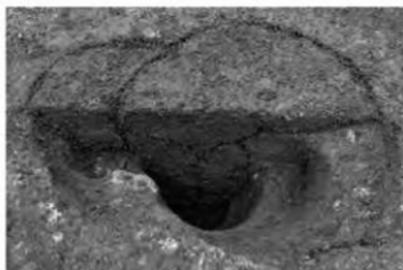
1 S-606竪穴住居(南東から)



2 S-606-3柱穴断面(東から)



3 S-606-4柱穴断面(北から)



4 S-606-5・6柱穴断面(北から)

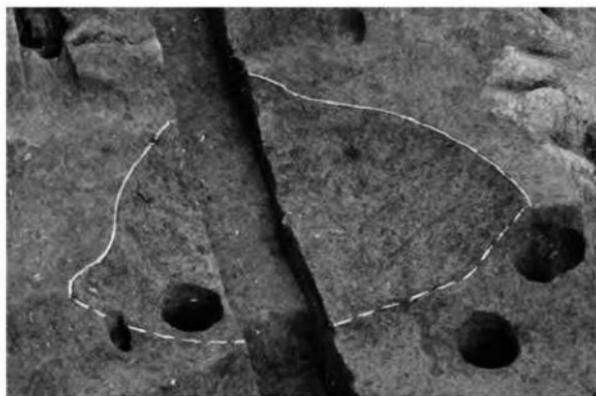


5 S-606-7柱穴断面(南東から)

- 1 S-606竪穴住居床面
焼土炭化物検出状況
(南東から)



- 2 S-602土坑
(南東から)

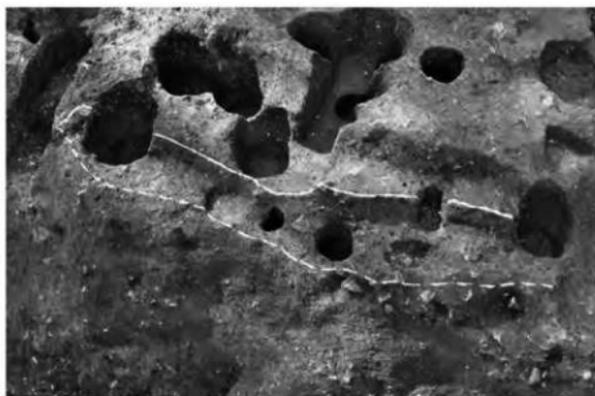


- 3 S-651段状遺構
(北東から)





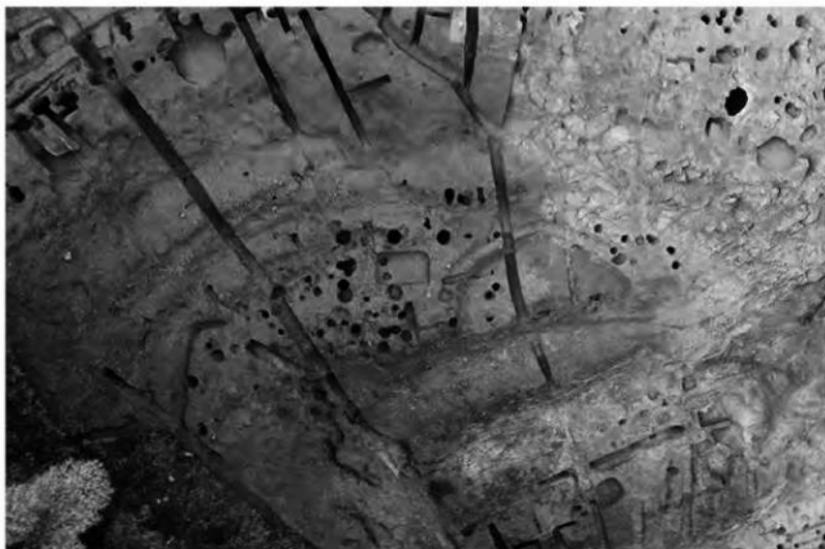
1 S-706段状遺構
(北東から)



2 S-362・367・368溝
(南東から)



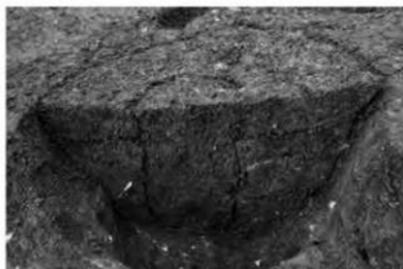
3 S-751段状遺構断面
(北から)



1 S-648掘立柱建物周辺(上空から)



2 S-648掘立柱建物(南東から)



1 S-648-1 柱穴断面(北から)



2 S-648-2 柱穴断面(南から)



3 S-648-3 柱穴断面(左側は492断面、南から)



4 S-648-5 柱穴断面(南から)



5 S-648-6 柱穴断面(南東から)



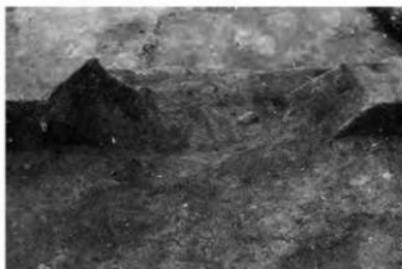
6 S-515土坑(東から)



7 S-515土坑断面1(南東から)



8 S-515土坑断面2(北西から)



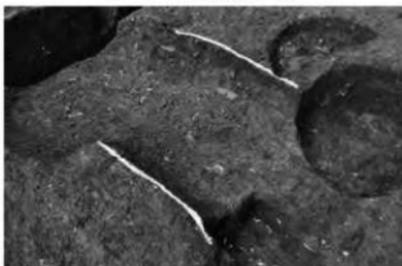
1 S-23土坑(西から)



2 S-469土坑(西から)



3 S-546土坑(南東から)



4 S-650土坑(北東から)



5 S-445谷断面(北から)



1 S-445谷断面
(南東から)



2 S-527・675段状遺構
(南東から)



3 S-674段状遺構
(南東から)

1 S-674段状遺構断面
(東から)



2 S-527・675段状遺構
断面(南東から)



3 S-711段状遺構
(南東から)





1 S-725段状遺構
(東から)



2 S-725・726段状遺構
断面(東から)



3 S-725段状遺構埋土
石器(S8301)出土状
況(東から)

- 1 S-726a・726c
溝断面(南東から)



- 2 S-726段状遺構
(南東から)



- 3 S-733段状遺構断面
(北から)





1 S-36~274周辺完掘状況(西から)



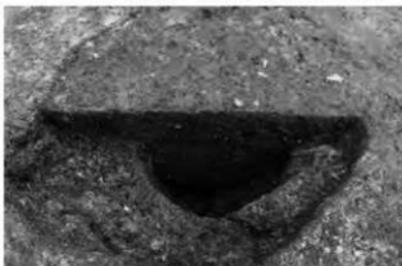
2 S-220竪穴住居(南から)



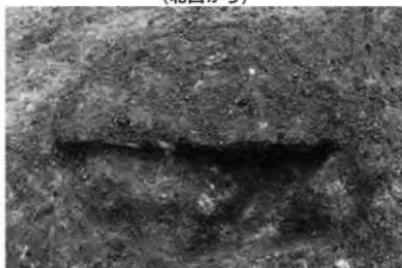
1 S-220 竪穴住居 東西断面西側(南から)



2 S-220 竪穴住居 南北断面南側(西から)

3 S-220 竪穴住居 土器(453)出土状況
(北西から)

4 S-220-1 土坑断面(東から)



5 S-220-2 土坑(南西から)



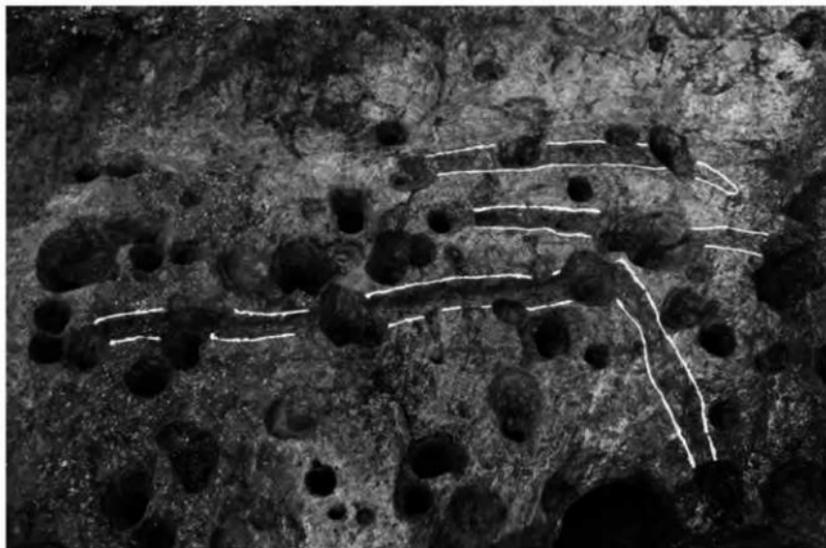
6 S-220-3 土坑断面(南東から)



7 S-220-4 土坑断面(南西から)



8 S-220-5 土坑(南西から)



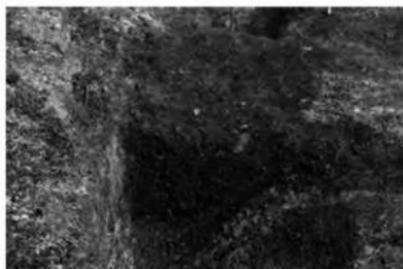
1 S-53・208・209・210溝(北東から)



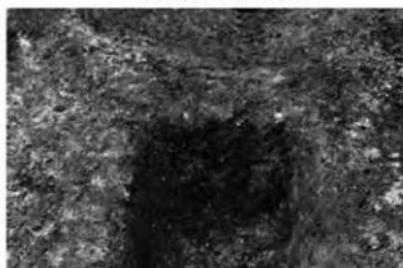
2 S-53・208・209・210周辺(南西から)



1 S-53溝断面(西から)



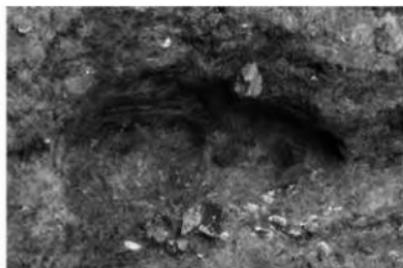
2 S-208溝(南から)



3 S-209溝断面(北から)



4 S-210断面(南から)



5 S-43土坑(東から)



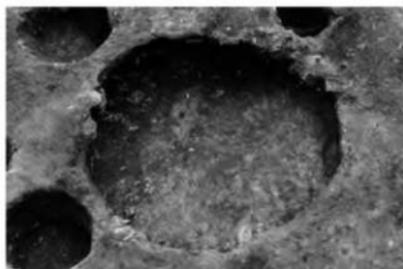
6 S-43土坑断面(南東から)



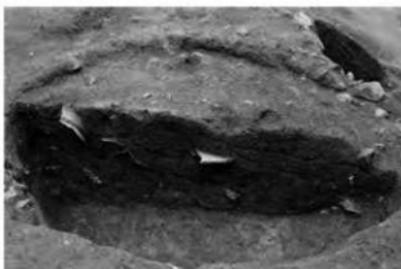
7 S-262土坑(南から)



8 S-262土坑断面(南から)



1 S-40土坑(南西から)



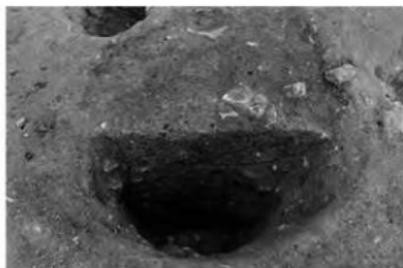
2 S-40土坑断面(南西から)



3 S-54・55土坑断面(北東から)



4 S-170土坑断面(東から)



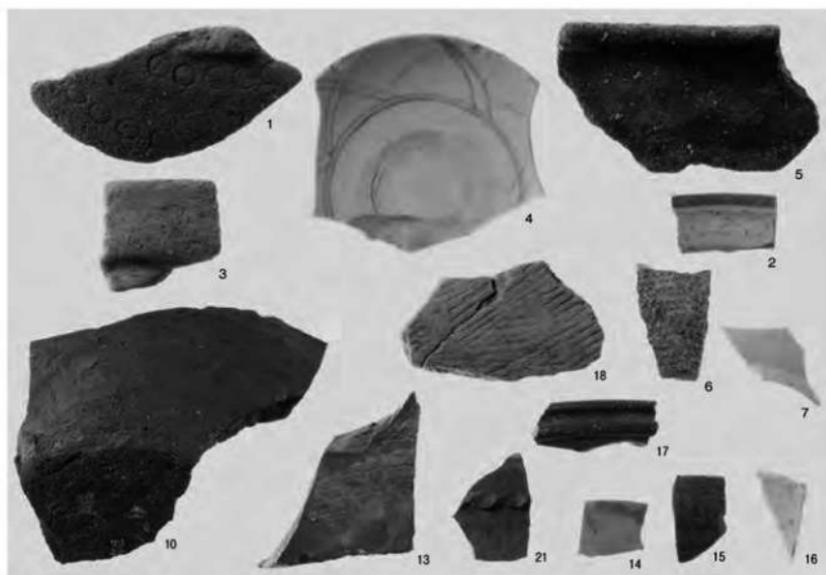
5 S-126土坑断面(南から)



6 S-32溝断面(北から)



7 S-32溝(南東から)



1 S-25 · 29 · 30 · 33 · 36 · 222 · 319 · 456 · 457 · 464 · 643 · 667 · 766 出土遺物



2 S-5 出土遺物



4 S-29 出土遺物



3 S-67 出土遺物



S-276・855・985出土遺物



S-310・982・985出土遺物



1 S-276出土遺物



4 S-855出土遺物



2 S-276 出土遺物



5 S-982出土遺物



3 S-982出土遺物



6 S-983出土遺物



1 S-982出土遺物



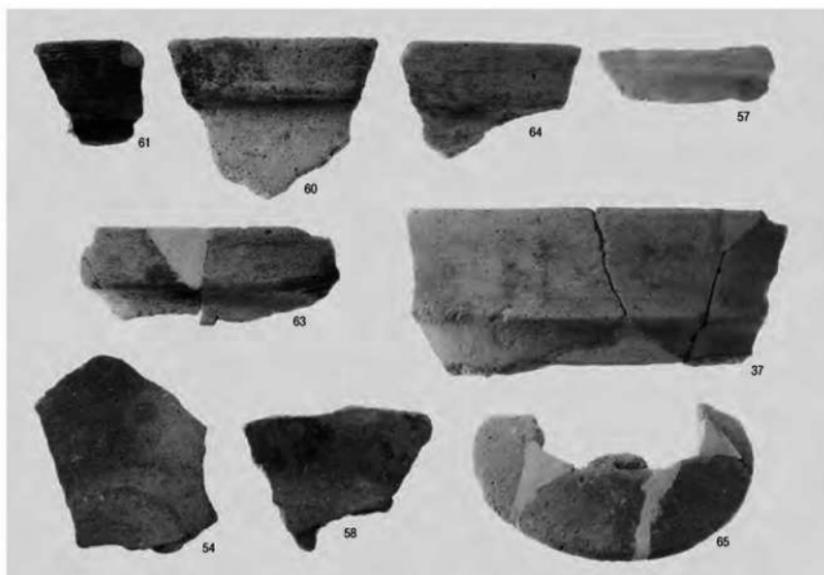
2 S-982出土遺物



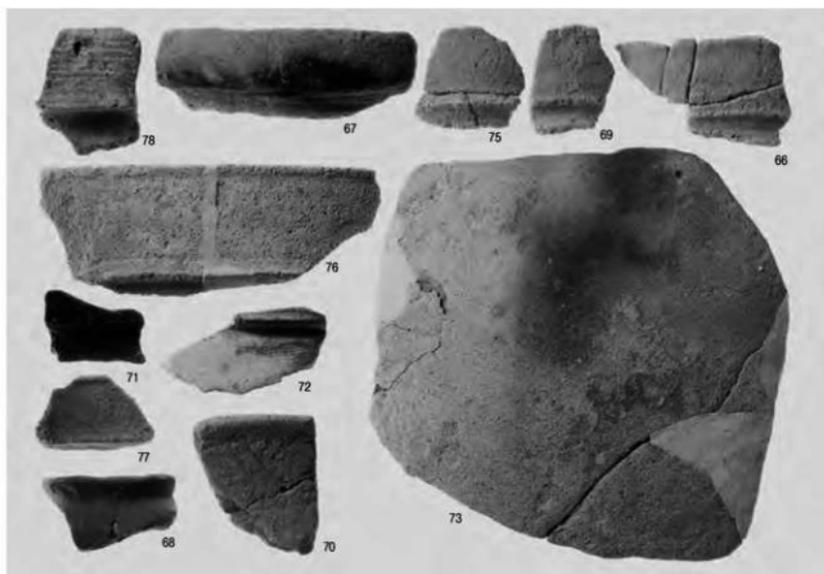
3 S-377出土遺物



4 S-421出土遺物



1 S-320・982・983・985・988 出土遺物



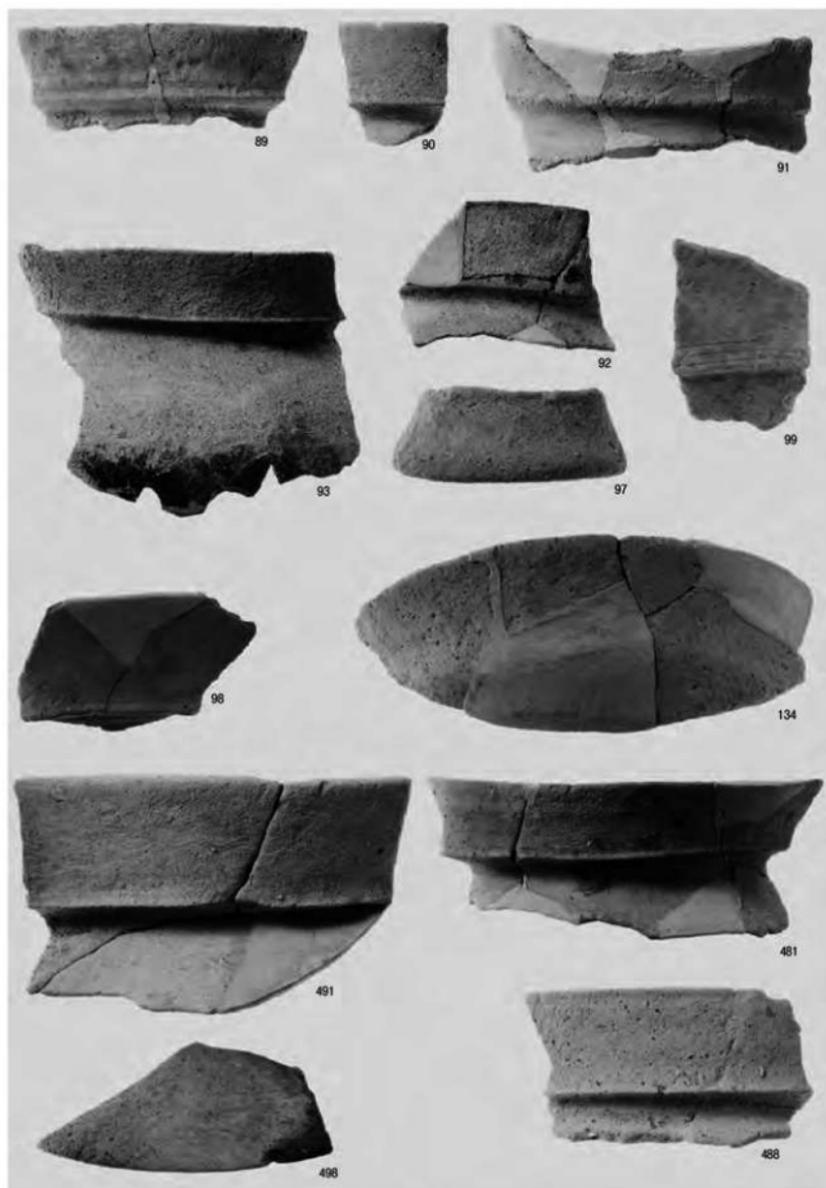
2 S-280・283・287・293・301・305・332 出土遺物



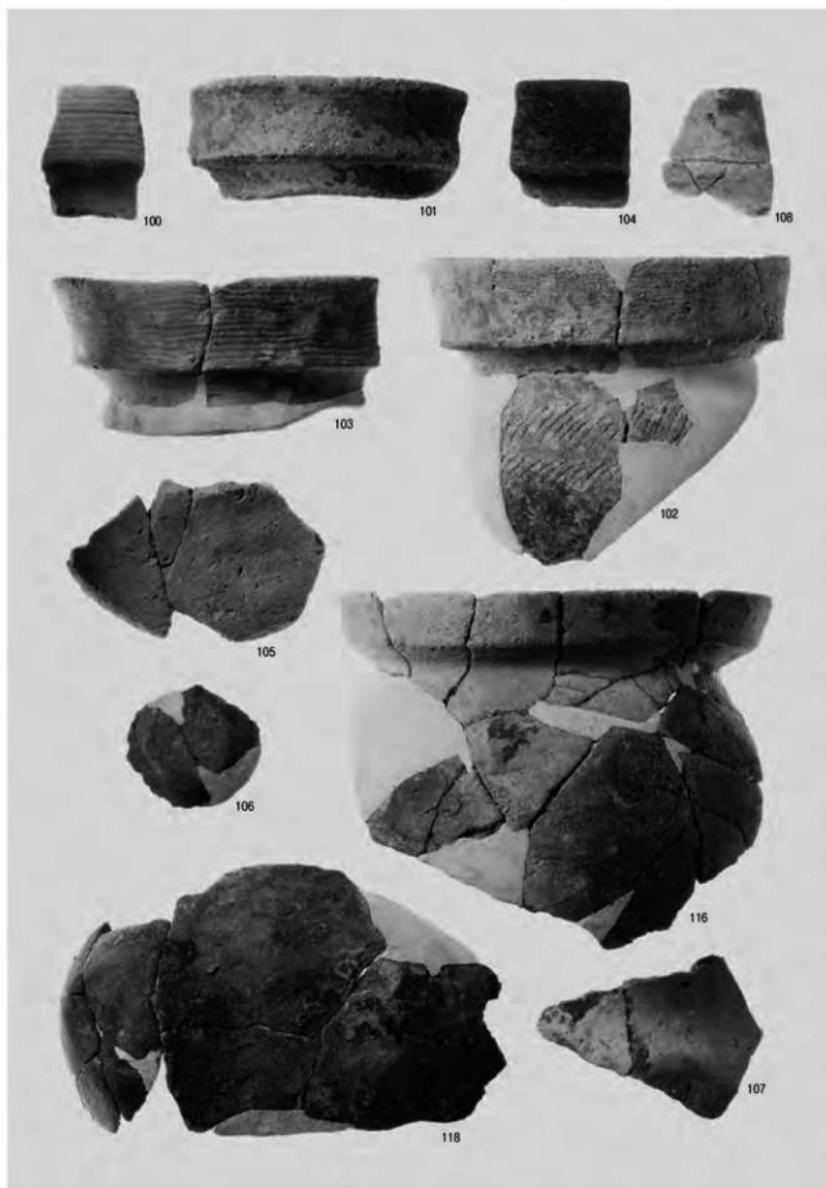
1 S-6・289・290・387・398・395・421 出土遺物



2 S-1・遺構外出土遺物



S-1・9、遺構外出土遺物



S-396・436・448・452・454・518出土遺物



1 S-450出土遺物



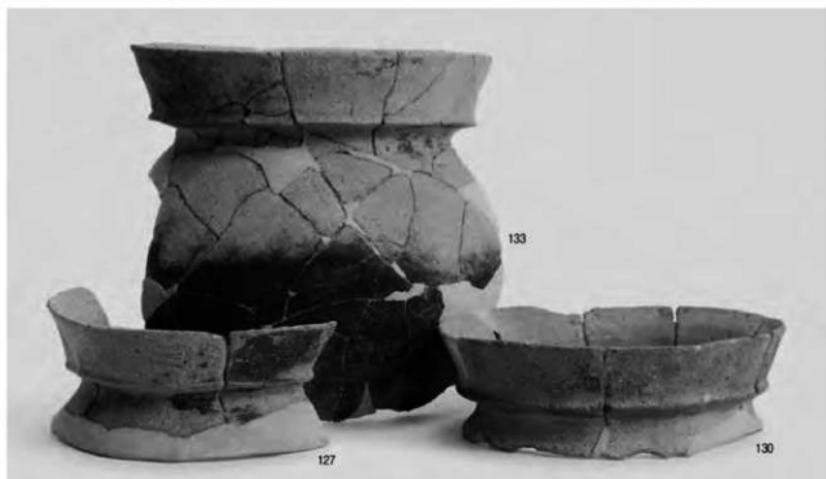
3 S-510出土遺物



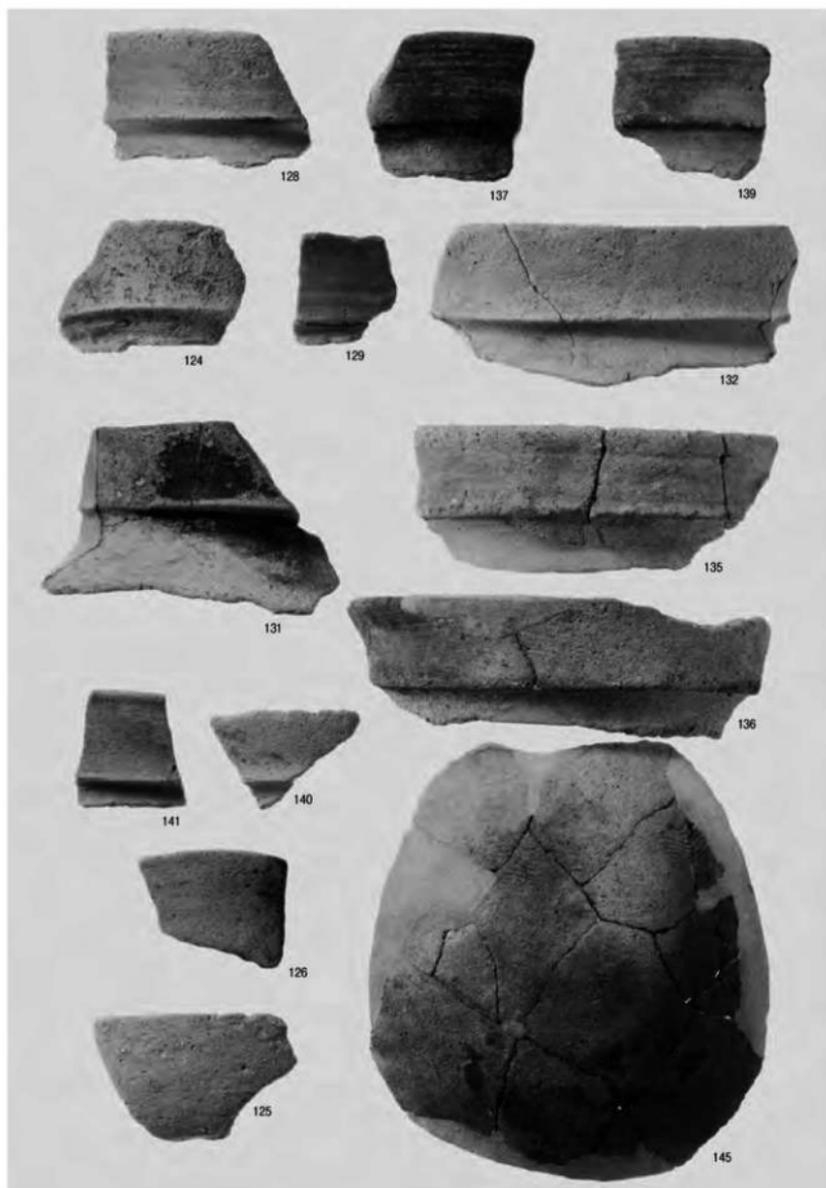
2 S-452出土遺物



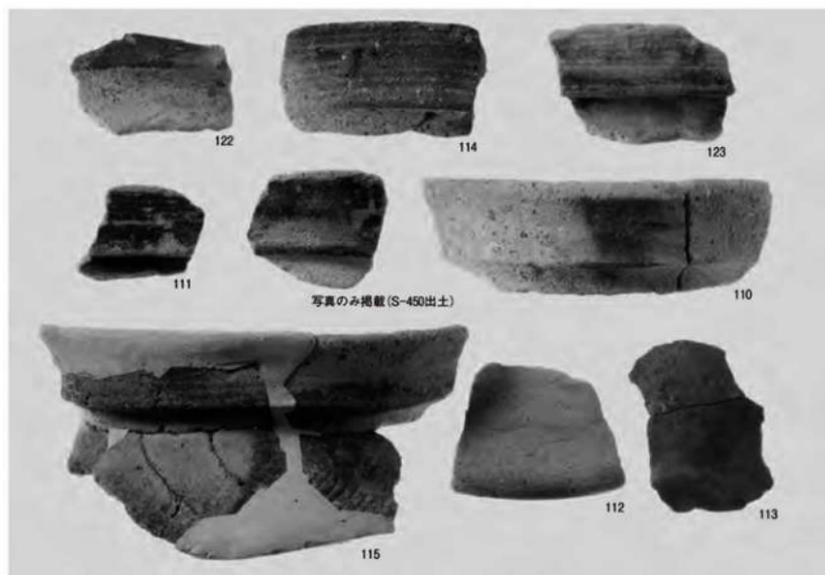
4 S-453出土遺物



5 S-9出土遺物

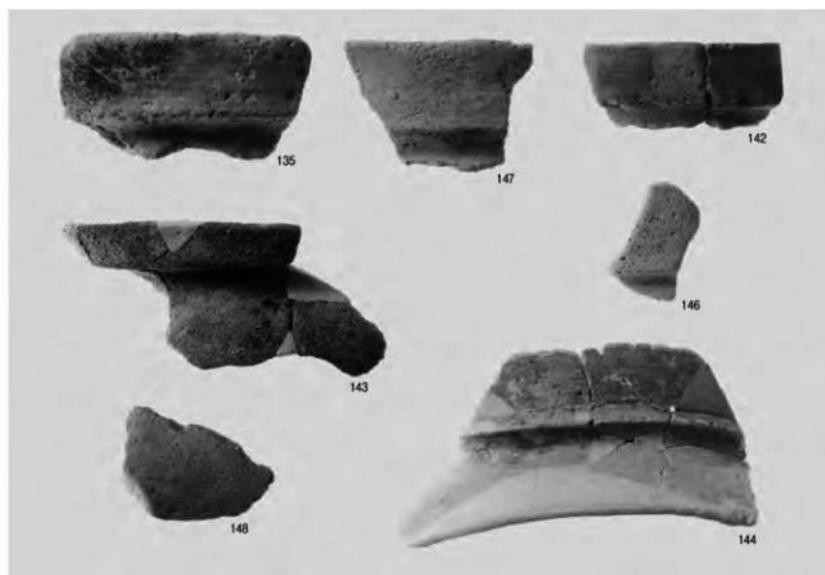


S-9・11・914・415・422出土遺物

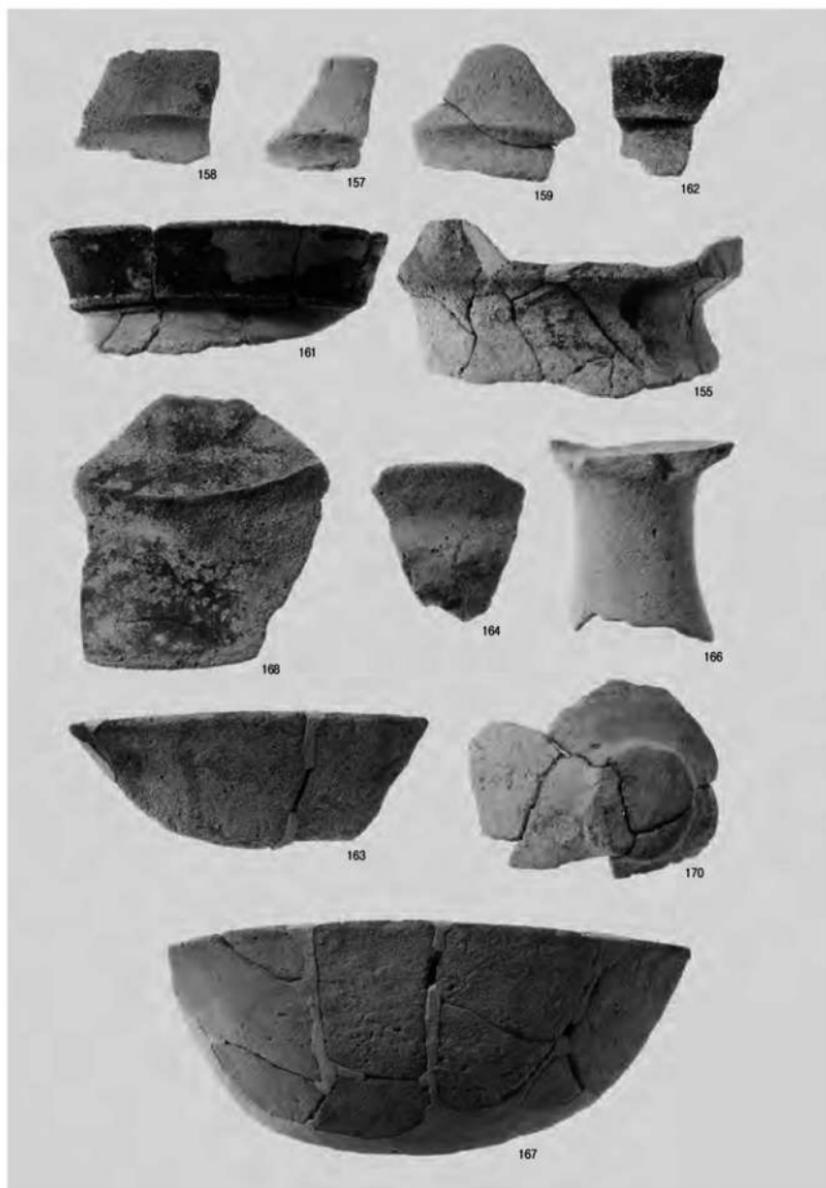


写真のみ掲載(S-450出土)

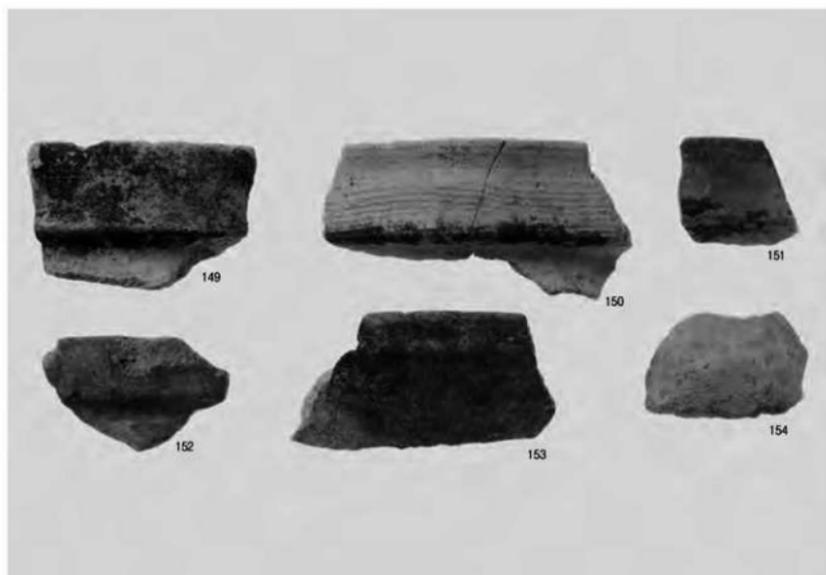
1 S-450・453・587・913出土遺物



2 S-422・444・822・500・563・804・838出土遺物



S-835出土遺物



1 S-799・858西側礫層出土遺物



2 S-835出土遺物



1 S-846出土遺物



2 S-833出土遺物



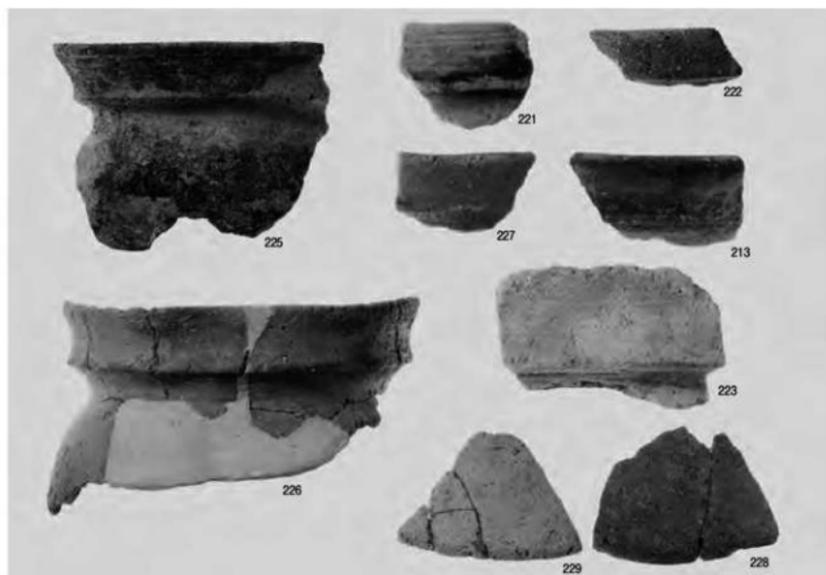
S-846出土遺物



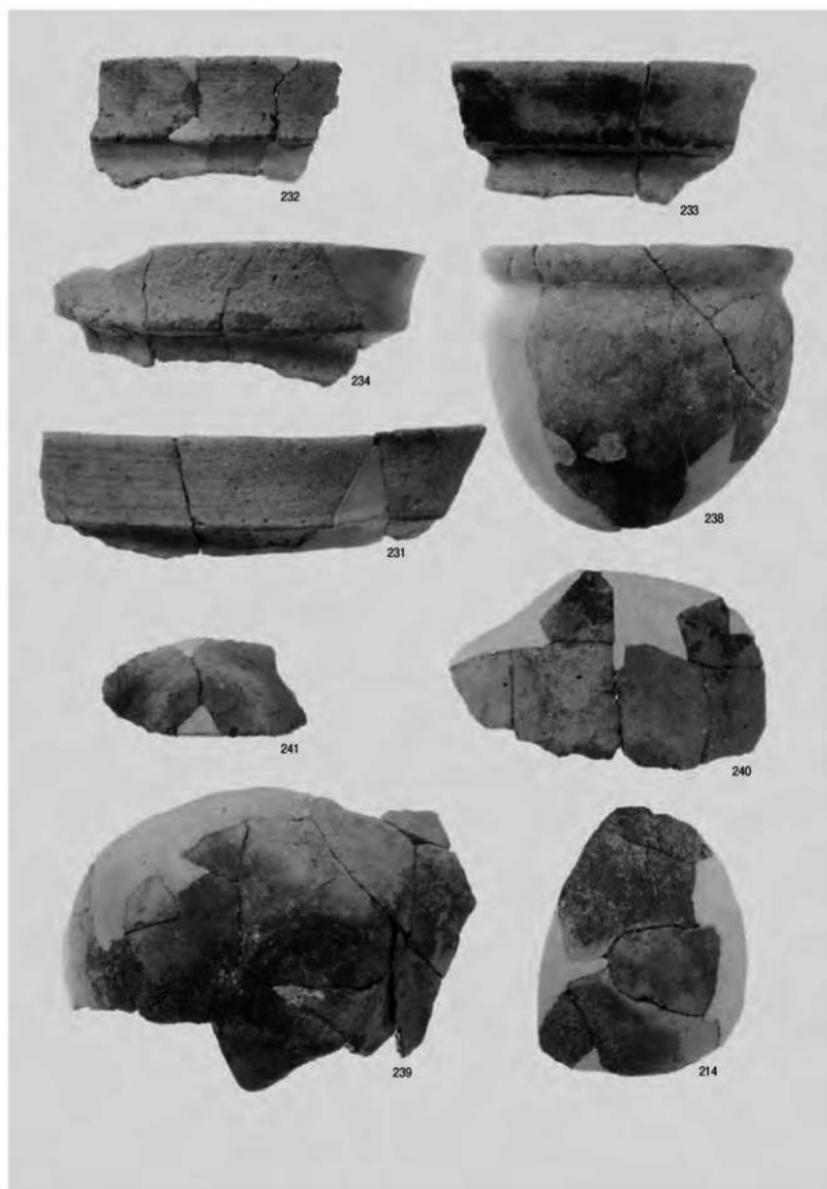
S-833・853出土遺物



1 S-866・925・933出土遺物



2 S-865・897・898・917出土遺物



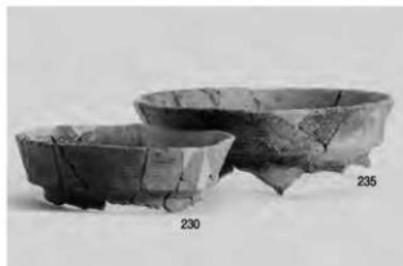
S-799・865・875出土遺物



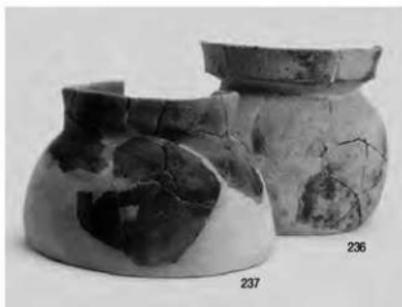
1 S-874・897出土遺物



2 S-883・866出土遺物



3 S-799出土遺物



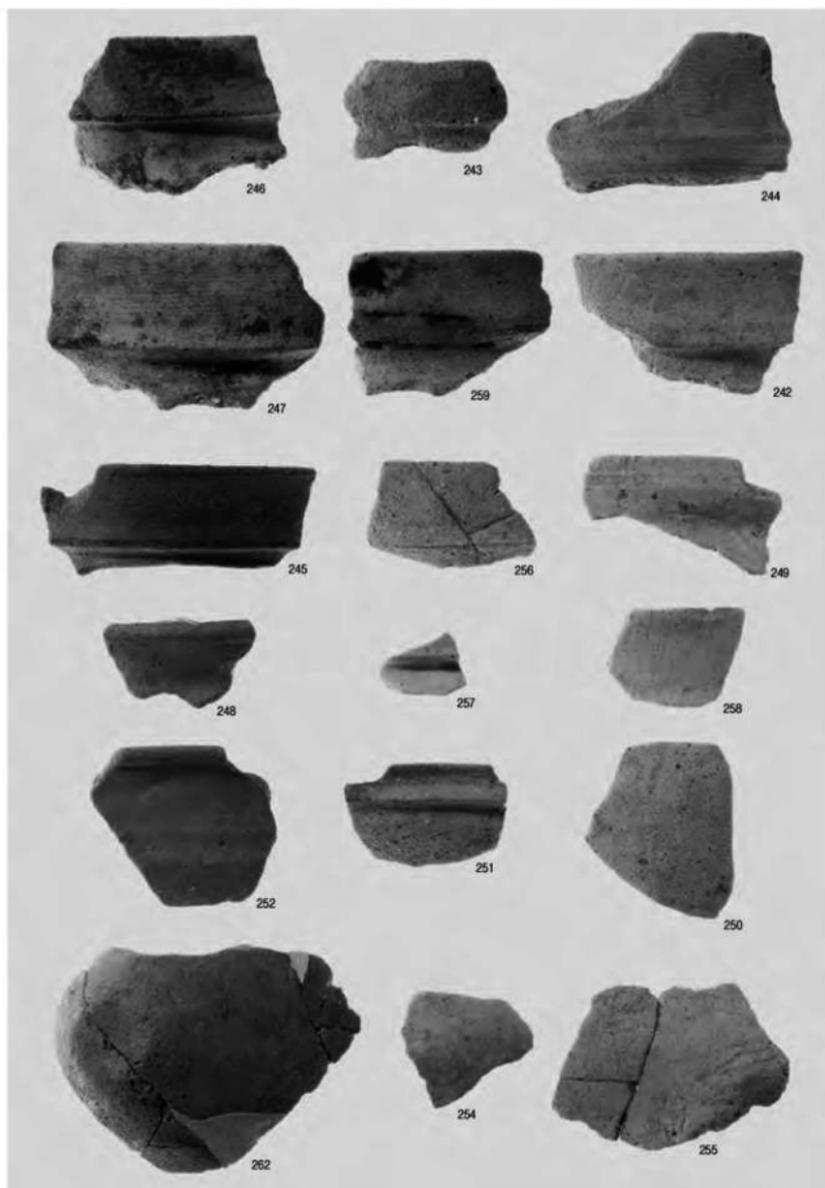
4 S-799出土遺物



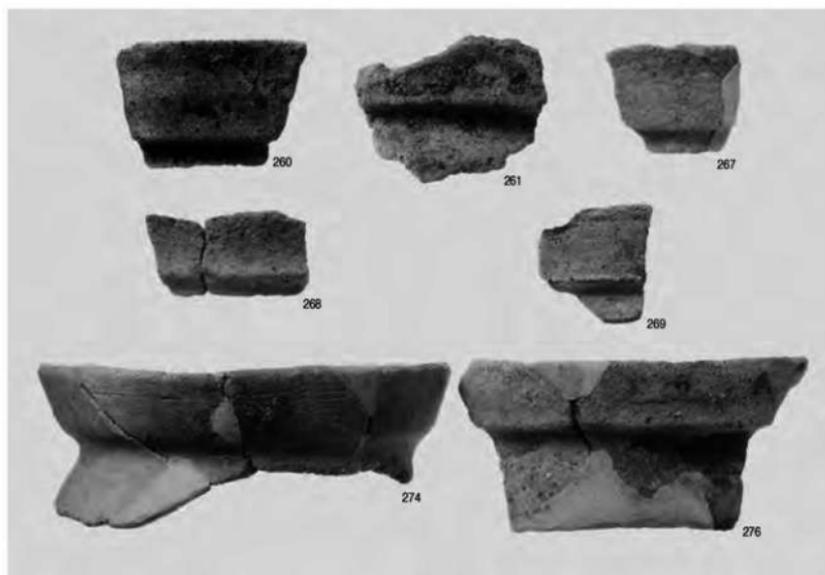
5 S-858出土遺物



6 S-935・936出土遺物



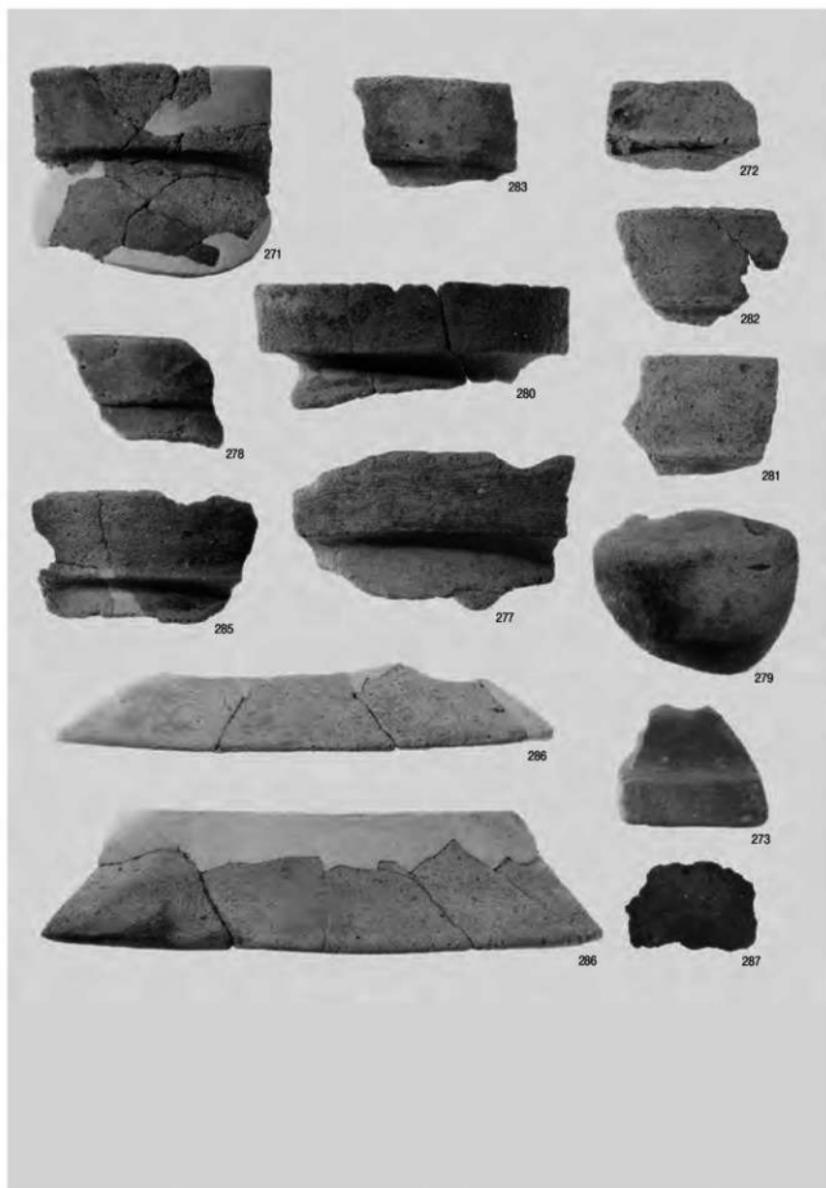
S-858・880出土遺物

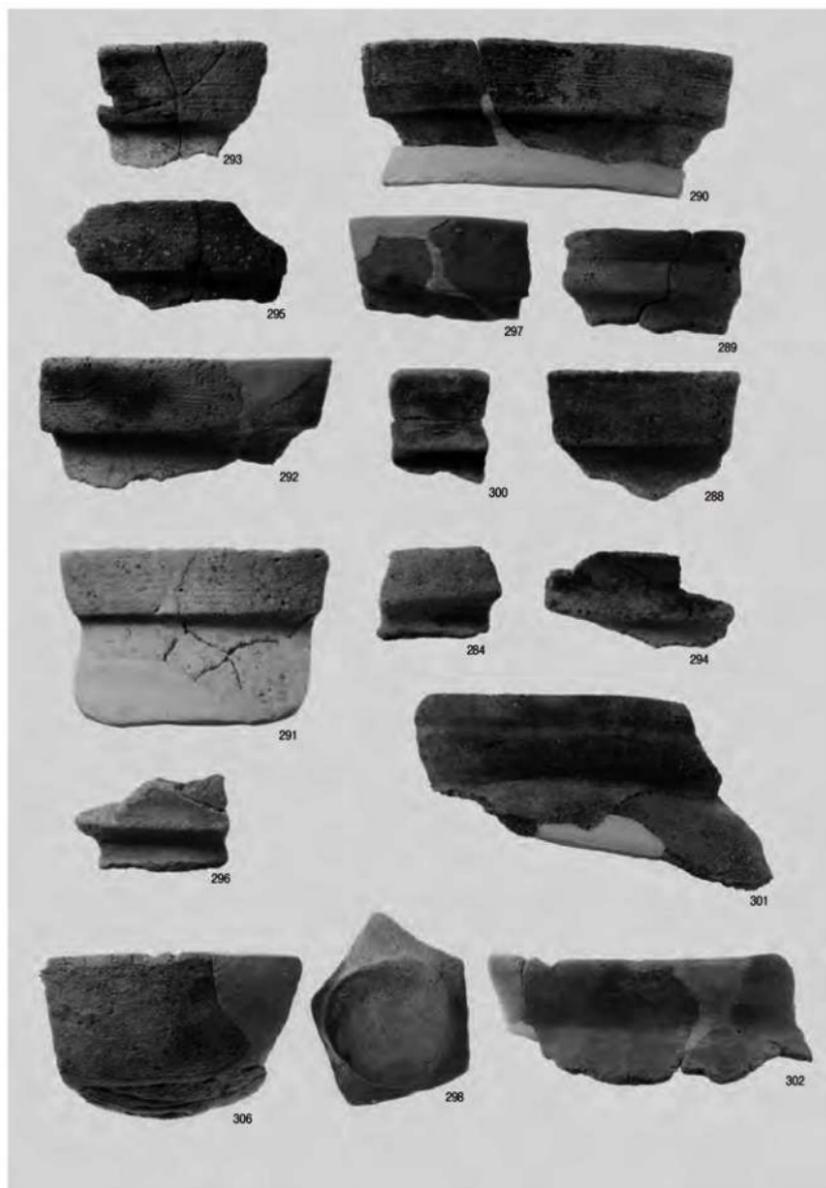


1 S-868・890・935・936出土遺物

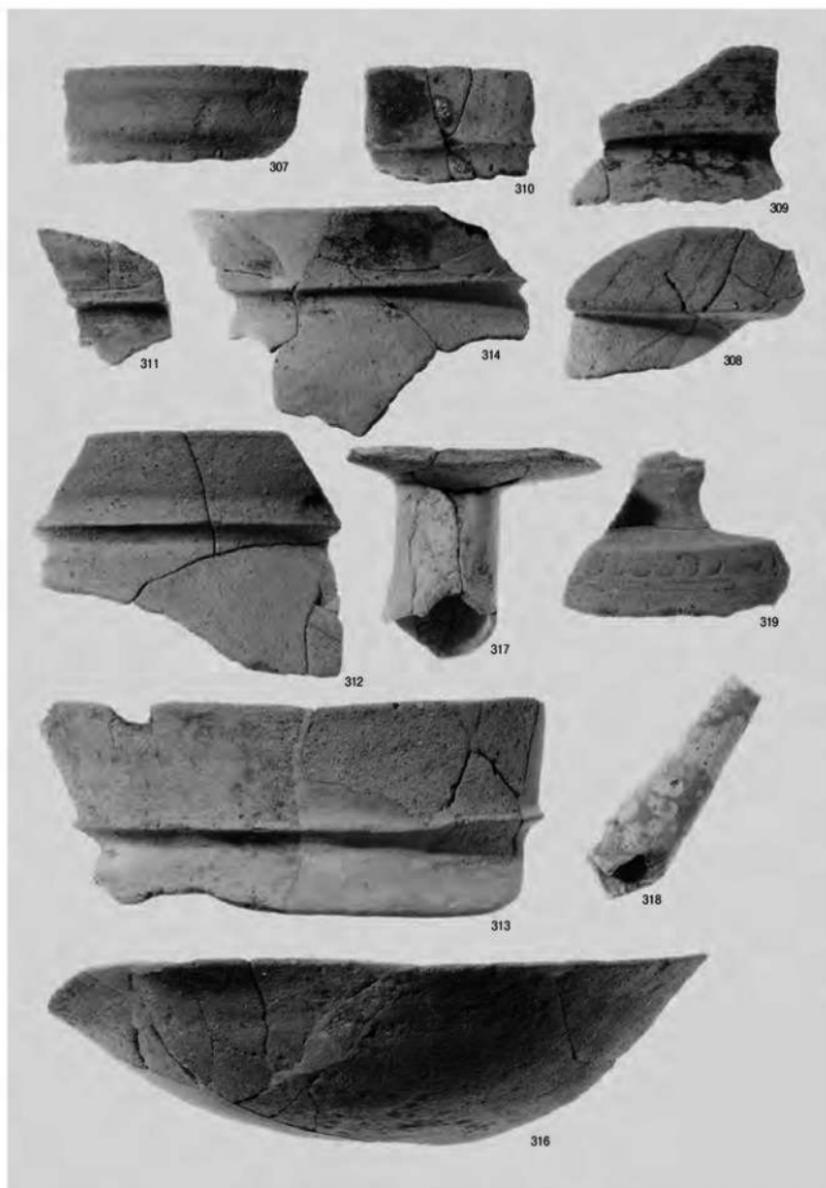


2 S-2・582出土遺物

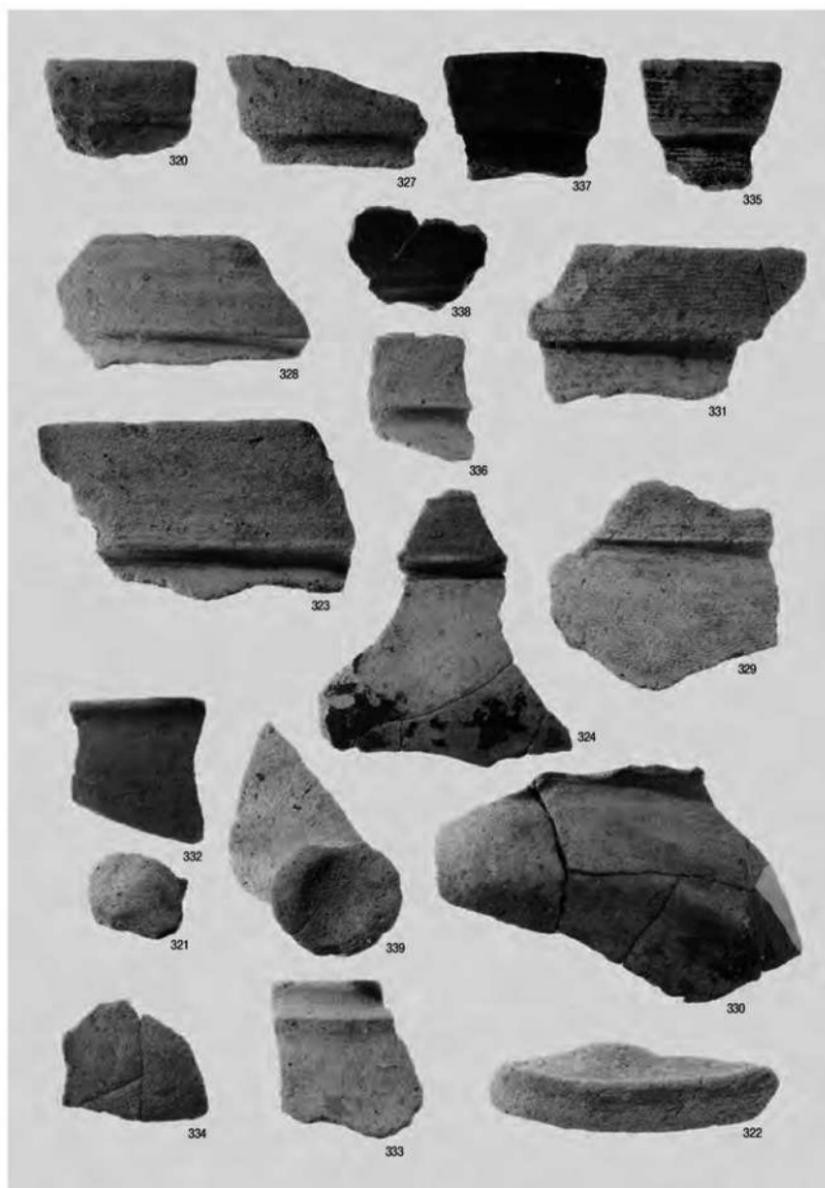




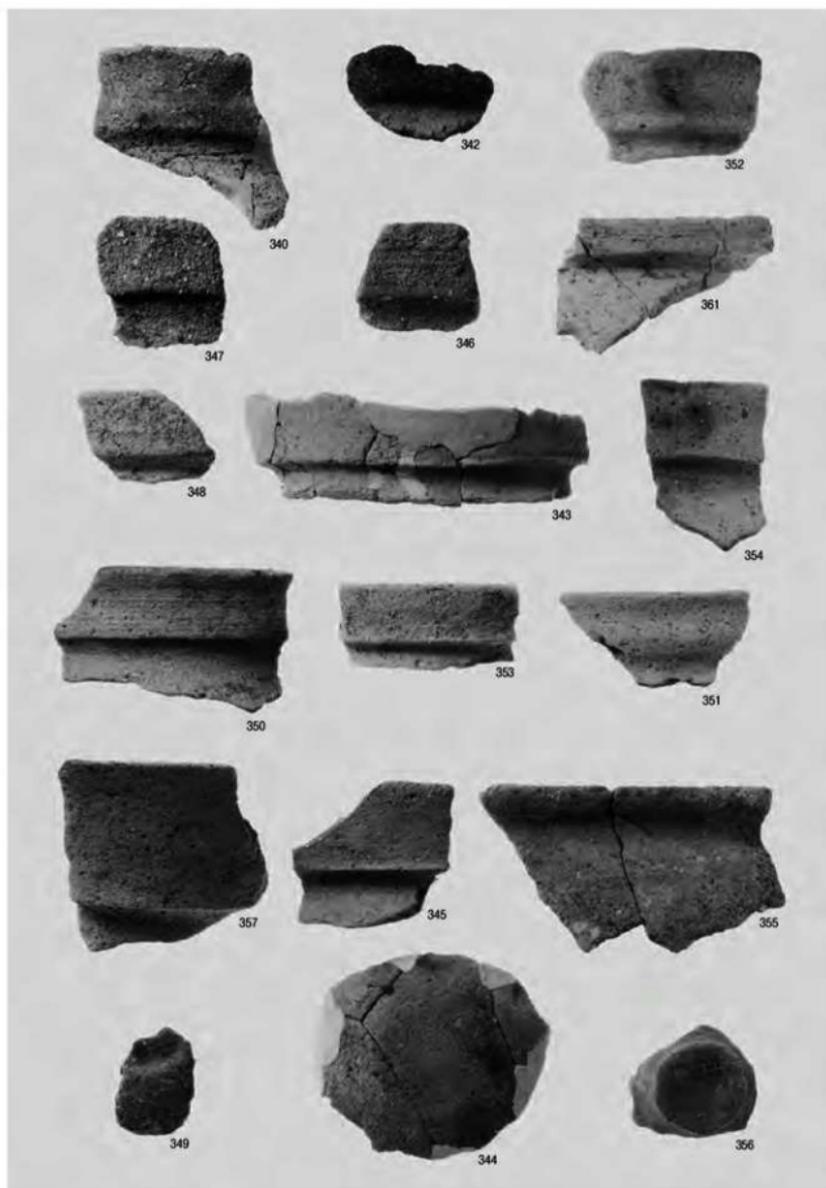
S-2・13・572・582・598出土遺物



S-7・8出土遺物



S-516・488・492・561・583・627出土遺物



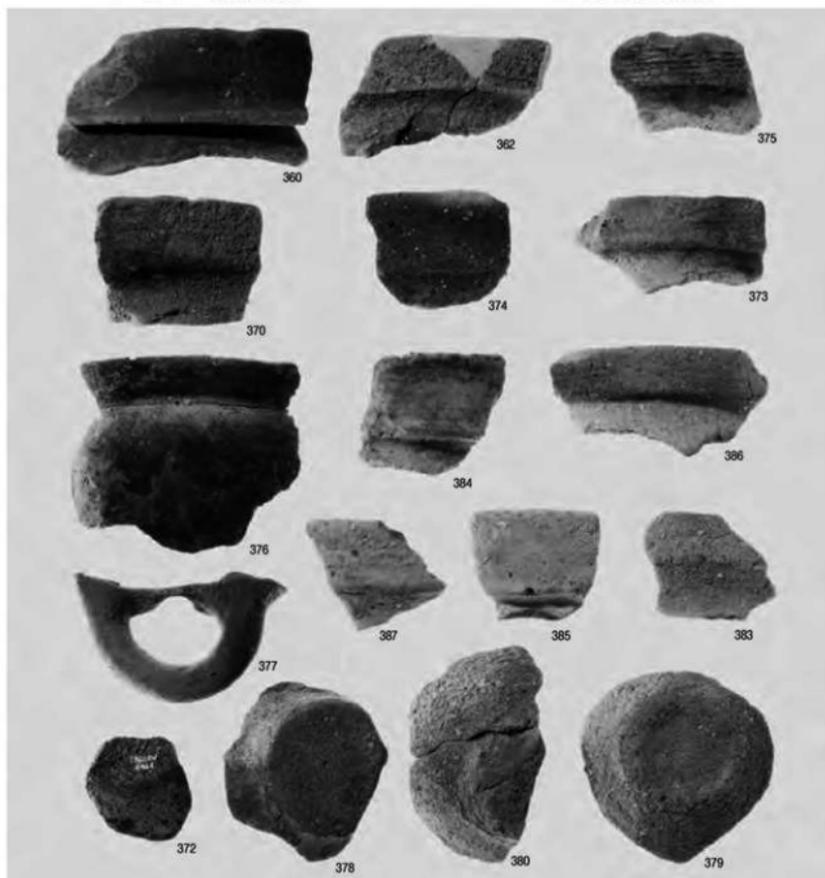
S-547・558・564・581・608・662・654・682・695出土遺物



1 S-7・156出土遺物



2 S-516出土遺物



3 S-515・600・606・608・648-5・648-6・706出土遺物



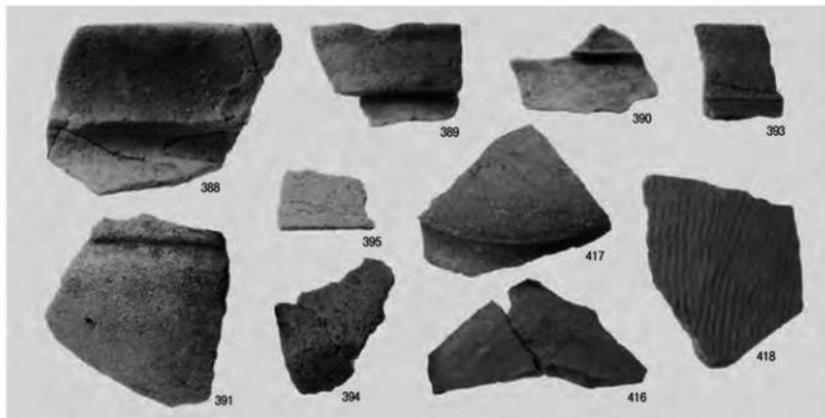
1 S-600・608出土遺物



2 S-623出土遺物



3 S-546出土遺物



4 S-445・469・546・571・650 出土遺物



1 S-445出土遺物



4 445出土遺物



2 S-445出土遺物



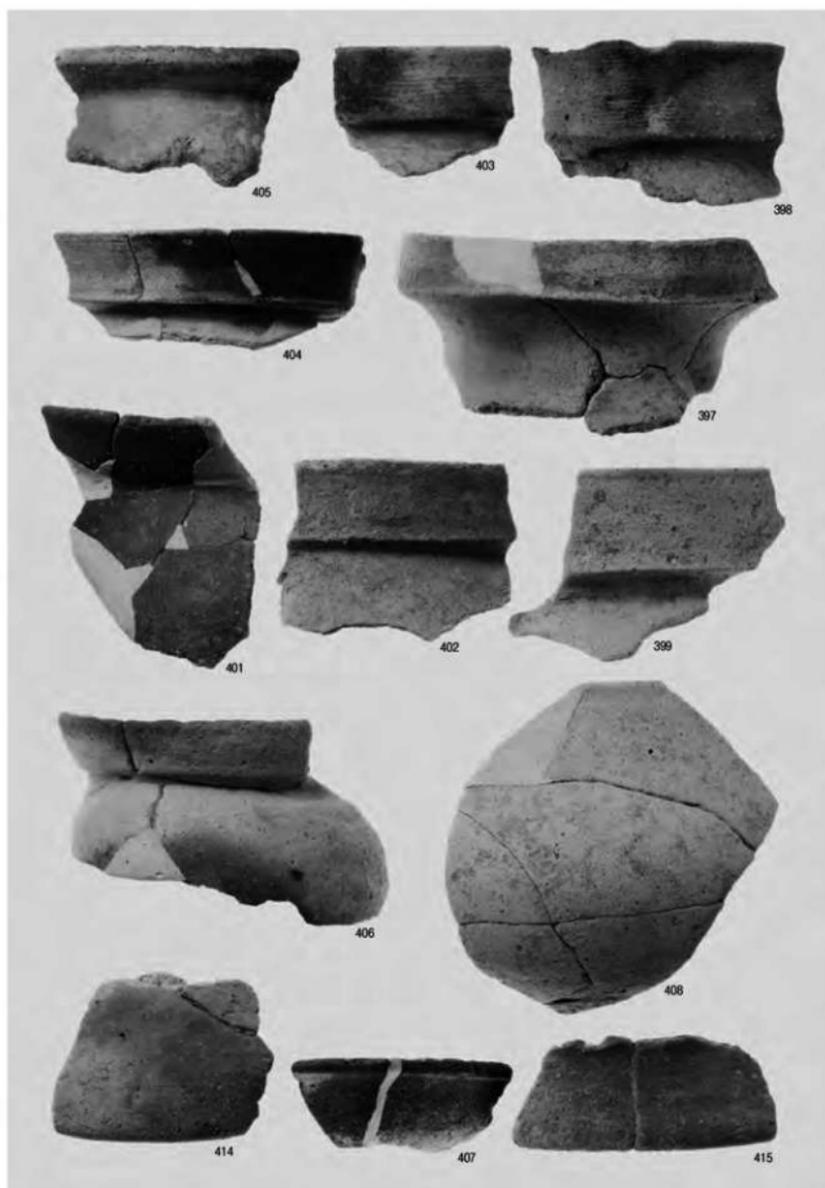
5 S-445出土遺物



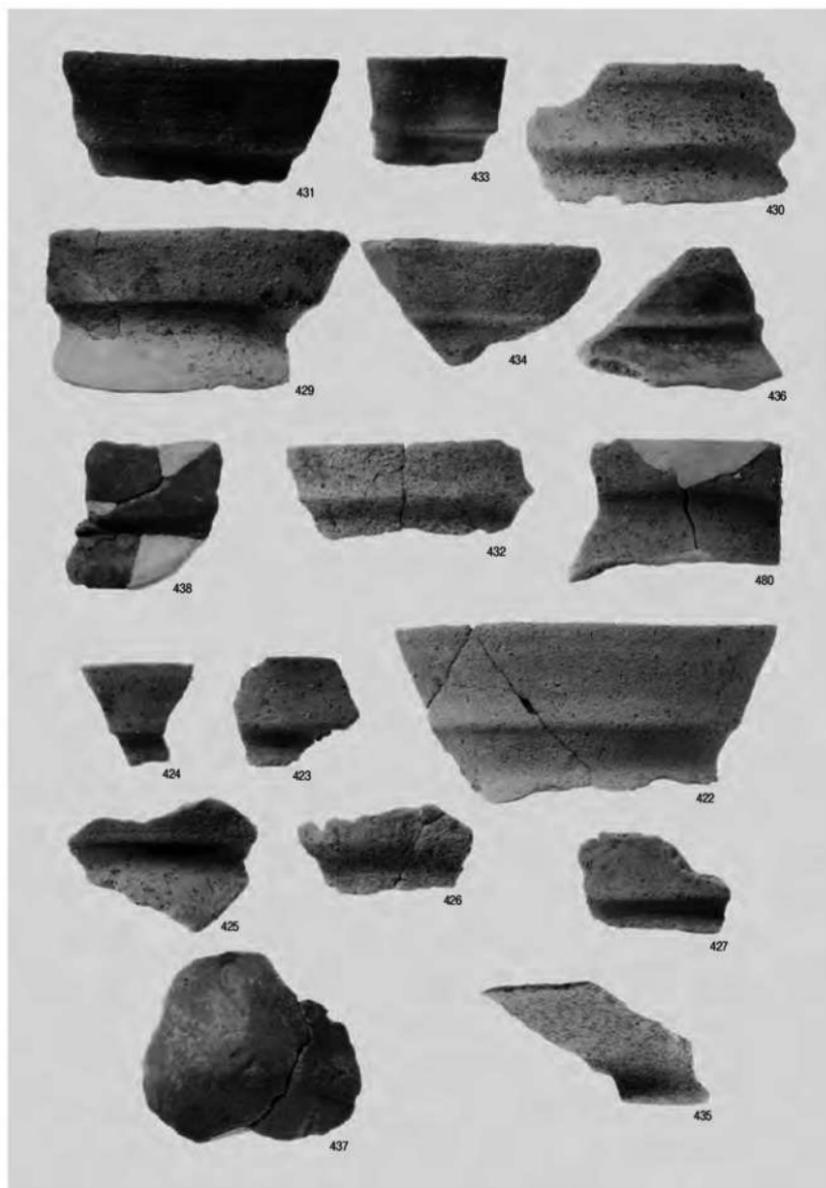
3 S-445出土遺物



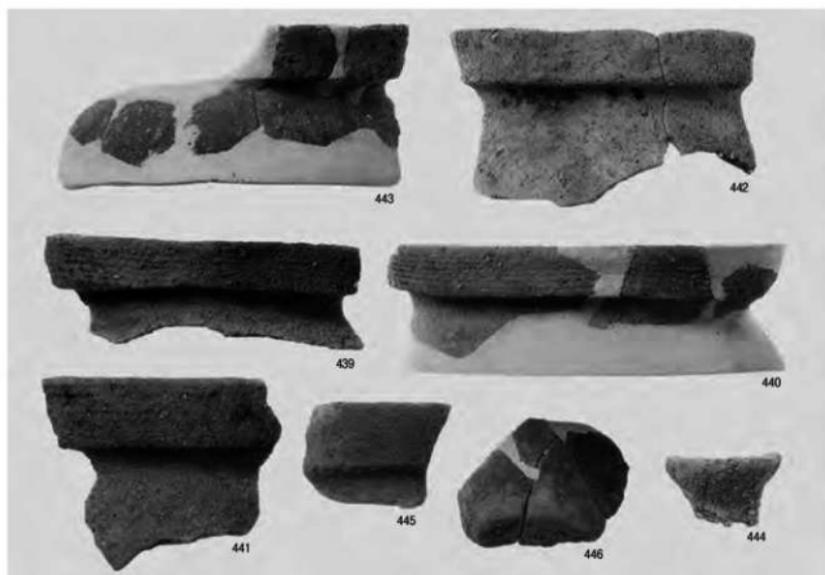
6 S-445出土遺物



S-445出土遺物



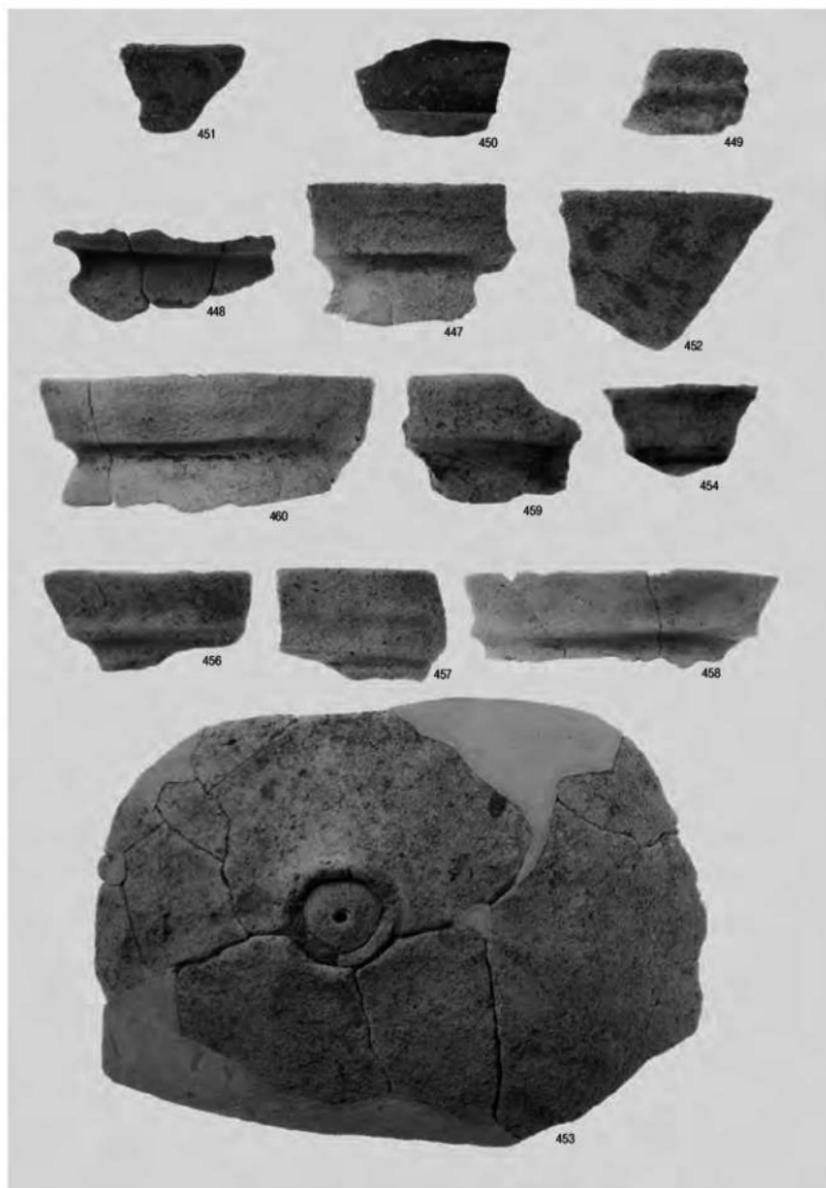
S-527・674・675、黒色・暗褐色包含層、遺構外出土遺物



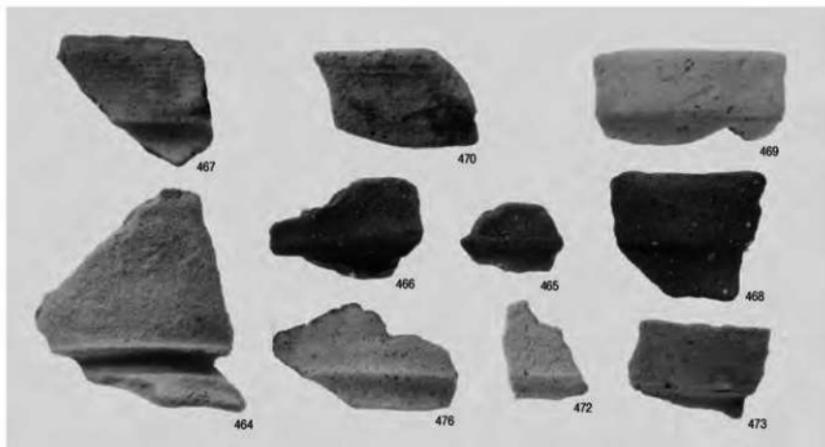
1 S-725・726出土遺物



2 S-40出土遺物



S-40・43・220・262出土遺物



1 S-32・44・98・147・157・159・170・180・181・240出土遺物



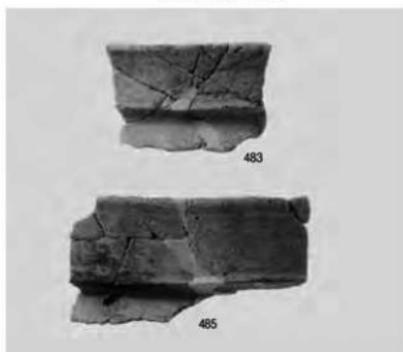
2 S-99・141出土遺物



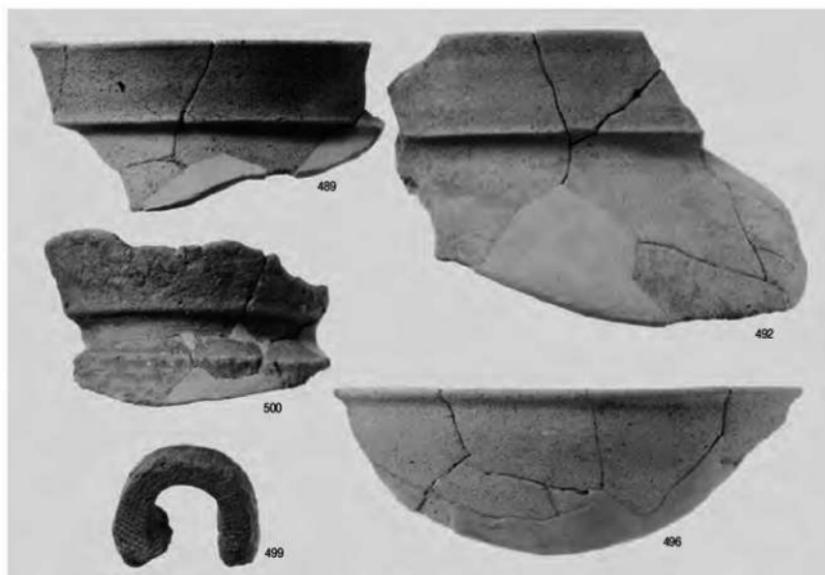
4 遺構外出土遺物



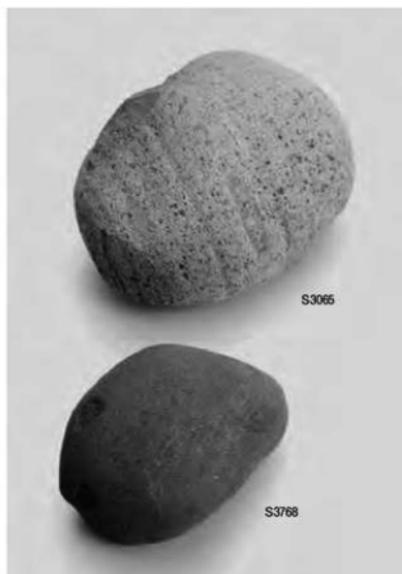
3 S-674出土遺物



5 遺構外出土遺物



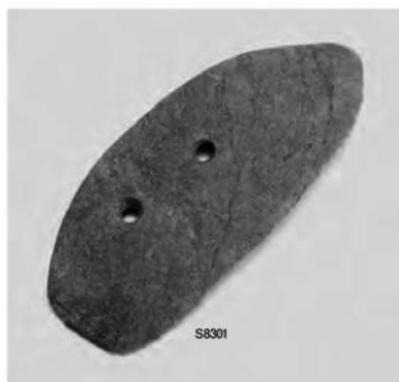
1 遺構外出土遺物



2 S-326・420出土遺物



3 S-835、遺構外出土遺物



1 S-725a 出土遺物



2 S-141 出土遺物



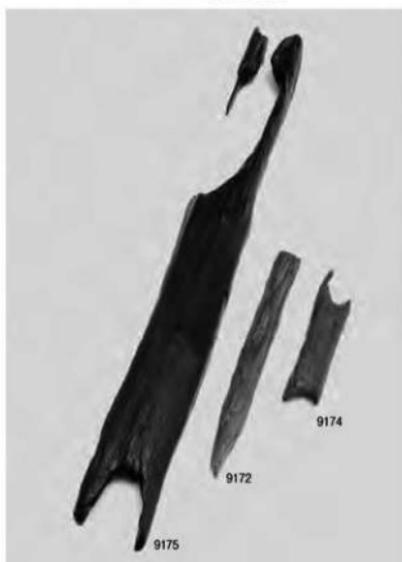
3 遺構外出土遺物



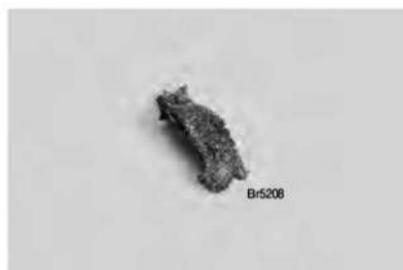
4 遺構外出土遺物



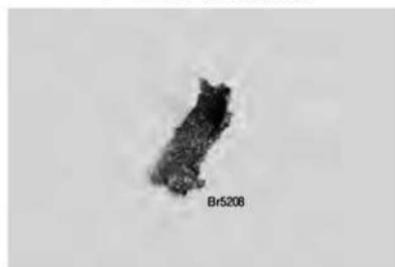
5 S-275出土遺物



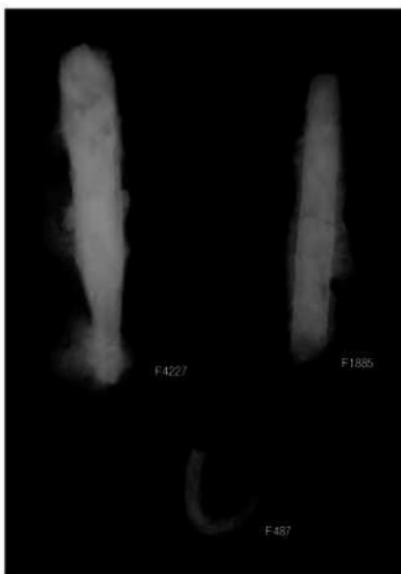
6 S-766出土遺物



1 S-860 出土遺物(表)



2 S-860 出土遺物(裏)



3 S-8・220・445 出土遺物(X線写真)



4 S-951 出土遺物(X線写真)

報告書抄録

ふりがな	おつがせやしきまわりいせき							
書名	乙亥正屋敷廻遺跡							
副書名	一般国道9号（鳥取西道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	X X X VII							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	68							
編著者名	岡野雅則、原田雅弘、馬路晃祥							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL(0857)27-6711							
発行年月日	2019（平成31）年3月18日							
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡 番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
おつがせやしきまわり 乙亥正屋敷廻 いせき 遺跡	とっとりけんとっとりし 鳥取県鳥取市 しかのらちょうおつがせ 鹿野町乙亥正	31201	16244	35° 29' 54"	134° 02' 58"	20140417 / 20160927	6080 m ²	一般国道9号（鳥取西道路）の改築
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
乙亥正屋敷廻 遺跡	集落	弥生時代	竪穴住居 段状遺構 土坑 溝	弥生土器 木器 石器 八禽鏡（破鏡） 巴形銅器	<ul style="list-style-type: none"> ・八禽鏡は近現代の流路中で出土。 ・巴形銅器は県内2例目の出土。 			
	集落	古墳時代	竪穴住居 段状遺構 土坑 溝	土師器 須恵器 木器 石器				
要約	<p>乙亥正屋敷廻遺跡では、縄文時代から近世に至る遺物や遺構を確認した。</p> <p>特に、弥生時代後期から古墳時代前期にかけては、東に開いた谷部とそれを囲む丘陵斜面上に集落を形成しており、多数の遺構とともに、多量の土器、木器などが良好な状態で出土している。谷部には豊富な湧水が見られ、検出された溝状遺構の中には、横板と杭を用いた護岸を施す物も見られる。丘陵斜面部では、急峻な斜面に平坦面を作出して住居、段状遺構を設けており、調査区外においても同様の地形が見られることから、丘陵斜面全体に居住域が広がっていたものと想定される。</p> <p>出土遺物には、容器類、建築部材をはじめとした多種多様の木器が認められ、この場で加工・製作を行っていたと考えられるが、その際に用いたはずの鉄製工具の出土は見られない。</p> <p>当遺跡は、豊富な水資源と周囲に広がる森林資源が集落基盤の背景にあったと類推され、出土遺物に八禽鏡、巴形銅器が見られることから、当時の中心的な集落の一つであったことが考えられる。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 68
一般国道9号（鳥取西道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XXXVIII
鳥取県鳥取市鹿野町
乙亥正屋敷廻遺跡
第1分冊（1区）

発行 2019年3月18日
編集 鳥取県埋蔵文化財センター
〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地
電話（0857）27-6711
発行者 鳥取県埋蔵文化財センター
印刷 株式会社鳥取平版社
〒680-0845 鳥取市富安1丁目79番地
電話（0857）24-7311

